

第2部 子育て支援に関するニーズ調査

第1章 基本属性・家庭環境

1 宛名のお子さん年齢/学年

就学前児童保護者の宛名のお子さん年齢は、「0歳児」の割合が18.0%と最も高くなっています。

低学年保護者の宛名のお子さんの学年は、「2年生」の割合が32.8%と最も高くなっています。1年生から3年生の保護者を対象に送付したものの、調査の対象者抽出が4月1日時点の生年月日で行われていることが一因として4年生以上の回答も見受けられました。

【問2 宛名のお子さん年齢/学年】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=832	割合(%)
0歳児	18.0%
1歳児	15.4%
2歳児	17.1%
3歳児	15.3%
4歳児	15.5%
5歳児	15.6%
無回答	3.1%

〔低学年保護者〕

回答者数=408	割合(%)
1年生	14.5%
2年生	32.8%
3年生	27.0%
4年生	22.3%
5年生	0.5%
6年生	1.7%
無回答	1.2%

2 宛名のお子さんの兄弟・姉妹の人数

宛名のお子さんの兄弟・姉妹の人数は、就学前児童保護者では、「1人(子どもの人数の計:2人)」の割合が46.9%と最も高く、次いで「0人(子ども計:1人)」が28.6%、「2人(子ども計:3人)」が14.3%となっています。

低学年保護者では、「1人(子ども計:2人)」の割合が49.0%と最も高く、次いで「0人(子ども計:1人)」が22.8%、「2人(子ども計:3人)」が19.1%となっています。

【問3 宛名のお子さんの兄弟・姉妹の人数】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=832	割合(%)
0人	28.6%
1人	46.9%
2人	14.3%
3人	4.7%
4人	0.4%
5人	0.6%
6人以上	0.1%
無回答	4.4%

〔低学年保護者〕

回答者数=408	割合(%)
0人	22.8%
1人	49.0%
2人	19.1%
3人	4.7%
4人	0.5%
5人	0.5%
6人以上	0.0%
無回答	3.4%

【問3 末子の年齢】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=557	割合(%)	
0歳		6.1%
1歳		15.1%
2歳		7.7%
3歳		10.2%
4歳		9.5%
5歳		9.3%
無回答		42.0%

〔低学年保護者〕

回答者数=301	割合(%)	
0歳		1.0%
1歳		2.3%
2歳		3.0%
3歳		2.3%
4歳		5.6%
5歳		10.3%
6歳		5.3%
7歳		17.6%
8歳		7.0%
9歳		11.0%
10歳		0.7%
11歳以上		2.7%
無回答		31.2%

3 お住まいの地区

お住まいの地区は、就学前児童保護者では、「富士見台」の割合が 23.0%と最も高く、次いで「東」と「西」が 16.3%、「谷保」が 15.6%となっています。

低学年保護者では、「富士見台」の割合が 18.1%と最も高く、次いで「谷保」が 16.4%、「東」が 15.7%となっています。

【問1 お住まいの地区】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=832	割合(%)	
東		16.3%
中		10.3%
西		16.3%
富士見台		23.0%
北		9.5%
谷保		15.6%
青柳		5.5%
石田		0.1%
泉		2.6%
矢川		0.1%
無回答		0.5%

〔低学年保護者〕

回答者数=408	割合(%)	
東		15.7%
中		6.6%
西		12.3%
富士見台		18.1%
北		6.4%
谷保		16.4%
青柳		2.2%
石田		0.0%
泉		2.0%
矢川		1.0%
無回答		19.4%

4 回答いただく方

この調査票に回答いただく方は、就学前児童保護者では、「母親」の割合が80.9%と最も高く、次いで「父親」が17.5%、「その他」が0.7%となっています。





低学年保護者では、「母親」の割合が78.9%と最も高く、次いで「父親」が19.9%、「その他」が0.5%となっています。

【問4 回答いただく方】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=832	割合(%)	
母親		80.9%
父親		17.5%
その他		0.7%
無回答		0.8%

〔低学年保護者〕

回答者数=408	割合(%)	
母親		78.9%
父親		19.9%
その他		0.5%
無回答		0.7%













5 回答いただく方の配偶関係

回答いただく方の配偶関係は、就学前児童保護者では、「配偶者がいる」の割合が96.6%と最も高く、次いで「配偶者・パートナーはいない」が2.8%となっています。過年度調査と比較すると、「配偶者がいる」の割合が9割以上で推移しています。













低学年保護者では、「配偶者がいる」の割合が95.1%と最も高く、次いで「配偶者・パートナーはいない」が4.7%となっています。過年度調査と比較すると、「配偶者がいる」の割合が増加傾向にあります。

【問5 回答いただく方の配偶関係】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772	割合(%)	
配偶者がいる	R5	 96.6%
	H30	 97.0%
	H25	 94.8%
事実婚関係のパートナーがいる	R5	 0.1%
	H30	 0.3%
	H25	 -
配偶者・パートナーはいない	R5	 2.8%
	H30	 2.3%
	H25	 4.7%
無回答	R5	 0.5%
	H30	 0.3%
	H25	 0.5%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=408 / H30=489 / H25=451	割合(%)	
配偶者がいる	R5	 95.1%
	H30	 92.6%
	H25	 90.9%
事実婚関係のパートナーがいる	R5	 0.0%
	H30	 0.6%
	H25	 -
配偶者・パートナーはいない	R5	 4.7%
	H30	 6.3%
	H25	 7.8%
無回答	R5	 0.2%
	H30	 0.4%
	H25	 1.3%

6 主な保育者

主な保育者は、就学前児童保護者では、「父母ともに」の割合が73.4%と最も高く、次いで「主に母親」が30.5%、「その他」が3.1%となっています。過年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加傾向にあります。

低学年保護者では、「父母ともに」の割合が67.2%と最も高く、次いで「主に母親」が34.6%、「主に祖父母」が3.2%となっています。過年度調査と比較すると、「父母ともに」の割合が増加傾向にあります。

全体では、過年度調査を含めいずれの時点でも、「父母ともに」の割合が就学前児童保護者に比べて低学年保護者で低くなっています。

【問6 主な保育者】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合(%)	
父母ともに	R5		73.4%
	H30		64.0%
	H25		58.7%
主に母親	R5		30.5%
	H30		33.3%
	H25		36.1%
主に父親	R5		1.0%
	H30		0.0%
	H25		1.7%
主に祖父母	R5		2.9%
	H30		7.0%
	H25		18.1%
その他	R5		3.1%
	H30		2.9%
	H25		3.5%
無回答	R5		0.6%
	H30		0.2%
	H25		0.3%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=408 / H30=489 / H25=451		割合(%)	
父母ともに	R5		67.2%
	H30		59.5%
	H25		57.2%
主に母親	R5		34.6%
	H30		36.6%
	H25		40.6%
主に父親	R5		0.7%
	H30		1.8%
	H25		1.1%
主に祖父母	R5		3.2%
	H30		0.2%
	H25		0.2%
その他	R5		1.2%
	H30		0.6%
	H25		0.2%
無回答	R5		0.2%
	H30		1.2%
	H25		0.7%

7 同居・近居の状況

同居・近居の状況は、就学前児童保護者では、「父母同居」の割合が87.5%と最も高いです。「祖父母」については、「同居」よりも「近居」の割合が高く、過年度調査と比較すると、その傾向が強まっています。

低学年保護者では、「父母同居」の割合が88.2%と最も高いです。「祖父母」については、「同居」よりも「近居」の割合が高くなっています。

【問7 同居・近居の状況】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合(%)	
父母同居	R5		87.5%
	H30		84.2%
	H25		85.9%
父同居(母の単身赴任)	R5		0.1%
	H30		0.0%
	H25		0.1%
母同居(父の単身赴任)	R5		1.2%
	H30		2.3%
	H25		1.7%
父同居(ひとり親家庭)	R5		0.1%
	H30		0.1%
	H25		0.1%
母同居(ひとり親家庭)	R5		2.2%
	H30		1.9%
	H25		2.1%
祖父母同居	R5		5.3%
	H30		5.7%
	H25		7.8%
祖父母近居	R5		29.1%
	H30		28.9%
	H25		28.1%
その他	R5		11.9%
	H30		4.3%
	H25		4.4%
無回答	R5		2.6%
	H30		3.3%
	H25		2.7%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=408 / H30、H25実施なし		割合(%)	
父母同居	R5		88.2%
	H30		-
	H25		-
父同居(母の単身赴任)	R5		0.0%
	H30		-
	H25		-
母同居(父の単身赴任)	R5		2.2%
	H30		-
	H25		-
父同居(ひとり親家庭)	R5		0.5%
	H30		-
	H25		-
母同居(ひとり親家庭)	R5		3.9%
	H30		-
	H25		-
祖父母同居	R5		6.4%
	H30		-
	H25		-
祖父母近居	R5		23.5%
	H30		-
	H25		-
その他	R5		12.3%
	H30		-
	H25		-
無回答	R5		2.0%
	H30		-
	H25		-

8 お住まい



















お住まいは、就学前児童保護者では、「持ち家(一戸建て)」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート・借家」が 31.7%、「分譲マンション」が 16.7%となっています。過年度調査と比較すると、「持ち家(一戸建て)」と「分譲マンション」を合わせた『持ち家』の割合が増加傾向にあります。

低学年保護者では、「持ち家(一戸建て)」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート・借家」が 21.6%、「分譲マンション」が 19.9%となっています。



















全体では、就学前児童保護者よりも低学年保護者で『持ち家』の割合が高くなっています。

【問 8 お住まい】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合 (%)	
持ち家(一戸建て)	R5		46.3%
	H30		41.0%
	H25		40.5%
分譲マンション	R5		16.7%
	H30		19.5%
	H25		18.0%
賃貸マンション・アパート・借家	R5		31.7%
	H30		33.0%
	H25		34.2%
社宅・官舎・寮	R5		4.0%
	H30		5.3%
	H25		4.9%
その他	R5		0.8%
	H30		1.0%
	H25		1.9%
無回答	R5		0.5%
	H30		0.2%
	H25		0.4%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=408 / H30、H25実施なし		割合 (%)	
持ち家(一戸建て)	R5		55.9%
	H30		-
	H25		-
分譲マンション	R5		19.9%
	H30		-
	H25		-
賃貸マンション・アパート・借家	R5		21.6%
	H30		-
	H25		-
社宅・官舎・寮	R5		1.7%
	H30		-
	H25		-
その他	R5		1.0%
	H30		-
	H25		-
無回答	R5		0.0%
	H30		-
	H25		-






















9 国立市の居住期間

国立市の居住期間は、就学前児童保護者では、「5年～9年」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「3年～4年」が 18.8%、「1年～2年」が 15.3%となっています。






















低学年保護者では、「5年～9年」の割合が 32.1%と最も高く、次いで「10年～14年」が 26.2%、「15年以上」が 22.1%となっています。

【問 9 国立市の居住期間】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合 (%)	
1年未満	R5		3.2%
	H30		4.6%
	H25		8.2%
1年～2年	R5		15.3%
	H30		15.5%
	H25		15.8%
3年～4年	R5		18.8%
	H30		21.1%
	H25		20.3%
5年～9年	R5		35.2%
	H30		36.5%
	H25		31.9%
10年～14年	R5		13.8%
	H30		10.4%
	H25		11.7%
15年以上	R5		12.7%
	H30		11.5%
	H25		11.8%
無回答	R5		1.0%
	H30		0.4%
	H25		0.4%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=408 / H30、H25実施なし		割合 (%)	
1年未満	R5		3.7%
	H30		-
	H25		-
1年～2年	R5		6.9%
	H30		-
	H25		-
3年～4年	R5		9.1%
	H30		-
	H25		-
5年～9年	R5		32.1%
	H30		-
	H25		-
10年～14年	R5		26.2%
	H30		-
	H25		-
15年以上	R5		22.1%
	H30		-
	H25		-
無回答	R5		0.0%
	H30		-
	H25		-

第2章 育ちをめぐる環境

1 理想の子どもの人数

理想の子どもの人数は、就学前児童保護者では、「2人」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「3人」が 36.2%、「1人」が 4.6%となっています。

低学年保護者では、「2人」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「3人」が 36.8%、「1人」が 4.4%となっています。

【問 10 理想の子どもの人数】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=832	割合(%)
1人	4.6%
2人	51.9%
3人	36.2%
4人	3.7%
5人	1.6%
その他	1.0%
無回答	1.1%

〔低学年保護者〕

回答者数=408	割合(%)
1人	4.4%
2人	50.0%
3人	36.8%
4人	3.4%
5人	1.2%
その他	3.2%
無回答	1.0%

2 理想の子どもの数を持つための条件

理想の子どもの数を持つための条件は、就学前児童保護者では、「雇用や収入が安定すること」の割合が 86.2%と最も高く、次いで「働きながら子育てできる職場環境があること」が 79.6%、「家庭内に家事・育児の協力者がいること」が 73.9%となっています。

低学年保護者では、「雇用や収入が安定すること」の割合が 84.6%と最も高く、次いで「働きながら子育てできる職場環境があること」が 74.8%、「家庭内に家事・育児の協力者がいること」が 69.6%となっています。

【問 11 理想の子どもの数を持つための条件】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=832	割合(%)
雇用や収入が安定すること	86.2%
働きながら子育てできる職場環境があること	79.6%
子育てや教育にお金がかからないこと	69.1%
家庭内に家事・育児の協力者がいること	73.9%
家庭外に家事・育児の協力者がいること	54.6%
出産や育児について相談できる人が地域にいること	29.6%
地域に保育サービスが整うこと	61.9%
家がある程度広いこと	47.5%
高齢でないこと	37.5%
健康上の問題がないこと	68.4%
その他	2.9%
無回答	0.7%

〔低学年保護者〕

回答者数=408	割合(%)
雇用や収入が安定すること	84.6%
働きながら子育てできる職場環境があること	74.8%
子育てや教育にお金がかからないこと	69.1%
家庭内に家事・育児の協力者がいること	69.6%
家庭外に家事・育児の協力者がいること	49.8%
出産や育児について相談できる人が地域にいること	27.9%
地域に保育サービスが整うこと	53.2%
家がある程度広いこと	43.1%
高齢でないこと	37.3%
健康上の問題がないこと	69.4%
その他	2.9%
無回答	0.5%

3 子育てに影響を与えると思う環境

子育てに影響を与えると思う環境は、就学前児童保護者では、「家庭」の割合が 98.7%と最も高く、次いで「住環境」が 72.6%、「保育所」が 68.4%となっています。過年度調査と比較すると、すべての項目で増加傾向にあります。

低学年保護者では、「家庭」の割合が 98.0%と最も高く、次いで「小学校」が 92.9%、「住環境」が 65.2%となっています。

【問 12 子育てに影響を与えると思う環境】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合(%)	
家庭	R5		98.7%
	H30		95.1%
	H25		93.5%
祖父母	R5		40.1%
	H30		17.8%
	H25		-
地域住民 (地域)	R5		39.5%
	H30		26.6%
	H25		24.5%
住環境	R5		72.6%
	H30		-
	H25		-
保育所	R5		68.4%
	H30		40.7%
	H25		37.7%
幼稚園	R5		40.0%
	H30		29.6%
	H25		25.5%
認定こども園	R5		14.2%
	H30		4.6%
	H25		1.9%
その他	R5		3.6%
	H30		2.9%
	H25		2.8%
無回答	R5		0.6%
	H30		0.2%
	H25		0.4%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=408 / H30、H25実施なし		割合(%)	
家庭	R5		98.0%
	H30		-
	H25		-
祖父母	R5		31.6%
	H30		-
	H25		-
地域住民	R5		37.3%
	H30		-
	H25		-
住環境	R5		65.2%
	H30		-
	H25		-
小学校	R5		92.9%
	H30		-
	H25		-
学童保育所	R5		38.0%
	H30		-
	H25		-
その他	R5		6.4%
	H30		-
	H25		-
無回答	R5		0.0%
	H30		-
	H25		-



















4 親族・知人等子育て協力者の状況

親族・知人等子育て協力者の状況は、就学前児童保護者では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」割合が 16.6%、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」が 1.8%となっており、日常的に子育ての協力者がいる割合が 18.4%となっています。「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」割合は 60.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 11.1%となっています。過年度調査と比較すると、協力者は減少傾向にあり、「いずれもない」が平成 30 年度調査と比べて増加しています。



















低学年保護者では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」割合が 19.4%、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」が 2.9%となっており、日常的に子育ての協力者がいる割合が 22.3%となっています。また、「いずれもない」が 26.5%となっています。

【問 13 親族・知人等子育て協力者の状況】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合 (%)	
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	R5		16.6%
	H30		17.3%
	H25		22.4%
緊急時もしくは用事の際には 祖父母等の親族にみてもらえる	R5		60.6%
	H30		60.0%
	H25		53.6%
日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	R5		1.8%
	H30		1.8%
	H25		3.1%
緊急時もしくは用事の際には 子どもをみてもらえる友人・知人がいる	R5		11.1%
	H30		15.6%
	H25		15.7%
いずれもない	R5		21.6%
	H30		18.5%
	H25		18.9%
無回答	R5		1.2%
	H30		1.4%
	H25		2.3%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=408 / H30、H25実施なし		割合 (%)	
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	R5		19.4%
	H30		-
	H25		-
緊急時もしくは用事の際には 祖父母等の親族にみてもらえる	R5		48.8%
	H30		-
	H25		-
日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	R5		2.9%
	H30		-
	H25		-
緊急時もしくは用事の際には 子どもをみてもらえる友人・知人がいる	R5		18.9%
	H30		-
	H25		-
いずれもない	R5		26.5%
	H30		-
	H25		-
無回答	R5		0.5%
	H30		-
	H25		-

5 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの思い

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの思いは、就学前児童保護者では、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が44.4%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」が42.2%、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.6%となっています。過年度調査と比較すると、祖父母等への心配や心苦しみの割合が増加傾向にあります。

低学年保護者では、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が47.7%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」が38.3%、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が26.5%となっています。

【問 13-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの思い】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=612 / H30=669 / H25=554		割合 (%)	
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	R5		44.4%
	H30		41.6%
	H25		48.2%
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	R5		42.2%
	H30		37.5%
	H25		29.2%
親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	R5		29.6%
	H30		25.1%
	H25		26.0%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	R5		6.9%
	H30		6.4%
	H25		8.1%
その他	R5		5.1%
	H30		5.1%
	H25		5.1%
無回答	R5		0.7%
	H30		0.4%
	H25		0.5%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=264 / H30、H25実施なし		割合 (%)	
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	R5		47.7%
	H30		-
	H25		-
祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	R5		38.3%
	H30		-
	H25		-
親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	R5		26.5%
	H30		-
	H25		-
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	R5		8.7%
	H30		-
	H25		-
その他	R5		4.9%
	H30		-
	H25		-
無回答	R5		1.5%
	H30		-
	H25		-

6 友人・知人に子どもをみてもらうことの思い

友人・知人に子どもをみてもらうことの思いは、就学前児童保護者では、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 40.2%、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」が 25.8%となっています。過年度調査と比較すると、友人・知人への心苦しさや心配の割合が増加傾向にあります。

低学年保護者では、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」と「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」が 25.9%となっています。

【問 13-2 友人・知人に子どもをみてもらうことの思い】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=97 / H30=152 / H25=134		割合 (%)	
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	R5		46.4%
	H30		38.8%
	H25		41.0%
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	R5		25.8%
	H30		7.2%
	H25		8.2%
親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	R5		40.2%
	H30		38.2%
	H25		29.9%
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	R5		1.0%
	H30		3.3%
	H25		1.5%
その他	R5		3.1%
	H30		13.8%
	H25		13.4%
無回答	R5		1.0%
	H30		1.3%
	H25		4.5%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=85 / H30、H25実施なし		割合 (%)	
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	R5		47.1%
	H30		-
	H25		-
友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である	R5		25.9%
	H30		-
	H25		-
親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	R5		25.9%
	H30		-
	H25		-
子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	R5		0.0%
	H30		-
	H25		-
その他	R5		8.2%
	H30		-
	H25		-
無回答	R5		3.5%
	H30		-
	H25		-

7 子育てに関して気軽に相談できる人・場所

子育てに関して気軽に相談できる人・場所は、就学前児童保護者では、「いる／ある」が 88.9%、「いない／ない」が 8.7%となっています。過年度調査と比較すると、「いない／ない」の割合が増加傾向にあります。低学年保護者では、「いる／ある」が 83.8%、「いない／ない」が 13.7%となっています。全体では、就学前児童保護者よりも低学年保護者で「いない／ない」の割合が高くなっています。

【問 14 子育てに関して気軽に相談できる人・場所】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合 (%)	
いる／ある	R5		88.9%
	H30		91.1%
	H25		90.8%
いない／ない	R5		8.7%
	H30		8.0%
	H25		4.9%
無回答	R5		2.4%
	H30		0.9%
	H25		4.3%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=408 / H30=489 / H25=451		割合 (%)	
いる／ある	R5		83.8%
	H30		-
	H25		-
いない／ない	R5		13.7%
	H30		-
	H25		-
無回答	R5		2.5%
	H30		-
	H25		-

8 子育てに関して気軽に相談できる先

子育てに関して気軽に相談できる先は、就学前児童保護者では、「祖父母等の親族」の割合が 76.2%と最も高く、次いで「友人や知人(ママ友・パパ友含む)」が75.9%、「保育士」が43.1%、「かかりつけの医師」が23.8%となっています。過年度調査と比較すると、上位2つが減少傾向にあり、「保育士」や「かかりつけの医師」は増加傾向にあります。

低学年保護者では、「友人や知人(ママ友・パパ友含む)」の割合が80.7%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が69.9%、「学校の先生」が35.7%、「かかりつけの医師」が15.5%となっています。

【問 14-1 子育てに関して気軽に相談できる先】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=740 / H30=831 / H25=701		割合(%)	
祖父母等の親族	R5		76.2%
	H30		75.3%
	H25		79.5%
友人や知人(ママ友・パパ友含む)	R5		75.9%
	H30		77.4%
	H25		77.7%
近所の人	R5		9.6%
	H30		11.0%
	H25		13.8%
子育て支援施設(児童館等・矢川プラス) (子育て支援施設(子ども家庭支援センター・児童館等))	R5		14.3%
	H30		11.1%
	H25		11.7%
保健センター	R5		11.9%
	H30		6.3%
	H25		7.4%
保育士	R5		43.1%
	H30		32.9%
	H25		27.7%
幼稚園教諭	R5		11.9%
	H30		19.1%
	H25		14.1%
SNS	R5		6.5%
	H30		-
	H25		-
民生委員・児童委員	R5		0.3%
	H30		0.0%
	H25		0.6%
かかりつけの医師	R5		23.8%
	H30		20.5%
	H25		20.0%
市役所の子育て関連担当窓口(くにサポ等)	R5		2.2%
	H30		0.2%
	H25		0.4%
国立市教育相談室	R5		1.8%
	H30		-
	H25		-
その他	R5		7.7%
	H30		3.9%
	H25		4.0%
無回答	R5		0.1%
	H30		0.4%
	H25		0.1%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=342 / H30、H25実施なし		割合(%)	
祖父母等の親族	R5		69.9%
	H30		-
	H25		-
友人や知人(ママ友・パパ友含む)	R5		80.7%
	H30		-
	H25		-
近所の人	R5		10.5%
	H30		-
	H25		-
子育て支援施設(児童館等・矢川プラス)	R5		6.1%
	H30		-
	H25		-
保健センター	R5		3.5%
	H30		-
	H25		-
保育士	R5		10.2%
	H30		-
	H25		-
幼稚園教諭	R5		4.7%
	H30		-
	H25		-
SNS	R5		4.1%
	H30		-
	H25		-
学校の先生	R5		35.7%
	H30		-
	H25		-
民生委員・児童委員	R5		1.2%
	H30		-
	H25		-
かかりつけの医師	R5		15.5%
	H30		-
	H25		-
市役所の子育て関連担当窓口(くにサポ等)	R5		2.9%
	H30		-
	H25		-
国立市教育相談室	R5		2.0%
	H30		-
	H25		-
その他	R5		8.2%
	H30		-
	H25		-
無回答	R5		0.3%
	H30		-
	H25		-

第3章 ひとり親家庭

1 ひとり親家庭の困難

ひとり親家庭の困難は、就学前児童保護者では、「生活費や子どもの養育費の不足」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「自分が病気になったときに、子どもの面倒をみてくれる人がいない」が 57.9%、「ひとり親家庭に対する社会的偏見や無理解」が 47.4%となっています。

低学年保護者では、「生活費や子どもの養育費の不足」と「自分が病気になったときに、子どもの面倒をみてくれる人がいない」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「ひとり親家庭に対する社会的偏見や無理解」が 38.9%となっています。

【問 15 ひとり親家庭の困難】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=19	割合 (%)	
生活費や子どもの養育費の不足		68.4%
子どもの養育費の支払いが滞る(支払われない)		15.8%
雇用や収入の不安定や就職先が決まらない		31.6%
自分が病気になったときに、子どもの面倒をみてくれる人がいない		57.9%
炊事洗濯等の日常の家事ができない		26.3%
保育所の送迎ができない		21.1%
子どもの育て方やしつけに関する悩み		42.1%
悩みを相談できる人がいない		10.5%
ひとり親家庭に関する諸制度がわからない		15.8%
ひとり親家庭に対する社会的偏見や無理解		47.4%
その他		10.5%
無回答		0.0%

〔低学年保護者〕

回答者数=18	割合 (%)	
生活費や子どもの養育費の不足		55.6%
子どもの養育費の支払いが滞る(支払われない)		33.3%
雇用や収入の不安定や就職先が決まらない		22.2%
自分が病気になったときに、子どもの面倒をみてくれる人がいない		55.6%
炊事洗濯等の日常の家事ができない		5.6%
保育所の送迎ができない		5.6%
子どもの育て方やしつけに関する悩み		33.3%
悩みを相談できる人がいない		11.1%
ひとり親家庭に関する諸制度がわからない		22.2%
ひとり親家庭に対する社会的偏見や無理解		38.9%
その他		27.8%
無回答		0.0%

2 養育費の取り決めの状況

養育費の取り決めの状況は、「養育費の取り決めをし、文書を作成している」と「養育費の取り決めをしたが、文書はない」を合わせた『取り決めをした』の割合が、就学前児童保護者の母親で 55.5%、就学前児童保護者の父親で 0.0%、低学年保護者の母親で 68.8%、低学年保護者の父親で 0.0%となっています。

【問 15-1 養育費の取り決めの状況】

〔就学前児童保護者〕

	(1) 母子世帯の母親	(2) 父子世帯の父親
	回答者数=18	回答者数=1
養育費の取り決めをし、文書を作成している	44.4%	0.0%
養育費の取り決めをしたが、文書はない	11.1%	0.0%
養育費の取り決めをしていない	44.4%	100.0%
死別のため取り決めはない	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%

〔低学年保護者〕

	(1) 母子世帯の母親	(2) 父子世帯の父親
	回答者数=16	回答者数=2
養育費の取り決めをし、文書を作成している	43.8%	0.0%
養育費の取り決めをしたが、文書はない	25.0%	0.0%
養育費の取り決めをしていない	12.5%	0.0%
死別のため取り決めはない	18.8%	0.0%
無回答	0.0%	100.0%

3 養育費の受け取り状況

養育費の受け取り状況は、「現在も養育費を受け取っている」の割合が、就学前児童保護者の母親で 33.3%、就学前児童保護者の父親で 0.0%、低学年保護者の母親で 12.5%、低学年保護者の父親で 0.0%となっています。

【問 15-2 養育費の受け取り状況】

〔就学前児童保護者〕

	(1) 母子世帯の母親	(2) 父子世帯の父親
	回答者数=18	回答者数=1
現在も養育費を受け取っている	33.3%	0.0%
養育費を受け取ったことがある	5.6%	0.0%
養育費を受け取ったことがない	44.4%	100.0%
死別のため養育費はない	0.0%	0.0%
無回答	16.7%	0.0%

〔低学年保護者〕

	(1) 母子世帯の母親	(2) 父子世帯の父親
	回答者数=16	回答者数=2
現在も養育費を受け取っている	12.5%	0.0%
養育費を受け取ったことがある	12.5%	0.0%
養育費を受け取ったことがない	31.3%	100.0%
死別のため養育費はない	12.5%	0.0%
無回答	31.3%	0.0%

第4章 保護者の就労状況

1 母親の就労状況

(1) 母親の現在の就労状況


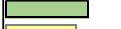
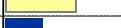


















母親の現在の就労状況は、就学前児童保護者では、「フルタイムで就労している」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 22.9%、「パート・アルバイト等で就労している」が 22.3%となっています。過年度調査と比較すると、「フルタイム」と「パート・アルバイト等」の「産休・育休・介護休業中である」の割合が増加しています。また、全体的に就労しているが増加し、就労していないが減少しています。

低学年保護者では、「フルタイムで就労している」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が 30.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 22.7%となっています。過年度調査と比較すると、「フルタイムで就労している」の割合が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が減少しています。















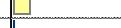






全体では、就労している割合が増加しています。

【問 16(1) 母親の現在の就労状況】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=831 / H30=912 / H25=772		割合(%)	
フルタイムで就労している	R5		38.4%
	H30		28.6%
	H25		24.6%
フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	R5		12.9%
	H30		11.4%
	H25		7.3%
パート・アルバイト等で就労している	R5		22.3%
	H30		18.9%
	H25		18.0%
パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	R5		2.3%
	H30		1.2%
	H25		2.2%
以前は就労していたが、現在は就労していない	R5		22.9%
	H30		37.0%
	H25		43.1%
これまで就労したことがない	R5		0.6%
	H30		2.2%
	H25		3.1%
無回答	R5		0.7%
	H30		0.8%
	H25		1.7%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=406 / H30=485 / H25=451		割合(%)	
フルタイムで就労している	R5		41.4%
	H30		30.1%
	H25		23.9%
フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	R5		2.5%
	H30		1.6%
	H25		1.1%
パート・アルバイト等で就労している	R5		30.0%
	H30		33.2%
	H25		26.4%
パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	R5		0.5%
	H30		0.4%
	H25		0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	R5		22.7%
	H30		29.7%
	H25		40.6%
これまで就労したことがない	R5		2.2%
	H30		4.3%
	H25		6.4%
無回答	R5		0.7%
	H30		0.6%
	H25		1.6%

(2) 母親の就労日数・時間

母親の1週間当たりの就労日数は、就学前児童保護者では、「5日」の割合が72.2%と最も高く、次いで「4日」が12.2%、「3日」が6.2%となっています。

低学年保護者では、「5日」の割合が60.9%と最も高く、次いで「4日」が12.3%、「3日」が10.3%となっています。

母親の1日当たりの就労時間は、就学前児童保護者では、「8～9時間」の割合が48.7%と最も高く、次いで「6～7時間」が30.5%、「4～5時間」が6.0%となっています。

低学年保護者では、「8～9時間」の割合が36.4%と最も高く、次いで「6～7時間」が30.8%、「4～5時間」が15.9%となっています。

全体では、低学年保護者よりも就学前児童保護者の就労日数・時間が多くなっています。

【問 16(1)-1 母親の就労日数(1週間あたり)・時間(1日あたり)】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=630	割合(%)	
1日以下		1.3%
2日		1.9%
3日		6.2%
4日		12.2%
5日		72.2%
6日以上		3.8%
無回答		2.4%

〔低学年保護者〕

回答者数=302	割合(%)	
1日以下		1.7%
2日		3.0%
3日		10.3%
4日		12.3%
5日		60.9%
6日以上		10.6%
無回答		1.3%

回答者数=630	割合(%)	
4時間未満		3.5%
4～5時間		6.0%
6～7時間		30.5%
8～9時間		48.7%
10～11時間		1.1%
12時間以上		1.3%
無回答		8.9%

回答者数=302	割合(%)	
4時間未満		5.3%
4～5時間		15.9%
6～7時間		30.8%
8～9時間		36.4%
10～11時間		6.6%
12時間以上		2.0%
無回答		3.0%

(3) 母親の主な勤務場所

母親の主な勤務場所は、就学前児童保護者では、「主に会社に出社」の割合が73.7%と最も高く、次いで「主に自宅で勤務」が14.0%、「出社と在宅ワークが半々くらい」が10.0%となっています。

低学年保護者では、「主に会社に出社」の割合が75.2%と最も高く、次いで「主に自宅で勤務」と「出社と在宅ワークが半々くらい」が10.9%となっています。

【問 16(1)-2 母親の主な勤務場所】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=630	割合(%)	
主に会社に出社		73.7%
主に自宅で勤務		14.0%
出社と在宅ワークが半々くらい		10.0%
その他		1.4%
無回答		1.0%

〔低学年保護者〕

回答者数=302	割合(%)	
主に会社に出社		75.2%
主に自宅で勤務		10.9%
出社と在宅ワークが半々くらい		10.9%
その他		2.0%
無回答		1.0%

(4) 母親の出勤／始業時刻、帰宅／終業時刻

母親の出社の場合の出勤時刻は、就学前児童保護者では、「7時台」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「8時台」が 35.6%となっています。帰宅時刻は、就学前児童保護者では、「18～19 時台」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「16～17 時台」が 31.0%となっています。

低学年保護者では、出勤時刻は、「8時台」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「7時台」が 27.2%となっています。帰宅時刻は、「18～19 時台」の割合が 41.4%と最も高く、次いで「16～17 時台」が 24.5%となっています。

母親の在宅ワークの場合の始業時刻は、就学前児童保護者では、「9時台」の割合が 18.3%と最も高くなっています。終業時刻は、「16～17 時台」が 18.9%と最も高くなっています。

低学年保護者では、始業時刻は、「9時台」の割合が 15.9%と最も高くなっています。終業時刻は、「16～17 時台」が 14.6%と最も高くなっています。

【問 16(1)-3 母親の出勤／始業時刻、帰宅／終業時刻】

〔就学前児童保護者〕

母親の出勤時刻：出社の場合	
回答者数=630	割合(%)
6時より前	0.6%
6時台	4.6%
7時台	38.3%
8時台	35.6%
9時台	8.3%
10時以降	3.2%
無回答	9.5%

母親の帰宅時刻：出社の場合	
回答者数=630	割合(%)
12時より前	0.2%
12時～15時台	6.5%
16時～17時台	31.0%
18時～19時台	41.6%
20時～21時台	3.5%
22時以降	1.0%
無回答	16.3%

母親の始業時刻：在宅ワークの場合	
回答者数=630	割合(%)
6時より前	0.0%
6時台	0.0%
7時台	0.8%
8時台	7.9%
9時台	18.3%
10時以降	4.9%
無回答	68.1%

母親の終業時刻：在宅ワークの場合	
回答者数=630	割合(%)
12時より前	0.3%
12時～15時台	2.2%
16時～17時台	18.9%
18時～19時台	6.7%
20時～21時台	0.6%
22時以降	0.6%
無回答	70.6%

〔低学年保護者〕

母親の出勤時刻：出社の場合	
回答者数=302	割合(%)
6時より前	0.3%
6時台	4.0%
7時台	27.2%
8時台	43.4%
9時台	10.6%
10時以降	5.0%
無回答	9.6%

母親の帰宅時刻：出社の場合	
回答者数=302	割合(%)
12時より前	1.3%
12時～15時台	11.9%
16時～17時台	24.5%
18時～19時台	41.4%
20時～21時台	3.0%
22時以降	0.3%
無回答	17.5%

母親の始業時刻：在宅ワークの場合	
回答者数=302	割合(%)
6時より前	1.0%
6時台	0.0%
7時台	0.7%
8時台	10.6%
9時台	15.9%
10時以降	4.3%
無回答	67.5%

母親の終業時刻：在宅ワークの場合	
回答者数=302	割合(%)
12時より前	1.7%
12時～15時台	3.3%
16時～17時台	14.6%
18時～19時台	7.0%
20時～21時台	1.7%
22時以降	0.3%
無回答	71.5%
















(5) 母親のフルタイムへの転換希望

母親のフルタイムへの転換希望は、就学前児童保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 23.0%、「フルタイムへの転換の見込みがある」が 9.8%となっています。過年度調査と比較すると、いずれの時点でも「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が最も高くなっています。
















低学年保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 25.8%、「フルタイムへの転換の見込みがある」が 8.9%となっています。過年度調査と比較すると、いずれの時点でも「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が最も高くなっています。

【問 16(1)-4 母親のフルタイムへの転換希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=204 / H30=183 / H25=156		割合 (%)	
フルタイムへの転換の見込みがある	R5		9.8%
	H30		8.2%
	H25		14.1%
フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	R5		23.0%
	H30		26.2%
	H25		21.8%
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	R5		53.4%
	H30		47.0%
	H25		50.6%
パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	R5		3.9%
	H30		1.1%
	H25		2.6%
無回答	R5		9.8%
	H30		17.5%
	H25		10.9%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=124 / H30=163 / H25=119		割合 (%)	
フルタイムへの転換の見込みがある	R5		8.9%
	H30		12.9%
	H25		9.2%
フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	R5		25.8%
	H30		17.2%
	H25		19.3%
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	R5		47.6%
	H30		59.5%
	H25		49.6%
パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	R5		5.6%
	H30		2.5%
	H25		7.6%
無回答	R5		12.1%
	H30		8.0%
	H25		14.3%













(6) 就労していない母親の就労希望

就労していない母親の就労希望は、就学前児童保護者では、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 24.1%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 23.1%となっています。過年度調査と比較すると、いずれの時点でも「1年より先に就労したい」の割合が最も高くなっています。













低学年保護者では、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が 29.7%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 24.8%となっています。過年度調査と比較すると、平成 30 年度調査から、「子育てや家事などに専念したい」の割合が増加し、「1年より先に就労したい」が減少しています。

【問 16(1)-5 就労していない母親の就労希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=195 / H30=357 / H25=357		割合(%)	
子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	R5		24.1%
	H30		21.6%
	H25		26.6%
1年より先、一番下の子どもが()歳に なったところに就労したい	R5		46.7%
	H30		50.1%
	H25		45.1%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	R5		23.1%
	H30		19.0%
	H25		18.2%
無回答	R5		6.2%
	H30		9.2%
	H25		10.1%

〔低学年保護者〕







回答者数: R5=101 / H30=165 / H25=212		割合(%)	
子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	R5		38.6%
	H30		30.9%
	H25		34.9%
1年より先、一番下の子どもが()歳に なったところに就労したい	R5		29.7%
	H30		37.0%
	H25		28.8%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	R5		24.8%
	H30		21.2%
	H25		21.2%
無回答	R5		6.9%
	H30		10.9%
	H25		15.1%

「1年より先に就労したい」の就労希望時期は、就学前児童保護者では、一番下の子が「6～8歳」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「4～5歳」が 23.1%、「0～3歳」が 17.6%となっています。







低学年保護者では、「6～8歳」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「12歳以上」が 23.3%、「9～11歳」が 16.7%となっています。

【問 16(1)-5 「1年より先に就労したい」の就労希望時期】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=91	割合(%)	
0歳～3歳		17.6%
4歳～5歳		23.1%
6歳～8歳		41.8%
9歳～11歳		9.9%
12歳以上		0.0%
無回答		7.7%

〔低学年保護者〕

回答者数=30	割合(%)	
0歳～3歳		3.3%
4歳～5歳		0.0%
6歳～8歳		46.7%
9歳～11歳		16.7%
12歳以上		23.3%
無回答		10.0%

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の希望する就労形態は、就学前児童保護者では、「パートタイム・アルバイト等」の割合が88.9%、「フルタイム」が8.9%となっています。

低学年保護者では、「パートタイム・アルバイト等」の割合が80.0%、「フルタイム」が12.0%となっています。

【問 16(1)-5 「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の希望する就労形態】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=45	割合(%)	
フルタイム		8.9%
パートタイム・アルバイト等		88.9%
無回答		2.2%

〔低学年保護者〕

回答者数=25	割合(%)	
フルタイム		12.0%
パートタイム・アルバイト等		80.0%
無回答		8.0%

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の希望する就労日数は、就学前児童保護者では、「4日」の割合が35.6%と最も高く、次いで「3日」が28.9%、「5日」が20.0%となっています。

低学年保護者では、「3日」の割合が48.0%と最も高く、次いで「4日」が28.0%、「5日」が8.0%となっています。

1日当たりの就労時間は、就学前児童保護者では、「4～5時間」の割合が51.1%と最も高く、次いで「6～7時間」が24.4%、「4時間未満」が11.1%となっています。

低学年保護者では、「4～5時間」の割合が52.0%と最も高く、次いで「6～7時間」が32.0%、「4時間未満」が8.0%となっています。

【問 16(1)-5 「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の希望する就労形態】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=45	割合(%)	
1日以下		0.0%
2日		6.7%
3日		28.9%
4日		35.6%
5日		20.0%
6日以上		0.0%
無回答		8.9%

〔低学年保護者〕

回答者数=25	割合(%)	
1日以下		4.0%
2日		0.0%
3日		48.0%
4日		28.0%
5日		8.0%
6日以上		4.0%
無回答		8.0%

回答者数=45	割合(%)	
4時間未満		11.1%
4～5時間		51.1%
6～7時間		24.4%
8～9時間		6.7%
10～11時間		0.0%
12時間以上		0.0%
無回答		6.7%

回答者数=25	割合(%)	
4時間未満		8.0%
4～5時間		52.0%
6～7時間		32.0%
8～9時間		0.0%
10～11時間		0.0%
12時間以上		0.0%
無回答		8.0%

2 父親の就労状況






















(1) 父親の現在の就労状況

父親の現在の就労状況は、就学前児童保護者では、「フルタイムで就労している」の割合が 93.4%と最も高くなっています。過年度調査と比較すると、「フルタイムで就労している」の割合が9割以上で推移しています。また、「フルタイム」と「パート・アルバイト等」の「産休・育休・介護休業中である」の割合が増加しています。






















低学年保護者では、「フルタイムで就労している」の割合が 93.4%と最も高くなっています。過年度調査と比較すると、「フルタイムで就労している」の割合が9割以上で推移しています。

【問 16(2) 父親の現在の就労状況】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=814 / H30=891 / H25=772		割合(%)	
フルタイムで就労している	R5		93.4%
	H30		94.9%
	H25		91.6%
フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	R5		1.1%
	H30		0.7%
	H25		0.5%
パート・アルバイト等で就労している	R5		0.7%
	H30		0.2%
	H25		1.2%
パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	R5		0.1%
	H30		0.0%
	H25		0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	R5		0.2%
	H30		0.6%
	H25		0.3%
これまで就労したことがない	R5		0.0%
	H30		0.2%
	H25		0.1%
無回答	R5		4.4%
	H30		3.4%
	H25		6.3%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=392 / H30=463 / H25実施なし		割合(%)	
フルタイムで就労している	R5		93.4%
	H30		93.7%
	H25		-
フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	R5		0.3%
	H30		0.0%
	H25		-
パート・アルバイト等で就労している	R5		0.5%
	H30		0.9%
	H25		-
パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	R5		0.0%
	H30		0.0%
	H25		-
以前は就労していたが、現在は就労していない	R5		0.3%
	H30		0.9%
	H25		-
これまで就労したことがない	R5		0.0%
	H30		0.2%
	H25		-
無回答	R5		5.6%
	H30		4.3%
	H25		-

(2) 父親の就労日数・時間

父親の就労日数は、就学前児童保護者では、「5日」の割合が80.9%と最も高く、次いで「6日以上」が16.5%となっています。

低学年保護者では、「5日」の割合が79.1%と最も高く、次いで「6日以上」が17.1%となっています。

父親の1日当たりの就労時間は、就学前児童保護者では、「8～9時間」の割合が42.9%と最も高く、次いで「10～11時間」が14.0%、「12時間以上」が13.8%となっています。

低学年保護者では、「8～9時間」の割合が48.8%と最も高く、次いで「10～11時間」が30.1%、「12時間以上」が14.1%となっています。

全体では、低学年保護者よりも就学前児童保護者の就労日数・時間が多くなっています。

【問 16(2)-1 父親の就労日数・時間】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=776	割合(%)	
1日以下		0.0%
2日		0.0%
3日		1.0%
4日		0.6%
5日		80.9%
6日以上		16.5%
無回答		0.9%

〔低学年保護者〕

回答者数=369	割合(%)	
1日以下		0.0%
2日		0.0%
3日		0.5%
4日		1.6%
5日		79.1%
6日以上		17.1%
無回答		1.6%

回答者数=776	割合(%)	
4時間未満		0.8%
4～5時間		0.0%
6～7時間		1.0%
8～9時間		42.9%
10～11時間		14.0%
12時間以上		13.8%
無回答		27.4%

回答者数=369	割合(%)	
4時間未満		0.0%
4～5時間		0.5%
6～7時間		2.4%
8～9時間		48.8%
10～11時間		30.1%
12時間以上		14.1%
無回答		4.1%

(3) 父親の主な勤務場所

父親の主な勤務場所は、就学前児童保護者では、「主に会社に出社」の割合が72.7%と最も高く、次いで「出社と在宅ワークが半々くらい」が12.4%、「主に自宅で勤務」が10.6%となっています。

低学年保護者では、「主に会社に出社」の割合が71.3%と最も高く、次いで「出社と在宅ワークが半々くらい」が13.8%、「主に自宅で勤務」が11.1%となっています。

【問 16(2)-2 父親の主な勤務場所】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=776	割合(%)	
主に会社に出社		72.7%
主に自宅で勤務		10.6%
出社と在宅ワークが半々くらい		12.4%
その他		3.5%
無回答		0.9%

〔低学年保護者〕

回答者数=369	割合(%)	
主に会社に出社		71.3%
主に自宅で勤務		11.1%
出社と在宅ワークが半々くらい		13.8%
その他		2.2%
無回答		1.6%

(4) 父親の出勤／始業時刻、帰宅／終業時刻

父親の出社の場合の出勤時刻は、就学前児童保護者では、「7時台」の割合が 37.2%と最も高く、次いで「8時台」が 25.4%となっています。帰宅時刻は、「18～19 時台」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「20～21 時台」が 30.5%となっています。

低学年保護者では、出勤時刻は、「7時台」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「8時台」が 21.7%となっています。帰宅時刻は、「20～21 時台」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「18～19 時台」が 26.3%となっています。

父親の在宅ワークの場合の始業時刻は、就学前児童保護者では、「9時台」の割合が 16.1%と最も高くなっています。終業時刻は、「18～19 時台」が 15.5%と最も高くなっています。

低学年保護者では、始業時刻は、「8時台」の割合が 17.9%と最も高くなっています。終業時刻は、「18～19 時台」が 16.0%と最も高くなっています。

【問 16(2)-3 父親の出勤／始業時刻、帰宅／終業時刻】

〔就学前児童保護者〕

父親の出勤時刻：出社の場合	
回答者数=776	割合(%)
6時より前	5.4%
6時台	13.8%
7時台	37.2%
8時台	25.4%
9時台	6.6%
10時以降	2.7%
無回答	8.9%

父親の帰宅時刻：出社の場合	
回答者数=776	割合(%)
12時より前	5.4%
12時～15時台	0.9%
16時～17時台	4.4%
18時～19時台	32.6%
20時～21時台	30.5%
22時以降	5.8%
無回答	20.4%

父親の始業時刻：在宅ワークの場合	
回答者数=776	割合(%)
6時より前	0.1%
6時台	0.3%
7時台	1.8%
8時台	11.1%
9時台	16.1%
10時以降	4.1%
無回答	66.5%

父親の終業時刻：在宅ワークの場合	
回答者数=776	割合(%)
12時より前	0.3%
12時～15時台	0.1%
16時～17時台	6.4%
18時～19時台	15.5%
20時～21時台	5.7%
22時以降	1.8%
無回答	70.2%

〔低学年保護者〕

父親の出勤時刻：出社の場合	
回答者数=369	割合(%)
6時より前	6.2%
6時台	13.3%
7時台	39.0%
8時台	21.7%
9時台	5.7%
10時以降	4.1%
無回答	10.0%

父親の帰宅時刻：出社の場合	
回答者数=369	割合(%)
12時より前	4.6%
12時～15時台	0.8%
16時～17時台	4.6%
18時～19時台	26.3%
20時～21時台	27.9%
22時以降	10.0%
無回答	25.7%

父親の始業時刻：在宅ワークの場合	
回答者数=369	割合(%)
6時より前	0.8%
6時台	0.3%
7時台	1.9%
8時台	17.9%
9時台	15.2%
10時以降	3.0%
無回答	61.0%

父親の終業時刻：在宅ワークの場合	
回答者数=369	割合(%)
12時より前	1.1%
12時～15時台	0.3%
16時～17時台	8.7%
18時～19時台	16.0%
20時～21時台	7.0%
22時以降	1.6%
無回答	65.3%

(5) 父親のフルタイムへの転換希望

父のフルタイムへの転換希望は、就学前児童保護者では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が3名と最も多く、次いで「フルタイムへの転換の見込みがある」と「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が各1名となっています。

低学年保護者では、2名とも「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」となっています。

【問 16(2)-4 父親のフルタイムへの転換希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=7 / H30=2 / H25=9		割合 (%)	
フルタイムへの転換の見込みがある	R5		14.3%
	H30		50.0%
	H25		33.3%
フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	R5		0.0%
	H30		50.0%
	H25		11.1%
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	R5		42.9%
	H30		0.0%
	H25		33.3%
パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	R5		14.3%
	H30		0.0%
	H25		0.0%
無回答	R5		28.6%
	H30		0.0%
	H25		22.2%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=2 / H30=4 / H25=5		割合 (%)	
フルタイムへの転換の見込みがある	R5		0.0%
	H30		25.0%
	H25		20.0%
フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	R5		100.0%
	H30		25.0%
	H25		40.0%
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	R5		0.0%
	H30		50.0%
	H25		40.0%
パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	R5		0.0%
	H30		0.0%
	H25		0.0%
無回答	R5		0.0%
	H30		0.0%
	H25		0.0%

(6) 就労していない父親の就労希望

就労していない父親の就労希望は、就学前児童保護者では、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が各1名となっています。

低学年保護者では、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が1名となっています。

【問 16(2)-5 就労していない父親の就労希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=2 / H30=7 / H25=3		割合(%)	
子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	R5		50.0%
	H30		14.3%
	H25		0.0%
1年より先、一番下の子どもが()歳になった ところに就労したい	R5		0.0%
	H30		14.3%
	H25		0.0%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	R5		50.0%
	H30		14.3%
	H25		66.7%
無回答	R5		0.0%
	H30		57.1%
	H25		33.3%

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=1 / H30=5 / H25=5		割合(%)	
子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	R5		0.0%
	H30		20.0%
	H25		20.0%
1年より先、一番下の子どもが()歳になった ところに就労したい	R5		100.0%
	H30		0.0%
	H25		0.0%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	R5		0.0%
	H30		40.0%
	H25		60.0%
無回答	R5		0.0%
	H30		40.0%
	H25		20.0%

「1年より先に就労したい」の就労希望時期は、就学前児童保護者では、該当者がいません。
低学年保護者では、「6～8歳」が1名となっています。

【問 16(2)-5 「1年より先に就労したい」の就労希望時期】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=0	割合(%)
0歳～3歳	0.0%
4歳～5歳	0.0%
6歳～8歳	0.0%
9歳～11歳	0.0%
12歳以上	0.0%
無回答	0.0%

〔低学年保護者〕

回答者数=1	割合(%)
0歳～3歳	0.0%
4歳～5歳	0.0%
6歳～8歳	100.0%
9歳～11歳	0.0%
12歳以上	0.0%
無回答	0.0%

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の希望する就労形態は、就学前児童保護者では、「フルタイム」が1名なっています。

低学年保護者では、該当者がいません。

【問 16(2)-5 「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の希望する就労形態】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=1	割合(%)
フルタイム	100.0%
パートタイム・アルバイト等	0.0%
無回答	0.0%

〔低学年保護者〕

回答者数=0	割合(%)
フルタイム	0.0%
パートタイム・アルバイト等	0.0%
無回答	0.0%

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の希望する就労日数は、就学前児童保護者では、「5日」が1名となっています。1日当たりの就労時間は、「8～9時間」となっています。

低学年保護者では、該当者がいません。

【問 16(2)-5 「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」の希望する就労形態】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=1	割合(%)
1日以下	0.0%
2日	0.0%
3日	0.0%
4日	0.0%
5日	100.0%
6日以上	0.0%
無回答	0.0%

〔低学年保護者〕

回答者数=0	割合(%)
1日以下	0.0%
2日	0.0%
3日	0.0%
4日	0.0%
5日	0.0%
6日以上	0.0%
無回答	0.0%

回答者数=1	割合(%)
4時間未満	0.0%
4～5時間	0.0%
6～7時間	0.0%
8～9時間	100.0%
10～11時間	0.0%
12時間以上	0.0%
無回答	0.0%

回答者数=0	割合(%)
4時間未満	0.0%
4～5時間	0.0%
6～7時間	0.0%
8～9時間	0.0%
10～11時間	0.0%
12時間以上	0.0%
無回答	0.0%

第5章 平日の定期的な教育・保育事業の利用【就学前児童のみ】

1 定期的な教育・保育事業の利用状況と利用したい場所

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している(市内)」の割合が73.8%、「利用している(市外)」が5.5%となっており、2つを合わせた『利用している』が79.3%となっています。過年度調査と比較すると、『利用している』割合は増加傾向にあり、平成30年度調査と比較して3.1ポイント増加しています。

教育・保育事業を利用したい場所は、「国立市内」が90.6%、「他の市区町村」が3.1%となっています。平成30年度調査と比較すると、「国立市内」の割合が増加しています。

利用状況と希望を比較すると、「国立市内」は利用状況よりも希望が上回っています。

【問17 定期的な教育・保育事業の利用状況】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合(%)	
利用している(市内) (市内・市外)	R5		73.8%
	H30		67.8%
	H25		65.8%
利用している(市外) (市内、市外の区分なし)	R5		5.5%
	H30		8.4%
	H25		-
利用していない	R5		20.0%
	H30		23.8%
	H25		32.8%
無回答	R5		0.7%
	H30		0.0%
	H25		1.6%

【問18-1 教育・保育事業を利用したい場所】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912		割合(%)	
国立市内	R5		90.6%
	H30		88.5%
他の市区町村	R5		3.1%
	H30		4.1%
無回答	R5		6.3%
	H30		7.5%

2 利用中及び利用希望の定期的な教育・保育事業

利用中の定期的な教育・保育事業は、「認可保育所」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「幼稚園」が 22.9%、「幼稚園の預かり保育」が 5.0%となっています。過年度調査と比較すると、「認可保育所」は増加傾向にあり、「幼稚園」と「幼稚園の預かり保育」は減少傾向にあります。

利用希望の定期的な教育・保育事業は、「認可保育所」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「幼稚園」が 35.2%、「幼稚園の預かり保育」が 24.3%となっています。

利用状況と利用希望を比較すると、「認可保育所」では希望よりも利用状況が上回り、「その他認可外の保育施設」では希望と利用状況が同等、それ以外では利用状況よりも希望が上回っています。

【問 17-1 利用中の定期的な教育・保育事業】

【問 18 利用希望の定期的な教育・保育事業】

〔就学前児童保護者〕

		問17-1 利用している教育・保育事業		問18 利用希望の教育・保育事業	
		回答者数: R5=660 / H30=618 / H25=508		回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772	
認可保育所	R5		60.5%		50.6%
	H30		57.8%		47.3%
	H25		50.0%		56.0%
幼稚園	R5		22.9%		35.2%
	H30		33.3%		40.5%
	H25		36.6%		52.5%
幼稚園の預かり保育	R5		5.0%		24.3%
	H30		7.8%		22.1%
	H25		8.7%		25.0%
認定こども園の幼稚園機能部分	R5		1.7%		6.3%
	H30		2.9%		4.7%
	H25		0.4%		15.5%
認定こども園の保育所機能部分	R5		3.0%		7.9%
	H30		2.1%		6.9%
	※ H25		-		-
家庭的保育	R5		0.9%		1.7%
	H30		0.0%		1.3%
	H25		0.6%		2.3%
小規模な保育施設	R5		0.6%		3.0%
	H30		0.8%		1.5%
	H25		-		-
事業所内保育施設	R5		0.6%		1.2%
	H30		0.5%		0.5%
	H25		1.0%		4.1%
居宅訪問型保育	R5		0.0%		1.0%
	H30		0.0%		1.0%
	H25		0.4%		4.3%
企業主導型保育施設	R5		0.9%		1.1%
	H30		0.0%		0.8%
	H25		-		-
認証保育所	R5		0.8%		0.8%
	H30		1.0%		1.8%
	H25		5.5%		6.6%
その他認可外の保育施設	R5		1.7%		1.4%
	H30		1.3%		1.1%
	H25		1.2%		0.4%
ファミリー・サポート・センター事業	R5		0.8%		8.4%
	H30		0.5%		8.6%
	H25		1.6%		13.1%
その他	R5		1.8%		3.8%
	H30		1.6%		3.8%
	H25		3.7%		1.2%
無回答	R5		7.0%		16.3%
	H30		0.5%		13.6%
	H25		1.6%		3.9%

※平成 25 年度調査の希望は、「認定こども園」としての選択肢のみであり、機能による区分はなかった。

3 特に幼稚園の利用を強く希望

特に幼稚園の利用を強く希望は、「はい」の割合が 60.9%、「いいえ」が 35.1%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、幼稚園利用の希望が増加しています。

【問 18-2 特に幼稚園の利用を強く希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=151 / H30=60		割合(%)	
はい	R5		60.9%
	H30		0.0%
いいえ	R5		35.1%
	H30		100.0%
無回答	R5		4.0%
	H30		0.0%

4 定期的な教育・保育事業の利用状況と利用希望

(1) 利用日数と利用希望

利用日数は、「5日」の割合が 88.3%と最も高く、利用希望も「5日」が 59.1%と最も高くとなっています。

【問 17-2 定期的な教育・保育事業の利用日数と利用希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=660 / H30=618	(1) 現在 利用日数 (1週当たり)		(2) 希望 利用日数 (1週当たり)		
		割合(%)		割合(%)	
1日	R5		1.8%		0.2%
	H30		3.7%		1.0%
2日	R5		0.6%		0.9%
	H30		1.0%		1.0%
3日	R5		0.9%		1.1%
	H30		1.0%		0.8%
4日	R5		5.8%		2.9%
	H30		2.3%		1.6%
5日	R5		88.3%		59.1%
	H30		87.9%		49.7%
6日	R5		1.4%		4.2%
	H30		2.1%		3.9%
7日	R5		0.0%		0.3%
	H30		0.2%		0.2%
無回答	R5		1.2%		31.4%
	H30		1.9%		41.9%

(2) 1日当たりの利用時間と利用希望

1日当たりの利用時間は、「8時間」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「9時間」が 20.3%、「10 時間」が 18.5%、「5時間」が 14.1%となっています。利用希望は、「8時間」が 16.5%と最も高く、次いで「9時間」が 14.2%、「10 時間」が 13.5%、「7時間」が 7.9%となっています。

【問 17-2 1日当たりの利用時間と利用希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=660	(1) 現在 利用時間 (1日当たり)	(2) 希望 利用時間 (1日当たり)
	割合 (%)	割合 (%)
1時間	0.3%	0.0%
2時間	1.5%	1.2%
3時間	0.3%	0.0%
4時間	1.1%	0.0%
5時間	14.1%	3.3%
6時間	3.6%	4.5%
7時間	7.6%	7.9%
8時間	22.1%	16.5%
9時間	20.3%	14.2%
10時間	18.5%	13.5%
11時間	6.4%	3.5%
12時間以上	1.2%	2.4%
無回答	3.0%	32.9%

(3) 利用開始時刻の現在の状況と希望

利用開始時刻の現在の状況は、「8時台」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「9時台」が 38.8%、「7時台」が 13.6%となっています。利用希望は、「8時台」が 30.3%と最も高く、次いで「9時台」が 25.5%、「7時台」が 8.5%となっています。

【問 17-2 利用開始時刻の現在の状況と希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=660	(1) 現在 利用開始時刻	(2) 希望 利用開始時刻
	割合 (%)	割合 (%)
6時以前	0.0%	0.2%
6時台	0.0%	0.3%
7時台	13.6%	8.5%
8時台	40.5%	30.3%
9時台	38.8%	25.5%
10時台	2.4%	1.4%
11時台	0.2%	0.0%
12時台	0.0%	0.0%
13時台	0.0%	0.0%
14時台	0.5%	0.5%
15時台	0.0%	0.0%
16時台	0.0%	0.0%
17時台	0.0%	0.0%
18時台	0.0%	0.0%
19時台	0.0%	0.0%
20時台	0.0%	0.0%
21時以後	0.0%	0.0%
無回答	4.1%	33.5%

(4) 利用終了時刻の現在の状況と希望

利用終了時刻の現在の状況は、「17 時台」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「18 時台」が 25.3%、「16 時台」が 18.6%、「14 時台」が 14.7%となっています。利用希望は、「17 時台」と「18 時台」の割合が 18.3%と最も高く、次いで「16 時台」が 13.8%、「15 時台」が 4.8%となっています。

【問 17-2 利用終了時刻の現在の状況と希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=660	(1) 現在 利用終了時刻		(2) 希望 利用終了時刻	
	割合 (%)		割合 (%)	
6時以前		2.1%		1.2%
6時台		0.2%		0.2%
7時台		0.0%		0.0%
8時台		0.0%		0.0%
9時台		0.0%		0.0%
10時台		0.2%		0.0%
11時台		0.3%		0.3%
12時台		0.5%		0.5%
13時台		1.5%		0.2%
14時台		14.7%		3.0%
15時台		3.6%		4.8%
16時台		18.6%		13.8%
17時台		26.7%		18.3%
18時台		25.3%		18.3%
19時台		2.3%		4.2%
20時台		0.0%		0.9%
21時以後		0.0%		0.5%
無回答		4.1%		33.8%

5 定期的な教育・保育事業を利用する理由

定期的な教育・保育事業を利用する理由は、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」の割合が 78.0%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 53.2%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「子育てをしている方が現在就労している」の割合が 17.6 ポイント増加しています。

【問 17-3 定期的な教育・保育事業を利用する理由】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=660 / H30=618		割合 (%)	
子どもの教育や発達のため	R5		53.2%
	H30		56.8%
子育て(教育を含む)をしている方が 現在就労している	R5		78.0%
	H30		60.4%
子育て(教育を含む)をしている方に 就労予定がある/求職中である	R5		1.1%
	H30		1.1%
子育て(教育を含む)をしている方が 家族・親族などを介護している	R5		0.9%
	H30		0.6%
子育て(教育を含む)をしている方が 病気やしょうがいがある	R5		1.2%
	H30		1.5%
子育て(教育を含む)をしている方が学生である	R5		0.3%
	H30		0.8%
その他	R5		2.1%
	H30		1.8%
無回答	R5		1.5%
	H30		1.6%


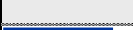



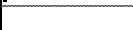




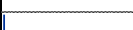






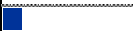



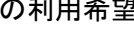
6 定期的な教育・保育事業を利用しない理由

定期的な教育・保育事業を利用しない理由は、「子どもがまだ小さいため(大きくなったら利用しようと考えている)」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「保護者として育児を直接行いたい」が 38.0%、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」が 31.9%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」と「その他」が 14.5%となっています。


「子どもがまだ小さいため(大きくなったら利用しようと考えている)」の利用希望時期の子どもの年齢は、「0～3歳」の割合が 81.6%と最も高くなっています。

【問 17-4 定期的な教育・保育事業を利用しない理由】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=166 / H30=77		割合(%)	
保護者として育児を直接行いたい	R5		38.0%
	H30		-
(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない	R5		31.9%
	H30		2.6%
子どもの祖父母や親戚の人がみている	R5		1.8%
	H30		1.3%
近所の人や父母の友人・知人がみている	R5		0.0%
	H30		0.0%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	R5		14.5%
	H30		1.3%
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	R5		6.6%
	H30		0.0%
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	R5		0.6%
	H30		0.0%
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	R5		0.6%
	H30		0.0%
子どもがまだ小さいため ()歳くらいになったら利用しようと考えている)	R5		45.8%
	H30		3.9%
その他	R5		14.5%
	H30		0.0%
無回答	R5		5.4%
	H30		92.2%

【問 17-4 定期的な教育・保育事業の利用希望時の子どもの年齢】

回答者数=76	割合(%)
0歳～3歳	 81.6%
4歳～5歳	 9.2%
6歳～8歳	 0.0%
9歳～11歳	 0.0%
12歳以上	 0.0%
無回答	 9.2%

第6章 地域子育て支援事業の利用【就学前児童のみ】

1 地域子育て支援拠点事業の利用状況及び利用希望

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」の割合が 55.3%、「市の事業として実施されている地域子育て支援拠点を利用している」が 32.6%となっています。過年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加し、「利用していない」が減少しています。

地域子育て支援拠点事業の利用希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 51.7%、「利用していないが利用したい」が 18.9%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」が 15.7%となっています。

【問 19 地域子育て支援拠点事業の利用状況】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合(%)	
市の事業として実施されている地域子育て支援拠点(上記例示のひろば)を利用している	R5		32.6%
	H30		20.6%
	H25		20.7%
その他、国立市で実施している類似の事業、または他市の事業を利用している	R5		0.5%
	H30		7.8%
	H25		10.2%
利用していない	R5		55.3%
	H30		71.5%
	H25		69.9%
無回答	R5		11.7%
	H30		4.7%
	H25		4.9%

【問 20 地域子育て支援拠点事業の利用希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合(%)	
利用していないが利用したい	R5		18.9%
	H30		16.2%
	H25		24.9%
すでに利用しているが利用日数を増やしたい	R5		15.7%
	H30		7.2%
	H25		12.6%
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	R5		51.7%
	H30		64.4%
	H25		54.0%
無回答	R5		14.3%
	H30		12.2%
	H25		8.5%

2 地域子育て支援拠点事業の利用回数と希望回数

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用回数

「1. 市の事業として実施されている地域子育て支援拠点を利用している」の利用回数は、月に「1回」の割合が37.6%と最も高く、次いで「2回」が18.1%、「3回」が11.4%となっています。

「2. その他、国立市で実施している類似の事業、または他市の事業を利用している」の利用回数は、月に「1回」の割合が50.0%と最も高く、次いで「2回」が25.0%となっています。

【問 19 市の事業として実施されている地域子育て支援拠点の利用回数(1週当たりもしくは1ヶ月当たり)】

〔就学前児童保護者〕

1週当たり	
回答者数=271	割合(%)
1回	20.7%
2回	7.0%
3回	3.3%
4回	1.1%
5回	0.4%
6回	0.0%
7回	0.0%
無回答	4.8%

1ヶ月当たり	
回答者数=271	割合(%)
1回	37.6%
2回	18.1%
3回	11.4%
4回	6.3%
5回	2.6%
6回	0.4%
7回	0.4%
8回	0.7%
9回	0.0%
10回	0.7%
11~15回	0.0%
16~20回	0.4%
21回以上	0.0%
無回答	4.8%

【問 19 国立市で実施している類似の事業、または他市の事業の利用回数(1週当たりもしくは1ヶ月当たり)】

〔就学前児童保護者〕

1週当たり	
回答者数=4	割合(%)
1回	25.0%
2回	0.0%
3回	0.0%
4回	0.0%
5回	0.0%
6回	0.0%
7回	0.0%
無回答	50.0%

1ヶ月当たり	
回答者数=4	割合(%)
1回	50.0%
2回	25.0%
3回	0.0%
4回	0.0%
5回	0.0%
6回	0.0%
7回	0.0%
8回	0.0%
9回	0.0%
10回	0.0%
11~15回	0.0%
16~20回	0.0%
21回以上	0.0%
無回答	50.0%

(2) 地域子育て支援拠点事業の希望回数

「1. 利用していないが利用したい」の希望回数は、月に「2回」の割合が 21.0%と最も高く、次いで「1回」が 17.8%となっています。

「2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい」の希望回数は、月に「2回」の割合が 13.7%と最も高く、次いで「4回」が 12.2%、「3回」が 9.9%となっています。

【問 20 「利用していないが利用したい」の希望回数(1週当たりもしくは1ヶ月当たり)】

〔就学前児童保護者〕

1週当たり	
回答者数=157	割合(%)
1回	15.3%
2回	4.5%
3回	1.9%
4回	0.0%
5回	0.6%
6回	0.0%
7回	0.0%
無回答	1.3%

1ヶ月当たり	
回答者数=157	割合(%)
1回	17.8%
2回	21.0%
3回	3.8%
4回	4.5%
5回	0.0%
6回	0.0%
7回	0.0%
8回	0.0%
9回	0.0%
10回	0.0%
11~15回	0.0%
16~20回	1.3%
21回以上	0.0%
無回答	1.3%

【問 20 「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」の希望回数(1週当たりもしくは1ヶ月当たり)】

〔就学前児童保護者〕

1週当たり	
回答者数=131	割合(%)
1回	26.7%
2回	10.7%
3回	3.1%
4回	0.8%
5回	0.0%
6回	0.0%
7回	0.0%
無回答	9.2%

1ヶ月当たり	
回答者数=131	割合(%)
1回	6.9%
2回	13.7%
3回	9.9%
4回	12.2%
5回	2.3%
6回	1.5%
7回	0.0%
8回	4.6%
9回	0.0%
10回	1.5%
11~15回	0.0%
16~20回	0.8%
21回以上	0.0%
無回答	9.2%

3 地域子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望

(1) 地域子育て支援事業の認知度

地域子育て支援事業の認知度は、「保育所や幼稚園の園庭等の解放」の割合が 77.5%と最も高く、次いで「保健センターの情報・相談事業」が 75.0%、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」が 71.6%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、7項目のうち4項目で認知度が減少しています。

【問 21 地域子育て支援事業の認知度】

〔就学前児童保護者〕

①母親(父親)学級、両親学級、育児学級		(A 知っている)	
回答者数: R5=832 / H30=912		割合(%)	
はい	R5		71.6%
	H30		78.8%
いいえ	R5		16.9%
	H30		17.2%
無回答	R5		11.4%
	H30		3.9%

②保健センターの情報・相談事業		(A 知っている)	
回答者数: R5=832 / H30=912		割合(%)	
はい	R5		75.0%
	H30		85.0%
いいえ	R5		15.1%
	H30		10.3%
無回答	R5		9.9%
	H30		4.7%

③家庭教育に関する学級・講座		(A 知っている)	
回答者数: R5=832 / H30=912		割合(%)	
はい	R5		36.9%
	H30		33.4%
いいえ	R5		54.9%
	H30		58.3%
無回答	R5		8.2%
	H30		8.2%

④就学相談室、教育相談室、教育支援室 (H30:「教育相談センター・教育相談室」)		(A 知っている)	
回答者数: R5=832 / H30=912		割合(%)	
はい	R5		51.1%
	H30		38.8%
いいえ	R5		40.0%
	H30		52.6%
無回答	R5		8.9%
	H30		8.6%

⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放		(A 知っている)	
回答者数: R5=832 / H30=912		割合(%)	
はい	R5		77.5%
	H30		87.1%
いいえ	R5		12.4%
	H30		6.9%
無回答	R5		10.1%
	H30		6.0%

⑥子育ての総合相談窓口(くにサポ)		(A 知っている)	
回答者数: R5=832 / H30=912		割合(%)	
はい	R5		58.1%
	H30		52.3%
いいえ	R5		35.0%
	H30		39.1%
無回答	R5		7.0%
	H30		8.6%

⑦自治体発行の子育て支援情報誌		(A 知っている)	
回答者数: R5=832 / H30=912		割合(%)	
はい	R5		47.2%
	H30		53.8%
いいえ	R5		45.1%
	H30		39.5%
無回答	R5		7.7%
	H30		6.7%

(2) 地域子育て支援事業の利用状況・利用希望

地域子育て支援事業の利用状況は、「保健センターの情報・相談事業」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」が 46.2%、「保育所や幼稚園の園庭等の解放」が 31.9%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「保健センターの情報・相談事業」、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」、「就学相談室、教育相談室、教育支援室」、「子育ての総合相談窓口(くにサポ)」の割合がそれぞれ増加しています。

地域子育て支援事業の利用希望は、「自治体発行の子育て支援情報誌」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「就学相談室、教育相談室、教育支援室」が 43.0%、「保健センターの情報・相談事業」が 41.2%となっています。

利用状況と利用希望を比較すると、多くの事業で利用状況よりも利用希望が上回っており、利用希望が下回ったのは「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」と「保健センターの情報・相談事業」となっています。

【問 21 地域子育て支援事業の利用状況・利用希望】

〔就学前児童保護者〕

①母親(父親)学級、両親学級、育児学級 回答者数: R5=832 / H30=912		(B これまでに利用したことがある) 割合(%)		(C 今後利用したい) 割合(%)	
はい	R5		46.2%		26.9%
	H30		41.6%		23.0%
いいえ	R5		43.4%		50.8%
	H30		45.2%		49.7%
無回答	R5		10.5%		22.2%
	H30		13.3%		27.3%

②保健センターの情報・相談事業 回答者数: R5=832 / H30=912		(B これまでに利用したことがある) 割合(%)		(C 今後利用したい) 割合(%)	
はい	R5		47.8%		41.2%
	H30		47.5%		42.4%
いいえ	R5		40.4%		37.3%
	H30		39.1%		32.0%
無回答	R5		11.8%		21.5%
	H30		13.4%		25.5%

③家庭教育に関する学級・講座 回答者数: R5=832 / H30=912		(B これまでに利用したことがある) 割合(%)		(C 今後利用したい) 割合(%)	
はい	R5		7.9%		34.4%
	H30		8.4%		37.5%
いいえ	R5		73.9%		45.4%
	H30		68.5%		39.0%
無回答	R5		18.1%		20.2%
	H30		23.0%		23.5%

④就学相談室、教育相談室、教育支援室 (H30:「教育相談センター・教育相談室」) 回答者数: R5=832 / H30=912		(B これまでに利用したことがある) 割合(%)		(C 今後利用したい) 割合(%)	
はい	R5		10.7%		43.0%
	H30		6.7%		37.8%
いいえ	R5		71.5%		36.9%
	H30		69.6%		37.4%
無回答	R5		17.8%		20.1%
	H30		23.7%		24.8%

⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放 回答者数: R5=832 / H30=912		(B これまでに利用したことがある) 割合(%)		(C 今後利用したい) 割合(%)	
はい	R5		31.9%		40.4%
	H30		38.5%		44.3%
いいえ	R5		54.7%		38.9%
	H30		45.4%		33.1%
無回答	R5		13.5%		20.7%
	H30		16.1%		22.6%

⑥子育ての総合相談窓口（くにサポ）		(B これまでに利用したことがある)	(C 今後利用したい)
回答者数: R5=832 / H30=912		割合 (%)	割合 (%)
はい	R5	7.7%	39.7%
	H30	5.5%	40.2%
いいえ	R5	74.2%	39.1%
	H30	71.6%	36.3%
無回答	R5	18.1%	21.3%
	H30	22.9%	23.5%

⑦自治体発行の子育て支援情報誌		(B これまでに利用したことがある)	(C 今後利用したい)
回答者数: R5=832 / H30=912		割合 (%)	割合 (%)
はい	R5	22.8%	46.9%
	H30	28.7%	50.5%
いいえ	R5	59.7%	32.0%
	H30	50.3%	25.4%
無回答	R5	17.4%	21.2%
	H30	20.9%	24.0%

4 利用したい地域子育て支援事業

【問 利用したい地域子育て支援事業】

〔就学前児童保護者・問 22〕

○子どもの遊びや体験に関わることについて

- ・ 子供の自習室が増えると良いと思います
- ・ 遊びの中で子供の自立を促す支援事業、母子分離の支援事業
- ・ 公園での見守り事業…公園で遊ばせるのに子供たちだけでは安心して遊ばせられないので、見守りなどをしてもらえると非常にありがたいです
- ・ 子供が思いっきり遊べるような、ボール遊びをしてもいいくらい、広い外遊び場を提供してほしいです。
- ・ 子供がのびのびと安全に遊べる事業
- ・ 活発な幼児のための屋外での活動や行事への参加支援。
- ・ 駅周辺で子供が体を動かせるような場所
- ・ キャンプ
- ・ 土日に子供達のレクリエーションなどを公園でやっていたりすると嬉しい。体力を使うもの。
- ・ 地域の子供たちが気軽に集まれるイベントやお祭り
- ・ 異年齢、違う学校、様々な子たちが参加できるもの。体験型のもの。
- ・ お姉さんと妹が歳の差がありふたりとも一緒に楽しめるような所がいいとおもいます。
- ・ くにたちはたけんぼの放課後クラス「にこにこ」のような活動・体験ができる場所が近所または学校(第六小学校)の近くにあれば利用したい。(計2件)
- ・ 広い公園、芝生の広場、お祭り、教育に関する講演会や勉強会、自然や農業体験、
- ・ きまりやルールのある集団あそびを、初めて出会う子たち同士でさせてもらえるような事業。いつも幼稚園の決まった子、自分をよく知る先生たちの中で生活しているので、全く知らない子や大人の中でも活動できるような社会性を身につけてほしいから。
- ・ 放課後の習い事のような、スポーツや教育の場があれば利用したいです。
- ・ 気軽に子供が遊べる場所があれば利用したい。車を持っていないので徒歩で行けたり、バスで行きやすい場所があれば積極的に利用したい。
- ・ 遊び方教室 子供と一緒に楽しめる定期的なイベント
- ・ 近くで自然の中で遊ばせてもらえるようなもの 城山や谷保の方で行われているようなものが、近くで！低価格であるとうれしい
- ・ 野遊びやキャンプなど、野外で自然に深く親しむ機会があればぜひ参加したい

- ・ 保育園などに預けられない子ども達だけの遊びの広場を不定期でも良いのであれば利用したい。
- ・ 広く安全で子どもが自由に遊べる野外公園。自然にしたしめる環境が
- ・ 国立の自然を体験できるような(虫とりや自然観察、果物狩りなど)短期の子供向けイベントがあれば、積極的に利用したいです。幼稚園児も体験できるようなものがあれば、尚有難いです。
- ・ 子どもの自然体験や様々な芸術、アクティビティなどに挑戦できる講座など、習い事の前段階として、そういった講座があれば参加してみたいです。また、経済的な理由から様々な体験や習い事ができない子どもにとっても良い影響があると思います。
- ・ 農作業や物造りをしている企業とのタイアップで体験イベント
- ・ 自然とふれあえるような活動(山、キャンプ等)があれば利用したい。体操教室 音楽教室(土日)平日の早めの時間しかないことが多く、(昼間のは)月に1回くらいとかでもあると利用したい。
- ・ 季節の行事や動植物とふれ合える期会(イベント)。 同年齢の子どもをもつ親子の交流できる事業。
- ・ 季節のイベント
- ・ 親子で楽しめるようなもの 個人に踏みこまない軽い内容のもの
- ・ 公園等の公共施設(野外)で見守りながら遊ばせられる場所の提供 ほうかごキッズの未就学児版(土日)のようなもの。 子が複数いると、休日の遊びに親一人ではつき合いきれず第三者と一緒に見守ってくれる場所があるとありがたい
- ・ 自然の中で遊べるのがベストだと感じます。城山の冒険あそび場をよく利用していますが、大人がオニごっこをしてくれたりしたら、本気で体を使って汗かいて遊んでくれるんだらうなーと思ってしまいます。
- ・ 畑での食育活動 自然にふれあう機会
- ・ 子ども向け料理教室のようなもの。平日夜に時間がなく、なかなか一緒に料理したり教える余裕がないため。
- ・ 小学校で英語とダンスの授業が導入されていることから、入学前の子ども達や、小学生が英語やダンスを学ぶことができる場を定期的に設けてほしい。学校+αを求める。民間ではお金が結構高く、親の収入により子ども達の学ぶ機会に差が出てしまうのは、将来にとって良くないと考える。地方と違い、子どもの人数も多く、市の予算も多いと思うので、子どもの教育に力を入れて、先進事例をつくってもらいたい。
- ・ 子どもへの交通ルール教室などあれば利用したい。
- ・ 子供の交通ルール教室などを開いて欲しい
- ・ 小学生を対象とした、体験学習。国立市にある自然(ママ森の水源や、畑、城山)を活用したアクティビティ。
- ・ 工作、料理教室等があれば参加したい。
- ・ 知育支援。コロナ禍もあり、保育でやれる範囲が限られたようにもみえているため。また身体を動かすような機会がなかなか作れないためそういった場があると助かります
- ・ 科学実験。手品、ジャグリング
- ・ 幼稚園、小学校の夏休み・冬休み期間でのイベント 小学校前の勉強
- ・ 土日に行われるクラフト教室などの子供が楽しめるイベント。
- ・ 親子で料理を作る、英語、ダンス、音楽、楽器が演奏できたりするもの
- ・ 1~6 才くらいまでの定期的なイベント
- ・ 子供の発育を促すリトミックを1歳半から開催してほしい。
- ・ リトミック 何となく知り合いになれるような事業
- ・ 子供に畑で育てた野菜か、お花など自然と接する機会がある事業がもっとあればよいと思いました。
- ・ 安全で遊べる環境。知育的な遊びや工作が出来る講座。
- ・ 子供向けのコンサートや実験教室、体験教室などを週末に利用できたらと思います。
- ・ 0才児クラス・1才児クラス等、年齢別の親子教室のような支援事業。リトミックや体操教室等。全体的に市役所周辺で開催されることが多く、北側に住んでいる住民にとっては参加しづらい。
- ・ 子ども向けの習い事のようなもの(例えば、体操しよう、英語で遊ぼうなど)がもっと多くあればいいなと思います。乳幼児向けには、リトミックやベビーサインなどの講義、NHKのすくすく子育てのような講座があると嬉しいです。
- ・ プール教室や英語教室など、習い事のような幼児向けや(小学生、中学生)があると家計にも助かるし、他の子との差があまり出ないと思う。
- ・ ワークショップ

○子どもが遊べる場や子育て支援の場等について

- ・ 矢川プラスは素晴らしいですが、私達は車を所有してなく、東から矢川への公共交通機関もないため利用しにく

いじたいがあります。徒歩 20 分圏内に同レベルの施設が欲しいです。東には広い公園もないため、府中北山地区の公園を使っています。

- ・ 矢川プラスのここすきひろばはとても助かっており、保育園などに通っていない子供もたくさんのお友達と遊んで親同士も交流ができる。同じような施設を市内に増やして欲しいです。その際に、ここすきひろばは乳児向けという印象です。幼児では物足りず、親が 1 人で乳幼児を連れていくと児童館やハンモック利用を保護者同伴で、、、と言われるのが不便です。難しいかもしれませんが乳幼児と一緒に遊べる広場だとより嬉しいです。
- ・ 矢川プラスのような施設でもっと幼児も楽しめるような設備
- ・ 室内で子供が遊べる場所
- ・ 遊ぶところがあれば利用したい(屋内)
- ・ 矢川プラスのような室内の遊び場があれば利用したい
- ・ 開放頻度の高い(週 3 回ほど)子育て広場 下の子(0~1 歳)と上の子(2~3 歳)が同じ空間で過ごせる子育て広場。対象年齢が乳児と幼児のどちらかに絞られている施設が多いと感じるため 子育て広場を開放してくれる保育園 児童館は対象年齢が高いため、乳児を寝転がせるスペースが狭く、小学生以上も対象とする施設である関係上、遊具に偏りを感じます。他の自治体で実施されているように、保育園で子育て広場を開放できると、これらは解決するように思います。
- ・ 0~2 才、3~5 才のように、年齢別に遊ぶスペースが区切られていて、安全に子供が遊べるおもちゃ、遊具がある場所であれば利用したい。そうすれば、親同士も相談内容や、悩み相談の話題が似ていて、話しやすいと思う。混んでいると利用したくなくなるので、小さくてもよいかから数多く場所提供をお願いしたい。
- ・ 吉祥寺に住んでいる時に 0、1、2、3 吉祥寺という施設があり、乳幼児向けでとても充実した所だった。谷川プラスは良いけど遠い。
- ・ 「府中のたっち」のような広場が、国立にも欲しい。広場内で飲食 OK、ベビーベッドがあるので下の子を寝かせて、上の子をあそばせられる。ドアにスタッフがいるので、子どもだけで勝手に出られない。自動ドアのボタンも、大人が押せる位置にある。
- ・ 矢川プラスのような場所が複数あると嬉しい。+ 一時保育機能付き
- ・ 矢川プラスをよく利用しています。とてもいい取り組みだと思いますが、人気があるせいか混雑がすごいので、一部有料化する、谷保駅周辺にも同様の施設を作るなどして分散させる試みがあってもいいと感じています。
- ・ 室内で遊べる施設 小学生~幼児と一緒に見守れる場所
- ・ 矢川プラスができて、国立駅にも子育て支援施設ができるので、谷保駅にも同様の施設がほしい。
- ・ 矢川プラスのような未就学児 2 人以上を同時に遊ばせられる施設が国立駅周辺にもできるとよい。(同じ未就学児でも、5 才と 3 才では運動能力の差もあれば興味も違うので、たいがいの遊び場ではどちらかがあきたり、別の場所へ行きたがってしまう)
- ・ 徒歩で通える範囲内にあるベビールーム(矢川プラスだと遠くて通えないので)
- ・ 昭島にあるようなボールプールや、大きなすべり台などの施設があれば。
- ・ 徒歩で行けないので、利用したいと思わないので、もっと家の近所に出来たらいいのになと思うことはある。
- ・ 矢川プラスのここすきひろばや、以前あった児童館で未就学児が遊べる場所があると利用したいです。
- ・ 現在も雨の日で外で遊べない時で利用させていただいているのが、西児童館です。子どもたちが乳児の時代にも利用すればよかった、と思うくらい遊べるスペースは助かります。北は子家センが遠いので、気軽に行ける距離に屋内遊具スペースがあると嬉しいです。
- ・ 遊び場など
- ・ 国立駅周辺に乳幼児と遊べる・過ごせる施設が増えて欲しい
- ・ 「ここすきひろば」のように自由に遊びに行ける場所。予約しないで行ける場所
- ・ 国立駅近くに子どもが遊べる広場があれば利用したい。
- ・ ここすきひろばのような支援事業
- ・ ここすきひろばになるまえの、旧家庭支援センターの子育てひろばの雰囲気やきぼ、アットホームな感じが好きでした。矢川プラスのような、大きな施設も必要でよく利用しますが、小さな場所を、もう少し増やして、点在させてほしいです。
- ・ 矢川プラスの様な雨天でもお友だちと遊べる所で、季節の行事やイベント等催し、折り紙教室や工作遊びが幼稚園後の時間でお友だちと誘い合っでできる場などあれば利用してみたいです。
- ・ 子どもを安心して遊ばせられる場所がほしいです。公園や遊具のある場所がなく、一橋大学の中か、昭和記念公

園・Green Springs あたりしか選択肢がない。(大学通りの緑道の中は、どこが入っていいエリアかよくわからない) 矢川プラスは遠い。図書館も遠い。

- ・ 降園後(14:00 以降)に子どもが行きたくなるようなお話会や工作クラブなど。
- ・ 未就学の子に対して(ここすき、コケッコーなど)はあるが幼稚園児対象の物がほとんどない様に思う。
- ・ 北3丁目には、雨の日でも子供が遊べるような施設がないので、あるとうれしい。
- ・ 国立駅や国立市役所の近くには事業があるが、谷保の方には少ないため、坂を上らなくても利用できるところがあると、妊娠中や子どもが小さい時にありがたい。
- ・ 谷保の地域は、児童館や、大きな公園などが無い。他の地域の公園や施設などにも遊びに行くが、道路がせまかったり交通量も多く、遠いので気軽に利用できる公園や児童館があればいい。
- ・ もう少し近く(東、中)に支援拠点があれば活用すると思います。
- ・ 自宅近くで、子どもが集える場所(矢川プラスは少し遠いし混んでいる)

○保育や預かりサービスについて

- ・ 育サポを1才こえても使いたい。
- ・ 産後1年程度、ベビーシッター補助券がほしい。
- ・ ベビーシッター
- ・ ベビーシッターの経済的支援
- ・ ベビーシッターや病児対応ベビーシッター 子が免疫疾患で幼稚園や集団保育事業の利用がむずかしいため、家庭で保育していただけるサービスがあれば利用したいです。
- ・ ベビーシッター利用料への一部補助 / ベビーシッター利用券 (計2件)
- ・ ベビーシッター: 保育園の送り迎え、習い事の送り迎え 当日対応の病児保育
- ・ 発達障害の子供を受け入れる事のできる、専門的な知識を持ったファミリーサポート事業
- ・ ファミサポの方と登録する前にいろんな方とお話をする機会があればいいなと思いました。異年齢でのイベント
- ・ ファミサポ、産後のケア事業(すでに利用している、していた)
- ・ ファミリーサポートのWEB予約(空きが確認できるもの等) 仕事をしているとおむかえが遅くなり、寝る時間や、ゆっくりする時間が少なくなりがちなので、保育園のおむかえで活用できると嬉しい。
- ・ ベビーシッター派遣支援 家事代行派遣支援 幼児が参加できるイベント
- ・ ベビーシッターやファミサポがもう少し気軽に利用できたらうれしいです。また流山市の様な保育園の送迎サービスがあれば大変ありがたいです。国立市の保育園は基本送迎 NG なので徒歩 or 自転車で通わなくてはならずきょうだい別の場所へ通っていると大変だなと思っています。
- ・ 産後1年程度、ベビーシッター補助券などがほしい。
- ・ ファミサポのような地域の方で子どもを見てくれて、且つベビーシッター関連の資格があるといい。ただの子育て経験者というだけで子どもを預けるのは心配なところがある。
- ・ 赤ちゃんの時だけではなく、子どもが1人で留守番ができない年齢までは、家事代行、子どものお見送り、留守番を一緒にしてくれる支援事業があると利用したい。
- ・ 駅前などで、気軽に子供を預かってくれる事業
- ・ 休日の一時預かり、室内の遊び場(それなりの広さがあり、きょうだいで利用できるもの)
- ・ 一時預かりをしてくれる施設を増やしてほしい(1~2時間ぐらい)
- ・ 1時間や2時間でも一時的に預かってくれるサービスがあれば利用したい。
- ・ 土日の一時預かり
- ・ 土曜日の気軽な預かり。運動がたくさんできる機会
- ・ 一時保育の施設が増えるとありがたいです。1歳児のここすき! がよかったので、来年度2歳児のここすき! があるとうれしいです。
- ・ 未就学児の短時間託児が気軽にできる施設があればありがたい
- ・ 市の施設で一時預かりしてくれる事業
- ・ 国分寺で行われているママ同士の子どもの預かり事業があれば利用したい 子どもの一時預かり 月齢グループ(自主グループではなく定期的にどこかであれば嬉しい)
- ・ 駅直結型で日祝関係なく、時間も遅くまで22時くらいまで安価で見えてくれる施設があると大変助かります。
- ・ 長男に知的障害があり、弟達の園行事の際に、臨時で長男を預かってくれる先がない。長男が契約している福祉サービスは、定員の関係で臨時利用には対応が難しいことが多く、ファミサポでは障害のある子は対象外というスタ

ンスのため、毎回本当に困っている、こういったケースの受け皿をつくってほしい、または、対応策と一緒に考えてくれる方を紹介して欲しい。障害を持つ長男は、子育て支援事業からはシャットアウトされている感覚を感じて、いつも孤独を感じる。

- ・ 利用料がとても安いのですが、幼稚園の預かり保育が短い(最長 4 時半まで)ので、比較的安い利用料で 6 時くらいまで見てもらえる施設があると利用した。
- ・ 無料あるいはかなり安価(ファミサポより)に子供が預けられると助かる ・ 離乳食あるいは幼児食の宅配(家で 3 食だと普段使いなれた食材になりやすい)
- ・ 買い物などの際、予約不要で利用可能な一次的な預かり施設があると良いと思うことがあります。
- ・ 預かり保育
- ・ 週末の預り保育
- ・ 地域子育て支援拠点事業内での子ども預かりサービス(当日予約可) 国立はキッズメニューがあり、キッズスペースもある飲食店が無いので大人がランチをする間などちょっとした時間(2、3 時間)気軽に預けられるサービスがあるとうれしいです。
- ・ 子をあずけての離乳食作り講座、栄養チェック、子育て支援拠点に行くためのタクシーサービスがあると助かります。(矢川プラスは駐車場がなく不便…)送迎サービスがあると大いに助かります。
- ・ 不定期でパート等の就労をしたいときに預けられる場所が近くにないのでベビーシッター等の一時保育のときも補助してもらえるような制度が欲しい。
- ・ ショッピングセンターに併設されていて、買い物の間子どもを見ていて欲しい。
- ・ つちのこひろばやここすきひろばなど普段から遊び慣れている場所での短時間の預かり保育(買い物や上の子の保護者会などで利用できるとありがたい)
- ・ パートタイムの仕事でも預けることができるサービスを充実させてほしいです。
- ・ 未就学児の一時預かり、やむをえない理由がなくても、親の気分転換 自分の時間を持つために利用できるもの
- ・ 一時保育ができる場所をもっとふやしてほしいです。バスの便をふやして子供と移動しやすくしてほしい。
- ・ 1 歳 9 ヶ月差の年子を育てています。下の子が小さい為、上の子は子育て広場やそういった集まりの会には参加したことがありません。無料の託児があれば参加しやすくて良いと思います。また、母親が就労していない為保育所を利用していませんが、一時預りをもっと安く気軽に利用できる機会や場所があれば、上の子との時間をもっと取れるし、私も自分の用事やリフレッシュができて良いなと思います。
- ・ 一時保育
- ・ 自分の体調不良時に子供を預ってもらえるサービス
- ・ 生後 5 ヶ月からの一時保育利用 産後ケアが 5 ヶ月から利用できなくなってしまうので 1 歳前から使えると良い
- ・ 0 歳児限定の子育てひろば 走っている幼児がいると怖いので、0 歳児のエリアは確立して欲しい
- ・ 0 才児でも一次的にあずかってくれる事業 自然と触れ合う機会を提供してくれる事業
- ・ 土日祝日の一時預かり
- ・ 支援センターでの一時預かり(1 時間とか)
- ・ 近親者も近くにおらず、預け先もないので、2、3 時間であずかってもらえる、登録がとても簡単なシステムがあれば嬉しいです。(この 3 年半、ずっと一緒だったので…)
- ・ 引越の時に保育園での預かり保育にお願いできるとうれしいファミサポは相手の方との時間のすりあわせが煩雑でおっくうになるし希望通りにお願いできることが少ない
- ・ いちいち登録だのしないといけない所があるとめんどくさい。結局小さい子だと親同伴見えていなきやいけないわけで地域子育て支援事業するならば一時預かりのように親と子がはなれて親が子育てから少しでも開放されるようにした方がいい。
- ・ 気軽に一時保育ができれば助かる、幼稚園は長期休みが多いので、金銭的支援や預かり、いばしょなど増えると助かる
- ・ 市内在住じゃなくても親族の子供の一時預かりがあるととても助かる(事前登録なしで) 親の都合上気軽に見てくれる(お休みの時など)施設がもっと増えるといい。
- ・ 予約なしで短時間で良いので一時預りをしてくれる場所。
- ・ 一時保育の充実した保育園を増やして欲しい
- ・ あずかり・あそびをいっしょにしてくれるところ。
- ・ 小学校に上がる前から定期的に利用できる学童保育所があれば、嬉しいです。

- ・ 一時保育。ボールプールのような規模の大きい遊び場
- ・ 0歳児の一時保育、一時預かり、家事手伝い
- ・ 親が病院に行く、上の子の学校行事に行く等、1～2 時間、気軽に預けられたら助かる。
- ・ 他の兄妹児での用事の時や、自分自身のリフレッシュのための一児保育。未就園児を預けられる場所。働いていないので、保育園へは預けられず、0～2 才は幼稚園も入れない。一児保育がもう少し預けやすいとうれしい。0～2 才の週 1～2 日のクラスとかあると良いなと思います。この下の子を連れて用事を済ませるのが、とても大変な時があります…。
- ・ もっとかんたんに子どもあずかり or あづかたりする場所 美よう院いく時だけ、買い物の時だけ、病院の時だけ… など あづかりのねだんが高くても、意味はない。
- ・ 料金が安く、当日でもあずかってくれる施設 (計 2 件)
- ・ 短時間子どもを預けてリフレッシュできるような事業があればうれしいです 小さい子はコンサートなど入場できないことが多いので小さい子 OK な音楽を楽しめる催しがあるとうれしいです
- ・ 病院や買い物など親が一人で行きたい時に、預けられる場所。(子供が思いっきり体を動かさせたり、遊具があつたり、自転車の練習をする時に見守ってくれる方がいる)
- ・ 発達を支えてくれる公的施設と、宿泊を含む、緊急一時預かり施設を希望致します。自身に持病があり緊急入院等の経験から子どもを身内以外でも預けられる場所の必要性を感じました。
- ・ 現在、幼稚園に通っており、兄弟の行事や通院の際に預かり保育を利用しているが、9 時～14 時の保育時間中とは異なり、保育士の人数が少なく、室内で自由あそびをさせているだけか、雨の日には DVD を見させているだけという日もあり、積極的に預けたい環境ではない。長期休み中等、家の中では持て余してしまうのももう少し充実した内容であれば週に数回利用したい。
- ・ 緊急の託児場所や無償で子供の遊び相手をしてくれる場が欲しい。
- ・ 矢川駅の近くに病児・病後児保育の施設があれば利用したい。住んでいる場所から遠い、預けられる時間と仕事ができる時間が合わない、職場も遠いため預けることができず、毎年有休と子の看護休暇が足りず、欠勤になる(欠勤になると精勤手当もつかないためその月の手取りが大きく減るのが悩み)
- ・ 就労の有無に関わらず利用できたり、急用・緊急時に利用できる放課後支援教室
- ・ 病床保育が近くにあれば利用したい。家族皆んなでインフルエンザになった時、子供の看病をするのがしんどかった。
- ・ 病児保育(すでにあるが、コロナ意向、利用しづらく、利用回数が激減した。利用時間を 19:30 までにしたい) 仕事が休みの日に数時間程度で子供預かりを利用できるサービス(近隣に子供をちょっと預けられる祖父母がいないので、夫婦の時間を取りづらい)
- ・ 子供が病気でも保育してくれる場所を増やして欲しい
- ・ 急な発熱等で保育園に預けられない時、柔軟に預っていただける事業。病児保育室はルールが厳しく、利用しにくいです。
- ・ 病気の時にあずかってくれる、むかえに行ってくれる。
- ・ 病児保育を安定的に、受け入れ可否の不安なく利用できるようなサポートがあるとうれしい。現在、つくしんぼを利用しており、助かっているが予約がとれないことがしばしばある。
- ・ 病児保育を増やしてほしい。利用のハードルを下げてほしい。(コロナの検査が負担)
- ・ フルタイムで働く母の為のサポート(子どもの送迎・食事作り) 病児保育がもっと増えてほしい
- ・ 親や子が病気の時、その日に対応してくれるファミサポみたいなものがあってほしい。家でみてくれると嬉しい。親が動けないと、人に頼むこともできないし、そもそも外出できない。その日に預けられる一時保育、急に病院に行ったり、子供と一緒にでは困難なことが沢山ある。
- ・ 以前、住んでいた自治体では、親の通院時には子育てひろばで申し込みをすれば、無料で子育てひろばの先生が、子どもを保育してくれる制度がありました。私も、帯状疱疹になり、皮膚科へ通院するときなど本当に有りがたかったです。(薬代が高額だったので。)
- ・ 病児保育。国立駅の方まで連れて行くのは遠く、体調悪い中 遠くまで連れて行くのがかわいそう&大変で利用せず仕事を休むことになってしまう。国立のもっと南側に病児保育しせつができれば良い。
- ・ 訪問型の病児保育など。家庭教育について、IQ テストをして、その結果を元に適した教育方法を知りたい
- ・ 障害のある子供は保育園に預けにくい。在宅訪問型の医療ケア児を看ってくれる在宅レスパイト制度
- ・ 近辺に病児保育(いつかけてもだいたい利用不可&遠くにしかない)

- ・ 病児保育
- ・ 病児後児保育の充実。

○家事代行サービスについて

- ・ 家事代行サービス(利用料の助成等) / 家事をサポートしてくれる事業 (計4件)
- ・ 家事代行やハウスクリーニングを安く利用したいです。両親ともフルタイムで平日は忙しくしているため、家事があまりできません。土日に溜まった家事や手続き等をこなしているため、子どもに向き合う時間があまり取れません。

○送迎サービスについて

- ・ 公立学童や民間学童、また習い事などの送迎サービスがあるといいと思います。(スポット申込ではなく固定利用できるサービス) 昨今は物騒な事件が増え、子供を狙った不審者も多く、子どもたちだけで帰宅させるのは不安です。ですが、本当は子どもの送迎に付き合いたいものの、会社の就労時間との兼ね合いで難しかったり、職場と学童や習い事のお迎えは親の負担が大きいと感じることがあります。子どもに合わせて転職する手もありますが実際は簡単には行かないので、まだまだ仕事と子育ての両立は実現しにくい環境にあると感じてきます。子どもの防犯面と親の育児負担軽減のために、もし行政が行う送迎サービスがあればぜひ利用したいと思います。
- ・ 保育園等送迎サービス
- ・ 学童 学童から習い事への送迎
- ・ 送り迎えする時間が無いので、参加するのが難しいです。送迎付きなら、子供だけなら、イベントに積極的に参加させたい。
- ・ 習い事に行く時に利用できる子供用の周回バス。(帰り道も) 父母就労のため、塾等に安全に送り届けてくれるバスがあったら嬉しい。ex) 国立駅行
- ・ 送迎付習い事 家ではできない遊びのサポート(大人数での水遊び、えのぐ、運動あそび etc)
- ・ 共働きの家庭のため、来年(2024年)より子供が小学生一年生になります。今、こどもの学校の送迎について、すごく悩んでおります。もし手頃の料金でこどもの送迎をできたら、ありがたいです。たとえば: 学校↔家 学校→塾
- ・ 保育園の送迎、習い事の送迎を支援してくれる事業
- ・ 保育園までのバス送迎サービス 医療キカンに困らないもの。(発熱外来はかかりつけでも見てもらえない)

○相談できる場・相談し合える場について

- ・ 月齢が小さいうちだけでなく、大きくなってからの発達や食事について気軽に相談できる場所が欲しい。保健センターの育児相談は、予約を前もってしなければならぬ(仕方がないとは思いますが…)1ヵ月先ではなく、「今」の悩みをすぐ聞いていただけるような場所があれば嬉しいです。・月齢の小さいうち(新生児訪問)でなく、希望ありで、大きくなってからも、家に来て話を聞いてくれるような機会があると嬉しいです。(6ヵ月くらいまでは、赤ちゃんを外に出るハードルが高かったため)・リフレッシュ利用できるような、託児サービスがあると嬉しいです。
- ・ 子育てに悩む親のカウンセリング
- ・ もっと手軽に相談できる場所、人がいれば利用したい。
- ・ LINEで気軽に何での子育てについて相談できるサービス
- ・ 発達相談全般
- ・ こだわりが強いなどで子育てし辛い子供に関して親の負担軽減の相談に乗ってくれる相談窓口 ・ギフテッド児のように可能性を持った子供に対して支援相談に乗ってくれる相談窓口
- ・ 登園渋りや登校渋りがある子どもの親が集まり、相談できる所。
- ・ 買い物のついでなどに気軽に育児相談ができたり、ぐちでも聞いてくれるような所があると良いです。カフェのような、出入りが気軽な。(武蔵境のイトーヨーカドー相談室や、国分寺のミーツの市の施設のような空間)・配食サービス。(食事の準備、買い出し等の時間が少しでも減ると心にゆとりが少しうまれるため)・夜中の夜泣きの際の行き場、逃げ場、かけこみ寺的な。
- ・ 子どもとの関わり方についての講習があるようですが匿名かつオンラインで参加できるといいなと思う。
- ・ 支援事業というものよりも、地域の遊び場にいる、指導員?の方々のおしゃべりが、私にとってすごく助けになりました。以前の支援センターにいた方々には遊びに行く延長で上の子の時の悩みなどを聞いてもらえたので良かったです。予約をして相談に行くような場所には行きにくいです。
- ・ 仕事を休まなくても相談できたら、相談しやすい。行きやすい場所、駐車場などがあり、相談に行きやすいと、相談へのハードルが下がる。時間や場所で相談をあきらめたことあり。
- ・ 子どもの発達相談、もっと手厚くして欲しい。 保育園への専門家(心理士、リハビリ等)からの見守りとか

- ・ 子育ての不安をもっと気軽に相談できる所
- ・ 悩みを親身になって聞いてくれたり、気持ちに寄り沿ってもらえる相談口があると嬉しいです。何度か相談した事がありますが、“それはお母さんがやってないからだよね？”“もっとやってあげなきゃかわいそう”と答えられたり、“私たちの時はこうだった”とアドバイスされ、相談するのがおっくうになりました。お友達のママもグサグサ言われ、へこんでいました。色々自論を語られ、相談しても怒られ、相談したい事があっても言えずにいます。
- ・ きちんと親身になってくださる専門の方とお話が出来る相談会。
- ・ 親同士が集って情報交換できる場 →貸スペースのようなものでグループ利用したい。

○交流の場について

- ・ 地区近くごとにいける距離で、カフェみたいな場所でママ達が集まれる場所が定期的に開催されると嬉しいです。第一子の時、家庭支援センターに行くまでの距離の遠さ、通いにくさ(バス子供つれば大変)がありました。
- ・ 同じ悩みをもった親が集まれる座談会
- ・ 国立市の「月例会」は初めての子育ての中、知り合いも友人もできてとても心の支えになり感謝しています。集まることはなくなりましたが、あの頃行けてよかったと今でも思います。公園などで育児が辛そうなお母さんを時々見かけるので(小さいお子さんの)少しでも何か力になれないか、話し相手になれないかと思うことがあります。人と人をつなげてくれる取り組みがもっとあればいいと思っています。
- ・ 同じ年の子供たちとの交流会
- ・ 我々の子どもは国際的な繋がりを持つ子なのですが、国立市にいる他の国際的な繋がりを持つ子ども(の親)たちと繋がる機会がないように感じられるので、そういった方達との交流イベントなどがあるととても嬉しいです。
- ・ 核家族であるため、子供が年配の方と関わる事がほばないため、交流の場があればうれしい。親としても学びが得られると思う。

○利用しやすさへの意見について

- ・ 事業先にいらっしゃる方が頻繁に変わることなく、行けばいたい同じ方がいるような所であると、安心して利用できる。(計2件)
- ・ 自宅から徒歩数分 ・申し込み不要 ・出入り自由 ・無料 ・週末午後
- ・ 事前に申し込むものだと、その日の子どもの体調や急な予定が入るかも…と参加しにくいので、当日参加 OK のもの
- ・ 生後数カ月の母親が子連れで参加できるイベント企画はすべて平日の昼間のみ。早めに復帰した親は一切参加できるものはなく、地域や他のママとの接点は全くとれませんでした。父親も同様です 育休中のママしか対象にされておらずパパも働くママも考慮に入れて下さい。シングルマザーやシングルファザーは置いてきぼりの施策になっています。(例)双子のママの集りも市の方が企画していましたが、全て平日の昼間のみでした。
- ・ 土日開催、保育付きの育児講座
- ・ 土日祝に利用できる有料託児所
- ・ 日曜日に開催の子供参加型イベントがあると嬉しい
- ・ 土日開催、平日午後開催
- ・ 土日開催、Web 開催、録画コンテンツでの配信
- ・ 平日は両親ともに仕事をしているので、土日・祝日にフラッと立寄って子供とお茶やごはんができる場所。
- ・ 土・日や祝、仕事が休みで急用がある場合、一時的にあずかってもらえる所があれば。
- ・ 働く母でも参加できる土日に行われるものがあれば利用したい。
- ・ 平日は仕事・保育園なので、土日に参加できる子育て・子供のイベントがあれば参加したいです。
- ・ 土日に通えるスポーツ等の習い事の事業 家事代行
- ・ 平日、日中の支援事業が多く知っていても活用できない。土日の対応があると利用したいと思う。
- ・ 土日に利用できる子育てイベントがあれば、子連れで参加したい。平日は、保育園に通っているため。
- ・ 土曜も仕事があるので今後小学校に入り学童を利用するにしても、終了時間が早く、仕事をどうしようか悩んでいるので、土日も18時ころまで預かってもらえる所などがあれば利用したい。
- ・ 日曜日も、やっているところ。市内でも、場所によって、遠いので、近くだと嬉しい。
- ・ 日中は仕事・通院・リハビリがあるため土・日などで利用したい
- ・ 仕事が休みの日、土日祝の利用
- ・ 平日しかやらないサービスに割く時間はない。休日に子どももいて OK だったり、メールなど手軽に利用できるな

ら。

- ・ 土日に開催する、父・母・子どもで参加できるワークショップ
- ・ 土日でも参加しやすい自然とふれ合えるイベントを企画してもらえるとうれしい
- ・ 父親が参加しやすいイベントがあるといいなと思います(親子体操やワークショップなど)
- ・ 単発の教室(英会話、ピアノ、体操等々)。週に何回、何曜日と決められると、親子ともハードルが高くしごみしてしまいうため、都合の良い時に気軽に利用できる教室があるとうれしいです。なお、市内全域で行ってほしいです。
- ・ 子供と参加できるイベント
- ・ 「コケッコー」等応募制のクラスの人数(枠)がもう少し増えて欲しい。途中からでも入れるようにして欲しい。
- ・ カンガルー広場がとつぜんのお休みや 11:00 まで等の時間変更があった。アプリや SNS で教えてほしい。
- ・ 家から近ければ / 家の近所 (計 2 件)
- ・ 家から近く、必要なサポート内容であれば。
- ・ 距離が近い or 車で行ける所(駐車場がある) どれ程良くても遠ければ行けません
- ・ 車で行ける施設 (計 2 件)

○その他、全般について

- ・ 習い事の紹介イベント(部活紹介のようなイメージ) (もう必要ないのですが)ベビーベット、チャイルドシートなどレンタル
- ・ むやみに発達の問題を取りたてて児童精神科医の受診や特別支援学校や児童発達支援センターを勧めたりしない、子供の育ちを純粋に応援してくれる相談事業(保健センター、就学相談、教育相談)。出産の際に 24 時間きょうだいを受け入れてくれるシステム。臨時で子の送迎を代行してくれるシステム(母親が怪我をや病気で出向けない時)。
- ・ 小学校や近所の方と交流できる場。子どもと離れてリラックスできる場(無料)
- ・ 通学予定の小学校、特に低学年ぐらいまでの子供達とふれあう時間を作る。“園庭や校庭、公園などで遊ぶ”など。以前住んでいた地域は学校の横にこども園があり、小学生が小さな子のお世話をしてくれる姿をよく見かけた。大人だけでなく顔みしりの子供も全員で地域子育てできる環境が理想。
- ・ 近所であれば行きやすい 一時保育でリフレッシュをしたい。
- ・ 気軽に子供を預けられる施設 大人も子供も学べるワークショップ(性教育など) 発達障害当事者の親の交流会(忘れ物が多い、ちこぐが多い、プリントの管理や予定などのスケジュール管理ができない親)
- ・ 結局フルタイムで働いている者にとってはどこも利用はできない 子育てサポートも面談等の時間がとれない(特に土、日も仕事がある時もある) 近くの親族も高齢になり(80 代) 逆に負担をかけてしまう 結局は少しの時間の余裕がある人しか利用できないシステムになっているから そこをクリアできる時間枠があれば良いと思う
- ・ 国立駅前に子供の集まりやすいスポットがなかったため、子育て支援施設にはとても期待しております。駅前に、気軽に短時間子どもをあずけられる施設ができると、急な用事の際に大変有難いです。
- ・ 矢川プラスが好きなのですが若干遠くて…月に 1~2 回分で良いのでくっこバスの利用券などがもらえたら嬉しいです。通院にも使いたいです(子供の)。
- ・ 家の近くにあり、子供だけであそべる場所。谷保駅の近くにあつたら、子供を行かせられる。矢川プラスのここすきひろばは、もう年長なので、利用できなくなる。今後、小学校へいったら、(中学年頃から)親と一緒に行く事なく、子供だけであそんできてほしいが、矢川プラスはとおいので行かせられない。公園のゆうぐは小さい子向けなのでつまらないそう。小さい子が多く、小学生がおにごっこしているとあぶない。谷保えき近くに、小学生があそべる場所がほしい。家でしごとをしているので、子供の事で仕事はかどらず、夜おそくまで仕事がおわらない。外で働くと、時間と労力のわりに給料が少なく、おあずかりは子供が泣いていやがるので、利用できず、困っている。学童も同様。子供のストレスになっていたんで、やめました。はたらいっている、いないにかかわらず仲良しのお友達と、自由にあそべる居場所が、やはり家から通えるきよりに必要。
- ・ 母(産後ケアサポート)妊娠中は体に気を遣い、産後は育児に追われ、食事や掃除が思うように進まず。睡眠不足にも(授乳などで)1 人の時間も欲しかった。産後のケアサービスを利用しやすい料金・内容で提供する事業。父→矢川プラスのような日曜も開いている場がもっと増えるといいです。今は混んでる
- ・ 幼稚園に入園してからは利用がなくなりましたが、入園前はつちのこひろば、ここすき!、森のようちえん(農園の会主催のもの)、その他民間の体操教室などたくさんお世話になりました。現在も不定期ですがつちのこひろばのフリーマーケット(どうぞの日)や市報に掲載しているイベントには参加していますので、継続してほしいです。
- ・ 現在、上の子が 3 歳、下の子が 1 歳なのですが、矢川プラスに行くと 2 人が違う場所に行ってしまう、1 人で対応

するのが、大変で、なかなか利用がしづらいです。立川の若葉児童館の方々は一緒に子どもと遊んだりしてくれるので、1人で行っても大変ではなく助かるのでそういった対応が欲しいです。・国立保育園の一時保育を利用し、求職活動をしようとした。人みしりの時期もありなかなかねれず、午前利用のみでと言われ、3回ならしをさせましたが、まだなれないので午前利用でと言われました。これでは、求職活動ができず保育園に入るための点数も低くなり、保育園おちるのではと不安です。一時保育利用する場合、1回のならしでよいとして頂けると助かります。国立保育園にずっと通うなら分かりますが月に何回も利用するわけではないので、どっちにしろなれないと思います。私に親はいませんし、夫の親は山口県なのでどこにも頼れず困っています。

- ・ 国立市北は、本当に何も無い。何をやるにも遠い。 矢川プラスも行きたいが駐車場もなく行きにくい。どこも駐車場がない。市役所も、駐車料金がかかる。 雨でも利用できる所があればうれしい。さわいでもおこられないような。リフレッシュ利用で、すぐ預けたり出来る所があればうれしい。
- ・ 既に様々な支援事業があることは理解しているのですが、市役所や矢川プラス、保健センター等会場が国立駅から遠く家から遠いので利用できていないのが現状です。
- ・ (土)(日)に矢川プラスなどで習い事(無料)のようなことができればいいです。英語、科学実験、そろばん体験など。市内に科学館がないので作ってほしい。図書館が小さいので規模を大きくしてほしい(府中央図書館のようにビデオ視聴できるサービスがあればいい)。
- ・ 市内の者優先で利用させてほしい(矢川プラス)
- ・ 0~2歳児の平日の遊び場(室内)が必須。国立市(特に西側)が少なすぎる。カンガルー広場は週1回金曜の1時間のみというのは他市と比べあまりにも少なすぎる。特に夏場の猛暑はとでもではないが公園で遊ばせられない。他のカンガルーは遠くて同じくやってる回数少ない。北図書館では子どもに読み聞かせをしていて子どもが笑っただけで職員から注意されて行かなくなった。結局立川市の羽衣児童館に暑い中毎日小さな子どもと通っていた。毎日AMは0~2歳児に開放。職員も複数いて親切。夏場はとでも助かった。国立西の子育て中の人たくさん通っていて毎日のように誰かが来ていた。(皆国立の子育て支援は不十分と言っていた)西児童館は職員がたくさんいるが何をしているのかわからない。PMは小学生がくるが、AMは誰も来ない。その間乳幼児に開放できると思うがなぜそれをしないのか、市民に説明してほしい。また夏休みは1日中小学生がくるので全く行けなかったのは本当に大変だった。休み中は立川羽衣児童館は1室だけ(ホール)乳幼児に開放していて、あとは小学生が使用。しっかりとすみわけができていた。乳幼児はAMだけなので、可能だと思う。今すぐに立川市を見習ってほしい。
- ・ 矢川プラスのような室内遊び場は大変有難く、利用させてもらっています。絵本のよみきかせ等、土日祝にやって頂けるとうれしいです。プロの方の音楽生演奏などがあればぜひ行きたいです。
- ・ 矢川プラスなどでも預けられる事業 半年~1年に1度でもいいので家庭訪問してくれる事業 乳幼児だけでなく、幼児にもカンガルー広場のような集まり お母さん(親)に休めるカフェ券や支援金、クーポンなど
- ・ ハンデのある子が安心して遊べる場、例えば矢川プラス等児童館で週1回1時間でもいいので、ハンデのある子を優先利用できる時間帯があれば嬉しい。
- ・ 八王子市のゆめきっずのような支援事業があれば利用したい。今はないが、以前はポーネルドのキドキドも利用できたようで、いい支援だなと思っている。
- ・ ここすきひろば(矢川プラス)のような拠点をもっとできればうれしい。 タクジ所など、子どもを一定時間あずかってくれる施設。(あずかって欲しい時間にあずかってくれる場所。)
- ・ 矢川プラスのような支援拠点が増えるとより良い。 地域活性化にもつながり、更なる子育て環境が醸成されると思う。
- ・ お受験教室 私立などは考えていないが、都立や国立が近くにあるので小学校受験で使える体操教室や四季を学べる教室を仕事をしていても通わせる事ができる時間での開設。 子供達への未来への投資の為に学ぶ楽しさを教えられるようなもの。 ただ子供を預ける場所ではなく、楽しみながら学べるようなところ 学童保育の環境も子供達が好きなように過ごせる籠みたいに感じるので4時間そこで過ごすなら、もっとプラスになるような環境にして欲しい。
- ・ 子どもの月齢にあったおもちゃをママさんたちと一緒に作る 小学校の子どもたちと赤ちゃんのふれあいの場
- ・ 未就学児に限定せず小学生以上に対しての子育て事業を増やしてほしいです。兄弟で利用できるなら利用する機会が増えるかもしれないと思います。習い事に当たるようなスポーツ、文化系の技能習得につながる場の提供がほしいです。
- ・ 服、本、おもちゃのリサイクル(安価で販売してほしい) プールや習い事(ダンス、そろばん、習字、スポーツ テニス 運動、プログラミング)等の子供向けの講座をもっと増やしてほしい。→どちらも小学生以降も対象にしてほしい
- ・ 国立の児童館のカンガルー広場は未就学児にもっと利用しやすかったり、イベントを行ったりしてほしい。他市は毎

月月末には市のホームページに翌月の予定がUPされる程充実している、そのようになればもっと利用したい。文教都市が売りだが、国立高校と一橋があるだけで未就学児に対するアプローチ、そのような広場はない。託児—0才可能もある支援事業・ホテル、温泉つきの支援事業(託児あり)

- ・ 電動自転車の補助金制度(他の自治体であるところもある) リトミックなど…又は0歳児(ねんね期)でも参加できる会のようなもの
- ・ 子供向けの工作やアンサンブルなどの企画 親子で参加できるヨガやストレッチなど カンガルー広場のおもちゃを充実させて欲しい(古く壊れている) 中央児童館・ここすき広場での一時あずかり 支援拠点を増やして欲しい 子供とゆっくり過ごせる図書館(くつを脱いで本を読めるなど) 芝生の公園・親子で参加する遠足企画など 親子で参加するプログラム(毎回同じお友達と会う) 知育度の高いおもちゃの導入
- ・ 親子参加型の体験教室等。幼稚園の夏休み期間中の預かり事業の拡充。
- ・ 親も楽しめる事業。親に負担が少ない(ごはんの準備、時間的制約) 英会話を親子で楽しめる(あそびながら) 配食サービス(親含め、栄養バランスのとれた食事を準備する時間がない)せめて週に何回か利用できれば… こども食堂は、親も利用しやすい場所に増えればいいなと思います。(先日、つり舟さんにお世話になりました。乳幼児が過ごしやすい場でした)
- ・ 平日、保育中の習い事の支援など。公立園利用なので保育園利用中に体操、音楽関連の習い事はできない。保育中にできる習い事の支援があれば利用したい。
- ・ 谷保地域に安全に子どもの足(3歳程度)で歩いて行ける場所があれば利用したい。矢川プラスも有料コインパーキングが充実したら良いな、と思います。国立市は歩道がない、または狭い道が多いように感じます。また狭い歩道に電柱があり、双子ベビーカーでは通れない道も…。谷保東遊園の一方の入口も入れませんでした。(柵?の問題)
- ・ 子どもが年代毎に広々安全に遊べる場の提供してくれる所 全世代一緒に大事だがそれとは別にはいい子、走り回りたい子、おもちゃで遊びたい子などでわけた方が安全だと思う。
- ・ 今は子どもが年長なので、特に子育て支援事業に参加することは少ないですが、小さい頃はありがたかったです。特に第1子の出産後は手あつといいと思います。徒歩園にママ友ができるといいなと思います。母子のイベントがいろいろな所で開催されていると、気の合う人と出会いやすいと思います。
- ・ 西児童館が薄暗くてあまり行きたい気持ちになれない。換気の影響もあるかもしれないが、少し寒いように感じる。矢川プラスのような明るい雰囲気ならいいのに、と思っている。
- ・ LINEで気軽に相談&レスポンスが出来るようになると嬉しい。外食(子連れ)で利用出来る割引クーポンがあったらいいなあ。荒天時の保育園送迎が本当に憂うつです。タクシー又はバスでのサポートがすごく欲しい。千葉県流山市がTVで紹介されていましたが、拠点送迎をしてくださるのが理想!国立市でもどうか実施していただきたい!!!どれだけ助かる事か…お願いします。
- ・ 親子だけの関係に行き詰まる時、立寄れる施設や講座。子どもが小さい時には「つちのこひろば」にも助けられました。
- ・ 発達相談に気軽に相談できる事業 国立市が管理幹旋する家庭保育事業
- ・ 育児で疲れた親がリラックスできる様な場所の建設と開放。子どもが遊べる様な屋内施設に併設したスペースをつくり、横になって見ていられる所にマッサージグッズなどを置いておくなど。ヨギボーなど、快適なイスを複数置いてあると子どもも大人も楽しめて良いと思う。
- ・ 気軽に立ち寄れる場所(ショッピングセンターや駅近)、保健センターや市役所以外で、子育て相談をできるブースがあれば仕事帰り等に少し利用したい。気軽に、短時間で相談できるような事業。夫より男性用トイレにも、おむつ替えの台を設置して欲しい。
- ・ つくしんぼ以外の病児保育 制限のないファミリーサポート・小百合学園近くに公園・小学生未満も入れる市民プール(幼児用プール)・一時預かり施設(親が病院に行くときなどに使える)
- ・ カフェが併設されていて、軽食もでき、かつ未就学児の子供が安心してあそべる広場。大人も一緒に行って楽しめる施設。谷保周辺にもあったらうれしい。
- ・ 集まってお茶が飲めるようなところ
- ・ 府中のコトカフェのように、乳幼児がいても友達と行きやすいカフェ。乳児が寝れる布団や幼児が遊べるスペースもある座敷のカフェ。国立にはそのような場所がないので、府中まで行っている。
- ・ 男性も行きやすい場、おしゃれ、コワーキング併設、お酒が飲める
- ・ 子供向けの食事ができるところ

- ・ 広い場所に机があって、椅子やソファもあり、有料のカフェが併設している場所また、その場所は駅が近い。 英語教室 オムツ、保湿クリームなどを配布、クーポン券の配布
- ・ マネープラン講座(託児付き)など、託児付きの研修。多摩市“子供リビング”の様に、ハイハイの子と一緒に体にいごはんが食べれる場所。市主催のおやこカフェを市役所等でやって欲しい。
- ・ 移動動物園 移動図書館 誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン化された新設図書館
- ・ 国立市は近隣自治体と比べて規模が小さい為、民間が運営する子どもの遊び場(利用料がかかるもの)や、科学館等の生涯学習施設もないので、近隣のそういった施設を利用する際に国立市民も割引制度が受けられるように、近隣自治体と連携してほしい。
- ・ 同じ月齢、年齢の子ども、母親が集まるイベント(3か月検診で案内はありましたが、あいにく都合がつかず参加できませんでした。途中から参加するのなかなか気乗りしないため、単発のイベントがひんぱんに開催されるようであれば都度参加したいです)
- ・ 第一子の場合、近い月齢のご家庭と仲良くなれるような集まりがあるといいです。
- ・ 問21の「はい」のほか、近隣の同世代の子をもつ家族との懇親の場があれば積極的に参加したい。(国立市に引越してきたばかりだが未だ子の人間関係の広がりにくさを感じている)
- ・ 少人数の学習できる場
- ・ 公園に、子どもがつどう事が減り、同世代の子どもや親と、情報交換をする事が難しいので、集会場や、園庭開放日をふやし、保育園、幼稚園に、入所できていない、親子の、つながり場所を増やしてほしい。又、学校帰り、(放課後は、毎日、校庭を開放して小学生の遊び場をふやしてほしい。近隣降園では、ボール遊びや野球などもできず、大声を出せば、めいわくがられ、子ども達の遊び場として、ふさわしい場が本当に、少ない。
- ・ 1歳でひっこしてきたので、国立市には月レいの会?みたいなのがあって交流があるらしいですが、参加することもおしらせもなく近所の同じくらいの年の子との交流が全くない。
- ・ 気軽に自由に参加ができる、発達の進みが近い親子が集える場。
- ・ 早期児童発達支援に週1で通っているため、児発から保育園までの送迎支援を受けたい。就学後の登下校、学童から家までの帰宅支援。就学後も放課後等デイサービスに通うための100%支援(現在は保護者の1割負担、上限37,200円)を18才までしてほしい。インクルーシブを実現するには、支援する人手が必要。学校に作業療法士、臨床心理士、等も配置してほしい。
- ・ フルタイムで働いていると、「送迎ができない」という理由で習いごとをさせてあげることができないことがあるので、安全な送迎の手段がほしい。そもそもフルタイムで働き、仕事が終わった瞬間から子ども、家のことをやるのは基本的に女性。休日まで子育て施設で遊んでくださいと言われても(国立市はこんな良いところありますよ、いつでも来て下さいと言われても)、体が疲へいして行けない フルタイムで働いても働いても 子育て、教育にお金がかかりすぎて、あっというまにお金がなくなる。非課税世帯ばかりお金をもらえて、不平等。学費の補助を希望。
- ・ 今の市の支援事業には比較的満足しているが、妊娠中に手続きしておいた方がよいこと等の期限等を一覧にしておいてもらえると助かります。(職場復帰後にファミサポや病児保育かやっぱり必要となった時、事前面談や登録が必要なことを知り困った)
- ・ ようちえんに関する情報や口コミがわかるようなところ ・家のちかくで室内であそべるところ(無料で) ・公園であそぶような親子サークル(府中のたんぼぼに参加していますが、国立でもあればうれしい) ・子どもが外国語を学べる場(無料で)
- ・ 市内の保育園見学を日程を決めて大勢で行けると良いなと思いました。途中入園もあるので随時受付であった方が良いとは思っていますが、4月入園の人は各々が保育園に問い合わせで先生達も対応するのが大変そうだなと感じました。(園庭開放がそういう場として用意されているならお読み捨て下さい。)
- ・ 小学校に入学するに当たって、公立ではどのような事をするのか、私立学校はどういうところがあって、公立との違いは何かなど教えてくれる講座
- ・ ○保育園等に入園する前に在園児保護者から話を聞ける会○就学前に各学校の在校生保護者から話を聞いたり、各学校の学力や雰囲気を知りたい。早めに
- ・ 青柳地区でできること
- ・ 自宅から近く、幼稚園児でも楽しめる場。工作などの講座を開いてほしい。
- ・ 産後ケアホテル(家ぞくで泊まれる)
- ・ 産後ケア事業をもっと拡充していただきたいです。産後まもなく、利用したかったのですが、矢島助産院まで行く方が大変に思えて諦めました。市内に数ヶ所あるとうれしいです。また、矢島助産院で予約したかった日に予約がとれな

かったりしたのも残念でした。改善を望みます。

- ・産後ケアのアウトリーチがもっと気軽に利用できたら。病児保育の充実。親の居場所作り。赤ちゃん食堂(子ども食堂の赤ちゃんバージョン)
- ・上記の⑦自治体発行の子育て支援情報誌が何を指しているのか分かりづらかった。国立市の子育てアプリを取得しているが、イベント情報の収集がしづらい印象がある。毎月のイベント情報をもっと分かりやすく市報に載せてくださると助かります。情報がいろいろな所に(アプリや市報、児童館だより)バラバラに載っている印象があり 情報収集を大変に感じています。
- ・小学生に入学した後に、学童等の支援が必要になるかと思えます
- ・子供の教育費の支援
- ・子育てしやすいように助成金を出してくれる
- ・支援事業も良いのですが教育面(習い事含む)での金銭的支援を更に充実させて欲しい。それが全てです。
- ・子育て家庭への経済的支援・恵比寿の景丘の家でやっているようなイベントを矢川プラスでやってほしいです。インスタみてみて下さい。・ベビーマッサージやママがやるピラティスなど同じくらいの子をもつ父・母同志で交流できる場
- ・生活用品の定期カタログの配送(無料) 生協との提携など必要物品での支援
- ・時間がなく、必要にせまられていないため利用したことがないが、必要な時には利用したい
- ・今までは、かかりつけ医対応。時間なく、必要にせまられていないため利用したことがないが必要なときには利用したい。
- ・健診など機会があれば利用したいが、他は特に希望なし 仕事しているので、利用しづらい
- ・矢川プラスで、地域の学生さんや専門家の方と子どもと一緒に活動するような催しがあり、よく参加しています。子どもも楽しく、親も学びのあるこのような事業に今後も参加したいです。
- ・つちのこひろばがあるので、私はそれで十分だと思っています。
- ・今の支援事業で十分な支援をいただいております。国立市の皆様、施設の皆様、保育園の皆様優しく熱心でありがたいです。今でも満足ですが、例えば高齢出産の母子に向けた支援(長期の産後ケア、同年代サークル)などがあったら、利用したいなと思いました。
- ・産休後、仕事復帰支援、職場での子育て支援 月齢会はとても良い事業です。
- ・今で満足しています。 / 質・量ともに十分です。 / 今のままで十分です (計3件)
- ・下の子の調査票に書いたので省略。
- ・ ?
- ・特にない。忙しくて利用できない
- ・特にない (計5件)

〔低学年小学生保護者〕

(質問なし)

第7章 土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用 【就学前児童のみ】

1 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が 59.7%、「月に1～2回は利用したい」が 33.2%、「ほぼ毎週利用したい」が 6.3%となっています。過年度調査と比較すると、「利用する必要はない」と「ほぼ毎週利用したい」の割合は減少しており、「月に1～2回は利用したい」は増加しています。

『利用したい』の利用開始時刻は、「9時台」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「8時台」が 25.0%、「10時台」が 14.6%となっています。

『利用したい』の利用終了時刻は、「18時台」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「17時台」が 21.0%、「15時台」が 16.2%となっています。

【問 23 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合 (%)	
利用する必要はない	R5		59.7%
	H30		61.5%
	H25		61.9%
ほぼ毎週利用したい	R5		6.3%
	H30		8.0%
	H25		8.3%
月に1～2回は利用したい	R5		33.2%
	H30		29.1%
	H25		27.5%
無回答	R5		0.8%
	H30		1.4%
	H25		2.3%

回答者数=328	(1) 土曜 利用開始時刻		(1) 土曜 利用終了時刻	
	割合 (%)		割合 (%)	
6時以前		0.0%		1.8%
6時台		0.3%		0.0%
7時台		7.9%		0.0%
8時台		25.0%		0.0%
9時台		45.7%		0.0%
10時台		14.6%		0.0%
11時台		0.3%		0.3%
12時台		0.6%		4.6%
13時台		0.6%		2.4%
14時台		0.0%		5.2%
15時台		0.0%		16.2%
16時台		0.0%		15.9%
17時台		0.3%		21.0%
18時台		0.0%		23.2%
19時台		0.0%		3.7%
20時台		0.0%		0.6%
21時以後		0.0%		0.6%
無回答		4.6%		4.6%

2 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望



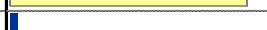









日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が 68.1%、「月に1～2回は利用したい」が21.2%、「ほぼ毎週利用したい」が2.8%となっています。過年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合は減少しており、「月に1～2回は利用したい」と「ほぼ毎週利用したい」は増加しています。





































『利用したい』の利用開始時刻は、「9時台」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「8時台」が 27.1%、「10時台」が 15.6%となっています。

『利用したい』の利用終了時刻は、「18時台」の割合が 24.6%と最も高く、次いで「17時台」が 20.6%、「16時台」が 16.6%となっています。

【問 23 日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912	割合 (%)	
利用する必要はない		68.1%
		74.3%
		78.2%
ほぼ毎週利用したい		2.8%
		2.7%
		2.1%
月に1～2回は利用したい		21.2%
		19.0%
		16.7%
無回答		7.9%
		3.9%
		3.0%

回答者数=199	(2) 日曜・祝日 利用開始時刻		(2) 日曜・祝日 利用終了時刻	
	割合 (%)		割合 (%)	
6時以前	0.0%		2.0%	
6時台	0.5%		0.0%	
7時台	6.0%		0.0%	
8時台	27.1%		0.0%	
9時台	44.2%		0.0%	
10時台	15.6%		0.0%	
11時台	0.5%		0.0%	
12時台	0.0%		2.0%	
13時台	1.0%		2.0%	
14時台	0.0%		6.0%	
15時台	0.0%		15.1%	
16時台	0.5%		16.6%	
17時台	0.0%		20.6%	
18時台	0.0%		24.6%	
19時台	0.0%		5.0%	
20時台	0.0%		0.5%	
21時以後	0.0%		1.0%	
無回答	4.5%		4.5%	

3 土曜・日曜等の毎週ではなくたまに利用したい理由

土曜・日曜等の毎週ではなくたまに利用したい理由は、「リフレッシュのため」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 51.0%、「月に数回仕事が入るため」が 50.3%となっています。過年度調査と比較すると、「リフレッシュのため」と「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が増加しています。

【問 23-1 土曜・日曜等の毎週ではなくたまに利用したい理由】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=308 / H30=295 / H25=241		割合 (%)	
月に数回仕事が入るため	R5		50.3%
	H30		55.9%
	H25		56.4%
平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	R5		51.0%
	H30		40.7%
	H25		37.3%
親族の介護や手伝いが必要なため	R5		4.2%
	H30		2.0%
	H25		3.3%
リフレッシュのため (息抜きのため)	R5		54.2%
	H30		39.3%
	H25		32.0%
その他	R5		12.3%
	H30		14.6%
	H25		14.9%
無回答	R5		1.3%
	H30		1.4%
	H25		1.7%

4 幼稚園利用者の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

幼稚園利用者の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が 23.5%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 51.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 20.9%となっており、利用意向が高くなっています。過年度調査と比較すると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が増加しています。

【問 24 幼稚園利用者の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=153 / H30=206		割合 (%)	
利用する必要はない	R5		23.5%
	H30		27.2%
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	R5		20.9%
	H30		11.2%
休みの期間中、週に数日利用したい	R5		51.0%
	H30		56.3%
無回答	R5		4.6%
	H30		5.3%

『利用したい』の利用開始時刻は、「9時台」の割合が60.9%と最も高く、次いで「8時台」が20.9%、「10時台」が10.9%となっています。

『利用したい』の利用終了時刻は、「15時台」の割合が26.4%と最も高く、次いで「16時台」が23.6%、「14時台」が15.5%となっています。

【問 24 幼稚園利用者の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望時間】

〔就学前児童保護者〕













回答者数=110	(1) 利用開始時刻	(2) 利用終了時刻
	割合(%)	割合(%)
6時以前	0.0%	0.0%
6時台	0.0%	0.0%
7時台	1.8%	0.0%
8時台	20.9%	0.0%
9時台	60.9%	0.0%
10時台	10.9%	0.0%
11時台	0.0%	0.0%
12時台	0.0%	2.7%
13時台	0.9%	1.8%
14時台	0.0%	15.5%
15時台	0.0%	26.4%
16時台	0.0%	23.6%
17時台	0.0%	14.5%
18時台	0.9%	10.9%
19時台	0.0%	0.9%
20時台	0.0%	0.0%
21時以後	0.0%	0.0%
無回答	3.6%	3.6%

5 休み期間中の毎日ではなくたまに利用したい理由

休み期間中の毎日ではなくたまに利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が56.4%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」が53.8%、「週に数回仕事が入るため」が42.3%となっています。平成30年度調査と比較すると、上位3つの割合はいずれも増加しています。

【問 24-1 休み期間中の毎日ではなくたまに利用したい理由】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=78 / H30=116		割合(%)	
週に数回仕事が入るため	R5		42.3%
	H30		28.4%
買い物等の用事をまとめて済ませるため	R5		56.4%
	H30		56.0%
親族の介護や手伝いが必要なため	R5		3.8%
	H30		0.9%
リフレッシュのため (息抜きのため)	R5		53.8%
	H30		47.4%
その他	R5		15.4%
	H30		21.6%
無回答	R5		0.0%
	H30		3.4%

第8章 緊急時等の保育対応【就学前児童：平日の定期的な教育・保育事業を利用している子ども / 小学生：全対象】

1 この1年間に子どもの病気やケガで定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験

この1年間に子どもの病気やケガで定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験は、就学前児童保護者では、「あった」の割合が83.8%、「なかった」が13.3%となっています。

低学年保護者では、「あった」の割合が71.6%、「なかった」が26.2%となっています。

その際の対処方法は、就学前児童保護者では「母親が休んだ」の割合が75.0%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が48.6%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が23.7%となっています。

低学年保護者では、「母親が休んだ」の割合が60.3%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が30.1%、「父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた」が19.5%となっています。

【問 この1年間に子どもの病気やケガで定期的な教育・保育事業を利用できなかった経験】

〔就学前児童保護者・問 25〕

回答者数=660	割合(%)	
あった		83.8%
なかった		13.3%
無回答		2.9%

〔低学年保護者・問 17〕

【問 この1年間に子どもの病気やケガで定期的な教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法】

〔就学前児童保護者・問 25-1〕

回答者数: R5=553 / H30=471 / H25=357	割合(%)		
父親が休んだ	R5		48.6%
	H30		35.0%
	H25		31.9%
母親が休んだ	R5		75.0%
	H30		75.6%
	H25		67.5%
保護者が休めず、仕方なく兄弟が子どもをみた	R5		0.7%
	H30		-
	H25		-
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	R5		23.7%
	H30		28.0%
	H25		37.5%
父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	R5		16.1%
	H30		20.6%
	H25		23.0%
病児・病後児の保育を利用した	R5		5.1%
	H30		10.4%
	H25		12.6%
ベビーシッターを利用した	R5		1.4%
	H30		0.8%
	H25		1.1%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	R5		0.5%
	H30		0.4%
	H25		1.1%
その他	R5		5.6%
	H30		1.9%
	H25		2.2%
無回答	R5		6.1%
	H30		0.6%
	H25		6.2%

〔低学年保護者・問 17-1〕

回答者数: R5=292 / H30=255 / H25実施なし	割合(%)		
父親が休んだ	R5		30.1%
	H30		18.8%
	H25		-
母親が休んだ	R5		60.3%
	H30		54.1%
	H25		-
保護者が休めず、仕方なく兄弟が子どもをみた	R5		2.7%
	H30		-
	H25		-
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	R5		14.0%
	H30		15.7%
	H25		-
父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	R5		19.5%
	H30		34.9%
	H25		-
病児・病後児の保育を利用した	R5		1.4%
	H30		2.4%
	H25		-
ベビーシッターを利用した	R5		0.3%
	H30		0.0%
	H25		-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	R5		6.8%
	H30		8.6%
	H25		-
その他	R5		14.4%
	H30		3.1%
	H25		-
無回答	R5		9.2%
	H30		0.8%
	H25		-

対処ごとの日数について、就学前児童保護者では、対処方法として最も多かった「2. 母親が休んだ」年間当たりの日数は「10 日」の割合が 23.4%と最も高く、対処方法として2番目に多かった「1. 父親が休んだ」年間当たりの日数は「5日」が 24.2%と最も高くなっています。それぞれ「10 日」の割合も一定程度ある中、「6. 病児・病後児の保育を利用した」と「8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は日数が少ない傾向にあります。

低学年保護者では、対処方法として最も多かった「2. 母親が休んだ」年間当たりの日数は「5日」の割合が 20.5%と最も高く、対処方法として2番目に多かった「1. 父親が休んだ」年間当たりの日数は「3日」が 26.1%と最も高くなっています。

全体では、就学前児童保護者よりも低学年保護者で日数が少なくなっています。

【問 対処ごとの日数】

〔就学前児童保護者・問 25-1〕

	「1. 父親が休んだ」年間当たりの日数	「2. 母親が休んだ」年間当たりの日数	「3. 仕方なく兄弟が子どもをみた」の年間当たりの日数	「4. 親族・知人に子どもをみてもらった」の年間当たりの日数	「5. 就労していない親が子どもをみた」の年間当たりの日数	「6. 病児・病後児の保育を利用した」の年間当たりの日数	「7. ベビーシッターを利用した」の年間当たりの日数	「8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の年間当たりの日数	「9. その他」の年間当たりの日数
回答者数	269	415	4	131	89	28	8	3	31
1日	5.2%	0.7%	0.0%	6.1%	2.2%	14.3%	12.5%	0.0%	3.2%
2日	13.8%	3.1%	25.0%	8.4%	2.2%	42.9%	25.0%	66.7%	3.2%
3日	13.4%	7.2%	25.0%	16.0%	3.4%	17.9%	25.0%	0.0%	6.5%
4日	3.3%	2.2%	0.0%	1.5%	4.5%	7.1%	0.0%	33.3%	0.0%
5日	24.2%	15.7%	0.0%	19.8%	4.5%	7.1%	12.5%	0.0%	0.0%
6日	0.4%	0.7%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7日	5.9%	4.6%	0.0%	3.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	12.9%
8日	1.5%	2.9%	0.0%	0.0%	2.2%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
9日	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10日	14.1%	23.4%	25.0%	17.6%	27.0%	3.6%	12.5%	0.0%	32.3%
11～15日	2.6%	11.1%	0.0%	3.1%	7.9%	3.6%	0.0%	0.0%	16.1%
16～20日	0.7%	8.2%	0.0%	4.6%	14.6%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%
21日以上	0.7%	6.5%	0.0%	5.3%	15.7%	0.0%	0.0%	0.0%	9.7%
無回答	13.8%	13.7%	25.0%	13.0%	14.6%	0.0%	12.5%	0.0%	9.7%

〔低学年保護者・問 17-1〕

	「1. 父親が休んだ」年間当たりの日数	「2. 母親が休んだ」年間当たりの日数	「3. 仕方なく兄弟が子どもをみた」の年間当たりの日数	「4. 親族・知人に子どもをみてもらった」の年間当たりの日数	「5. 就労していない親が子どもをみた」の年間当たりの日数	「6. 病児・病後児の保育を利用した」の年間当たりの日数	「7. ベビーシッターを利用した」の年間当たりの日数	「8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の年間当たりの日数	「9. その他」の年間当たりの日数
回答者数	88	176	8	41	57	4	1	20	42
1日	10.2%	4.5%	25.0%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	9.5%
2日	19.3%	10.8%	37.5%	22.0%	1.8%	75.0%	0.0%	35.0%	11.9%
3日	26.1%	17.0%	25.0%	17.1%	7.0%	25.0%	100.0%	25.0%	26.2%
4日	4.5%	8.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5日	22.7%	20.5%	0.0%	24.4%	17.5%	0.0%	0.0%	15.0%	7.1%
6日	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7日	4.5%	4.5%	0.0%	4.9%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
8日	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%
9日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10日	5.7%	15.9%	0.0%	19.5%	28.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
11～15日	1.1%	3.4%	0.0%	0.0%	14.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16～20日	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%
21日以上	0.0%	1.1%	0.0%	2.4%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	4.5%	6.8%	0.0%	4.9%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.0%

2 父親・母親が休んだ家庭の病児・病後児保育施設等の利用希望

父親・母親が休んだ家庭の病児・病後児保育施設等の利用希望は、就学前児童保護者では、「利用したいとは思わない」の割合が 58.6%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 39.8%となっています。

低学年保護者では、「利用したいとは思わない」の割合が 70.7%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 25.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、就学前児童保護者と低学年保護者のいずれも、「利用したいとは思わない」の割合が増加しています。

年間の希望日数は、就学前児童保護者では、「10 日」の割合が 27.7%と最も高く、次いで「5日」が 26.0%となっています。低学年保護者では「5日」が 26.1%と最も高く、次いで「10 日」が 17.4%となっています。

【問 父親・母親が休んだ家庭の病児・病後児保育施設等の利用希望】

〔就学前児童保護者・問 25-2〕

回答者数: R5=435 / H30=365		割合 (%)	
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	R5		39.8%
	H30		45.8%
利用したいとは思わない	R5		58.6%
	H30		53.4%
無回答	R5		1.6%
	H30		0.8%

〔低学年保護者・問 17-2〕

回答者数: R5=184 / H30=148		割合 (%)	
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	R5		25.0%
	H30		33.1%
利用したいとは思わない	R5		70.7%
	H30		62.2%
無回答	R5		4.3%
	H30		4.7%

【問 病児・病後児保育施設等の年間の利用日数】

〔就学前児童保護者・問 25-2〕

回答者数=173	割合 (%)	
1日		0.6%
2日		4.6%
3日		9.8%
4日		0.6%
5日		26.0%
6日		1.2%
7日		2.3%
8日		0.0%
9日		0.0%
10日		27.7%
11～15日		4.6%
16～20日		3.5%
21日以上		4.0%
無回答		15.0%

〔低学年保護者・問 17-2〕

回答者数=46	割合 (%)	
1日		2.2%
2日		10.9%
3日		15.2%
4日		0.0%
5日		26.1%
6日		2.2%
7日		6.5%
8日		0.0%
9日		0.0%
10日		17.4%
11～15日		2.2%
16～20日		2.2%
21日以上		0.0%
無回答		15.2%

3 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態【就学前児童のみ】

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」場合の望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が 84.4%と最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所・認定こども園等）」が 57.2%、「小規模施設で子どもを保育する事業」が 26.0%となっています。

【問 25-3 「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」場合の望ましい事業形態】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=173	割合(%)
他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所・認定こども園等)	57.2%
小規模施設で子どもを保育する事業	26.0%
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	84.4%
地域住民等が自宅などで保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター事業等)	15.6%
その他	1.2%
無回答	1.2%

4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由【就学前児童のみ】

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が 55.3%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が 52.9%となっています。

【問 25-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=255 / H30=195 / H25=127	割合(%)	
病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	R5	55.3%
	H30	48.7%
	H25	52.8%
地域の事業の質に不安がある	R5	6.7%
	H30	5.6%
	H25	3.1%
地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	R5	20.4%
	H30	17.9%
	H25	24.4%
利用料がかかる・高い	R5	22.0%
	H30	16.4%
	H25	28.3%
利用料がわからない	R5	11.8%
	H30	9.2%
	H25	3.1%
親が仕事を休んで対応する	R5	52.9%
	H30	59.5%
	H25	48.8%
その他	R5	33.7%
	H30	31.3%
	H25	30.7%
無回答	R5	0.0%
	H30	0.5%
	H25	0.0%

5 父親・母親が休まなかった家庭の休んで看たい意向【就学前児童のみ】

父親・母親が休まなかった家庭の休んで看たい意向は、「仕事を休んでみることができる」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「休んでみることはどちらかといえば困難」が 25.6%、「休んでみることは非常に難しい」が 6.8%となっています。過年度調査と比較すると、「仕事を休んでみることができる」の割合が増加しています。

「仕事を休んでみることができる」年間当たりの日数は、「10 日」の割合が 30.3%と最も高く、次いで「5日」が 19.3%となっています。

【問 25-5 父親・母親が休まなかった家庭の休んで看たい意向】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=266 / H30=265 / H25=240	割合(%)	
仕事を休んでみることができる	R5	41.0%
	H30	34.7%
	H25	27.5%
休んでみることはどちらかといえば困難	R5	25.6%
	H30	35.1%
	H25	33.3%
休んでみることは非常に難しい	R5	6.8%
	H30	11.3%
	H25	17.5%
無回答	R5	26.7%
	H30	24.5%
	H25	21.7%

【問 25-5 父親・母親が休んでみることができる年間の日数】

〔就学前児童保護者〕

回答者数=109	割合(%)	
1日	0.9%	
2日	0.0%	
3日	1.8%	
4日	0.9%	
5日	19.3%	
6日	1.8%	
7日	3.7%	
8日	1.8%	
9日	0.0%	
10日	30.3%	
11～15日	2.8%	
16～20日	13.8%	
21日以上	5.5%	
無回答	17.4%	

6 父親・母親が休んで看ることが困難な理由【就学前児童のみ】

父親・母親が休んで看ることが困難な理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」と「休暇日数が足りないので休めない」の割合がそれぞれ 27.9%となっています。「その他」の理由として、仕事の忙しさや仕事の代理を立てにくいなどが多くなっています。

【問 25-6 父親・母親が休んで看ることが困難な理由】
〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=86 / H30=122 / H25=122		割合(%)	
子どもの看護を理由に休みがとれない	R5		27.9%
	H30		32.8%
	H25		41.0%
自営業なので休めない	R5		4.7%
	H30		4.9%
	H25		6.6%
休暇日数が足りないので休めない	R5		27.9%
	H30		18.9%
	H25		18.9%
その他	R5		51.2%
	H30		47.5%
	H25		41.8%
無回答	R5		2.3%
	H30		7.4%
	H25		8.2%

〔その他の理由・問 25-6〕

- ・ シフト制 / 代理が立てられない / 代わりがない / 教員等の休みにくい職種 など (計 19 件)
- ・ 業務繁忙 / 休むと仕事がたまる / 人手が足りない など (計 15 件)
- ・ 休む事により収入が減少する (計 2 件)
- ・ 仕事の状況による / 都度仕事内容による (計 2 件)
- ・ 常に困難ではありませんが その日に大切な会議などであると休みにくい
- ・ 連続して発生すると仕事に支障が出る
- ・ 毎回子ども発熱とかで休みにくい 休みもらった明けの日は毎回気まずい
- ・ 子の看護を理由に休みがとれないわけではないが、同僚に迷惑がかかる。
- ・ 他の方への迷惑を考えると制度的にはやすめても、やすみにくい また、やすんだら、翌日の仕事がたまっていてつらい
- ・ 子の看護休暇の日数が 5 日間しかなく、有給をフルで使ってしまうため。
- ・ 休みをとりづらい 仕事をしたい
- ・ 会社の育児への関心が低すぎる。そのために両親が無理を強いられる。認可ともなると病気の前段階の判定も認証より厳しいため、働き手にとってはとても辛い。
- ・ 在宅しながら子どもをみれると思われている
- ・ 「妻が専業主婦ならば妻が看病すれば？」と職場に言われるから(休みが取れなくはないが、推奨はされてない) (計 2 件)
- ・ 就労していない介護者がいる為必要ない
- ・ 専業主婦なので夫は休まず私が看るようにしているため

7 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業 【就学前児童のみ】

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業は、「利用していない」の割合が70.8%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）」が8.8%、「一時保育(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)」が6.1%となっています。過年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が減少しています。

【問 26 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業】 〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772	割合 (%)	
一時保育(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	R5	6.1%
	H30	8.0%
	H25	6.3%
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	R5	8.8%
	H30	13.5%
	H25	11.0%
ファミリー・サポート・センター事業(地域住民が子どもを預かる事業)	R5	2.0%
	H30	3.5%
	H25	3.0%
ベビーシッター	R5	1.9%
	H30	2.2%
	H25	0.9%
その他	R5	1.1%
	H30	1.8%
	H25	1.3%
利用していない	R5	70.8%
	H30	71.7%
	H25	72.2%
無回答	R5	11.5%
	H30	3.5%
	H25	7.8%

私用等の目的で不定期に利用している事業ごとの年間当たりの日数は、「1. 一時保育」では「10日」と「21日以上」の割合が17.6%、「2. 幼稚園の預かり保育」では「21日以上」が21.9%、「3. ファミリー・サポート・センター事業」では「21日以上」が17.6%、「4. ベビーシッター」では「5日」が31.3%、「5. その他」では「10日」が22.2%とそれぞれ最も高くなっています。

【問 26 私用等の目的で不定期に利用している事業の日数】 〔就学前児童保護者〕





















	「1. 一時保育」の年間当たりの日数	「2. 幼稚園の預かり保育」の年間当たりの日数	「3. ファミリー・サポート・センター事業」の年間当たりの日数	「4. ベビーシッター」の年間当たりの日数	「5. その他」の年間当たりの日数
回答者数	51	73	17	16	9
1日	2.0%	1.4%	5.9%	6.3%	11.1%
2日	3.9%	4.1%	5.9%	0.0%	0.0%
3日	5.9%	6.8%	5.9%	12.5%	0.0%
4日	2.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%
5日	11.8%	15.1%	5.9%	31.3%	0.0%
6日	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
7日	3.9%	2.7%	0.0%	0.0%	11.1%
8日	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
9日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10日	17.6%	11.0%	11.8%	6.3%	22.2%
11～15日	3.9%	8.2%	5.9%	12.5%	11.1%
16～20日	7.8%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%
21日以上	17.6%	21.9%	17.6%	18.8%	11.1%
無回答	21.6%	20.5%	29.4%	12.5%	22.2%

8 不定期で利用可能な事業を利用していない理由【就学前児童のみ】

不定期で利用可能な事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」の割合が 66.6%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 17.7%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 15.3%、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」が 12.1%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「特に利用する必要がない」の割合は 1 ポイント増加しています。

【問 26-1 不定期で利用可能な事業を利用していない理由】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=589 / H30=654		割合 (%)	
特に利用する必要がない	R5		66.6%
	H30		65.6%
利用したい事業が地域にない	R5		6.5%
	H30		7.2%
地域の事業の質に不安がある	R5		6.5%
	H30		8.3%
地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	R5		9.8%
	H30		9.9%
利用料がかかる・高い	R5		17.7%
	H30		16.2%
利用料がわからない	R5		7.5%
	H30		6.3%
自分が事業の対象者になるのかどうか わからない	R5		12.1%
	H30		9.2%
事業の利用方法(手続き等)がわからない	R5		15.3%
	H30		13.3%
その他	R5		10.7%
	H30		13.0%
無回答	R5		1.2%
	H30		0.5%

9 私用等の目的で今後事業を利用する可能性【就学前児童のみ】







私用等の目的で今後事業を利用する可能性は、「利用する必要はない」の割合が 44.6%、「利用する可能性がある」が 40.1%となっています。過年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合はほぼ変化がないです。

「利用する可能性がある」の年間の日数は、「21 日以上」が 12.9%と最も高くなっています。

「利用する可能性がある」の利用目的は、「①私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や 親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「②冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を 含む)や親の通院等」が 31.1%、「③不特定の就労」が 16.5%となっています。

【問 27 私用等の目的で今後事業を利用する可能性】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912		割合 (%)	
利用する可能性がある	R5		40.1%
	H30		49.7%
利用する必要はない	R5		44.6%
	H30		44.5%
無回答	R5		15.5%
	H30		5.8%

【問 27 利用する可能性がある年間の日数】

〔就学前児童保護者〕

	「1. 利用する可能性がある」の年間当たりの合計日数	「①私用」の年間当たりの日数	「②冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」の年間当たりの日数	「③不定期の就労」の年間当たりの日数	「④その他」の年間当たりの日数
回答者数	334	140	104	55	42
1日	0.9%	7.1%	4.8%	1.8%	2.4%
2日	2.7%	5.7%	10.6%	3.6%	2.4%
3日	4.2%	7.1%	14.4%	10.9%	4.8%
4日	2.1%	2.1%	2.9%	0.0%	0.0%
5日	7.5%	12.9%	15.4%	14.5%	16.7%
6日	2.4%	5.0%	5.8%	5.5%	0.0%
7日	0.3%	0.0%	1.9%	5.5%	4.8%
8日	0.6%	0.0%	1.9%	1.8%	0.0%
9日	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10日	11.7%	10.7%	11.5%	14.5%	21.4%
11～15日	7.5%	13.6%	4.8%	3.6%	7.1%
16～20日	4.8%	5.7%	1.9%	3.6%	0.0%
21日以上	12.9%	10.7%	0.0%	7.3%	7.1%
無回答	41.9%	19.3%	24.0%	27.3%	33.3%

【問 27 利用する目的】





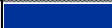





〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=334 / H30=453		割合(%)	
①私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	R5		41.9%
	H30		55.6%
②冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	R5		31.1%
	H30		43.0%
③不定期の就労	R5		16.5%
	H30		26.7%
④その他	R5		12.6%
	H30		7.3%
無回答	R5		32.9%
	H30		17.7%

10 私用等の目的で子どもを預ける際の望ましい事業形態 【就学前児童のみ】

私用等の目的で子どもを預ける際の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育園・認定こども園等)」の割合が 78.7%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 47.3%、「地域住民等が自宅などで子どもを預けて保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター事業等)」が 28.1%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、いずれの事業形態も増加しています。


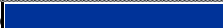




【問 27-1 私用等の目的で子どもを預ける際の望ましい事業形態】
〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=334 / H30=453		割合(%)	
大規模施設で子どもを保育する事業 (例: 幼稚園・保育園・認定こども園等)	R5		78.7%
	H30		71.1%
小規模施設で子どもを保育する事業	R5		47.3%
	H30		41.1%
地域住民等が自宅などで子どもを預けて保育する事業 (例: ファミリー・サポート・センター事業等)	R5		28.1%
	H30		22.5%
その他	R5		5.1%
	H30		3.8%
無回答	R5		2.4%
	H30		8.6%

11 親の通院等で緊急に子どもを預けやすい事業【就学前児童のみ】

親の通院や介護等により、緊急に子どもの保育が必要になった際に利用しやすい事業は、「利用したいときにスムーズに利用できる」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「利用手続きが簡易」が 48.3%、「利用料が安価」が 42.1%となっています。

【問 27-2 親の通院等で緊急に子どもを預けやすい事業】
〔就学前児童保護者〕

回答者数=832	割合(%)	
利用手続きが簡易		48.3%
利用したいときにスムーズに利用できる		56.9%
利用料が安価		42.1%
対応時間が長い		32.8%
兄弟(姉妹)で保育できる		28.1%
無回答		41.1%

12 この1年間に保護者が泊まりがけでの用事があった際の子どもへの対応

この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験は、就学前児童保護者では、「あった」の割合が9.7%、「なかった」が78.7%となっています。

低学年保護者では、「あった」の割合が6.9%、「なかった」が80.9%となっています。

その際の対処方法は、就学前児童保護者では「①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が45.7%と最も高くなっています。

低学年保護者では、「①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の割合が71.4%と最も高くなっています。

【問 この1年間に保護者の用事で子どもを泊まりがけで預けた経験】

〔就学前児童保護者・問 28〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=613		割合 (%)	
あった	R5		9.7%
	H30		16.9%
	H25		17.6%
なかった	R5		78.7%
	H30		80.4%
	H25		77.1%
無回答	R5		11.5%
	H30		2.7%
	H25		5.3%

〔低学年保護者・問 18〕

回答者数: R5=408 / H30=489 / H25実施なし		割合 (%)	
あった	R5		6.9%
	H30		13.3%
	H25		-
なかった	R5		80.9%
	H30		83.8%
	H25		-
無回答	R5		12.3%
	H30		2.9%
	H25		-

【問 この1年間に保護者の用事で子どもを泊まりがけで預けた際の対処方法】

〔就学前児童保護者・問 28〕

回答者数: R5=81 / H30=154 / H25=136		割合 (%)	
①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	R5		45.7%
	H30		85.7%
	H25		82.4%
②ショートステイ事業を利用した(児童養護施設等において、宿泊により子どもを保護する事業)	R5		0.0%
	H30		3.9%
	H25		0.7%
③②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	R5		0.0%
	H30		1.9%
	H25		0.0%
④仕方なく子どもを同行させた	R5		18.5%
	H30		13.6%
	H25		12.5%
⑤仕方なく子どもだけで留守番をさせた	R5		0.0%
	H30		0.0%
	H25		0.7%
⑥その他	R5		8.6%
	H30		3.9%
	H25		3.7%
無回答	R5		34.6%
	H30		0.6%
	H25		4.4%

〔低学年保護者・問 18〕

回答者数: R5=28 / H30=65 / H25実施なし		割合 (%)	
①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	R5		71.4%
	H30		89.2%
	H25		-
②ショートステイ事業を利用した(児童養護施設等において、宿泊により子どもを保護する事業)	R5		0.0%
	H30		3.1%
	H25		-
③②以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	R5		0.0%
	H30		0.0%
	H25		-
④仕方なく子どもを同行させた	R5		7.1%
	H30		10.8%
	H25		-
⑤仕方なく子どもだけで留守番をさせた	R5		0.0%
	H30		1.5%
	H25		-
④その他	R5		7.1%
	H30		3.1%
	H25		-
無回答	R5		14.3%
	H30		1.5%
	H25		-

保護者の用事で子どもを泊まりがけで預けた際の年間当たりの泊数について就学前児童保護者は、「①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」では「1泊」が 27.0%、「④仕方なく子どもを同行させた」では「1泊」と「2泊」が 20.0%、「⑥その他」では「1泊」が 42.9%とそれぞれ最も高くなっています。

低学年保護者では、「①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」では「1泊」が 45.0%、「④仕方なく子どもを同行させた」では、「2泊」が 50.0%とそれぞれ最も高くなっています。

【問 保護者の用事で子どもを泊まりがけで預けた際の日数】

〔就学前児童保護者・問 28〕

	「①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の泊数	「②ショートステイ事業を利用した」の泊数	「③②以外の保育事業」の泊数	「④仕方なく子どもを同行させた」の泊数	「⑤仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の泊数	「⑥その他」の泊数
回答者数	37	0	0	15	0	7
1泊	27.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	42.9%
2泊	13.5%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	14.3%
3泊	13.5%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
4泊	5.4%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
5泊	8.1%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	14.3%
6泊	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7泊	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8泊	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9泊	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10泊	2.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
11～15泊	2.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
16～20泊	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
21泊以上	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	16.2%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	28.6%

〔低学年保護者・問 18〕

	「①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」の泊数	「②ショートステイ事業を利用した」の泊数	「③②以外の保育事業」の泊数	「④仕方なく子どもを同行させた」の泊数	「⑤仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の泊数	「⑥その他」の泊数
回答者数	20	0	0	2	0	2
1泊	45.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2泊	5.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
3泊	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4泊	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5泊	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6泊	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7泊	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8泊	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9泊	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10泊	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11～15泊	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16～20泊	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21泊以上	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	15.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%

13 保護者の用事で子どもを親族・知人に見てもらった際の困難度

保護者の用事で子どもを親族・知人に見てもらった際の困難度は、就学前児童保護者では、「特に困難ではない」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「どちらかという困難」が 29.7%、「非常に困難」が 18.9%となっています。過年度調査と比較すると、「特に困難ではない」と「非常に困難」の両方が増加しています。

低学年保護者では、「どちらかという困難」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「特に困難ではない」が 28.6%、「非常に困難」が 10.7%となっています。

【問 保護者の用事で子どもを親族・知人に見てもらった際の困難度】

〔就学前児童保護者・問 28-1〕

回答者数: R5=37 / H30=132 / H25=112		割合 (%)	
非常に困難	R5		18.9%
	H30		15.2%
	H25		17.0%
どちらかという困難	R5		29.7%
	H30		43.2%
	H25		40.2%
特に困難ではない	R5		51.4%
	H30		40.2%
	H25		36.6%
無回答	R5		0.0%
	H30		1.5%
	H25		6.3%

〔低学年保護者・問 18-1〕

回答者数: R5=28 / H30=58 / H25実施なし		割合 (%)	
非常に困難	R5		10.7%
	H30		17.2%
	H25		-
どちらかという困難	R5		39.3%
	H30		48.3%
	H25		-
特に困難ではない	R5		28.6%
	H30		31.0%
	H25		-
無回答	R5		21.4%
	H30		3.4%
	H25		-

第9章 (子どもが3歳以上) 小学校の放課後の過ごし方

1 小学校低学年の放課後の過ごし方【低学年のみ】

小学校低学年の放課後の過ごし方は、「自宅」の割合が57.1%と最も高く、次いで「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が55.9%、「学童保育所(放課後に就労等で保育できない保護者の代わりに生活の場を提供する事業)」が38.5%、「ほうかごキッズ(放課後に学校で安全管理員の見守りのもとで自由に遊べる事業)」が37.5%となっています。

【問19 小学校低学年の放課後の過ごし方】

〔低学年保護者〕

回答者数=408		割合(%)	
自宅	R5		57.1%
祖父母宅や友人・知人宅	R5		8.3%
塾や習い事	R5		55.9%
児童館・矢川プラス(児童が自由に来館して遊べる施設)	R5		13.7%
ほうかごキッズ	R5		37.5%
学童保育所	R5		38.5%
ファミリー・サポート・センター事業	R5		1.2%
その他(公民館、公園など)	R5		12.7%
無回答	R5		9.3%

小学校低学年の放課後の過ごし方の週当たりの日数は、「1. 自宅」では「5日」の割合が23.6%、「2. 祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」が67.6%、「3. 塾や習い事」では「1日」が26.3%、「4. 児童館・矢川プラス」では「1日」が41.1%、「5. ほうかごキッズ」では「2日」が35.3%、「6. 学童保育所」では「5日」が29.3%、「7. ファミリー・サポート・センター事業」では「1日」と「3日」、「5日」が20.0%、「8. その他(公民館、公園など)」では「2日」が30.8%とそれぞれ最も高くなっています。

【問19 小学校低学年の放課後の過ごし方の日数】

〔低学年保護者〕

	「1. 自宅」の週当たり日数	「2. 祖父母宅や友人・知人宅」の週当たり日数	「3. 塾や習い事」の週当たり日数	「4. 児童館・矢川プラス」の週当たり日数	「5. ほうかごキッズ」の週当たり日数	「6. 学童保育所」の週当たり日数	「7. ファミリー・サポート・センター事業」の週当たり日数	「8. その他(公民館、公園など)」の週当たり日数
回答者数	233	34	228	56	153	157	5	52
1日	20.2%	67.6%	26.3%	41.1%	22.2%	3.8%	20.0%	21.2%
2日	22.3%	11.8%	23.7%	23.2%	35.3%	6.4%	0.0%	30.8%
3日	18.0%	8.8%	19.7%	7.1%	0.7%	5.7%	20.0%	9.6%
4日	7.7%	2.9%	11.4%	3.6%	0.7%	17.2%	0.0%	1.9%
5日	23.6%	5.9%	3.5%	1.8%	0.7%	29.3%	20.0%	1.9%
6日	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
7日	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	6.4%	2.9%	14.9%	23.2%	40.5%	36.9%	40.0%	34.6%

学童保育所の利用終了時刻は、「17時台」の割合が28.0%と最も高く、次いで「18時台」が17.8%となっています。

【問 19 小学校低学年の放課後の過ごし方の学童保育所の利用終了時刻】

〔低学年保護者〕

回答者数=157	割合(%)
12時以前	4.5%
13時台	0.0%
14時台	0.0%
15時台	0.0%
16時台	7.0%
17時台	28.0%
18時台	17.8%
19時台	9.6%
20時台	0.0%
21時以後	0.0%
無回答	33.1%

2 小学校低学年の放課後の過ごし方の希望

小学校低学年の放課後の過ごし方の希望は、就学前児童保護者では、「学童保育所(放課後に就労等で保育できない保護者の代わりに生活の場を提供する事業)」の割合が55.2%と最も高く、次いで「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が50.2%、「自宅」が46.2%、「ほうかごキッズ(放課後に学校で安全管理員の見守りのもとで自由に遊べる事業)」が45.2%となっています。過年度調査と比較すると、「自宅」の割合が減少し、「学童保育所」は増加しています。

低学年保護者では、「塾や習い事」の割合が51.7%と最も高く、次いで「ほうかごキッズ」が48.0%、「自宅」が44.9%、「学童保育所」が38.0%となっています。過年度調査と比較すると、「自宅」の割合が減少しています。

【問 小学校低学年の放課後の過ごし方の希望】

〔就学前児童保護者・問 29〕

回答者数: R5=478 / H30=429 / H25=349	割合(%)
自宅	R5 46.2% H30 51.0% H25 46.7%
祖父母宅や友人・知人宅	R5 13.8% H30 16.6% H25 17.2%
塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	R5 50.2% H30 61.8% H25 53.6%
児童館・矢川プラス(児童が自由に 来館して遊べる施設) (児童館)	R5 30.3% H30 16.6% H25 12.0%
ほうかごキッズ (放課後に学校で安全管理員の見守り のもとで自由に遊べる事業)	R5 45.2% H30 35.9% H25 50.7%
学童保育所 (放課後に就労等で保育できない保護者の 代わりに生活の場を提供する事業)	R5 55.2% H30 49.0% H25 38.4%
ファミリー・サポート・センター事業 (お子さんを預けたい人と預かりたい人を つなぐ会員制の事業)	R5 2.3% H30 0.9% H25 2.0%
その他(公民館、公園など)	R5 16.5% H30 22.1% H25 19.5%
無回答	R5 8.8% H30 3.0% H25 12.9%

〔低学年保護者・問 20〕

回答者数: R5=408 / H30=489 / H25=451	割合(%)
自宅	R5 44.9% H30 64.0% H25 54.1%
祖父母宅や友人・知人宅	R5 9.8% H30 17.4% H25 12.9%
塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	R5 51.7% H30 68.1% H25 59.0%
児童館・矢川プラス(児童が自由に 来館して遊べる施設) (児童館)	R5 27.0% H30 11.5% H25 4.4%
ほうかごキッズ (放課後に学校で安全管理員の見守り のもとで自由に遊べる事業)	R5 48.0% H30 48.5% H25 41.2%
学童保育所 (放課後に就労等で保育できない保護者の 代わりに生活の場を提供する事業)	R5 38.0% H30 37.0% H25 23.9%
ファミリー・サポート・センター事業 (お子さんを預けたい人と預かりたい人を つなぐ会員制の事業)	R5 0.7% H30 2.9% H25 0.7%
その他(公民館、公園など)	R5 18.6% H30 29.0% H25 20.6%
無回答	R5 10.8% H30 0.6% H25 18.2%

小学校低学年の放課後の過ごし方の希望の週当たりの日数について、就学前児童保護者は、「1. 自宅」では「2日」の割合が 25.3%、「2. 祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」が 51.5%、「3. 塾や習い事」では「1日」が 38.3%、「4. 児童館・矢川プラス」では「1日」が 41.4%、「5. ほうかごキッズ」では「2日」が 30.6%、「6. 学童保育所」では「5日」が 50.8%、「7. ファミリー・サポート・センター事業」では「1日」が 54.5%、「8. その他(公民館、公園など)」では「1日」が 31.6%とそれぞれ最も高くなっています。

低学年保護者は、「1. 自宅」では「1日」の割合が 24.0%、「2. 祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」が 47.5%、「3. 塾や習い事」では「2日」が 29.4%、「4. 児童館・矢川プラス」では「1日」が 30.0%、「5. ほうかごキッズ」では「2日」が 29.1%、「6. 学童保育所」では「5日」が 30.3%、「7. ファミリー・サポート・センター事業」では「1日」が 66.7%、「8. その他(公民館、公園など)」では「2日」が 22.4%とそれぞれ最も高くなっています。

【問 小学校低学年の放課後の過ごし方の希望の日数】

〔就学前児童保護者・問 29〕

	「1. 自宅」の週当たり日数	「2. 祖父母宅や友人・知人宅」の週当たり日数	「3. 塾や習い事」の週当たり日数	「4. 児童館・矢川プラス」の週当たり日数	「5. ほうかごキッズ」の週当たり日数	「6. 学童保育所」の週当たり日数	「7. ファミリー・サポート・センター事業」の週当たり日数	「8. その他(公民館、公園など)」の週当たり日数
回答者数	221	66	240	145	216	264	11	79
1日	15.8%	51.5%	38.3%	41.4%	23.6%	4.9%	54.5%	31.6%
2日	25.3%	9.1%	34.6%	21.4%	30.6%	6.4%	9.1%	24.1%
3日	18.1%	12.1%	11.3%	6.9%	11.6%	13.6%	0.0%	20.3%
4日	6.3%	0.0%	1.7%	0.7%	2.8%	10.6%	0.0%	3.8%
5日	13.6%	3.0%	2.1%	9.7%	12.5%	50.8%	9.1%	7.6%
6日	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%
7日	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	19.9%	24.2%	12.1%	20.0%	19.0%	12.5%	27.3%	12.7%

〔低学年保護者・問 20〕

	「1. 自宅」の週当たり日数	「2. 祖父母宅や友人・知人宅」の週当たり日数	「3. 塾や習い事」の週当たり日数	「4. 児童館・矢川プラス」の週当たり日数	「5. ほうかごキッズ」の週当たり日数	「6. 学童保育所」の週当たり日数	「7. ファミリー・サポート・センター事業」の週当たり日数	「8. その他(公民館、公園など)」の週当たり日数
回答者数	183	40	211	110	196	155	3	76
1日	24.0%	47.5%	21.3%	30.0%	20.4%	1.9%	66.7%	17.1%
2日	21.9%	17.5%	29.4%	25.5%	29.1%	5.2%	0.0%	22.4%
3日	15.8%	12.5%	19.0%	8.2%	6.6%	9.7%	0.0%	18.4%
4日	5.5%	0.0%	4.7%	1.8%	1.5%	7.1%	0.0%	0.0%
5日	18.0%	2.5%	1.9%	3.6%	5.6%	30.3%	0.0%	5.3%
6日	1.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%
7日	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	12.6%	20.0%	23.2%	30.9%	36.7%	45.2%	33.3%	36.8%

学童保育所の利用終了時刻は、就学前児童保護者では、「18 時台」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「17 時台」が 22.7%となっています。

低学年保護者では、「17 時台」が 23.9%と最も高く、次いで「18 時台」が 16.8%となっています。

【問 小学校低学年の放課後の過ごし方の学童保育所の利用終了時刻】

〔就学前児童保護者・問 29〕

回答者数=264	割合(%)
12時以前	2.7%
13時台	0.0%
14時台	0.0%
15時台	0.4%
16時台	3.8%
17時台	22.7%
18時台	34.8%
19時台	6.8%
20時台	1.1%
21時以後	0.0%
無回答	27.7%

〔低学年保護者・問 20〕

回答者数=155	割合(%)
12時以前	3.9%
13時台	0.0%
14時台	0.0%
15時台	0.0%
16時台	5.8%
17時台	23.9%
18時台	16.8%
19時台	6.5%
20時台	0.0%
21時以後	0.0%
無回答	43.2%

3 小学校高学年の放課後の過ごし方の希望

小学校高学年の放課後の過ごし方の希望は、就学前児童保護者では、「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「自宅」が 55.2%、「ほうかごキッズ(放課後に学校で安全管理員の見守りのもとで自由に遊べる事業)」が 39.7%、「児童館・矢川プラス(児童が自由に来館して遊べる施設)」が 39.1%となっています。過年度調査と比較すると、「塾や習い事」と「自宅」の割合が平成 30 年度調査よりも減少しています。

低学年保護者では、「塾や習い事」の割合が 70.1%と最も高く、次いで「自宅」が 47.8%、「ほうかごキッズ」が 39.2%、「児童館・矢川プラス」が 34.6%となっています。過年度調査と比較すると、「塾や習い事」と「自宅」の割合が平成 30 年度調査よりも減少しています。

【問 小学校高学年の放課後の過ごし方の希望】

〔就学前児童保護者・問 30〕

回答者数: R5=478 / H30=429 / H25=349	割合(%)
自宅	R5 55.2% H30 61.1% H25 51.0%
祖父母宅や友人・知人宅	R5 14.9% H30 19.3% H25 18.9%
塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	R5 66.7% H30 76.2% H25 68.5%
児童館・矢川プラス(児童が自由に 来館して遊べる施設) (児童館)	R5 39.1% H30 19.1% H25 13.8%
ほうかごキッズ (放課後に学校で安全管理員の見守り のもとで自由に遊べる事業)	R5 39.7% H30 33.3% H25 47.9%
学童保育所 (放課後に就労等で保育できない保護者の 代わりに生活の場を提供する事業)	R5 26.8% H30 32.6% H25 21.8%
ファミリー・サポート・センター事業 (お子さんを預けたい人と預かりたい人を つなぐ会員制の事業)	R5 0.8% H30 1.4% H25 0.9%
その他(公民館、公園など)	R5 22.0% H30 26.8% H25 22.9%
無回答	R5 13.8% H30 4.0% H25 13.5%

〔低学年保護者・問 21〕

回答者数: R5=408 / H30=489 / H25=451	割合(%)
自宅	R5 47.8% H30 66.9% H25 49.7%
祖父母宅や友人・知人宅	R5 10.5% H30 17.2% H25 14.2%
塾や習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	R5 70.1% H30 82.2% H25 63.9%
児童館・矢川プラス(児童が自由に 来館して遊べる施設) (児童館)	R5 34.6% H30 16.8% H25 8.6%
ほうかごキッズ (放課後に学校で安全管理員の見守り のもとで自由に遊べる事業)	R5 39.2% H30 47.0% H25 40.6%
学童保育所 (放課後に就労等で保育できない保護者の 代わりに生活の場を提供する事業)	R5 18.6% H30 24.3% H25 13.5%
ファミリー・サポート・センター事業 (お子さんを預けたい人と預かりたい人を つなぐ会員制の事業)	R5 0.5% H30 2.5% H25 0.4%
その他(公民館、公園など)	R5 22.5% H30 33.5% H25 24.2%
無回答	R5 16.4% H30 1.4% H25 22.8%

小学校高学年の放課後の過ごし方の希望の週当たりの日数について就学前児童保護者は、「1. 自宅」では「2日」の割合が 23.9%、「2. 祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」が 39.4%、「3. 塾や習い事」では「2日」が 36.4%、「4. 児童館・矢川プラス」では「1日」が 28.9%、「5. ほうかごキッズ」では「2日」が 28.4%、「6. 学童保育所」では「5日」が 35.2%、「7. ファミリー・サポート・センター事業」では「1日」と「5日」が 25.0%、「8. その他(公民館、公園など)」では「1日」が 25.7%とそれぞれ最も高くなっています。

低学年保護者は、「1. 自宅」では「2日」の割合が 25.6%、「2. 祖父母宅や友人・知人宅」では「1日」が 39.5%、「3. 塾や習い事」では「2日」が 28.0%、「4. 児童館・矢川プラス」では「1日」が 27.7%、「5. ほうかごキッズ」では「2日」が 29.4%、「6. 学童保育所」では「5日」が 13.2%、「7. ファミリー・サポート・センター事業」では「1日」が 50.0%、「8. その他(公民館、公園など)」では「1日」が 21.7%とそれぞれ最も高くなっています。

【問 小学校高学年の放課後の過ごし方の希望の日数】

〔就学前児童保護者・問 30〕

	「1. 自宅」の週当たり日数	「2. 祖父母宅や友人・知人宅」の週当たり日数	「3. 塾や習い事」の週当たり日数	「4. 児童館・矢川プラス」の週当たり日数	「5. ほうかごキッズ」の週当たり日数	「6. 学童保育所」の週当たり日数	「7. ファミリー・サポート・センター事業」の週当たり日数	「8. その他(公民館、公園など)」の週当たり日数
回答者数	264	71	319	187	190	128	4	105
1日	19.3%	39.4%	16.6%	28.9%	22.1%	10.2%	25.0%	25.7%
2日	23.9%	15.5%	36.4%	25.1%	28.4%	10.9%	0.0%	21.0%
3日	15.9%	5.6%	21.0%	11.8%	7.9%	20.3%	0.0%	16.2%
4日	2.3%	0.0%	1.9%	1.6%	2.1%	3.1%	0.0%	1.9%
5日	15.5%	7.0%	3.8%	9.6%	13.7%	35.2%	25.0%	12.4%
6日	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	1.0%
7日	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	22.7%	32.4%	20.4%	22.5%	25.3%	20.3%	50.0%	21.9%

〔低学年保護者・問 21〕

	「1. 自宅」の週当たり日数	「2. 祖父母宅や友人・知人宅」の週当たり日数	「3. 塾や習い事」の週当たり日数	「4. 児童館・矢川プラス」の週当たり日数	「5. ほうかごキッズ」の週当たり日数	「6. 学童保育所」の週当たり日数	「7. ファミリー・サポート・センター事業」の週当たり日数	「8. その他(公民館、公園など)」の週当たり日数
回答者数	195	43	286	141	160	76	2	92
1日	22.1%	39.5%	16.4%	27.7%	20.6%	2.6%	50.0%	21.7%
2日	25.6%	25.6%	28.0%	24.8%	29.4%	9.2%	0.0%	18.5%
3日	14.9%	11.6%	19.9%	12.8%	5.0%	10.5%	0.0%	14.1%
4日	4.6%	0.0%	3.5%	0.7%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
5日	16.9%	2.3%	4.5%	4.3%	2.5%	13.2%	0.0%	3.3%
6日	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
7日	1.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	14.9%	20.9%	26.9%	29.8%	42.5%	57.9%	50.0%	42.4%

学童保育所の利用終了時刻は、就学前児童保護者では、「18 時台」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「17 時台」が 16.4%となっています。

低学年保護者では、「17 時台」が 30.3%と最も高く、次いで「18 時台」が 13.2%となっています。

【問 小学校高学年の放課後の過ごし方の学童保育所の利用終了時刻】

〔就学前児童保護者・問 30〕

回答者数=128	割合 (%)	
12時以前		3.1%
13時台		0.0%
14時台		0.0%
15時台		0.0%
16時台		3.1%
17時台		16.4%
18時台		25.0%
19時台		13.3%
20時台		1.6%
21時以後		0.0%
無回答		37.5%

〔低学年保護者・問 21〕

回答者数=76	割合 (%)	
12時以前		6.6%
13時台		0.0%
14時台		0.0%
15時台		0.0%
16時台		0.0%
17時台		30.3%
18時台		13.2%
19時台		2.6%
20時台		0.0%
21時以後		0.0%
無回答		47.4%

4 土曜・日曜・祝日の学童保育所の利用希望

(1) 土曜の学童保育所の利用希望

土曜の学童保育所の利用希望は、就学前児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が 65.3%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が 19.6%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が 8.1%となっています。過年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

低学年保護者では、「現在、利用している」が 11.7%、「利用する必要はない」の割合が 68.1%となっています。過年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

【問 土曜の学童保育所の利用希望】

〔就学前児童保護者・問 31〕

回答者数: R5=271 / H30=225 / H25=142	割合 (%)	
低学年(1～3年生)の間は利用したい	R5	19.6%
	H30	18.7%
	H25	28.2%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	R5	8.1%
	H30	14.7%
	H25	16.9%
利用する必要はない	R5	65.3%
	H30	58.7%
	H25	47.9%
無回答	R5	7.0%
	H30	8.0%
	H25	7.0%

〔低学年保護者・問 22〕

回答者数: R5=188 / H30=195 / H25=113	割合 (%)	
現在、利用している	R5	11.7%
低学年(1～3年生)の間は利用したい	R5	6.9%
	H30	12.3%
	H25	11.5%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	R5	5.9%
	H30	16.9%
	H25	16.8%
利用する必要はない	R5	68.1%
	H30	57.4%
	H25	59.3%
無回答	R5	7.4%
	H30	13.3%
	H25	12.4%

「利用している／利用したい」の利用開始時刻は、就学前児童保護者と低学年保護者ともに、「8時台」と「9時台」の割合が高く、利用終了時刻は、「17時台」と「18時台」の割合が高くなっています。

〔就学前児童保護者・問 31〕

回答者数=75	(1) 土曜 利用開始時刻		(1) 土曜 利用終了時刻	
		割合(%)		割合(%)
6時以前		0.0%		4.0%
6時台		0.0%		0.0%
7時台		12.0%		0.0%
8時台		33.3%		0.0%
9時台		33.3%		1.3%
10時台		1.3%		0.0%
11時台		0.0%		0.0%
12時台		1.3%		6.7%
13時台		2.7%		0.0%
14時台		1.3%		1.3%
15時台		6.7%		2.7%
16時台		0.0%		2.7%
17時台		0.0%		29.3%
18時台		0.0%		33.3%
19時台		0.0%		13.3%
20時台		0.0%		1.3%
21時以後		0.0%		0.0%
無回答		8.0%		4.0%

〔低学年保護者・問 22〕

回答者数=46	(1) 土曜 利用開始時刻		(1) 土曜 利用終了時刻	
		割合(%)		割合(%)
6時間以前		0.0%		4.3%
6時台		0.0%		0.0%
7時台		8.7%		0.0%
8時台		43.5%		0.0%
9時台		28.3%		0.0%
10時台		2.2%		0.0%
11時台		0.0%		0.0%
12時台		0.0%		4.3%
13時台		0.0%		2.2%
14時台		0.0%		0.0%
15時台		0.0%		6.5%
16時台		0.0%		2.2%
17時台		0.0%		41.3%
18時台		0.0%		13.0%
19時台		0.0%		10.9%
20時台		0.0%		2.2%
21時以後		6.5%		2.2%
無回答		10.9%		10.9%

(2) 日曜・祝日の学童保育所の利用希望

日曜・祝日の学童保育所の利用希望は、就学前児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が76.4%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が8.9%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が3.3%となっています。過年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合は同程度となっています。

低学年保護者では、「利用する必要はない」の割合が72.3%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が6.4%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が6.4%となっています。過年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合は同程度となっています。

「利用したい」の利用開始時刻は、就学前児童保護者と低学年保護者ともに、「8時台」と「9時台」の割合が高く、利用終了時刻は、「17時台」と「18時台」の割合が高くなっています。

【問 日曜・祝日の学童保育所の利用希望】

〔就学前児童保護者・問 31〕

回答者数: R5=271 / H30=225 / H25=142		割合(%)	
低学年(1～3年生)の間は利用したい	R5		8.9%
	H30		6.7%
	H25		10.6%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	R5		3.3%
	H30		11.1%
	H25		7.7%
利用する必要はない	R5		76.4%
	H30		74.2%
	H25		75.4%
無回答	R5		11.4%
	H30		8.0%
	H25		6.3%

〔低学年保護者・問 22〕

回答者数: R5=188 / H30=195 / H25=113		割合(%)	
低学年(1～3年生)の間は利用したい	R5		6.4%
	H30		4.6%
	H25		4.4%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	R5		6.4%
	H30		6.2%
	H25		8.8%
利用する必要はない	R5		72.3%
	H30		72.3%
	H25		72.6%
無回答	R5		14.9%
	H30		16.9%
	H25		14.2%

〔就学前児童保護者・問 31〕

回答者数=33	(2) 日曜・祝日 利用開始時刻		(2) 日曜・祝日 利用終了時刻	
	割合(%)		割合(%)	
6時以前		0.0%		6.1%
6時台		0.0%		0.0%
7時台		12.1%		0.0%
8時台		45.5%		0.0%
9時台		36.4%		0.0%
10時台		3.0%		0.0%
11時台		0.0%		0.0%
12時台		0.0%		6.1%
13時台		0.0%		0.0%
14時台		0.0%		3.0%
15時台		0.0%		0.0%
16時台		0.0%		0.0%
17時台		0.0%		24.2%
18時台		0.0%		48.5%
19時台		0.0%		9.1%
20時台		0.0%		0.0%
21時以後		0.0%		0.0%
無回答		3.0%		3.0%

〔低学年保護者・問 22〕

回答者数=24	(2) 日曜・祝日 利用開始時刻		(2) 日曜・祝日 利用終了時刻	
	割合(%)		割合(%)	
6時間以前		0.0%		4.2%
6時台		0.0%		0.0%
7時台		16.7%		0.0%
8時台		58.3%		0.0%
9時台		16.7%		0.0%
10時台		0.0%		0.0%
11時台		0.0%		0.0%
12時台		0.0%		0.0%
13時台		0.0%		0.0%
14時台		0.0%		0.0%
15時台		0.0%		12.5%
16時台		0.0%		0.0%
17時台		0.0%		33.3%
18時台		0.0%		25.0%
19時台		0.0%		20.8%
20時台		0.0%		4.2%
21時以後		8.3%		0.0%
無回答		0.0%		0.0%

5 長期休暇期間中の学童保育所の利用希望

長期休暇期間中の学童保育所の利用希望は、就学前児童保護者では、「利用する必要はない」の割合が18.8%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が42.1%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が19.2%となっています。過年度調査と比較すると、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」の割合が増加しています。

低学年保護者では、「現在、利用している」が35.3%、「利用する必要はない」の割合が31.9%となっています。過年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

「利用している／利用したい」の利用開始時刻は、就学前児童保護者と低学年保護者ともに、「8時台」と「9時台」の割合が高く、利用終了時刻は、「17時台」と「18時台」の割合が高くなっています。

【問 長期休暇期間中の学童保育所の利用希望】

〔就学前児童保護者・問 32〕

回答者数: R5=478 / H30=429 / H25=349	割合(%)	
低学年(1～3年生)の間は利用したい	R5	42.1%
	H30	29.6%
	H25	33.5%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	R5	19.2%
	H30	25.6%
	H25	21.2%
利用する必要はない	R5	18.8%
	H30	23.3%
	H25	29.2%
無回答	R5	19.9%
	H30	21.4%
	H25	16.0%

〔低学年保護者・問 23〕

回答者数: R5=408 / H30=489 / H25=451	割合(%)	
現在、利用している	R5	35.3%
低学年(1～3年生)の間は利用したい	R5	12.7%
	H30	21.3%
	H25	14.9%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	R5	6.1%
	H30	27.6%
	H25	29.7%
利用する必要はない	R5	31.9%
	H30	40.3%
	H25	46.6%
無回答	R5	14.0%
	H30	10.8%
	H25	14.2%

〔就学前児童保護者・問 32〕

回答者数=293	長期休暇期間中 利用開始時刻		長期休暇期間中 利用終了時刻	
	割合(%)		割合(%)	
6時以前		0.0%		2.0%
6時台		0.0%		0.0%
7時台		8.9%		0.0%
8時台		46.8%		0.0%
9時台		36.2%		0.3%
10時台		1.0%		0.0%
11時台		0.0%		0.0%
12時台		0.0%		1.4%
13時台		0.3%		0.0%
14時台		0.3%		1.7%
15時台		0.7%		5.5%
16時台		0.0%		12.6%
17時台		0.0%		32.8%
18時台		0.0%		32.4%
19時台		0.0%		4.8%
20時台		0.0%		0.7%
21時以後		0.0%		0.0%
無回答		5.8%		5.8%

〔低学年保護者・問 23〕

回答者数=221	長期休暇期間中 利用開始時刻		長期休暇期間中 利用終了時刻	
	割合(%)		割合(%)	
6時間以前		0.0%		1.8%
6時台		0.0%		0.0%
7時台		4.5%		0.0%
8時台		46.6%		0.0%
9時台		26.2%		0.0%
10時台		3.2%		0.0%
11時台		0.0%		0.0%
12時台		0.0%		0.5%
13時台		0.0%		2.3%
14時台		0.5%		1.4%
15時台		0.5%		6.3%
16時台		0.0%		15.4%
17時台		0.0%		32.1%
18時台		0.0%		19.5%
19時台		0.0%		4.5%
20時台		0.0%		0.9%
21時以後		6.3%		3.2%
無回答		12.2%		12.2%

第10章 育児休業や時短時間勤務制度の利用状況 【就学前児童のみ】

1 育児休業の取得

育児休業の取得は、母親は、「取得した(取得中である)」の割合が60.3%と最も高く、次いで「働いていなかった」が31.5%、「取得していない」が7.1%となっています。過年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。

父親は、「取得していない」の割合が72.8%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」が22.8%となっています。過年度調査と比較すると、「取得した(取得中である)」の割合が増加しています。

【問33 育児休業の取得】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		(1) 母親		(2) 父親	
		割合(%)		割合(%)	
働いていなかった	R5		31.5%		0.5%
	H30		46.6%		1.3%
	H25		49.9%		0.6%
取得した(取得中である)	R5		60.3%		22.8%
	H30		43.1%		6.5%
	H25		33.8%		2.2%
取得していない	R5		7.1%		72.8%
	H30		7.8%		85.4%
	H25		12.6%		80.1%
無回答	R5		1.1%		3.8%
	H30		2.5%		6.8%
	H25		3.8%		17.1%

2 育児休業を取得していない理由

【問33 育児休業を取得していない理由】

〔就学前児童保護者〕

～母親～

- ・ 育休制度がなかった / そんな制度はない (計3件)
- ・ 仕事休めなかった
- ・ 業務多忙により
- ・ 出産を機に退職したため / 出産直前に退職したため / 退職したため (計12件)
- ・ 自営のため、休むと収入減になるため / 自営のため制度がない / 自営業で育休は難しい / 自営のため家にシフトチェンジした / 自営業のため融通がある程度きいたから / 自営業のため (計13件)
- ・ フリーランスのため制度がない
- ・ 就労していなかった / 専業主婦 (計9件)
- ・ 必要がなかった
- ・ できない
- ・ なかった
- ・ 育児休業がないため、仕事を休業する形になった
- ・ パート勤務で今までに産育休取得の事例がなく、辞めざるを得なかった
- ・ パート勤務のため / (計3件)

- ・ アルバイトが複数かけもちの為、育休が取れる日数に達していなかった
- ・ 正職だったが育休取得の条件をクリアできなかった為
- ・ 在職期間不足で取得できなかった
- ・ 対象外の勤務形態だった。
- ・ 仕事復帰のため
- ・ 産休後、有給休暇を取ったため
- ・ 育休としても無収入で名ばかり。
- ・ 産休のみだったため。
- ・ 転きん

～父親～

- ・ 会社に制度がなかった / 制度が整ってなかった / 取得する制度がほぼなかった (計 24 件)
- ・ 出向中で制度の利用不可
- ・ 転職したばかりで対象にならなかった
- ・ 男性の育休制度がなかった。あっても収入減やキャリアの心配があり取得できない。
- ・ 父親曰く、制度がなかったから
- ・ 会社に父親の育休制度がない、又は知らなかった。
- ・ 会社の立場上休めない / 職場の人手不足によるもの / 仕事が忙しいため / 取得希望であったが仕事の調整がつかなかった / 仕事に支障がでるため / 制度利用不可 / 会社都合で取得出来なかった / キャリアがなくなるかも など、『取れない』(計 98 件)
- ・ 転職したばかりで取得できなかった
- ・ 教師なので取得できなかった。
- ・ 医療職であり仕事上、休むことができないため。
- ・ 忙しかった まだ誰も育休をしていない環境だった
- ・ 仕事の状況を顧みて
- ・ 取得する必要がないと言われた
- ・ とらせてもらえなかった
- ・ とれないと言われた
- ・ 取得希望を断られた
- ・ 休めない、無理と言われて会社に相談すらしてなかった
- ・ 前職の人事担当から拒否された
- ・ 経済的に働く必要がある / 給料が減ってしまうため など、経済的な理由 (計 26 件)
- ・ 収入が減る、里帰り出産の為
- ・ 給料が下がる。人員不足
- ・ 収入が下がる 必要なしと思った
- ・ 申請することで仕事は穴があく 給与が下がる。
- ・ 収入の為、仕事の代替出来ず
- ・ 収入が減るため 会社の雰囲気
- ・ 育休を取りたいと言える環境ではなかった / まだ浸透していなかった / 今より男性の育児休暇が取りにくい環境だった / 周囲の理解がない など、『とりづらい』(計 89 件)
- ・ 転職して半年程だったので、取れなかった。同じチームに奥様切迫でお子様を見るため半年休むことになった人がいて、これ以上メンバー減らせなかった。
- ・ 在宅勤務で合間に子どもをみられるため、育休を取ることをよく思われない環境であったため
- ・ 取ることを推奨されていない 上司に小言を言われる
- ・ 会社がダメと言った。
- ・ 上司に妊娠の報告をした際、良い顔をされなかったらしい為
- ・ 制度はあるが、利用するとキャリアに響くため
- ・ 取得したら保育園に入所できないと言われたので、泣く泣く取らなかった

- ・ 2人に同時での育休取得が困難だったため
- ・ 育児をする人がいなければ育休をとれるという制度だったため
- ・ 育児休業を利用しても、仕事量は変わらない（計2件）
- ・ 自営業のため / 事業主だったため / フリーランスのため（計36件）
- ・ 自営業で収入に関わるから
- ・ 自営業なので働かないと収入がなくなる
- ・ フリーランスなので休むとお金が入らないため
- ・ 自営で給付もなく、休むのも難しい。
- ・ フリーのたため自分で休みつくる。
- ・ 母親が取得したため / 母親のみの取得で間に合った為 / 母親が取得して主にお世話をしていたため（計19件）
- ・ 母親が取得したので取得する必要がなかった
- ・ 母親が取得し、祖母と同居している為
- ・ 母親が育児休業を取得したから 祖母が手伝いをしてくれたから
- ・ 母が取得した。取得するのが一般的でなかった。
- ・ 母親が取得したから そもそも会社でとる人もいないのでとりづらい
- ・ 母親が取得したため、働きながらの育児で対応が可能だったため
- ・ 母親が働いていないため / 母親が働いていなく、育児に専念できるため（計8件）
- ・ 母親が無職のため 制度が浸透していないため
- ・ 妻が専業主婦のため。当時は毎日在宅ワークで手伝いやすい環境だったため。
- ・ 仕事をしながら子育てをした。母が働いていないので子育てをメインでしてくれた。
- ・ 祖母がいる為
- ・ 祖母が手伝いにきたので、取る必要がなかった
- ・ 祖母の支援があったため。
- ・ 祖母が来てくれたため。
- ・ 祖母が産後1ヶ月来てくれていたから
- ・ 祖父母が近居の為 在勤可能だった為
- ・ 祖母の助けもあったため。
- ・ 実母・義母の支援があったため。
- ・ 親族の支援があった
- ・ 取得する必要がなかった / 不要（計18件）
- ・ テレワークをしていたため / 在宅勤務だったため / /コロナ禍で在宅ワークだった など、在宅勤務のため（計8件）
- ・ 自宅で勤務しており且つ就労時間の自由度が高いため
- ・ 在宅勤務でこなした(仕事を空けられないため)
- ・ コロナ禍で在宅での仕事が多く育児との両立が可能だったため
- ・ コロナ禍だったたので、出生時にある意味タイミングよく2ヶ月の自宅待機になったため、それ以上育児休業を取得する感じでは無くなったため。
- ・ 在宅でいっしょ&減給になる
- ・ 在宅ワークで育児に参加
- ・ 在宅ワークのため仕事しながらでも何とかなると思った(仕事の合間に家事をした。育児はしてない)
- ・ コロナ禍でもともと休業していた。
- ・ コロナ禍で自宅ワークが多かった(その他の有給休暇で対応できた)
- ・ 仕事のやりくりが可能なの為
- ・ 仕事がフレキシブルに対応できたため
- ・ 休業しなくても働ける環境のため
- ・ 里帰り出産をしたため / 里帰り出産後、母子はしばらく実家で生活していたため（計9件）
- ・ 里帰り出産で父親以外の手が多くあったため。
- ・ 母親に子育てを一任したから / 母親まかせ / 母親がみるため / 母親がいるから大丈夫（計9件）

- ・ 子供 1 人のため必要なかった
- ・ 無かったため
- ・ 取得する意思がなかった / 取得するつもりがなかった / 取得する気がない / 取る事を考えていなかった / 取得の概念がなかった (計 8 件)
- ・ 本人の希望
- ・ 必要性を感じず。
- ・ 男性が育休を取得するという発想がなかった。
- ・ 職場で取得している人がいない本人も取得したい気持ちや子育てに協力する気持ちも乏しかったから
- ・ 自分にとる意識もない 職場の理解がない
- ・ 仕事が忙しいため取得を希望しなかった
- ・ 育休取ってくれなかった
- ・ 無知 母親の負担を知らない
- ・ 仕事が第 1 だから。
- ・ 仕事したいから
- ・ 長期間は取れなかった
- ・ 業務上長期休暇の取得が困難なため(私はこの理由に納得していませんが…)
- ・ 単身赴任のため
- ・ 日給制のため休めなかった
- ・ 長期の休みを取れない
- ・ 職についてから日が浅かった
- ・ 勤続年数が 1 年以内だった
- ・ 新しい職場の為 1 年経過していない。飲食業ではまず無理。
- ・ 育児休業を取得できる就業形態ではなかったから
- ・ 単身赴任中で仕事が休めなかったため。
- ・ 知らなかった
- ・ 本人に取るという意識なかった。勤務先の制度が不明
- ・ 制度が整ってなかったのとリモートワークが使えた
- ・ 制度がない or 取得したいと言えない。
- ・ 社内で取得してる人は殆どいないのど、収入面を考えて取得しなかった。
- ・ 減給してまで、取る必要がなかったため。
- ・ 育児休業を申請しなかった為
- ・ 取得しなくとも育児ができると判断した
- ・ 特に会社からもなかった
- ・ 自営業なのと+サラリーマン、会社に制度がない
- ・ 仕事、祖父母のケア
- ・ 妻の実家が近い、職場を休めない仕事
- ・ 育児休暇はとらず勤務時間を調整したため
- ・ 早帰りができた。
- ・ 定時で帰宅可能なため
- ・ 有給休暇で数日休み対応できたため。
- ・ 有給休暇を使う範囲で対応したため
- ・ 有給休暇で対応した
- ・ 5 日ほどの配偶者の出産時に使える有給を取ってもらった
- ・ 年休を使った
- ・ 育児休業という形ではなく、有給を 5 日程度とってくれた。
- ・ 2 週間の休みをもらったため
- ・ 特別休暇で事足りたため。
- ・ 多忙なため数日の取得
- ・ 有給休暇消化で対応

- ・ 特別休暇のみの取得で問題なかったため
- ・ 九色に伴う手続きが大変だったため
- ・ 転職期間中
- ・ 季節業務のため取得しづらく、とれるころには保育所に入所したため。
- ・ 日給月給の為
- ・ 次の子が産まれたら1年取得し、母親はすぐに復帰する約束で
- ・ 信用しているから
- ・ 不明
- ・ 特になし

3 育児休業給付、保険料免除の認知度

育児休業給付金が支給される仕組み及び育児休業等の期間に保険料が免除になる仕組みの認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が 62.9%、「育児休業給付のみ知っていた」が 20.3%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 14.4%となっています。過年度調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が増加しています。

【問 33-1 育児休業給付、保険料免除の認知度】

〔就学前児童保護者〕




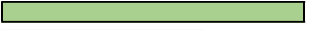
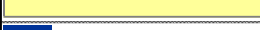
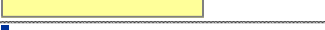


















回答者数: R5=832 / H30=912 / H25=772		割合(%)	
育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	R5		62.9%
	H30		44.7%
	H25		37.7%
育児休業給付のみ知っていた	R5		20.3%
	H30		27.1%
	H25		27.2%
保険料免除のみ知っていた	R5		1.0%
	H30		0.9%
	H25		0.9%
育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	R5		14.4%
	H30		23.4%
	H25		29.1%
無回答	R5		1.4%
	H30		3.9%
	H25		5.1%

4 育児休業取得後の職場復帰の状況

育児休業取得後の職場復帰の状況は、母親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が74.7%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が14.3%、「育児休業中に離職した」が7.2%となっています。父親は、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が95.3%と最も高くなっています。

【問 33-2 育児休業取得後の職場復帰の状況】

〔就学前児童保護者〕

		(1) 母親		(2) 父親	
		回答者数: R5=502 / H30=393 / H25=261		回答者数: R5=190 / H30=59 / H25=17	
育児休業取得後、職場に復帰した	R5		74.7%		95.3%
	H30		73.0%		88.1%
	H25		75.1%		58.8%
現在も育児休業中である	R5		14.3%		2.1%
	H30		18.8%		3.4%
	H25		14.9%		0.0%
育児休業中に離職した	R5		7.2%		0.5%
	H30		7.4%		1.7%
	H25		7.3%		0.0%
無回答	R5		3.8%		2.1%
	H30		0.8%		6.8%
	H25		2.7%		41.2%













5 育児休業取得後の職場復帰と保育所入所のタイミング

育児休業取得後の職場復帰と保育所入所のタイミングは、母親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が40.8%、「それ以外だった」が4.8%となっています。

父親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が32.0%、「それ以外だった」が29.3%となっています。

【問 33-3 育児休業取得後の職場復帰と保育所入所のタイミング】

〔就学前児童保護者〕

		(1) 母親		(2) 父親	
回答者数: 母親=375 / 父親=181		回答者数: R5=375 / H30=287		回答者数: R5=181 / H30=52	
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	R5		40.8%		32.0%
	H30		80.8%		5.8%
それ以外だった	R5		4.8%		29.3%
	H30		17.1%		71.2%
無回答	R5		54.4%		38.7%
	H30		2.1%		23.1%

6 育児休業の取得期間

子どもの月齢が何ヶ月で育児休業から職場復帰したかについて、母親は、「10～12ヶ月」の割合が29.3%と最も高く、次いで「19～30ヶ月」が17.9%、「13～15ヶ月」が14.4%となっています。

父親は、「1～3ヶ月」の割合が58.0%と最も高く、次いで「4～6ヶ月」が11.0%、「0ヶ月」が9.9%となっています。

【問 33-4 育児休業の取得期間(職場復帰時期の子どもの月齢)】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: 母親=375 / 父親=181	(1) 母親		(2) 父親	
	割合(%)		割合(%)	
0ヶ月		0.3%		9.9%
1～3ヶ月		4.8%		58.0%
4～6ヶ月		7.2%		11.0%
7～9ヶ月		10.4%		3.9%
10～12ヶ月		29.3%		6.1%
13～15ヶ月		14.4%		0.6%
16～18ヶ月		10.9%		1.1%
19～30ヶ月		17.9%		0.6%
31ヶ月以上		2.1%		0.0%
無回答		2.7%		8.8%

7 育児休業の取得期間の希望

子どもの月齢が何ヶ月で育児休業から職場復帰したいか(希望)について、母親は、「10～12ヶ月」の割合が25.6%と最も高く、次いで「19～30ヶ月」が23.5%、「31ヶ月以上」が18.4%となっています。

父親は、「1～3ヶ月」の割合が28.7%と最も高く、次いで「10～12ヶ月」が19.3%、「4～6ヶ月」が16.6%となっています。

【問 33-4 育児休業の取得期間(職場復帰時期の子どもの月齢)の希望】

〔就学前児童保護者〕

回答者数: 母親=375 / 父親=181	(1) 母親		(2) 父親	
	割合(%)		割合(%)	
0ヶ月		0.0%		3.9%
1～3ヶ月		2.1%		28.7%
4～6ヶ月		2.4%		16.6%
7～9ヶ月		0.8%		0.6%
10～12ヶ月		25.6%		19.3%
13～15ヶ月		5.1%		2.2%
16～18ヶ月		12.0%		1.7%
19～30ヶ月		23.5%		3.9%
31ヶ月以上		18.4%		4.4%
無回答		10.1%		18.8%

8 育児休業からの職場復帰の時期が希望よりも早い理由

育児休業からの職場復帰の時期が希望よりも早い理由は、母親は、「希望する保育所に入るため」の割合が51.6%と最も高く、次いで「人事異動や業務都合のため」が18.4%、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が15.7%となっています。過年度調査と比較すると、「希望する保育所に入るため」の割合が減少しています。

父親は、「人事異動や業務都合のため」の割合が47.1%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が23.5%となっています。

【問 33-5① 育児休業からの職場復帰の時期が希望よりも早い理由】

〔就学前児童保護者〕

		(1) 母親		(2) 父親	
		回答者数: R5=217 / H30=149 / H25=117		回答者数: R5=85 / H30=7 / H25実施なし	
希望する保育所に入るため	R5		51.6%		2.4%
	H30		70.5%		14.3%
	H25		63.2%		-
配偶者や家族の希望があったため	R5		1.8%		2.4%
	H30		2.7%		0.0%
	H25		4.3%		-
経済的な理由で早く復帰する必要がある	R5		15.7%		23.5%
	H30		17.4%		42.9%
	H25		18.8%		-
人事異動や業務都合のため	R5		18.4%		47.1%
	H30		21.5%		14.3%
	H25		20.5%		-
その他	R5		13.4%		5.9%
	H30		18.1%		14.3%
	H25		13.7%		-
無回答	R5		30.0%		30.6%
	H30		4.0%		28.6%
	H25		17.9%		-

9 育児休業からの職場復帰の時期が希望よりも遅い理由

育児休業からの職場復帰の時期が希望よりも遅い理由は、母親は、「希望する保育所に入れなかったため」の割合が14.5%と最も高くなっています。過年度調査と比較すると、「希望する保育所に入れなかったため」の割合が減少しています。

【問 33-5② 育児休業からの職場復帰の時期が希望よりも遅い理由】

〔就学前児童保護者〕

		(1) 母親		(2) 父親	
		回答者数: R5=124 / H30=28 / H25=20		回答者数: R5=62 / H30、H25実施なし	
希望する保育所に入れなかったため	R5		14.5%		0.0%
	H30		64.3%		-
	H25		85.0%		-
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	R5		1.6%		0.0%
	H30		0.0%		-
	H25		5.0%		-
配偶者や家族の希望があったため	R5		0.0%		1.6%
	H30		0.0%		-
	H25		5.0%		-
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	R5		1.6%		0.0%
	H30		0.0%		-
	H25		10.0%		-
子どもをみてくれる人がいなかったため	R5		0.8%		1.6%
	H30		17.9%		-
	H25		20.0%		-
その他	R5		4.0%		0.0%
	H30		10.7%		-
	H25		15.0%		-
無回答	R5		80.6%		98.4%
	H30		32.1%		-
	H25		5.0%		-

10 育児休業から職場復帰した際の短時間勤務制度の利用状況

育児休業から職場復帰した際の短時間勤務制度の利用状況は、母親は、「利用した」の割合が 60.3%と最も高くなっています。「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」は 17.1%となっています。過年度調査と比較すると、「利用した」の割合が増加しています。

父親は、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」の割合が 65.7%と最も高くなっています。「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」は 21.0%となっています。過年度調査と比較すると、「利用する必要がなかった」の割合が増加しています。

【問 33-6 育児休業から職場復帰した際の短時間勤務制度の利用状況】

〔就学前児童保護者〕

		(1) 母親		(2) 父親	
		回答者数: R5=375 / H30=287 / H25=196		回答者数: R5=181 / H30=52 / H25=10	
利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、 もともと短時間勤務だった)	R5		20.5%		65.7%
	H30		20.2%		57.7%
	H25		15.8%		40.0%
利用した	R5		60.3%		4.4%
	H30		55.7%		3.8%
	H25		55.6%		20.0%
利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	R5		17.1%		21.0%
	H30		20.6%		11.5%
	H25		21.4%		10.0%
無回答	R5		2.1%		8.8%
	H30		3.5%		26.9%
	H25		7.1%		30.0%

1 1 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は、母親は、「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 39.1%、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が 37.5%となっています。

父親は、「仕事が忙しかった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 47.4%となっています。

【問 33-7 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由】

〔就学前児童保護者〕

		(1) 母親		(2) 父親	
回答者数: 母親=64 / 父親=38		回答者数: R5=64 / H30=59 / H25=42		回答者数: R5=38 / H30=6 / H25実施なし	
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	R5		39.1%		47.4%
	H30		33.9%		83.3%
	H25		59.5%		-
仕事が忙しかった	R5		35.9%		52.6%
	H30		37.3%		66.7%
	H25		52.4%		-
短時間勤務にすると給与が減額される	R5		46.9%		52.6%
	H30		30.5%		66.7%
	H25		47.6%		-
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	R5		37.5%		10.5%
	H30		45.8%		0.0%
	H25		19.0%		-
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	R5		3.1%		21.1%
	H30		0.0%		0.0%
	H25		0.0%		-
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	R5		4.7%		13.2%
	H30		0.0%		0.0%
	H25		7.1%		-
子育てや家事に専念するため退職した	R5		0.0%		0.0%
	H30		0.0%		0.0%
	H25		2.4%		-
職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	R5		12.5%		5.3%
	H30		20.3%		16.7%
	H25		19.0%		-
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	R5		0.0%		5.3%
	H30		5.1%		0.0%
	H25		2.4%		-
その他	R5		15.6%		10.5%
	H30		10.2%		0.0%
	H25		19.0%		-
無回答	R5		1.6%		2.6%
	H30		1.7%		16.7%
	H25		2.4%		-

1 2 必ず預けられる保育事業等があった際の1歳までの育児休業の希望

必ず預けられる保育事業等があれば1歳になるまで育児休業を取得するかについて、母親と父親ともに「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が最も高くなっています。過年度調査と比較すると、母親の取得希望が 5.0 ポイント増加しています。

【問 33-8 必ず預けられる保育事業等があった際の1歳までの育児休業の希望】

〔就学前児童保護者〕

		(1) 母親		(2) 父親	
		回答者数: R5=72 / H30=74		回答者数: R5=4 / H30=2	
1歳になるまで育児休業を取得したい	R5		84.7%		75.0%
	H30		79.7%		0.0%
1歳になる前に復帰したい	R5		5.6%		0.0%
	H30		9.5%		50.0%
無回答	R5		9.7%		25.0%
	H30		10.8%		50.0%

第11章 子育ての悩みやコミュニケーション

1 子育てに関する悩み

子育てに関する悩みは、就学前児童保護者では、「子どもの健康や発育・発達に関すること」の割合が53.5%と最も高く、次いで「食事や栄養に関すること」が47.7%、「子どものしつけや接し方等、育児方法がわからない・自信がもてない」が38.6%となっています。過年度調査と比較すると、多くの項目で割合が増加しています。

低学年保護者では、「子どもの健康や発育・発達に関すること」の割合が44.6%と最も高く、次いで「子どもの友達つきあい(いじめなどを含む)に関すること」が34.3%、「子どものしつけや接し方等、育児方法がわからない・自信がもてない」が32.8%となっています。

【問 子育てに関する悩み】

〔就学前児童保護者・問 34〕

回答者数: R5=832 / H30=912		割合(%)	
子どもの健康や発育・発達に関すること	R5		53.5%
	H30		45.7%
食事や栄養に関すること	R5		47.7%
	H30		37.4%
子どものしつけや接し方等、育児方法がわからない・自信がもてない	R5		38.6%
	H30		33.9%
子どもと触れあう時間を十分に取れないこと	R5		28.2%
	H30		25.4%
話し相手や相談相手がいらないこと	R5		7.9%
	H30		6.8%
仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	R5		35.7%
	H30		32.0%
子どもの友達つきあい(いじめなどを含む)に関すること	R5		13.0%
	H30		15.5%
登園拒否などの問題について	R5		4.3%
	H30		1.3%
パートナーとの関係性について	R5		11.7%
	H30		9.1%
自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場等周囲の目が気になること	R5		6.4%
	H30		4.9%
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	R5		13.3%
	H30		14.7%
育児のストレスを子どもに対してぶつけてしまうこと	R5		22.0%
	H30		18.5%
地域の子育て支援サービスの内容や利用方法がよくわからないこと	R5		7.2%
	H30		7.2%
子どもの気持ちがあくみ取れない、わからないこと	R5		12.1%
	H30		6.6%
子どもの性的指向、性自認について	R5		1.2%
	H30		0.3%
経済状況に関すること	R5		17.9%
	H30		13.7%
その他	R5		3.7%
	H30		3.1%
特に悩んでいることはない	R5		11.4%
	H30		14.5%
無回答	R5		2.2%
	H30		2.4%

〔低学年保護者・問 24〕

回答者数=408		割合(%)	
子どもの健康や発育・発達に関すること	R5		44.6%
	H30		-
食事や栄養に関すること	R5		27.2%
	H30		-
子どものしつけや接し方等、育児方法がわからない・自信がもてない	R5		32.8%
	H30		-
子どもと触れあう時間を十分に取れないこと	R5		28.9%
	H30		-
話し相手や相談相手がいらないこと	R5		7.4%
	H30		-
仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	R5		28.2%
	H30		-
子どもの友達つきあい(いじめなどを含む)に関すること	R5		34.3%
	H30		-
登校拒否などの問題について	R5		4.4%
	H30		-
パートナーとの関係性について	R5		8.8%
	H30		-
自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場等周囲の目が気になること	R5		6.1%
	H30		-
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	R5		13.2%
	H30		-
育児のストレスを子どもに対してぶつけてしまうこと	R5		18.6%
	H30		-
地域の子育て支援サービスの内容や利用方法がよくわからないこと	R5		4.9%
	H30		-
子どもの気持ちがあくみ取れない、わからないこと	R5		11.5%
	H30		-
子どもの性的指向、性自認について	R5		1.7%
	H30		-
経済状況に関すること	R5		17.2%
	H30		-
その他	R5		6.6%
	H30		-
特に悩んでいることはない	R5		12.7%
	H30		-
無回答	R5		1.0%
	H30		-

2 子どもとの会話の頻度

子どもとの会話の頻度は、就学前児童保護者では、「よくする」と「する」を合わせた『する』の割合が 96.4%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「よくする」の割合が増加しています。

低学年保護者では、『する』の割合が 94.9%となっていますが、平成 30 年度調査と比較すると、「よくする」の割合が減少しています。

【問 子どもとの会話の頻度】

〔就学前児童保護者・問 35〕

回答者数: R5=832 / H30=912		割合 (%)	
よくする	R5		73.9%
	H30		69.7%
する	R5		22.5%
	H30		27.6%
あまりしない	R5		2.3%
	H30		1.1%
しない	R5		0.0%
	H30		0.2%
無回答	R5		1.3%
	H30		1.3%

〔低学年保護者・問 25〕

回答者数: R5=408 / H30=489		割合 (%)	
よくする	R5		64.5%
	H30		74.0%
する	R5		30.4%
	H30		23.1%
あまりできない (あまりしない)	R5		4.2%
	H30		1.0%
できない (しない)	R5		0.2%
	H30		0.4%
無回答	R5		0.7%
	H30		1.4%

3 子どもとの会話の内容【低学年のみ】

子どもとの会話の内容は、「学校のでできごと」の割合が 94.1%と最も高く、次いで「友だちのこと」が 87.3%、「日常生活に関すること」が 75.7%となっています。

【問 25-1 子どもとの会話の内容】

〔低学年保護者〕









回答者数: R5=387 / H30=475		割合 (%)	
学校のでできごと	R5		94.1%
	H30		96.0%
部(クラブ)活動のこと	R5		9.0%
	H30		5.9%
友だちのこと	R5		87.3%
	H30		91.6%
先生のこと	R5		62.0%
	H30		59.8%
勉強や塾のこと	R5		50.9%
	H30		59.8%
習いごとや趣味に関すること	R5		73.4%
	H30		70.3%
将来の進路や職業のこと	R5		21.7%
	H30		19.2%
日常生活に関すること	R5		75.7%
	H30		75.2%
地域・近所のこと	R5		19.6%
	H30		18.3%
社会のでできごとやニュース	R5		33.3%
	H30		34.5%
その他	R5		5.4%
	H30		5.5%
無回答	R5		0.0%
	H30		0.2%

4 子どもと話すことができない理由【低学年のみ】

子どもと話すことができない理由は、「話をする時間がない」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「子どもが話をしたがるらない」が 38.9%、「親が子どもの話を聞かない」が 22.2%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「話をする時間がない」の割合が 23.8 ポイント増加しています。

【問 25-2 子どもと話すことができない理由】

〔低学年保護者〕

回答者数: R5=18 / H30=7		割合 (%)	
子どもが話をしたがるらない	R5		38.9%
	H30		28.6%
親が子どもの話を聞かない	R5		22.2%
	H30		14.3%
話をする時間がない	R5		66.7%
	H30		42.9%
その他	R5		22.2%
	H30		28.6%
無回答	R5		0.0%
	H30		0.0%









5 子どもと過ごす時間

子どもと過ごす時間は、就学前児童保護者では、「よく過ごしていると思う」と「過ごしていると思う」を合わせた『過ごしていると思う』の割合が 78.8%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、1.2 ポイント減少しています。


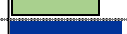
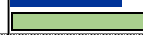





低学年保護者では、『過ごしていると思う』の割合が 74.0%となっており、平成 30 年度調査と比較すると、7.6 ポイント減少しています。

【問 子どもと過ごす時間】

〔就学前児童保護者・問 36〕

回答者数: R5=832 / H30=912		割合 (%)	
よく過ごしていると思う	R5		37.7%
	H30		35.6%
過ごしていると思う	R5		41.1%
	H30		44.4%
あまり過ごしていないと思う	R5		18.6%
	H30		16.8%
過ごしていないと思う	R5		1.3%
	H30		2.1%
無回答	R5		1.2%
	H30		1.1%

〔低学年保護者・問 26〕

回答者数: R5=408 / H30=489		割合 (%)	
よく過ごしていると思う	R5		35.3%
	H30		30.9%
過ごしていると思う	R5		38.7%
	H30		50.7%
あまり過ごしていないと思う	R5		21.6%
	H30		16.0%
過ごしていないと思う	R5		2.0%
	H30		1.6%
無回答	R5		2.5%
	H30		0.8%







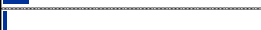

6 子どもとコミュニケーションを取る場面

子どもとコミュニケーションを取る場面は、就学前児童保護者では、「くつろいでいる時」の割合が 81.7%と最も高く、次いで「寝る前」が 75.7%、「夕食時」が 75.6%となっています。







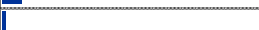

低学年保護者では、「夕食時」と「くつろいでいる時」の割合が 76.2%と最も高く、次いで「寝る前」が 63.7%となっています。

【問 子どもとコミュニケーションを取る場面】

〔就学前児童保護者・問 37〕

回答者数=832	割合(%)	
夕食時		75.6%
くつろいでいる時		81.7%
朝食時		43.6%
寝る前		75.7%
通園等の送迎時		57.8%
入浴時		70.1%
その他		7.6%
無回答		1.0%

〔低学年保護者・問 27〕

回答者数=408	割合(%)	
夕食時		76.2%
くつろいでいる時		76.2%
朝食時		31.1%
寝る前		63.7%
通学等の送迎時		24.0%
入浴時		52.7%
その他		5.9%
無回答		1.0%













7 孤立感の有無

孤立感の有無は、就学前児童保護者では、「強く感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』の割合が 21.6%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、『感じる』の割合が 3.5 ポイント減少しています。













低学年保護者では、『感じる』の割合が 22.3%となっており、平成 30 年度調査と比較すると、『感じる』の割合が 5.7 ポイント増加しています。

【問 孤立感の有無】

〔就学前児童保護者・問 38〕

回答者数: R5=832 / H30=912		割合(%)	
強く感じる	R5		3.5%
	H30		2.7%
やや感じる	R5		18.1%
	H30		22.4%
あまり感じない	R5		44.6%
	H30		41.2%
全く感じない	R5		28.5%
	H30		28.5%
わからない	R5		4.4%
	H30		4.2%
無回答	R5		0.8%
	H30		1.0%

〔低学年保護者・問 28〕

回答者数: R5=408 / H30=489		割合(%)	
強く感じる	R5		3.4%
	H30		2.5%
やや感じる	R5		18.9%
	H30		14.1%
あまり感じない	R5		44.4%
	H30		47.6%
全く感じない	R5		25.2%
	H30		30.5%
わからない	R5		6.9%
	H30		4.7%
無回答	R5		1.2%
	H30		0.6%

第12章 地域や他者との関わり

1 地域の人からの見守り

地域の人からの見守りについて、「温かく見守られている」を「1」、「冷たく見られている」を「5」とした5段階評価で答えていただきました。就学前児童保護者では、「1」と「2」を合わせた『見守られている』の割合が47.4%となっています。

低学年保護者では、『見守られている』の割合が42.1%となっています。

【問 地域の人からの見守り】

〔就学前児童保護者・問 39〕

回答者数=832	割合(%)	
1 温かく見守られている		18.0%
2 ↑		29.4%
3		44.0%
4 ↓		5.9%
5 冷たく見られている		1.2%
無回答		1.4%

〔低学年保護者・問 29〕

回答者数=408	割合(%)	
1 温かく見守られている		18.6%
2 ↑		23.5%
3		45.3%
4 ↓		8.6%
5 冷たく見られている		1.5%
無回答		2.5%

2 近所とのおつきあい

近所とのおつきあいは、就学前児童保護者では、「あいさつをする程度」の割合が49.3%と最も高く、次いで「ときどき道で話をする」が28.0%となっています。平成30年度調査と比較すると、「あいさつをする程度」の割合が増加し、「ときどき道で話をする」が減少しています。

低学年保護者では、「あいさつをする程度」の割合が47.8%と最も高く、次いで「ときどき道で話をする」が29.9%となっています。平成30年度調査と比較すると、「あいさつをする程度」の割合が増加し、「ときどき道で話をする」が減少しています。

【問 近所とのおつきあい】

〔就学前児童保護者・問 40〕

回答者数: R5=832 / H30=912	割合(%)	
あいさつをする程度	R5	49.3%
	H30	40.4%
ときどき道で話をする	R5	28.0%
	H30	34.8%
相手の家に行ったり自宅に招いたりする (相手の家に行って話をする)	R5	2.9%
	H30	2.4%
食事に一緒に行ったり、家族ぐるみで つきあっている	R5	2.3%
	H30	3.2%
困っているときに、相談したり助けあったり している	R5	3.1%
	H30	7.1%
ほとんどつきあいはない	R5	7.1%
	H30	6.1%
無回答	R5	7.3%
	H30	6.0%

〔低学年保護者・問 30〕

回答者数: R5=408 / H30=489	割合(%)	
あいさつをする程度	R5	47.8%
	H30	41.1%
ときどき道で話をする	R5	29.9%
	H30	35.2%
相手の家に行ったり自宅に招いたりする (相手の家に行って話をする)	R5	3.2%
	H30	2.0%
食事に一緒に行ったり、家族ぐるみで つきあっている	R5	3.4%
	H30	4.3%
困っているときに、相談したり助けあったり している	R5	5.4%
	H30	8.8%
ほとんどつきあいはない	R5	5.1%
	H30	2.9%
無回答	R5	5.1%
	H30	5.7%

3 子育てをするにあたって地域に求めること

子育てをするにあたって地域に求めることは、就学前児童保護者では、「子ども会やお祭りなど、子どもの参加できる活動や行事がほしい」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が 45.8%、「子どもの遊びの相手やスポーツと一緒にしてくれる人がほしい」が 40.6%となっています。「特に求めることはない」の割合は 6.9%となっており、平成 30 年度調査と比較しても変化がないです。

低学年保護者では、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」の割合が 49.8%と最も高く、次いで「子どもの遊びの相手やスポーツと一緒にしてくれる人がほしい」が 40.7%、「子ども会やお祭りなど、子どもの参加できる活動や行事がほしい」が 38.7%となっています。「特に求めることはない」の割合は 6.4%となっており、平成 30 年度調査と比較すると、減少しています。

【問 子育てをするにあたって地域に求めること】

〔就学前児童保護者・問 41〕

回答者数: R5=832 / H30=912		割合 (%)	
子育ての相談や情報交換をしたい	R5		28.4%
	H30		31.3%
子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場がほしい	R5		24.9%
	H30		-
子どもの遊びの相手やスポーツと一緒にしてくれる人がほしい※1	R5		40.6%
	H30		17.3%
	R5		-
	H30		-
	R5		-
	H30		-
子ども会やお祭りなど、子どもの参加できる活動や行事がほしい	R5		54.4%
	H30		40.5%
地域の伝統文化を子どもに伝える人や場がほしい	R5		24.6%
	H30		-
地域で動植物にふれあう機会がほしい	R5		39.4%
	H30		-
	R5		-
	H30		-
緊急時に子どもを預かる人や場がほしい (緊急時に子どもを預かってほしい)	R5		37.1%
	H30		29.9%
地域で子どもを見守り育てるといふ気持ちを持ってほしい	R5		39.8%
	H30		42.2%
危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい	R5		45.8%
	H30		59.5%
ともに子育てできるグループやサークルなど仲間づくりの場がほしい※2	R5		14.7%
	H30		11.8%
子育てに関する情報を提供する人や場がほしい	R5		16.5%
	H30		-
子育て仲間や友人がほしい (単なる子育て仲間や友人がほしい)	R5		20.8%
	H30		17.7%
その他	R5		3.0%
	H30		2.7%
特に求めることはない	R5		6.9%
	H30		6.9%
無回答	R5		1.8%
	H30		1.6%

〔低学年保護者・問 31〕

回答者数: R5=408 / H30=489		割合 (%)	
子育ての相談や情報交換をしたい	R5		17.9%
	H30		22.9%
子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場がほしい	R5		16.4%
	H30		-
子どもの遊びの相手やスポーツと一緒にしてくれる人がほしい※1	R5		40.7%
	H30		19.4%
子どもに勉強を教える人や場がほしい	R5		25.7%
	H30		-
学校以外で人とのつながりや社会のルールを学べる場がほしい	R5		41.4%
	H30		-
小学校の校外学習や行事をサポートする人がほしい	R5		17.2%
	H30		-
子ども会やお祭りなど、子どもの参加できる活動や行事がほしい	R5		38.7%
	H30		30.7%
地域の伝統文化を子どもに伝える人や場がほしい	R5		19.4%
	H30		-
地域で動植物にふれあう機会がほしい	R5		28.2%
	H30		-
	R5		-
	H30		-
子どもに職業体験や人生経験を伝える人や場がほしい	R5		35.3%
	H30		-
緊急時に子どもを預かる人や場がほしい (緊急時に子どもを預かってほしい)	R5		31.6%
	H30		20.0%
地域で子どもを見守り育てるといふ気持ちを持ってほしい	R5		37.5%
	H30		44.8%
危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい	R5		49.8%
	H30		66.9%
ともに子育てできるグループやサークルなど仲間づくりの場がほしい※2	R5		7.8%
	H30		6.3%
子育てに関する情報を提供する人や場がほしい	R5		10.0%
	H30		-
子育て仲間や友人がほしい (単なる子育て仲間や友人がほしい)	R5		11.3%
	H30		9.0%
その他	R5		3.2%
	H30		4.1%
特に求めることはない	R5		6.4%
	H30		8.2%
無回答	R5		0.2%
	H30		1.0%

※1 H30「遊び相手やスポーツと一緒にしてほしい」

※2 H30「ともに子育てできるグループやサークルなどがほしい」

4 子育て上の行政サポートの希望

【問 子育て上の行政サポートの希望】

〔就学前児童保護者・問 42〕

○経済的なことについて

- ・ 経済的支援 / 経済的な援助 / 金銭面でのサポート / (計 14 件)
- ・ 金銭面、助成金など / 助成金を増やしてほしい (計 3 件)
- ・ 支援金など金銭面のサポート
- ・ 子どもを育てるには、資金を必要とするため助成金をいただきたい。
- ・ 子育てに経済的な心配がないように補助金がほしい
- ・ 所得制限のない児童手当、給食費無償化、認可外保育施設における幼保無償化補助金拡充 (計 2 件)
- ・ 資金面でのサポート(収入に依らない)
- ・ 金銭面(特に所得制限の撤廃)
- ・ ニーズが多様化する中で、行政が考え検討、実施できることには限界があると思う。それぞれの家庭のニーズを満たすならば、現金給付が一番良いと思う。
- ・ 金銭面(特に所得制限撤廃をしてほしい)
- ・ 収入減への補助
- ・ 助成金(収入による制限のないもの)
- ・ 東京で子育てをするのは他の地域よりお金がかかるので金銭的なサポートがあると有難いです
- ・ 給食費ぐらいもってほしい。児童手当 1 万だが、月 1 万で子供は育てられない。特別給付金など、一時的なお金はあまり意味がない。chiica とか、意味不明。子育てとは、金が全てなので、本当に子供の未来を思っているのなら、もっともっと子供に投資をするべきでは？
- ・ とにかくお金がかかるので、経済的な支援があればあるほど嬉しい。(もちろん所得制限はなしで)
- ・ 子育て支援(金銭的)など
- ・ 金銭面をサポートするわかりやすい制度。子どもを出産して時短になり、給料は減る、でも出費は増える。そのバランスが上手にとれないので、時短でも一定のお金を保障してくれる制度が欲しいです。そして手続きをかんたんにしてほしい。
- ・ 経済的支援。東立川幼稚園はお弁当だが、給食費の無償化、他、PTA 会費や冷暖房費、出願料など少額だが積み重なると負担が増えるので行政でサポートしてほしい。
- ・ 申請しないともらえない助成金や給付金などについて、該当する場合は教えてほしい。分かりにくい書面を小さな子を育てている中で、完璧に見落とすことなく読むのは非常に困難。
- ・ 金銭的なサポート 下の子が生まれて 1 年は上の子の退所要件を撤ばいしてほしい。産後に強いストレスだった。
- ・ 経済的支援を希望。所得制限が高校無償化の目安の年収 960 万だとしても大学の学費は約 200 万円/年。家・車のローン、光熱費、食費、医療費、ならいごとや塾代などが毎月かかるのでまったく余裕なし。少子化対策をするつもりなんてまったく感じられない。ハコモノに○億円かけるなら、分配してほしい。必死に働いているので市が見た目の良い施設を作っても利用する余裕がない。
- ・ 相談は難しいので、買物の割引など経済面を支えてほしい
- ・ お金。インフルエンザとかの助成、小学生にもあってほしい 給食費など
- ・ 金銭的な支援 消耗品(オムツ)の支給
- ・ 児童手当の額が子どもだけに使っているのに全く足りないので物価上昇にせめて合わせてほしいです。月に食費だけで 1 万円以上かかっている。教育や習いごとなんてそうそうさせられない。預ける余裕はなく、お金に余裕がないから子育てにも余裕がないです。
- ・ インフルエンザ予防接種の助成、小学校入学してからの受診の助成
- ・ 保育園の完全無償化。せめてもう少し安くして欲しい。
- ・ 保育料を無償化してほしい。
- ・ 経済的支援(現金) おむつの支給(所得制限なし、希望者のみ月 1 袋まで、とか) 母子手帳をもらう時、面談をしたらギフトカタログをいただきましたが現金 or 商品券だともっとうれしいです。(第 2 子だったこともあり、カタログに

のっているものは持っているものが多く選ぶのが難儀でした)

- ・おむつのクーポン・服などのプレゼント・お金。
- ・紙オムツ、粉ミルク等が支給されたりすると助かります。
- ・オムツ無料配布 オムツのゴミ袋無料配布
- ・幼児無償化とはいうものの幼稚園の費用すべてはまかなえていないところの改善
- ・無償化とでもありがたいが、幼稚園も一部でなく全て法定代理受領でやってほしい。財布別夫婦も多くなっている
- ・ので、世帯年収で色々決めないでほしい。
- ・保育所での昼食代を無料にしてほしいです！
- ・給食費を無料にしてほしい！
- ・教育費がかからないようにしてほしい。
- ・学費免除 消費税廃止
- ・0～3の保育料も免除してほしい。もしくは、継続的な給付金があるとたすかる。
- ・教育(小・中・高)無しう化
- ・ファミサポが月に1時間でもいいから無料にして欲しい 幼稚園の延長を無料にして欲しい
- ・幼稚園の預かり保育やファミサポをもっと利用したいが、料金がかかるので使うのを諦めてしまう。自分ばかり我慢していっぱいになってしまふ。所得や要件とか条件をつけずに利用料金の助成をしてほしい。
- ・小さい子の習い事を安くで→体調をくずして行けないのにお月しゃがかかってくるのがもったいない。
- ・ベビーシッターを年に1度でいいから無償で利用させてほしい

○保育園関連について

- ・保育園は入園を希望して就労していれば1年中、希望の園に入園できるようにしてほしい。また、兄弟がいる場合は保護者が望めば必ず同じ園にして欲しい。
- ・必要な地域に必要なだけの保育園や学童があるといいと思います。
- ・人気のある保育園の定員の増加
- ・保育施設の充実、待機児童の解消
- ・保育士に対し、保護者支援や接遇の研修を設けてほしい。やっているのであればそれを公表してほしい。
- ・保育園兄弟同園希望(就労)で、入れずに1人は幼稚園に通っている。預かり保育への支援が小さいと感じる。保育園に入れていけば、かからない費用負担が発生している。
- ・1歳児クラスでの入園だと近隣の保育所に入れられない可能性が高いと市職員に聞き、泣く泣く0歳児クラスで入園させました。中地域の保育所を増やし、希望する時期にすんなり入園させられるような環境が理想です。

○預かりについて

- ・放課後キッズの日数を増やして働きに出やすくしてほしい。(有料でも可) 地域の習い事を増やしてほしい。
- ・一時保育を増やしてほしい。0才から利用したい。産後支援が6ヶ月までというのは短い。延ばしてほしい。
- ・低月齢での預りを行ってほしい(他市で一時保育4ヶ月からでした)一時保育の充実(土・日も預けたい、どちらかの親が土日仕事だと土日が一番困る)
- ・一時保育を利用する場合にも上限付きでもいいので、利用料の助成をしていただきたいです。一時保育ができる場を増やしてほしいです。
- ・親が病気になってしまった土日祝日などに、気軽に預けられる場所がほしい。
- ・つくしんぼ以外の病児保育・制限のないファミリーサポート・小百合学園近くに公園・小学生未満も入れる市民プール(幼児用プール)・一時預かり施設(親が病院に行くときなどに使える)
- ・小学生でも療育を受けられるサポートが欲しい
- ・子供が病気になったときに、仕事を休まなきゃいけないのが心苦しい。(子供のために休んであげたい気持ちの方が強いが、職場のことを考えると負担が増えてしまうのも事実なので・・・)
- ・緊急時に預けられる先をつくってほしい。
- ・病児保育の充実(利用時間の延長、利用申込のしやすさ) リフレッシュ時の子供預かりサービス
- ・一時保育の予約が取れないことが多いので、一時保育の場を増やしてほしい。
- ・認証保育園の一時預かりのような土日も含め両方できる一時預かり
- ・(預かる理由を問わず、24時間・緊急時に対応可能な)24時間対応訪問一時預かり導入 ・家事支援(掃除、食事作り、洗濯)(子供が1歳以降の育サポ終了後も) 病児保育の充実(現在病児保育は2か所しかない。1ヶ所(つく

しんぼ)は長期化する感染症者を他の入居者がいると受け入れてくれない)

- ・ 緊急時に預かってくれる場所、サポートが欲しい
- ・ とにかく急な仕事の際に預かってくれる場所
- ・ 緊急時に子どもを預かってくれるサービス 障害を持つ長男が一緒だと対応が難しいと言われて 国立市のショートステイの利用を結局断念した事があり
- ・ 各幼稚園に 6 時ごろまで預かってくれる施設の併設。行政からは利用料を補助してもらい、気軽に、急にでも預けられる環境を作ってほしい。
- ・ 病児保育を増やしてほしい。
- ・ 午前中子どもを病院に連れて行くぶんには、親は午前休で済むが、午後から保育園に預けるということができないため、結局 1 日休まねばならず、有給休暇がどんどん減る。途中からも預けられるようにしてもらうか、午後から預けられる一時保育があると助かる。
- ・ 保育園などで、土・日・祝等仕事以外でも短時間子供を預かってくれるシステム。 感染症(コロナ・インフル)にかかった時(親が)、預かってもらえる場がないため、非常につらい。
- ・ 365 日 24 時間対応の預け先がほしい(夜中でも受付可能)→夫が 24 時間仕事、災害時など帰ってこれなくなる為、夜中に私(母親)が体調不良や出産になった場合、預け先がない。
- ・ 保育園を病気で休まなければならなくなった時、毎回仕事を休むのは難しく何回か病児保育室を利用させてもらった。コロナ禍ということもあり、事前にコロナの検査が必要だったり、利用するのにいくつか制限があり、本当に利用したい日に利用できないことがあった。柔軟に対応できる体制を整えた病児保育室が増えると嬉しい。 保育園に入りたいタイミングで入れるようにしてもらいたい。仕事に復帰したいのにできなかつたりするのはもどかしい気持ちになる。
- ・ 学童の長期休か時の預かりを早めにして欲しい 7:30~
- ・ 急に預けなければならなくなった時にお願いできるサポート。今は幼稚園で手あつくしてもらっているが、小学生になったら何もないので不安。
- ・ 病児保育つくしんぼがとにかく利用しづらい。利用許可証をお医者様から書いていただくのはわかるけど…前日までに予約して、受診して書いてもらって、朝バタバタしているのに昼食なども用意しなければならず。発熱外来が予約取れない時期なんて絶望的…。そもそも予約が取りづらく、当日朝や夜中の急な発熱に対応してもらえない事が多くてうんざりです。結局、母親が仕事を休まなければならず職場に迷惑を掛けてしまい、有給もどんどん底を尽く。同居している義母も仕事をしているため、何とか都合をつけて我が家は協力してもらっているけど綱渡り状態。もっと病児保育の利用ハードルを下げて手厚くサポートしてほしい！！
- ・ 一時保育ができる場所を増やしてほしい
- ・ 親の通院時、病院内に保育サービスがあると助かる
- ・ 一時預かりの場所を増やす。
- ・ 病児保育の利用について、整備してほしい。体制がおかしいと思います。初回は、9:00-15:00 や、金曜日にコロナ検査をしても、日曜日利用であれば、月曜日にもう一度やりなおし等、負担が大きいです。
- ・ 一時保育の充実 預けたい時に預けられるようにしてほしい。産後ケアを市内に、予約とりやすく 学童保育は朝も必要、保育園と同じ開所時間で。学童の支援員の充実。
- ・ 緊急時に子どもを預かる人や場がほしい
- ・ 仕事をしていない親ももっと気軽に保育所を利用できるようにしてほしい(一時保育は上の子の幼稚園から遠すぎて利用できない)。
- ・ 就労の有無にかかわらず子どもをあずけられる仕組み
- ・ 長時間お願いできるようなシッターサービス、保育園入園前の子を見てほしい(8h)
- ・ 当日に預けられるサービス。体調不良時、私しかないのご飯も作れない時はせんべいなどしかご飯をあげることができなかった。
- ・ 一時預かり事業を拡大してほしい。国立保育園の一時保育予約が本当に取りづらく、いつもキャンセル待ちをしている。兄弟 2 人分となるとほぼ不可能。もっと人数枠を増やすか、園を増やしてほしい。
- ・ 緊急時はもちろん、ちょっとした用事や兄弟の病気の時の預かり、親が体調不良の時のサポート(食事、買出等)
- ・ 今 2 人目を妊娠中なのですが、病院へ行ったり少しの時間子どもを急にみてもらいたい！というときにみてもらえる所がほしいと思います(例えば前日の夜に予約してとかでいいので)
- ・ 親の就労以外の保育の必要性は個人によりかなり違いがある。もっと柔軟に判断してほしい。幼稚園・保育園課の

国立市役所職員の態度が非常に悪い。市役所が入れてやっている、許可してやっているという上から目線な態度を改めてほしい。無料・有料、低額・高額に関わらず、色々な預け方を紹介し、子どもを預けることは悪いことではないと、気軽に利用できるという雰囲気を出してほしい。子育て中の親の苦労やニーズにもっと寄り添ってほしい。子どもを預けたいことがまるで犯罪であるかのような、名誉毀損に近い不愉快な思いをした。幼稚園・保育園課がこれでは、国立市に子どもは増えない。

- ・ 保育から学童に移った時のサポートがものすごい差がある。保育所は延長も朝も、仕事の時間に合わせられるのに対し、学童になった途端につき離される感じ。せめて1年生の間を見れる行政サポートが欲しい 親の就労は変わらないのに、夏休みの朝時間、土曜保育時間、特に土曜保育は9時-17時勤務だとまったく使えない 8時半→17時なんて預けられないし帰ってもこれない結果利用できない。→(親族に現在みてもらえるか相談中)あえて使用させない為の時間組みかと思ってしまう。土曜とはいえ勤務時間は変わらない。何のためのシステムか問いたくなりませぬ。親族が亡くなったら誰にたのめばいいか不安しかない

○居場所や遊び・成長の機会など

- ・ 立川市や府中市に比べ、地域の習い事が少ない。(民間の高額なものが多い)・矢川プラスのような安心してあそべせられるところがない。放課後キッズの日数を増やしてほしい。・谷保駅周辺であそべるところが少ない。
- ・ 子どもが、家族以外の人とふれあう機会が欲しい。矢川プラスや児童館は子どもより親と話すタイプのサポートなので、短時間でいいので子どもと話したり遊んだりしてくれる人がいて欲しい。
- ・ 引退した先生とかが専門的に宿題や学びを教えてくれる無料の環境が欲しい。子供のトイレ教室とか(個人差があるので、保育園でできるようになると自宅でのケアができないので)個別相談できるような事とか 子供とのコミュニケーション術とかエビデンス付きのもの(zoomとかで親が流して聞けたり) 子供が興味を引く学びを深めていけるケア
- ・ 子供の年齢に合った環境で遊べる場所がほしい。ここすき広場のような、大人の目が多くある中で安心して遊ばせられる所や矢川プラスのような自由度の高い、利用しやすい所を増やしてほしい。 子供が安全な環境で、思いきり体を動かしたり、想像を膨らませながら遊べる施設がもっとあるとありがたいです。
- ・ 自然にふれ合う機会、家での遊び方の提供、外国の方と話す機会、親子ヨガなど子連れで参加できるママのイベントの機会がほしい。
- ・ 子供の思い出に残る様なイベントを企画して欲しい。抽選では無く、学校単位など、仲良し友達と一緒に参加できるイベント。
- ・ スポーツ施設、体験教室など平日だけでなく週末にも開催してほしいです。
- ・ コンサートや体験教室などの週末の提供
- ・ 行政主催のプール教室や塾、カラテなど、習い事をしてほしい。企業主催の教室だと、経済面的に無理。
- ・ 以前主人が土日休みだったころ、土日(特に日曜日)は公園も混んでいて小さい子を連れて出かけるのが大変でした。休みの日も近場に空いている施設があれば…とっていました。中央児童館は学童も入っていて、午後行けなくなったので、小さい子や学童に入っていない子ももう少し行きやすくしてほしいです。
- ・ 公園の整備(遊具の充実)
- ・ アスレチックのような小学生以上の子供がもっとアクティブに遊べる場所が欲しい。矢川プラスのネット遊具はよかった。でも、規模が小さすぎて子供が思い切り遊べない。
- ・ 遊び場、こどものイベント、図書館の充実、自然や動植物に触れる機会、保育園職員の安定
- ・ 子育て広場の拡充、施設を新しくして欲しい 児童館は小学生以上の子が多く、小さい赤ちゃんは行きづらい感じがしたので、小さい子用の施設や場所が欲しい。
- ・ 1~2才くらいの子供が遊びやすい公園が家の近くにほしい
- ・ 近くに公園が少ない。
- ・ お祭りや、自然観察など、地域に根ざした活動に子供が深くかかわれるような機会がほしい。(公報などで告知されたり、LINEなどで告知してほしい)特に、夏休みなどの休み期間に短期で多くの地域のイベントに参加させたいです。
- ・ 体操教室、音楽教室、幼児教室のようなイベントを時々実施してほしい。自然とふれあえるようなイベント等もあると嬉しいです。
- ・ 子ども向けのおでかけ情報がカレンダー式で確認できるページがあると嬉しい。(毎週日曜日がワンオペ育児なのでそこまで遠出できず、お出かけ先が大体決まってる為)
- ・ 場の提供。矢川プラスはとても良いと思っています。

- ・とにかくお金をかけずに地域で遊べる場があればいいと思う。児童館が汚すぎて利用するのをやめた。
- ・無料で参加できるイベント。(工作など)谷保駅周辺にも子育ての室内ひろばをつくってほしい。公園も遊具がありきたりで、目新しい複合的な遊具がほしい。
- ・子供が遊べる(1才でも)イベントを増やしてほしい。
- ・土日でも一人で子供2人をみるが多々あります。(配偶者仕事のため)私が車を運転できないため遠出できず、地域で遊べる場所がもっとほしいです。できれば室内で子供だけでも遊べるしせつ等あれば助かります。(IKEAのモーランドみたいな子供を預けてみてもらえる施設)
- ・子どもが参加できるイベントが多いと、外出の機会になるのでうれしいなと思う。
- ・子どもの遊びの相手やスポーツと一緒にしてくれる人がほしい 地域で動植物にふれあう機会がほしい 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい
- ・問22の回答と同様の交流イベントがあるととても嬉しいです。
- ・ひとり親事業に参加させて頂きました(シーパラ)遠方外出やスポーツ体験、自然活動など、母ひとりではハードルが高いため、非常にありがたく感じています。「体験」できる環境・機会の提供を期待したいです。
- ・公園を作ってください。遊具は少しでも、なくてもいいです。サッカーや野球ができたり、子どもたちが気がねなく集って友達と遊べる場、本当に足りません。場所、空間、ぜひ、何とかしていただきたいです！！
- ・先着順や予約制ではなく、気軽に参加できるようなイベントが増えたら嬉しいです。矢川プラスの場所が遠いと感じる人も多いため、国立駅周辺でのイベントも増やしてほしい。
- ・国立南口に子育て支援施設ができるが、子供が一番多い地区は富士見台、谷保近辺であるので、この地区にも施設を作るのが自然と思います。
- ・子供が遊べる場所をふやす、放課後の居場所。
- ・子育て施設を増やして欲しい、人工芝の広場など 雨の日も利用できる場所、子どもが騒げる食事スペース・飲食店
- ・動食物にふれあう機会が少ないので、イベント時に移動動物園等やってもらえると嬉しい。
- ・矢川プラスのような所で、様々なイベントをやって欲しいです。
- ・今までコロナで開催が難しいこともあったと思いますが、近くで親子共にスポーツや遊び、集う機会が定期的にあると友だち関係や学びの場がもっと広がると思います。
- ・市が行う勉強をする場所(安価で安心して通わせられる所があるとありがたい)

○情報や相談、サポートなどについて

- ・4ヶ月に1度ほどの定期で親だけで育児の不安や悩みを相談しあえる場(至急ご対応願いたいです)
- ・1人目の子育ては孤独になりがちなので、行政から子育てサークルや月齢会の存在、園庭開放などの子育て情報を積極的に発信したり、気軽に相談できる場を作っていただけると、母親としては精神的に助かると思います。
- ・地域の交流の場の促進 情報収集および提供 専門家の紹介
- ・同月齢での集まりの機会を増やしてほしい
- ・家事支援を気軽にできるサービスと、家事支援を頼っても良いんだというマインドの普及啓発
- ・誰でも気軽にシッターさんを頼めるようになって欲しい。オムツの無料配送サービスが欲しい。
- ・家事代行の費用補助
- ・双子のサポート(オムツ、送迎)
- ・子供との時間をふやすため、家事などの雑務を代行するようなサービスがほしい。
- ・仕事と子育てでいっぱい입니다。休日にリフレッシュできるベビーシッターの派遣が欲しい
- ・初めての子供で、何事もわからないことが多いので、経験された方からのアドバイス(国立市での状況について)が聞けるようなサークル活動支援などがあれば、ありがたいと思います。
- ・子育てサポートの連けい
- ・子育てサポートイコール自宅で子育て中の方、という認識なのか、3ヶ月で仕事復帰した私が参加できるような子育てサポートはほぼなかった。親子の集まりも平日、お知らせもその月になってから(つまりきんむきぼうがまにあわな)働いている人は眼中にないのだなと悲しい思いになった。働く人ももれることなくサポートできるような企画の曜日調整、早めの案内など工夫してほしい。
- ・出産前出産後のサポートの期間を3歳までのばして欲しいです。出産後、半年?までしかサポートがなく半年~さらに大変になるため(子育て)せめて1歳まで。ベビーシッター制度も、もっと内容、利用しやすさ。対象者を全員(子育てママ)育休、産休の方も利用できるようにして頂きたい。利用が一番したい時期であり、孤独を感じたり、大

変だったときな為。

- ・ 保育園や幼稚園に関する細かい情報を提供してほしい。
- ・ 保健センターで発達の遅れを指摘され、幼稚園の年少入園を諦めました。市内に療育施設は多数あるものの、順番待ちですぐに入所できず、不安です。発達障害児に対する支援や子育て情報をもっと積極的に市から何かあれば知りたいです。今後は療育を空き待ちしながら、年中又は年長での幼稚園入園を希望していますが、市内には私立の幼稚園しかないので、園によって受け入れ可能かどうかやサポートをどの位受けられるか全く分からないので、その辺りも行政からのサポートが欲しいです。
- ・ 子どもの年齢・成長タイミングに合った時期に、ベストな行政サポートの案内を知らせてほしい。(例えば、満3才になる年にプレ幼稚園を実施している幼稚園をリストアップしてSMSやメール・資料送付してほしい)
- ・ 月齢会のようなものをもっと長い目で続けてほしい。どうしても保育園や幼稚園に行くと離れてしまうので寂しい。
- ・ 月齢に応じて必要な制度などがネットなどでわかるような制度など
- ・ 必要な時に必要な支援をくれるサポート。
- ・ 気軽に相談でき、相談内容に合わせて、医者、心理士、保育士など直接話せるような環境があると安心
- ・ ZOOM等、リモートで定期的に相談したり、子育て仲間がつくれるようなサポートがほしいです。
- ・ (人によるとは思います)定期的に困ったことや悩んでいることがないか、ヒアリングしてほしい。子どもが小さいため、そういった相談の場には子どもの相手をしてくれる人に子を預け。親は話に集中したい。
- ・ 育児相談(身体計測)が月1回しかなく、風邪等の体調不良時にたびたび行くことができなかった。他の場所でも日をずらして行なって欲しい。
- ・ 学校とのやりとりで解決しない問題を、市で相談できる窓口が欲しい。(あるんだと思うんですが、知らない。)
- ・ 子育てについて相談した時に、教科書的な回答ではなく、親の悩みに寄り添い育て方についてまずは肯定的に受け止めてほしい。(何度か保健センターに相談したことがあるが、育児本等によくある回答しか返ってこず、かえって育て方について不安な気持ちになったので。職場で同様の悩みを持つ同僚が住んでいる他の行政で相談したところ、そういった育児になってしまうのはしょうがないと肯定的な回答だったようで、国立市の保健師等の職員も柔軟な考えや、現代の子育て環境特有の悩みや困難を把握したうえで相談に乗って欲しい。)
- ・ 学童などに対する意見について、迅速に対応してほしい。また、その対応したことを周知してほしい。
- ・ 専門家への相談(発達等)の予約があまりにもとりにくい。
- ・ 発育相談
- ・ 子どもに発達の課題をかかえている家族に対して、個別の家庭の事情に応じた保育、支援、就学、制度などの選択に役立つ学習会や、窓口対応相談の機会を強化していただきたいです。発達関係の窓口対応がどうしても個別事情の理由から部署が分かれており、「たてわり」に感じます。
- ・ 教育の格差がなくなるような支援
- ・ 子どもの特性の勉強や、困った時にサポートしてもらえる環境。
- ・ 家庭教育に関する講座を多く開いていただきたいです・家事をサポートしてもらえるとありがたいです・不登校の子の親同士のつながりを支援する会の開催。
- ・ 定期的な子育てセミナー
- ・ 行政が実施して頂いている事業について、もっと知らせてほしい。市役所で聞けば教えて頂けるのかもしれないが、そのような時間がなく、結局知らないまま終わることがほとんど。
- ・ 産前、市役所に、妻が、何か集まりがあるか、質問し、特にないと回答を受けたが、「ひらやてらす」の集まりがあり、産前に利用したかったと言っていたので、行政サービス以外も、情報を提供してもらえると、産後のゴタゴタをもう少し少なくできたと思う。
- ・ 産後の孤独感に対して、もっと、市からの支援が欲しかった。子育て、赤ちゃんづれで参加できる産後ケア教室や、ヨガ、ピラティスなど。子どもが少し大きくなってからは、発達相談窓口 休日(土日)に開設していたり、不安を解消してくれる相談所があると良い。
- ・ 家庭訪問してほしい。孤独を解消したい。
- ・ 保育園や幼稚園のくわしい紹介など
- ・ 子供が利用できる施設、子供用トイレがある場所がまとまったウェブページがほしい。
- ・ 3ヵ月検診時等行政の方とお話しする機会はありましたが情報量が多く、子供の様子も気になりあまり頭に入ってこなかったため市役所のHPでチャット形式で色々な情報を得られたらわかりやすいと思います。

○その他、全般について

- ・ 金銭的な援助。 子供が苦手なもの(牛乳やお肉)をおいしく食べられるような料理のレシピ等が欲しい。
- ・ 公園の整備、追加 子育てに係る費用の援助
- ・ 金銭的なサポート(直接的な援助や保育関連の費用値下げ) ・保育の拡充(必ず子供を預けられるようにしてほしい。新たに仕事を見つけないのに保育園が決まらなければ仕事はできない。)
- ・ 金銭面のサポート、相談できる人、場所の提供
- ・ 金銭的サポート・もう少し気軽にあずけられる場所があるとうれしい。
- ・ 経済的支援や、公民館で実施している Labo のような子供のための支援がほしい。
- ・ 子供に関する給付金や学童入所の提出書類期限等個々の家庭に情報を発信してほしい。 学童保育よりももっと気軽に子供を預けられる場所作りをしてほしい。
- ・ 金銭的視点の拡大。学校、保育園の給食無償化、インフルエンザ予防接種の全額負担免除など。 学童も「職員がやりません」という事項が多く、不親切。「宿題をしなさい」との声かけは一切しないとのきまりがあるが、預けている理由が共働きをしているからなわけ、声かけしなくても良いが「みんなで宿題をする時間」を設けてほしい。それだけで夕方～夜の負担が全然ちがう。当然他市では学童で宿題をする時間がある。 くにつこバスが高い。子育て中の家庭は無料か安くしてほしい。
- ・ 所得にかかわらず金銭的支援。幼稚園は、保育時間が短いのもっと長くしてほしい子供の遊べる所や、ボールなど遊べる公園。
- ・ 金銭援助。(予算的に限りがあると思いますが。) 子供が遊べる(雨の日も)広い施設が欲しい。
- ・ 育児支援金の充実、あそび場の充実 病院にかかりやすくする(発熱外来の枠増加)
- ・ 経済的な支援 ゆるやかな場づくり
- ・ 子供を育てるお金の支援 年寄りが子どもの声をうるさい！と言わない教育(子どもは泣くのが仕事)もっとバス等の利用がしやすくなると良い。外へ行くと子どもが泣かれるのがストレス。周りの人に何か言われなかと、ヒヤヒヤしている。
- ・ 給付金・子育て世帯が気軽に立ち寄れるカフェ
- ・ 服、本、おもちゃのリサイクル(安価で販売してほしい)・プールや習い事(ダンス、そろばん、習字、スポーツ テニス 運動、プログラミング)等の子供向けの講座をもっと増やしてほしい。→どちらも小学生以降も対象にしてほしい働いていない、またはパートで就労時間が足りなくても、必要に応じて学童に預けられるようにしてほしい。下の子の保母者会や面談の時に上の子の預け先がなくて困っている。 図書館の絵本や児童書が少ないので、もっと増やしてほしい。相互利用の図書館を使っているが、予約できないし、遠いので大変。受験や小学生以降の教育の本も増やしてほしい。
- ・ 給食無償化 ・18 歳まで医療費無償化 家庭や子どものために働き方を抑えてるため、以下のようなサービスがあればもっと働きたい ↓ ・子どもの送迎サービス ・食事の宅配サービス(国立市の農家と連携して地産地消) ・宿題の監督
- ・ 親が障害者である場合の保育園の利用やようちえんのあづかりを無料化にしてほしい。 外国人が親(元外国人)の場合の言語の教育の場特に外国語の教育の場がほしい。
- ・ 親が障害をもっている際の対応をスムーズにしてほしい。
- ・ 定期的な事業案内・給付金での援助・小学校などアプリの活用等で連絡網や書類の軽減による学校の先生や親の負担減、その分を子供の時間にあてられる環境 保育園の方がよっぽどシステムチックで親や先生のために考えられている事が多そうだと感じます。アナログ減少してほしい。
- ・ 存在し、該当している制度の見える化。 0 歳から保育料無料などの費用負担 プール教室の土日開催 オムツ代・ミルク代… 様々な手続きの完全オンライン化。各書類送付受付 OK など。 市の端なもので、子ども産まれる前から“平日の時間内に”“役所”まで行くのが大変だった。 市役所の窓口に行ったら“保健センターへ”と言われることもあった。申請・受付窓口だけでもオンラインか、谷保東分室などでできればとても助かる。 東京都の双子サポートの活用。
- ・ 公営住宅の入居資格の拡大や住宅の補助があると助かります。 子どもの成長に合わせて住み替えを考えますが、国立は家族向けの手頃な物件が見つかりづらいと感じています。
- ・ 住宅を安く取得できる制度。国立駅 15 分ほどの範囲に廃屋がたくさんあります。夫がテレワークなので、テレワークスペース+子供部屋で、子供 2 人でも 3LDK~4LDK ほしいけれど、そのような物件はなかなかないです。マンションも狭い物件だらけで、住みにくいです。

- ・ 住居のサポート
- ・ 矢川プラスができて、本当によかったです。職員の方も気さくでいつも話をきいてくれて、感謝しています。いつか中央図書館も、きれいで使いやすいものになるとうれしいです。
- ・ 土日に育児相談ができる機会 近所に子供を遊ばせられる公園が欲しい
- ・ 近所の子育て世帯との交流が欲しい(同学年の) 小学校の登校する際のグループが欲しい。
- ・ 同年代で触れ合える場
- ・ 安価にベビーシッターを利用させてもらいたい ・親が仕事以外の理由であっても保育所などを利用してもよいような雰囲気してほしい ・市内の清掃 ・国立駅周辺の落書きへの対応 ・国立駅前のホームレス対策 ・ギフトドールに関する教育の充実 ・「浮きこぼれ」児童に対する対応 ・飛び級の実現
- ・ 必要な時に病院を予約できる仕組み。発熱の時に、いろいろな病院に開院時間に合わせて電話をかけまくるのは、発熱のある子どもを看ながらだとストレスが大きい。
- ・ 一時保育の充実 所得制限のない経済的支援
- ・ 雨の日などの遊び場提供、祖父母などのサポートがない親への支援(一時預かりや子育て相談の専門家の配置、ベビーシッター補助)
- ・ 保育園内に病児保育室を作ってほしい。すぐ近くに新しい園を立てたりするくらいなら今ある園に病児保育作れ。市に1つあっても足りない子の人数と病児保育の割合考えて。こういうムダな紙やらで税金つかうくらいならもっと紙一切つかわずネットでやるとかできることたくさんあると思う。子育て教育で新しいことをしたいのなら上の立場の人の意見でなく今育ててる人の意見をしっかり取り入れるべき。何もかも中途半端すぎる。
- ・ 少しだけでも良いので、ほんの少し、母がお休み出来る時間がほしいです。
- ・ 小児科の予約がとりにくいので、困っている。
- ・ 忙しい母親にかわって、子供の情そう教育をしてくれる人。家ぞくのようにあそんでくれる人が低価格で来てもらえたらいい。子供の食費・服、ならいごとのお金をサポートしてほしい。専ぞくのかせいふをやとえるお金がほしい。家にいろいろな人が入る(ちいきの方)のは不安でファミサポのみづらい。
- ・ もっと子供を注意して欲しい。(自分の子も含めて)おまわりさんとまではいなくていいので、見回りサービスなどちょっと子供が見つかったら怖い、と思えるような、その親も注意されるような仕組みがあれば、と思うことがある。親も子どもモラルが欠けてきているので(自分もまちがっていたら注意して欲しい)
- ・ 行政の仕事が分からないが、小児科を充実してほしい。土日仕事です。日曜は保育園やってないから、日曜に預けられるようにしてほしい。日曜預けられたら、ちゃんと平日に子供とすごす時間を作ります。公園の整備と清掃の充実。子供が小学生になったら放課後過ごす場所の拡大
- ・ 子育てをしやすい地域環境の醸成が必要。保育施設等はじめ、本件アンケートに記載された様々な支援を実施してほしい。これらの支援が実施され、環境が整うことで、結果的に地域に人が流れ、人口の増加→地域活性化→更なる環境醸成による子育てしやすい環境の構築ができると思う。
- ・ 安心して子育てができる環境づくり。 保育園が少ないエリアで通園を考えた際に悩んだため、国立市内の全ての駅に送迎ステーションなどがあると大変助かる(流山市のような)。
- ・ 保育園や小学校、中学校の質を上げて欲しい。
- ・ 学童保育をもっと充実させてほしい。せまい所に無理やり“つめこむ”のはやめた方がよい。矢川プラスのような施設をもう一つつくってほしい じょうちよ障害の子が入れる学級を全ての小学校に導入してほしい。スマイリーサポートの増強(人が少なすぎ、時間少なすぎ) 経済的支援！児童館せますぎ、古すぎ、もっと職員も増やしてほしい。
- ・ 手当金は要らないので、きちんと教育・保育サービスを受けられるようにしてほしい。 差別的な古い考えや責任逃れのたらいまわしはやめ、ワンストップで解決する覚悟を持ってほしい。
- ・ 兄弟同じ園希望の家庭は同じにしてほしい。送迎の時間がもったいなさすぎる。・兄弟の人数に合わせて有給の休みを増やしてもらいたい(看病は休みではないと感じる)・兄弟他園の場合、1人は延長料金無しにしてもらいたい。少しはたらいたとしても延長料金の負担がストレスを感じる。職場が遠いので、別園おむかえもあり、本当に辛い。・シャトルバスや徒歩で公園(遊具有りの)に行ける環境がほしい
- ・ 年の差のある上の子たちの時代に比べて、子育て支援は非常に充実してきたと思う。保育士など、実際に子どもに接するという大変な仕事をしている方たちの待遇向上に力を注ぐ頃なのではないかと、個人的には思う。
- ・ 良質な保育、教育が受けられるように、保育士の待遇改善や教員不足の解消を求めます。
- ・ カンガルー広場や体育館ベビールームなど、施設のおもちゃを新しく質の良いものにして欲しい。公立保育園も、先生の安心感はあるが、施設やおもちゃが古い。・子育て支援の所得制限をなくして欲しい。高齢で生むと不利に

なる。・年度途中でも保育所に入れれば早期に復職なくて済む。・育児休業をもう少し長く取得できたら(2,3歳)理想。・短時間の仕事でも預けられる保育所、または週のうち2~3日でも預けられる保育所があつて欲しい。

- ・ ①幼稚園の延長保育もっと長くしてほしい②保育園は保育だけではなく、習い事も入れた方がいい③放課後の学校→施設までの送迎を利用したいです。④学校→家までの送迎、下校後のファミリーサポートあれば利用したいです
来年少より小学校1年生になりますので、今は放課後どうすればいいですごく不安と思います。
- ・ 共働き家庭の、子の習い事送迎サポート
- ・ 学童の行き帰りの安全確保 学校、学童の登下校(所)の遠隔確認サポート
- ・ 駅前から児童館への送迎バス(親の付き添い無しで乗車できる) 月極ではなく、チケット制で、利用日数のみ支払う学童のシステム。(もしくは、民間学童のように、固定日で週1、週2で月謝が変わるシステム。) 月4回利用と、月20回利用の児童が、同じ月謝で同じおやつ代である事に違和感を感じます。
- ・ 住環境に対する支援、民間含む学童保育所の充実、タクシー等を利用した子どもの送迎支援
- ・ 1歳になるまで等限定的でいいので高齢者と同じようなくにつこの無料バスがあるといい。
- ・ ベビーカーや子連れでも利用しやすい交通手段の拡充 →北住まいのため『くにつこバス』を利用しているが、小型なこと、また時間帯によっては混雑するため、なかなか子ども連れでは利用が難しい。大型にして欲しい。・乳幼児の遊び場の整備(北) →矢川プラスや来年度完成予定の駅の遊び場では、遠くてなかなか気軽に利用できない。特に乳児の時は電車やバス移動になるためより困難。徒歩で行ける範囲に児童館など乳幼児が過ごせる場所があると嬉しい。・赤ちゃん用品の購入場所の手配や宅配 →国立市は赤ちゃん用品店がない。あってもスーパーのごく一部商品。購入には他市に行くかネットで購入するしかない。行政のサポートの範囲ではないかもしれないが、赤ちゃん用品店を増やす、もしくは宅配サービスなどを気軽に利用できると助かる。
- ・ 国立市北に住んでいることもあり、西児童館以外は全ての施設が遠い。・ベビーカーで移動しやすい手段がない(くにつこバスは老人専用のようにになっている、周囲のママ友ものりづらいとの声、本数がすくなくすぎる)。・谷保側に北から行きやすい交通もうの発達と、ベビーカーバスがつかいやすい工夫。・タクシー券の配布。・ファミサポの支援員の指名制
- ・ 保健センターや矢川プラス等、の場所が徒歩で行くには大変で、少し距離があるので気軽に遊んだり相談したりするところがないのが少し不便を感じる。防災センターや福祉館等を活用して頂けるとありがたいと思う。(もう、あつたらごめんなさい！)
- ・ 放デイの充実と、学校との送迎のサポート
- ・ 保育園にも送迎バス等の制度が欲しい(兄弟がいる場合、出産前の妊娠中から、産後の小さい赤ちゃんがいる時、兄弟の体調不良の時など、常に子ども全員連れて送迎することがかなり負担でした) 保育園が必ず自宅から近い訳ではないので雨の日等も苦勞します・国立駅周辺は、とにかく公園が少なく、駅近くで買いものをして少し子どもをあそばせて帰りたい、と思った時に行ける場所がありません・図書館をもっと充実させてほしい!!・フルタイムで働いているので、子どもとの時間は土日祝が主になりますが、4歳頃になると習い事をしてもらいたい気持ちもあり、でも貴重な休みがそれに使われるのももったいないかと悩みます。平日、習い事までの送迎を誰かに頼める仕組みもあるので、何となく不安だし、金銭的にもどうか?子どもが初対面の方とうまくできるのか?等不安になって使用できずにいます。もっとシンプルに利用できるものなののでしょうか、こういう相談もわざわざ役所までいかなければいけない?
- ・ 国立市はバスなどがあまりないのに、駐車場もなく、子供を連れての移動に困る。市のサービスを利用するのに公共の乗り物で来て下さいと言われてもバスがない。バスがないのにどうやって行けと?気軽に来て下さい、相談してください、行けるなら行った。足がないから困る。
- ・ 小学校にあがるときに、「小1の壁」があることを、解消してもらいたい。子供を、朝、保育園と同じ時間に預けられる施設やサービスが欲しい。
- ・ 発達やIQに関係する専門家と話せる場がほしい。年の差のある兄弟がいつべんに遊べる場がほしい 安心安全な、お惣菜屋さんがあると嬉しい。たくさん種類がある。
- ・ すべての子が、「その子に合った」適切な教育を受けられることを望みます(フルインクルーシブ教育には反対です) 逆に、教育の場以外で様々な子供と関わる機会は増えたらいいと思います。
- ・ 発達障害のある子もインクルーシブで学校に通えるように、各学校や、学童に療育の知識が2人、作業療法士、臨床心理士、等、人員配置してほしい。登下校のサポートをしてほしい。3才~5才児に療育手帳の療育費用100%補助で無償化しているが、就学後~18才まで、療育費を補助し、無償化してほしい。1割負担でも、毎月37,200円上限でかかるのは大きな負担です。一生介護が必要な状況で、家族だけでカバーするのは限界があります。定型

児と異なるため、常に不安をかかえて生きていて、親の心理的負担も大きいです。安心して地域で生活できる環境整備を望みます。

- ・ 医療ケア児の通園制度はよいとおもうが、その親は？保育園と行政からもとめられる事がちがう場合はどうしたら？
- ・ 集団からはじかれてしまっている、気になる子、グレーゾーンの子、発達障害児のいる家庭は、ほぼ母父も障害要素をもっている。そのため、気づきや、子どもを育てていく過程での問題も、生じやすい。保育園や幼稚園、学校が、すぐに、対応できるように、親主体ではなく、施設主体をとっていき方が、子どものすこやかな保育体制を取れるため、順番をかえるべき。又、医療現場、保育施設、学校の連携が弱いと感ずるため、できるかぎり、すりあわせできるようなサポート、チェック体制が必要。(学校と学童保育も含む)
- ・ 出来ない子に合わせるのではなく、もっと学びたいと思ってる子も大事にしてほしい。手助けが必要な子のフォローを便利な子におしつけないで。先生も大変そうです。クラスの子にも先生にも負担にならず、すむ方法はないのか。ASS. とてうれしい。学年ふやせないのか。小3〜とか。
- ・ 将来必要と思われるスキル(例えば、英語やプログラミングなど)を誰でも気軽に、そして高いレベルになるまで習得できるよう、場所や機会を作って欲しい
- ・ 仕事が忙しい中、保育園へ送り迎えをし、家事をし、できるだけ最低限の手続き(予防接種の記入用紙など)にして欲しい
- ・ 当時、多胎向けのサポートがあれば助かったなと思う。移動すら困難、費用は倍かかる、、、etc
- ・ 今の職場でもっと時短で働かせてほしい。
- ・ 小学生になっても働きやすい教育システム
- ・ 以前三鷹市に住んでいたのですが、三鷹市のような行政が運営するスイミングスクール、ダンス、軽ダンスなど今よりもっと種類を増やしてほしい。
- ・ 土日や、年末年始に遊べる施設を開所してほしい。・住宅などの支援や情報・フリーランス(自営業)にも育休がとれるように。(手当)・パートでも育休がとれるように。(手当)
- ・ イベントや習い事の開催。補助をしてもらったりしてあまり高くないレッスン料でダンスなど習い事ができたらいいなどおもいます。大学も全員無償化して欲しいです。
- ・ 立川の若葉児童館のリミックや行事はすごくよかったです。国立もして欲しいです。
- ・ 幼稚園に子どもが入るまでは、一人の時間がとりにくく、かなりストレスがたまるので、託児付きのヨガや体を動かす機会を、低価格で提供してほしいと思いました。ここすきは先生方が保育してくださる間に、おしゃべりで母同士で交流でき、短期間だったので、もっと期間が長くなれば、うれしいなど感じました。
- ・ 0〜2 才くらいまでを対象とした支援事業(コケッコーのような)を増やしてほしい。3 才〜はプレ幼稚園があったり、コケッコーやここすきなどがあるので。シッターの無償化、電動自転車の補助金、産後ケア施設の増設 乳腺炎になった時のサポート(土日含む)
- ・ 医療ケア児のための在宅レスパイト制度
- ・ 産休、育休は休みというよりは寧ろ心も体もすり減る期間なので、産休、育休のあとに親が休める本当の「休暇、休業」がほしい。
- ・ 第二子、第三子の概念の変更。歳の差がある兄弟だと第二子を第二子、第三子を第三子とみなされないことがある。
- ・ 保育料が高い。父親は海外勤務のため世帯は別なのに(生活費・家賃)保育料は同一世帯と同じ扱いになるのは理解できない。保育園を落ちるようにして育休を延長した方が手元に残るお金が多いのも分からない。→保育料をもっと下げてほしい
- ・ 認可保育園のPTAをなくしてほしい。親の負担が大きい。保育士数の増加。
- ・ 4月に申込をしないと待機児童になってしまうキャパの小ささをすぐにでも改善してほしい。23区はすぐに入れるので、そちらに住めば良かったと後悔してしまう。公立の保育園や小学校の老朽化もひどいので予算を組んで早く建て直してほしい。+矢川プラスのような子育て広場がもっとできればファミリー世帯の転入も沢山増えて、税収も回収できる。古い建物(体育館や図書館)が多く、税収が足りていない感がすごくあり、このままここに住み続けていいのか不安になる。五小の改築の延期のニュースを見ました。信じられません。。
- ・ 子連れで行ける飲食店リスト(授乳室有無、ベビーカー可否、小上がり有無等)を提供してほしい。・4歳〜6歳が遊べる場所(室内)が少ないので整備してほしい。(大型店の誘致など)・矢川周りの雑草とりの頻度を増やして、子どもが快適に遊べる環境を整えてほしい。・病院の発熱外来の予約がとれず、受診できないことがある。必要な人はスムーズに受診できるよう、行政からも病院へ働きかけをしてほしい。
- ・ 子連れで行ける飲食店リスト(授乳室有無、ベビーカー可否、小上がり有無等)を提供してほしい。・4歳〜6歳が遊

べる場所(室内)が少ないので整備してほしい。(大型店の誘致など)・矢川周りの雑草とりの頻度を増やして、子どもが快適に遊べる環境を整えてほしい。・病院の発熱外来の予約がとれず、受診できないことがある。必要な人はスムーズに受診できるよう、行政からも病院へ働きかけをしてほしい。

- ・行政のサポートというより、もっと身近な関係を作っていきたい。が、仕事をしているとご近所の付き合いをもてないし、地域の活動にも参加できない。「休みやすい環境」にしてほしい。休んでもキャリアに自信をもちたい。
- ・近隣の市では子どもの下校時間に「地域で見守ろう」という様なメッセージが流れるが、国立市では行わないのでしょうか?・自転車の練習、キャッチボール、スケボー、キックボードができる公園が増えてほしい。・歩道が狭い上、自転車が多いので安全対策してほしい。・教育により遊びやイベントに参加しやすい場がほしい。
- ・子どもが遊べる場所がもっとほしい(矢川プラスが混んでいる)・子連れが利用しやすい飲食店が増えてほしい(そういった飲食店に減税等をする等の行政支援を検討していただきたい)・子育て世帯への支援の充実(オムツ代ミルク代の消費税無料等を都や国に要望してほしい)
- ・近所の方たちと集まる機会があるといい。同年代の子の親たちとか。スポーツ大会とか地域対抗のイベント。
- ・国立駅前に子育て支援施設ができるそうですが、そういった施設やサービスを国立駅周辺で利用できるようになるのが理想です。公園も国立駅周辺にもっと増えるとありがたいです。
- ・子育てサークルなどのとりまとめ。(乳児期はあったが、それ以降はなくなってしまったため)・地域の人への動機づけ。(子育てを温かく見守ってほしい、などの啓発活動)。
- ・今ある月齢会を行政でイベントにしてほしい。交流会的な。年齢があがると教育費等あがってくると思うので、そういった教育にかかるサポート。当事者の声を吸いあげるためにアンケートの実施や、親達がこんな市になってほしいという提案場所を提供してほしい。市民の声的な、気軽におくれるように。
- ・北や駅前におもいっきりあそべる公園など場所がないので、国立駅に新しくできる施設は楽しみです。今まで上3人の子育て時はフルタイムの土・日祝仕事をしていたので当時は、土・日・祝の保育園があったらいいなと思っていましたが、4人目が生まれて仕事を変えました。1人目を産んだ時とくらべると色々とサポートがあり、よくなっていると思っていますが、保育園の土曜保育は仕事の方のみなので、PTA活動や運動会などの行事の際も利用できるとありがたいです。一緒だと上の子を見ることができず、残念なことが多くあります。
- ・子どもらが気軽に集える場所の提供、小さくても子どもは集まる。必要。シニア健康器具 増やしても利用してる人少ないのでは。
- ・子どもが道を歩いても危なくないように道路を整備してほしい。特に、国立市役所前交差点から南武線の踏切までの道が狭すぎるにも関わらず、高速ICの近道になっており、車の交通量が異常に多い。道路拡張の計画があることは知っているが、計画の迅速な推進を求めたい。子どもたちが事故にあってからでは遅すぎる。
- ・道路の整備や危険箇所への対策(飛び出し防止など)・通所保育(子が2才半~3ヶ月間、ここすき!を利用したのですが、実際に保育士さんが子どもと接する現場をみられたこと、保育士さんに相談ができたこと、他のお母さんたちと話ができただけは本当に助けられました。)
- ・一橋大の正門以外から出入りできるようにしてほしい。
- ・公園での禁煙
- ・匿名非通知で何十回も虐待通報され、精神的にかなり辛かった。こちらは、精神的な苦痛をかなり受けるのに、相手は嫌がらせでそういう事をしている事もある。子育て世帯が安心して生活できる様、子育て世帯を守る様な案内や、条例を設けてほしい。
- ・高齢出産での家庭は、若い家庭と異なり、世帯主も高齢であり、ほとんどの方々が会社でもそれなりの責任を負った立場であるため、日本社会では会社優先の考え方があり、その方々には十分な子育てができる状況が作れないと思われる。今後の健康面、収入面とも不安が多くなるため、既婚者(子供有り)にも不安を解消できるようなサポートが欲しいと思う。税優遇、高校、大学まで無償化、一橋都の教育連携。
- ・男性(父親)も、育児に積極的に参加するのが当然だという意識を伝える場を作ってほしいです。(女性に丸投げではなく)また、女性が育児の為に働く時間が減った分の給与を、何割かでも良いのでカバーするような補助金があると良いと思います。日々、育児、家事、仕事に全力をつくしていても、給与が低いという理由で軽んじられることが減るようになれば嬉しいです。
- ・不適切保育や性被害から子供を守る仕組みづくりを強化してほしい
- ・子供たちが日本の未来そのものであることをポジティブに発信し続けてくれることを期待する。仕組み作りはもちろんだが、一人一人の意識を変えていくことも大変重要。
- ・上記のもの!

- ・ P12 に記入している事が全てです。
- ・ 最近のとりくみに満足している(南口再開発事業や矢川プラスなど)ので、今後とも現在の方針を続けていって欲しい。強いていえば、継続性に不安がある。
- ・ 国立は地域の方が本当に優しいと感じます。これからも子供を育てやすい町をつくりつづけて頂ければ嬉しいです。
- ・ 充分に行政からのサポートは提供していただいているので、情報収集して活用していきたい。
- ・ 国立市の職員の方は手厚くサポートして下さっている印象。十分です。
- ・ 省略。
- ・ 現状特に困っていない
- ・ 特になし。(今のままで十分です) (計 2 件)
- ・ 特になし (計 3 件)

〔低学年小学生保護者・問 32〕

○経済的なことについて

- ・ 経済的な支援 / 助成金 / 手当 / 給付金 / 補助 / 無償化 (計 7 件)
- ・ ベビーシッターの利用の助成や補助金など。
- ・ 教育費の負担軽減 / 学費の無償化 (計 2 件)
- ・ 給食費や教育費などの無償化
- ・ 教育関連費用の補助、小学生以上の医療費(200 円)も無料にして頂きたい。
- ・ 無料の学習サポート
- ・ 塾などの習い事の補助金を出してほしい。
- ・ 学習支援における経済的負担を軽減させるサポート。(主に受験時)
- ・ ・学校で使用するピアノを貸与方式にして欲しい。トータルで数十回しか使用しないので親の負担感があります。ピアノ 1 台 5000—6000 円で3年生以降はリコーダーになり、いくら使用しないのでは？他県から転校してきたので購入システムで驚きました。コロナ禍は不使用だったそうで。また、そういったこともあると思うので、貸与方式、検討して頂きたいです。・下校時の三小通路の見守りがあると安心です。
- ・ 国立大学無償化してほしい。高校の学費無償化の所得制限なくしてほしい。
- ・ 大学費用が高額であるため、助成してもらいたいです。
- ・ 教育に関する予算を近隣の自治体と同じレベルにして欲しい
- ・ 給食費等の費用面の補助 / 給食の無償化 (計 3 件)
- ・ 養育費の補助や小学生の医療費無料
- ・ インフルエンザワクチンの費用を助成して欲しい
- ・ 子育てに必要な不可欠な基本サービス(公立以外の学校教育や学校給食など)の無償化
- ・ 定期的な助成金が欲しい
- ・ お金が欲しい。それか、育児手当はいらぬから、給食費無料、裁縫道具、リコーダー、習字道具や校外学習、移動教室や教材費、学校で必要な物や行事を全て無料にしてほしい。小・中学校まで。水着とか、制服とかも。
- ・ 金銭的サポート 学童には満足している。
- ・ 経済的なサポートはありがたいです
- ・ 子育て給付金の増額をお願い致します。年プラス 10 万円。
- ・ 所得制限のない給付金 / 所得制限をなくす (計 3 件)
- ・ 費用面のサポート希望。児童手当の所得制限の撤廃。学童利用料について高いと感じている。週 2 日程度の利用と週 5 日利用での利用料が同じ事に違和感を感じる。利用した分だけの利用料にしてほしい。お菓子代も一律 2000 円。支払いに対する対価を得られていない。
- ・ 時短勤務による減給分を補助してほしい。
- ・ 他の区や市のような、高校生まで医療費無料、育児支援金やギフトカタログ毎月配布などやはり金銭面のサポートが欲しい。放課後デイなども無料にしてほしい
- ・ オムツなどの消耗品
- ・ 塾、スポーツなどの習い事、様々な経験をさせる為には(旅行など)結局お金(と時間)がないとできないので、子供

の経験の為に使えるお金やポイントが一番嬉しいと思います。それか、クリスマスやお誕生日もプレゼントをもらえないようなお子さんがいたらかわいそうなので、個人的にはそういった事に使ってもらうか、市から毎年(中学生くらいまで?)お誕生日プレゼントの引きかえ券を送ってもらうか(ささやかなプレゼントを市で準備してもらう)マイナンバーカード持参してもらってプレゼントをわたしてあげるなども素敵だなと思いますが、取りに来る人が少ないとプレゼントが余ってしまうかも…と考えるとむずかしいのかな やっぱお金やポイントが一番(プレゼントなど考える手間を思うと)なのかもしれません。

○学校関連について

- ・ 安心して学校に出せるような、学校環境(学校そのものに不安)
- ・ 学級崩壊など、子供が不安定になった時の学習面のケアをしっかりして欲しい
- ・ 学校で先生以外でも子どもの学びをサポートする人をふやしてほしい。みんなの学校がすてきと思ってます。
- ・ 学校との連絡システムが一方的(学校からはメッセージを送れるがこちらからは送れない。未だに連絡帳に書くように言われる。連絡帳を落としたら個人情報ただもれとなる)電話は 1730 以降でない。コミュニケーションが困難。双方向性であるべきだと思う。
- ・ 市内の小学校、中学校へ進学する際、進学先の学校公開や授業参観などを親子ともにできると良いと思います。

○預かりについて

- ・ 放課後の居場所が少ない。学童の質の向上や無料化や必要時のみの使用が出来るようにして欲しい。
- ・ 夏休みや春休みなどで子供を預かってもらえる林間学校などがあればぜひ利用したい。あるいはホームステイなど大規模な災害時に子供を数日預かってもらえる施設があると助かります。
- ・ 病児保育・下校後～夜両親が帰宅するまでの見守り・家事支援、家庭教師
- ・ 病児保育サービスの充実・ベビーシッターサービスの充実・家事支援サービスの充実
- ・ 保育園と小学校の差が激しい。保育園のように人手を厚くしてほしいし、学校の先生の{連携? 質?}に疑問を感じることもある。小学校に入った途端、全体主義で一律「こうしろ」。そう言う割にはしなくても放置(もっと手のかかる家庭・児童に対応するのに手一杯で大多数の子が「それなり」の範囲で放っておかれているのでは…とってしまう)。そういう世の中の矛盾?ほころび?を身につけるのが教育=小学校なんですか? 個人攻撃したいのではなく、予算・人材・配慮を最大限傾けないと現場がもたないと心配している。
学童も同様。小学生は1年~6年成長度合が全く違うのに、狭い場所でいっしょくた。遊び・学びの場としての機能が求められているのに「生活の場」だから、としてそこできなくていい(というか今の状況ではそれしかできない)という現実には流されている。先生方は努力されているけれども、1年生当時の娘から「先生は忙しいから、何かあっても相談とかしない。わかってももらえないから」と言われたときは苦しかった。子どもには大人の目で見える範囲にはいてほしいが、問題ないように大人の顔色を見つつすぐず方法を身につけるのではなく、学童には意欲をもって遊びや学びに没頭できる環境であってほしい。「公」にそういったことを求めるのはお門違いですか? それ求めるなら迷わず「民」へ、自腹でどうぞ、ですか? なら学童縮小して「民」利用のための助成サービスの方がいいかも。子ども大事にする!ってアンケートまでとるなら、行政の本気を見せてほしいです。
- ・ 学童保育に入る要件が厳しすぎて、自分のような週2~3回働くパート労働者では、学童に預けたくても預けられない。特に、長期休みの間は、本当に本当に困る。放課後キッズを毎日、実施してほしい。
- ・ いつでも預かってもらえるサポート
- ・ ファミサポで病児をみてくれると助かります。→子どもの慣れた環境(自宅)で面倒をみて頂けると助かります。病児保育は急なので空きがないですが、体調不良の子によくわからない環境でよくわからない先生が対応するという子どもにとって厳しい環境だと思います。職場の人は、子どもがどうなっても関係ないことかもしれませんが、働くお母さんは、職場が欠員補充をしてくれなかった際に、病児保育を職場から強要されることがあります。預け先があればいいという問題ではないのですが、コマのように働くお母さんを扱ったり、子どものことを考えるような人が多いように感じます。
- ・ 以前は(就学前)9:00-13:00の扶養内パートだったが学童の基準が、14:30以降、5時間以上、月、14日と、この基準だと入れず、学校のある日は大丈夫だが、夏休み等の長期休みだと、毎日、まだ6才の子どもを昼食をはさんで4時間以上も1人で留守番させることはできず、働き方を変えざるを得なかった。民間の学童も考えたが、高すぎて働く意味がない。市役所で相談したが、全く親身になってもらえなかったし、見当違いな案(きっと子どもがいない人だろうな)という感じの回答が返ってきたので、考えなおして欲しい。
- ・ 育休が学童の退所要件になる点を見直して頂ければと思います。特に夏休み中に0才児を自宅で保育しながら小

学校低学年の子どもの世話をするのはかなり負担が大きかったです。

- ・ 学童が2小の場合、西児童館に行く必要があり、小学校1~2年生の時は通っていましたが、道中の移動が危険でとても心配でした。小学校単位での学童は必要だと思いました。
- ・ 学童が学校からはなれていて、道路が狭くとても危険なので早く、二小の改修新設工事がおわり学校内学童にしてもらいたい。それまでの間は、道路の送迎に大人←ボランティアや保母者などがつけるようにしていただきたい。とにかく危険。
- ・ 学童でイベントに参加したり充実した活動があるとよい。西児童館のせまさを感じるので学校を3~6年、1、2年学童(児童館)など人数をさらに分散させるとよい
- ・ 学童に行きたがらず毎朝、学童休みたいと子どもから言われ困っています。子どもが安心して居られる学童環境の充実をサポートしてほしいです。
- ・ 学童は就労時以外は預けられない。週5(月~金)で働いているので土曜日に健康診断や美容院へ行きたいが子どもがいていけない。ファミサポに預けると4~5千円かかってしまう。自分の時間がなく、作ろうと思うとお金がかかるので作れない。
- ・ 学童保育のあり方。もはや学童保育なしに、共働きは不可能であるが、保護者の互助会等で成り立たせるのは時代合わない。行政からこの辺りともっとサポートするべきかと思います。
- ・ 学童保育の単発利用が出来ると思うことがあります。
- ・ 学童保育の入所要件を下げてほしい。ほぼフルタイムの状態でないで預けられないが、週に1~2回でも長時間の勤務をすることはある。結果として低学年のうちは仕事を全くしない or パートで学校の都合にあわせられる仕事を選ぶ or 正社員しか選択肢がない。学童でなくとも立川市のように「ほうかごキッズ」の全日実施など、子供が大人の目があるところでごせる場所があればよいと思う。
- ・ 学童保育士の人数を増やす。-通学路危険箇所の解消。(石神道の一方通行化など)
- ・ 学童保育室での先生の対応を良くして欲しい。他の先生の悪口等を子供の前でしないで欲しい。言い方がきつい先生、いつもイライラしている先生がいるようなので改善して欲しいです。子供の心が傷ついています。学童を利用しなければならぬので利用していますが、もっと学童で学べる場にしてほしいです。
- ・ 学童保育所の質の向上
- ・ 急な病気や学級閉鎖で学校が休みになってしまった場合の預り先があると大変助かります。
- ・ 子供をもっと預けやすくできること。子供の習い事を送迎してもらえるサービスの充実。
- ・ 単発で学童に子どもを預けられる様なシステムができればとてもありがたい。この日のこの時間だけ、この週だけ長く家をあけなければならない時がある。夏休みや冬休みの長期休みの時だけでも学童を利用したいが、毎回登録しなおさなければならない、手間がかかる。
- ・ 長期休みのみの学童利用。今年6月からフルタイム勤務をしているが、それまで専業主婦で学童を利用していなかったもので、3年生の子どもの夏休みをどうしたらいいかかなり悩んだ。
- ・ 保育園から小学生となるときが、預けられる時間が短縮したり、預けられる場所が少なくなったりと自分の働き方を変える必要があったりなど色々あり大変だった。正直保育園を選ぶときより大変だった。保育園(未就学児)→小学生(児童)で、サービスが極端に少なく、そして悪くなったように感じ、精神的につらかった。我が家は長男が小学生となったとき、西学童に19時まで、保育園(矢川駅近く)に19時15分まで預けることになり、矢川駅→保育園→西学童と迎えに行くことになった。しかし仕事が長びき矢川駅から先ず西学童に行き、また矢川駅の方へ戻って…といった日も多く、民間学童を使うことにした。民間学童は費用も高く、また国立駅周辺にしかなかったのが遠かったが、遅くまで預かってもらえた。そのかわり、子供たちと帰宅するのは20時となり、そこからバタバタと21:30までにねかしつける間、子供とのゆっくりとした触れ合いなど無理だった。市役所の窓口では公的サービスの説明だけで、我が家の状況にはどのような事業を組み合わせればよいか、地域に友人のいない私には情報もなく途方にくれた日々だった。体力的にも精神的(遠い場所に、遅くまで預けて家ではねるだけの様な日々を子供に強いていること)にもきつかった。その家庭の事情をふまえて、預け先のコーディネートと一緒に考えてくれる人が、サポートが欲しかった。
- ・ 放課後キッズの日数を増やしてほしい(習い事で曜日が合わない)雨天でもやってほしい(猛暑でも)
- ・ 放課後支援の事業
- ・ 預かってもらえる場(病気、緊急時)日/時間単位。

○居場所や遊び・成長の機会など

- ・ 学童保育の延長時間の開始を遅めてほしい。保育園 18:15~学童 18:00 なぜ? ←小さい子からのおむかえなの

になぜなのか

学童の時間に、学童以外の学校の友達とあそべる環境がほしい。

第一小の谷保地区に遊具有りの公園、ここなら友達がいるかなという公園の場所がほしい。

- ・ 子どもを連れて遊びに行ける場所や機会がほしい。

子ども一人で参加できるイベント(ex サマーキャンプ、他地域との交流活動など)で、子どもが学校と家庭以外の世界とつながれるとよい。

学童保育の施設が古く、良い環境とはいえないように思う。職員は皆良い方たちで、子どもとも上手に関わってくれているが、もっと一人あたりの負担が軽減されるとよい。(もう少しお金をかけてほしい…というのが正直なところ)

- ・ 親が仕事の時の居場所づくり 五小は学童が自宅と反対方向で利用を嫌がってしまい継続できなかった。人数も多くきゅうくつがあった。

放課後デイにもことばの教室にあるようなタクシー利用の制度があるとありがたいです。送迎のない放課後デイも利用していますが仕事の都合などで送迎できない時もあります。一人ではまだ行けない、帰りは学校よりも遅くなるので、利用したくてもできない状況になっています。

- ・ 長期休暇のみの学童利用を希望。 学校内学童を希望。

- ・ 放課後キッズの回数を増やして欲しいです。

子供が気楽に行ける勉強できる場所を作って欲しいです。文教地区らしく、子どもが勉強できる場所をたくさん作って欲しいです。国立市らしいアピールになると考えます。

学校の校庭、体育館の自由開放日を増やして欲しいです。

ボール遊びできる場所を増やしてほしいです。

- ・ 騒音問題でランドピアノを家に置けない子どもたちの日常の練習環境づくりを行政が支援できると。

- ・ 夫婦共に土日祝出勤のため、そういう日の居場所を作って欲しい

- ・ 平日の夕方に子ども(小学生)が公園で遊ぶ姿を見ることが少なくなりました。小学生になると急に学校と学童のウエイトが大きくなります。地域で安心して子どもが過ごすことで、地域の方とのつながりが増え、地域活動へ参加し、愛着も湧くのではないのでしょうか？矢川プラスに小学生のこどもを一人で遊びに行かせたら、見ず知らずのお母さんが自宅まで送っていただきました。一見親切に思えますが、表情やお話の口調からは、「こどもを一人で歩かせていることへの批判」がにじみ出ておりました。

- ・ 北地区に、雨等の天候を気にせず遊べる場所がない。放課後キッズは猛暑や雨天で実施されない日もあるし、その日が習い事だと使えない。学校が利用できないなら、北市民プラザや、福祉会館等が活用できるとうれしい。またその施設で WIFI 等がつかえるとうれしい。児童館は遠く、低学年では 1 人ではいけない。北地区にもほしい。クラスの半数以上の子が学童に行っており、そんな中で、友人ができるのか、不安。実際に学校の後に学校の友人と遊んだことは、ほんの数回です。北第一公園で待ち合わせしても、いなかったり、自身が習い事だったりすることが多いです。児童館のような場所なら、親も行かせやすいなあと思います。

- ・ 目が行き届きやすい公園、街中で座って軽食がとれるスペース、緊急時に預りができる施設があれば最低限の子育てはできると思います。あとは、サッカーが近所に気軽にできる所が少ないです。第 3 公園は広いですが、グラウンドが借りられていると全面使えなくなるのは野球を優先していると感じる。

- ・ 矢川プラスのような場所がもっとたくさんあるとありがたいです。小学生になると、親より友達と遊びたがりますが、大人の目が全くないのは不安です。公園も、変質者が出たり、遊具をふざけて使っけがをしそうになったりまだまだ心配です。天気が悪いと行けません。 矢川プラスは綺麗で設備も良く、職員の方が助けてくれたりして本当にありがたいです。ただ、混んでいたり、だんだん手持ち無沙汰になることも増えてきました。

- ・ お祭りなどで子供だけ参加する形のイベントなどがあると良い。自立心や社会性を学んだり、気づきの場をもっと作ってあげたい。

- ・ ひとり親事業に参加させて頂きました。(シーパラ)遠方への外出やスポーツ体験、自然活動など、母ひとりではハードルが高いため、非常にありがたく感じています。「体験」できる機会の提供を期待したいです。

- ・ 安心して子供を遊ばせることができる場や環境の整備(防犯、広さがある公園など)

- ・ 安心して遊べる場所の提供。矢川プラスができて自宅から近いので、それは実現している。

- ・ 学校や学童でもっとのびのびと過ごせるようにしてほしい。管理の色合いが強い。 もっと日常的に、気軽に図書室・図書館へアクセスできるようにしてほしい。 地域の大人が将棋の相手をしてくれたり、プログラミングを教えたりする、世代間のつながりがもてる場を作って欲しい。

- ・ 学校帰りに子供だけで遊べる場所がほしい。(見守る方がいる中で)

- ・ 近くに遊具がひとつだけの公園しかないので、手入れの行き届いた、子供が沢山集まりたくなるようなきれいで楽しい公園が近くにほしい。矢川までは遠いので、近くに楽しめる児童館がほしい。乳幼児のおへや、おもちゃのおへやは西児童館にはないので、公園、児童館をもっと人が集まる楽しい所にして友達作りの場にしたい。おもちゃのおへやや企画をもっと充実させてほしい。・路上喫煙を23区内のように禁止してほしい。
- ・ 芸術小ホールで子ども向けイベントを増やしてほしい。音楽であれば子どもが好みそうな曲など。
- ・ 今でも十分にサポートしてもらえていると感じている。子どものすきな矢川プラスで楽しめる行事が増えたらうれしい。
- ・ 今年も国立ジョブ体験のイベントがありましたが、あっという間に定員がいっぱいになり申し込みませんでした。もっと回数や参加店を増やして開催していただきたいです。
- ・ 子どもがあそべる公園が近くにないので作ってほしい。家の前の道であそんでいるが車通りが多くこわい。
- ・ 子どもが安心して、思いっきり遊べる広場や公園、居場所をもっと充実して頂けると嬉しいです。
- ・ 子どもが安全に安心して過ごせる環境作り。ボール遊びやかけ回れる公園や公共施設がほしい(体育館でも可)
- ・ 子供達が夕方でもサッカーなどの運動が出来る環境が欲しいです。
- ・ 児童館の遠足が増えたらうれしいです。
また、親子で参加できるワークショップ、料理やアート体験などがあるとうれしいです。
- ・ 室内で安心して遊べる所がもう少しほしい。矢川プラスはとても良いが場所が遠い。児童館も古くせまく、あまり魅力を感じない。
- ・ 塾に行かない(行けない)子ども、学校の学習のサポートをしてくれる場。子どもの遊び場の確保。
- ・ 伸び伸び遊べる公園が欲しい 東エリアはゼロに等しいのでは? それであれば放課後校庭で遊べる様にして欲しい(スタッフがなくてもいいと思う)放課後キッズが週2以上難しいのであれば、スタッフがなくても校庭を利用できるようにして欲しい(自己責任での利用がしたい)東地区は公園がなく、友達と放課後待ち合わせて遊んだりづらい。友達との放課後の遊びの約束が成立したことがない。(指定した公園が遠いなどの理由でどちらかの家庭で却下されたりなど…)
- ・ 東区に公園が少ないので、子供が公園に行く機会が少ない、増して欲しい。
- ・ 日曜日児童館で遊べるようにしてもらいたい。平日の下校以降に、図書館で読書会や勉強を教えてもらえる場が欲しい。そうすると、親が就労で帰りが遅くなる日も安心出来る。

○情報や相談、サポートなどについて

- ・ こどもの個性の認知をサポートしてもらえると、生きやすいです(障害があるので)。
- ・ サポートしてもらったことがなくわからない
- ・ どのようなサポートがあるのかそれ自体あまり把握していない為、分かりやすい案内。
- ・ 学習サポートの拡充
- ・ 子供が2歳の時に国立に引っ越してきたため、同じ月生まれが集まる月齢グループ等に参加したこともなく、近くに児童館もなかったため、同じくらいの年齢の子供を持つ地域の方との親子で交流する場を作ることができませんでした。地域の方と行政の方が情報交換をして、住まいの近くではこのような子育てサポートや子供イベント・施設があるなどの地域情報を引っ越してきた際に教えてほしいです。
- ・ 子供が学校での友人関係で悩み登校拒否になってしまった場合、サポートしてほしい。(今は特に問題なし)
- ・ 専門家に相談しやすい環境があると助かりそうです。
- ・ 相談しても聞いてくれるだけで結局何の助けもなかったり、現況より基準の数字だけで判断されたり、聞かないと教えてもらえない制度があって結局受けられなかったり正直期待はもてない 発達が心配な子に対してはもっと積極的に具体的にアプローチしてほしい つながるための予約がとりにくく結果として療育に繋がるまで時間かかりすぎた 就学相談も時間がかかりすぎだった 働き方と子どものサポートの関係で支援を諦める人が出ないよう、移動支援サポートやスクールバス(支援級)等を拡充してほしい
- ・ 相談窓口ほどではなく、気軽に話せたり寄ったり休息できる否定されないハードルの低い第三の場、子を見てもらいながら話せる場が、マタニティ～未就学児期間は特にほしかったです。産後は、訪問型の助産師産後ケア母乳ケアがすごく必要だが、保険外で来てもらうしかありませんでした。産後は保健師訪問だけでなく、親子ともに体調に影響する母乳ケアも訪問型産後ケアサービスとして支援してほしいです。産後の役所や手当関連や職場の手続きも多岐にわたり、産後のバタバタした日々と心身の大きな変化のなか、なかなか頭がついていかず大変だった覚えがあります。そういった制度面や生活面の安心のためにも訪問型ソーシャルワーカーとの寄り添いおしゃべり相談があると、ありがたいなと思います。その後の相談ハードルも下がると思います。 子の居場所だけでなく、親の立ち寄り場も欲しいと感じます。また市役所の中ではなく街なか気軽に聞ける雰囲気ミニ相談窓口が

あると嬉しいです。小学、中学となっても、先輩保護者の話が聞けたりリサイクルのお下がり制服やジャージが買えたり、そんな居場所づくりに市民を巻き込み助成するなどあるといいと思います。

- ・ 探しに行かないとなかなか情報が入らないので、都全体のイベントの集約されたサイト等のサポートが欲しい。
- ・ 地域資源の情報
- ・ 南部地域での、医療サポート体制を充実してほしい。病児保育が必要になっても、国立駅前のみで利用はなかなか大変。小児科も近場になく、発熱外来受診も厳しいことが多い。
- ・ 病児保育が充実してほしい。市内の病児保育は、当日朝の予約しかできず、また予約人数が多ければ断られる可能性もあるとの説明を受けて、使用したかったが結局一度も使用する事がなかった。(前日までに会社に出勤できるかの連絡をする必要がある為、当日予約のシステムは厳しい。)このように一度使えないと判断した場合、その後病児保育を使用することはない為、途中で病児保育のルールが変更になり使いやすくなったとしても、こちらにその情報が届く事がないと二度と使用する方がないと思う。
- ・ 病児保育の枠を広げてほしい、予約のしやすさがあるといい。子供の発達障害や高IQなどの専門家と話せる場がほしい。年の差がある兄弟がいつべんに遊べる場がほしい。たくさん種数のあるお惣菜屋さんがほしい。
- ・ 病児保育規定で、前日の医者診断書が必要と書いてあったと思うのですが、どうしても行けない時や土日はどうするのか細かいところが分からず、結局利用しておりません。せめて、医者診断書が5日間や3日間程有効であれば利用しやすくなると思いますので、是非実施して欲しいです。
- ・ 不登校のサポート
- ・ 勉強の遅れのサポート

○その他、全般について

- ・ 金銭的支援—現状も受けていてありがたい 子育て支援施設—矢川では不便、国立駅前に期待している。
- ・ 安全な街づくり 子育て給付金の充実
- ・ 経済的支援 しっかりとした教育の場の提供
- ・ 市内全ての公園に無料の駐車場がほしい。
- ・ 大学までの無償化 様々な申請手続きのデジタル化 北部地域の遊び場の拡充 リタイアした方たちのもつ才能を利用した教室、ワークショップ
- ・ 給食費の無償もしくは一部(現状より)援助 旧矢川児童館から現在の矢川プラスの中にある新児童館でもお世話になっております。矢川プラスになってから、さまざまな年代の人達とのふれあいも多く、社会性を育むとても良い経験をさせていただいています。しかし、旧児童館にはおそらく不登校で社会とは少し離れてすごしたい、家にも居場所がないといった子どもが子ども向けイベントの手伝いをしていたり、1人でんびりすごしていた光景が見られました。その子たちは矢川プラスには移動してきていないと思います。どこへ行ってしまったのか心配です。私はそれぞれの世代(乳児・幼児、子ども、成人、お年寄り)が入り混じった環境とそれぞれの世代で静かに(元気に)すごせる少し閉鎖的な空間の両方が必要に思います。しかも市の中心に1ヶ所とかではなく、図書館の分室くらいの規模で歩いていけるくらいの行動範囲内にあってほしいと思います。小さい国立市だからこそ、可能ではないかと思えます。
- ・ 給食費の免除(無償化)、医療費の小学6年生まで無償化(できれば中学3年まで)、いじめに対する信頼できる実態調査。
- ・ 簡易的な学習塾のような場。経済的な支援。他小学校へ通級の際のタクシー送迎利用の無償化。
- ・ 一時預かり施設を増やして欲しい 妊婦、乳幼児連れの保護者はくまのバスが半額で利用できるようにして欲しい。
- ・ 施設、設備の充実(今も充分充実していると思っております。)(金銭的)助成制度の拡充
- ・ ファミサポは料金が高すぎます。だんだん利用しなくなりました。→例えば2人目の出産にむけて妊婦健診時や産後の予防接種時は無料で利用できるクーポン券を母子手帳交付のときに渡すなど、子どもによりそう支援がほしいです。静岡県浜松市は数百円であずかってくれたりと利用しやすく(金銭的)いいなあと思います。→ぜひ参考になると思うので調べてみてほしい。学童について…夏休み、仕事の出勤時間変わらないのに8:30からの利用っておかしくないですか？学校の始業より遅いって、びっくりしました。(今年小1なので初めて学童にかかわせてます)しかも8:00~8:30に預ける場合は延長扱いでプラス料金がかかるので、1時間調整して出勤したり、時差勤務にしたりして8:30~あずけるようにしたりとかしましたが、職場でもうちだけでしたのでおどろかれました。何とかしてほしいです。
- ・ 海外ドラマのように、気軽にカウンセリングが受けられるような仕組みがあるとありがたいです。今度、他の市にいるカウンセラーの方にペアレントトレーニングをしていただく予定です。

「父親」が参加しやすい子育て講座、イベントや、ストレス発散できるような取組み。(父親にストレスがあると家庭に影響がでるため)フットサルなど交流できると更にうれしいです。

- ・ 楽しく学校の宿題をできる場所があったら嬉しいです。 小学校の先生が少なく、先生方の負担が心配で子ども達も影響をうけるのでどうにかしてほしいです。 小学校で毎年かかる教材費が負担です。 学校で使う水着等自由にしてほしい(新しく買い替えるのが負担です。)
- ・ 行政に期待しなくてもすむ人がふえるように…自立支援を、子ども時代(子育て時代)にしてもらえるとよいです。 中学のうわばき、体育着、制服…購入費が高くてびっくり。いろいろなしがらみはあるとは思いますが、指定品、廃止できたら…うれしいです。(標準品で OK になるとうれしい)もしくは、公立(市立)中学校に入る人は市から支給しちゃうとか。(妊娠中とか出産後にコストをかけるのではなくて、中学入学時に 10 万円分のプレゼントとか…)
- ・ 子どもが安全に通学できるように、道路の整備をしてほしい。 国立駅周辺ばかりに施設ができるので、利用しにくい。谷保駅周辺にもできると利用しやすい。
- ・ 子ども向けの講座を増やしてほしい。(ワークショップ、英語、プログラミング、マネーなど。) アスリートや著名人の講演会も増やしてほしい。 給食費や道具の無料化してほしい。
- ・ 子の学校の行き渋りに悩む親の相談サポート。同じ悩みを抱える保護者が集い、話せる場を行政が提供したり、自助グループなどがあれば紹介する仕組みがあると良い。
放課後キッズを週 2 回→3 回にふやしてほしい。室内開催(雨の日)の放課後キッズを再開してほしい。
- ・ 子供 2 人世帯に対する支援が薄い。 夏休み等で市で企画している子供のイベント(秋田のまたぎ体験等)もっと増やして参加できるようにしてほしい。毎回抽選で外れ、子供がかわいそうです。
- ・ 市長参加の職業体験はとても良かったのでその取組みをもっと増やして欲しいです。
矢川プラスのような子供がワクワクする体験の場、遊び場を増やし外(社会)に意識がむくような環境を整えて欲しいです。
- ・ 放課後キッズの回数を増やしてほしい。 学用品費も引き落としにして頂けるとありがたい。 小学生の発達グレーゾーンや、家でだけ困っている場合対応を別にするなどして欲しい。いつまでたっても順番がまわってこなくて困る(病院も行政も後まわしにされると行き場がない。)相談窓口はいろいろあるが、先に進まない。 子育て世帯の支援政策については、収入の上限をなくして欲しい。
- ・ 1 年近く他校へ通級する支援を受けていましたが、毎回送迎をしていました。タクシーの利用なども勧めてくれましたが低学年の子供を 1 人乗せるのに抵抗があり仕事のスケジュールをなんとか調整していました。
難しいのは承知ですが各学校ではばたき以外にも通級せずに支援を受けられるようになれば安心して利用もしやすくなると感じました。
- ・ PTA 活動をなくす または、サポートすることにより保護者の活動を減らしてほしい
- ・ コロナの影響か、遠足や社会科見学が殆どないことが気になる。他校では国会議事堂などの見学があるそうだが、子供が通ってるのは近場ばかりなので、色んな経験をさせてあげたいと思う。
- ・ どのような学習を学校でしているかの情報 子どもの遊び場
- ・ ノルマではなく任意で学校行事をサポートできる仕組みを作ってほしい。特に 1 年生のうちは学校での様子を見てみたい気持ちもあると思うので、校外学習など引率を引き受けたい保護者は一定数いると思う。
- ・ パート(週 2 回)をしていますが、学童に入る基準を満たしていないため利用できません。そのため長期休みの子どもの預け先に困ります。←困っている人が周りに多くいます。早めの対策をお願いします。北地区に矢川プラスのような施設があればいいのですが、低学年一人で北から矢川まで行く手段がありません。高学年でも遠いので自転車で行かせることに悩んでしまいます。夏場は猛暑日が多く外で遊ばせられなくなったため、矢川プラスはとても助かりました。子どもは子どもたちで楽しい時間が過すことができ、親はその時間を有効に使うことができます。(遠いので送迎が大変ですが)また放課後キッズについてですが、4 小地区は火曜日、金曜日の設定でコロナ禍前雨の日は屋内でということだったので、仕事をその曜日にあてていたのですが、雨の日は中止になってしまったため、子どもの預け先がなくなり、困っています。雨天中止に困っている親子さんはとても多いです。感染症が流行る時期は仕方がないのですが、落ち着いている時は換気をしながら屋内で見守っていただけると助かります。北地区から西児童館へ一人で行くのも交通量の多い場所や、歩道がなく車が行き交う狭い道を歩いて行かなければいけないので行くことができません。北地区(4 小近く)に屋内で遊べる場所をつくっていただきたいです。2025 年オープン駅の施設は未就学児対象のようなので小学生～学生さんが利用できる遊べて、勉強ができるスペースのある空間を北地区に希望します。
- ・ ほかごキッズを充実させてほしい 小学校付近の交通の見守り

- ・まず、矢川プラスができたことに親子とも大変感謝しております！！①駅の近くに、図書館の分室やあらゆる世代が静かに勉強できるスペースがあるとありがたいです。夏休みは特に早朝や夜間もあいているとありがたいです。(私は仕事などは何もしておりませんが、出かけた際、ちょっとしたすき間時間に、提出物を書いたり、考えたり、スケジュールを考えたり連絡したり、集中できる場所があるとありがたいです。)②子ども向けの(ふりがなつきで)「おさんぽマップ」があるとありがたいです。まず、住んでいる街について、親子でゆっくり街あるきしながら知りたいです。たとえば、くつをぬいでゆっくり過ごせる図書館。(昔、問い合わせで、下谷保分室と南分室と教えていただき、大変助かりました。)たとえば、子どもとお弁当が食べられる施設。(昔、北福祉館を通りかかった時、ここで食べてよいですよと言っていただき、助かりました。)など、休憩できる場所も記載されているとありがたいです。③大学通りの国立駅から谷保駅の間あたりに、休憩したり、だれでも使えるトイレがあるとありがたいと、子どもが小さい頃に思ったことがあります。④駅の近くに、世代問わず室内スポーツができる場所があるとありがたいです。(プールや子ども用プールもあるとありがたいです。)⑤私だけかもしれませんが、Wi-Fi などがあえてつながらないスペースがあるというのはいかがでしょうか。画面などがチカチカせず、落ちついた場所がほしいです。携帯など使うならこのエリアで、とか、1時間のうち、特定の5~10分だけ等のルールがあるなど。
- ・安心して子供が遊べる、集える場所(室内、公園、スポーツ)を充実して欲しい 近所に作って欲しい 無料か低額で勉強や興味のあることをサポートしてくれる寺子屋みたいな場所を作って欲しい 国立市は塾の競争が激しすぎる。国立市の子供たち全員の学力が向上し、将来夢を持った有望な子供たちが育つような仕組みにして欲しい。全てはお金みたいな教育格差が国立市は特に酷いように感じる。とても違和感がある 行政のサポートが充実し、教育格差を感じないような地域にして欲しい。国立市で育った子供たちは有望で素晴らしい、国立市で子育てしたいと思ってもらえるような子育て支援の先駆者となる市になって欲しい。少子化は待ったなしの重要問題
- ・一時預かりの制度の拡充 発達相談の拡充
- ・下校時や夕方、他地域で 16:30 頃チャイムが大きく鳴ったり、“地域全体で子どもを見守りましょう”というアナウンスが聞こえます。国立市は音が小さいチャイムが鳴る程度なので、地域の協力する気持ちが弱い気がします。下校時間を知らない大人もいるので…
- ・夏休み中は学童で業者の弁当を購入(配達)できるサービスがあり、大変ありがたいですが、今後、土曜学童への弁当の導入や、長期休暇中の給食の提供があれば助かります。(弁当を作るのが嫌なのではなく、小学生の場合自己調達が出来ないので、体調が悪くても疲れていても作らざるを得ず、負担が大きい)
- ・皆に平等にばらまく施策ではなく、本当に困っている人にきちんと届くサポートをしてほしいです。お金のばらまきでは、子どもたちに借金を背負わせるだけです。子どもたちを地域で見守るあたたかい環境作りのため、子育て世代以外をまきこめる様に、子どもたちとの交流の場を増やして頂きたいです。実際に話して、触れ合って、子どもたちに興味を持ってもらいたいです。子どもたちは未来の国立を背負う存在だと自覚して頂きたいです。
- ・学校帰りの通学路で見守り等のパトロールをして欲しいです。朝は見守りの方がいてくれて、通行止めにしてくれるなど、サポート体制がいいのですが、帰りはないので、子供達がふざけながら歩いたりして危なかったり、猛スピードで通学路を走る車や自転車やバイクがいたり、時々不審者がいることもあるので、帰り道の指導を行政の方をお願いしたいです。
- ・学童保育の充実(施設、保育の質) 気軽に相談や情報提供を受けられる場 子育てをしながら安心して働けるようなサポート
- ・急用の時も含めて子供を預ける施設を増やしてほしい。学校の体育館クーラー、暖房機を設置してほしい。和式トイレを洋式トイレに変えてほしい。各教室のクーラーを定期点検 or 事前点検し、必要な時に故障で使えないことがないようにしてほしい。
- ・共働き家庭には優しくない環境だと感じる。①小学校の中に学童保育を設置してほしい。②朝 7 時~20 時まで学童を開けてほしい。(出社時)③夏期、冬期休暇も給食を提供してほしい。親が働いている家庭は夏休み 1 カ月もいらぬ。④ランドセルを廃止してほしい。(重すぎる)リュックで登校可にしてほしい。⑤学童はただ遊ぶだけでなく、学びも提供してほしい。(希望者に有料でピアノや英会話などレッスンできる等)保育園はありました。
- ・個別療育 障害のある子に対して、現在何をすべきかがわからない
- ・公園でタバコを吸わないよう徹底してほしい。
- ・公園は不審者が出る可能性があるためこども 1 人では遊びに行かせられない場所になっています。公園での見守りをしてくれる大人がほしいです。
- ・国立市はシングルマザーには手厚いのにその他の事情(介護)のある家庭には冷たい。保育園にも入れず毎日泣いた。シングルマザーで保育園に入りたいがためにパートや偽装している人に腹が立つ。シングルといっても籍は

入れずパートナーとくらしている人も多い。真面目にやっている人がバカを見る。国立市に住んだことを後悔している。

- ・ 最近、将棋が好きなのですが私もくわしくなく、主に放課後キッズでお友だちと対戦しているようです。防災センターや公民館などで集まって、習いごととまでいかなくていいので、お年寄りの方たちから学べる機会があるといいなと思いました。また、働きたいという思いがありますが何かあった時、休まなければならないのは自分なので、どんな働き方をすればいいのか悩みます。また放課後、どのくらいまでなら子どもだけで留守番させて大丈夫なのか、発熱した時、休む時のサポートがほしいです。
- ・ 子育てに関して、行政が何かを助けてくれると、そもそも感じたことがないので今後も頼ろうという考えもありませんし、サポートが欲しいとも思いません。今の時点で何をしてくれているのか逆にお聞きしたいです。医療費くらいですか？
- ・ 子供がたのしく参加できるおまつりなどがあれば良い。駅前などにあそべる場が少ない。子育て支援金がほしい、子供にお金がかかりすぎている、3人いるので、税金が高すぎて困っている。
- ・ 子供と一緒にいても、子供と一緒にいても肩身が狭くない環境がほしいです。子供が騒いでも、泣いても、あたたかい視線で見守ってほしい。簡単な手続きで、必要な時に、短時間でも少し見てもらえるようなサービスがあると、助かると思います。それが、いつでもできるというサポートがあるとありがたいです。
- ・ 次男が赤ちゃんの時に、月齢会に参加していました。同じ月齢の子供がいるお母さんたちと知り合えて、とても心強かったです。働いていると平日の集まりは参加できないのと、コロナ中に引越したため周辺の方と挨拶程度でしかかかわっていないのが悩みです。自治会は平日の活動が多いと聞くので、気軽に参加できる地域のコミュニティがあると嬉しいです。
- ・ 自分の家族にとっては現状で十分と感じる
- ・ 若い世代(学生含む)への高齢出産の難しさ、リスクを性教育の一環で伝えて欲しい。私たちは2人目の妊娠出産を41歳から不妊治療ですすめましたが、高齢出産の難しさや事実を深く理解していなかったことに不妊治療を始めてから知りました。卵子の老化によるリスクなど。
- ・ 小学校での通常学級の学習支援員の増員、または特別支援学級の職員や支援員の増員、SSWの増員
- ・ 上記、問31で回答したようなこと(イベント、くにジョブに参加しました。とてもよかったです。いい経験になりました。)プレゼンやディベート、スピーチなど将来に役立つ場をいただきたいです。また、私学に通っているため、なかなか情報がないため、市報のイベントで知ることのみ手立てがありません。または、駅の掲示板。子どものイベントがもしも市内の公立小学校にしか配られていないものがありましたら、ぜひチラシなどいただけますと幸いです。2025年オープンの子育て支援施設でイベント情報を収集できればと期待しています。
- ・ 親せきも全くなく共働きでファミリーサポートの利用を試みたが、ルールがきびしくできなかった。子どものあそび場がなく、高齢者からのクレームも多い。そのため、経済的に痛手だが習い事という形で子どもが活動してもしかれない場所を確保してきた
- ・ 親も子も仲間が多い方が良くと思うので、少子化対策をしっかりとしてほしい。
- ・ 図書館の充実
- ・ 設問があまり適切でないと感じます。たとえば病気の時、在宅勤務しながら看病したい(企業の体制を整えることが必要)というものや、どこかに預けたくても手続きが大変すぎてあきらめる(事前相談が必要、登録が必要←平日に休みをとって行う必要あり)などは、どこにマルをつければいいでしょうか？ニーズがこぼれていると思います。また、学童に預けたくても問題職員が多く危険を感じてできない、習い事をさせたくても送迎の時間を確保できない、などの問題がひそんでおり、この設問ではそれが拾えていないと思います。
- ・ 谷保方面は交通の便が悪いので国立のバスなどを近所まで走らせてほしい。(市役所や矢川プラスまでなど)一時保育がいっぱい利用できない。もっと増やすか、近くの保育園でも預かってほしい。
- ・ 地域が子供を育てるのだという意識改革。自己責任の意識が、日本全体にしみついているように感じる。子育ても自己責任…出来なくもないが、そうして育った子は土地に縛られる事がないから、育った地から離れて行く。何も思い入れがなければ自由に出ていく。優秀な人材、力を持つ人材程海外に出ていき、故郷のような感覚がなければ帰って来ない。人材の空洞化が起きない様にするには、地域全体が温かく子供を見守り、子供の成長に関わる必要があると思う。お金の保障ばかりじゃなくコミュニケーションが安全に出来、関われる環境が望ましい。子供を育てるのに人にかかる迷惑にばかり神経をつかわなくてはならない今の日本の環境では、子供を持つ事はリスクの方が大きいと感じる若い人は少なくないはず…。
- ・ 地域の安全 子ども1人でも移動できる環境←子3人いると、それぞれの送迎だけでも身体が足りないと思うことが

多い。所得制限のない経済的支援

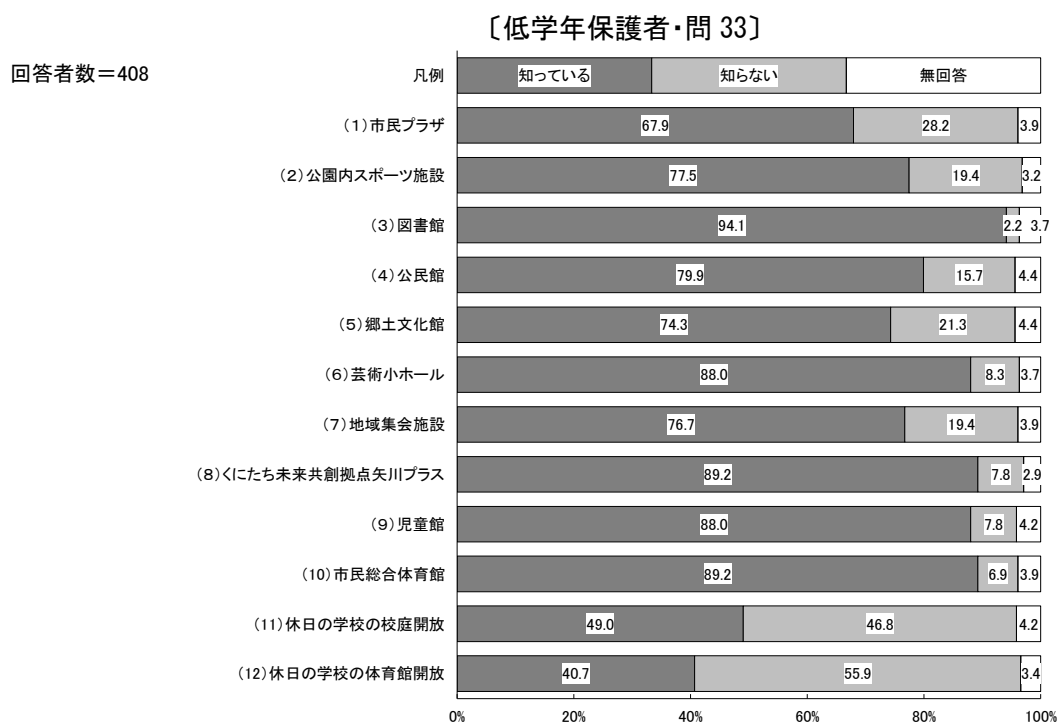
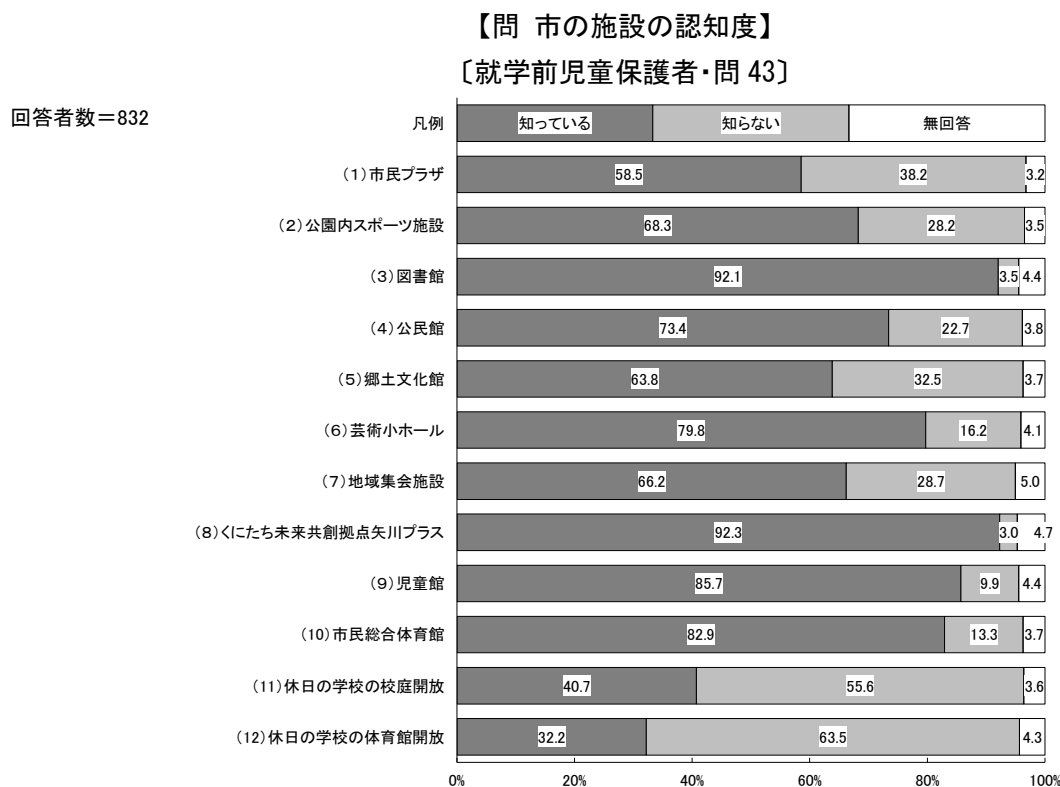
- ・ 地域の子どものため(親子のため)に自主的に活動し、子育てを楽しくするようなサークルや活動に経済的援助をする仕組み。
- ・ 通学路の安全性向上(ガードレールや街灯の整備)
- ・ 通学路の見守り、不審者確認
- ・ 登下校時の見守り。5小はほとんどないのでそれであれば、保護者が当番制で行うや、有料サービスの導入でも良いと思う。5小は学童までの移動も子供のみで心配です。
- ・ 病気の時こそ、親が看病できるような風土を作ってほしい。または、ファミサポなど親しい人が病児もみてくれると良い(受診は付きそえないなどの条件つきでよいので)。病児の場所が遠い。地区の格差をなくしてほしい。
- ・ 不審者が出ないようにしてほしい。三小通りが危なすぎるのでどうにかしてほしい。高齢ドライバーを何とかしてほしい。子供の人数に応じた経済的支援。教師の負担軽減。
- ・ 勉強内容の変化。私→長男・次男→長女からの勉強内容等が全く進化してないかつまでも古い。時代と共に教材の内容がもっと変わってもいいのに…いつまでこぎつねゴンをやるのか…いつまで大地讃頌を歌い続けるのかなぞでしかないです！30年以上、それ以上素晴らしい作品がでてないのでしょうか…教育内容の見直しは必要だと思います。
- ・ 幼稚園時代や現在の小学校でも、たびたび地域に対しての差別や侮蔑を経験した。北に住んでいることやURに住んでいることを悪し様に悪く言われることが、親達の間・相手の子供から行われた。地域外の方と市の中でお会いする機会を経験しており、こうしたことは子供たちには受け継いで行ってほしくないと感じている。インクルーシブ教育については、多様性の一端として障害を持った方がわかりやすく取り上げられるが 身近過ぎる場所で行われる差別的な扱いも取り上げて欲しい。
- ・ ひとり親だと希望する賃貸が借りられず、家が狭いのである程度広さのある家を安く借りられたらとても嬉しいです。
- ・ ひとり親なので時々父のような関わり方が必要 男の子なのでキャッチボール、サッカーなど。
- ・ ひとり親家庭に関する諸制度を、市役所へ訪問しなくてもわかるようにしてほしい (計2件)
- ・ 特に思いつきません。 / 特になし (計4件)

5 市の施設の認知度・利用状況・ご意見

(1) 市の施設の認知度

市の施設の認知度は、就学前児童保護者では、「(8)くにたち未来共創拠点矢川プラス」の割合が 92.3%と最も高く、次いで「(3)図書館(中央図書館・南市民プラザ分室等)」が 92.1%、「(9)児童館(中央児童館・西児童館・矢川児童館)」が 85.7%となっています。

低学年保護者では、「(3)図書館(中央図書館・南市民プラザ分室等)」の割合が 94.1%と最も高く、次いで「(8)くにたち未来共創拠点矢川プラス」と「(10)市民総合体育館」が 89.2%となっています。



(2) 市の施設の利用状況

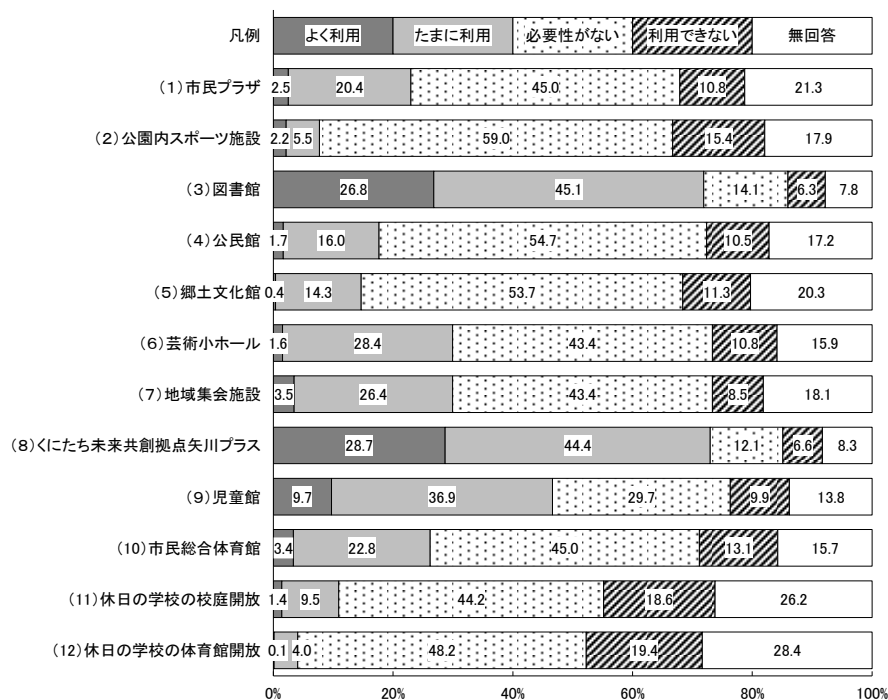
市の施設の利用状況について「よく利用する」と「たまに利用する」を合わせた『利用する』は、就学前児童保護者では、「(8)くにたち未来共創拠点矢川プラス」の割合が73.1%と最も高く、次いで「(3)図書館(中央図書館・南市民プラザ分室等)」が71.9%、「(9)児童館(中央児童館・西児童館・矢川児童館)」が46.6%となっています。

低学年保護者では、「(3)図書館(中央図書館・南市民プラザ分室等)」の割合が81.4%と最も高く、次いで「(8)くにたち未来共創拠点矢川プラス」が61.8%、「(9)児童館(中央児童館・西児童館・矢川児童館)」が55.4%となっています。

【問 市の施設の利用状況】

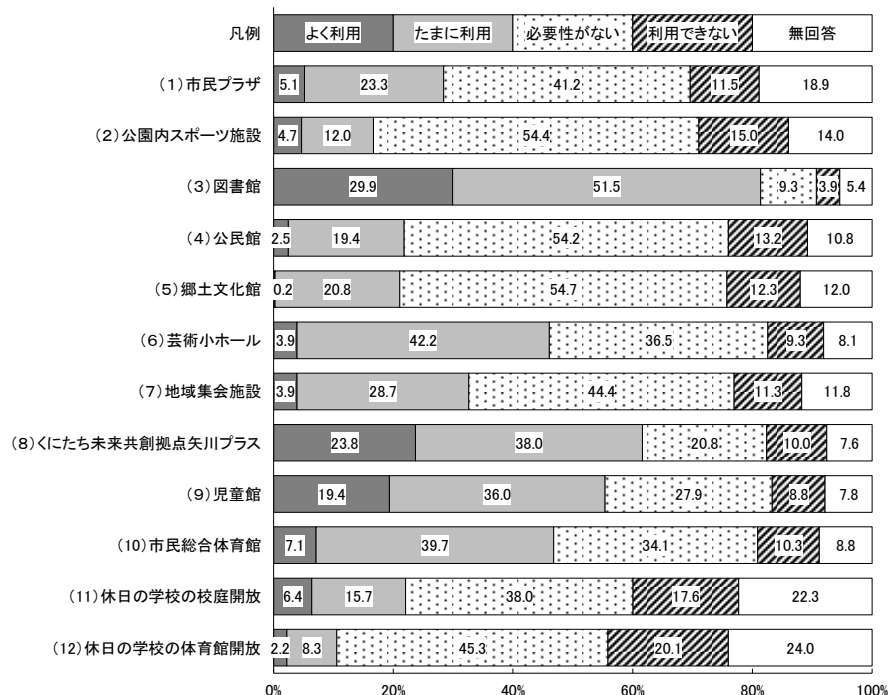
〔就学前児童保護者・問 43〕

回答者数=832



〔低学年保護者・問 33〕

回答者数=408



(3) 市の施設に対するご意見

市の施設に対するご意見は、就学前児童保護者では、「(1) 市民プラザ」に対して「何をしているところか知らない」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「(12) 休日の学校の体育館開放」に対して「利用手続きがわからない」が 24.2%、「(2) 公園内スポーツ施設」に対して「利用手続きがわからない」など、施設の改善についてよりも『知らない・わからない』のご意見が多かったです。

【問 市の施設に対するご意見】

〔就学前児童保護者・問 43〕

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	40.3%
どこにあるか知らない	22.1%
利用手続きがわからない	10.0%
バス等を整備してほしい	1.4%
駐車場が欲しい	4.6%
ベビーカーの置き場が欲しい	1.0%
イベント・遊具・設備などが合わない	5.6%
時間があわない	4.7%
無回答	37.7%

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	6.6%
どこにあるか知らない	20.4%
利用手続きがわからない	23.3%
バス等を整備してほしい	1.3%
駐車場が欲しい	6.4%
ベビーカーの置き場が欲しい	0.2%
イベント・遊具・設備などが合わない	9.5%
時間があわない	5.0%
無回答	42.7%

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	1.2%
どこにあるか知らない	4.0%
利用手続きがわからない	3.1%
バス等を整備してほしい	4.2%
駐車場が欲しい	16.3%
ベビーカーの置き場が欲しい	3.0%
イベント・遊具・設備などが合わない	5.4%
時間があわない	7.7%
無回答	63.3%

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	20.3%
どこにあるか知らない	14.3%
利用手続きがわからない	6.5%
バス等を整備してほしい	0.8%
駐車場が欲しい	5.6%
ベビーカーの置き場が欲しい	1.3%
イベント・遊具・設備などが合わない	5.9%
時間があわない	4.3%
無回答	54.7%

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	21.3%
どこにあるか知らない	16.9%
利用手続きがわからない	6.7%
バス等を整備してほしい	2.2%
駐車場が欲しい	3.6%
ベビーカーの置き場が欲しい	0.5%
イベント・遊具・設備などが合わない	6.4%
時間があわない	3.6%
無回答	52.9%

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	14.5%
どこにあるか知らない	7.7%
利用手続きがわからない	7.6%
バス等を整備してほしい	0.6%
駐車場が欲しい	5.8%
ベビーカーの置き場が欲しい	1.1%
イベント・遊具・設備などが合わない	9.3%
時間があわない	4.2%
無回答	60.5%

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	18.6%
どこにあるか知らない	11.7%
利用手続きがわからない	6.1%
バス等を整備してほしい	0.8%
駐車場が欲しい	5.0%
ベビーカーの置き場が欲しい	1.8%
イベント・遊具・設備などが合わない	4.3%
時間があわない	3.6%
無回答	60.3%

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	2.8%
どこにあるか知らない	2.2%
利用手続きがわからない	2.4%
バス等を整備してほしい	9.4%
駐車場が欲しい	21.8%
ベビーカーの置き場が欲しい	1.0%
イベント・遊具・設備などが合わない	2.9%
時間があわない	4.8%
無回答	61.2%

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	4.1%
どこにあるか知らない	5.8%
利用手続きがわからない	6.1%
バス等を整備してほしい	3.7%
駐車場が欲しい	9.6%
ベビーカーの置き場が欲しい	1.0%
イベント・遊具・設備などが合わない	5.8%
時間があわない	7.0%
無回答	67.2%

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	6.3%
どこにあるか知らない	6.7%
利用手続きがわからない	10.5%
バス等を整備してほしい	1.9%
駐車場が欲しい	5.0%
ベビーカーの置き場が欲しい	0.6%
イベント・遊具・設備などが合わない	7.3%
時間があわない	4.9%
無回答	65.0%

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	9.6%
どこにあるか知らない	7.3%
利用手続きがわからない	23.2%
バス等を整備してほしい	0.7%
駐車場が欲しい	3.6%
ベビーカーの置き場が欲しい	0.6%
イベント・遊具・設備などが合わない	3.7%
時間があわない	5.6%
無回答	55.2%

回答者数=832	割合 (%)
何をしているところか知らない	10.0%
どこにあるか知らない	7.3%
利用手続きがわからない	24.2%
バス等を整備してほしい	0.6%
駐車場が欲しい	3.5%
ベビーカーの置き場が欲しい	0.6%
イベント・遊具・設備などが合わない	3.8%
時間があわない	5.4%
無回答	54.2%

低学年保護者では、「(1)市民プラザ」に対して「何をしているところか知らない」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「(12)休日の学校の体育館開放」に対して「利用手続きがわからない」が 30.1%、「(11)休日の学校の校庭開放」に対して「利用手続きがわからない」など、『知らない・わからない』のご意見が多かったです。

〔低学年保護者・問 33〕

(1)市民プラザ ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	34.3%	
どこにあるか知らない	18.1%	
利用手続きがわからない	9.1%	
バス等を整備してほしい	1.5%	
駐車場が欲しい	4.9%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.5%	
イベント・遊具・設備などが合わない	7.1%	
時間があわない	6.1%	
無回答	40.2%	

(2)公園内スポーツ施設※(テニスコート・野球場・サッカー場)ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	3.9%	
どこにあるか知らない	12.0%	
利用手続きがわからない	24.0%	
バス等を整備してほしい	1.2%	
駐車場が欲しい	6.6%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.5%	
イベント・遊具・設備などが合わない	8.6%	
時間があわない	7.8%	
無回答	48.8%	

(3)図書館(中央図書館・南市民プラザ分室等)ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	1.0%	
どこにあるか知らない	2.7%	
利用手続きがわからない	1.5%	
バス等を整備してほしい	2.5%	
駐車場が欲しい	19.4%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.2%	
イベント・遊具・設備などが合わない	3.9%	
時間があわない	5.6%	
無回答	68.4%	

(4)公民館 ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	16.2%	
どこにあるか知らない	9.8%	
利用手続きがわからない	3.9%	
バス等を整備してほしい	0.5%	
駐車場が欲しい	5.6%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.2%	
イベント・遊具・設備などが合わない	5.4%	
時間があわない	4.9%	
無回答	62.3%	

(5)郷土文化館 ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	14.5%	
どこにあるか知らない	8.8%	
利用手続きがわからない	3.2%	
バス等を整備してほしい	2.5%	
駐車場が欲しい	3.2%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.2%	
イベント・遊具・設備などが合わない	4.9%	
時間があわない	4.2%	
無回答	64.7%	

(6)芸術小ホール ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	6.4%	
どこにあるか知らない	3.4%	
利用手続きがわからない	6.4%	
バス等を整備してほしい	1.0%	
駐車場が欲しい	5.1%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.5%	
イベント・遊具・設備などが合わない	5.6%	
時間があわない	5.6%	
無回答	69.9%	

(7)地域集会所(集会所・防災センター等)ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	11.3%	
どこにあるか知らない	10.8%	
利用手続きがわからない	5.4%	
バス等を整備してほしい	0.2%	
駐車場が欲しい	5.4%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.2%	
イベント・遊具・設備などが合わない	4.9%	
時間があわない	3.4%	
無回答	66.9%	

(8)くにたち未来共創拠点矢川プラス ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	4.9%	
どこにあるか知らない	2.9%	
利用手続きがわからない	3.2%	
バス等を整備してほしい	5.4%	
駐車場が欲しい	20.1%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.2%	
イベント・遊具・設備などが合わない	2.2%	
時間があわない	5.1%	
無回答	62.7%	

(9)児童館(中央児童館・西児童館・矢川児童館)ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	2.2%	
どこにあるか知らない	4.4%	
利用手続きがわからない	2.9%	
バス等を整備してほしい	2.5%	
駐車場が欲しい	11.3%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.5%	
イベント・遊具・設備などが合わない	4.2%	
時間があわない	6.9%	
無回答	69.6%	

(10)市民総合体育館 ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	2.0%	
どこにあるか知らない	3.4%	
利用手続きがわからない	7.8%	
バス等を整備してほしい	2.0%	
駐車場が欲しい	5.1%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.2%	
イベント・遊具・設備などが合わない	5.4%	
時間があわない	7.8%	
無回答	70.3%	

(11)休日の学校の校庭開放 ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	5.4%	
どこにあるか知らない	4.4%	
利用手続きがわからない	24.5%	
バス等を整備してほしい	0.5%	
駐車場が欲しい	2.7%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.2%	
イベント・遊具・設備などが合わない	1.2%	
時間があわない	7.8%	
無回答	58.8%	

(12)休日の学校の体育館開放 ご意見		
回答者数=408	割合(%)	
何をしているところか知らない	15.9%	
どこにあるか知らない	8.1%	
利用手続きがわからない	30.1%	
バス等を整備してほしい	1.0%	
駐車場が欲しい	3.9%	
ペビーカーの置き場が欲しい	0.2%	
イベント・遊具・設備などが合わない	3.7%	
時間があわない	10.3%	
無回答	47.1%	

6 建設予定の「国立駅南口の子ども向け施設」までの移動手段の希望

建設予定の「国立駅南口の子ども向け施設」までの移動手段の希望は、就学前児童保護者では、「駐輪スペースの確保」の割合が 69.4%と最も高く、次いで「バス乗車賃の低下・無料化」が 34.3%、「駐車場の確保」が 33.1%となっています。

低学年保護者では、「駐輪スペースの確保」の割合が 71.6%と最も高く、次いで「駐車場の確保」が 33.1%、「バス乗車賃の低下・無料化」が 30.1%となっています。

【問 建設予定の「国立駅南口の子ども向け施設」までの移動手段の希望】

〔就学前児童保護者・問 44〕

回答者数=832	割合(%)
バス路線の整備	24.0%
バス乗車賃の低下・無料化	34.3%
駐輪スペースの確保	69.4%
駐車場の確保	33.1%
その他	4.1%
特に整備は望まない	8.2%
無回答	4.6%

〔低学年保護者・問 34〕

回答者数=408	割合(%)
バス路線の整備	17.4%
バス乗車賃の低下・無料化	30.1%
駐輪スペースの確保	71.6%
駐車場の確保	33.1%
その他	4.4%
特に整備は望まない	9.3%
無回答	4.4%

7 市の施設や公園の利用について

【問 市の施設や公園の利用について】

〔就学前児童保護者・問 45〕

○公園・遊び場について

- ・ 各年齢向けに施設があるのでバランスよいと思います。雨の日に小さな子どもが運動ができる施設があるとうれしいです。
- ・ 矢川プラスは最高です。良い居場所 草サッカーをできる場所が欲しい。ボールが扱える場所が欲しい。
- ・ 公園がそもそも少ないので増やして欲しい。子供が自由に遊べる場所が少なく、遊びに行かせるのだけでも道中が長くて心配。
- ・ 子育て中に利用できる施設が公園も含めて南側に集中しており、市内の中地域付近に住んでいると子どもを気軽に連れて行ける場所が遠いのでとても不便。また、安心してボール遊びができる広場や公園がないので、親子でキャッチボールできる場所がほしい。
- ・ 国立駅近くに公園を増やしてほしい
- ・ 東 1 丁目に住んでいると近くに公園が無く、公園に行くのにバスに乗って行かなければならず残念です。駅前に施設がオープンするのは本当待ち遠しいです。また、今後増える可能性はあるのかもですが、未就学児が遊べる遊具がもう少しあると嬉しいです。公園隣接にオムツ交換台があると助かる。 吉祥寺の高架下遊具みたいに木を使った遊具があっても良いかなと思います。
- ・ 東地域に広い公園が欲しいです
- ・ 国立市北 1 丁目は大きな公園が少ない。昔はたくさんあったのに。市の施設や大きい公園などは、バスを使わないといけない距離が多いのでなかなか行けない。
- ・ 東 2 丁目に住んでいるが、近くにすぐに行ける公園がほとんどない。利用できそうな空き地の問題もあるが、子供や大人の居場所として整備してほしい。
- ・ 東地域に公園と、循環バスが欲しい。
- ・ 東の地区に安全で気軽に遊べる公園が少なく、困っています。
- ・ 駅近くに公園が欲しい ジャングルジム、鉄棒、砂場、のぼり棒、ブランコなどの遊具がある公園希望
- ・ 国立市東周辺の公園が少なすぎて、子どもを外で遊ばせる機会が少なくなっている。早めに公園を作って

ほしい！

- ・ 遊具のある公園が徒歩圏内だと少し遠い距離にあるので、公園がもう少し欲しい。
- ・ 駅まわり(特に北口)に公園が欲しい 子供がボール等で遊べる広場が欲しい
- ・ 自転車の練習ができるような芝のある公園が近くにほしいです
- ・ 遊具の少ない 自然が多い場所を残してほしい
- ・ 駅まわり(特に北口)に遊具などがある公園が欲しい。 ・子どもがボール等で遊べる広場が欲しい。
- ・ 自転車やストライダーなどを安心して利用できる練習場がほしい
- ・ 前述のとおり、国立駅に公園が少ないので嬉しいです。
- ・ サッカーゴールを置いて欲しい サッカーができる公園をふやして欲しい
- ・ 国立駅の近くに公園があればいいなと思います。(国分寺駅のリオン広場がとても便利なので) 北第一公園やちびっこ広場 49 号でよく遊びますが、遊具が新しくなりいつも楽しく過ごしています。
- ・ ボールの使える公園が少ない 使える公園を増やしてほしい
- ・ 公園の数が少なく、トイレ等の設備に難がある(汚い、使用できないなど)
- ・ 緑が多く、道路が整備されているきれいな環境を気にしているのですが、公園が少ないし、公園の遊具も少なく、遊べるものがあまりないです。2 才の幼児ですが、週末に公園に行くと子どもより大きい子がたくさんいて、遊べなかつたりします。矢川プラスもとても良いですが、混んでいてなかなか遊べないです…少し遊ぶ場所が少ないのが残念です。
- ・ 東の周りに子供の施設がなくて不便。府中市のように大きくて遊具の沢山ある公園が欲しい。国立市役所や矢川の方面に子供の施設があっても、遠い為、小さい子供達を連れて遊びに行きたいと思えない。国立駅前など利便性の高い場所に施設が欲しい。
- ・ 球技ができる公園がもっとあると良い。
- ・ もう少し小さい子があそべる公園がほしい。ブランコを 1 才でもすわれるようなものがほしい。
- ・ 芝生の公園があるといいなと思います。野球場以外でキャッチボール等できる公園もあると良いです。
- ・ ボールプールなども併設してほしい。外の公園に関しては特になし。
- ・ ブランコがやりたいならこの公園、すべり台やりたいから別の公園に行く、など総合的に利用しやすい公園が少ない。又、自転車やキックボード、ボールあそびができるような公園が近くにない。近くの公園にトイレがない。
- ・ 国立駅周辺には公園が少ないです。あっても徒歩では少し遠い場所にあります。又、トイレが汚いのできれいにしたいだけとうれしいです。水遊びができる公園が市内で 3 ヶ所しかないのも増やしてほしいです。
- ・ 自由にボール遊びやバットをふって、子どもたちが気軽に公園で遊べるようにしてほしい。家もマンションで広くないので、子どもたちがのびのびと走り回れるような、体力も向上できる室内子育て体育館のような広場がほしいです。
- ・ 徒歩で行ける公園が近くにない。他の公園行く場合のバスや駐車場の利用を可能にしてほしい。子供が自転車に乗れるようになるまでは全く公園へ行けなかった。空中公園はママチャリでは行けない(重くて、子供から目をはなせない)
- ・ 公園をふやしてほしい。
- ・ 東地区は公園が無さすぎて困ります。保育施設も増えているので新規で希望したい。
- ・ 中地域は公園が少ないので子どもを安全に遊ばせる場所が欲しい。 また中ふれあい公園にトイレを設置してほしい
- ・ 中、東あたりに 1 才~3 才くらいの小さな子が外遊びしやすい場所があると助かる。
- ・ ボールあそびや自転車あそびが制限されている所が多い。このようなあそびを子どもが安全にできる公園がほしい。
- ・ 雨の日もあそべる場
- ・ 公園の場所が少ない。 子供ののびのびと遊ぶ場所が少ない。(国立駅周辺)
- ・ 国立市泉 5 丁目に公園を増やして欲しい。 浄山しかない。
- ・ 公園は比較的充実していると思いますが、五小学区にマンション等増え、第三・四公園は混んでいることも多いので今後心配です 新たな公園や老朽化した遊具の整備を望みます
- ・ ボールがつかえる公園がほしい
- ・ もっとボールを使える公園を増やして欲しい。年寄りがラジオ体操や活動で使っていることに対して文句を若い人は言わないのに、年寄り特に(おじいさん)は子どもや私達へ言うのはやめて欲しい。場合によっては、一緒に使うのではなく、年齢で利用時間を区切ってみても良いと思う。

- ・ 谷保 6 丁目に住んでいますが、近くに遊具がある公園がありません。新しく畑や田んぼが住宅地になっていますが、一緒に公園や緑地を設けていただけると嬉しいです。
- ・ 小さくても子どもが遊べる遊具もしくは居場所の提供を。泉地区は室内で遊べる場所少なく、線路と甲州街道こえていく道のりがネックになっています、小学校低学年までは子どもだけではなかなか行きにくい。
- ・ 今以上の大きな公園がほしい。置いてある遊具がしょぼい。昭和記念公園レベルの遊具、それ以上の種類の遊具が市内にあると嬉しい。
- ・ 乳幼児向けの施設は以前に比べ充実してきていると思うが、小学生向けの施設があまりないと感じる。ネット遊具や、小学生向けのプール等があると良い。甲府市のフルーツ公園が理想。
- ・ 公園が少ない。アスレチックなど、大型遊具が欲しい。(大きい公園)・雨天時行ける場所がない。(市役所とかにも作ってほしい)
- ・ 公園が少ない、遊具が大きいものがあまりない
- ・ ボール遊びができる場所を確保してほしい。小学校高学年～中学生が遊ぶ場所(球技など)できる所と幼児を遊ばせる場所をそれぞれ確保してほしい。せまい公園で上記が混在している状況で安心して幼児を遊ばせることができない
- ・ 国立駅近くに施設ができるのはありがたいです。外で遊べる公園ができたらとてもうれしく思います。今住んでいる地域には公園等がなく、休日にふらっと遊びに行ける場所がなく、持て余してしまうことがあります。
- ・ 問 22 にも書かせていただきましたが、国立駅周辺に公園等の子どもを安心して遊ばせられる場所がなく、運動させるために一橋大学へ行っています。同じように子連れの家族がいて、安心して遊ばせられますが、大学なので遊具はなく、ボールも持ち込んでいいのか利用ルールがよくわかっていません。徒歩で行ける所に、走り回れる公園がほしいです。
- ・ 年の差のある兄弟でも遊べる施設が欲しい
- ・ 気軽に行けて子どもが安全に過ごせる場所がまだ少ないと思います。
- ・ 問 42 でも同様の回答をしたが、子どもが遊べる場所が少なく一極集中するなめ混雑している。・利用者年齢が幅広く、0～12 歳が同じ場所で遊ぶと、小学生が本気でボール遊びをすると乳幼児に当たりそうで怖い。ボール遊びができる専用の場があると良いと思う。
- ・ ハンデのある子が安心して遊べる屋内施設がほしい。短時間でもいいので。昨年迄住んでいた練馬区には「のびのびひろば」という枠が各児童館に設けられていた。設定遊び等(PT/OT 等)もあり、月 1 回だけでも参加したり有意義な利用ができた。
- ・ 昼間に公園でトランペットやリコーダーを吹いている人がいるが、子供たちにとってうるさくて遊べなくなっている。
- ・ 第六公園や矢川上公園をよく利用しますが、飲食のゴミが残されていることが多く、乳児が拾ってしまったり、カラスが集まったりしています。清掃してくださる方がいることも承知していますが、そもそもゴミを残さないマナー向上につながる施策がないものかなと思っています。
- ・ 公園は全ての人に開放される場ではありますが、反面、マナー意識が低い利用者によるゴミのポイ捨てや喫煙といった課題もあると思います。
- ・ 南プラザ横の公園で遊んでいる時に「ここはきちんと管理されてないから、動物のフンが砂場にあって…」と近隣の方がおしえてくれた。よく使われていない所でもしっかりと管理をおねがいします。
- ・ 以前住んでいた区では公園がとてもキレイだった。(ゴミがない)国立へ来てゴミや砂場にネットがないことなどおどろいた。もっと整備、管理してほしい。
- ・ 草がのびすぎてる時がある。小さい子が遊んでいるのに、小学生達が、どくせんしてしまうところ。○小さい子がいるのに、小学生達が、あぶないと思う、遊び方をしている。
- ・ 草刈などをマメにして欲しい。
- ・ 夏にゴリラ公園の噴水が出る石山にのぼって遊ぶ小学生が危険すぎる。小さい子にぶつかってもおかまいなしなので、もっと注意してほしい。危なくて遊ばせられない。
- ・ 公園:砂場に犬のフンが落ちている事があります。定期的な整備があると嬉しいです。
- ・ 公園の遊具の安全点検は定期的に行なってほしい
- ・ 第 3 公園の噴水に子どもがのぼって危険。
- ・ ゴリラ(第 4 公園)の噴水の岩山が危険なので撤去する等、対策してほしい。
- ・ 公園の子どもにとっての危険か所など、定期的に見直し、修ぜんや改ぜんをしてほしい。その報告を広報などでしてほしい。

- ・ 公園での喫煙を禁止してほしい。トイレを開放的でせいけつで子供1人でも安心して使えるようにしてほしい。
- ・ 夕方になると各公園でタバコ(火がつくタイプ)をすう方がいて、子ども目線でとても怖く感じています。
- ・ 公園でタバコ吸ってる人がいるのが気になる
- ・ 子どもが遊んでいる時間は禁煙にして欲しい
- ・ ベンチでタバコを吸っている人が迷惑です。ゴリラ公園はわざわざ駐輪場を半分もつぶしましたが、いつもタバコを吸っている人がいてすごく困っています。ポイ捨てする老人、おじさん多すぎます。子どもの横でもプカプカ…大迷惑です。公園内禁煙にして下さい。
- ・ 公園にタバコのすいがらやゴミが捨てられているのが気になる 矢川プラスの存在が育児をするうえで助かっている。
- ・ 公園に食べ物などのゴミ、タバコのゴミが落ちていて整備してほしい。トイレをきれいにしてほしい。
- ・ イスや、テーブルがある公園だと、ゴミがさんらんしている。タバコのすいがらや、お酒の空カンが多い時がある。
- ・ 矢川公園周辺の道路にゴミが散乱している。公園内のベンチにもタバコや空き缶が置いてあり子どもが危険。
- ・ 公園等で喫煙する方、吸いガラを捨てていく、自己中のな方がいる。子供も遊ぶ場でもあるため、国立全体公共の場は禁煙条例を作るべきかと思えます。
- ・ 公園の遊具を充実させてほしい。ボンコ園に遊具を増やしてほしい。
- ・ 遊具を増やして欲しい。昼食等を食べれるような場所か芝生が欲しい。
- ・ 滑り台、ブランコなど似たような遊具が多い。木製のアスレチックやボルダリングなど、思考を育む遊具が欲しい。
- ・ 最近では整備された施設や公園が増えてきている。現在市役所の隣の公園が改装中ですが、立川のららぽーとや府中にあるようなきれいで使いやすい公園(できれば人工芝だと色々な年齢が遊べて、汚れず、怪我も少ないのでありがたい)が増えてくれると嬉しい。また、雨の日でも遊べる施設が欲しいです。
- ・ 公園の遊具に老朽化がみられるため、修繕が必要であると思う。
- ・ 国立駅周辺に遊具のある公園がなく、大きくなった子供(4歳以上程度)の遊べる場所がない
- ・ 隣接している国分寺市、府中市、日野市、立川市と比較して公園の遊具に魅力を感じない。施設に古さを感じる。
- ・ 国立市は公園も多く、大変子育てしやすいと感じております。公園の整備も定期的に行われていてありがたいです。
- ・ 公園の砂場を定期的に綺麗にしてほしい。猫などが入らないような工夫をして欲しい。
- ・ キレイなベンチが少ない
- ・ 市内に公園が多いことは嬉しいが、トイレが古くあまり子連れで利用したいと思えないのが残念。
- ・ 公園の壊れている遊具を直して欲しい。(特に木製のものなど) 子どもがひび割れた部分に刺さって怪我をしそうでこわい
- ・ 公園の整備をどのくらいの頻度で行なっているか(そもそも整備・点検を行なっているか)を知りたい。
- ・ 富士見台第一公園が家から近いのでよく利用するが、遊具の老朽化が気になる。汽車の遊具は木の突起がむき出しになっている箇所もあり危険だと感じる。新しくしてほしい。芝の公園がほしい。こけても怪我をしにくいため。
- ・ 城山公園プレーパークにあるいは常設ですべり台、砂場などの小さい子供むけの遊具があればと思います。兄弟で連れていくと、下の子がたいくつしがち…。下の子が上記2つをほしがっています。
- ・ 東側のボン公園をじゃりにしてほしい
- ・ 公園に日除けがある場所があったらいいと思いました。
- ・ 公園の遊具が老きゆう化によって使えなくなり減っている印象がある。減らすなら、新しい遊具も同時に増やしてほしい。
- ・ 遊具を増やしてほしい
- ・ 子どもが遊べる遊具を増やしてほしい
- ・ 小学生以上の子供が遊べる大きな遊具、アスレチックのようなアクティブな遊具がほしい。
- ・ 同じ時期にいくつも整備をしないでほしい。ブランコが使用禁止になっている所が多いので、早急に直してほしい。
- ・ 公園の地面を、土や砂ではなく「ゴム舗装」にしてほしい。(又は、ウッドチップなど) 遊具が汚ないので(土ほこり等で)、海外によくあるような小さな穴が開いている遊具だと、水がたまらず比較的キレイな状態が続くようです。
- ・ 芝のある公園があると良い。
- ・ 西児童公園のブランコと水道の修繕はいつおわりますか？
- ・ 遊具施設について、大型のものを設置してほしい(複合のジャングルジムや滑り台など、府中市は充実しているので参考にしてほしい)
- ・ 転倒防止に強化したブランコが欲しい・遊具の土台はクッション性のあるものが望ましい・手洗い場(特に屋外に)ハンドソープを設置してほしい・谷保第4公園の岩場(夏に噴水になる所)がこわいので、貼り紙の注意喚起だけ

でなく、撤去する等の検討をしてほしい。

- ・ゴリラ公園の噴水の石は、登ってほしいといわんばかりの積み方で、周りの注意の看板は意味がありません。登ってはダメだと子供に言っても、登っている子もいて“何でダメなの？何であのお兄ちゃんは登っているの？”と聞かれます。なくすか、登ることが出来ないようにしてほしいです。いつか事故が起こると思います。
- ・安全な遊具。
- ・第1公園(きしゃぼっぽ)のすべり台を下りた足元が、段差ができていて子供がつかずくのであぶないので、直してほしい。
- ・公園の遊具が調整中になっている期間が長い
- ・古い遊具よりも新しい遊具の方が嬉しいし、安心感がある。
- ・第三公園のグラウンドを整備してほしい。草がまばらに生えっぱなしで球技スポーツに不向き。
- ・谷保第四公園や第三公園など、規模の大きめの公園には駐車場(無料の)があればすごくうれしい。
- ・矢川上公園にあるシーソーの遊具は、危ないと感じた。以前、子どもとシーソーで遊んでいた時に、いきおいつきすぎて持ち手にお腹をぶつけてしまった。子ども同士で見守りなく遊ぶ時など、いきおいついて怪我しないかが少し不安です。
- ・矢川周辺に公園は多いが、ベンチ等や、日陰になる日よけがない。夏場でも外遊びがしやすく、休憩もできる公園になれば、より、活性化するのではないかと考える。
- ・子どもが今より小さい時に、公園にフェンスがあればいいのに…と思う事があった。双子なので、一人を見ている時に一人が道路に飛び出しそうな事があったので。
- ・水道の設置、砂場がある所はあったほうがいい。
- ・海外でよく使用されている、背もたれと股下ガードが付いたブランコを導入してほしいです。
- ・小さな公園の遊具の古さや整備がととのっていない・保健センターの老朽化
- ・中央図書館の近くの公園が遊具が少ないと感じていて、もう少し小さい子があそべるものがほしいです
- ・トイレの整備 古い遊具の改修
- ・公園のトイレを綺麗にしてほしい(矢川上公園) お砂場におもちゃをおいてほしい⇒不要になったもの等→(不要になったおもちゃを市役所等に回収 Box を置いてみる等)
- ・公園のトイレを明るくしてほしい。
- ・屋外の公園のトイレや水道の整備。
- ・トイレを整備してほしい。きれいで安心、子どもでも使いやすいトイレを公園に作ってほしい。
- ・国立市の公園はよく手入れされていて質が高いと思う 今後も子どもだけでなく、地域の人が集える場所としてあってほしい
- ・数年前、公園の遊具をたくさん新設していたが、同じような滑り台ばかりで残念だった。子どもや保護者の意見を全く聞いていない。あちらこちらに滑り台を増やすのではなく、市内の公園 4 箇所くらいに面白い大型のネット遊具を作るなどすれば良かったのに…とっている。また、障害者の市、国立ではない。障害者にピックアップしすぎている。障害者も楽しめる公園が一つくらいあっても良いが、あちこちにある必要はない。
- ・公園の遊具や砂場の安全性清潔性を保ってほしい。公園で遊んでいてうるさいと言う住人が居て怖かった思いをした事がある 遊具のある公園内での喫煙を禁止してほしい
- ・公園のトイレを綺麗にして欲しいです。
- ・各公園にトイレが設置されているのは助かりますが、古く清潔さに疑問が残る使用気にならない
- ・国立市の全ての公園のトイレを綺麗にしてほしい。和式は、やめてほしい。風が強いとき砂埃がどこの公園も悪い
- ・夏は暑すぎて利用できない公園が多い。木を植えて日陰をつくったり、ミストを出したりして夏でも利用出来たらうれしい。あと、国立駅近くには公園がないので、駅周辺に新しく公園が出来たらうれしい。
- ・公園トイレの改善(洋式化、採光、通気性の確保) 公園ベンチでの禁煙の周知 グリーンボランティア(落ち葉はき、苗植え)を募ってみては？
- ・公園でタバコを吸っている人がよくいる。近くに子どもが行くのを遠ざけなくてはならないし、吸い殻が捨てられているので不快。ゴミのポイ捨ても気になる。遊具のネジがゆるんでいたりと、危険だなど思う遊具がある。
- ・北第一公園が家のそばにある。上の小学生も非常に恩恵を受けたが、宛名の子も休日は外遊びに精を出している。鳩がいて、遊具、樹木等の整備もよくなされ、夏は水遊びもできる素晴らしい公園が近所であって大変ありがたい。
- ・公園のトイレをキレイにしてほしい
- ・公園の土の芝生化を希望します。また、市民が気軽に BBQ が出来る場所も欲しいです。

- ・ 公園はトイレが古い。子供を連れて使用しづらい。公園内の落ち葉やゴミの掃除はとても行き届いていて気持ちが良いと感謝しております。公園は市内にたくさんありますが同じような遊具なのでもう少し変化があれば色々巡って楽しいかと思えます。
- ・ 公園内で水遊びが行える時期を早めてほしい(昨今の猛暑を鑑みて)
- ・ 市内の公園が土埃がひどく気になるので、芝生もしくはふわふわのコンクリートみたいな床にしてほしい。 狛江駅前にある何も無いスペースがとても良いです。 ベンチと夏場は少しミストが出る場所があり、後トイレと、水道くらいですが、市民の方々がゆったりボール遊びや、かけっこやシャボン玉等していて素敵でした！
- ・ 芝生の広場、砂埃の上がらない公園、ピクニックできる場所が少なく、市外へ出向かないといけなくて残念 農業体験などもしたい
- ・ 遊園、広場がもっとあると嬉しい
- ・ 上公園近くにオムツ替えできる場所が欲しい。(矢川プラス、駅は遠い、サエキは利用できない)
- ・ 水が流れるスペースがある公園について、いつ流れているかを Web 等で知りたい
- ・ 矢川上公園のゴミ捨てのマナーがとても悪いのでゴミ箱を設置してほしいです。ベンチ付きのテーブルの上に大量のゴミが放置されていて使えない時もあります。
- ・ 夏に雑草が公園をおおって遊ばせづらかった。草かりのひん度をもっと多くしてほしい。公園のトイレがもっと利用しやすいと良いと思います。
- ・ 子供が年少ぐらいまではよく公園に行きました。公園でゴミがおちているのをみた時に、無料の公園に落ちているゴミを拾う用の袋があれば子供をみながらゴミ拾いができたのと思いました。これは 1 人っ子だからできることだとは思いますが。公園で昼間に喫煙している人がいるのでやめてほしい。公園でカラスにエサをあげているおばあちゃんがいると迷惑しています
- ・ 芝生の手入れがもっとして欲しい 甲州街道より南側に遊具のある公園が全くない
- ・ 市の公園の遊具の充実を希望します。 幼児向けのうんていや鉄棒 etc. 自転車の練習場所が少ないので、自転車練習場がほしいです。サッカー・フットサルなどの運動場の充実。 図書館の蔵書を増やしてほしい。自習スペースの増設
- ・ ・水あそびのできる公園には、着がえができる(密室でない)、目かくし、スペースがほしい。 ・ボールあそびのできる公園、(バスケットゴール、サッカー、野球など)広いスペースがとれている公園にはネットなど設置して、遊び場の保障をしてほしい。 ・利用者の年齢に合わせた、利用スペースとなっているか、近隣地域とすり合わせをしてほしい。 園庭のない(せまい)福祉施設が利用するにふさわしい遊具(サビや雑草のしげりなど)となっているか。
- ・ 遊具のリニューアル 夏の害虫対策 街灯を明るく
- ・ 第 2 公園でよく遊べますが、ゴミのポイ捨てがひどく、子供が拾ってしまつて危ないです。また、ローラーすべり台の一部がずっと割れているのに修理がされていません。昨今話題のジェンダーレストイレなどは子供への性犯罪防止の観点から絶対に導入しないで下さい。それよりも多目的トイレ、親子トイレ(ベビーカーも入れるような)の充実を求めます。
- ・ 工事等で遊具が使用できない期間が長いので、段階的な改修をお願いしたい。主に土日に利用したいが、やっている施設が少ない。 体育館などは未就学児には利用のハードルが高いので、優先的に使える時間等があればよいな、と感じている。
- ・ 公園が少ない、せまいと感じるので増やす、広くしてほしい。遊具の老朽化、種類が少ない(どこも同じようなものが多い)
- ・ 大きい年れいの子が遊具で遊んでいるとまわりをみていなくあぶないことが多くあった。タバコのポイ捨てやゴミのポイ捨てがひどい(第 6 公園)
- ・ 遊具のリニューアル(西児童公園)。定期的な砂場の整備とてもありがたいです。
- ・ じゃぶじゃぶ公園など、夏場、水がでる所は子供の口に入ることもあるので常にキレイにできるよう整備してほしい。夏が長くあつい日がつづく時は、水がでる期間をのばしてほしい。
- ・ 国立市の公園の遊具はブランコ、すべり台などありきたりで、他市にくらべてすぐにあきるものが多い。かと言って、立川の昭和記念公園や府中の郷土の森のような広い自然公園もなく、休日は市外に行くことが多い。もうすこし、公園が充実していたらな、と思う。
- ・ 公園の「砂ぼこり」がすごいため、対策をしてもらいたい。
- ・ 公園・スポーツ施設はよく利用させて頂いています。ありがとうございます。
- ・ 多くの公園があり、整備されていて利用しやすいです。

- ・ 富士見台2丁目周辺には公園、谷保天など、子どもの遊び場が多く、子育てしやすいです。中から3年前に引っこしてきて正解でした。
- ・ 公園の日陰が保てるよう草木を整備してほしい BBQ は禁止してほしい。
- ・ 公園に遊具が少ない、駅付近の公園が少ない
- ・ もう少し自然いっぱいの公園があれば良いのに、と思います。 いたる所に遊べるものはいっぱいあるんだよ、四季の中でこんなに変化していきんだよ、っていうことを知れば、身近なものにもっと興味を持つようになる、変化を受け入れるのではないのでしょうか。
- ・ 公園がいっぱいあってとても良い。公園によっては少し暗めな雰囲気のある所があるのが難点。
- ・ 子どもを自転車や三輪車で遊ばせようと思っても広い公園は野球で使われていて、いつが空いているのか分からず困る。ブランコ、すべり台とどこもあまり変化がない。変わった形のブランコや違う遊具などを取り入れてもらえるとう遊びに行こうかなという気持ちになる。
- ・ 公園の遊具がつまらない。じゃぶじゃぶ池がほしい。府中みたいな公園がほしい
- ・ 近くにいろんな公園があり、定期的に掃除などもしていただいている、有難いです
- ・ 子供(1才4ヶ月)を公園で遊ばせたいが、ほとんどの遊具は、年齢の大きな子が遊んでいるため、遊ばせたことがほとんどありません。(矢川プラス公園の山など)
- ・ 谷保側に、新築戸建てやマンションも増えてきて、子育て世帯が多くなってきていると思うので、谷保側にある浄水公園の遊具を新しくしたり、遊びやすい公園となるよう整備してほしい。
- ・ 夏場に、噴水で遊べるのがありがたいです。
- ・ 公園内でよく砂場の清掃をしているのを見かけます。きちんとメンテナンスしていただけてありがたいです。トイレが古かったり洋式がない所が多いので、トイレの改修をしてほしいです。

○図書館について

- ・ 図書館が老朽化しています。矢川プラスのようにユニバーサルデザイン化された明るい図書館を早期に新設してほしい。
- ・ 図書館が小さくて古いので、新しく大きな図書館を作ってほしい。文教地区の割に、本が少なすぎる。皆で集まって勉強する場所がない。
- ・ 図書館に新しい本が欲しい。内装を一新して欲しい。武蔵野市のプレイスのような、温かみのある行きやすい図書館にして欲しい。引っ越してから、子供があまり、図書館に行きたがらなくなりました。
- ・ 国立駅前に図書館がほしい
- ・ 市の施設が全体的に老朽化していると感じます。特に、子どもの好奇心や探究心をそそられるような現代的な図書館へリニューアルしてほしいです。
- ・ 図書館…本が古く、借りたい物がない。特に子育て本は何十年も前の古い物が多く、現在の育児・教育事情と乖離した本が並んでいる。場所が不便。施設が古い、狭い、汚い。蔵書が少ない。公民館の図書コーナー…国立市の偏った思想の強さを全面に出した本が多い。街を訪れた人が立ち寄った時に、異様さを感じないよう、多様性と謳うならありとあらゆる多様性を公平に取り入れたほうがよい。
- ・ 北市民プラザ図書館をたまに利用しますが、他の施設も同様に本の種類がとて少なく感じます。美術書、カルチャー誌、など自宅用に購入できないような書籍があるのが図書館の役目だと思います。雑誌は充実していますが、それは個人で買えるので(電子書籍、美容室やランドリーでも読める)必要性は薄いのでは？
- ・ 図書館が小さいので、大きくしてほしい。自習室なども作って学習しやすい環境を整えてほしい。駅前にも図書館があるといい。
- ・ 図書館の蔵書について。人気な本、新しい本をもっと入れてほしいです、毎週のように絵本をかりに行っているのですが、子どもの読みたいものがなかなか見つからず、予約をしてもかなり待ちます。立川市のカードを作ってそちらを利用しています。市内でもっと利用しやすくなることを切に願います。
- ・ 乳幼児がゆっくとできる大きくてきれいな図書館を作ってほしい
- ・ 図書館が新しく、明るい施設になると良い。
- ・ ①中央図書館と東分室に駐車場がほしいです。②東分室の午前中開室を毎日にしてほしいです。③電子図書の冊数を増やしてほしいです。
- ・ ・もっと図書館の蔵書をふやしてほしい。←たてかえも考えてほしい、古すぎる 最近 DVD 付の図鑑もかりられるようになったの良かったです・SNS を活用してほしい(イベント告知など) 公園(・幼児用ブランコがあったらうれしい(バケットシート)・はいはいできるような場所？床？があるとうれしい。芝やころんでもいたくない床

○矢川プラスなどについて

- ・ 矢川プラスを子供達とよく利用しています。 様々な企画、イベントをしてくださったり、児童館の玩具内容も充実しており、毎日のように子供たちと通っています。子供の様子をよくみてくださり声かけいただけるのが本当にありがたいです。 空いている部屋の有効活用、図書館機能の強化をお願いしたいです。(子供だけでなく親世代も利用できるもの)
- ・ 矢川プラスができてから休日 1 人で息子を見る時に遊べる場所ができてとっても助かっています！！ 公園に 1～3 歳までの専用スペースとかあったらいいのと思います。大きい子が遊具で鬼ごっこかをし始めて怖い思いをしたことがあるので、。
- ・ 矢川プラスをよく利用しています。 一緒に利用しているお友達のお母さんたちともよく話が出るのですが、2 階のロープの遊具のある遊び場で子どもを遊ばせている時、吹き抜けのガラスの部分が薄い板のようで、しかも少し動くのがとても怖いです。走り回る子どもが体当たりしたら落ちてしまうのではないかと非常に不安です。また、その周りに足台のような棒があるのですが、そこに大きい小学生が両足で乗って下を覗き込んでいる姿を見ると落ちないかとハラハラします。 まだ我が子は幼稚園児で、見守っていられるので利用させていただいていますが、このままの状態でしたら小学生になった時、子どもだけで行かせる気にはなりません。改善していただけるとありがたいです。どうかよろしくお願い致します。
- ・ 以前夫が矢川プラスに 5 歳の子供を遊ばせに行ったら、常連の小学校高学年の子が専有しているようで、特定の子しか行けない雰囲気であったとのこと。年齢や新参、古参問わず誰でも気軽に遊べるような工夫をしていただきたいと思いました。
- ・ 矢川プラスには駐車場がほしいです
- ・ 矢川プラスのこすきひろば、未就学児の年齢区分けを1段階つけてほしい。0-2 歳、3-5 歳など。 赤ちゃんスペースまで大きい子が走ってくることもあるので、少し怖いです。
- ・ 矢川プラスの混雑がすごいので、土日などは国立市民のみの入場にしてほしい。
- ・ 矢川プラスは誰もが利用しやすい場所ですが、防犯面ではよくないと思う。みんなの広場は柵がないため道路にも隣の団地にも出入り自由となっていて不審者は入り放題。外で遊ぶ子の見守りを職員はやっていないので安心して遊ばせることはできない。市内の公園は乳幼児用の遊具が少ない。
- ・ 矢川プラスの混雑の緩和・図書館 カフェ併設
- ・ 矢川プラスへ行った際、子どもが 3 歳ということもあり、小学生くらい子ども達と一緒に遊ぶにはこわいと思いました。また、国立市以外の市民も多く利用しているように思います。あまりにも混雑していて、心地良く遊べませんでした。
- ・ 矢川プラスにおいて、駐輪マナーが悪い。勝手に自転車の場所を動かし、すきまに後から来た人がとめたため出しづらくされたことがある。
- ・ 0 歳児の安全の確保 普段矢川プラスを利用しているが、なんとなくの区切りしかなく幼児が走ってきて怖い思いを何度もした、またおもちゃ等を独占し使えない事もしばしば。0 歳児は独立した部屋やスペースがあると良いと感じている。 市民が必ず利用できるようにしてほしい 市外の人が多数で利用できないことが多々ある。
- ・ 矢川プラスは、市外の人が増えすぎて、市民が利用しづらくなっている。(土、日)おかしくないですか？新しいしせつも、そうなるのではないかとねんしている。武蔵野市や立川市は、市外の利用をある程度制限しているので国立もそうしてほしい。
- ・ 矢川プラスに子を 2 人(4 才と 2 才)連れて行った時に、2 人が別の場所に行ってしまう追いつけなかった際に、スタッフに子どもがキツク言われているのを見て、もう利用しないな、と思いました。そこを見守ってもらおう場だと思っていたのでとても悲しかったです。 汽車ポッポ公園の車が壊れていて危ない
- ・ 矢川プラスは、設備だけでなく、職員の方も多く、利用者(子ども)にも目を配って頂き感謝しています。親がトイレに行くときなど、職員の方が子どもを見て頂き、感動しています。市も予算が厳しいと思いますが、職員数を減らさない方が、利用者の満足度が高くなると思います。
- ・ 矢川プラス利用しています。市外の利用者も多くにぎわっており静かに遊びたい赤ちゃんにはあまり向いていないと感じています。はいはい時期に広いスペースで遊ばせたかったのですが、人も多く、しきりや多くのおもちゃ、柵などにさえぎられ思ったような利用ができず残念です。市民向けに赤ちゃん、低年齢の子が広々安全にすごせる施設にして欲しいです。
- ・ 矢川プラスのような施設が国立駅前にあつたらいいなと感じておりましたので、子らぼステーション、とても嬉しいです！

- ・ 矢川プラスのような場所が2-3か所あるとよい
- ・ 中央児童館の乳幼児ルームが学童スペース拡張のために閉室されてしまったのは寂しかったです。広さ、おもちゃの配置、数などとても良かったので。
- ・ 中央児童館の未就学児向けの遊具、スペースを拡充してほしいです。
- ・ 中央児童館の乳幼児ルームが変わり、遊びずらくなりました。夕方の小学生がいる時間になると1階の大きい部屋で小学生がドッチボールをしており、危ないのですぐに帰るしかありませんでした。指導員の方も注意をしてくれないので、どうにかしてほしいです。
- ・ 以前は中央児童館を利用していましたが、職員の方の中に言葉づかいや子ども達への態度が好ましくない方がいらっしまったため、現在は行っておりません。
- ・ 児童館または集会所(国立市の中心あたりの富士見台二丁目集会所でもどこでも良いです)季節にあわせたイベントがもう少しあれば嬉しいし参加したい。まゆだま作り、節分、おひなさま、十五夜、ハロウィン、クリスマスなど
- ・ 児童館(西)子供の遊ぶ遊具、本の充実さが欠ける。その為、子供が赤ちゃんの時行き場がなく困りました。

○保育・預かり・学童について

- ・ 一時保育の予約がすぐ定員になってしまい、利用したい時に利用できないことが多いです。施設数、定員数を増やしてほしいです。
- ・ 幼稚園入園前に保育園の一時保育を週2位利用していました。子どもの発達や、親のリフレッシュをかねていましたが、利用料をもう少し安くかつ利用枠を増やして頂きたいと思いました。迎えの際に保育士さんに育児の相談ができたので、息づまることなく育児ができました。どうしても、自分一人だと不安になったり、マイナスに考えてしまう事も、保育士さんが子どもをほめてくださったので安心しました。料金がネックで利用できない方もいると思うので、拡充してほしいです。
- ・ やっと幼児向けには整ったと感じる。小1~小3も一時保育の対象としてほしい。
- ・ 小学生の通っている西学童の評判がとても悪く、今後心配している。西児童館に対して、過剰な収容人数と先生の質等、不安です。1~3年生でも二小で預れたり、放課後キッズの時間を延長したりすることは難しいでしょうか…。

○トイレやごみ箱など衛生について

- ・ ちゃんときれいにしてほしい
- ・ 清掃・メンテナンスはしっかり対応してほしい。増設より重視してほしい。
- ・ トイレをキレイにしてほしい / きれいなトイレがあるとうれしい / きれいなトイレを設置してほしい (計4件)
- ・ トイレの老朽化が目立つ。早急に改修してほしい
- ・ トイレにおむつ替えスペースをつけてほしい トイレが汚い
- ・ トイレが怖い
- ・ トイレを使いやすくしてほしい、洋式を増してほしい
- ・ トイレの整備 着替えスペースの設置
- ・ 夜間にゴミが置かれ、朝カラスやハトが寄ってきており、衛生的に懸念がある

○その他、全般について

- ・ 矢川プラスへの直通バス(ベビーカーも乗れるような)を増やしてほしい
- ・ 矢川プラスの設備内容がとても魅力的だが、自宅から遠く中々足が向かない。谷保・矢川方面は図書館や児童館、市役所、第三第四公園等の施設が充実しているが国立駅前周辺は子供を遊ばせられる場所が少ない。一橋大学構内や緑地帯は遊具がないし駅周辺の公園は小さく混雑している。駅周辺に遊具があり子供が走り回れるスペースがあったら嬉しい。保健センターと子ども家庭支援センターも分室のようなものが駅周辺にあったら助かる。せっかく様々なイベントを開催しているのに、家から遠いので行く気になれない。真夏に検診があって利用した際、バスの待ち時間も長く子供も汗だくになってしんどかった。家庭支援センターも一度訪問したことがあるが、遠すぎて行くまでに疲れてしまいその後一度も利用していない。
- ・ 矢川プラスよく利用しています。とても良い施設です。新しく南口にできる施設も楽しみにしています。
- ・ 矢川プラスの多目的ルームで習い事を開催しているようで気になるが、詳細がわからないので調べても出てこなかった。矢川プラスで行っている教室の情報があれば教えてほしいです。
- ・ 矢川プラスなど子連れ時に、駐車場が全くないので、雨の日は不便です。特に“補聴器”は高価で湿気や水に弱いので、雨雪の時は、車をつかうようにしています。子連れだと傘もつかえず、補聴器をはずす(ぬれないように)ので全くきこえなくなってしまう。バスのアナウンスもわからなくなり、神経をつかうので、マイカー又はタクシーが、安

心です。タクシーの助成があると本当に助かると思います。

- ・ 子供達やその親が楽しく安心して過ごせる施設ができることは大変ありがたく、税金を適切に使用してくださっている気持ちになる。 矢川プラスは作ってもらえてありがたかった。
- ・ 乳幼児に関するサポートは、矢川プラスや保育園／幼稚園で十分にあると思う。 普段、一人で鍵をかけて登校している小学生や、友達の家の玄関の前で登校前に待機している小学生、校門が開く前に校門前にいる小学生たちの存在を、市はどう考えているのでしょうか。「小学校としては8時15分まで登校しないでくださいと言っているから、そのルールを破っている家庭の子供の安全については知りません」というスタンスなのだなと感じます。 教員以外の専任のスタッフを配属することもできると思います。誰が望んで我が子を危険な環境に置くでしょうか。行政ができることはもっとあるのではないのでしょうか。 例えば、1:小学校の子供を、朝、通勤前にその新しくできる駅前施設に集めて預かる。そして、8時15分になったら、各小学校まで連れて登校する。2:小学校にシルバーさんを配置して見守る、など。他市の取り組みをみてみてください。 おそらく、朝はまだ市役所の勤務時間ではないためだとは思いますが、このようなアンケートをとるだけでなく、朝の国立市内を見て回って、観察してみてください。友達の家の玄関の前で登校前に待機している小学生、校門が開く前に校門前にいる小学生たちを目にすることは少なくないと思います。そんなとき、「国立市は、あまり子供について考えてくれていないな」と感じます。
- ・ キドキドのような室内遊べる施設をよく利用するのですが、市内にキドキドのような施設があって安く利用できると嬉しい。 矢川プラスも利用するのですが、5歳の子にはものたりないようです。あとはらぼーとの中にある公園のような芝生で汚れを気にせず遊べる公園や屋上庭園のような場所がほしい。
- ・ 国立駅より谷保駅あたりに作ってほしい。
- ・ 矢川児童館が矢川プラスへ移った際に小学生が思いきりドッジボールをしたり走りまわったりするスペースがなくなっていました。代わりになる場所が必要だと思います。また、1日スタッフがやめてしまったことへの事業団対して不信感があります。 どういった経緯だったのか公開して欲しいです。
- ・ 矢川プラスや児童館の子育て広場は、とってもありがたく使用・利用させて頂いています。先生や職員、利用されている方とのコミュニケーションがリフレッシュにつながっています。ありがとうございます。公園、芝生の公園があったら良いのになあと思う事があります…。
- ・ 中央児童館の乳児ルームがなくなってしまったのがとても残念です。まだ公園デビュー前の乳児をあそばせることができる場所を、市内に点在させてほしい。バスなども充実させてほしい。
- ・ 矢川プラス内ここすきひろば？は小さい子が多く、幼稚園児が遊ぶと迷惑になる？かな、と思う時があり、気が引ける。東地域(他にも中などもないようですが)に本当に公園が足りないです。子ども達が集まっていっぱい遊べる場所がほしいです。
- ・ 駐車場がなく、すごく不便です。(矢川プラス) 休日の学校の開放は、小学生でも知っている人が少ないです。図書館は、キッズスペースみたいな所がほしい。子供に本を読もうにも、すぐ近くで、高齢者がいて、静かにしなければいけない。仕方ないが、子供にも楽しく本を選んでもらいたい。
- ・ 矢川プラス内のこまかい利用方法、案内がほしい。公園のトイレが汚く暗い。
- ・ 矢川プラス内のこまかい利用方法や案内が欲しい。・公園のトイレが汚く暗く、子供がこわがり使いにくい。・公園に子供ときより近すぎるおじいさんがたまにくる。
- ・ 子らぼすてーしょんは何才まで利用可能なのか？小学校低学年までは、1人で家で過ごすことができないので利用できるありがたい 駅の近くに子供が遊べる公園がないので、大学が利用できるのはとても良い
- ・ ここすきひろばはスタッフが多いし、顔を覚えて声をかけてくれる方もいるのでありがたい。
- ・ カンガルー広場の回数を増やして欲しい
- ・ 乳児の時は情報があつたが、幼児になると合う遊び場が分からない。
- ・ 駅周辺に大きな公園がない。 子どものオムツを気軽にかえたり、授乳できるスペースがない。 駅前や大学通りのお店は駐輪スペースが限られていて、ママチャリだと不便
- ・ 徐々に整備されてきていると思うが、国立の公園は遊具が古い場所が多い。 子連れで行ける施設やお店がもっとあれば良い 授乳スペースが少ない
- ・ ごりら公園のリニューアルも楽しみにしていますが、市内の小さな公園も少しずつで良いので遊具を増やしていただけたら嬉しいです。あと市役所の駐輪場近くにある喫煙所から副流煙がもれており、子供を連れて歩けません。人が歩く道の近くには置かないで欲しいです。早急に対応願います。
- ・ 東地区在住ですが、近くに子供を遊ばせられる公園や施設がなく、普段は大学通りや大学構内をお散歩しています。 駅前に子育て施設ができるのは大変うれしいです。

- ・ 中ふれあい公園にトイレがあると良いです。又は近くにおむつがえや子供がトイレへ行ける場所の案内など。・国立駅前にも小さくても公園や、子供をだっこやベビーカーから下ろして遊べる場所。 図書館の充実、子供が楽しく行ける図書館、新しくきれいな図書館。(武蔵境や立川中央図書館児童書階、立川まんがばーくのミニなどなど……) 多摩センターのパルテノン多摩のような、遊ばせて、少しあずかってくれる施設があるといいです。
- ・ 公園が整備されておらず、草などが伸び切っていたりする場所が見受けられます。安全のためにも、整備していたら嬉しいですね。ここすきひろばが混雑していることが多く、行きたくてもやめてしまうことがある。国立市民だけが利用できる日があると、より多くの人に利用してもらえるのでは。(週 2 回、(火)と(木)は国立市民だけが利用できる日/時間で区切るなど)せつかくの素敵な施設なので、もっと利用したいです。また、市内でのママ友と知り合うためにもお願いしたいです。
- ・ 北には児童館や市の施設(公園)が少なく、行事やイベントがもう少し充実すると嬉しいです。
- ・ 谷保第 3 公園はじめ、きしゃぼっぼ、かばもボロボロ感が強いです。きれいに整備したらファミリー世帯沢山転入しますよ！ 一時保育も 2 カ所しかやってないとかありえないと思います。せめて 5 カ所必要です。あと、ぎやく待たないか等、保育園の指導もしっかりしてもらえないと預けるのが不安です。
- ・ 国立駅付近(徒歩圏内)に公園や室内施設などできるのはうれしい。多くの人が子乗せ自転車で来ることが予想されるので駐輪場を広くとってほしい。その場合施設利用者のみが使えるように施設内で清算しないといけないなど通勤通学者が使えないようなシステムにしてほしい。
- ・ 国立駅前にもっと施設を増やして欲しい。駅周辺に公園がまったく無い。
- ・ 公園の雑草の手入れをしてほしい。矢川プラスのように、乳幼児と小学生以上の子どもたちと遊ぶ場所を分けたスペース(施設)がもっとほしい。
- ・ 東のすぐ近くに気軽に利用できる公園がなく、あったら嬉しいです。(よく分からない草だけ生えている場所はあるかもしれませんが…せめて砂場やブランコだけでもある場所があれば嬉しいです)広場はあってもグラウンドに近く、小学生がボール遊びをしていて小さい子が遊ばせてあげられないこともあります。駅に施設ができるのはとっても嬉しいです。少し休けいしたり、ベビーカーのまま使えるトイレが少なく困ったりしていたので。ベビー用品のお店がないので併設してあるとより嬉しいです。公園での喫煙をなくしてほしいです。
- ・ 自然に親しめる場所が駅の近くにもあると嬉しいです。一橋大学が、子連れには安心安全に利用できて、よく利用しています。このような感じで、少し絵本などを置いてある屋内、ベビーおむつ替え対応トイレ、軽食をテイクアウトできる施設が併設していると嬉しいです。
- ・ 施設や公園に親子連れが集まって混雑していることが多いので、絶対数が足りないのではないかな？
- ・ 駅前周辺に公園が少ないので、自転車で遊べるような場所を作ってほしい。 図書館が古くて小さいので、人が集まれるような図書館を作ってほしい。多摩市立中央図書館はすごく良かったです。
- ・ 東に住んでいますが、近くに遊ばせられる場所が少ない。矢川プラスまでも遠いので行くのが面倒になってしまう。
- ・ 古い遊具を適宜更新してほしい図書館の蔵書を探すのに時間がかかるので(特に子供の絵本)もう少し整理してほしい
- ・ 芝生の公園を作って欲しい ・つちのこ・矢川プラス・南口施設を 17 時頃まで運営して欲しい ・カンガルー・公立保育園、体育館などのおもちゃを新調して欲しい ・知育おもちゃがそろう場所を作って欲しい ・乳児を連れたバス運賃を下げて欲しい。くにっこ・あおやぎこの運賃を下げて欲しい ・矢川プラスでも一時あずかりをして欲しい(子供が慣れているため) ・図書館に子供とくつろげるスペースがあれば良い
- ・ 芝生を植えられた施設を作って欲しい
- ・ 駅前市民プラザで保育園幼稚園系手続きを含めた事ができると思う。いつも何をいっても基本的に市役所に行ってくれといわれ、書類の受渡しだけでも市役所とやりとりしてもらえると助かる。
- ・ 矢川上公園の噴水をなおしてほしい。 ・矢川上公園のトイレがくさい ・国立六小から矢川上公園の道に大きな犬のフンが毎日落ちていて子供が踏んだりしてつらい。
- ・ 谷保東遊園のチャドクガはもういない、という認識で大丈夫か？ オニスズメバチの死がい数が数匹… 矢川プラスはとても良い施設だと思います。駅近、おもちゃの充実、土日でも利用できる、雨天でも体が動かせる…駅からの動線をもう少し整備してもらえると、小学生くらいになれば子どもたちだけで電車に乗って行かせられるかな、と思います。(駅から施設まで歩道、横断歩道のみで行ける)
- ・ 駅周辺に、たのしい公園が欲しい！ ・公園のトイレを整備してほしい。多目的トイレを増やしてほしい(ベビーカーに赤ちゃんを乗せていると入れるトイレがない！) ・駅の授乳室がひとつしかなく、いつも入れない ・気軽にコーヒーをかって、のんびりあそべる場所が欲しい！ ・国立北から矢川方面へのバスが欲しい！(矢川プラス直通でも◎)

- ・ 公園の遊具で古いところがある トイレが和式だと子どもが利用できない 土日にベビースイムや子どもと触れ合える、体験を増やしてほしい
- ・ 雨天でも使える施設を希望します。駐車場(ちゃんと止められるスペース)は欲しいです。(短時間でも利用しようと思います。)小さい子が遊んでいると大きい子たちは遊べず、結果的に帰りが遅くなる傾向があります。
- ・ 全ての施設に授乳室やオムツ替え台がほしい。駐車場もほしい。
- ・ 室内で遊べる大型施設が欲しい
- ・ 子育て世帯のための施設やイベントが多くあり、大変ありがたいです。また、先日福島の郡山市へ行ったとき、市が運営している(?)ペップキッズという無料の室内遊び場がありました。そこにあった遊具やおもちゃがとても子供の教育にも良さそうだったのでぜひ国立駅の子育て施設にもご参考にして頂けたらと思います。(子供の料理教室や自分でお家をつくれる巨大ブロック等子供たちもとても楽しそうにしていました)
- ・ 子らぼステーションのような場所を駅周辺にもっと早く(子どもがもっと小さい頃)からほしかった
- ・ 国立駅近くに、子育て支援に重点を置いた施設ができるので、とてもありがたいです。(計2件)
- ・ 国立駅周辺に子育て広場がなかったので、オープンを心待ちにしている。認証でもよいので、国立駅に保育所を設置してほしい。他の市では、どこの保育園に通園するにしても、駅での送迎をしているところもあるので、そうすれば、多少家から遠い園でも預ける選択肢が増えると思われる。
- ・ 国立駅周辺は子育てするのに公園や保育園が少ないので今回駅前に来るのはすごく嬉しい。保育園なども増やしてほしいです。
- ・ 南口の施設完成を楽しみにしています。オープン後はぜひ活用したいです。木質化や木のおもちゃなど安全で温かい優しい雰囲気的空間になるといいなと思っています。
- ・ 駅前に住んでいるとあまり小さな子どもが遊ぶ所がなかったので、駅前にできることがすごくうれしいです。
- ・ 西地区は子育てに特化した施設が少ないので、あると助かります。
- ・ 夕方に利用できる場所(17時ごろまで)を増やしてほしい
- ・ ベンチや夏の日差しをさえぎるスペースを増やしてほしい。
- ・ 緑地を増やしてほしい
- ・ 施設の開放時間が短く、平日の保育園から帰った後に子どもを連れて行ける施設がほとんどないので、利用時間を伸ばしてくれると助かります。また、施設のイベントが平日に集中しているため、ほぼ利用できません。そのため週末のイベントを増やしていただけるとありがたいです。
- ・ 乳幼児一緒に楽しめるような遊具や環境。 欲を言えば子連れの外出は荷物が多いので、施設内に常備や販売している店舗があると有り難いです。
- ・ 子供だけで来ている小学生が危険な行動をしていることが時々見られます。市の施設であれば、職員の方が注意して下さると助かります。
- ・ ユースワーカーを配置してほしい。安心して遊べる環境
- ・ 東に住っていますが、車がないと小さな子連れでは何処も移動が困難で雨の日に検診などがあると本当に困ってしまいます。
- ・ もっと駐車場を充実させてほしい。未就学児がいる場合は無料や割引などにしてほしい。
- ・ 駐車場がほしい ・幼児プール(できれば屋内)を併設してほしい ・小百合学園付近に公園がほしい
- ・ 駅前なのに子供を連れて自転車で行けるか心配。駐輪場があっても電車を使う人であまりそう。
- ・ 駅から遠いので、駐輪場、駐車場(無料で使用できる)を切に願います。良い施設があっても、アクセスが悪いと利用できません。
- ・ 子連れの人は自転車利用者が多いので、駐輪スペースが多いほうが助かります。
- ・ 新しいところは気になるが遠い、車が料金がかかる。雨だと自転車だと大変。
- ・ 車で行っても利用すれば無料になるようにしてほしい。
- ・ 障害者が予約なしで無料で使えるちゅうしゃじょうがほしい
- ・ コロナ禍中は雨の日は郷土文化館をよく利用しました。駐車場があったので。図書館も有料でかまわないので駐車場があると子連れには便利かと思います
- ・ 大学通りへの路駐が多い。そうするしかないから…。国立駅は、自転車や車を置く場所が少ないので、行きづらい。駐車・駐輪スペースを確保してほしい。それが無理なら、無料のシャトルバス(小学生子だけでも乗れるような…)を出してほしい。
- ・ 昨年引越してきて、コミュニティバスの利便の悪さが気になります。運賃も高く(100円希望)、路線も以前の市では

もっともうらされてきました。

- ・ 大学通りの遊歩道について、せっかく自転車と歩行者の道が分かれているはずなのに、歩行者道に自転車が当たり前に歩っていて、子どもが自由に歩けず危険であり、不便です。もっと強く整備していただきたいです。
- ・ 子供を2人以上連れて出かける様になってから、ベビーカー移動が難しくなりました。矢川プラスや図書館等もっと利用したいのですが、駐車場がなく行けていません。
- ・ 現在利用している南第一駐輪場(←定期利用)は大型用の駐輪スペースが不足しています。平日の午前9時過ぎにはいっぱいになっているので、拡充していただくと助かります。一時利用はだいたい満車のようです。公園で、ボール遊びや自転車の練習がしたい、といったときに、どの公園がOKなのか、分かるマップがあるととても助かります。ルール周知のためにも、あったらうれしいです。
- ・ 自転車で公園に行くときに駐輪場が曖昧で各々で停めているので、一ヶ所にまとめられるよう整備していただきたいです。園内を夢中で走り回る子どもたちを見るとぶつからないかハラハラするので…。・市内には公園がたくさんあって、子どもたちが遊べて助かります。ただ乳児も安心して過ごせる屋内施設が増えるといいなと思いました。矢川プラスができるまで、どこで過ごすか困っていたので。
- ・ 施設利用者は使える駐車場があるととても便利だなと思います。市役所のように利用した施設で無料券等をもらえたりしたら、無断駐車はないですかね…ただ設置も大変だと思うので…難しい所だとは思いますが…
- ・ 3人年子移動手段が限られる。車もしくは自転車に牽引チャイルドトレーラーを取り付けて移動する必要があるが、それらを停める場所がない。駐車場(コインパーキング)に停めたとしても、道路など子どもの飛び出しに注意しながら歩かないといけず危険。・矢川上公園のベンチ下のタバコの吸い殻やベンチなどの落書き、お酒の空缶などどうにかして欲しい。
- ・ 国立駅近くに無料の駐輪場が多く欲しい。立川駅のように。・トイレが外から見えるのを何とかしてほしい。
- ・ 駐車場が欲しい。赤ちゃん連れて雨の日どこかに行くのに車が使えない。バスがないとむずかしい。子供たくさんいると移動大変。自転車2人までしか乗れないと3人つれて公園も行けない。
- ・ 駅から遠いので、車で行くことが多く、公園に駐車場を作してほしい。一橋大学内の利用を増やしてほしい。
- ・ 駐車場を充実させてほしい。未就学児がいる場合は無料や割引などにしてほしい。
- ・ 駐車場がほしい
- ・ 大きな子供のあそべるスペースはあってほしいが、遠くの子は行けない。子供たちだけでのっても大丈夫な直通バスがあればあんしんして行かせられる。
- ・ 飲食提供の場・施設 大型ゆうぐ
- ・ 大型遊具のある+雨の日でも過ごしやすい+親もくつろげる 乳幼児の「食」に配慮した飲食スペース。親も元気をもらえるごはん
- ・ フードコートのような、家族連れで気軽に食事できる場が欲しい。遊び場と隣接していて、子どもを見守りながら保護者が少しゆっくりできるようになっていると嬉しい。
- ・ お弁当など食べられるスペースがほしい。(各施設に)お店(おにぎりなど)軽食を販売してほしい
- ・ 自動販売機ではなく、カフェがあったらなとも思います。もしくはカフェマシーンなど。
- ・ 子づれであつまれる所 ランチなど。あそべるものがおいてあり、かしきりができる所。
- ・ 混雑することが目に見えているので、利用したいが利用しづらい状況になると感じている。1人あたりの利用回数、利用時間を制限するなど市民が平等に利用できるように規定を作っておくべきだと思う。
- ・ 図書館や、市民体育館のプールなど、子どもが使いやすいような施設にリニューアルしてほしい。例えばプールは浅いところがあるなど。
- ・ 近くの図書館(青柳)?の利用時間などの都合が悪いので、立川市の錦図書館で絵本を借りてます。図書館を充実してほしい。公園の整備・清掃がしっかりしているとうれしい。よく公園で遊ぶので。夏は蚊が多かった。
- ・ ベビーカーのレンタルもして欲しい。自転車に積んで遊びに行けないため。乗り捨てOKでアプリなどでどこに何台あるか、などわかるようにしてほしい。子どもが自転車乗車中に寝てしまった時が、母にとっては1人の時間を過ごせたり、サササッと買物をしてしまいたい…チャンスタイム!子どもを降ろさずにホッとひと息つけるカフェ(店内に自転車のまま入店できて倒れないようにスタンドを置いておいてもらえるとサイコー!)とか、買物中自転車を見守ってくれような人、自分がもう1人いたらいいのになと思う場面がたくさんあるー!!そういった日常の歯がゆさが解消されると子育てに余裕が生まれると思います。あとは体力が必要なので整体マッサージの支援があると嬉しい。見習いセラピストにつき利用料半額!とか。体のケアが必要。
- ・ もし今後“子どもの声”に対して苦情があった際には市が子ども側にたって対応してほしい

- ・ 平日の公園で、保育園の子供たちと一緒にすることが多いが、人数が多い上に保育士が少ないので、あふなくて自分の子供を遊ばせられないことがある。いつ、何才のクラスの子がどこの公園を利用するのかわかるようにしてほしい。・新しくオープンする施設では、しばらくは市民や国分寺市民のみの利用にしてほしい。矢川プラスも SNS でインフルエンサーが紹介するようになってから、利用者が増え思うように遊べないことが多い。
- ・ 小学校の体育館を利用したく団体登録をしましたが、問い合わせができる 9 時に電話をかけたにも関わらず電話が繋がらなかった。通話中で 11 時過ぎまで電話が繋がらなかった。9 時前からかかっている電話に応答しているとか考えられません。9 時 0 分から電話は出るようにしてほしい。9 時前からかかっている電話には一切出ないでほしい。施設を利用できず困っている。・公園のトイレをキレイ・明るい・危なくない(安全)な物に替えてほしい。
- ・ 学校の校庭・体育館開放を利用したいが、いつ開放しているのか? どうやって利用すればいいのか? 不明。周知をしっかりともらえる嬉しい。(市報等)・図書館の予約本を矢川プラス等でも受け取れるようにしてほしい。(計 2 件)
- ・ 小学校の休日開放はやってる地区やってない地区があるので、全地区開放するならやってほしい。授乳室の少なさ、バリアフリートイレの普及率の低さ。(少なさ)トイレが汚い。
- ・ 地域の集会所を何度か利用したことがあるが、予約方法が不便なため利用しにくい。→現地に行かねば空き状況がわからない場所がほとんど。グループで利用する際もグループで作成したカード? を提示しなければ予約ができず、カードをグループ共有することも難しくかなり非効率的。キャンセルも現地。管理されている方が高齢の方が多く難しいのかもしれないが、予約状況確認、予約、キャンセル、すべてネットでできればいいのと思った。もしくは市が管理するか。集まりなどに使いやすく良い場所だとは思いますが、予約までが大変すぎてなかなか利用しにくいです。
- ・ 月齢会で集会所を利用しますが、おもちゃがある所、ない所と様々なので統一してあると嬉しいです。
- ・ 集会所について 電話かネット予約にしてほしい。
- ・ 国分寺市などはそもそも親子広場の数とイベント数が圧倒的。屋内、屋外共に 0 才からどどんきてねの姿勢がすごい情報が市の HP に UP されるのもかなりはやい。(月頭から翌月のアナウンスがあることも)またツイートもさかん。子育て親が引こす理由がわかる
- ・ 市民プール 子供利用料の減額・子供プール教室→仕事をしている親でも参加できる(子供の送迎ができる)時間帯を希望。平日ど真中の時間なので利用できない。
- ・ 子どもがダンスを習っているのでイベントスペースでステージ発表ができる場があるといいなと思いました。
- ・ 監督員がいる、小中学生の自習スペース ・STEAM 教育や科学などの教育イベントができる施設
- ・ 子供の自習スペースの確保。(部屋が空いていたら、ではなく常に。)ボール使用の制限のない公園。
- ・ 習い事のようなものがあつたら知りたい。・公園の夏場の暑さ対策として日よけ場所を多く設置してほしい。近年の命にかかわる暑さに対し、対策が追いついていないと感じます。
- ・ 子ども向けの交通ルールやマナー等の交通遊園があつても良いと思います。昔と違って自転車に対しての交通ルールが厳しくなっているので、電動キックボードも含めて交通安全の講習会があると良いかな。
- ・ 総合体育館での水泳教室や子供向けのスクール(←公園でかけっこを教えるなど。)をもっと増やしてほしい。
- ・ 公園のトイレへ石けん、オムツ替えスペースがあると嬉しいです。砂場の砂が白砂の方が良い。東京の土は洋服汚れが落ちにくい。市の施設は、とても利用しやすいです。手軽に一時預かりが出来る施設があると嬉しいです
- ・ 保健センターのような子どものトイレの設置。ベビーカーも通りやすい通路の確保(特に図書館)
- ・ トイレをもっとキレイにして欲しい。城山など南部方面に子どもだけでも行けるバス(くにっこ)を走らせて欲しい。
- ・ 保健センターが遠く、バスなどのアクセスもよくないため、行くのが大変。北 3 丁目から直接行けるバスか、近くに同じような施設があると助かります。
- ・ 地域バス(くにっこ)運行本数を増やして欲しい
- ・ テニスコートなどやりたいと思うが、決まった人達が使用していたりするのかなあと利用にふみきれないのと一緒にできる仲間もいないので、やってる団体の紹介や募集もあつたらしてもらいたい。
- ・ テニスコートなどは小さい子供は入れない。上の子供がテニスを習っているので練習させてあげたいが、打ったボールが飛んでいかにないように、隣のコートとの間にネットが欲しい。
- ・ 児童館で行っているような、おさがりの洋服を持って行ったりもらったりできるコーナーを作ってほしいです。できたら靴もお下がりであげられるようにしてほしいです。児童館で利用していてとても助かっています。以前の支援センターにはたくさん服が置いてありもらいやすかったのですが矢川プラスになってからなかなか見当たらなくなっていました。

- ・ 市民プラザでできる手続きが少なすぎる 図書館の休館日(火)をずらして欲しい(図書館ごとに) 矢川プラスや児童館が遠いため、0歳のときはコミュニティーバスの利用料を下げる等の支援があると利用してみたいと思うかもしれない (計2件)
- ・ 公民館はいつも埋まっていて予約がとれない。中ふれあい公園にトイレを設置してほしい。公園に夕方に自動でつくライトを設置してほしい(防犯の為)
- ・ 公民館をネット予約できるようにして下さい。現地にいるサポートの方に開いている日を確認しなければいけないシステムはやめてほしい 子供同士の集りにつかいたくても 結局出向かなきゃいけないアナログな利用手段をどうにかしてほしい。予約状況もわからない 今どき どの市より遅れていると思う。アナログすぎです。
- ・ 子どもが安心して利用できる環境整備として、屋外施設であっても受動喫煙・三次喫煙被害防止のため完全禁煙を実現いただきたい。(計2件)
- ・ 禁煙を徹底してほしい
- ・ 禁煙
- ・ 学校の位置や、市の施設等、南にかたまりすぎ。国立市の中心が、そっちなのは分かるが、にしても、南にかたまりすぎ。利用したくたつて、ほとんど遠いので、意味ない。北にも中学校は欲しいし、施設もほしい。
- ・ 地域差があると感じます。充実具合がちがう。東地域は色々ない。
- ・ 市報しか情報源がない(かつ市報は高齢者向けばかりの情報という認識)ので、より多チャンネルで発信してほしい。(以前国立市が管理する市民情報交換サイトがあった記憶だが廃れて廃止になった?)
- ・ 旧駅舎のビジョンが中に入らないと見れない。外にビジョンはあるが小さいため、視認しづらい。もっと大きなビジョンで情報を伝えてほしい。様々な子育ての情報を得たい。国立駅南口をでた解放感がとても好きなので、今後の開発に公園があると嬉しい。
- ・ 意見を書くほど、理解が深くないが、子どもの施設は、調整が大変だと思うので、無理せず、気長にがんばって下さい。
- ・ 夜間(夕方)でも明るい状態にして欲しい→電灯
- ・ いつも快適に利用しています。ありがとうございます。
- ・ 楽しく利用させて頂いています
- ・ 特になし (計3件)

【低学年小学生保護者・問 35】

○公園について

- ・ 公園の数が少ない。
- ・ 東に公園を作ってほしい。
- ・ 国立東には公園が少なすぎる 子供達が安心して遊べる場が欲しい
- ・ 谷保周辺の公園が少ない
- ・ 谷保側に公園が少ない、遊具が少ない
- ・ ・公園でBBQをしている人を見かけるのですが…よいのでしょうか?・武蔵国分寺公園のように、花火ができる公園があるとありがたいです(期間限定)・公園のトイレをきれいにしてほしいです。・今年、毛虫がとても多かったので、緑地帯や公園など対策していただきたいです。・自転車道を逆走している方や、歩道とかんちがいする方が多いので、看板や道路表示などわかりやすくしていただきたいです!(危険を感じます。夜間なども)
- ・ 公園(第三公園)の夕方のライトをもっと明るくしてほしい。夕方、野球やサッカー教室や、部活動等で公園を利用している子供たちが多くいるわりに、とても暗くて危険だと思う。
- ・ 公園にゴミが多くあり利用するのがむずかしい日がたまにあります 又、モグラがいて土がボコボコしていたり、砂場にネコのうんちがありました。ガラスもありました。夕方になると外国の方がたむろしておりこわいです。
- ・ 公園のグラウンドに照明があれば良いなと思います。(19時位まで、冬限定でも)
- ・ 公園のトイレがもう少し新しいと使いやすい
- ・ 公園のトイレが暗くて汚いので新しくして頂きたいです。(第3公園、カバ公園)
- ・ 公園のトイレを明るくしてほしい
- ・ 公園の滑り台などの遊具が撤去されて寂しくなった。子どもが楽しく遊べる遊具を増やして欲しい。

- ・ 公園の和式トイレを洋式トイレにしてほしい。
- ・ 第三公園のグランド照明があると良い
- ・ 第二公園(国立市北)は夏場草がかなり伸び、遊びができるスペースが少なくなるため、草刈の頻度を上げてほしいです。
- ・ 砂場が草だらけで遊べない公園があるが必要ないと思う。
- ・ 谷保第3公園について 祝日・休日に関して大人の野球利用を禁止してほしい。子どもが遊べないし、大声で騒いでいてうるさい。路駐もありマナーが悪い。子どもの野球チームの練習は良いが、大人のマナーの悪さが目立つ。
- ・ 公園の遊具を整備してほしい 西児童公園→ブランコを利用不可にしたままなので、修理後利用可にしてほしい
- ・ 公園の遊具を新しいものにしてほしい
- ・ 第3公園のすべり台を復活して欲しい(最近なくなったブランコも)。ローラーすべり台でも良いです。
- ・ バasketゴールのある公園がない。北第一につくってほしい。スケボとかできる場所があるといい。
- ・ ブランコや滑り台が使えなくなっているので悲しいです。
- ・ 子供は時計を身に着けないので、すべての公園に時計を設置して欲しい。遊具を点検しているのか謎なので、点検完了シールを貼るなりホームページで点検状況を公開して欲しい。
- ・ 古くなった遊具が撤去されたまま、新しい遊具の設置がなく、子供にとって少し魅力に欠ける様子が見受けられました。(すべり台、谷保第3公園)
- ・ 中ふれあいをよく使うのですが、ブランコとか鉄ぼうなどが増えたらうれしいなと思います。
- ・ 公園のトイレをきれいにしてほしい。大きな遊具(小学生も楽しめる)を設置してほしい。ボール遊びができる広々した公園がほしい。木登りなど、自然の中で遊べる環境がほしい。
- ・ キレイな公園が多く、楽しく遊んでいます。ありがとうございます。
- ・ 魅力的な遊具のある公園は限られている。夏場の雑草がすごすぎて、蚊がたくさんいるので、行きたくなくなる。もう少しこまめに刈ってほしい。国立は公園も多く、夏は水遊びも出来るので、助かっている保護者は多いと思う。
- ・ 公園の芝生化。屋外でのナイターでスポーツができるところを増やして欲しい。子どもの声がうるさいなど、近隣住民のクレームが多くて、体育館なども使いづらく困っている。
- ・ 公園の土埃がひどくて困るので、できれば芝生にしてもらいたい。
- ・ 公園の遊具が少ない。木や緑が多いのは良いが、蜂や蚊が多く危険。暗い(国立市全体的に)矢川プラスと国立駅南口だと、どちらも我が家からだ距離があるので利用しにくい。
- ・ 公園の遊具も少なく、一番近くの公園はボールもつかえないので、あきてしまう。
- ・ 公園の遊具をアスレチックみたいなものや大型のものなども設置してほしいです。下水処理場の所など広くて良いので遊具がもっとたくさんあっても良いと思います。
- ・ 大きい公園が少なくもの足りない。又トイレのない公園も。遊具別に公園をはしごしないといけない場合もある。ボールや自転車練習できる場も近くにない。
- ・ 遊園とは名ばかりで、遊具もなく、又は少なく、遊びたいと思えない遊園が多い。
- ・ アスレチック遊具を増やして欲しい ボール遊び可能、花火可能な公園を増やしてほしい
- ・ ボールを使って遊べる公園が欲しい
- ・ ボールを思いっきり使って遊べる公園がほしいです。小さい幼児の子と小学校高学年の子と一緒に安全に遊べる公園あったら最高です。
- ・ ボール遊びができないなど、遊びに制限があり、自由に遊ぶことが難しい。
- ・ ボール遊びができる公園がもっとあると良い
- ・ もっと激しい遊びができる遊具を整備してほしい。大きなローラー滑り台がほしい。壁当てができるような壁が欲しい。外にBasketゴールがあると良い。
- ・ サッカーできる公園が少なすぎる。フットサルできる有料でも良いので施設が欲しい。(テニスコートみたいな)せめてボールを打ち込めるゴールかかべをお願いします。
- ・ 海外の公園によくある様な、地面を「ゴム舗装」にしてほしい。土や砂だと、デコボコで車輪が埋もれて動けなくなったり、雨上がりだとぬかるんですぐに(乾かないと)遊べないので。また、ゴム舗装だとところんだ際のケガも軽度ですむなどメリットが多く思います。
- ・ 先日、ボール使用可の公園で子供達とサッカーをしていたところ、ボール遊びをするなど注意され、警察まで呼ばれてしまいました。子供達が安心して遊べる公園が欲しいです。特にサッカーが伸び伸びできる場所が河川敷しかないので、フットサルコートのようなものでも良いので作って欲しいです。

- ・ ナイター設備のある人工芝のサッカー場がほしい
- ・ 国立市は本当に子どもが遊べる公園が少ないと思う。少し遠くまでいけば大きな公園があるけど、小さい子を持つ親はすぐ近くにあることのほうがうれしいです。
- ・ 日陰が少ないには、日よけがほしい。 国立駅周辺に公園があるとよい
- ・ 子どもたちが球技ができる場所を増やしてほしい
- ・ 車で行ける公園がほしい。自転車や一輪車、スケートボードやローラブレードなどの練習ができる施設があるといい。屋根が広くある公園の整備をしていただきたい。
- ・ 国立駅近くには公園がなく、ボールをつかってあそべる場所もないので多子は下の子をつれて遠くまで出かけなければならず不便です。昔は光町に公園がありましたが今はないので子供が友人と北第一公園まで行くと行った時はしばらくついて行きました。小1からあそべるスペースがあると安心です。
- ・ 東は公園が少なく、数少ない公園の遊具がどんどん少なくなっています。遊具の整備、設置をお願いします。
- ・ 甲州街道と日野バイパスの間に広い遊具有りの明るい公園があるといいですね
- ・ 土日は、第3公園は野球で貸し切りが多く、遊べない。小学校などで、野球の貸し切りをして、公園は、使えるようになってほしい。
- ・ 東エリアにまともな広さの公園を作って欲しい。遊園は公園とは似て非なるものです。不可能であれば、校庭開放して欲しい
- ・ 東に在宅しています。公園(遊具)を充実させてほしいです。
- ・ 地区によって公園の広さ充実度が違う。東地区での公園・遊び場を拡充してほしい。大学施設(ラグビー場)の休遊地のレンタルはできないのか？
- ・ 工事中のため、東の公園が少ない。東に子どもたちが自由に遊べる場所が少ない。特に雨の際、公園などに屋根のある場所も作って欲しい。
- ・ 子供の遊具が少ないように感じる。公園でタバコを吸う人が多いように思うのが残念
- ・ 体を動かせる広い場所とアスレチックのような遊具がある公園がほしい←ボールなどもっと自由にできる、花火ができるなど。

○図書館について

- ・ 図書館を駅の方に移動してほしい。 駐輪場3時間無料にしてほしい。
- ・ 図書館が古すぎる
- ・ 図書館に小学校低学年程度対象の本をもっと増やして欲しい。(幼児の絵本や小学校高学年対象の文庫本に比べ少ない印象があります。)
- ・ 図書館の学習スペースが少ない。大きい机などあるものの、高齢の方々占拠して勉強しようにも肩身が狭い。学校帰りの子供たちが宿題や読書ができるようなスペースがほしい。
- ・ 図書館の本が古く、汚れている。公園の遊具の中で、高さがあり落下事故が多い遊具がある(谷保第六公園)
- ・ 図書館の本を充実してほしい。 中高生が静かに勉強できるスペースがほしい。 矢川プラスのような施設が谷保地域にもほしい。
- ・ 図書館の本を増やして欲しい。
- ・ 図書館をもっと大きく、綺麗にして、本を充実させてもらいたいです。国立市の図書館は暗くて狭く、駐車場もほとんどないですし、子どもたちも保護者も魅力に感じにくいと思います。羽村市の図書館は子どものコーナーも充実しており、とても魅力的でした。子どもたちには本を身近に感じてもらいたいです。出来るだけ早く図書館を作ってもらいたいです。
- ・ 文教地区というわりには、図書館はあまり魅力的になっていない。スタッフのアイデアや心配りに依存してあまり予算をかけている感じがしない。蔵書も、絵本に関しては検索して、ないことも多い。足を向けたいと思う空間になっただけと思う。
- ・ 文教地区なので、図書館はもっと大きくてキレイで充実した本が沢山あるところが駅前にほしい。
- ・ 北市民プラザの児童書コーナーを充実させてほしい。児童向けの文庫シリーズなども置いて欲しい。子供の科学を購読して欲しい。
- ・ 北市民プラザの図書館の蔵書が古い。リクエストを出すと届けてくれるのはありがたいが、新しい本と出会えない。先日中央図書館に行ったら、蔵書は新しいし、種類も多いし、子供むけの本(小説系)もたくさんあるし、天国の様だった。東の図書館はせまくて小さいのに、蔵書のセンスが大変良く、とにかく北との差がはげしい。悲しい。

- ・中央図書館をリノベーションして欲しい。新しい本を置いて欲しい。子供が、武蔵野市に住んでいた頃は図書館が好きだったのですが、あまり図書館に行きたがらなくなりました。子ラボステーションにも図書館が欲しい。

○矢川プラスなどについて

- ・矢川プラスの開館時間をもっと早くしてほしい。10時からではすぐお昼になってしまうので、小さい子が(子連れの母も)ゆっくりできない。公園などには9時ごろから出かけるご家庭もあるので、9時から開けてほしい。あと、休館日をなくしてほしい。他市の児童館は年末年始の3日間以外はいつでも開いていると聞いて、「いつでも」っていいなと感じました。
- ・矢川プラスの外にある、山が危ない。小学生だけで遊んでいるのを見ると押したりひっぱったりで大人の目が常に届く場所がない。
- ・矢川プラスは、子どもが行くたびに大変喜び楽しそうに活動でき、また駅から近くて雨の日も行きやすく、大変感謝しています。できれば駐輪スペースをもう少し多く設けていただけるとありがたいです。
- ・矢川プラスはとても気に入って親子で利用しています。ありがたい施設です。公園のトイレを新しくして欲しいです。
- ・矢川プラスは子供が学校から帰ってきて、友達と遊びに行くので、いい施設ができたと思っています。休日の学校の校庭、体育館の開放は、あまり情報として入ってこないのも使えるなら子供のあそび場として使用させたい。
- ・矢川プラスは良いが遠くて利用しづらい。子供だけで向かえるよう、3小前やファミリーマート(三小通り)からバスを出して欲しい。体育館開放を休みなく行って欲しい。
- ・矢川プラスをよく利用します。職員の方の見守りの目、声かけなどして下さるので安心して遊ばせることができます。
- ・矢川プラスの充実度がすばらしいです。雨の日やちょっとした時間でも利用できるのも、よく使っています。中央図書館をもう少し使いやすい建物に建てかえてほしい。駐車場もほしいです。
- ・児童館と違い、矢川プラスの利用者は子供たちだけではないので、外の広場は人の目が届きづらいので防犯面が少し心配です。
- ・児童館を駅周辺にもつくってほしい。遠くて行けない。
- ・問33(9)児童館について「東児童館」を整備してほしい。

○トイレやごみ箱など衛生について

- ・トイレを安全で清潔に使いやすくして欲しい / トイレを明るくキレイに整備してもらいたい。(計4件)
- ・ゴミ箱がほしい。

○その他、全般について

- ・学校が遠い。特に、中学校が遠い。南にかたまりすぎ。北にも、中学校設立してほしい。それが出来ないなら、自転車の許可を。
- ・北第一公園の東屋を増やして欲しい。遊具側から時計を見やすくして欲しい。児童館が近くに欲しい。(西児童館は一、二年生時は一人で行くのは難しかった)北プラザのテーブル、いすを増やして欲しい。休日の学校の開放があるなら知らせてほしい。ほうかごキッズを悪天候の場合は校舎内で行ってほしい。図書館の本を増やして欲しい。
- ・公園…見守りの人の設置。小学生向けの遊具・アスレチック。矢川プラス…ブックマラソンの本を取扱いしてほしい。武蔵野プレイスのように子供を見守りながらお茶が飲めるカフェをつくってほしい。
- ・公園トイレに入りづらい。採光や換気を工夫して欲しい。矢川プラスができて、友達と遊ぶ場として安心して送り出せるようになった。約束なしに遊びに行っても、友達と遊べるようになった。中央図書館は学区外で親が連れて行かないと一人では行けない。学区内の分室は開館時間が短すぎて使ったことがない。移動図書館も検討して欲しい。
- ・公園に不審者が出にくいよう大人の見守りがほしい。公園にカフェの東屋、オムツ替えスペースをつくってほしい。公園の矢川プラスにお昼の時間、キッチンカーにきてほしい。
- ・公園の遊具が古かったり、汚い。数は多くあるけど、雰囲気や暗くて行きたいと思わない所がある。市の施設や公園の行事・イベントなど何がいつでもどこであるかわかりやすく情報をもらいたい。自分から探さないとわからない事が多い。
- ・第3公園のグラウンドが野球で使われることが多く、別のスポーツをやるスペースが少ないと感じます。また、子どもが乳児の際、ノワができる前で、国立駅周辺に、おむつ替えスペースがなくて困りました。授乳スペースもないので。中ふれあい公園にもトイレがあると助かります。周辺にないので。
- ・安心してあそべる身近な公園が少ないと思います。雨の日にあそべる施設がもっとあるとうれしいです。
- ・国立駅の近くに公園が少ない。小学生が子どもたちだけで行っても安全でおもいきり遊べる公園があるとよい。市

全体で鉄棒のある公園も少ない。鉄棒がある公園がほしい。矢川プラスのように、小学生も乳幼児も一緒に安心して遊べる場所が駅前にできるのはありがたいです。「子らぼステーション」で本もかりられるとよいです。

- ・ 東には、遊べる公園が 1 つしかないので子どもにとって住みやすい環境ではないと思う。市の施設とはどこですか？矢川プラスは遠すぎます。活用できません。
- ・ 図書館の蔵書を充実してほしいです。読みたい本がなくがっかりして子が帰ってきました。谷保第六公園の遊具をふやしてほしいです。いつもキレイに手入れして下さってありがたいです。ただ公園のポイ捨てが多いため周知徹底していただきたいです。
- ・ 図書館の本の種類をふやしてほしい スケートボードができる公園がほしい サッカー場がほしい 東のエリアには広めの公園が少ない
- ・ 図書館や屋内で遊べる施設は、雨の日に利用したいこともあるので、バスの便が良かったり、近隣のコインパーキングが割引になるなど徒歩や自転車以外でも利用しやすいとうれしいです。
- ・ 図書館や芸小ホールなどは年に何度も、月 1~2 回位のペースで利用している。仕事や学校、学童があると行ける日が限られ、開いている時間が短く、利用したくてもできないことが多くなった。(幼児期と比べて)市の施設周辺が街灯が少なくどこも暗い印象。公園のトイレが古く汚い
- ・ 図書館をもう少し近代的に使いやすい施設に改築してほしい。施設が古く利用しにくい。武蔵野市の武蔵野プレイスやこども本の森のような。居心地の良い環境にしてほしい。国立市には勉強やカルチャースクールなどで、居心地良く利用できる場所が少ないので、小さな子どもだけでなく老若男女が利用しやすい環境を整えてほしい。駅前の施設も、子育て特化の空間より、武蔵野プレイスみたいなほうが誰でも利用でき、有効だと思う。子育てばかり重視しているように見えるが、市民誰でも心地よく活用できる空間を望みます。
- ・ スポーツ施設は、教室などが平日昼間の時間に設定されている場合が多く、利用しづらい。平日夜または土日にもあるとうれしい。
- ・ 北市民プラザと併設の図書館をよく利用するが、省エネ目的と思われるが照明が暗く設備も古いためイメージがあまり良くない。周辺の子供達は待合場所の机で 21 時くらいまで勉強をするなど、土日祝を問わずかなり利用頻度が高い施設で、少なくとも照明を明るくしてあげて欲しい。また、自習スペースではなく自習室を作ってあげて欲しい。図書館の自習スペースはすぐに埋まってしまうし、ロビースペースも許容が 10 名以下(各テーブルで埋まると 5 名程度)のため、自宅に学習の場所が確保できない子達の行き場所がかなり限られている。また、小学校低学年の子たちの放課後に集まれる場所が公園以外に少なく相談しながら宿題や課題を進めるための場所が学校以外無く、学校も放課後キッズが無ければ昔のように学校内を利用できないため、実質誰かの家となるため自由に利用できる場所が4小学区の子たちには少ないと思われる。
- ・ 室内でおもいっきりあそべる場をふやして欲しい！
- ・ 駐車場等がないため利用しづらい。 禁止事項が多く、まわりの住民からの苦情等により、子供を遊ばせにくい環境
- ・ 34(国立駅南口子育て支援施設)みたいな施設を甲州街道より南に作ってほしい
- ・ ごみが多かったり夕方の小学生の使い方が危なかったりする。
- ・ テニスの壁打ちスペースがもっとあったら嬉しいです。(計 2 件)
- ・ どの施設においても、駐車スペースの充実を希望致します。
- ・ 暗がりがないこと
- ・ 雨天でも遊べる場所が谷保方面にもほしい。
- ・ 駅前にできるのは、未就学児を対象とした施設と思われますが、小中学生も楽しめるように、矢川プラスのような読書スペースがあると嬉しいです。
- ・ 駅前をよく利用しますが、子供の興味を惹くようなスペースや施設があまりないように感じる。公園の遊具がもっと充実しているとよい。
- ・ 夏は炎天下の中であそびになるので、屋外であれば日よけの屋根のある場所を多めに作ってほしい。安全な遊具がほしい。
- ・ 夏は蚊が多すぎて使用できない。蚊を媒介して病気が流行らないか心配
- ・ 家族や子どもたちの安心して過ごせる居場所になるといい
- ・ 各児童館にも、矢川プラスのように漫画を置いて欲しい。校庭開放の連絡に 2 小も載せて欲しい。(ほぼ毎週解放しているとは知らなかった)
- ・ 楽しい公園がない。国立駅が遠くて利用しづらい。

- ・ 休日の学校の校庭開放や体育館開放について学校別に開放している日をすぐ一で配信してほしい。利用の仕方が分からない人が多いような気がします。体育館利用の場合、バスケットゴールやバドミントンのネットを使用していいのかなど分からない点が多く利用できないでいます。
- ・ 休日の学校開放はしていないと思う。特に学校からの案内もない。低学年のうちは、親もついていく必要がありそうだが入れるのか不明。意外と幼稚園時代の方が遊べる施設も多く、そこに行けば同年代と遊べた。小学校になると友人と遊びたくても遊ぶ場所がない。WIFI が使えたり、勉強が友人とできたり、雨・風・寒さがしのげたらいいなあと思う。図書館に学習スペースやまんが、子供が好きそうな本がもっとあってもいいと思う。
- ・ 休日の学校校庭開放があることを全く知りませんでした。 開放日があれば利用したいです。
- ・ 公民館の予約がなかなかとれないため、もう少し予約の幅を広げてほしい
- ・ 公民館は高齢者向けの感じでそもそも行きづらい 公園で遊具やボール遊びをおもいきりできる場が欲しい 子どもが肩身狭くなりがちの世の中なので地域の人は温かく見守ってほしい
- ・ 広さに余裕があれば駐車場が完備されたり、数分だけでもおける場所があると便利だなと思います。近隣の駐車場と提携するのもいいのかな…。
- ・ 国立駅周辺に自転車で行く時に、降りて自転車を押すのが子どもを乗せていると危ない(転倒しそうになる)事があるのでなるべく迂回しています。車道を走るのが良いのか、自転車にまたいでゆっくりいけば良いのか(注意されたことがあります)いつも悩みます。あと子供がいると自転車必須なので、駅近に駐輪場がもっと欲しいです！！(東側)
- ・ 国立駅南口施設は、ターゲットが乳幼児に偏りすぎて、子どもが就学年齢になると、正直、魅力を感じない。乳幼児～低学年向けの中心施設として矢川プラスがあり、十分だと思う。国立駅南口は、むしろヤングアダルト層をメインターゲットにした方がよい。
- ・ 国立駅付近には、子供が安全に遊べる場・集える場がなかったため、2025 年オープンの子育て支援施設には、大いに期待しています。 駅近くということもあり、不特定の大人が出入り出来てしまう懸念もあり、子育て世代や地域の人々が安心して利用できるルールや運営を求めます。
- ・ 国立市は、小さいのに施設は充実していると思います。特に体育館のプールを活用しています。よくお会いする方(お年寄り)とも顔見知りになり、こどもと会話をいただいています。
- ・ 国立市東地区の子どもはどこで遊べばいいですか？ボールを使う、走る、大声で笑う、どこでしたらいいですか？トイレがキレイで安全なむさし国分寺公園のような管理された公園を作って下さい。
- ・ 国立市北在住ですと、西児童館までの距離でも子どもだけで行かせるのは不安があります。子どもだけでも安心安全に往復し楽しく過ごせるような施設が必要と思います。できましたら北市民プラザが矢川プラスのような施設になるといいです。立東福祉館、北市民プラザ、北福祉館のテコ入れを希望します。
- ・ 砂ぼこりがひどい。芝がほしい。スプリンクラーとか水をまいてほしい。
- ・ 最近テニスコートを利用することにしたが、いつも予約いっぱい取れない。なのにその時間に使用されていないことが多々ある。新規でコート予約する人にはかなり厳しいので、回数制限なり、もう少し対策して頂けるとありがたいです。矢川プラスは大盛況でよいと思う。図書館の本、新しいものも入れて欲しい。
- ・ 子どもが静かに自習できるスペースが市の施設にあると良い。矢川プラスに自習スペースができたが、他の利用者の声がうるさくて自習・勉強に向かないと子どもが言っていた。
- ・ 子どもたちがボール(サッカー)を使える場所をふやしてほしい。先日、第一団地内の金網内のグラウンドでサッカーをしていたら、団地の方に「うるさい、私有地なので出ていってほしい。」と言われたようです。第 3 公園も団体利用することが多くサッカーができなくて帰ってきました。もう少しのびのびと子ども達がボールを使える場所が、増えるといいなあと思います。
- ・ 子どもたちだけで遊んでいても安心な防犯システムの強化をしてほしいです。ボール遊びや手持ち花火の自由ももっとあればと思います。
- ・ 子供が、のびのびとボール遊べる広場があると良いと思います。また、駅近くであれば利用手段の連絡バスがあると良いと思います。
- ・ 子供が勉強できる場所を作って欲しいです。自習がちゃんと出来るよう市で力を入れて教育をして欲しいです。
- ・ 施設や公園(特に公園)の利用ルールがわからない、あるいは実態に即していない。例えば、公園での花火については申請方式になっているようだが、実際は申請無しで利用している方も多くみられる。「公園での花火を禁止して欲しい」という事ではなく、少人数の手持ち花火であれば申請を簡略化できる等利用しやすくして欲しい。
- ・ 施設や公園の遊具全てが古く、子供がいきたくなるような施設になっていない。国立市の施設は府中市、立川市などに比べ、全てが劣っている。わが家でも国立市の施設は利用せず、他市の施設を利用している現状である。

- ・ 児童館のリニューアル 駐輪場に屋根をつける 公園のトイレもつときれいに利用しやすくバリアフリーに。
- ・ 室内、室外施設ともに、ちょっとすわれたり、ちょっと荷物をおいたりできるイスやテーブルが少ない。増やしてほしい。芸小ホール前のゴリラ公園内の石のオブジェ(噴水)は、子どもがのぼりたくなるのは仕方がない見たくてしている、どうしたものかと思っている。イスやテーブルがある場所には日よけを作ってほしい。また、夏季は室外遊具が熱すぎて実質利用できないので困っている。図書館の土日の開館時間をのばしてほしい。
- ・ 室内で子どもが遊べる施設が西の方にも欲しい 西児童館は狭く汚れていて放課後安心して遊ばせられる雰囲気ではない。
- ・ 習い事での利用になりますが、第三公園の利用時間の終了時間が早すぎる。照明の利用禁止等、最近ルールが厳しくなった事に疑問を感じる。子供達が放課後の有意義な時間を過ごせるように考えてほしい
- ・ 小学校高学年～中学生が外で遊べる遊具があると嬉しい
- ・ 小学生がボール遊びができる公園や体育館開放を希望。幼児向け施設では小学生は自由にはしり回ることもできない。ボール遊びを禁止している公園が多すぎる。
- ・ 小学低学年が安心して遊べる場がほしい。特に土日。
- ・ 数が多く、どこも自然豊かでとても充実していると思っています。
- ・ 西児童館をよく利用します。にぎわっていて、スタッフの方も親切でとてもアットホームでいいところだと思います。公園は整備されていますが、全体的にトイレが汚いのが気になります。特に北第 1 公園、矢川上公園など、子どもが急にトイレに行きたい！と言っても入るのをためらってしまいます。
- ・ 全体的に大変充実したためぐまれた施設がそろっていると考えています。
- ・ 第 5 小学校に行かせています。学童の時、児童館と学校の両方になっています。人数が多い為、学校で行なうことになっていますが、不定期の為、どちらかに決めてほしいです。子供がまちがってあぶない。※学童の連絡ノートもかなり間違っている。
- ・ 谷保駅周辺に施設が少ない 国立駅周辺に施設が集中している
- ・ 谷保地域の遊歩道など、通学路にも関わらず木がうっそうとして暗いところがあるので、マメに伐採するなどメンテナンスしてほしい
- ・ 知的障害、発達障害の子も気兼ねなく通えるところだと良いと思う。交流できるイベントなど。普段、市報などと一緒に、どのような案内が来たとしても【うちの子には無理かな】【対象学年ではあるけど、うちの子は対象にしてないな】と思って参加したことはない。
- ・ 地域集会施設の前予約は限られた日程で現地に行く必要があり、仕事をしていると予約にいきません。市役所や市民プラザでの予約受付、web での予約受付を実施してほしい。
- ・ 中の近くにはすべり台ひとつしかない公園があるだけなので、複数の遊具がある手入れの行き届いた楽しい公園にしてほしい 西児童館にも、おもちゃのおへやや乳幼児のおへやがほしい 児童館ではシーズン、行事の制作の企画などを積極的にやってほしい ママ友を作る場にしてほしい
- ・ 中高生のための魅力ある使いやすい居場所をさらに拡充してほしい。(矢川プラスのような施設) もし既にあるのだとしたら、中高生に向けて PR してほしい。我が家の上の子(中学生)は、友達とショッピングモールばかりに行きたがりますが、親としては公共施設で学生が友達と一緒に楽しめる場所を望みます。
- ・ 駐車場利用できると助かります
- ・ 駐輪場には屋根が欲しい
- ・ 駐輪場代も利用者にお得になるようにしてほしい
- ・ 鉄棒が小学生向きの高さなので、幼稚園児用に低いのがあったら嬉しい。夏の水遊び開始日を 1 週間くらい早めてほしい。憩いの広場(6 小のとりに)に遊具がもう少しほしい。緑川東公園にトイレがあると良い。我が子は大きくなったので今はあまり関係ないのですが、未就園児の子どもが遊具で遊んでいるのに(例えば上公園や緑川東公園の滑り台で)、小学生がそこで遠慮なく鬼ごっこをして遊んでいる。小さい子が危険なので、そういった状況になったときのマナーを小学生にはもってもらいたい。必然的に小さい子が場所を移動するしかなく、当時は残念に思った。限られた遊びしかできない小さい子を優先する気持ちをもってもらいたい。
- ・ 東に在住しています。くにっこが無くなり子どもだけで駅や西方面(立川)に行く場合に不便になってしまいました。
- ・ 東地区には児童館がなく、公園も少ないため、子供を安心して遊ばせることができる施設を作ってほしいです。(今は低学年で学童を利用していますが、学年があがり学童を利用しなくなった際に、放課後に子供が安全に過ごせる自宅以外の場所が欲しいです)。児童館や公園で土日に開催する子供イベントでも申込みが先着順で申込みが平日スタートのものが多く、平日に児童館ではない学童に通っていると申込みすらできないことが多く、参加できな

いイベントが多いため、申込み方法を改善してほしいです。

- ・ 二小が工事をしていることもあり、国立市内にサッカーができる施設がもっとあったらいいなと思います。
- ・ 福祉センターや防災センターは母子で集まる際に利用することがあるが、現地予約、かつ予約時間が短いのが難点。その場に行かないと予約状況の把握ができないのも難点。
- ・ 変質者が度々出るので、本当に不安です。 こどもだけでも安心して遊べるイベントや見守りしてくれる人がいたら助かります。両親共にほとんどフルタイムで働き、他に頼れる人はいないので、休みの日もヘトヘトです。学校行事と病欠で、有給は使い果たしました。ゆとりをもってこどもと接することができれば良いのですが、日々精一杯です。ご縁があり家を買ったので、市のサービスが豊かになり、本当に国立市で子育てして良かった！と思いたいです。矢川プラスは本当にありがたいです。
- ・ 北には児童館や市の施設が少なく行事やイベントがもう少し充実すると嬉しいです。
- ・ 北市民プラザなどの施設をもっと充実させて欲しい。
- ・ 無料の駐車場がほしい。
- ・ 有料でいいので駐車場がほしいです。
- ・ 遊びに関する施設がほしい
- ・ 遊具が少ない。(ほぼない)トイレがきたない、暗い→公園のこと 図書の本が少ない、読むスペース(イス)が少ない
- ・ 利用申込について、申込用紙を提出する以外のネット活用。 子育て中は出かけるのがたいへんな状況の人もいるので。 また、乳幼児向けの設備の充実。
- ・ 綺麗なトイレだと嬉しいです。 あとテーブルと椅子とかあったら最高です。
- ・ 禁煙を徹底してほしい。
- ・ 近くに住んでいるので、自分はすぐに行けるが違法駐車、駐輪が増えることが懸念
- ・ 市役所喫煙所隣と元々ATM 機があった所の駐輪場に屋根があってほしいです。 国立市自転車駐車場 IC カード(定期券)ですが、仕事上利用しない月がある場合、返却後再発行する時はまた市役所に行く事になってますが、そのままチャージすれば使えるようにしてほしいです。返却、再発行は手間です。コロナで在宅勤務も増えているので、柔軟に使用出来ればと思います。
- ・ 給食代、学童代の無償化をお願いしたいです。
- ・ 特になし (計 6 件)







8 インターネットを介した他者とのつながり

インターネットを介した他者とのつながりは、就学前児童保護者では、「ある」の割合が 64.4%、「ない」が 33.7%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。







低学年保護者では、「ある」の割合が 68.1%、「ない」が 29.4%となっており、平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合が増加しています。

【問 インターネットを介した他者とのつながり】

〔就学前児童保護者・問 46〕

回答者数: R5=832 / H30=912	割合 (%)	
ある		64.4%
		62.5%
ない		33.7%
		36.7%
無回答		1.9%
		0.8%

〔低学年保護者・問 36〕

回答者数: R5=408 / H30=489	割合 (%)	
ある		68.1%
		61.1%
ない		29.4%
		38.9%
無回答		2.5%
		0.0%












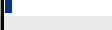






9 インターネットを介したコミュニティにつながる媒体種類

インターネットを介したコミュニティにつながる媒体種類は、就学前児童保護者では、「LINE」の割合が 86.9%と最も高く、次いで「Instagram」が 50.4%、「X(旧 Twitter)」が 32.8%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「Instagram」と「X(旧 Twitter)」の割合が増加しています。



















低学年保護者では、「LINE」の割合が 89.2%と最も高く、次いで「メール」が 42.8%、「Instagram」が 36.7%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「Instagram」と「X(旧 Twitter)」の割合が増加しています。

【問 インターネットを介したコミュニティにつながる媒体種類】

〔就学前児童保護者・問 46-1〕

回答者数: R5=536 / H30=570	割合 (%)	
インターネット掲示板		6.2%
		6.3%
メール		25.6%
		44.2%
LINE		86.9%
		87.9%
X(旧 Twitter)		32.8%
		13.5%
Facebook		21.1%
		38.8%
Instagram		50.4%
		31.8%
TikTok		1.9%
		-
その他		3.0%
		1.2%
無回答		0.0%
		0.2%

〔低学年保護者・問 36-1〕

回答者数: R5=278 / H30=299	割合 (%)	
インターネット掲示板		5.8%
		2.7%
メール		42.8%
		61.2%
LINE		89.2%
		91.0%
X(旧 Twitter)		24.8%
		10.0%
Facebook		22.3%
		34.4%
Instagram		36.7%
		20.7%
TikTok		2.9%
		-
その他		2.9%
		0.0%
無回答		0.0%
		0.7%

10 インターネットを介して他者とつながりを持つことへのハードル

【問 インターネットを介して他者とつながりを持つことへのハードル】

[就学前児童保護者・問 46-2]

- ・ 会ったこともない人に非難されたり、比べたり、余計なあせりを感じたくない為インターネット上のつながりはしたくない
- ・ 信用性にかける
- ・ 相手がどんな人物か不明なため、不安。利用するつもりもない。
- ・ あまり顔がみえない状況での話は相手のリアクションがわからないため好きではない。
- ・ 顔を見えずどんな人かもわからないのに信用することができない。身近にいる人に相談・共有することの方がよい。
- ・ 顔の見えにくい人と話をするのは苦手です。対人のある関係が少しでもあると安心します。(ネットからでも)
- ・ ハードル:相手の人格、人柄がわからないので、信用してよいか判断ができない為。 上記ハードルをなくす為に、1度面談後はオンラインでの相談を行う等、非対面のチャネルもあってもよいのではないかと考える。
- ・ 顔見知りの人だと良いが、知らない人とつながることに抵抗がある
- ・ 目に見えない人とのつながりに抵抗がある、そこに行く前に、身近な人へ相談すると思うので、私はインターネットでは相談などしないかなと思う、あまり上記の様なコミュニティ媒体をやっていないので…
- ・ 情報発信がこわい、安全性が不安、内容の信頼性
- ・ インターネットのみのつながりに不安を感じる。
- ・ どのような人かわからないため不安
- ・ SNS 利用による個人情報の流出などの不安。自分での投稿はせず、必要な情報を検索して眺めているくらいで調度良い。
- ・ インターネットを介して他者とつながることに対して知らない人と関わることに始めだけ少し不安がある為。不安なことは友人や家族に相談したりすることが多いため
- ・ 自分の状況を共有することで個人情報がどこまで安全か不安。
- ・ 子供教育においてセキュリティ確保がどれだけできているか不安のため。
- ・ 顔がみえない相手なので、不安。
- ・ 個人情報もれる不安 あまり詳しくない(機器関連)
- ・ 会ったことない人とつながるのはハードルが高いです。
- ・ 会ったことない人との交流を望んでいない
- ・ インターネットを介しての他者とのつながりを希望していない。
- ・ ネットを介して他者とつながることに興味がない。
- ・ インターネットを介した実感を伴わないコミュニケーションにあまり興味が持てず、SNS には必要なこと以外ほとんどふれていません
- ・ インターネットはわからない！できない！
- ・ 利用方法が知識不足でよくわからない
- ・ 信用できる相手かわからない。
- ・ 見知らぬ人とやり取りをしてトラブルにまきこまれたりするのがこわいため。
- ・ こわい。
- ・ 個人情報をさらしている気がして、セキュリティ上こわい。
- ・ SNS 上はこわいので育児の話はしません。(自分だけの趣味のコミュニティはあります)
- ・ このアンケートを通じて、「検索」はしょっちゅうするが、「相談」は、ほとんどしたことがないので、相談先を探ることに、時間とエネルギーを使おうと思う。
- ・ 登ログ自体はしているが、あまり活用したりしたいと思える余裕も時間もないです。
- ・ 情報を見ることは多いが、発信する程の時間はない
- ・ 時間がない。余裕がない。個人情報が流出しないか気になる。
- ・ 使用してはいるが時間がないのでみているだけ
- ・ 時間に限りがある。子供が寝てふーとした 21~22 時頃でない自分の時間がないから
- ・ 育児、家事、仕事などで、時間がないので、行っていません。めんどうくさがりなので、ママな方でないと、なかなか

かできないと思っています。 ←行動することが苦にならない方

- ・ハードル(情報量の多さ、誰と話しているのかが見えないこと、実際に子と接していない状況で一般論のアドバイスを受けること)希望(赤ちゃんを育てているとき、家で一人で子供を 2 時間あやしても泣き止まないという状況が辛く感じたので、そういうときに孤独を感じないツールのようなものがあればいいなと思いました。)
- ・今後も利用はしたくない。とくめで相談・回答出来るゆえに、暴言なども多く、余計に心が参りそうなので。
- ・情報流出の心配
- ・個人情報のおうえい、個人を特定されたくない。
- ・プライバシー、個人情報の漏洩による安全性の問題 僅かな情報から特定されてしまうリスク 性被害なども。
- ・顔が見えないため自分だけでなく子どものプライバシーまで知られてしまう可能性があるため
- ・個人情報が流出する。
- ・情報管理、セキュリティの面を十分にしていればより参加したい。
- ・インターネットで個人情報が流出する可能性や個人が特定される可能性があるから利用しない。ただ見ているだけなら利用したい。
- ・親しい友人とのみつながっている。新たに他人とつながろうとは思わない→ネット上で個人情報をあまり他人に教えたくないため。
- ・個人が特定されるのはいや。その恐れがあるのでさけている。他人の発信にまどわされたくない。忙しい。
- ・他者に個人情報を知られたくないため
- ・家庭・プライベートな事をインターネットで相談する事にハードルがある
- ・対面以外では個人的なお話をしないと思います
- ・SNS などにプライベートをさらすのはあまり好きではない。嫉妬をもつ、もたれるの原因になる為。SNS は必要最低限のみ使用する様にしている為、市などのイベント(子供が参加可能)を保育園などを通して知れたら、うれしい。
- ・自分のことは発信しません 検索して調べるのみ つながりたくないです(←ネット上では)
- ・インターネットだと、どこで情報がもれるのか？相手のことがわからないためあまりインターネット経由でのつながりはもてません
- ・知らない人とつながることに抵抗感あり。
- ・知らない情報を知るためにネットは活用するが、知らない人に相談をしてつながりたいとは思わない。相手が行政の職員や行政から委託された者であれば、相談するハードルは低くなると思う。
- ・誤った情報が多い。・多くの情報(子どもの発達、栄養など)を入れすぎて、子育てをしにくいと感じやすい。
- ・ネットの情報は正しいとは限らない。他者もどこまで信用してよいかわからない。
- ・トラブルが生じるリスクがあるため (計 2 件)
- ・他者と間単につながってしまうので悪意やトラブルにまきこまれる可能性がある。情報にふりまわされることもあるので、張り紙や手紙で情報を得る方が安心。
- ・知らない人に自分の子供の情報を勝手に公開されたり、知らなくてもいい情報にふりまわされて、SNS ばかり見る毎日にならなくなるようになるとういかなと思います。
- ・SNS は情報収集のために利用しているが自分の情報は発していない。(同じ子育てをしている友人や子供ができなくて悩んでいる人もいるため)
- ・めんどくさそう
- ・めんどくさい やる時間がない 必要性を感じない
- ・体のひろろ感の解決につながらないような気がする。多少気持ちはスッキリするかもしれないが…
- ・やり方がよく分かっていないだけで、何か機会があれば。
- ・プライバシーが守られるのであれば参加したい
- ・同じ位の月齢の子供を持つ市内の親と気軽に話せる掲示板のようなものがあっても良いと思う。
- ・情報取得する分にはいいが、発信はしないようにしている
- ・参考程度に閲覧することはあっても、素性が分からない、信用のない物・人との繋がりには怖い。
- ・見ることは多いが発信はしません。安全のため。
- ・子供達の世代は SNS 等ネット社会のため、そういった子供に対するネット教養等受講できる機会がほしい
- ・インスタ LIVE で子育て相談
- ・インターネットを介しては、つながりはもちたいと思わない。
- ・十分に周りに相談できる人がいるので ネットを介してつながりを持つ必要がありません

- ・ ネットを使用せずとも、十分他者とつながっているため。
- ・ ハードルはない、ネットで他者とつながりもつ必要性を感じていない
- ・ ハードルは特に感じていない(必要がないため)
- ・ 今のところ必要性を感じないのでつながっていない(LINE はしている)がハードルが高いと感じているわけではない。
- ・ ネットついている時間がない。ネット以外のつながりが充実しているため必要性がない。
- ・ ネット上で自分の情報を出すことに必要性を感じないから。
- ・ 共有する必要性をあまり感じない / 必要性を感じないです / 特に必要性がない (計 8 件)
- ・ 今のところありません / 特になし (計 6 件)

〔低学年小学生保護者・問 36-2〕

- ・ 知らない人に相談したくない。
- ・ 知らない他人に相談しづらい。
- ・ ・状況を説明するのが大変・知らない人とつながるのが不安
- ・ ・相手がどんな人かわからないから
- ・ 相手が分からない人と話したいと思えない。共通の話題もない。
- ・ 相手の顔が見えない場でつながるメリットがまだ感じられていない。必要性や楽しみを見つけられれば参加したい
- ・ 相手の顔も知らず、ネットで自分の心配事などを話したくない。
- ・ 相手の素性がわからないと不安。
- ・ 顔も知らない誰かに何かを相談したいと思わない。子どもが小さい頃は不安がたくさんあったけど小学生になるとそうでもない、先生に話したりできるし、多分今後もネットで人とつながりたいとは思わない
- ・ 公的なものであったら利用してみたいが、知らない人が不特定多数いるところには参加するのが怖い
- ・ プライバシーの保護
- ・ 個人情報をもれるリスクが気になる。 / 個人情報の流出 (計 2 件)
- ・ 情報を出すのに抵抗がある
- ・ 対外的な発信を考えていない。セキュリティの観点により。
- ・ セキュリティや情報の信頼性の担保が難しい。
- ・ 36-1 であるようなアプリを使用しているが、他者とつながるのは面倒であり、今後も自分のみで楽しむ媒体という認識を持っている。LINE で他者とメッセージのやりとりはあるが、あくまでも“つながる”という意識はなく、ただの連絡手段として使用している。
- ・ あまりネットでは重点を置いていない。(色々危ないから)
- ・ インターネットだと、何かを相談した場合に、批判してくる人が必ずいると思うので、リアルなつながりしか信じません。そもそも、ネットで説明しただけで、その人の状況が本当に理解できるとは思えないので、そのような手法ではなく、実際に会って相談の方が信用できます。
- ・ インターネットでつながらなくても身近に何でも話せる人がいる
- ・ インターネットで面識のない人とつながりたいとは思わない、危険な気もする アナログなので スマホが苦手
- ・ インターネットの上げた悩みがどこに拡散されるかわからないため
- ・ インターネットはいい面もあるが、トラブルの元にもなりかねないので見るだけで積極的には利用していません。
- ・ インターネットを介さず友だちとのつながりがあるので必要ではないです。
- ・ ネットついている時間がない。ネット以外のつながりが充実しているため必要性がない。
- ・ ネットでのトラブルが心配です。
- ・ やってみたいとは思いますが、安心、安全か判断が難しい。
- ・ 医師、専門家など講演会があれば参加したい。
- ・ 現在は身近な友人に相談できるので特に不要です。
- ・ 仕事をしていないため、気軽に聞ける人がいない。自分の携帯電話やパソコンの安全性が個人の責任であり、不明な点。(会社勤めの頃は、情報システム部あり、詳しい人も周りにいたので、普通に使っていましたが)
- ・ 子育てと仕事が忙しく日々精一杯です。他者と繋がる余裕はありません。
- ・ 市内でアプリ等で「現在こども食堂でお弁当が〇個余っている」などタイムリーに情報が分かれば、利用したい。
- ・ 時間に余裕がないため

- ・ 自身の発言により誹謗中傷や炎上につながる可能性があることにハードルを感じます。
- ・ 自分から発信することがめんどろ。見る専門。
- ・ 宗教の勧誘や営業がないことを保証して欲しいです。
- ・ 相談には対面等が安心感を感じると思います。
- ・ 他者の情報を SNS で見ることはあるが、発信しようとは思わない
- ・ 入手はするけど発信はしない。
- ・ 悩むことがないので、必要性を感じない
- ・ 否定的な意見がくるかと思うと利用することをちゅうちょする。一度だけ傾聴サービスに電話したが全くつながらずより気持ちが落ちつかなくなった。ただ、聞いてもらえたときはとても救われた気持ちになった。教会のざんげ室のようなものが欲しいと思った。
- ・ 必要なときだけ、参加したいとは思いますが、その時に思い立たないと思う。
- ・ 人とは直接話をしたい。
- ・ 人と会って話すことが安心を感じるから。ネットでのつながりは LINE ぐらいですが、それも情報伝達の為でそれでつながりたいとは思わない
- ・ つながりたいと思わない。
- ・ 現状、特にありません。 / 特に必要性がない / 特にない (計6件)

第13章 子育て施策全般について

1 国立市における子育て環境や支援への満足度

国立市における子育て環境や支援への満足度について、「満足度が低い」を「1」、「満足度が高い」を「5」とした5段階評価で答えていただきました。就学前児童保護者では、「4」と「5」を合わせた『満足度が高い』の割合が41.2%となっています。平成30年度調査と比較すると、『満足度が高い』の割合が8.0ポイント増加しています。

低学年保護者では、『満足度が高い』の割合が31.6%となっており、平成30年度調査と比較すると、『満足度が高い』の割合が0.1ポイント増加しています。

【問 国立市における子育て環境や支援への満足度】

〔就学前児童保護者・問47〕

回答者数: R5=832 / H30=912	割合 (%)	
1 満足度が低い		4.6%
		5.4%
2 ↑		15.3%
		18.1%
3		36.9%
		41.4%
4 ↓		33.5%
		27.9%
5 満足度が高い		7.7%
		5.3%
無回答		2.0%
		2.0%

1=1点、2=2点、3=3点、4=4点、5=5点としたときの平均点: R5=3.25 / H30=3.04

〔低学年保護者・問37〕

回答者数: R5=408 / H30=489	割合 (%)	
1 満足度が低い		7.8%
		4.7%
2 ↑		16.9%
		20.0%
3		39.7%
		42.3%
4 ↓		26.2%
		28.0%
5 満足度が高い		5.4%
		3.5%
無回答		3.9%
		1.4%

1=1点、2=2点、3=3点、4=4点、5=5点としたときの平均点: R5=3.05 / H30=3.01

2 子育て環境や支援への満足度について

【問 子育て環境や支援への満足度について】

〔就学前児童保護者・問 47-1〕

○満足度「1」と回答した方

- ・ 子育ての助成などが少ない。給食費の無料や、学童の金額を安くして欲しい。
- ・ 満足していない。他の市とくらべると、医療は無料ではない事。PTA の加入。小学校等の費用がかかること。支援も少ない。おそい。
- ・ 周りの市に比べ、手当額がひくい。・あそぶ場所が少ない。・谷保駅のパチンコ店周辺の治安が悪い。そばのローソンの喫煙所が歩道に面しており、登下校中の子供等への影響や、副流煙が気になる。
- ・ 周りの市に比べ手当額がひくい。・あそぶ場所が少ない。・谷保駅のローソンの喫煙所からの煙がすごく、めいわく。・小中学生も医療費無料にしてほしい。府中市のように。
- ・ 保育料補助や手当て等、近隣の市に比べると少ない。通っている幼稚園の保育料も国立、国分寺、府中でだいぶ差がある。
- ・ 公園が古いままな所が多い 道路整備がなっていない
- ・ 病児保育が活用しようとも、活用が難しい。(直前のコロナ検査の必須化、場所も 1 ヶ所) 保育園が少ない。(公立の比率が多い)→公立で、子どもがケガをした時の運用マニュアルが作成中ということでつくられていなかった。保ゴ者からの声で急いで作ったとのこと。また、細々と準備、ルール、保ゴ者会等が多すぎる。月曜日は準備が多く、仕事に遅れることもあります。
- ・ 子供の支援を市でうけていると思う感じる場面がないです。一時保育の預り場が少ない、病児保育の数少ない、仏教地区、教育熱心なご家庭は多いですが、それに対しての市の支援少ない。子供が食べれるお店の数が少ないため、結局親の負担がかかる
- ・ 集団検診を世田谷区のように、個別に好きな日時に受けられる様にして欲しい。・集団検診時にオムツのみで待機しないといけないのが残念。・就学前検診時に上半身裸にされて待機はやめてほしい。
- ・ 小児科が少ない 医療費が小学生からかかる。
- ・ 駅周辺に公園がない。児童館もない(少ない) 比べても意味ないが以前都心に住んでいた時は駅近に遊具のある公園が数ヶ所あり、児童館もたくさん選べた。
- ・ 居宅訪問型保育サービスが充実しておらず、ほとんどの子育てサービス教育サービスが利用できないため。
- ・ 今、現在で児童館や支援センターが少ない、古い。他の市町村に比べて足りないと思う
- ・ 三角駅舎にお金をかけるくらいなら他市のように受診の際のサポートをしてほしい。
- ・ 仕事しているので仕方がないが、子ども関連のつながりがもてないこと。頻度が少ない。日々仕事におわれている。経済的余裕のなさ。
- ・ 子育て支援課職員の態度が悪い。人に対して言っているいいことと悪いことがあるのを理解してないのか子どものことを侮辱された。録音したら訴えたいくらいのレベルだったが録音しなかったのであきらめてるがその人がいるとまじで腹が立つ。学童保育での PTA はなくしてほしい。なぜ学童にいれてるかって働いてるからなのになぜ PTA を作った？市の職員がやるようなことを保護者に押しつけないでほしい。
- ・ 市の端なので行政機関が気軽に利用できない。東京都の助成の不活用、活用の遅さ
- ・ 市役所、病児保育で高圧的な対応の方がいらっしや、私も怖い思いをするし、子どもは泣いてしまう
- ・ 市役所職員の態度が悪いこと。一般の社会人や都心の公務員を見習ったほうがいい。子どもや子育て中の親を対象とした公の施設が充実していない。
- ・ 支援を使える人が限られている。移動手段などを考えると行けない。相談の日や時間がとれなくてあきらめた。相談したら努力がたりないと言われさらに落ち込んだ。小児科の予約とれなくて熱だすと国立市の病院はあきらめてる。どこも診てもらえないか、電話つながらない。
- ・ 次男は病気があり長く入院していたり今も治療のため通院していますが、何かと手続きが多く必要で、その際にスムーズにいかないことが多くあります。もっとそれにかかわる仕事をしている人の情報の把握や理解が必要だと思えます。何度も心を痛めています。
- ・ 集団検診を世田谷区のように個別に好きな日時に受けられる様にして欲しい。 集団検診時にオムツのみで待機し

ないといけないのが残念 就学前検診時に上半身裸にさせられて待機はやめて欲しい

- ・障がいや理由に幼児教育にアクセスできない。就労も出来ない。 手当や給付でお金は出るが、必要な支援は望んでも得られない。 相談業務が非常勤職員ばかりで専門性・判断力・継続性・倫理観に欠ける。
- ・新しい取り組みや実現までのスピード感も早い。
- ・他市と比べて、手厚いとは思えない
- ・第3子ですが、上の子と年が6歳離れているという理由で、幼稚園の給食費の補助がまったくもらえません。しかも、市から給食費の補助がでるといってお手紙をもらったのに対象外でした。納得いってません。今年の10月から保護者負担軽減補助金が兄弟の年齢制限がなくなったので、給食費も同じあつかいにしてもらいたいです。
- ・保育園であずけられる時間が19時頃だったり、働いているママへの支援が十分と言えない。図書館も本が少なすぎたり中途半端で利用する気持ちにならない。
- ・未就学にばかり力を入れようとしているように思える。子育ては未就学で終わるわけではない。小学生以上の環境、支援の充実を希望したい
- ・問22、42で前述のとおり。とにかく支援が少ない不親切。ここまで酷いと思わず引越してきたが、立川や国分寺にすれば良かったと後悔している。
- ・立川市や、府中市は、子供へのサポートが手厚い。もっと、見習って下さい。支援の場所をつくる(建てること)事がサポートしている事だと、思いすぎでは？いついつに、子育て支援施設が出来ます！と言われても、「だから何？」と思っている人は、大半かと。とても、多いですよ。
- ・利用したいと思えるものがほとんどない
- ・主に保育園しか利用していないが、その保育園が環境、先生方等素晴らしいため。

○満足度「2」と回答した方

- ・経済的支援
- ・子供にかかる費用、公園の位置や広さ、病院についても国立の南側(谷保や青柳)は見捨てられてるから。
- ・オムツ無料配布など他自治体が行なっていることを国立でも実現できるとありがたいです。せめてオムツのゴミ袋配布があると助かります。市役所で無料配布などしていただけるとさらに満足です。 保育園、年度途中でも入れるようにして欲しいです。 同月齢の赤ちゃんのサークルに入れてうれしかったです。
- ・周りの市と比べて自費ワクチンの値段が高かったり、歯科のフッ素にお金がかかる(他の市の病院は無料が多い)など、医療費が高く、他の市に比べて子どもに良いと思える病院が少ない。 ただ走りまわって遊べる様な、キレイで広い公園や広場がない。
- ・家賃・土地代が高く、住み続けられない ・駐車場も駐輪場も少なくお金がかかる
- ・以前23区内に住んでいた頃と比べると、見劣りする面がある。(医療費・給食費など)
- ・障害者・低所得者・高齢者向けといった社会的弱者はかなり充実しているが、 現役共働き(納税者)の子育て世帯へのサポートが少ないように感じる。 具体的には、平日に座談会を開いたり、給食センターの市民懇談会で実利用者以外(高齢者や法律を盾に文句ばかり言う活動家?)ばかりがコメントしていて、真の利用希望者たる私たちの意見が反映されていないように感じる またグリーゾーンの子どもへの支援や窓口が少ないように感じる。 勤労し納税し、市政に貢献しているものへの報いを感じることができない。 インターネットに精通しているため、情報発信を密にしてほしいし、オンライン手続きを多用してほしい
- ・高齢者を優先している印象。(インフルエンザワクチン助成など) 都が実施しているものを後追いしてるだけの印象。
- ・補助金が少ない
- ・府中は小学生以降も医療費がかからないと聞いています。国立市もなってほしいです。
- ・保育料が高い
- ・保育料が高い、問42と同じ、0-2才も無償化してほしい 保育園はとても良い。矢川プラスも質の良いおもちゃが多く子どもも楽しんでいるため
- ・公園が狭い。自転車道路が少ない。歩行者通路が狭い。子育て補助が近隣よりも手厚い気がする。
- ・公園が少ない
- ・公園の所でも書いたのですか、国立駅付近に公園が少な過ぎると思います。また、他の街に比べて市内の遊具も古く感じてしまいます(友人と出かけた、立川、吉祥寺、新宿、北区との比較なので偏りはあると思いますが)
- ・近くに公園がない。兄弟別園何度もあり理解してもらえてないとても感じた。 ママ友とコミュニケーションとれない。
- ・とにかく公園問題で困っているので・・・ ・他はいい所もたくさんあっても 矢川プラスも遠いし、駅前に今から open しても、もう幼稚園児は利用しづらい(体力的にも、周囲に迷惑かけそうで) ・中の施設よりも外で遊べる場所を

作ってほしい(中だと感染症なども気になり、利用が気になる)

- ・住んでいる地域に公園が多く遊びやすい。・子連れでゆっくり出来る飲食店が無い・補助金(例えば入園補助金・出産祝い金など)の支援が少ないように感じる。
- ・自転車やストライダーの練習をさせる公園がない。(府中に行くことが多い)・駐車スペースのある公園がない。・大学通りの歩行者側を自転車も通るので、子供と歩くのが危ない。木を少なくし、もしくは車道を狭くし、自転車と歩道をきっちりと分けて欲しい。歩道のところに自転車は押して歩けとありますが、子供2人のせて歩いて押すのは重いし、あぶないです。
- ・矢川プラスのような場所を市内に何ヶ所か作って欲しい。小児科医療施設を充実させて欲しい。休日・夜間診療など、気軽に利用できる場所の確保充実。親子で行ける飲食店、キッズメニューの充実。
- ・新しくできた矢川プラスの充実度には満足しているが、利用時間が短く、通園後の利用には向いていない。土日に利用したいと思っても混雑し、小学生がネット遊具で暴れており幼児が利用するには危険を伴っている。駅に新しく施設ができるのはとてもありがたい。年齢に合った施設で、みながのびのびと遊べるような施設になることを願う。
- ・特にコロナ禍に1~3才で感じた事。／子育て中は行動範囲が狭い→駅前等で買い物、休憩、図書、行政手続き、子供のオムツ替え、子供の食事、ハイハイでも遊ぶ、だっこひもから下して遊ばせる／←上記の様な事が国立ではできなかった。→小売店が多いためベビーカーで入りづらい、子供づれが入りづらい店、レストランが多い。駅前等で一括で上記の様な事ができない。／その為、立川、国分寺、武蔵境などは駅ビルや大型店でこれらがそろっていたので、行っていた
- ・コロナだった事もあり、何も無いままもう幼稚園へという感じ。わが家の3番目の子供が、なぜか2番目としてカウントされていた事。不満。セコすぎる。でも給食費のやつはまだ適応されない?など。
- ・一時保育を行っている施設が圧倒的に少ない・産後ケア事業を行う施設が市内にない・保育所が国立駅近辺に少ない(他行政が行っている送迎ステーションを検討して欲しい)・低月齢の乳幼児を遊ばせる場所が国立駅近辺にない・休日、平日夜間も診療してくれる小児科がない
- ・緊急時に預けられる体制が欲しい
- ・親子で通える場やサービスは満足している。しかし、一時預かりの場の少なさや利用できない(満員で)状況が多く利用しづらい。また、幼稚園の預かり保育料の補助が少なく、認定こども園ももっと増やしてほしい。給食費や保育料等金銭的な支援がもっとあればと思う。
- ・“〇才児健診”や“歯科健診”その他子供と一緒に参加する催しの集合時間に疑問を感じる。朝、早めの時間が一番ありがたいのですが、昼頃や、昼すぎのおなががすいたりお昼寝が心配な時間のことが多い。
- ・近くに小児科があまりない。バスなどの路線も限られており、本数も少なく、徒歩で移動するとなると、割と遠い。(病院、市役所、児童館等)自然にもふれあえる大きな公園がほしい。
- ・医療施設が少なすぎる。子供がカゼや熱を出しても病院へ行けない。(発熱外来の予約がすぐ埋まってしまう)市外の病院はネット等が充実しているので、市内の病院へ電話がつながるまでかけ続ける時間がすごくムダです。熱がある時にあたり前に受診できるようにぜひしていただきたいです。
- ・昨年の出産に際して、育サポの利用が充分活用出来なかった。とても残念であり、出産後、苦勞した。サポーター不足。コーディネーター調整不足への不満あり。ファッションサポ、育サポの研修統合には、無理があると思う。対象が全く違っており、支援も似ているようで、全く違う。
- ・産後ケアの不十分さ 母体を回復させる体操、コミュニティが少ない。発達支援、窓口の不十分さ。
- ・出産時の第1子預り保育の助成金を全額もらえなかった。(知らなかったの)その際の市からの回答は、入園時に配布した書面に書いてあるというもの。妊娠届時などにリマインドしてほしいと言ったら、以前他の方からまぎらわしいとの意見があり、リマインドをやめたとの事。リマインドをやめることによってもらえない人が増えると思いますが、そのあたりをもっと熟考して回答頂きたかったです。実際もらえるはずの人が、どの位もらえていないのかはあくさされているのでしょうか?
- ・育休中、国立市で子育てやあそびの場が遠い、きたない、少ないと感じた。
- ・子供が遊べる場所が少ないと思う、駅周辺で催し(子供向けの)があると足を運び易くなると思う。
- ・アクセスのわるさ(谷保矢川ばかり)⇒解消するバス手段がない。だっこひもじゃないとバスにのりにくい、そもそも施設がすくない。児童館は小学生のためのものとなっており、毎月のちらしにカンガルー広場のおしらせもイベントもない。つちのこやだけは、環境もスタッフもイベントもすべてよいので知人にたくさん紹介している。
- ・ベビー用品を気軽に買えるお店が少ない。徒歩で利用するには施設が遠く、車だと駐車場がないことが多い(2人目妊娠中の身としては自転車に乗れず不便ことが多い)ベビーカーでの移動で入りにくいお店が多く(段差や

階段がある)、トイレの利用もできるところが少ない。・大学通りをお散歩できるのは木々もあり、道も整備されていて嬉しい。妊娠時の国立市の支援の説明等は丁寧で分かりやすいので心強かったです。

- ・一人親だが、利用できるものが少ない。(児童扶養手当に該当しない所得だと一人で頑張るしかないんだな、と思っています)・給食を無償化してほしい・子ども食堂も子どもだけでは利用しづらく、親子連れは専業主婦の方が友人同士で来るイメージで、働いている一人親は利用しづらい。お弁当の配布なども、平日の早い時間なので専業主婦しか行けないと思う。結局余裕のある人が利用するサービスだと感じています。
- ・乳幼児や保育園児等、一部の子どもへの支援は充実してきているように感じるが、学童を利用できない子どもや小学校就学以降の大きい子どもに対しても手厚い支援がほしい。・スポーツや芸術等の各種講座が少ない。
- ・認可保育園のカリキュラムが手薄(前居住の国立近隣市では英語、体操、習字、チアダンスや、プール、空手、学研といった民間と提携したカリキュラムがありました)・産前産後ヘルパー派遣事業が、市民の派遣ではなく、事業者から派遣されてほしい(前居住の国立市近隣の自治にはありました)・幼稚園や小中学校の給食が自校式であってほしい・給食費無償化してほしい・医療費 200 円かかる制度の撤廃してほしい
- ・保育園入れない、国立市の怠慢です。・一時保育先が遠い、少ない、予約とれない・公園、小学校、公立保育園 ボロボロ、体育館、図書館もボロボロ・大学通りの自転車レーン(国立高校あたり)の道路がボコボコ、子供乗せると特に危ない・スーパーもびみょう。サミットとかを誘致してほしい。
- ・学童において、スペースの割に児童の人数が多く、また職員の配置も少ない。いつもガヤガヤと落ち着かず、子どもが学童から早く帰りたいがる。働かないと生活できず、仕事内容的に在宅ワークはできないため、学校や学童からの帰りを家で待つことができない。低学年のため、1 人家で過ごす時間を長く持つことが不安である。学童をもう少し落ち着けるスペースにしてほしい。
- ・学童の入所条件がきびしい、働いていないと入れないのでは、就職活動をしづらい。
- ・学童以外で放課後に子供たちが集まれる場所が欲しい(北区域) 矢川プラスの様な施設など
- ・学童保育の質が悪い。施設の狭さ、老朽化がみられる。また、学童指導員の指導の仕方に難がある。適切な人材の確保と育成体制が求められる。
- ・学童保育の場所がもっと増えてほしい。歩道がない道が多いので子どもの通学が心配。小児科が少ない。
- ・0～2 歳児向けのイベントが少ない。以前文京区に住んでいたが、リミック等のイベントが多かった。
- ・イベントや事業たくさんあり充実していると感じますが、北に住んでいると、参加しづらく、なくなるとあきらめます。
- ・文教都市と言われるが、幼児にはずっと厳しかった。今は小1～小3向けのサービスを更に展開してほしい。
- ・以前、家の前で毎日タバコを吸われて困っていると相談した際、最初は親身になって都に相談しましょうと言ってくれた支援センターの女性の方に、都が対応できないと言った瞬間に手のひら返しをして、「決まりなので。自分で自治体とかに相談して下さい。」とつきはなされました。それ以来、市の支援センターには頼らないと決めました。ちなみに立川市では対応少しはしてくれると聞いて国立市にガッカリした次第です。
- ・学園都市で、子育て環境は良い。
- ・基本的に満足。ただ、2021 年 4 月の西児童館の学童保育所の職員が厳しすぎ、学童に通えなくなった。就労にも影響が出て困った。イスを戻さなかっただけでひどく怒られた。もっと愛をもって優しく接して欲しい。
- ・共働き家庭への理解や支援が少ない。
- ・近くに支援施設がない。子どもが小さかったり複数人の場合は車を使いたい駐車場がないので行く気にならない。
- ・私は行ってないが、月齢会があるのと、保健センター？の職員もフレンドリーなので、子どもが生まれて初めて、市にお世話になっていると感じた。色々ありがとうございます。
- ・行政の対応(役場でのフォロー)はとても良いです。しかし、他自治体と比べると、一時保育やトワイライト病児 OK の保育施設が少なく、保育園への送迎サービスもない。子育て世帯へのタクシー助成がない。未就園の間は、近くに祖父母のいない家庭は大変な思いをしそうです。保育園紹介でも FAX メールアドがのっておらず、聴覚障がいでも Tel 不可の私は困ることが多かった。国立の不動産(空家や土地マンション)が高く、子育て世帯がなかなか買えなくなり困っているのでは？
- ・国立駅周辺に子供の遊べる場所がない(南口の施設に期待しています)
- ・今回のような調査を実施されていることには、非常にありがたいと感じております。また、保育園の定員数や空き状況などの情報は、他の自治体よりもわかりやすくまとめられていると感じました。一方で、下記理由により不便を感じています。①人気のある保育園の定員がいっぱいになってしまっており、自宅から距離の遠い保育園を利用しなくてはならない状態になっているため ②幼稚園の預かり保育の時間が短く(17:30 までなど)、両親共働きの場合、必然的に近くの幼稚園ではなく遠くの保育園を利用しなくてはならないため。③保育園の受け入れについて

て、隣接する自治体(立川市・国分寺市)とのやり取りが活発でないのか、条件が厳しいなど越境のハードルが高いと感じるため。

- ・子どもが発達ゆっくりなのですが、特に診断がなくとも療育を受けることができ感謝しております。
- ・子育てには無関心の方が多く気がする。教育水準は高いが、各家庭にゆだねられており、地域で応援する、地域で育てるという考えは根づいていないように感じる。
- ・子育て環境を期待して品川区から転入したが、何れの観点でも満足度は低かった。特に低年齢児童を対象にした環境に満足しなかった。
- ・子育て講座など興味のあるものもあるが、平日の開催が多いので、平日フルタイムで働いていると参加が難しい。
- ・子育て支援施設や市の施設がエリア的に偏っている点。また、産前産後に利用できる子育てクーポンのようなものがなく、23区のような財政的にも余裕のある自治体との還元率の差を感じる。
- ・子育て施設も少なく、大きな公園も遠く、駅前にも遊べる場所がないため、土日に何しよう…とほうにくれることが多いです。祖父母が遠方なので急に子どもを預けることができない。支援サービスは手続きに時間がかかるイメージでややこしそうで利用したことがないです。すぐに利用できるようにわかりやすくしてほしい。
- ・近隣の市(立川や府中)と比べてしまうと、大きな商業施設がない為、子ども向けのイベントが少ないように感じる。矢川プラスを積極的に利用したい気持ちはあるが、3~5歳向けのイベントが少ないように思う。また、友人家族の話を知ると自治体全体的に保育園の教育レベルが高く、小学校入学までの子どもの教育に不安を感じる。
- ・子供が遊ぶ環境をもっと整備してほしい。公園の遊具がショボかったり、古かったりする。
- ・市で開催する習い事が少なすぎる。スイミングや体操教室など、幼児小学校低学年向けにもっとあると選択肢が広がる。
- ・市の施設が全体的に老朽化が気になる。公園が少ない。子供がいると集会所が利用しづらい。(予約受付日に集会所に出向き並んだり、管理人さんの家に鍵を借りに行かなければいけない集会所もある) 無料で気軽に行ける施設が少ない 保育園の数
- ・市役所や定期健診の場所までバスで行く必要がある。バスはベビーカーで乗るときにベビーカーをたたまなければならず、一人で子どもを抱っこしてベビーカーをかついで乗り降りすることは負担に感じる。図書館や児童館、公園も、住宅地エリアに住んでいるわりに、どこも遠くて活用が難しい。駅前の新しい施設はとてもありがたいので楽しみです。
- ・市内の保育園、幼稚園全般にいえることですが、教育に力を入れていない園が多く、課外活動なども熱心に行われていない保育、教育施設が多い印象です(スポーツ、音楽、英語、公文など)。他の市では保育園でも充実した教育内容の園が多く、就学前から大きな差がついてしまう(それも幼保無償化で保護者の負担はさほど変わらない)のは問題だと思います。
- ・児童館や公園が遠い。公立幼稚園がない。妊婦健診ではほぼ毎回けっこうな手出しがあった(病院によるのかもしれないが)。他の、支援の充実していると言われる市と比べるとしょっぱいなと思う。
- ・自ら調べないと、情報をえることが難しいので、なかなか時間のない中で、見つける事ができずに、見のがしてしまう事も多いのか残念です。他施設を利用する人にも情報共有できると、利用者もふえて良いのでは。学校メール、福祉施設にチラシや情報メールをながすなどすれば、年齢に応じた利用者にも、スムーズに、伝わると思う。
- ・周囲の市外の子育て環境よりサポートが手厚い感じがするから。(友人の話聞いての判断になります)
- ・習い事をさせたいと思って国立市内にどんなスクールがあるのかが分からず困ることが多いので、市でまとめてみれるものがあるととてもうれしいです。市からの案内なら安心感もあります。
- ・住んでいるエリア(東)から子育て施設がある谷保・矢川エリアへはやや利便性が悪く、思い立った時や必要な時にすぐに出かけづらくあまり利用していないため。また、約一年前に国立市に転居して、支援等を受ける機会も少なかったため。
- ・充実しているとは感じられない。
- ・障害を持つ子どもが1人でも家族にいと、市の子育て支援事業からは締め出される経験を何度もしてきたから
- ・図書館の蔵書数を児童書、増やしてほしい。電子図書等予約サービスも非常に利用しづらい。
- ・数年前と比較し、子育てへの支援は改善していると感じます。しかし、子育て世帯(共働き)への支援は不十分(緊急時の迎え、料理のヘルプなどを現状より拡充頂きたい)と考えます。産まれてすぐよりも、子供が1才、2才と成長していくにつれての支援を求めます。
- ・正しい情報を得て発信すべき。例えば、ワクチンは毒、ベーキングパウダーは毒、パンは毒といった内容。子どもの健康について何も考えていない。

- ・他の自治体と比べ、遅れていると感じる。補助もまだまだ少なく、第二子への意欲が湧かない。
- ・他市と比べて支援が少ないと思う。子供達が安全に遊べる環境が、減っている
- ・谷川プラスの存在や価値は大きい。また市の広報でたまに子供向けのイベント案内がありとても関心が行く。
- ・同世代の母親が少ないため、孤独を感じやすいから。
- ・日曜日にも利用できる施設があると嬉しいです。
- ・病児保育が少なすぎる、矢川駅周辺にない、利用までの手続きが分かりにくすぎる、聞かないと教えてくれない、不親切なイメージ
- ・文教地区で治安が良い。
- ・文教地区なので国立の公立の小学校、中学校の教育にも力を入れてほしい。これからの時代に向けて公立の小学校からイメージ教育なども取り入れてほしい。
- ・保育園が少ない！入れない！
- ・保育園の待機児童がでている件について、対策してほしい。また、市役所窓口の方(以前からいる男性)対応が不親切。点数に関しても、分かりづらかったり、不満に思う点がある。
- ・保育園の入園ハードルが高い。地方に比べると審査の手間が多いわりに、倍率が高いため、期待が持てない。
- ・保育園申込の際に、育休延長可で不承諾通知を希望出来るのはとてもいい！と思った。矢川プラスの内容の充実さには満足です。無料なのがとても有難いです。保育園の送迎拠点を作ってもらいたい、病児保育を安く、利用しやすくしてほしい！母親のメンテナンスにも注目してもらいたい。申込制でディズニーランドやキッザニアへの遠足ツアー(有料でいいので)バスでつれていってもらいたい。(母子で参加したい)
- ・保育所の数が足りない為フルタイムで働かないと点数が取れず その結果長時間保育となり子供と日常的に過ごす時間が減ってしまうので
- ・保育料2人目無料等、資金面でも市が動いてくれていると感じられるから
- ・スーパーや歩道などを、ベビーカーの通りやすい道にしてほしい。
- ・歩道がせまい道が多い。自転車で子供をのせているとあぶない道が多い。さくら通りの自転車専用道がせますぎて、すれちがう時にいつも危険を感じている。大学通りの様に一方通行にするか幅を広くするべき。税関の関係か図書館が古くて狭い。子どものスペースが少ない。
- ・北地域における環境が満足していない ・幼稚園が遠い(音幼は延長16時までで入れない) ・集会所がない ・駅前や近くに公園がない
- ・幼稚園入園前の時期の子ども(0~3歳)に対するイベントが少ない 国立市より、府中市、国分寺市の方が充実しているように感じたので 特に府中市のイベントには積極的に参加していた しかし、コロナの影響により、別の市のプログラムに参加しづらくなったと感じた。
- ・両親が就労していなくても使える、預かり保育の利用料を数回無料になるクーポンを発行してほしい。
- ・よくわからないから
- ・国立市に住んでいるから子育て支援が特に満足していると感じたことは、いまのところあまりない。

○満足度「3」と回答した方

- ・育児支援金がほしい。税金ばかりとられて、還元されてる感じがしない。
- ・給付金を充実させてほしい 保育料を下げてほしい
- ・金銭的サポートをより充実させて欲しいと思っています。保育園の給食費の負担など軽くするか、無料にして欲しいです。家賃補助等。
- ・経済的な援助を増やして欲しい。減税、給食費無料等
- ・子育てを支援してくれようとしてくれている。小・中の給食や、教科書代の教材費をもっと支援して欲しい。他の市と比べてその支援がうすい。
- ・子供の医療費について小学生も無料にしてほしい。インフルエンザワクチンの補助金も小学生対象にしてほしい。
- ・特別手厚いとも、大きく足りないとも感じていない。
- ・近隣の市と比べて補助金額が低い ・道が狭く、子乗せ自転車で街中を走行したり、子どもだけで自転車に乗って移動させるのが怖い ・川崎市の比較的教育熱心な地域から引っ越してきましたが、国立市では幼稚園や保育園で魅力的を感じる園があまりないと感じた。転園にあたって情報収集をしたが、幼稚園の特長や情報を得にくかった。各園がホームページにあまり力を入れておらず、特色や必要な情報を集めにくかった。川崎市や横浜市の一部エリアでは、「ビタミンママ」という雑誌が販売されており(市が販売しているわけではない)、幼稚園、保育園の情報誌をみながら特色やサービスを比較できたので情報収集しやすかった。昔ながらの雰囲気幼稚園が多く、

目立った特色がある園がないのが残念だった。施設も全体的に小さく古い園が多い。また、子ども園の数も足りないと思う。・子どもと入れる(特にベビーカーのまま)入れる飲食店があまりない・送迎サービスがある民間学童が市内にない。近隣市にあっても国立市が送迎対象外になっている。誘致して欲しい。

- ・ 子供支援金にかんして、他の市と比べると遅れてると思う。
- ・ 昼食が弁当の幼稚園への副食費補助を要望したため。
- ・ 子育ての教育費が高いので補助があれば良い
- ・ そこまで困ったことはないから。もう少し助成金など増えたら嬉しい。
- ・ 一時保育などがなくリフレッシュできない。また任意の予防接種の補助金などが無い。
- ・ 高齢者を優先している印象(インフルエンザワクチン助成など) 国立市独自の取組は特に感じない
- ・ 保育園の給食費や学童にかかる費用を無償化してほしい
- ・ 補助金が少ないから
- ・ 補助金が前の住んでいる地域より少ないから
- ・ 国分寺市や府中市と比較すると、子供の施設の充実度や、補助金の制度など取り組みが少ないように感じる。大学通りは、道が広いが、それ以外は歩道が狭くて、子供達との移動が不便に感じる。
- ・ 相談などはスムーズで対応が良いが、補助金などが少ない。治安はよく住みやすいと思うが、歩道が狭い所が多く、ベビーカーなどでは通りづらい。(計2件)
- ・ 公園がたくさんあってよい。
- ・ 公園が多く、緑もたくさんある。天下一などのイベントもすごくたのしい。子供と一緒に食事がたのしめるレストランやカフェガイドとかあったらほしい!
- ・ 公園に緑が多く、利用しやすいのがあるがたい。
- ・ 公園の遊具がもっと充実してほしい。矢川プラスが出来てかなり助かっている。(土・日やっているので)
- ・ 公園も多く、落ち着いた環境で子育てしやすい場所だと思います。ただ、学童保育所はあきらかに定員オーバーで公園もボール遊びが禁止だったりと過ごす場所、過ごし方が窮屈なように思います。特に二小は工事中ですし、郵政のグラウンドを整備して開放するなど広々とした遊び場所の提供が欲しいです。
- ・ 近所に公園がない ゆうぐが少ない 大きい子が遊んでいるとあぶない(年齢のちがいがいい)
- ・ みりよ局的な施設、公園が少ない。
- ・ 矢川プラス等、新しい環境が出来うれしい。ただ、すごい混雑している時が多く、残念。・インフルエンザワクチンの助成が未就学児までなのを、もっと対象を広げてほしい。(13才まで2回接種が推奨される中、なぜ未就学児までなのか疑問)
- ・ 矢川プラスができ、子供達が気軽に集まり安全に遊べる場が増えとても嬉しいです。より充実していくことを願います。
- ・ 矢川プラスができたことにより、子供が遊ぶ環境が増えたことはとても良かった。全体として、支援など存在していると思うが利用できているケースが多くなく、自分達に合ったサービス等が何であるかが分からないことが多い。
- ・ 矢川プラスができたのはとても嬉しいです。(まだ利用していませんが)
- ・ 矢川プラスができて、遊ぶ場所が増えたのは良かったがフルタイムをしていない私にとって、現時点で利用できる一時保育場所がなく、仕事や通院ができていない。
- ・ 矢川プラスができてからは、そこに子育てに関する情報やイベントなどが一極しているので、もっと矢川プラスに行きやすいようにバスや駐車場の整備がされたら便利になると思う。上の子が部屋の中で走り回ってしまうようなヤンチャ坊主なので、子育て広場に連れて行きにくい。発達障害を抱えている子供でも気軽に遊びに行ける機会や場所があれば利用したい。
- ・ 矢川プラスができて子育て中の遊び場ができて満足。しかし、水遊び場(乳幼児が遊べる)などがあればもっとよい。上公園の噴水はあまり意味ない気がする…。府中の水遊び広場みたいなのが欲しい
- ・ 矢川プラスや駅前に新設される子育て支援施設など、子供と親のために考えて下ってありがたいです。あとは子供を預けやすくなるよう費用の助成や無料になれば、子育ての苦労が軽減します。より良くなるための期待をこめての回答です。
- ・ 矢川プラスや国立駅前の新施設は大変ありがたいです。いいおもちゃがたくさんあり、子どもものびのびと遊んでいます。先に回答したとおり、産後ケア事業と保育所への入りやすさは改善を望みます。
- ・ 矢川プラスや子ラボステーションの新設に期待、満足しているが、もっと子連れが気軽に利用できるようなカフェ等が増えると良いなと思う。

- ・ 矢川プラスや保健センターの人達はいい方達が多く信頼している。ただ、保健センターが古すぎたり、母親学級のビデオが 40 年前だったりと中身が古い。子育て環境としては、ファミリー物件が少ない(3LDK 以上等)月齢会のお友達が半分(5 家族)引っ越してしまった。近くだと府中が多い。明石市みたいな政策してほしい。
- ・ 矢川プラス内のここすきひろばも国立駅前施設も、我が家にはおそすぎた。市役所の子育て課の方の対応はいいですねいすばらしいと思います。
- ・ 甲州街道よりも南に矢川プラスのような子育ての拠点を作ってほしい
- ・ やがわプラスができてよかった
- ・ 小さい市なのに新しい施設(矢川プラス)を増設したり頑張っていると思う。ただ、矢川プラスまで行けるバス停まで距離があり、真夏／真冬はあしが遠のいてしまう…ので、矢川プラスまでの循環バスを作ってくると大変助かります。
- ・ 1 人目の子どもなので環境の良し悪しが分かっていない。しかし「矢川プラス」で沢山遊ばせてもらえてることや、大学通りのお散歩は車道からはなれていて安全だし、緑があって季節を感じれて、子どもとの散歩に調度いい。「矢川プラス」はよく利用するが、いつもバスで行くので、もう少し近いといいのに…と感じる。南口にできる施設に期待している。
- ・ ここに書いたのと同じ理由で、矢川プラスには不満もっている。子がセンをよく利用していたので、その分失望が大きい。でも、それ以外のサービスは満足しているので、“3”。
- ・ 子供がまだ小さい頃、健診後の授乳相談をさせていただいた時の、対応してもらった方の、相談に対する対応、態度に不信感を覚えその後は、相談する気にならなくなった。
- ・ 小児科が少なく受診しにくい 病児保育が充実してない 産院が少ない(産後の母乳外来や産後ケアが大変だった) 保健師さんの対応が良い、手厚い 発達支援が手厚い
- ・ 小児科が予約とりづらい。(とくに夜中間)
- ・ 子どもに優しい方が多い、小児科が多く安心、公共交通機関やタクシーの往来が充実している、公園や遊び場がたくさんある、治安が良い、という点は満足しています。上の子の就学が控えています、学童保育所が安心して預けられる場なのかかわからず不安です。民間の学童があまりなく、もっと市と連携して利用しやすくなっていると助かります。国立市は住居費が高く、現在賃貸物件に住んでいます、今後どうしようか悩んでいます。
- ・ 産後ケアの施設に限られており、予約に 2 ヶ月を要した上に、利用が正誤 5 か月未満と限定されていたから(せめて母体が安定する 1 歳未満としてほしい) ・育サポの利用が 1 歳未満に限られ、ファミリーサポートへの移行で一時預かりはしてもらえないものの、家事支援は受けられなくなったから。 ・子育て支援が充実している他の市町村(清瀬市、八千代市等)と比べると見劣りするから。 ・病児保育施設が 2 カ所しかなく、そのうち、つくしんぼは長期化する感染症受入を他の入所者がいると受け入れてくれない。
- ・ 産後ケア事業(宿泊)は、とてもよかったです。もっと日数の拡充や料金を低くなると良いと思いました。また、予約の取りづらかったです。・おむつ、ミルク等の消耗品は、経済的負担として大きいため、現物支給があると、非常にうれしいです。・保育園についても、おむつのサブスクや、使い捨てのエプロンの導入等進めて欲しい
- ・ 最低限の産前産後のケアはしてくれる
- ・ 産後ケア事業を利用させてもらってとても良かったのですが、利用が終わってしまうと相談する場をもう一度自分で探さなくてはダメで、それがおっくうになってしまっているのが 1 人でもんもんとしまっている状態です。
- ・ 産後すぐに同じ月齢の親子でグループを作る流れがとてもよかった。小さな市ならではの、強いコミュニティが作れたと思う。しかし街作りを見ると、施設が古かったり歩道が狭かったり、家の賃料が近隣市より高かったり、現代の子育て世代にはあまり魅力的ではない部分も多く残念。
- ・ 駅の近くに住んでいる為、支援センター、児童館、図書館が遠くて利用しづらかった。わざわざバスを使わなくてはいけない。25 年に駅前に施設ができるのを楽しみにしています。一時預りやちょっとした時間に利用したいと思っています。
- ・ おむつ替え台は多いが、女子用の子供トイレが少なく、小さいトイレがし辛い。ポータブルのサポート便座(大人用トイレで穴を小さくできるような)などがあってると助かります。 ・図書館の子供用絵本をもっと充実させてもらえるとうれしいです。 ・図書館の子供用絵本について、ネット予約しようとするときに絵が見られる本の数を増やしてもらえると嬉しいです。絵が見られないものがまだかなり多く、ネット検索とあわせて絵を見ながら決めなければならないことが多いので、本の予約に時間がかかったり、間違った本をお願いしてしまうことがあります。
- ・ 下の子を妊娠中に私(母)が入院したが、元々保育園に通っていなかったので預け先がなく、当時 2 才だった上の子を一時保育(2 ヶ所)、ショートステイ、祖父母宅とたらい回し状態でかわいそうな事をしてしまった。保育園に緊急

入所させて欲しかった。・小学校にジュニア用の便座を設置して下さい。小柄な低学年の子には大人用の便座は使いづらく、便座につかまる事になるので衛生的にも良くないです。

- ・ 国立駅付近にも子育てで利用できる施設が欲しいです。・子育てで利用できる集まり(カンガルー広場・ポッポ広場など)をまとめて知ることができると嬉しい。情報がなく(バラバラで)、少し苦勞しました。
- ・ 子供が少ない為、室内でも遊べる施設やベビーカーも入りやすい飲食店、子供が立ち寄りやすい場が少ない
- ・ 学童開所(夏、冬、春休暇中)の時間が 8:00 では正規職員できんむするのがむづかしい。また 8:00~8:30 の別料金も負担。・公園遊具が撤去され、悲しい。・保育園の質は悪い方ではないと思う。
- ・ 学童保育が育児休業中に使えないことに愕然としました。4月は慣らし保育で職場復帰は5月です。4月から利用したいのに利用できないので、3にしました。その他は、国立市は子育てしやすい地域だと思っています。
- ・ 23区と同程度の支援をしようとする姿勢が見られる。医療ケア児の在宅レスパイト制度がない
- ・ インクルーシブ教育の導入、各子育て世帯への相談、矢川プラス等のコミュニティ施設等がんばっていると思います。でも不十分なんです。
- ・ おおむね助かってはおりますが 23P 問 42 の解答の通り生活して子育てに困りごとが多々あり整備いただけると安心して子育てできます。
- ・ パチンコ屋がなく自然も多くて景観が良く、治安がいいから。行政サービス系は国立駅近くにあまりなく谷保や矢川に充実しているイメージなのでもう少し国立駅付近にも遊び場や児童館や図書館などあればいいと思う。
- ・ 保育園に入る際3月生まれの子どもがいて苦勞した。0歳児に申し込みができず、激戦の一歳児から申し込み一次で落選した。4月入所が一番枠が多いのにそこに申し込みできないのは不利であると思った。
- ・ 町の人は子連れに優しいことは多い。保健センターの相談は毎回人が違い、言うことも違うので相談しにくい。子育てアプリ使いにくい。授乳室やオムツ替える場所が少ない。一時保育、0才からやってほしい。道路が狭くて車が危ない。通りにくい。
- ・ よく公民館の保育室を利用させてもらっているのですが、この点は非常に満足、感謝している。一方、やはり、国立駅周辺には子育て広場も、遊具のある公園もないため、この点の満足度は低い。
- ・ 以前住んでいた江戸川区のサービスが良すぎたせいで少し不満。年間シッター利用(制限有無料)や、家事サービス(制限有無料)などよく利用していて助かった。ただ公園や子ども向けイベントはとて多くて非常に良い。
- ・ 一時保育など直前で利用したい時 なかなか予約が取れず 急用の際困った事があるため
- ・ 一時保育の利用が希望通りにできないため、母親の仕事を制限せざると得ない。
- ・ 一時保育施設が少ない
- ・ 一時預かりの施設が少ない。遊び場へのアクセスが悪い。
- ・ 駅から離れた所には利用できる施設があるが、駅の近くには少ない
- ・ 家庭センターの方々、近所の方、保育園の先生方皆様に支えられています。また、病院も近くに多く、緊急時には都立小児総合医療センターも近くとても心強いです。
- ・ 環境を整えようとしてくれている事は伝わってくる。
- ・ 基本的には満足していますが、古い保育園が新しくなればうれしいです。市で協力できればなおよいと思います。
- ・ 気軽に赤ちゃんづれでつながれる場所がたくさんほしい。母乳で育てたい・育児でちょっと困っているというお母さんにアウトリーチという形で実際にケアしたり、ちょっと自信がつくまでフォローできやすい環境になってほしい。ホームスタートという制度がステキだと思っています。赤ちゃんとの暮らしの中で、ちょっと一緒にいてもらい話し相手やお出かけできるサポートもニーズがあると思う。
- ・ 給付などはもらっているし、公園も比較的あちらこちらにあるし、治安もよいし、大学通りが好きだから。
- ・ 共働きのため、幼稚園が足りないと思います。
- ・ 繰り返しになりますが、様々な利用したいサービス等は見かけるのですが(例えば栄養相談、歯科相談？(フッ素など))家から遠いところばかりなので利用できていないからです。
- ・ 以前杉並区に住んでいたのですが、それに比べると手厚さは低いと思います。ただ、市が小さいので、月齢会などは良かったと思います。公民館の保育室はとて良かったです。保育つきで学べ、同じ志を持つ人と出会えました。
- ・ 現状は子どもを遊ばせるところが少ないですが、駅前に施設が出来たら大きく変わると思います。住んでいるところから距離があり、バスがもっと頻繁にあるといいのになと思います。あと小児科が少なくて困っています。市として子育てに力を入れて下さっているのは伝わるので、今後期待しています！！
- ・ 高齢者に手厚い市だと思います 文教都市をうりにしたいならもう少し子育て家庭にも手厚い支援をお願いします
- ・ 国立の谷保・矢川駅周辺がよく移動する範囲ですが、病院や公園、買い物施設等も均等にそろっていて生活しや

すいと感じるが、泉らへんは比べると交通量の多さや公園等が少ないイメージです。また、そんなに大きくはない市ですがだからこそアットホームな感じがあります。治安もいいと思うので困ることはないです。

- ・ 国立駅の近くに住んでいる為、保育園は国分寺の方が近くて多かったり、幼児向け施設が矢川・谷保まで行かないと無いのが不便を感じる。その他の点は満足している。
- ・ 国立駅周辺地域は、子育て施設がなく不便だと思う
- ・ 国立駅前には子育てサポート施設がないので不満でしたが、新しくできる所に期待しています。図書館の本が古すぎます。物語の絵本はともかく、電車の本など情報が更新されていくものが平成初期で止まっているような気になります。子供はかえって嬉しいようですが。
- ・ 国立市がというよりは東京都がというイメージのため。
- ・ 困っている時にファミリーサポートの案内をしてくれたり、矢川プラスの施設の整った遊べる環境があつていいと思う反面、利用のしづらさを感じる。手続きを簡便にしたり、利用したい時にすぐに利用できるようにしてほしい。
- ・ 最低限必要なことは確保されているため
- ・ 子そだてひろばやあそぶ場がもっとほしい。またそこで、外国語に子どもがふれるイベントをやしてほしい。親の母国語が日本語でない人のあつまりに参加したい。
- ・ 子どものためにやりたいことは尽きることがない。勉強、スポーツなど、様々なことを経験させてあげたいが、経済的な問題がある。理系大学だと200万円は必要になるため、本当に苦しい。
- ・ 子育て環境はとてもいいと思う。子育てに関する、色々な補助金が他の市より少ない気がする。
- ・ 子育て環境や支援はある程度整備されていると思うが、情報を得るのが中々、大変である。市報等は多忙で読む時間がとれないため、SNSで少しずつ情報が得られるとありがたい。
- ・ 子育て事業はあるが、カンガルー広場やここすきなど何をしているのかいまいちわからない。応募のタイミングを忘れて、参加しそびれてしまう。インフルエンザワクチンの助成金額拡充。子供は2回接種です。
- ・ 子供が参加できるイベントが多いので楽しいです。あとは図書館の整備を希望します。
- ・ 仕事が休みの土日祝に利用できるような施設やイベントを増やしてほしい
- ・ 市のサイズがコンパクトのため様々な施設を自転車で利用しやすい。市長懇談会で要望した内容を反映してくださり感謝しています。緑が多くあり公園も沢山あり子育て環境はよいです。
- ・ 市の施設が国立駅周辺に少ない。保健センターですら北からだバスを利用しないといけないので、子供達をつれていくのが大変。子連れ対応可の飲食店が少ない。公園にゴミが多い。いつ誰が清掃をしているのかよくわからない。子供用品が買える店(西松屋など)を駅周辺に作ってほしい。健診等は市民プラザも活用してほしい。子供のあそび場が少ない。バスも常に満員のため、ベビーカーを持って乗ることにためらう。
- ・ 市の施設やイベント、講座など利用したいが、国立駅近くに住んでいるため徒歩だと時間がかかるためなかなか利用できない。バス運賃の割引などがあると助かる。
- ・ 市役所、保育園の方々にはよくされています。その点に関しては特に不満はありません。一方、共働き家庭として、週末やお迎え後利用できる場やイベントが少なく、市内の友だち(親でも娘でも)作れていません。
- ・ 施設や事業には満足しているが、保育園については満足度が低い(早生まれの子供の入園に関する配慮がない、途中入園の場合の入園連絡から入園までの期間が短く準備が大変と思う。入園の場合のみしか連絡が来なく、毎月20日前後に本当に入れなかったのか気になってしまう)
- ・ 私自身が知らないだけかも知れませんが、今のところ妊娠した後に母子手帳などを頂いたり、予防接種の案内や保育所の利用料金の案内がくる以外に市と接点を感じることは少ない。市の保育園に通っているのも、たまに保護者からの意見としてアンケートに答えることはあるが、市からはいつも同じ回答で保育の環境において劇的に何か改善されたと感じることはまだ少ない。
- ・ 自分は国立市が気に入っていますが、私にとっては家賃等が高く、子育てのために家賃をおさえたいと思うと、小さなアパート等になってしまいます。そうすると、子どもの騒音が気になったり、ベビーカーと子供2人を連れて階段をのぼりおりしないといけない大変さ等とぶつかります。家でも、のびのび子どもと過ごせたらうれしいので、家賃の補助等があったら、もっと長く国立市でたのしく子育てできるのになあとと思います。
- ・ 自分自身が国立市で、そだったから。
- ・ 手厚さまでは感じない、知らないことが多い
- ・ 集会所などは子供を遊ばせられるので利用させてもらっているが、土日はけっこう予約がとれない。保育園の先生方も大変そうで、もっと働きやすくして安心して子供を預けたい。とにかく、環境の良い公園がない。緑地帯や城山、矢川緑地ばかりに出かけている。

- ・ 住んでる地域に、児童館や公園がなく、気軽に利用できない。
- ・ 少子化で子供に対する制度を充実化するのはあたりまえ、都がすすめているのでは？“国立市らしさ”は分からない。
- ・ 色んな施設が整備されたり、情報が発信されたりして、とてもありがたいです。今後、子育ての現役世代となっていく方達が住むのは、特に 2 人以上の子供をもつ親達が住むのは、一部の公営住宅の入れ替わりを除けば、南武線以南に居を構える方がほとんどなのでは、と思います。その方にとって、中央線寄りの施設は遠く、車で向かうなら、市内の施設にこだわる必要もなく、利用機会も少なくなると思います。20 号以南にも、分所や拠点ができるといいと思います。
- ・ 新しい施設が少なく、古い。 矢川プラスが自宅から遠くてなかなか行けない。
- ・ 積極的に利用していないため分かりかねる
- ・ 他との比較が十分できないため
- ・ 他の市がどのような支援をしているのか知らないため。 悪くは無さそうだが、待機児童については改善してほしい。
- ・ 他の市に比べて、支援は少し足りない気がする。病院ともっと連携してほしい。
- ・ 他の市の支援環境をよく知らない為、比較できないため。
- ・ 他の市の知り合いに聞いた妊娠、出産に対する支援金等が少なかった。
- ・ 他の地域と比べたことがないので分からない。
- ・ 他を知らないので、あまり比べられないけれど、保育料がかなり負担になっている。
- ・ 他市の話しをきくと夏のプール授業をジムに委託していたり、保育所も夕食の提供があったり、やっぱり劣る所も感じます。財政的に難しいのかもしれませんが学童も他市はもっと充実しているし、預ける時間帯も広いです。 国立市は子供を育てやすいかと言われるとそうでもない方にあたります。 ただ公園が多く緑が多いのが気に入っていますが、支援面ではそうでもないと思います
- ・ 川崎市に住んでいた(子どもが 1 才になるまで)が、産後ケアの宿泊が 7 日間使えたり、近くに助産所がたくさんあったりと子どもを育てやすい場所だった。現在の国立市はサポート面で不足しているように感じる。
- ・ 多子世帯へのサポートが早い。保育料が 2 人目から無償になったから。 1 人目を育ててた時六十万近く保育料が重くのしかかっていた。
- ・ 大きな不満はないが、これといって他の自治体より特に優れている点が見当たらない。
- ・ 知らない情報が多いため、対象者宛に市報などで情報発信を強化してほしい。
- ・ 中央図書館や、矢川プラスをととてもよく利用している。2 人の子供を連れていてもとても過ごしやすい。このような施設が駅付近にも増えるとよい。
- ・ 中高生への支援が少ない。
- ・ 転勤で千葉市、兵庫県西宮市、国立市で出産・子育てをしたが、西宮市がだんとうで子育てしやすく、公園や施設(商業施設も)が充実し、街の人も子どもにとっても優しく温かかった。国立市はいい意味でも悪い意味でも東京らしさというか、都会らしさ(とくに国立駅周辺)がある。 矢川エリアはお店が少ない。
- ・ 東からはすべて遠い。市役所も遠い。国立駅の近くに子育て施設が少ない、公園もない。国分寺や府中市の公園の方をよく利用している。
- ・ 東地区、特に駅前付近に公園がないのが不満です。大学通りの緑地帯などに、すべり台、鉄棒など、あればいいなと思います。
- ・ 東地区の公園の少なさ。近隣市町村まで足を運ばないと難しいです。(府中市など)東地区の小さな遊園を利用すると、苦情が入ることもあります。残念に思います。
- ・ 働いている保護者に対する、行政の窓口等の対応時間がせまい。ギリギリの時間で何度か教室相談等利用したことがあり、職場も遠いためけっこう大変だった。
- ・ 日中仕事をしているため市の情報が入ってこないのが、満足しているのか分からない
- ・ 乳幼児の時はサポートも多く、満足していました。しかし、幼稚園に行ってから、矢川プラスも遠く、市の施設を利用することがかなり減りました(今は図書館くらい)文教地区でありながら、本屋も少なく、公園の設置もいまひとつでもう少し改善してほしいです。
- ・ 認可外保育園がない。
- ・ 必要と思う事は足りている。が、それ以上の支援があるならば、わかりやすく、知らせたい。
- ・ 普段仕事で忙しいので子育てに関わる施設はあまり利用ができない。土日に参加できるもの、相談できる場所があるのであれば発信してほしい。※相談がしたいと思った時、窓口も含めすべて平日なので、相談がしづらい

- ・ 普通にととのっている。矢川プラスが近くにあったら最高だったなと思う。ゴリラ公園のせいびは、これからの子供たちには最てき。小学生が、ボールあそびやおにごっこができる公園がないから、外あそびはつまらないものになり、ゲーム機をもちよってしずかに集まる小学生が多い。ちかくのボールがつかえる公園は、子供たちがいっぱい早いものがち。矢川プラスのような場所が多くなるといいです。
- ・ 保育園のシステムが園によって違う。・デジタル化をすすめて欲しい
- ・ 保育園はかなり満足度が高いですが、小学校に入ってから学童保育の質がかなり低い(西学童)ため、その部分はかなり残念です。施設の古さ、学童の保育士(リーダー)がかなりひどいようで、子供がかなり嫌になって辞めていっているようです。うちの一年生の子も嫌になってほとんど行っておらず自宅で過ごす事がほとんどで、よっぽどのことがない限り行きたがりません(両親共に不在である場合など)。隣の国分寺市の学童はかなり質が高いため、アウトソーシングも含めて質の向上ができないと、安心して仕事をしながら子供を預けられずに、子供が小学校に上がったと同時に仕事を辞めざるを得ない状況になりかねません。喫緊の課題として学童保育の充実を切にお願いしたいです。
- ・ 保育園以外活用できていない
- ・ 北の場所柄、中や矢川、谷保に比べると施設数やその内容が異なるのは致し方ないと思っているがやはりもう少し北にもいろいろな子育て関連の施設などがあると嬉しい。駅南に施設が出来るのはその意味でもとてもありがたい
- ・ 未就園児が預けられる施設が欲しいなと思いました。←保育園とかではなく未就園児だけの。
- ・ 未就学児だけでなく、就学後も、切れ目のない支援が必要です。健常児は何も心配はないですが、発達障害をかかえる子供、家族は、生きづらさを感じて生活しています。少しでも生きやすくなるように、早期児発が大事ですが、就学後も手厚い支援が必要です。学童にも加配がなければ、障害児は受け入れが難しいかもしれないので、人員配置をお願いします。また、学童に通わない日に放課後等デイサービスを利用したいが、療育費用毎月上限37,200円は高すぎる。学童並みの6,500円位を上限にする、無償化するなどしてほしい。
- ・ 様々な支援があると思いますが、時間がないため(平日働いている)利用がなかなかできていない。
- ・ 立川や府中など近くの市に合わせて、独自の支援がない
- ・ 両親学級などの子育てサポートは、とても助かっています。検診など医療サービスも同様、助かっています。
- ・ 様々な取り組みはあるのですが、人数制限があったり、時間があわなかったりして参加できる機会が少ないです。働いていても、参加しやすいものがあると、もっと満足度があがると思います。
- ・ 2月に引越してきたばかりでよくわからない面が多い為。
- ・ あまり子育て支援について理解できていません。
- ・ あまり知らない
- ・ あまり利用していない。情報が得にくい。保育園がどこも遠い。
- ・ 国立市が突出して支援が充実しているとはあまり感じない。
- ・ 国立市に住んで2年未満で利用していないものや知らないことが多い(計2件)
- ・ 何を利用できるのかちゃんと知らない。
- ・ まだひっこしてきて1年たっていないのでよくわからない
- ・ フルタイムで働いてるので、時間もないし、まず情報不足。市が何をしているのか分からないから、満足も何も分からない。
- ・ 多くは望まないため
- ・ どういった取り組みをしているかあまりわからない
- ・ どんな支援があるのかよくわからないのが本音。市役所までいかないと情報がない
- ・ 特に他の地域と変わった点はない。ただ、予防接種の紙など区に住んでいた時はもっと使いやすかったが、いろいろ紙で送られてくるので、そういった点は進んでいないように思う。
- ・ 特に不満はないので
- ・ 特に不満を感じたことはなかったのですが最近、矢川プラスを利用する市外の方が多く、ここすきひろばを使いたい時に入れなかったという話を聞き、なんともいえない気持ちになりました。支援センターや児童館の赤ちゃんルームが使えなくなり、0-2歳(未就園児)の室内遊びの場が限られたといえる状況にあるため、市内の親子がいつでも使える場である事を願います。
- ・ 特に利用の必要がないから
- ・ 国立市、ここが子育て支援良いよね!!という特別すごい何かがある訳でもないのかな…けれど何か不満がある訳でもないです。

- ・ 支援がないわけでもなく、とても充実しているわけでもないので、3 にさせていただきました。
- ・ 特に可もなく不可もなく（計 2 件）
- ・ 特になし（計 2 件）

○満足度「4」と回答した方

- ・ 医療費を中学生まで無料にしてほしい。
- ・ 財政の厳しい中、矢川プラスをオープンしていたりありがたいと思っております。
- ・ ちょっと違うかもしれませんが、小学校の学童で夏休みのお弁当注文サービスがあったことは本当にうれしく、国立市で子育てしていてよかったと思いました。第 2 子の保育料無料や子育て給付金の対応も早いと思います。
- ・ 補助金なども近隣市と比べると充実していると感じる矢川プラスができて子どもの屋内遊び場ができたのがありがたいです。
- ・ 公園がいっぱいある / 近隣に公園が多い（計 2 件）
- ・ 公園がきたない、タバコのかす、ごみがちらかりまくっている
- ・ 公園が多く、おだやかに雰囲気、子育てしやすい。生まれたときから多くの支援をいただいて、とてもありがたいです。
- ・ 公園の数。矢川プラスとこれから建つ国立駅の施設など子供も居場所がたくさんある。
- ・ 公園も多いし 行事なども多い(ふらーと行って参加できる)
- ・ 公園も多く自然豊かで子育て環境はいいと思う。住民の方々も優しく、子供に思いやりのある方ばかりでありたい。矢川プラスなど遊び場もあり助かっている。ただ支援に関してはまだ不十分と感じているため最高点にはしなかった。
- ・ 公園も比較的多く、車道・歩道・自転車道も整備されていて、矢川プラスも新しくでき、環境面はとてもありがたい。しかし、行政サービスは人手が足りていない感じが伝わってくる。一番親身になってもらいたい行政の人手の充実を強くお願いしたい。(特に保健センター)
- ・ 公園や児童館など子どもが遊ぶ場が多い。また、子ども向けのイベントなども企画され、子どもの居場所事業に力を入れていることが感じられる。もっとインクルーシブな環境(物理面だけでなく、保護者同士、子ども同士のつながりの面からも)が整うといいと思う。
- ・ 公園や自然が多い ゲームセンターなどが無い 矢川プラスが便利
- ・ 公園や緑が多く、外遊びできる場所が多い。希望の保育園に入れている。
- ・ 公園が多い・矢川プラスなど無料で利用できる施設がある
- ・ 公園が多く矢川プラスの様な新たな施設もできていてありがたいです。基本的に困っていることが少ないため、情報を自分でみつけに行くことが少ないです。保育園や各家庭に情報が行き届き、もっと多くの施設やイベントに利用・参加できると、より良いと感じています。
- ・ 公園、支援施設が身近なところにあるので便利。幼稚園の無償化
- ・ 矢川プラスは設備が充実しており、使いやすい。・駅近くに保育園がない・イベント情報を集約して公開してほしい。(計 2 件)
- ・ 矢川、ママ下、城山など、豊かな自然環境が子育て環境として望ましいと考えています。また、長男の就学相談などを通じて、市民に寄り添った支援をありがたく思っています。(計 2 件)
- ・ 矢川の方なので自然や公園があり満足しています。市開催のスポーツ教室なども助かります。
- ・ 矢川プラス 集まりやすく満足している ちょっと遠い
- ・ 矢川プラス、駅前に新設される施設、総合センターの建替え、効果的なハード整備がなされており、良い。
- ・ 矢川プラス、公園の多さ、今後できる駅前の施設など、子育てを応援する事業が増えてきているから。一方、個人の孤独感が変わらず辛いので、どうしたらいいのか、分らない。
- ・ 矢川プラス、児童館、公園が多い ※公園のゴミが多く落ちていて困ることもある
- ・ 矢川プラス、図書館など無料で近くで利用できる施設が多い 保育園に入りやすい
- ・ 矢川プラスー助産師相談 月齢会
- ・ 矢川プラスができたことで、子供の居場所ができたことが大きい。ただ、谷保アドレスの西府よりの地域からは保育施設からどこに行くにも遠く、気軽に行くことができないので少し不満です
- ・ 矢川プラスができたことと希望する保育園に入れたこと。
- ・ 矢川プラスができたり、たまご広場などの地域のイベントや子ども食堂がここ数年充実してきたように思う。ありがたいです。

- ・ 矢川プラスができたり、ファミリーサポートが充実していたり市の方々のサポートをすごく感じます。駅舎で子ども向けのコンサートやイベントをやってくれるのもとても楽しいです。子どもと散歩していて楽しい街だと思います。
- ・ 矢川プラスができたり、子育て家庭へのケアは子育てを始めてからも充実してきているが、道が狭く通学路として危険な箇所があったり、まだまだ改善できる点があると感じるため。
- ・ 矢川プラスができてから、毎日行っていてとても助かっています スタッフの方にも覚えていただき、大人と会話できる安心感がありとても楽しいです。できれば少し家から遠いのもう少し近場に集まれる広場のような所があるとさらにうれしいです。
- ・ 矢川プラスができてここすきひろばなどで交流などできているため。もう少しそういう場が増えてほしいが、国立駅南口にも新しい支援施設ができるみたいで嬉しい
- ・ 矢川プラスができて本当にうれしいので。あとは、以前は一橋大に裏門から入れましたが数年前から入れなくなって、子どもを遊ばせるのに大学通りまでいかないと入れないのが大変だなと思います(南口に新しく子育て施設ができるので、そこを代わりにしようと思っています)
- ・ 矢川プラスがとても充実してるため。公園が多い。
- ・ 矢川プラスがとても良かった。
- ・ 矢川プラスが完成して、天候の悪い日でも子どもを遊ばせることができ、満足しています。
- ・ 矢川プラスが出来たこと。広い室内で子供を遊ばせることが出来るのはとてもありがたかったです。
- ・ 矢川プラスが出来たことがとても大きいです 公園も多く、希望の保育園にも入れたため
- ・ 矢川プラスが設備、イベントなどとても満足度が高い。
- ・ 矢川プラスできたことが大きい。あとはふつう。
- ・ 矢川プラスなどの文化的施設があり、城山のような自然豊かな公園や遊び場冒険の森のような子供が思い切り遊べるイベントも多くある。強いて言うのなら、図書館を新設し、文教地区としての強みを出すことが国立市の価値をより高めていけると考える。
- ・ 矢川プラスなど施設はととのっている。保健センターで建物内ベビーカー禁止など理解がない部分もある。公園の遊具が古くて、はがれていたりして危ない。もっと整備してほしい。くにっこバスの本数をもっと増やしてほしい。移動がしづらい。
- ・ 矢川プラスに代表される施設はそこそこ充実しているため
- ・ 矢川プラスのような施設はありがたい
- ・ 矢川プラスの利用
- ・ 矢川プラスは、きれいで休みがほとんどないところがいいなと思った。近くて妻は子供を連れて月に何回か行っています。たくさん集まり過ぎて気がひけるので、もっとこういう施設を作って人を分散させてほしい。私は立川→国立に引っ越してきた者ですが、国立の方が地域密着感があって好きです(イベントなど)。図書館や公園などに関してはもっと伸びしろがあると思うので5ではなく4です。
- ・ 矢川プラスや、ここすきの活動に期待している。 平日は仕事があるので、土日開催の子育て専門家の講演や、親向けのワークショップなどが増えると良い。 一橋大学の留学生と子供との交流会など、地域の資産を活かした取り組みをやってほしい。
- ・ 矢川プラスやカンガルー広場など、子供を遊ばせる場所があるため。
- ・ 矢川プラスや国立駅南口に新設される施設等、子育てにおける環境が整備されていると感じるため。
- ・ 矢川プラス等、無料で遊べる施設があり、支援金も頂いている為
- ・ よく矢川プラスを利用させて頂きますが支援員さんがあたたかく見守って下さり親にも子供にも話しかけて下さるので楽しく通っています。ただ距離が少し遠いので来年春の駅近くの施設オープンを楽しみにしております。
- ・ 児童館や矢川プラスの施設で出会う方々が親切で通いやすいからです。
- ・ つちのこやと矢川プラス(ここすき広場)にはとてもお世話になっています。どちらも見守りと、ちょっとした相談ができる場であり、質の良い企画(講座・イベント)もして下さりとても助かっています。こんな場がもっと増えると良いと思います。 一方、施設や道具の古さが目立つ公共施設もあるので、整備を進めて欲しい。 月齢グループは子育てに欠かせない仲間とつながれて、非常に感謝している。
- ・ つちのこひろばや矢川プラス等、小さい子どもが安心して遊べる場所があること。また、保健センターも相談しやすく、月齢会で同じ年齢の子と知り合うこともできて心強い。
- ・ 昨年、世田谷区から引っ越してきたが 矢川プラスはじめとした、子育て支援や 街中で温かい声をかけてもらえる機会が多いと感じる。 一方で子供と一緒に利用しやすい飲食店は少ない。お惣菜やお弁当など子供も食べら

れるものを買える場所が少ない。

- ・ 時間に余裕のある仕事にかえたこともあり、矢川プラスなどを利用できるようになった為ちょっとお弁当を持ってあそびに行けるような施設でありがたい。駅前の施設もそんな場所であるといいなと思っている。仕事がフルタイムだとなかなか日程が合わず、利用していない人も多いと思う。
- ・ 子ども家庭支援センターや矢川プラス、国サポなど様々な人があたたかく声をかけてくれるため。
- ・ 満足した点： 国立市は自然・緑・公園が多い 矢川プラスなどのように子供への施設は新しくおしゃれ 改善して欲しい点： 谷保駅の近くに公園は公園は手入れされていないように感じられ、子供たちが遊ぶ場所はなく、野生の植物がたくさんあり、非常にもったいないと思います。そのため、私はいつも子供を矢川、国立駅、立川などの離れたところに連れて行きます。
- ・ つちのこひろばでスタッフの方がよく子どものことを知ってくれ(覚えてくれ) 支援してくれている(相談に乗ってくれる)ので安心。
- ・ 安心して子を預けられる保育園がある。・矢川プラス
- ・ 理由が何でも良く、365 日前日当日でも預けられる比較的安価な施設がない。私は立川市にあるママズスマイルを利用しているが、国立市にもあれば良いのと思う。
- ・ 出産手当を市の独自でも行なってほしい(港区のように)
- ・ 我が子が生まれてすぐは、自宅(西)から保健センターへのアクセスが良くなく、また、施設の古さもあって利用をためらいがちでした。また「ここすき」は大変良い事業で親子共に学びが多くすばらしい事業でしたが、こちらもやはり旧矢川児童館での秋～冬の活動で寒さが気になりました。現在は“矢川プラス”を中心に様々な事業が行われ、大変ありがたいです。他市区の友人からも“うらやましい”と言われます。
- ・ 保育園の配慮 (計 2 件)
- ・ 保育施設の充実・広報の充実・行事の多さ(祭り等)・施設(矢川プラス、公園)の充実・学校の支援体制(情緒級・個別支援スタッフ・放課後学習教室 etc)
- ・ お祭りイベントなど多く、家族で楽しめると思います。矢川プラスはよく利用しています。
- ・ お祭りなどのイベントが多い方だと思うので、特に不満を感じたことがない。矢川プラスもでき、そこでの支援、相談も可能だし(利用したことはありませんが)公園の多さも国立市の強みだと思います。 ショートステイおひさまにもお世話になっています。
- ・ 子ども 2 人とも 0 才という希望の月齢で保育園に入所することができた。 矢川プラス内ここすきひろばは安全で良いおもちゃがたくさんある。そのような良い施設が家の近くにある。
- ・ ①8 年前に比べて、保育所が増えて、入りやすくなった。②フルタイムの共働きの家庭が、子どもに幼稚園で教育を受けさせたいと考えた時に、選択肢が市内だとさゆりナーサリーしかないこと。他の幼稚園も預かり保育はあるが、週 5 で 17～18 時まで預かる雰囲気ではないこと。保育園以外でもっと、選択肢があると良い。
- ・ 45 に書いたことに加えて、谷保天南にある市民農園を借りており、そこで子どもをのびのび過ごさせていることに満足している。谷保天周辺の水路や自然の残る環境もとてもよいと思う。畑は子育て世代にぜひオススメしたい。
- ・ 環境がよい(治安を含めて)、住人が意識の高い人が多い、ハード面はそれほど良くない(図書館、児童館など)
- ・ さくらっこ保育園に通園中で、先生にとっても良くしてもらっている。お友達との関係もできつつあり、とても楽しく過ごすことができている。子育てについても相談できてとてもありがたい。
- ・ それぞれの年齢に合わせたサービスや支援がある
- ・ とても親身になって相談に乗って頂いているので
- ・ ファミサポがありがたい
- ・ ベビーカーを使っても、助けてくれる方が多いと感じます。公園で遊んでいても小さい子に優しい子が多いように思います。優しい人が多いので暮らしやすいです。
- ・ もう少し幼稚園の預かりが充実していればさらに良いなと思います。
- ・ もし友人がいなかったら、児童館などもどこにあるか分からなかった。(地元出身ではない為)国立市は子供などのイベントが多くとてもいいと思うが市外からひっこしてきたり、友人、家族がいない方には情報が入りにくい。
- ・ 以前住んでいた所よりも子供が集まれる場所(矢川プラスや親子体操教室等)があったり、初めて利用した人に対しても職員さんや利用者の方が温かいので再利用しようと思える。
- ・ 街の雰囲気として子育てに協力的だと感じる。
- ・ 環境面では他地域と比較して静かで落ち着きがあり、自然も豊かである点に満足している。支援面では各種情報発信の密度に満足。公園を増やし、移動手段が充実するとなお良いと思う。

- ・ 休日診療について。子どもは休日、夜間に具合がわるくなることが多いのに 市外にしか小児を診てもらえるところがなくハードルが高い。 それ以外はおおむね満足。
- ・ 近隣に保育園が多く、図書館も近い。
- ・ 兄弟であそびに行っても、親 1 人だと見きれない。 自由にあそばせてあげたい。 月齢によって、イベントのない曜日がある。 子供をのせられる自転車のレンタルがない(少ない)
- ・ 0 才の時に子育てグループ(月齢)の集りがあったのが良かった。今でも悩み相談を共有できる仲間になっている。 ・道路も自転車と歩行者を分けられており、安心して歩きやすい。環境が良い。
- ・ ワンオペ育児だったので不安もあったが、月齢会で仲間づくりをサポートしてくれたり児童館や支援センターなど出かけやすい所も多く、あまり孤独感なく育児できた。市内のイベントも子どもがたのしめるものも多く、季節ごといろいろ体験させてあげられてありがたいと思う。
- ・ 子供が低月齢の時に、月齢会に参加できて、今でも交流があるのでよかった。洋服やおもちゃのおさがり広ばが以前あった時はとても助かった。バザーなどもっとやってほしいです。
- ・ 別の都道府県から越してきましたが、子育て支援センターに通い、月齢会の紹介からとても助けられました。保育園も以前より入りやすく、保育士さんも親身でとても助かりました。
- ・ 月齢会という国立市独自の集まりで、子どものつながりが出来てうれしい。矢川プラス付近で小さい子と一緒に入れる食事所などがあると良い。(←府中の支援センター付近はたくさんあるので…)矢川プラスまでのバスを作ってほしい。
- ・ 月齢会などでパパママの交流機会があること。
- ・ 月齢会等の集まりがあったり、子どもが生まれた後も気遣って下さったり、子育てに不安がある旨をアンケートに書いたりしたら連絡をくれたりと、孤独になりにくい環境作りをしてしてくれてる印象です。最近では矢川プラスもできて、更に子供をつれていける場所が増えたように思います。
- ・ 公民館、子ども家庭支援センター、ファミリーサポート、育児相談等、市報で案内のあった子育て支援サービスは必要に応じて概ね使わせていただけてきました。関わってくださった方々の質が高く、満足しています。
- ・ 公立小学校で登校できない日はリモート対応してくれる。
- ・ 国立カルタによって文字を覚えることができました。たまご広場によって地域の方々と交流できました。ありがとうございます。
- ・ 国立にはゆかりがないので知人・友人がいませんが、街で子どもと歩いていると話しかけてくれるおじいちゃんやおばあちゃんがいて、その方々との少しの会話で嬉しかったりします。都内ではあまりそういう方々に会わないので、このような方々と出会える落ち着いた雰囲気は子供にとってとても良い環境だと思っています。
- ・ 国立市内の保育園がここ何年かでどんどん増えたのがとても有難いです。欲を言えば子ども家庭支援センター 保健センターがもう少し近くに欲しい！
- ・ 今、通っている保育園(国立あゆみ保育園)では、私の体調や、家庭の状況も理解して頂き、私自身が体が強くないので、仕事を休む時も、“ゆっくり休んで下さい”という対応をしてもらって本当に有難いと思っています。食事についても、レシピを頂いたり、とても親身になってくれます。
- ・ 細かい問い合わせも丁寧に対応してくれる。
- ・ 子どもが生後 1 か月になるまでは府中市に住んでいましたが、国立市の子育て支援は手厚く、また相談できる方(保健士さん)との距離も近いように思え、安心できます。見守られている気分です。
- ・ 子育ての悩みを相談したら、すぐに面談につなげてくれた。←今も継続して、面談してもらってる。療育施設も紹介してくれた(紹介後のフォローはあまりなかった)
- ・ 子育てひろば や公園もたくさんあり、子どもと過ごしやすい地域だと思います。ひろばの支援員さん達にこれまで何度も助けていただいています。
- ・ 子育て環境はとても良いと思うが、たまに歩きタバコや自転車のりながらタバコを吸っている人がいるので厳しく取り締まってほしい。
- ・ 子育て環境整備への意欲を感じており、ニーズにそった環境・支援を提供しようという姿勢を良いと感じている。ぜひ国立に住みつづけて、子育てをしたいと思う一方、施策の継続性に不安をもっている。中長期の計画、特に学校運営計画などについても、わかりやすい発信を行っていただけたらうれしい。
- ・ 子育て支援のサポートが沢山あるな、すごくありがたいと感じる一方で、システムが分からず利用できなかったり、あとからこのイベント行きたかったなあと知ることがあり、活用しきれていないです。
- ・ 子育て支援事業や施設の開設など子育て支援に関する様々な取組みや整備ができてきて、子育てがしやすいな

と感じています。支援事業や施設の先生方も親身になって話を聞いてくださるので、とてもありがたいです。そういった施設がもう少し増えるといいなと思います。

- ・子育て施策に力を入れている感じがするから
- ・休日に参加できるイベントが度々あること
- ・子供が遊べる場が増えてきて助かる
- ・子供が利用できる施設が充実している。
- ・子供に対する施設が充実している
- ・子供を育てる環境整備への意志を感じるため(東大とのコラボなど)結果の評価についても引き続き実施し、都度改善していく仕組み作りをお願いします。
- ・子供連れで行ける飲食店など、もう少し、駅前にふえてくれると嬉しいと感じます。気軽に利用できる託児所の希望。休日に利用できる施設の紹介などがほしいです。
- ・市が小さいのでどこにでも行きやすい 公園が多い
- ・市の子育て支援は利用させていただいて、満足しています。一時保育等を利用したいと思っているのですが、まだうまく活用できていないです。もう少し簡易になればなと思います。
- ・市の職員の対応には満足しているが、市外に通学している為。
- ・市の職員の方々、みなさん親切で相談しやすいです。心強いです。市民の方々も優しい方が多いと思います。
- ・市職員の方々、みなさん親切に相談を聞いてくださいます。とても心強いです。散歩をしている時は、お言葉をかけてくださる一般の方が多く、優しい市民性を感じます。
- ・市民の意見を良く聞こうとする姿勢が嬉しいです。また、フルインクルーシブ教育を推進しているところも良いと思います。
- ・市役所や保育園の方が親身で丁寧な対応をしてくださり、大変助かってます。
- ・市報などで知れる事が多い。
- ・施設が充実しているのは一部のエリアで、自宅から遠いため利用をあきらめることが多い
- ・治安がとても良いと思う。また、街が綺麗なので子育てには良いと思う。
- ・治安が良い 国立駅周辺は良く整備されている
- ・治安が良いから
- ・自然環境が豊かであり、子育て世代に対してのイベントなども定期的に行っているため。
- ・自宅から駅までの通勤途中に利用できる保育施設が少ない。
- ・自分から相談することはないが、保健センターの方から定期的にご連絡頂いてお話を聞いて貰えるのは助かりました。子育て相談に誘って頂くことで、自分からは足が向かない相談に行くことが出来、離乳食に関する悩みが軽減されました。
- ・充実している、改善されていると感じるが、近隣自治体でよいものがあったり、小中学生の給食無償化など国立市では実現できない取組があるため。我が家の第三子の幼稚園での給食補助制度も、第一子が中学生、第二子が小学生のため該当から外れてしまい、がっかりした。養育する子が 18 歳未満ならば、上の子が何才だろうと関係のない事で、そのような条件をもうけていることに疑問を感じる。
- ・上の子(小2)は、放課後キッズで遊べるのがうれしいようです。雨天時は、市内の小学校で教室や体育館で遊べる所とそうでない小学校と対応に差があるので、遊べない小学校の児童も遊べるように工夫してほしいです。幼稚園入園まで、「ここすき」のような手厚いサポートの機会を増やしていただけたらうれしいです。
- ・足りない部分はあるが、よくしてもらっていると思っている。
- ・他の市の話を聞く中でも、国立市の支援は手厚く、実際に利用させていただく中でも感謝の気持ちです。利用していた事が急に出来なく(担当の方が急にお休みになった)なった事があり、継続性があると良いなと感じました。
- ・他の自治体より優れているとまでは思わないが、劣っているとも思わない。子育てしやすさ No1 とされるくらいまで頑張してほしい。
- ・待機児童が少なく、安心して子どもをあずけ、働くことができるから。自然が豊かで四季を感じられる街並みだから。
- ・地域で子育て、ではなく、各家庭への依存度が高いと感じます。子どもが、親以外の大人と接してそこから学んでいけるような地域になればよいと思います。
- ・長男が支援を受けている立場なので感謝しています。ただフルインクルーシブ教育を推進しようとしているのは理解できません。その子に合った支援が受けられるために今の体制ができたのにむしろ逆行していると思います。
- ・田舎から転居してきたため、環境については目新しいものが多く、充実してすごせている。

- ・ 保育園(公立)の先生が子どものことをよく考えてくれたお陰で就学後の支援をスムーズに受けられた。矢川プラスなど子どもの居場所が確保されていて安心。
- ・ 保育園、幼稚園などが空いている。
- ・ 保育園が、障害児受入可の為とても助かっている
- ・ 保育園での一時預かりが充実しているので、満足度が高い。ただ、各市の施設の駐車スペースをもう少し増やしてもらえともっと利用したいと思う。
- ・ 保育園と学童が使えているので、大きな問題を感じていない。
- ・ 保育園の新設。矢川プラスの新設。
- ・ 保育園の数は足りてないと思う。入りたい所に子供達を入れられないので仕方なく自宅から離れた保育所に2人をあずけている。公立の保育園はどこも古いと思う。コロナの時の子供の支援(お金や誕生日の時の商品券)はありがたかった。
- ・ 保育園の先生がよくしてくれて、本当に安心して預けられるから。
- ・ 保育園も多く、矢川プラスなど新しい施設もあり良い。
- ・ 保育園や幼稚園で定期的に園庭開放を行ってくれる 矢川プラスができて、天候に関係なく子供たちをのびのびと遊ばせることができる
- ・ 保育園入園前、子ども家庭支援センターではスタッフさんや他のママさんに大変助けられました。今、矢川プラスには土日しか行けませんが、スタッフさんとおしゃべりや講座の参加ができないことが少しだけ残念です。
- ・ 保健センターでの悩み相談や「クレヨン」「パステル」「カラフル」でお世話になったから
- ・ 歩道、自転車道が整備されている。学童が6年生まで通えると聞いた、全入とも聞いた。
- ・ 問45で回答したこと以外に、不満に思うことが何もないため。子育てしやすい環境だと感じているため。
- ・ 幼稚園や保育園で定期的に園庭開放をしてくれる 矢川プラスができて、天候に関係なく室内施設で子供をのびのびと遊ばせる事ができる
- ・ 利用している・していないに関わらず、困った時に相談できる施設や窓口があるという安心感。現時点で特に困っていることはありません。(計2件)
- ・ 良い意味で市が小さいので使いたい施設がそこまで遠くなくてべんり
- ・ 力を入れているのが伝わります。矢川プラスの創設にあたり、保育士の意見などを取り入れ作ったと聞き、ありがたかったです。
- ・ 緑もあり、住みやすい住環境
- ・ よい
- ・ 困り果てた経験がない
- ・ 現実的には満足(理想を求めるとキリがない)
- ・ 悪くはないと思います / すぐに思いつく不満はないため。/ 特に困っている事がないため / 特に思い当たる不満がないため / 特に不足がない / (計7件)
- ・ 省略

○満足度「5」と回答した方

- ・ 公園や児童館など遊びに行けるところがたくさんあるし、お祭りやイベントもたくさんあり、自然とふれあえる場所も多い。職員の方もみんな優しく話しやすい。経済的な支援がもっとあると嬉しいです。
- ・ 矢川上公園でお弁当を食べて少し遊んでいたら、公園の草木を管理しているおじさんが「あっちの方の皇帝ダリアはみた？今満開だから見るべきだよ」と教えてくれたり「この公園にもうすぐ安全でキレイなトイレができるよ！」と、そんな何気ないコミュニケーションをとってくれる人達が国立市内にはとても多い。住んでいて楽しいし、気持ちがいいです。歩いていても子どもに話しかけてくれる人も多い。
- ・ 矢川プラスができて、新しい綺麗な施設で子育てを行えて嬉しい。ここすき！のおかげで子育ての孤独から解消された。
- ・ 矢川プラスができて満足度がかなりあがりました。家の近くに公園もあるのでたすかっています。
- ・ 矢川プラスで満足しているので、他を見ようと思いませんでした。
- ・ 矢川プラスなどの子育て施設の設置にも積極的だから
- ・ 矢川プラスのここすき！に参加しました。無料なのにとっても手厚くとてもありがたかったです。公園も多く、ありがたいです。
- ・ 矢川プラスの存在が大きい

- ・ 矢川プラスや、その前の子育て相談室？は助かっています(いました)。 国立は雰囲気落ち着いていて、人口密度も高くなく満足しています。
- ・ 矢川プラスや子ラボステーションなどに市の本気を感じる。広報紙における発信も多く、支援情報をしっかり伝えようとする誠実さがある。
- ・ 矢川プラスや子育て支援が多い
- ・ 矢川プラスや助産師相談、保健センターの少人数事業などたくさんお世話になっております。ただ車移動が主としている為市役所あたりの駐車場の増設と申請式で良いので駐車場代の援助があるともっと利用しやすく助かります。
- ・ 矢川プラスを通して子育ての相談をしたり、子どもと充実して過ごす時間が作れているから。
- ・ 矢川プラス等とても助かっているの
- ・ 産後の母親のサポート ・子育てアプリ…情報が集まっているので、産後の友人にもすすめています。 ・矢川プラス…外で遊べない日にも行けて、子供も大好きで、素晴らしい所です。 ・富士見台地域の公園の多さ
- ・ 産後、精神が不安定になり、健診で相談すると、すぐに信頼出来る保健師さんが献身的にサポートしてくださいました。彼女に出会っていなければ、乗り越えられなかったかもしれません。心から感謝しています。保健センターの皆さんは本当に感じが良く、いつもとても丁寧にご対応くださいます。気軽に電話をしやすいです。子供の健診が個別対応になり、気持ちが軽くなりました。コロナが明けても、このスタイルを継続してほしいです。小さな子供を連れて、並んだり、長時間待つのはかなり負担になります。
- ・ 出産後、子育て支援課の皆様や事業、矢川プラスなど、日々、大変お世話になっています。手厚く、優しい支援(接する方、皆様、温かくてとてもありがたい)にいつも感謝しています。今、私たち母子が健康に過ごせているのは皆様のおかげです。本当にありがとうございます。別の市の助産師さんから国立市は保健師さんが熱心で良い方々だと話していました。保育園・幼稚園の見学に行っても、市の皆様と連携されていることを聞き、教育について、市の皆様が取りくまれていることを知りました。子育ての環境としてとても満足しています。
- ・ 学校に就学する際の相談体制など整っており柔軟に対応していただいた。・市の面積に対して児童館が多くある
- ・ なにかのサービスが充実しているというわけではなく、国立市の雰囲気をつくりあげていることが最大の理由。小さな市ではあるが、すべてのものがコンパクトにまとまり、様々な特色や、工夫、統一したデザインがあるので、東京都のどこかではなく、東京都の国立市であるという自覚を感じるこの町で子育てができていますので満足は高い。文教都市、落ちついた町など様々言われるが、子育て世帯の一人ひとりがこういうのが欲しかったという点を満たせば、さらに飛躍した、素晴らしい町になると思う。
- ・ 学園都市というだけあって、街全体が落ち着いていて、安心して過ごせるところ
- ・ 希望している保育園にも通えており、矢川プラスや公園等、近くに遊ぶ場があって小さな子供の子育てには大変助けられています。今迄少し遠かったのですが、これから駅前にも遊び場を設けて下さると知り、嬉しく、市のお金を子育てに使って頂けていることに感謝します。
- ・ 国立市の子育て環境は市外に住んでいる親族、友人らに自慢できるほど満足している。駅前にオープン予定の施設に関しても大いに期待している。
- ・ 子育て支援策が充実していると思う。(矢川プラスや役所の子育て支援課の人の対応もいつもとても丁寧) 学童も充実していると思う。 23区から越してきて、手厚さにおどろいた。
- ・ 子供が参加できるイベントも多く、また公園は城山を始めとして自然豊かで子供がのびのび遊べるところが良いです。サポート体制も充実しているとは思いますが、利用していないのであまり分かりません。
- ・ 子育てに関するいろいろなイベントや保健センターの職員さんがとても親身に相談に乗ってくれる。 自転車移動しやすく、子連れで動きやすく、地域の人があたたかい。
- ・ 市役所・保健センター他、相談を親身に受けくださったり、娘をひとりの人格として認め対応してくれているため。困った時はいつも緊急なので、そんな時にも快く手を差し伸べてくれる社会があるので大変助かっています。
- ・ 市役所の方が親身。
- ・ 市役所へ行くと必要な手続きや、現状受けることのできる支援について丁寧に教えてもらえる。
- ・ 施設が充実している。保育園にも比較的入りやすい
- ・ 初めて越してきた際に、国立市の街の景観や小さな子供の多さがとても印象的で、子育てしやすそうだと思いき環境が気に入りました。私自身は現状あまり困っていないので行政サービスは殆ど利用していませんが、街の規模相応の施設やサービスではないかと思えます。また新しい施設も整備されているようなので、取り組みを色々していただけているのではないかと思えます。
- ・ 食のサポートや、子供達が過ごす場所が多い

- ・ 図書館が近くにあること、公民館での魅力的な講座、広報誌を通じた情報発信などがしっかりしており、住みやすさを日々感じている
- ・ 図書館等で幼児向けのイベントがあったり、地域のお祭等も盛んで良いと思います。
- ・ 数々の子育て支援については、とても満足しています。施設が市役所周辺にかたまっているのので、東居住者には利用しづらいです。
- ・ 他地区の友人からいろいろなサポートが多いとうらやましく言われることが多く(笑)、自分も 2 人の子どもを楽しく育てられているから。矢川プラスができたことも大満足です。
- ・ 待機児童もなく、不便に感じる事が無いため。
- ・ 大きい公園や自然も多く、矢川プラスのような施設もできて、子供を育てるにはいい環境だと思います。経済的な支援にも感謝しています。保育士の待遇改善をぜひお願いします。
- ・ 不満がない。他区域と比較して子育て支援に力を入れていると感じる。
- ・ 不満を感じずに生活できているので。
- ・ 保健師さん訪問や矢川プラス、通学路のボランティアの方等みなさん親切で感謝しています。(市役所の方も！！)
- ・ 大通りに歩道—自転車道が分かれてあること 子育て支援施設やイベントの多さ
- ・ 良いタイミングで子育て施設ができたため
- ・ 良くしていただいて、満足しております
- ・ 緑も多く、買い物もしやすく、ちょうど良い。たくさんおまつりがあって楽しい。

○満足度の回答がなかった方

- ・ 公園が多く、夏は水遊びもできるので助かっています。支援センターや児童館も職員の方々が温かく見守ってくれているので安心して利用できます。ただ、子供が小さいうちは補助金等も含めた支援も充実していると感じますが、大きくなるほどお金も掛かるようになるのに子供手当も減ったり、あまり支援を感じられなくなります。国や都での規模で行うことかとは思いますが、小学生以上の支援にももう少し力を入れてほしいと感じます。
- ・ 公園が多く明るい雰囲気、歩道と自転車が分かれていて安全なところ。治安も良いように感じます。
- ・ 保育園など子供を預ける施設が増え環境は年々良くなっていったと思う。

【低学年小学生保護者・問 37-1】

○満足度「1」と回答した方

- ・ 文教地区らしい取り組みが少ない、国立市ならではの企画が少ないことが不満です。国立市が本気で育児支援に力をいれていると感じる機会がないです。育児をしている他市の家庭がうらやむような思い切った対応を期待しています。
- ・ 3人目が欲しかったですが、上の子と年齢がはなれてしまい、保育料が高くあきらめた
- ・ こどもの一時預かりの制度がすくない。設備が古かった。学童の利用料が高く、一時利用の制度がない。
- ・ このアンケート対象の子が小さかった頃、遊べるところも遠く、古かったので子育て施設を使う気にならなかった。
- ・ そもそも環境が悪いです。何もないので何も答えられません。
- ・ 以前は武蔵野市にすんでおり、上の子が小学生、下が年少児に国立市に越した。近くに田畑があることはいいが、気軽の散歩できるような公園が少ない。子供の遊具、樹木やコンセプトが古いままなので、あまり公園に長居したい雰囲気ではない。井の頭公園のように親子で楽しめる環境がほしい。また、つい上の子の保育園と比べてしまっていたが、保育園の質もあまり良くなかった。公園だけでなく、通い詰めたいと思う場所があまりない。一方でのんびりした雰囲気は市全体にあるので、その点は居心地は悪くない。乳幼児の施設は利用したことがないので分らない点が多いが、武蔵野市の 0123 という施設はとても良かったと思う。同じような施設があると子育て時はとても良いと思う。遊具も木材を利用したもの、自然のもの、手作りのものを中心に、子育て情報も豊富。親子で居心地が良く、施設職員に子育ての相談もしやすかった。先の質問でも回答したが、子育て施設は駅前にある必要はまったくない。むしろ交通量を考えると怖い。また、駐輪場がしっかり整備されていて、外でも中でも遊べるような環境のほうが子育て施設としては便利である。城山公園や、矢川緑地、矢川上公園などに隣接した室内の子育てひろばがあったほうがよほど使いやすくないか。もう子供も大きいので、そうした場所にはなかなか行かないが、駅前より点在して親子が楽しめる施設があったほうが利用しやすい。休日利用のときはお弁当を持ってピクニックもできるような環境がよい。駅前ではあまりそういったことができないのでは？

- ・ 以前住んでいたところの方が充実していたと感じるから。
- ・ 以前府中に住んでいたが、比べると支援や助成が少なすぎる。早く給食無償化してほしいし、国立へ引越してきて後悔している。
- ・ 医療費(子供の)200円を無料にしてほしい！！
- ・ 医療費の負担金があること。
- ・ 医療費やインフルエンザ予防接種の補助金について不満です。引越してきた時にかかりつけの小児科がなかったため受け入れてもらえず、苦勞した
- ・ 23区と比べて、こども医療費助成制度が充実していないから。いつでも診てもらえる医療機関が少ないから。放課後キッズが決まった曜日しかなく、屋外のみで活動で天候によって中止になることがあるから。(以前住んでいた地域では、天候に関わらず毎日専門のスタッフが見守りをしてきていたので、とても利用しやすかった。)
- ・ 補助金が高市と比較して低い。医療費が高市と比較して高い。国立市は文教地区なので、小学校や中学校等、建物をキレイにして教育の質、先生の質を向上してほしい。そしてインスタ等で発信して国立市の人口が増えるようにして欲しい。
- ・ 一時保育の予約がなかなか取れない 給食費や保育料が高い 緊急の時に子供を見てもらえる施設がない
- ・ 駅前にママチャリをかるくとめて買い物ができない 子どもが小さいと前後にのせる重い自転車なので止めやすい所が必要。今は買い物がしづらい。
- ・ 学童を以前利用していた。他地域と比較すると、企画が少ないと感じた。利用しようとしても、参加できなかったこともある。2階の学童部屋にのみいなければならないようで窮屈そうだった。
- ・ 学童利用は外部での時間証明を提示とのことで、在宅ワークであるため提示できず利用不可とのことでした。国分寺や立川、府中ではOKとのことで利用しました。
- ・ 近隣他市と比べると様々な施設、サービスが足りていないと感じます。老人支援はほどほどにして若者へのサービスを増やしていただきたいです。
- ・ 支援の内容が悪い、たいしたことをしてくれない、他市をもっと見習うこと
- ・ 治安が良いと感じます。街が整美されていて、騒音も少なく、いかがわしい店も少ないので安心出来ます。が、娘が通学時に二度程男の人に話し掛けられて怖かったと帰って来たので、油断は出来ないとも思っています。
- ・ 障害のあるこどもへの支援体制が整っていないからです (優先順位的に、健常のこども→自閉症のこども→その他の障害をもつこども というかんじなので、満足していません)
- ・ 親族が遠く、保護者の病気の時にファミリーサポートに何度か頼んだけれど全く親身ではなく利用できなかった
- ・ 全てが酷い
- ・ 大きい公園が少なく、通学路も狭い。昔から意見されていても何も変わらない。矢川プラスは良い施設だが、東エリアからは利用しづらい。給食の費用が無償にならない。子供が味が美味しくないと話す(以前は自校調理校に通学していたため比べて)
- ・ 超高齢社会のため人口の多い高齢者の方にばかり福祉政策が向いているように感じる。団塊の世代が子ども時代をすごしたような、こどもがのびのびと能力を伸ばせるような遊びのスペースはどんどん奪われているように感じる。子どものためのスペース、子どもと全世代とが交流できるスペースの両方をつくってほしいし、もっと子ども自身や子育て中の親のアイデアをきいてほしいと感じている。市長が育児や家事を実際に体験して市民に感想をきかせてほしい。
- ・ 東京都の他自治体と比較して、進んでいると思ったことがない。
- ・ 二小の仮移植について保護者への情報提供が少ない。安全性に配慮されていないと感じるのに対応が不足していて、市が子育てについて誠実に取り組んでいると感じられない。保護者の不安についても誠実な対応がみられなかった。(教育委員会担当者)
- ・ 費用がかかりすぎている。給食費、学童費、習い事など、児童手当は少なすぎるし、学校に行かせるのにも教材費とってくるし。結局、金。特別給付金とかではなく、教育費が高いのでどうにかしてほしい。子育ての場設立しても、だから何？と思う。子育てに必要なのは、金なので、キレイ事ではなく、金なので、考えてほしい。支援施設たてる費用あるなら、北に中学校つくって下さい。
- ・ 府中に比べて、何もかも足りない
- ・ 平均的な子ども、健常で毎日学校に通って友達とも仲良く遊べる子どもはサービスの恩恵にあずかるが、真ん中から外れた子供、障がいや不登校、母語が日本語でない子供は、サービスからこぼれ落ちている。
- ・ 問 32と同じ回答です。共働き家庭には優しくない環境だと感じる。①小学校の中に学童保育を設置してほしい。

②朝 7 時～20 時まで学童を開けてほしい。(出社時) ③夏期、冬期休暇も給食を提供してほしい。親が働いている家庭は夏休み 1 カ月もいない。④ランドセルを廃止してほしい。(重すぎる)リュックで登校可にしてほしい。⑤学童はただ遊ぶのではなく、学びも提供してほしい。(希望者に有料でピアノや英会話などレッスンできる等)保育園はありました。

- ・理由も何も、待機児童からはじまり 2 人別々の園に登園させ子にやさしくない公園ばかり、支援等の充実度も実感なし 駅前にお金をかけるなら子育て支援にお金をかけてほしいです うみたい!と思わせてほしい。あと 2 人はほしいです。

○満足度「2」と回答した方

- ・就学前の市の相談体制が充実していない。保健センターの健診では、子どもの問題を心無い言葉で指摘し、一緒に考えていこうという姿勢が感じられず、その後相談しようとは思わなかったことがある。また、医師、心理士、作業療法士、言語聴覚士に相談できる枠が少ない。子育ての精神的なフォローが期待できない。市運営の学童保育の質が低い。子どもの人数に対して、施設が狭く、スタッフも少ない。
- ・“みんなで子育て”、“ママ友文化”という言葉が好きな市…と言われ、たしかにそうだな…と思いました。ずいぶん前ですが、“市は何もやってくれないから、市民が自分達で何とかする市だよ”…と言われて、たしかに支援をうける必要のない人は、そうやって育っていくのか…と思いました。力もお金もあれば、保育園に通わせながら、習い事もさせられる人もいる事に気づき、格差を感じました。
- ・公園が小さい 自転車置き場(無料)が少ない、いつも満ばい 学童を利用したいとき条件があればほぼ預かってくれるのはありがたい。
- ・財政が厳しい中でも今後も金銭的な援助は欲しい 国立は高度な学校がそろっているため、その教育環境を生かし未就学児、低学年の子供たちに勉学の楽しさを伝え、一緒に学ぶ場所をつくりアピールして欲しい。
- ・23 区に比べると様々な点で劣っているという認識。自然が豊かであるが宅地化も進んでおり、自然環境の保全に力を入れてほしい
- ・23 区内と比べて、子育て給付金が少ない。→年 10 万円。子供よりお年寄の方が大切にされていてとても不満。小学校・中学校の給食無料、教材の無料化を実現して欲しいです。
- ・あらゆる事に不便さを感じる
- ・どのような支援等があるのかあまり把握していない。
- ・駅前に図書館や子どもがあそべる所がない。車やバスで行けるところでなく駅前にあると便利
- ・屋内が昔なかったのも、困った。体格差のある年齢が入りまじる時間帯があつてボールや走り回る大きな子供に不安がある時期があつた。
- ・何もない。
- ・学童の閉まる時間が早い。おやつ代が有料であること。学校に PTA があること。
- ・給食費がなくなるといいなと思います。(府中市は 2 学期から試験的に無料と聞いたので)医療費なども。駅の三角屋根や商業施設を作るのならもう少しこういう所に使ってほしい。
- ・給食費の無償化
- ・給食費の無償化がほしい
- ・共働き家庭のサポートがもっと欲しいです。
- ・近くの市に比べて保育料が高かった
- ・近隣の立川市や府中市のように図書館を充実させて欲しい。漫画の参考書(ドラえもんやコナン、タイムワープシリーズなど)を増やして欲しい。
- ・広く遊べる公園、水がたくさんある公園、子ども向けイベントなど多く楽しませて頂いています。
- ・国立に引越してきて、子育て施設の汚なさと、そこで働く職員のレベルの低さ、また地域住民全体として子どもに関わろうとする人の少なさに驚きました。支援センターの職員ですら、0 歳児以外には声掛けをしなかったり、何回行っても名前すら覚えてきません。他の市の支援センターを見学し、勉強された方がいいと思います。また、玩具も汚ないので、寄附を募った方がよいと思います。
- ・子どもが安全で衛生的な環境で遊べる室内施設が少ない。矢川プラスのような施設は理想だが、いつも混んでいるので分散できるように矢保駅や国立駅にもあるとよい。
- ・子どもが小さい時にうけていた〇才児健診はいつも混んでいて待たされて全く良い思い出がない。学童保育に預けたくても要件が厳しすぎる。学童が無理なら、せめて放課後キッズを毎日、実施してほしい。
- ・子ども食堂はすごく助かっています。国立市東に子供達が遊べる場所が少ない

- ・ 子育てに関する情報発信が分かりづらい
- ・ 子育て支援サービスが不十分なため ・保育・家事支援
- ・ 子供が安心してあそべる場所がほしいです。
- ・ 時間はかかりますが困った時に何らかの支援が受けられる。
- ・ 渋谷区などに比べて金銭的補助が少ない
- ・ 出産前～3才位までは、健診や、集まれる会のようなもの、地域の保健師さんなどが、支援して下さったり、保育園の先生方が親身になって下さり、心強かった。3才以降～小学生になるとそういった支援が一気になくなり、幼児とはちがうなやみや、子育ての疑問、つらさがあるのに、相談できる窓口・人がいなくなった。祖母も両方遠方で、預ける人も側にいず、一時預かりのようなものも側になく、あっても高額で我慢するしかない。
- ・ 助成金が少ない。物価高で生活費が上がっている。非課税世帯への給付ばかりではなく、普通世帯への給付もして欲しい。子供が3人以上いると生活費もとてもかかります。
- ・ 小学生に対する子育て支援は、あまりきいたことがない。
- ・ 情報の受け取り方が悪いのか、自身が属する世帯・世代が支援の対象となることが少ないため
- ・ 職員の皆さんは頑張っているのだと思います。が、それよりも多くの期待を市役所にしています。小6まで学童いけるってスゴイです。でもその制度は入口です。じゃ小6まで通いたくなる保育内容なのかな？って思うと違うんですね。サービス業と社会インフラは違う、ということでしょうか。保育園は上の子から下の子まで現在約10年ほど同一園にお世話になっており、とてもよくなっていると感じる。だが人にさらに投資してほしい。子どもの環境、それに関わる職員の処遇改善、まだ向上を求めたい。
- ・ 親が働いていたら保育園や学童に子供を預けることが出来ますが、親が仕事していなくても、急用な時手軽に預ける施設がなかったです。満足度を2にしたのは矢川プラスが出来て少し良くなったと思うからです。
- ・ 人は申し分ないのですが、施設が老朽化しているところが多く、市外に遊びに行ったりすることが多いです。児童館など。また国立市は小さい市なので学校同士の交流などもふえるとうれいいます
- ・ 西地域で公園がないので、そこが残念です。あと給食費の未回収が900万？信じられません。税金と同じように、きびしく回収してほしい。モンペが多くて、学校の先生大変そうだし、そっちばかり気になってしまっていないか心配。ちゃんと子供を第一優先で勉強や道徳を教えてあげられているのでしょうか？小・中・高・大とお金はかかります。1人ならともかく、3人もいると大変です。子育てして国立で良かったと思ったことは1つもないです残念ながら。
- ・ 他の地区より施設が作られたり、公園の整備などが遅い。
- ・ 通学路が狭く危ないにも関わらず、長年とくに改善されていないよう。(三小通り)給食費を負担ゼロにして欲しい。図書館が暗く、危ない雰囲気(中央のB1など)明るく新しい図書館(武蔵境の駅前の様な)に変えて欲しい。団地が多くて、閉鎖的な雰囲気を出している。
- ・ 土曜学童の保育時間拡充、子育て世代への独自支援策、もっと子供に住みやすい育てやすい国立市を希望します。就学援助も、ランドセル購入支援金欲しかったなあ…
- ・ 富士見台、矢保近辺は公園や児童館が充実していると感じますが、北、駅近辺はあそべる環境が少ない印象です。2025年の施設、たのしみにしています。
- ・ 府中市から越してきたが、府中市の方が充実していたと感じた
- ・ 福祉関係をもう少し充実させてほしい(放デイなど)
- ・ 文教地区なのに、図書館が残念 近くに公園が少ない
- ・ 保育園、学童などの最低限の子育て支援以外で受けている実感が無い。学童の質も良くない。
- ・ 保育園に入れない
- ・ 放課後や休日に子どもが安心して遊べる室内が無い(低学年の内は特に)西の地域は広い公園は徒歩で行くと上公園と西児童遊園？(JR公園)ふれあい公園しかありませんが、道はちゃんとした歩道が無く途切れていたり、道が狭く、自転車道も分かれてないので小学生だけで行かせるのは不安で付き添わなければならない、不満。自転車だとしてもこわい。
- ・ 北地域の子育て環境があまり良くないから。体育館、矢川プラスや保健センターが遠くて不便。大きな公園はあるが、雨の日に子どもが集える施設がない。北福祉館や北市民プラザの自由スペースに子どもが集うと、大人から苦情が入り、子どもの居場所がなく、北地域に住む子どもたちはかわいそうだと思う。
- ・ 北地区の子育て環境を他の地区同様、もっと整えて欲しい。
- ・ 未就学児に対しては様々な取り組みがなされてきている感はあるが、小学生になったとたん、支援の手が遠ざかっている印象がある。

- ・ 矢川プラスが遠い 近くの公園と児童館は人が少ない 親子ともに楽しめる、友達が作れるような公園と児童館にしてほしい 公園に遊具が少ない 児童館に乳幼児のおへやがない、親子で楽しめる企画をしてほしい 路上喫煙を禁止してほしい
- ・ 矢川プラスなど、使い勝手の良い施設があって良いが、そこには送迎がいる。親の負担が大きい。できれば、近場にほしい。昭和記念公園のプールがなくなった。市民プールあるとうれしい。難しいだろうが。公園の水あそび。すぐに汚くなるし、親はつかれないでみてるだけって暑いし地獄。プールやスポーツ等の習い事させてあげたいけど、基本お金かかるし、遠い。どうにかならないのかなあ。
- ・ 矢川プラスは良いと思います。矢川プラスのような場所を増やして欲しい。文教地区として STEM 教育が受けられる場イベントや、一橋大学や東京女子体育大学と大学連携のイベントを増やしてほしい。
- ・ 良い点と思う点: 矢川プラスが出来て子どもたちが集まれる場所ができた。悪い点: 魅力的な公園がない。図書館が古くて暗い雰囲気。
- ・ 友達が府中にいるのですが(同じ学年の子どもがいます) 給食費や子どもに持たせる GPS のような物が支給されるらしく違いを感じます。
- ・ 利用したい環境が少ないから
- ・ 立川、府中にくらべると子育て環境は劣っていると感じる。

○満足度「3」と回答した方

- ・ 校庭開放の日数を増やしてほしい 学童に入っても急ぎ預けられる場所があってほしい
- ・ 子ども家庭支援センターの 0 歳児の母親のつながり作りや、児童館の乳幼児の遊びの広場のおかげで、今も相談できるママ友がいて、大変うれしく思う。
学童保育が 6 年生まで利用できるようになり、大変ありがたい。
保育所や学校の先生は熱心で、相談しやすい。・公共施設(特に文化施設)が古くて、小さいのが大変残念。財政面の問題かと思われるが、文化都市としてはもっと芸術や文化を大人も子供も気軽にかつ十分に味わえる環境を整えて欲しい。訪れるだけでわくわくするような図書館や芸術ホール、美術館が国立にもあったら本当にうれしい。
小・中学生が楽しめる公園の充実を望む。谷保のプレイパークは、子供だけで行くにはやや遠いので行ってない。近所の公園は、幼児が中心。
- ・ 1 番困っているところは解決していないけど、ありがたいと感じることもあるので 3 です。
- ・ あずかり施設などをもうすこしほしいのと、子育て支援金をもうすこしほしい、と思っている。税金を多く払っているのにと思う。病院にかかりたいのに、発熱していると発熱外来の予約がとれなくて(枠がすくなくすぎる)かかれないことが多い!
- ・ いつもありがとうございます。ご支援感謝しています。今後の施策に期待しています。どうぞよろしく願いいたします。
- ・ ここ数年いろいろとやっていただいているのは感じる。
- ・ これまで保育園や学童など、利用できず困ることがなかった。ただ病気の時のあずけ方が手続き等がめんどうで利用したくても急にはできなかったのが、残念な程度。
- ・ はたけんぼは時々利用し、親ではできない体験をしています。もっと友達同士であそびあえる環境が、学童以外でもあるとよいと感じることもありますが仕事しているとなかなか作れない
- ・ ファミリーサポートや育サポなど、年々子育て支援が充実してきて、長女(7 歳)の子育てのときより、安心して子育てできるようになってきた。駅の近くに、公園が少なく、幼児～小学生まで安全にのびのびと遊べる場所が増えたらうれしい。
- ・ ほうかごキッズを府中市の様に有料にして良いので週 5 日できるようにしてほしい。長期休暇の預け先がない(祖父母も仕事をしているので)
- ・ よく分からないけど不満はない
- ・ 医療費の助成には助けられている
- ・ 子ども医療費の所得制限撤廃は非常に素晴らしい 他の所得制限は国基準と言わず市として頑張してほしい 支援が必要な子どもに対しての受け皿も他市よりはるがあるが、受け皿のハード面はあってもソフトは足りておらず結局人手不足により学校等の支援は足りていないよう感じる インクルーシブとうたいすぎ、当の子どもを置き去りにしていないか、子どもにとって本当に幸せなのか見極めてほしい なんでも一緒にいられれば良い訳ではなく、別にすすすことと安心でき、自信をつけていける子どももいる 全般的に支援のハードルが高く、窓口の人によっては冷たく、

相談を諦めてしまいそうになる

- ・インフルエンザワクチンの補助がほしいです。
- ・こども医療費助成制度の対象者が拡大した点はとても嬉しい。
- ・一時金等は受け取っているが、一時的なばらまきではなく、給食費や年間の教材費にあててくれる方がいいと思っている。不満はないので、3にした。
- ・駅前に子供が興味を持つようなスペースやお店があまりないように感じる。小学生の子供でも楽しめるような場所が増えるとよい。
- ・可もなく不可もなくという感じです。環境にはある程度満足しているが、子供の年齢的なものからか、あまり支援されている感じがしない。
- ・学校でスマイリーさんが足りていない事が心配です。習熟度別の授業も1年生からでないといけない子が増えると思います。
- ・学校に対しては、もう少し頑張ってもらいたいと願っています。大変なのはわかるのですが、教員の確保、不登校や学級閉鎖等の際のオンライン対応、タブレットの有効活用等、疑問を感じる事が多々あります。
- ・学童への入所に制限がないので安心して働ける
- ・環境について詳しくはわからないが、配布されるものや啓発物をみても、どこか古くさく、時代に合った内容にアップデートされていないと感じる＝満足度が高いとは思えない。
- ・環境は良いと思いますが、上の子がいじめにあった時と下の子が登校できなくなった時に学校の対応に不信をもったので。
- ・気軽に遊びに行ける、設備の整った公園が少ない。
- ・月齢会は小さい市だからこそできる支援でありとても役立ちましたが、金額が絡む支援は及び腰と感じます。他市の状況を鑑みてというの必要ですが、国立市が率先して行うという気概が感じられません。
- ・公園では仕方ないと思うのですが、小学生高学年の子達が鬼ごっこで走りまわり、一方、同じ場所で幼児が遊ぶ…体格差や力の差を考えると、接触の恐怖で安心して公園で遊ばせてあげることができませんでした。矢川プラスの様にエリアを分けてある場所が増えるとありがたいと思います。
- ・公園や緑が多く色んな施設もあるのでいいと思うが、住宅街に入ると狭い道路が多い。通学路も危険な箇所があり心配である。
- ・国立市民の方々は、とても優しい方が多い印象です。が、立川市や府中市など近隣に比べて、施設やサービスは低いように感じます。
- ・国立市立の小学校に通っていないため、学童は民間学童に通っている。そのため、子育て支援の恩恵についてはあまり理解できていない。
- ・最低限のセーフティネットや取り組みは用意されていると感じる。市からの支援が自分たちのところに十分に届いているという実感は薄い。
- ・子どもが2〜3歳の時に一時的な預かり先として保育園の一時預かりの手続きに行ったが、食物アレルギーが理由で預かっただけでなかった。北地区から保健センターや子ども支援センター(屋内の遊び場)まで遠く不便。矢川プラスまでも遠い。保健センターの駐車場が数台しかなく雨の日の健診で乳幼児を連れていくのに大変だった。大声で泣くので交通機関を使用したくない。国立駅周辺に子どもが遊べる公園が少なく一橋大の中庭で遊ぶことがよくあった。食物アレルギーの給食対応開始が遅かった。以前は駅周辺に授乳スペースがなかったましの2階でおかりしていた。気軽に使用できず大変だった。
- ・子育てイベントなど情報を得て、参加できるものは楽しく参加させてもらっていますが、行きにくい立地のものもあり参加を諦めることもあるのでバスの運行など充実して下さるとありがたいです。
- ・子育てのサービスが少ない
- ・子育ての新しい施設が矢川にあるので、子どもだけで利用するには遠すぎる。国立駅前にできたら、中〜東地区の低学年の児童も子どもだけで行けて有難い。
- ・子供がスポーツを習っているのですが、活動する場所が限られていて、とても困っています。ゴリラ公園など、施設を充実させるのも良いのですが、第三公園に照明を設置したり、休閑地をサッカー場に変えたり、気兼ねなく運動できる場所が増えることを望みます。
- ・市では人権をかかげていますが、教育現場(とくに保育園、幼稚園←古い考えのままの職員が多い)(学童など)の末端では理念も実践もまったく共有できておらず、できていないです。研修やひとりひとりの職員への目くばりが必要ではないでしょうか。いろいろがんばって下さっていると思いますが、個人の資質に頼るだけでは限界があります。

また、行政が「こういう集まりを設定しました」というところには、正直出ていきにくいです。出席者も固定化するのではないのでしょうか。工夫が必要かなと思うところです。

- ・ 施設が古い。府中市や立川市に比べると場所も物も充実しているとはいえない。図書館が特に古く、使用しにくい。足が向かない。
- ・ 時代とともに改善されていると感じます。相談窓口は増えたり産前からの支援ができたり矢川プラスができたり。ですが相談まで行かないけど工夫しながらなんとか子育てをする親たち全般を応援してくれるところに、力を入れているようにはあまり感じていません。自己責任の風潮に変化を起こすのに、地域で親子を育てていくことは高齢者にもいい循環が生まれると思いますので、市民当事者の声をこうして聞いてふまえていただけるこの機会はありがたいです。
- ・ 自然豊かで良いと思います。
- ・ 自転車で行ける範囲に5つも遊具が異なる公園があるのは、6才未満の子の遊び場にとっても良い環境だった。4月にオープンした矢川プラスも小学生の遊び場になり、親も安心して外出させることができる。経済面で、医療費の無償化が小6または中3までであると大変嬉しい。
- ・ 手当てや金銭面のサポートは頂いていますが、学童以外の緊急時の預け先があればよいと感じます。
- ・ 小さな市なので色々行き届いていると思います、ふつうという意味です、現状でも充分ですが、まだまだ発展への望みを持つ意味で5にはしていません。学校の先生が少ないことに不満。
- ・ 小学校の給食の内容が周りの市と比べて少し淋しい気がする。公園が多いのは良いと思う。
- ・ 親が仕事に、子どもが友達と矢川プラスや、子ども食堂の駄菓子屋さんに行くことがあり、そこでは見守ってくださる施設の方々がいるので助かっています。ただし家からやや遠く、自転車で移動していることに心配もあり、あまり利用させてやる事ができません。利用できるものが少ないので、あまり満足を実感できていません。
- ・ 設備や環境は良いと思うので料金の見直し
- ・ 全体的に、ソフト面(職員、企画など)には満足しているが、多くの施設・設備が古く、利用しづらさがあるように思う。
- ・ 全体的に、施設や遊具などが古いので新しくしてもらえると嬉しいです。(矢川プラスは西町から遠いので…)
- ・ 他の区や市に比べて充実しているのか比べたことがないのでわからない。
- ・ 他の市に比べて補助金が低い 施設が古いし分かりにくい 交通の便が良くない
- ・ 他の市区町村の情報が少なく、比べられない。
- ・ 他の自治体との差がわかっていないため
- ・ 土日などに、イベントを増やして、子供だけで楽しめることを多くしてほしい。経済的な支援が頂けるとありがたい。
- ・ 土日に体育館を開放しているのは大変ありがたく、他地域ではやっていないそうなのでより感謝しています。
- ・ 東京都からの支援のイメージはあるけど、市からのイメージはあまり無いから。
- ・ 特に現在困っていることはないが、新しく出来る子育て施設が、自分の子供が小さかった頃にあつたら満足度が高かったように思う。
- ・ 日頃生活をしていて、不足に思うことは特にないため
- ・ 乳幼児は諸々あった気がするが、小学生に入ってからあまり思い浮かばない
- ・ 必要最低限のサービスを受けられているが、一人一人の子どもにあった教育を選択できる子育て環境や、共働き子育て世帯が生活に余裕を持てる育児家事の子育て支援を期待しているため。
- ・ 不満足な事がないので、中間に○をつけました。今現在特に支援サービス等を使っていないので、満足度を出すことが出来ない状況だとも言えます。
- ・ 府中や立川などに合わせて独自の支援がない
- ・ 福祉施設が充実していて、とても嬉しく思っています。
- ・ 保育園、学童で、仕事があるから預けていたのに委員の活動が多くて大変だった。保護者にはとても大きい負担だと感じる。
- ・ 保育園などの補助金が少ないから
- ・ 保育園には満足していましたが、学童は問32の通り不満がありました。あずかり時間が国分寺より短いことも不満でした。
- ・ 保育園や学童に入れる環境である。市役所の発達支援科にお世話になったことがあるが、親身にサポートしてくださる。
- ・ 保育園を沢山作ってくれることは大変まんぞく。色々な小学校に支援級ができるのもありがたいけど通級するのに負担が増えると足が遠のいてしまう。

- ・ 保育園卒園までの未就学児までは、かなり充実してきたので、特に不満がない。しかし、小学生になってから、子どもの目がいき届きにくく、学校行事(平日午後多い、保護者会、面談など)や日々の宿題など、子どものためにつかう時間が増え、忙しい。その上、1番上、本人とも小学校でクラスが落ち着かず、日々色々な問題をクラスでかかえて生活している。落ち着いて学校生活を送れることが基本！学校環境設備、教員の質と人数の確保を最優先にしてほしい。学校の先生に相談できる環境にはない！(1番上は今年中学生だが、ようやく落ち着いた。)来年一番下が就学でかなり不安。
- ・ 矢川プラスができるまでは、公園や図書館にたまに連れて行くくらいで、特に満足感はありませんでした。
- ・ 矢川プラスができる前、地域の児童館を毎日利用できるシステムがなかった。
- ・ 矢川プラスの創設はとても良かった。子どもを安心して遊ばせてあげられるが、家から遠い為、バス路線など交通の面でもう少し行きやすくなると直良し。第三公園は、スポーツができたり、イベントが出来たり、ラジオ体操をしていたり、市民が集える場所として、これからも在りつづけてほしい。ただし、砂ぼこりが多く、困っている為、芝等にする等整備してほしい。
- ・ 大きな不満もないが、とても助かっているという実感もない。
- ・ 特に大きな不満はないが、大きな満足感もない
- ・ 特別困っていることはありませんが、特に良いと思うところも正直ありません。
- ・ 特別良い所も悪い所もないため
- ・ 特に不満はありません / 特に問題ない / とくになし (計3件)
- ・ 普通(充分) / 普通だと思うから。(計2件)

○満足度「4」と回答した方

- ・ ママ下など、市内の自然環境が良いこと・学童が高学年まで利用できること
- ・ 国立の月齢会のシステムは今になっても良かったと思います。児童館たよりや市報のイベントも楽しく利用させていただいています。くにっこの拡充と値下げを希望します。近隣市(立川市、府中市)ともっと提携したサービスが受けられると良いです。(多摩六都科学館のように)
- ・ 地域にあぶない場所が少なく、安全に子どもが遊べる環境が整っている。ベビーカーに乗っている頃は、道がせまい場所が通りづらかった。街路樹の根っ子などで道がボコボコしている所など直してほしい。
- ・ 通級(はばたき、言葉)を利用しているが利用への手続きがスムーズかつ迅速でした。働く親にも配慮して下さったタクシー事業など大変ありがたいです。放課後デイ利用のための手続きもとてもスムーズで親身に対応して下さいありがとうございました。学童の一時利用(1日だけ)ができるとありがたいです。以前の自治体に比べて学童の質があまり良くない(スタッフが事務的でよりそう感じがしない。入所して日が浅い子が来所していないのに連絡が2時間後だった。おもちゃや本なども少ない。ただあずかっているだけ、いるだけ、になっている。季節のイベント以外は放置ぎみなのが気になった。)放課後きつずは校庭のみなためか、宿題をブルーシートの上でしているのが少し不憫。
- ・ 保育園数も増加した(利用できなかったが) カウンセラーさんや教育支援センター、はばたき級等色々支援があってよいと思う。(ただスムーズさに欠ける)公園もたくさんあって、ボール遊びができたりするのはいいと思う。
- ・ 2才から住んでいるが、これまでたくさんの支援を受けて、育てることが出来ている。一時保育、保育園入園がもっとスムーズだと助かります。また保育園と学童で入園、入所の基準に違いが多いことが気になります。3人の子どもの居場所がそれぞれきちんと定まらないと、結局は働くことが出来ないため。
- ・ ウェルカム赤ちゃん教室→カンガルー広場→コケッコ→月例会・市主催の体操教室、託児付き公民館の講座などで同じ歳の子をもつ方と知り合い、つながりができ、現在も続いている ありがとうございます
- ・ しょうがいのある子がいるが、親が情報を取りに行かないと支援にたどりつかないと感じます。もっと必要な子に支援が届く体勢があればいいと思います。※単純に、同封されている子育て支援施設のチラシが見にくいです。
- ・ たまにチラシで子どもが行ける食堂や勉強できる場の案内があるから。児童館のチラシを学校でもらってくる事がある。
- ・ どの公園にも、アスレチック遊具やトイレがあって子育て世帯には助かる。でも、子どもと気軽にスポーツができるスペースは少なめだと思います。また、中ふれあい公園周辺にトイレがないし、国立駅周辺に授乳スペースやおむつ替えスペース、子ども用トイレなどは不足していると感じます。
- ・ パチンコ、ゲームセンターや風俗店が少ない点。市の子育て支援の活動の熱心さは伝わっているため
- ・ はばたき、など発達関連はめぐまれているように感じます。他市の友人の話の聞くと自分の子どもたちの状況におどろき、ありがたく感じている。

- ・ひとり親となって、くにサポ制度の利用を通じて助けられた。今後も、相談させて頂きたい。（計2件）
- ・ファミサポがありがたい
- ・ファミリーサポートでは、支援していただきとてもお世話になった。赤ちゃんの頃の月齢会ではじめてのママ友もできた。小学生になった娘は今、矢川プラスへお友達と行くことを楽しみにしている。自然と子育てがしやすい雰囲気をもつ、いい市だと感じています。
- ・安心して育てられる環境に満足しています。施設が少し古かったりするところが、新しくなると良いと思っています。
- ・医療費を中学生まで無料にしてほしい。
- ・医療費補助など、生活していて助かっているところは沢山あります
- ・予防接種の補助金をもう少し補助してほしい。就学児の医療費も無料になると、助かる家庭があるのではないかな。
- ・家庭支援センターは矢川プラス以前ですが大変お世話になりました。児童館 コケッコ、ここすき、月齢グループづくりなど、も多くのママ友ができ、心づよかったです。公園の遊具を定期的に点検して下さりありがたいです。小学校に上がり、学童が学校外で遠いし、安全じゃないし、不安がふえました。矢川プラスは週1で通うほど子供たちが気に入っています。矢川プラスで学童とは異なる形で預かり保育をしてほしいです。（低学年頃の子供に対して）
- ・街が全体的に落ち着いていること。車が歩行者を優先すること。施設が充実していること。矢川プラスがあり、よく子どもを見てくれること。地域のお祭りやイベントが多いこと。住民が国立市を愛していることと、その環境で子育てができること。できれば、アスレチックが欲しいです。あとは、市の政策には関係ありませんが、子供服を取り扱うお店が少なく、困ります。
- ・学童の先生方がとても熱心で子供が安心して預けられます。
- ・学童保育なしに、共働きは不可能であるが、保護者の互助会等で成り立たせるのは時代合わない。行政からこの辺りともっとサポートしてくれればより良いとおもう。
- ・学童保育所でのびのび外遊びもふくめてあそべていること 学童保育所に入所することができること。学年が上がっても入所できること。学童保育所の保育が安全に留意して行われていること。
- ・学童保育所に入所できている。ただ、子どもが1歳のときに保育園に入れなかったのが、5ではなく4としました。
- ・月齢会やコロナ禍前は地域の集まりもあり、引っ越してきてすぐにそういった集まりがあることを教えて頂いて助かりました。あと、矢川プラスや児童館などの子供が遊べる場所もあり、そういった面でもありがたいです。何より保健師さんなど、温かく優しい方々ばかりなのでとても満足しています。
- ・月齢会やサークルなどがあり、紹介してもらえる。利用できる公園などが多くある。
- ・公園が近く遊ばせやすい。
- ・公園が多く、お散歩にも困らない 施設がコンパクトにまとまっていて使いやすい
- ・公園の数が多く、緑豊かな街で環境がよい。 矢川プラスの新設など、子育て支援も充実している。学童環境が更に改善されると嬉しいです。
- ・公園も多く、子育てには良い環境だと思います。
- ・今は知らないが、当時友人に1歳児の保育先が見つからず仕事を辞めた人がいた。小さな市なのは生まれ育ったから知っているが、子あり世帯が住みたいと思える市なのか疑問に思う。市民が少ないなら外から呼び込むしかないの、設備やサービスの向上をお願いしたい。
- ・今は矢川プラスができて、気軽に遊べる場所ができたため。自宅に友だちを招く必要もなく、ボードゲームしたり、おやつを食べたりすることができるから。
- ・子どもや親が安心して利用できる、子どもの広場や子ども食堂等が近くにあるのはとても良いことだと思ったからです。
- ・子育てセンターの方や乳幼児健診では優しく話をしてくださいました。月齢の会では友達ができ、とても心強かったです。予防接種等経済的に大変なこともあります。
- ・子供が参加して楽しめるイベントが充実していると感じるから
- ・子供に対する通知等がされている
- ・市で子育てについて、いろいろ取り組んでいると思うので。
- ・市の対応が親身
- ・治安がいい。
- ・治安が比較的良い 子育て世帯が多い 学校がアットホームで丁寧に見てくれている
- ・治安が良く、広々した公園が多く、自然があり、のんびりしているから。
- ・手当て、乳幼児の検診など支援はありがたい。

- ・ 就学前相談において、学校選択の自由がある。公園がそこそこある。
- ・ 小さな市にも関わらず、良く施策を考えていただいていると感じています。矢川プラスには大変お世話になっていると思います。
- ・ 小学校～大学までの学費等の必要手当を手厚くして欲しい。給食費や教科書代なども補助金が出て欲しい。
- ・ 生まれてからとてもたくさんの支援をいただいていると感じます。子育てを知らない土地で始めた私にとっては、ありがたい事ばかりでした。
- ・ 先日くにジョブに参加しました。親子共々楽しく学べるイベントはいいなと思います。
- ・ 谷保のあたりに子育て施設や保育園(一時保育)などもう少し増やしてほしい。矢川プラスで土日などイベントをやってくれても、家族全員で行く手段がなく行けない。駐車場を準備してくれるのもっと利用できるのに残念。子育ての情報を探するのが難しい。アプリも前の方がわかりやすかった。公民館の保育室はとてすばらしく利用する側は本当にありがたいです。
- ・ 地域の安全性が高いように思っています。
- ・ 特に不満は無いが、近隣に公園があると子育て環境が更に良くなると感じているため。
- ・ 農業・天体観測の体験を通じて、身近な自然に対する知識が深まりました。また子どもが幼い時は児童館、家庭支援センターによくお世話になりました。
- ・ 発達上特性のある子に対する教育や福祉の支援が比較的充実していると感じます。一方で、もっと人員が豊富であれば、教員等の1人当たりの負担が減り、また子ども達の学習等の支援の取りこぼしが減るのでは、とも感じます。
- ・ 費用面や学童での預かり、よくしてもらっている。進学については、相談できる場所が複数あるといい。
- ・ 必要な情報等市報やメールなどでお知らせして下さる。子どもが市の施設を喜んで遊びに行っている。
- ・ 不満に思ったことは一度もない
- ・ 歩道も広くてベビーカーも通りやすく、自転車道もあり人に優しい町づくりを感じる。公園の規制が少なく(ボール禁止など)子供がのびのび遊べる。
- ・ 放課後キッズや学童などの支援が充実している
- ・ 放課後デイサービスや療育を利用しようとしたときはとても迅速に対応してもらえ、早くサービスの利用をすることができた。公園が多いこと。
- ・ 北地域には保育園も多く、就労にも困らなかった。地域の方々の見守りも手厚く、小学校にも安心してかよわせられているから。
- ・ 満足度が低いわけではありませんが、矢川プラスのような便利な施設が国立駅そばにできることで子どもを安心して遊ばせられる場所ができるのはうれしいです。室内だと天候を気にしなくてよいので助かります。また、校庭開放は広い場所で自由に走ったり体を動かせ、公園より遊具が充実していてよい運動になり子どもの満足度が高いです。
- ・ 児童館のイベントが充実していて助かる。矢川プラスが出来て、日曜日に安心して遊べる場所が出来たのはとてもありがたいが、遠くて子ども達だけでは行けないので、児童館が日曜日も開所してくれると良いと思う。
- ・ 矢川プラスができたことで子ども(小学3年生)の居場所や、友達との交流の場となり、ありがたく感じている。
- ・ 矢川プラスができてから、子供が集まったり、遊んだりしやすくなった。イベントも行なわれていて、とても良い。夏に、キャンプに参加させてもらったが、行った前後で成長をとて感じられた。
- ・ 矢川プラスができてよかった
- ・ 矢川プラスが良い
- ・ 矢川プラスなど子育て支援施設の充実
- ・ 矢川プラスや駅前施設の増加。あと5年前に欲しかった!
- ・ 矢川プラスや子らぼステーションの開設に満足しています。
- ・ 矢川プラス等子供の過ごす場所の提供がある事に加え、学童の受入を6年生までしている点ありがたい。知人では小学2~3年生までしか学童に在籍できず、困っている家庭もある。利用するしないは別として、受け入れる体制がある事に安心感がある。
- ・ 児童館、矢川プラスで子供が遊べる場があるため。
- ・ ここのや、矢川プラスを見ていると、小さい子どもへの配慮はとてできていると思います。

○満足度「5」と回答した方

- ・ (このアンケート全体に回答している通りです。)矢川プラス、素晴らしい施設ができ、感謝しております。
- ・ 矢川プラスができてから、子供達が公園以外で遊べる場所ができ、安心して行かせることができるのでとても助かっています。

- ・ こども手あて 給食
- ・ パチンコ屋、風俗店などなく、住環境がいいから。 保育園の先生もみんないい人だから。
- ・ 安全なのと、子育て支援課が小さい頃よく見てくれました(体が小さかったため)。 小児科も多く助かります。 お祭りなどイベントも多いので楽しんでいます。
- ・ 街なみがきれい。夜の時間が静か。教養のある人が多い。おだやかだけどなんでもそろっていて生活しやすい。
- ・ 気軽に利用できる施設やサービスが多いから。
- ・ 子供の教育に関するイベントが多い。(スポーツ、農業体験、またぎ等)
- ・ 市の規模の小ささが活かされていて、特に出産後から家庭で育児している期間はいろいろな支援を感じました。新生児訪問に来てくださった助産師さん(保健師さん)と、健診でまた会えたり、小学校の就学児健診でも会えたりして、大変身近に感じました。また、月ごとの赤ちゃんサークルで出会った方とずっとお互いに情報交換しながら子育てをしています。そういう機会を今後も続けてほしいです。市役所の担当の方もとても親身で、温かさを感じられます。
- ・ 市役所が良い仕事をしようと努力をしていることを感じるから。
- ・ 施設が充実しており、治安も良く子育てがしやすい環境だと思います。
- ・ 施設やサービスは充実していると思います。フルタイムの仕事との両立を続ける限り時間のゆとりはありませんが、気持ちのゆとりを確保して、子どもにストレスをぶつけないために、もっと積極的にサービスや仕組みを活用すべきかなと思いました。
- ・ 地域の人がとても子育てに対して暖かく見守って下さっているのがありがたいです。危なそうな人達もいないし、安全だと感じています。
- ・ 南口の大学通りがきれいで景観が良い。治安も良くて子育てに向いた街だと思う。谷保駅近くは、パチンコとスナックがあって、同じ大学通りなのに(文教地区とは思えないほど)とても残念に思っています。なんとかならないのでしょうか。あまり谷保駅をつかわせたくなくて、子どもはバスで国立駅まで行って電車で学校に通っています。
- ・ 文教区であることの教育面の充実感を感じています。
- ・ いままで特に問題がなかったから。

○満足度の回答がなかった方

- ・ 公園が多い→夏は水遊びも出来る。・学校のサポートが比較的手厚いと思う。・子供が1人で自転車に乗るようになった場合の道、あぶない所が色々有る。
- ・ 仕事が忙しく情報が得にくい。
- ・ 矢川プラスができ乳幼児や低学年だけでなく、中高生にも憩いの場や学習の場として利用できるだめとてもよい環境だと思う。 雨の日でも予約なしに遊べる点もよい

3 子育てに関する情報の入手方法

子育てに関する情報の入手方法は、就学前児童保護者では、「市報などの広報誌」の割合が79.1%と最も高く、次いで「家族・友人」が49.4%、「幼稚園・保育所・認定こども園」が47.2%、「ネット検索」が42.8%となっています。

低学年保護者では、「市報などの広報誌」の割合が80.6%と最も高く、次いで「家族・友人」が48.5%、「ネット検索」が44.4%、「テレビ」が34.1%となっています。

【問 子育てに関する情報の入手方法】

〔就学前児童保護者・問 48〕

回答者数=832	割合(%)
市報などの広報誌	79.1%
市のホームページ	21.4%
くにたち子育てアプリ	20.9%
市の公式X(旧Twitter)	2.6%
市の公式YouTubeチャンネル	0.1%
市の公式LINE	19.0%
市や施設の窓口	5.3%
テレビ	27.3%
新聞	5.2%
雑誌	5.3%
ラジオ	1.9%
ネット検索	42.8%
市以外の育児系アプリ	7.5%
市以外のX(旧Twitter)	11.8%
市以外のYouTubeチャンネル	6.5%
市以外のLINE	2.5%
Facebook	4.4%
Instagram	28.1%
TikTok	1.1%
オンラインコミュニティ	1.8%
幼稚園・保育所・認定こども園	47.2%
家族・友人	49.4%
地域の人	11.7%
その他	2.3%
無回答	3.1%

〔低学年保護者・問 38〕

回答者数=408	割合(%)
市報などの広報誌	80.6%
市のホームページ	26.7%
くにたち子育てアプリ	11.3%
市の公式X(旧Twitter)	1.7%
市の公式YouTubeチャンネル	0.0%
市の公式LINE	19.9%
市や施設の窓口	5.4%
テレビ	34.1%
新聞	11.5%
雑誌	5.9%
ラジオ	2.7%
ネット検索	44.4%
市以外の育児系アプリ	2.9%
市以外のX(旧Twitter)	7.8%
市以外のYouTubeチャンネル	2.5%
市以外のLINE	1.7%
Facebook	4.9%
Instagram	15.7%
TikTok	1.0%
オンラインコミュニティ	1.2%
幼稚園・保育所・認定こども園	17.6%
家族・友人	48.5%
地域の人	15.4%
その他	5.6%
無回答	3.9%

4 く にたち子育て応援アプリ

く にたち子育て応援アプリは、就学前児童保護者では、「よく利用している」と「たまに利用している」を合わせた『利用している』の割合が 29.7%、「アプリのことを知らなかった」が 29.3%となっています。

低学年保護者では、『利用している』の割合が 17.4%、「アプリのことを知らなかった」が 39.7%となっています。

【問 く にたち子育て応援アプリ】

〔就学前児童保護者・問 49〕

回答者数=832	割合 (%)
よく利用している	4.1%
たまに利用している	25.6%
アプリのことは知っていたが利用していない	38.3%
アプリのことを知らなかった	29.3%
無回答	2.6%

〔低学年保護者・問 39〕

回答者数=408	割合 (%)
よく利用している	2.9%
たまに利用している	14.5%
アプリのことは知っていたが利用していない	40.7%
アプリのことを知らなかった	39.7%
無回答	2.2%

5 子育てに関して求める情報

子育てに関して求める情報は、就学前児童保護者では、「親子で楽しめる遊び場」の割合が 72.5%と最も高く、次いで「親子で利用できる飲食店等の情報」が 56.0%、「子供の健康や発育・発達に関すること」が 54.0%、「いざというときに使える病院情報」が 53.4%となっています。

低学年保護者では、「塾やならいごとの情報」の割合が 57.1%と最も高く、次いで「いざというときに使える病院情報」が 53.4%、「親子で楽しめる遊び場」が 52.9%、「子どもの放課後の居場所」が 44.9%となっています。

【問 子育てに関して求める情報】

〔就学前児童保護者・問 50〕

回答者数=832	割合 (%)
子供の健康や発育・発達に関すること	54.0%
食事や栄養に関すること	41.9%
子どものしつけや接し方、育児方法	47.7%
経済的な支援策について	33.1%
市の施設の窓口	10.9%
幼稚園・保育所・認定こども園	33.7%
	-
地域の子育て支援サービスの内容や利用方法	37.0%
育児休業給付・保険料免除について	16.3%
母親学級、父親学級、両親学級、育児学級	7.8%
	-
	-
親子で楽しめる遊び場	72.5%
親子で利用できる飲食店等の情報	56.0%
保健センターの情報・相談事業	13.3%
いざというときに使える病院情報	53.4%
家庭教育に関する学級・講座	17.5%
他の家庭の育児体験談	16.6%
進学に関すること	26.2%
その他	1.4%
無回答	4.7%

〔低学年保護者・問 40〕

回答者数=408	割合 (%)
子供の健康や発育・発達に関すること	36.8%
食事や栄養に関すること	20.6%
子どものしつけや接し方、育児方法	31.9%
経済的な支援策について	23.3%
市の施設の窓口	8.3%
	-
塾やならいごとの情報	57.1%
地域の子育て支援サービスの内容や利用方法	30.9%
	-
	-
子育て世帯への経済的支援制度	36.3%
子どもの放課後の居場所	44.9%
親子で楽しめる遊び場	52.9%
親子で利用できる飲食店等の情報	33.6%
保健センターの情報・相談事業	6.9%
いざというときに使える病院情報	53.4%
家庭教育に関する学級・講座	16.7%
他の家庭の育児体験談	9.1%
進学に関すること	30.9%
その他	2.5%
無回答	5.4%





















6 子育てをする上での不足

子育てをする上での不足は、就学前児童保護者では、「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」の割合が54.1%と最も高く、次いで「子どものゆとりのある生活」が33.9%、「子どもが家族と過ごすことのできる時間」が30.5%となっています。過年度調査と比較すると、「その他」以外の項目はすべて割合が増加しています。











低学年保護者では、「子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境」の割合が59.8%と最も高く、次いで「子どもが自由に遊ぶことのできる時間」が36.0%、「子どものゆとりのある生活」が29.2%となっています。

【問 子育てをする上での不足】

〔就学前児童保護者・問 51〕

回答者数: R5=832 / H30=912		割合 (%)	
子どもが自由に遊ぶことのできる時間	R5		30.3%
	H30		22.7%
子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	R5		54.1%
	H30		49.9%
子どもが十分に勉強・学習できる環境	R5		20.3%
	H30		14.6%
子どもが安全に生活できる環境	R5		23.9%
	H30		23.2%
子どもが家族と過ごすことのできる時間	R5		30.5%
	H30		23.1%
子どものゆとりのある生活	R5		33.9%
	H30		20.7%
子どもの育ちを地域で支えていく取り組み	R5		23.2%
	H30		16.6%
子どもたちが地域で自分らしく過ごせる居場所	R5		21.9%
	H30		17.0%
その他	R5		3.5%
	H30		5.8%
無回答	R5		14.1%
	H30		11.1%

〔低学年保護者・問 41〕

回答者数: R5=408 / H30=実施なし		割合 (%)	
子どもが自由に遊ぶことのできる時間	R5		36.0%
	H30	-	-
子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境	R5		59.8%
	H30	-	-
子どもが十分に勉強・学習できる環境	R5		23.3%
	H30	-	-
子どもが安全に生活できる環境	R5		28.9%
	H30	-	-
子どもが家族と過ごすことのできる時間	R5		22.1%
	H30	-	-
子どものゆとりのある生活	R5		29.2%
	H30	-	-
子どもの育ちを地域で支えていく取り組み	R5		22.8%
	H30	-	-
子どもたちが地域で自分らしく過ごせる居場所	R5		22.1%
	H30	-	-
その他	R5		3.2%
	H30	-	-
無回答	R5		10.0%
	H30	-	-

7 子育てで特に重要だと思う支援策

子育てで特に重要だと思う支援策は、就学前児童保護者では、「子ども連れでも出かけやすい安全な道路、公園、交通機関等の整備の推進」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実」が 30.6%、「子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実」と「仕事と子育てが両立できるよう幼稚園、保育所、認定こども園の箇所数や内容の充実」が 24.3%、「経済的支援の充実」が 21.5%となっています。平成 30 年度調査と比較すると、「経済的支援の充実」と「性的指向、性自認についての学習機会の充実」の割合の増加が大きかったです。



























































【問 子育てで特に重要だと思う支援策】

〔就学前児童保護者・問 52〕

回答者数：R5=832 / H30=912		割合(%)	
子育てに関する相談、情報提供の充実	R5		18.5%
	H30		23.6%
親子・親同士の交流の場の充実	R5		12.4%
	H30		13.2%
家庭の教育力向上のための学習機会の充実	R5		8.8%
	H30		8.6%
母子の健康、子どもの発達支援のための健診や訪問の充実	R5		7.6%
	H30		11.7%
子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣などの充実	R5		12.0%
	H30		12.0%
正しい食生活を送るため、食に関する指導や情報提供の充実	R5		4.1%
	H30		4.9%
性や喫煙、薬物に関する正しい知識を習得するための思春期保健の充実	R5		10.8%
	H30		8.6%
性的指向、性自認についての学習機会の充実	R5		4.0%
	H30		2.4%
安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実	R5		30.6%
	H30		26.6%
次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実	R5		6.7%
	H30		4.9%
子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実	R5		24.3%
	H30		24.2%
地域における子どもの居場所の充実	R5		15.0%
	H30		22.7%
児童虐待やいじめ等に対する対策の充実	R5		12.7%
	H30		16.3%
しょうがいのある子どもが地域で安心して生活できるようしょうがい児施策の充実	R5		7.9%
	H30		7.6%
子どもを取り巻く有害環境対策の充実	R5		4.3%
	H30		6.9%
ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	R5		2.0%
	H30		1.9%
子育て家庭への住宅の確保や家賃の補助	R5		13.8%
	H30		-
仕事と子育てが両立できるよう幼稚園、保育所、認定こども園の箇所数や内容の充実	R5		24.3%
	H30		27.2%
仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発	R5		20.6%
	H30		16.9%
親子トイレ・授乳スペースの設置や禁煙・分煙など、子どもにやさしい環境整備の充実	R5		13.8%
	H30		18.4%
犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実	R5		19.7%
	H30		24.8%
子ども連れでも出かけやすい安全な道路、公園、交通機関等の整備の推進	R5		31.7%
	H30		-
夜間の小児救急医療の充実	R5		16.9%
	H30		-
病児・病後児施設の拡充	R5		9.3%
	H30		-
子ども食堂等の充実	R5		1.7%
	H30		3.2%
学習支援の充実	R5		7.5%
	H30		7.5%
経済的支援の充実	R5		21.5%
	H30		11.2%
その他	R5		2.5%
	H30		1.6%
今のままでよい	R5		1.0%
	H30		2.1%
無回答	R5		17.4%
	H30		20.1%

低学年保護者では、「安心して子どもが医療機関にかかる体制の充実」の割合が33.1%と最も高く、次いで「子どもが安全に主体的に行動できるよう学校教育環境の充実」が32.8%、「子ども連れでも出かけやすい安全な道路、公園、交通機関等の整備の推進」が29.4%、「犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実」が27.9%、「仕事と子育てが両立できるよう学童保育所や放課後キッズの箇所数や内容の充実」が25.0%となっています。平成30年度調査と比較すると、「経済的支援の充実」と「仕事と子育てが両立できるよう幼稚園、保育所、認定こども園の箇所数や内容の充実」の割合の増加が大きかったです。

〔低学年保護者・問42〕

回答者数: R5=408 / H30=489		割合(%)	
子育てに関する相談、情報提供の充実	R5		19.4%
	H30		25.6%
親子・親同士の交流の場の充実	R5		8.1%
	H30		14.1%
家庭の教育力向上のための学習機会の充実	R5		11.3%
	H30		13.5%
母子の健康、子どもの発達支援のための 健診や訪問の充実	R5		3.9%
	H30		12.5%
子育ての負担軽減のためのヘルパー派遣など の充実	R5		9.6%
	H30		9.6%
正しい食生活を送るため、食に関する 指導や情報提供の充実	R5		3.4%
	H30		3.5%
性や喫煙、薬物に関する正しい知識を 習得するための思春期保健の充実	R5		17.4%
	H30		14.5%
性的指向、性自認についての学習機会の充実	R5		5.1%
	H30		3.9%
安心して子どもが医療機関にかかる体制の 充実	R5		33.1%
	H30		42.1%
次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを 学ぶことができる場の充実	R5		6.6%
	H30		9.4%
子どもが安全に主体的に行動できるよう 学校教育環境の充実	R5		32.8%
	H30		40.9%
地域における子どもの居場所の充実	R5		19.1%
	H30		40.9%
児童虐待やいじめ等に対する対策の充実	R5		15.4%
	H30		29.0%
しょうがいのある子どもが地域で安心して生活 できるようしょうがい児施策の充実	R5		9.6%
	H30		11.2%
子どもを取り巻く有害環境対策の充実	R5		5.1%
	H30		9.6%
ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	R5		2.9%
	H30		5.3%
子育て家庭への住宅の確保や家賃の補助	R5		8.6%
	H30		-
仕事と子育てが両立できるよう幼稚園、保育所、 認定こども園の箇所数や内容の充実	R5		25.0%
	H30		17.0%
仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善 など、企業や労働者に対する啓発	R5		15.4%
	H30		13.7%
親子トイレ・授乳スペースの設置や禁煙・分煙 など、子どもにやさしい環境整備の充実	R5		5.6%
	H30		7.6%
犯罪や交通事故から子どもを守るための 取り組みの充実	R5		27.9%
	H30		36.6%
子ども連れでも出かけやすい安全な 道路、公園、交通機関等の整備の推進	R5		29.4%
	H30		-
夜間の小児救急医療の充実	R5		16.7%
	H30		-
病児・病後児施設の拡充	R5		6.4%
	H30		-
子ども食堂等の充実	R5		3.4%
	H30		2.9%
学習支援の充実	R5		11.0%
	H30		16.4%
経済的支援の充実	R5		20.6%
	H30		11.7%
その他	R5		2.5%
	H30		3.5%
今のままでよい	R5		1.5%
	H30		1.4%
無回答	R5		13.0%
	H30		3.3%

8 子ども施策に関する保護者様向け企画の希望時間帯

子ども施策に関する保護者様向け企画の希望時間帯は、就学前児童保護者では、平日、土曜、日曜・祝日のいずれでも、開始時刻は「9時～10時台」の割合が最も高く、終了時刻は「11時～12時台」や「15時～16時台」が高くなっています。

低学年保護者では、平日、土曜、日曜・祝日のいずれでも、開始時刻は「9時～10時台」の割合が最も高く、終了時刻は「11時～12時台」が高くなっています。土曜、日曜・祝日は終了時刻が「15時～16時台」や「17時～19時台」も高くなっています。

【問 子ども施策に関する保護者様向け企画の希望時間帯】

〔就学前児童保護者・問 53〕

回答者数=832	(1) 平日の開始時刻		(1) 平日の終了時刻	
	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
9時より前		0.6%		0.5%
9時～10時台	23.3%		0.0%	
11時～12時台	1.7%		12.1%	
13時～14時台	1.7%		7.3%	
15時～16時台	1.3%		6.4%	
17時～19時台	6.0%		4.6%	
20時以降	1.0%		4.3%	
無回答	64.4%		64.8%	

〔低学年保護者・問 43〕

回答者数=408	(1) 平日の開始時刻		(1) 平日の終了時刻	
	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
9時より前		0.5%		0.5%
9時～10時台	20.1%		0.5%	
11時～12時台	1.0%		9.6%	
13時～14時台	1.0%		8.6%	
15時～16時台	2.0%		2.0%	
17時～19時台	7.6%		5.1%	
20時以降	1.5%		7.4%	
無回答	66.4%		66.4%	

回答者数=832	(2) 土曜日の開始時刻		(2) 土曜日の終了時刻	
	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
9時より前		0.5%		0.0%
9時～10時台	42.7%		0.6%	
11時～12時台	1.9%		18.1%	
13時～14時台	5.3%		4.2%	
15時～16時台	0.5%		16.5%	
17時～19時台	1.3%		11.2%	
20時以降	0.4%		1.7%	
無回答	47.5%		47.7%	

回答者数=408	(2) 土曜日の開始時刻		(2) 土曜日の終了時刻	
	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
9時より前		1.0%		0.7%
9時～10時台	31.9%		0.2%	
11時～12時台	0.7%		15.2%	
13時～14時台	5.9%		1.7%	
15時～16時台	1.2%		11.3%	
17時～19時台	1.7%		10.5%	
20時以降	0.0%		2.5%	
無回答	57.6%		57.8%	

回答者数=832	(3) 日曜日・祝日の開始時刻		(3) 日曜日・祝日の終了時刻	
	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
9時より前		0.5%		0.0%
9時～10時台	42.5%		0.6%	
11時～12時台	1.4%		17.2%	
13時～14時台	4.3%		3.5%	
15時～16時台	0.4%		16.0%	
17時～19時台	1.0%		11.7%	
20時以降	0.2%		1.0%	
無回答	49.6%		50.1%	

回答者数=408	(3) 日曜日・祝日の開始時刻		(3) 日曜日・祝日の終了時刻	
	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
9時より前		1.2%		0.5%
9時～10時台	32.6%		0.2%	
11時～12時台	1.2%		13.0%	
13時～14時台	3.9%		1.7%	
15時～16時台	0.7%		13.0%	
17時～19時台	1.0%		10.3%	
20時以降	0.0%		2.0%	
無回答	59.3%		59.3%	

9 子ども施策に関する保護者様向け企画に参加しやすい条件

【問 子ども施策に関する保護者様向け企画に参加しやすい条件】

〔就学前児童保護者・問 53〕

○現場で子どもを保育してもらえ、託児付きなど

- ・ 現場で子供を保育してもらえ、参加しやすい場所での開催
- ・ 現場で子どもを保育してもらえ、もしくは1人でも安心して遊ばせられる環境
- ・ 現地で子供を預かってもらえる、複数日に開催
- ・ 現場で子どもをみてもらえる。子どもを遊ばせながら参加できる
- ・ 現場で子どもを保育してもらえ 土曜 これです
- ・ 保育がある、雰囲気が堅苦しくない、子連れ歓迎の雰囲気がある
- ・ 保育してもらえ、駐車場があるところ
- ・ 現場で子どもを保育してもらえ コレ！！ 平日は幼稚園に行っているためその間ならなしで
- ・ 現場が子どもを連れていけるスペースを確保されている。
- ・ 現場で子どもを保育してもらえなら土日の参加も可能です。
- ・ 現場で子どもを保育してもらえ等 駐車場・駐輪場・ベビーカー等の場所確保。
- ・ 現場で子どもを見てもらえる。子どもと共に参加。
- ・ 子連れ OK。現場で子供保育してもらえなら、土日祝も OK。
- ・ 子供の託児があれば夫婦でも参加可能
- ・ 子供が近くで見届けられると子供も安心。
- ・ 保育を付けてもらえたら参加のハードルがとて下がるのでありがたいです
- ・ 子供を保育してもらえ。きより
- ・ 保育してもらえ、子どもと遊びながら話せる。
- ・ 子どもの保育、同伴可。
- ・ 子どもを、保育してもらえ、話し合いが終った後、その場で遊べるような場所
- ・ 土、日、祝日であれば、子どもの保育が必要。
- ・ 保育付き or 子どもも参加可
- ・ 家から近い、託児あり (計 2 件)
- ・ 現場で子どもを保育してもらえ 兄弟ともに / 乳児～小学生まで / 障害児を含む (計 8 件)
- ・ 子どもを保育してもらえ(無料で) / 子供の無料保育 (計 2 件)
- ・ 現場で子どもを保育してもらえ (計 160 件)
- ・ 子供を預かってみってくれるか、zoom とかを使ってどこでも参加できるような環境
- ・ 対面の他にオンラインでも参加可能にして頂きたいです。またその場での保育もあるとより参加しやすいです。
- ・ Zoom での開催を希望します。参加型であれば、保育希望です。
- ・ 平日は未就園児がいるので保育してもらえるか、オンラインが良いです。
- ・ 現場で子どもを保育してもらえ、オンライン参加、など (計 11 件)

○子連れ参加可能

- ・ 子連れ可能、オンライン
- ・ 子連れ可、ベビーカー可
- ・ 子連れ OK(別室で保育してくれるなら尚良)
- ・ 子どもも参加 OK または託児つき。
- ・ 子供同伴 or 預かりあり
- ・ 子連れ可、子供の遊べる玩具がある
- ・ 子連れでもウェルカムな環境
- ・ 子どもと一緒に参加できる空間、環境
- ・ 子どもが行きたがるようなイベントと一緒になど。
- ・ 子供も一緒に参加 or 保育してもらえ

- ・ 子どもの保育、もしくは子どもが歩いてても大丈夫な環境の所
- ・ 子どもを保育してもらえる 子どもがねることができる場所がある。
- ・ 子どもと一緒に。お弁当つき。子どもはあそべる。
- ・ 子ども連れも参加しやすい雰囲気や環境
- ・ 子どもと一緒に参加でき、保育していただくと助かります。
- ・ 子どもを連れていっても良い。保育してもらえる。
- ・ 子どもを連れていっても良い環境を整える 小グループ(子供も同席)での実施であれば、参加しやすそうです。
- ・ 子供と一緒に参加できるもの / 子ども同伴で参加できる (計 28 件)

○オンライン参加可能

- ・ オンライン参加、アーカイブ配信 / オンライン、配信してほしい (計 4 件)
- ・ オンラインセミナー形式
- ・ リモートでの参加、ネット申込み
- ・ オンライン等で参加・平日は、子供がいるため、多くの家庭は、参加が難しいのではないかな？
- ・ Web 開催(Google Meet や Zoom など) (計 13 件)

○その他、全般

- ・ オンライン、子供をみてもらえるシッター、保育者があると助かります。
- ・ オンライン、保育あり、矢川プラスの様な場所で交流しながら説明会や交換会ができれば話しやすい
- ・ 一方的な説明会はオンライン開催がよい。保護者向けの意見交換会はケースバイケースの対応がよい。
- ・ 保育園保護者会にあわせて。オンラインなどや子ども同士があそべる場がある
- ・ 興味を持てるキャッチーさがあるか…仕事休んででも参加したいと思えるか…オンライン
- ・ 駐車場の確保 / 自転車で行ける (計 4 件)
- ・ 駐輪スペースがあるところ、子どもを保育してもらえるところ
- ・ 駐車場がある。子どもを見てもらえる。
- ・ 近所 双子なのでベビーカーが安心して置くところができること
- ・ ベビーカーでそのまま話をきけたり、遊ばせられる場所がある。前後でお世話できる環境(トイレ、飲食など)
- ・ 子供が幼稚園に行っている時間帯
- ・ 子どもの保育、土日の開催
- ・ ランチしながら
- ・ 申し訳ないけど 3 歳～小 6 が 3 人いて都合の良い時間が無い
- ・ 周りに子どもが遊べる場所があること。
- ・ 授乳室、オムツ替え台がある。子どもの保育がる。駐輪場、駐車場がある。
- ・ 駅前など行きやすい場所で
- ・ 国立駅前近辺
- ・ 子供を見てもらえる・参加日が選べる
- ・ 幼稚園の保育時間内
- ・ 子供がいない時間、預けられる時間
- ・ 矢川プラスのような場所であれば、子供を遊ばせてる間に参加できるかも
- ・ 子供を保育してもらえる。駐車場がある。
- ・ 早い時間から短時間で。
- ・ 子どもを見てもらえる環境、子どもが騒いでも大丈夫な環境
- ・ お昼寝がまだ必要なので、午前中で終わるようにしてほしい
- ・ 子供が幼稚園等に行っている時間帯
- ・ 子どもを保育してもらえる(0～3 才)、情報保障がある、手話・要約 etc
- ・ 子どもも参加可能または併設したエリアで遊んでいられる場所
- ・ 短時間での実施
- ・ 平日であれば終業後
- ・ 仕事が休みの日の方が参加しやすい
- ・ 土日休みをとりづらいため平日
- ・ 仕事が休みの日 / 休みの日 (計 3 件)

- ・ 参加時間の柔軟性
- ・ 働いている人が参加しやすい時間帯
- ・ 子どもを預かってもらえる時間
- ・ 子ども病気で急に参加できなかった時のため 2 回実施して欲しい
- ・ 子どもが支援センターに行っている
- ・ 申し込み不要、出入り自由、無料
- ・ 辞退させていただきたい
- ・ 現場で子どものみで遊べる環境
- ・ 授乳、おむつ替えスペースがある。アクセスしやすい。
- ・ 国立駅の近く(市役所までは交通の便が悪い為)
- ・ 幼稚園に子どもが行ってる間
- ・ 子どもの遊び場もかねていること
- ・ 参加しやすい
- ・ 子どもは別の場所で遊べること。
- ・ ・未就学児、就学児、ひとり親などいくつかグループ分けして開催していただけると、意見もまとめやすく、参加しやすいかと思います。
- ・ 学校や幼稚園がある時間
- ・ 交通の便がよいところ
- ・ 未就園児の預り、お弁当配布、お茶・お菓子付きなどのみりよく。
- ・ 保育や一緒が可能なら平日の夕方以降が良い
- ・ 参加しやすい条件はありません。平日は仕事、土日祝は子どもとすごす。時間をうばわれたくないです。
- ・ 子どもがかえってくるまで
- ・ 日程の選択肢があること。内容・時間にもよりますが、(2)、(3)なら現場で子供を保育してもらえる。
- ・ 子どもが遊べる遊具 おもちゃなどが整備されている
- ・ 子どもをみてもらえる／バスで行けるなどの交通の便のよさ
- ・ 特になし、時間等も合わせられるため。
- ・ とくになし

[低学年小学生保護者・問 43]

○現場で子どもを保育してもらえ、託児付きなど

- ・ 現場で子どもを保育してもらえ イベント付きだと嬉しいです。
- ・ 現場で子どもを保育してもらえ。駐車場
- ・ 子供を見てもらえると時間帯もひろがります
- ・ 子供を預かり、遊べるスペースがあること。
- ・ 現場で子どもを保育してもらえ (計 27 件)
- ・ 未就園児がいるため、平日はオンラインがありがたいです。あるいは保育希望。
- ・ ①現場で子どもを保育してもらえ②オンライン
- ・ 保育付、オンライン

○子連れ参加可能

- ・ 現場で子供が遊べる場所
- ・ 子どもの遊び場があえう
- ・ 子どもを遊ばせておくスペースがある場所。例えば矢川プラスなど
- ・ 子どもを預かってもらえてる時間(学校中 or 夜なら預かりあり等)
- ・ 子供が過ごせるスペース
- ・ 子供が近くで遊べる場があれば、良いと思います。
- ・ 子供が現場横で遊べること
- ・ 子供同士が仲良くあそべる所

- ・ 子連れ OK、保育してもらえ、あそび場がある
- ・ 親子で参加出来る
- ・ 子連れ参加可能（計 7 件）

○オンライン参加可能

- ・ オンライン(オンデマンド)
- ・ オンライン、子どもを帯同 OK なこと
- ・ オンラインなら参加できる確率が高い
- ・ オンライン参加←午前・午後・夜間など複数回・保育ありの対面開催
- ・ 平日はオンラインで開催してもらいたい
- ・ 配信型で、好きな時間に見れる様にして下さい。
- ・ オンライン開催（計 9 件）

○子どもが学校に行っている間など

- ・ 子どもが学校に行っている時間や休日
- ・ 子どもが学校やこども園に行っている間の時間。
- ・ 子どもが帰ってくる時間まで
- ・ 子供が学校や習い事に行っている間
- ・ 子供が学校に行っている時間帯（計 4 件）

○その他、全般

- ・ 子どもの保育中。父か母のどちらかが子供の面倒をみられるとき
- ・ 学校保護者会后、オンラインなどもあるとよい。
- ・ 意見交換会などはハードルが高いため、オンラインで視聴できる講演会等があるときが参加しやすい。
- ・ 子どもを保育してもらえ、オンラインで参加できる、時間が短い
- ・ 保育つき、小学校で開催、子供の授業中、オンライン、アーカイブ等
- ・ ←これに尽きます。子ども食堂と連携して夕食あり、などとなれば、より参加しやすい
- ・ 2 時間以内
- ・ 3 歳の弟がいるので保育がないと出席できない。
- ・ こどもが過ごせる場所
- ・ シフト制なので 1ヶ月前までに予約を。などと言われても参加できない
- ・ できるだけ自宅から近い場所
- ・ 開催場所が近い／遠い場合は駐車場がある
- ・ 近場での開催で車で行ける場所なら。
- ・ 行き慣れた場所(学校や児童館など)
- ・ 国立駅周辺
- ・ 仕事が終わる時間のため
- ・ 週末の方が参加しやすい
- ・ 全回参加という条件があると、参加が難しいと感じる
- ・ 短時間
- ・ 駐輪や駐車がしやすい場所（計 4 件）
- ・ 徒歩で行ける開催場所 or 駐車スペースがある
- ・ 土・日開催、予約不要
- ・ 土日であれば、子供が本やスイッチ等で遊べる場所があればうれしいです。
- ・ 土日開催
- ・ 土曜に仕事があるので、日、祝日に開催して欲しい
- ・ 当日行けない人が必ずいるのだから、説明会の内容を後で視聴できるようにし、意見、質問をメール等で送るようになるべき。
- ・ 同施設内もしくは近隣施設での、小学生以上の子も参加できる児童館的な活動を同時開催
- ・ 日程は 2ヶ月前までに通知してもらうこと
- ・ 不定休なので(1)(2)(3)で順番に開催されるとうれしい

- ・ 夫も休みで母親だけでも参加出来る。食事時間は無理。
- ・ 父親に子供を見てもらえる
- ・ 平日はムリ。土日の午後がよい
- ・ 平日は仕事のため、土日の開催
- ・ 平日は仕事のため参加できないため土日が都合が良い
- ・ 平日は難しい。
- ・ 未就園児の預り お弁当配布など(←参加後もスムーズ) お茶、お菓子付き(癒しの時間にもなる)
- ・ 夕飯の準備前の時間帯
- ・ 参加したいと思わない
- ・ 特になし (計 3 件)

10 子育ての環境や支援に関して

【問 子育ての環境や支援に関して】

〔就学前児童保護者・問 54〕

○保育園について

- ・ 保育園に、学習的な要素を取り入れてほしい。英語、音楽、体育(プール)など、あずけている時間帯で、もっと出来る事を。結局、学習的な面の不足から、別で、習い事をお金払って、行かせているので、親子の時間もなくなる。
- ・ 保育園に入るとき父フルタイム母週 4 日でも一次募集にひっかかりませんでした。週 3 回でも理想言えば求職中でも保育園に預けられるほど保育施設が増えるといいなと思います。本物の楽器の音を聞かせるコンサートやイベントが増えるとうれしいです。
- ・ 保育園の申請時は、落とされるか、通っても使いにくい場所になるか、不安でしたが、希望の所に入れ、今は安心してしています。そう考えると、保育園の充実化(施設数の増加等)が重要だと思います。又、地域によっては、通わせやすいのが位置的にはほぼありません。駅近く(とくに国立駅)の保育園がほぼない(2 才までのさくらっこを除く)のが、中地区の人としては辛いです。
- ・ 保育園を東地区にも増やしてほしい。
- ・ 保育園申し込みの際、窓口でも具体的な応募/内定状況は詳しくは教えてもらえませんでした。年度によって傾向が全く異なるのは承知していますが、例えば国分寺市では内定者の最低点数などが公表されており、人気度なども参考にしやすいので、国立市もそういった情報を可視化して共有してほしいです。
- ・ 保育園入所枠について。3 月生まれのため近隣の保育園に入所できませんでした。どの時期に生まれても、同じ条件で保育園を選択できるようなしくみを希望します。
- ・ 保育園入園の際、時短が減点対象になるのは何故でしょうか。2 時間までは法律で認められている育児時間なのに、それが減点されるのが納得できない。(以前住んでいた自治体では 2 時間までは減点対象でなかった) ・育休の際、上の子が途中退園になるシステムも改善してほしい。この仕組みで兄弟の歳の差を考えなくてはならない。本当は家で子どもをみたいと思っても、この仕組みのせいで職場復帰せざるを得ない人もいると思う。 ・育休中、上の子を保育園に預けられるようにしてほしい。2 歳差の子どもを育ててる方を見ると家で小さい子を見ながら赤ちゃんも産まれてどちらも自宅でお世話するのは大変だと思う。時間はもともとフルで働いていた人よりも短くて良いと思うが、少しママたちがリフレッシュできる時間が作ればもう 1 人考えよう、という気持ちになれると思う。 ・公立保育園のオムツ持ち帰りはやめてほしい。以前保育園見学の際、ご家族の方にうんちの様子を見てもらうためにも...というような説明を受けたが、正直自宅に帰ってオムツを開く気にはならないと思う。他に理由があるなら教えてほしい。
- ・ 公立保育園について、私立保育園との差があり、それぞれの園で違いはあるのは、承知しているが、保護者の負担となることや、不便を感じる事が多々ある。働く方が増えている現代の実状と合っていない。
- ・ 兄弟で同じ保育園に入れるように考慮してほしい。
- ・ 19 時 15 分まで延長保育でみて頂けるのは助かるが、遅れてしまうこともあり、保育園の保育士さんの負担がないな

らば延長時間が 30 分でも延びると助かる。

- ・ 先に回答のとおり、保育所の拡充を期待したいです。
- ・ 国立駅近辺に保育園を増やして欲しい。
- ・ いつ生まれても同じように保育園を利用できる仕組みづくりをお願いします。
- ・ 築年数が 50 年以上たっている保育園はたて物を新しくしてほしい。
- ・ のぞめば保育園に入れるようにしてほしい。0～2 才の保育料の軽減。(パートでは払えない。)

○幼稚園について

- ・ 幼稚園に入れたと思っていたが、その時の就労先が休みにくい所だったので保育園を選択した。3 才の時点で落ちつきがなかったので、今 6 才になり幼稚園に入ればよかったと思う。幼稚園と保育園の差をなくしてほしい。認定こども園をもっと増やして、一体化してほしい。
- ・ 幼稚園の先生方の一部は、専業主婦が預かり保育を利用する時の対応がすごく冷たくなります。先生方も余裕がないのかと感じます。子どもが通う園は、支援の必要な子どもたくさん通っていますので、先生をたくさん雇用できるように、幼稚園へのサポートも市からあれば、先生方も笑顔になれるのかな…と期待しています。
- ・ 幼稚園の通常預りが 9:00-14:00 で時間が短く、兄妹が多く、とにかくあつとゆう間のお迎え、下の子を連れての送迎がとても大変に感じる事があり、体力的に限界だなど思うことが増えた。休まる時間がなくて気持ちが下がることがある、延長とかではなく、もう少し長く預かってもらえたらありがたいと思うことが、ある。
- ・ 国立市の幼稚園の中でも国立文化幼稚園の教育スタイルは他の園とは少し違った特長のある園でした。子供の全体の数が減少しており、どこも経営難かと思いますが、施設への存続の経営支援とかもあっても良かったかと思えます。同じ特長の園がないので閉園が残念です。特長ある園なので、市外から通園する家庭もある数少ない園かと思う身から(自己啓発)他の園とかも見学、体験しましたが、全員子供がお仕事として作業(教育、学問など)に取り組んでいる国立文化のスタイルは、少し感心しました。先生も子供の支援をしているところを見て、少し他の園の先生の方々とは違うように思いました。
- ・ モンテッソーリ園を存続させてほしいです。
- ・ 働きながら利用できる幼稚園があると嬉しい。今は保育園しか選べない。

○預かりについて

- ・ 保育園に通っている為、子どもの学習環境に不安を感じています。土日に学習支援(就学に向けて読み書き、体育など)をいただけるサービスがあったら利用したいです。仕事と育児で自分自身リフレッシュする時間がなくストレスに感じています。気軽に、罪悪感なく子どもを預けられる場所。サービスを拡充していただくと心強いです。
- ・ 一時保育の充実。今、全く利用できず、予約が取れず、キャンセル待ちも空かず、預けたいのに預けられないストレスが強い。リフレッシュが出来ない。保育園入園の方が、(経済的にも…)充実していそうな気がして、全ての子どもへの支援充実とは思えない。改善を希望します。
- ・ 一時保育をしてくれる園を増やしてほしい。予約制でセミプライベートのような形式で少人数であるそべる室内施設がほしい。沢山の中であそばせるのに小さな子供は心配なので。
- ・ 一時保育を利用できる保育園が少ない。歩いて 30 分以上かかる(交通機関を利用しても駅から遠い)ため気軽には預けられなかった。
- ・ 一時保育単独での保育所、もしくは一時保育利用枠の拡充 少しでもあずけたいとか 1 ヶ月待ちを解消してほしい
- ・ 緊急時に預けられる場もちろん必要ですが、保育園に就労以外の理由で預けづらいのが問題だと思います。預けても早迎えが前提です。自分が遊びにでかける為に平日休みをとるわけではないのに、先生方に気をつけてしまう。保育園を利用する理由に、就労以外のことも明記してほしい。国立市独自でできるなら是非！普段みてもらっている信頼できる保育園に預けたいので。
- ・ 問 45 で記入しましたが、一時保育の予約がすぐ定員になってしまい、利用したい時に利用できないことが多いです。施設数、定員数を増やしてほしいです。
- ・ 保育施設の拡充 地域格差のないように。緊急時の預け先やヘルパー利用時間の延長。
- ・ 産休中の時短保育は、兄弟がいるととても大変です。18 時まで保育してもらえるとありがたかったです(特に生まれて半年くらいは) 1 人目生まれてすぐに 2 人目を妊娠したお母さんが、子供を保育園に入れることができず辛そうにしているのを見たことがあります。就業していなくても、このようなご家庭の場合保育園 OK とすることはできないのでしょうか。
- ・ 病児保育の利用をもっと簡便にしてほしい。できれば活用したいです。民間の病児保育はとても高いです。補助が

でるといいなと思います。パートタイムの方は利用しやすいかもしれませんが、フルタイムはとても活用できる場ではないです。

- ・子どもを幼稚園に通わせたいが、自身が就労することを考えると幼稚園は延長保育料が発生し市からの補助でまかなえない。また、お盆等預かりを実施していない日がある等、保育園より時間と金銭面に負担がかかるので、預かり保育の内容をもっと充実させてほしい。
- ・(預かる理由を問わず、24 時間(緊急時も)対応可能な)24 時間対応訪問一時預かりや家事支援(掃除、洗濯、食事づくり)を行ってほしい。・病児保育を充実させてほしい(現在受入施設が 2 か所しかない。その一つのつくしんぼは、長期化する感染症者の受け入れを、他の入所者がいると受け入れてくれないため)
- ・病児保育、病児シッター、緊急時に子供を預けられるシステムを使いやすくしてほしい、仕事との両立が困難なことは、子が幼いと度々ある。
- ・仕事をしても安心して子供を預けられる場所
- ・私自身、第一子出産～2 才半まで育休を取得し、続けて第二子の産・育休を取得中なのですが、第一子を保育園に入れていなかったため、来春から幼稚園に通わせるのですが、復職後は延長保育を利用する予定です。が、まだまだ働きながら幼稚園に通わせる人が少ないため、幼稚園の環境も整っていないように感じます。表向きは働くママ歓迎！な雰囲気ですが、実際は振休が多かったり、利用者が少なかったり、長期休みの対応もイマイチ。子供には少しさみしい思いや我まんをさせるのではないかなど不安に思います。
- ・妊娠という要件でも、もっと長く保育してくれるようにしてほしい。
- ・母子分離の環境等、安心して一時的にあずけられると助かる。

○学校について

- ・それぞれの小学校や中学校の間での格差をなくしてほしいです。
- ・小学校・中学校を選択制にしてほしい。家から近い学校を選べることは、子供の安全を守ることにもつながるはずで。校区の意味、必要性って何でしょうか。
- ・学校と家の距離が学区外でも同じくらいなら、どちらが良いか選べるといいと思いました。
- ・公立・学校指定をやめて選択させて欲しい
- ・公立の入学指定学校をやめて選択できるとありがたい。
- ・国立の公立小学校・中学校の教育、先生などもっと力を入れてほしい。イマージョン教育を取り入れてほしい。
- ・富士見台から 3 中に行かされるのは、学区として意味不明。なんで線路渡って街道またがって、坂を下って、通わないといけないのか。

○学童や放課後キッズなどについて

- ・学童のスペースをひろくしてほしい。学校学童が空き教室がなく開催できず、学童にぎゅうぎゅうで過ごしている。ガヤガヤと落ち着かず、子どもが穏やかに過ごせない。学童入所しても、子どもが落ち着かずに早く帰りがたってしまう。
- ・学童保育で宿題を見る、またはそこまで行かなくても宿題をするよう促すなど、子供に学習習慣を身に付けさせる取り組みをして欲しいです。働く親は仕事帰りに子供の世話、家事をするだけで手一杯で、残念ですが宿題を見る時間が全く作れない状況です。学童で宿題をするという学習習慣を身に付けさせることで、働く親への大きな支援になると思います。
- ・学童保育の長期利用のみの利用システム。給食費の無償化。保育料の無償化の対象拡大(学童以上も)。医療費の家庭負担の月額上限補助
- ・学童利用時間の改善！土曜も夏休み同様に預けられるようにしてほしい。又は土曜のみ預けられる保育場所を作ってください！！土・日も仕事している人は沢山います。みんなが公務員のように休みではありません！！
- ・国立駅周辺に公立の学童保育所がなく、西児童館も遠く、低学年で通うのが心配です。
- ・習い事や勉強が充実した学童サービスなど共働きがあたりまえの昨今ですので、放課後の過ごし方の選択肢がたくさんあるとうれしいです。
- ・学童保育に入る条件がきびしすぎる。もう少しゆるくしてほしい。フルパートじゃないと入れないのは困る・放課後キッズ 雨天も以前は遊べていたので、復活してほしい。・立川市は毎日放課後遊びができるようになっている。国立市ももう少し放課後遊びができる日を増やしてほしい。そうすれば、学童に入れずにすむ。子どもが安心、安全な場所で遊べる！
- ・小学校の放課後キッズが火・金だけですが、毎日あると体を動かす機会が増え、よいかと思います。

○遊びや活動の場について

- ・ 学童の利用児童は児童館に自由にいけず不便だと思います。児童館の利用の仕組みがいまいちわかりません。職員はいつも忙しそうにしている気がして聞けるかんじがしません。同僚の情報だと(他市)自由に行き来ができると聞いています。
- ・ 矢川プラスはとても素敵施設だと思いますが、他の児童館も、もう少し充実させてほしい。中央児童館が近いのですが、“ここすき”や“コケッコ”以外、児童館として使ったことがあまりなく、小学生になっても通えるような施設だったらいいなと思います。
- ・ Q54 子育て支援意見
- ・ 矢川プラスオープン時、式典(関係者向け)が土日になりました。子供たちのあそべる場所で土日使えるのは、とてもありがたいのに、式典があったときは、がっかりしてしまいました。
- ・ 矢川プラスのように屋内でも十分に遊べる施設の充実
- ・ 公園などで、地域の方による昔のあそびの紹介や、お話など、気軽に子供が自分達で参加できるイベントがあると良い。公園での防犯もかねて地域の方々による見守り(イベントの開催による)などがあると良い。公園での体操なども、自由に当日参加できたらうれしい。
- ・ 子供達が自由に走りまわってボール遊びもできるような公園(広場)の充実。
- ・ 未就学児を子育て中、小さなころから、色々な国の人々とふれあってほしいが、機会がない。・英会話教室はお金がかかる(現在は入っていない)・子供が行く施設、遊び場、図書館等で、外国人の職員さんが居たり、遊んでもらっている中で、自然と、海外について考えたり、色々な国のちがった生活がある事を知ったり、外国語に興味を持ち、話をしたり、異なる文化を知ったり、外国の方と自然とふれあえる場所があったら良いなと思います。…(立川にそのような場所が東京都より設けられたようですが、もっと日常的に生活の中にあると良いかと)
- ・ 以前、市でやっている親子体操教室に通っていたが、振替ができない、みな自由に動き回りすぎていて緊張感がないと感じ、退会した。市でこのような習い事のような事業があることはありがたいですが、ただの親子の交流の場だけでは通わせる意味がなく、教育的な面でこどもが成長できるような内容があるとありがたいと思った。
- ・ 英語に身近にふれられる機会がほしい。しょうがいのある子、多世代交流。どんな子とでも関れる場がほしい。知りたい。おじいちゃん、おばあちゃん(高齢者)のいる所に、子どもをつれていきたい。
- ・ 海外に姉妹都市がある事が、教育に活かされていなくて感じます。限られた生徒だけの、限られた期間の交流ではなく、オンラインで開かれた場を作り、誰でもアクセスでき、自由に雑談や文化交流が楽しめる場が良いと思います。
- ・ 芸術・スポーツに関する支援の充実
- ・ 国立市は子どもの施設が少ない。科学館を作ってほしい。気軽に英語にふれられる環境が必要(矢川プラスで英語のフリースクールをするなど。ボランティアの先生などでもよい)
- ・ 国立市内や近隣の大学等と官学連携し、保護者に対する教育に関する講演会やワークショップがあればぜひ参加してみたいと思います。また、学生さんと子どもたちがふれ合う機会などがあると子どもたちの刺激になるのではと思っています。
- ・ 子供が安全にのびのび遊べる施設が交通の便のよいところにもっとたくさんあるとうれしいです
- ・ 子供が勉強しやすい場が増えてほしい。
- ・ 子供の成長には安心・安全を確保された環境が重要だと思うので、心から安心して過ごせる地域を作っていってほしい。
- ・ 様々な体験ができる環境を充実させてほしいです。

○経済的なことについて

- ・ 保育園の給食の無償化をお願いします。
- ・ 子育て世帯に対して、経済的な支援がもう少しあると助かります。フリーランスなので、国保などの負担も大きく、育児休業なども取れないので。
- ・ 3人目が欲しいが、経済的に難しい。出産費用、教育費、こども用品が成長とともに費用がかかる。住宅費の支援
- ・ 家庭の経済格差が子どもの教育格差につながっているように感じます。義務教育の拡充、習い事や塾通いが負担になっている家庭への学習補助を充実させていただければと思います。
- ・ 子育てにお金がかかりすぎる。特に教育
- ・ 児童手当の上限 1000 万円を撤廃して欲しい。物価も上がっているし、ギリギリ 1000 万円に届く世帯が本当にしん

どい。1000万円は決して裕福な家庭ではない。国公立の学校(小、中、高、大学)の無償化、ただし、私立は無償化しなくて良い。優秀な、将来期待をもてる人材にお金をつぎこむべき。しょうもない私立学校を無償化する必要はない。

- ・ 所得に関係なく、経済的な支援が受けられると良い。国が行う支援はいつも低所得向けだが、きちんと働いて納税している方がアホらしく感じる。稼げてないのはその人自身の能力の問題だと思うので、所得関係なく支援があると良い。
- ・ 入園金や給食費補助の拡充、放課後デイサービスの所得制限に対するの補助を希望します。(学童保育と同じ料金になるよう、自己負担金の補助) 第3子以降に対して入園料、園服等の無償化、市独自の手当、給食費無料など子どもを多く産んでもらえるような支援をやってほしい。(できれば第1子から、年齢制限なしでやってほしい)(計2件)
- ・ 習い事格差があるので習い事に使えるクーポンがあると良い
- ・ 多子家庭なので、お金がかかります。子供を預けやすくなるよう費用助成をお願いしたいです。

○その他、全般について

- ・ 子供を確実に安価に預けられるよう保育園等の整備 ・子供との時間が取れるよう労働時間の短縮あるいは勤務方法の柔軟化 に力をいれていただけると助かります。
- ・ 保育園内に病児保育室を必須にしてほしい。子どもたちが自由にのびのび生活していくには今の世の中無理だになって。大人が少しでも子どもが泣いてるとうるさいとどなりにきたりする状況を見ると日本終わったなと感じる。自分が小さい時もたくさん泣いてたどると思うのに大人で理不尽だになって。PTAは廃止してほしい。
- ・ 保育士の就労環境の向上を切に望みます。
- ・ 保育士の待遇の向上を求む。保育のレベルが向上し、より安心して子どもを預けられる社会になり、バラマキ政策よりも内容のある少子化施策とならうと思う。
- ・ 学校、保育園での少人数教育の実施。特に年中～小学校までの1クラス当たりの人数が多すぎる。小では支援員の増員をした方が良い。また教職員の負担軽減。スクールロイヤーの設置。
- ・ 現在はなかよし保育園ですが、0歳児クラスのみ希望が通らず、たいよう保育園に通っていました。床暖房があり、はだして生活する園児にとっては施設の新しい園はやはり良い点が多いなと思いましたが(以前小児科にかかったときに床暖房のない園の子供たちは足が常に冷たくてかわいそうと言っていました)、先生方が日々行事に追われている感をすごく感じました。一方、現在の公立園では昔ながらの行事のみで、先生方も日々の生活やあそびから延長した流れで行事につなげていて、さすがだなと思っています。先生方の経験も豊富なので、どの先生にも安心して保育面のお話しや相談ができる点もありがたいです。
- ・ 預かり保育や園バスをやってくれる幼稚園が市内にもっと増えればよいと思う。子供が自由に遊べる公園がもっとあるとよいと思う。(ボール遊びができるなど)
- ・ PFASの問題を解決して下さい。保育園や幼稚園では、水道水を使って麦茶や給食を作っています。どうか、子供を守るために浄水設備を子育て施設に設置するなど、対策をして下さい。
- ・ 今預かってる保育所で土曜日とかリフレッシュの為の預かってくれるような保育士派遣や習い事的な事業をして欲しい。体幹を鍛えたりできるような体操教室とか。子供達が行き慣れた環境があればいいなあと。リフレッシュも土曜日以外ならと言われるが、子供が熱を出したりして休めない。土曜日に仕事以外でも2ヶ月に1回とか10-16時とかで預かってもらえると自分のメンテナンスができる。特に両親居ても単身赴任などのワンオペしている場合など考慮して欲しい。
- ・ 学校や保育園では、PTAや父母会が簡素化され、親同士の交流が無くなりました。子供の顔は知ってても両親の事は憶測でしか分からない…気を遣わないので楽になりましたが、時代の流れでこのままで良いのか悩みます。
- ・ 他の自治体で実施されているように、児童館ではなく保育園での子育て広場開放が充実すると、まだ保育園や幼稚園に通っていない低年齢層の子育て支援につながると感じております。保育園・幼稚園などに子どもが通い始めると親子ともに新たなコミュニティを獲得できるため、通い始める前のタイミングこそ子育て広場などのコミュニティが必要だと考えていますが、児童館は小学生以上の子どもの居場所を提供する場でもあるため、保育園・幼稚園に通い始める前の乳幼児やその親が利用するには、対象年齢がかけ離れてしまっていると感じるためです。保育園や幼稚園での子育て広場開放が充実すると、子どもが乳幼児の頃から保育園・幼稚園との関わりを持つことができるため、通い始めた後のイメージをしやすくなる点でも理に適っているのではないかと考えております。
- ・ ①難病や医療的ケア児への支援を充実してほしい。(幼稚園や小学校へのリモート参加)②居宅訪問型保育の充実・対象年齢を上げる、利用料補助などしてほしい。③子育て仲間を探せるよう ZOOM や Meet を利用したサーク

ルや事業をしてほしい。

- ・服、本、おもちゃのリサイクル(安価で販売してほしい)・プールや習い事(ダンス、そろばん、習字、スポーツ テニス 運動、プログラミング)等の子供向けの講座をもっと増やしてほしい。→どちらも小学生以降も対象にしてほしい
- ・住宅街をスピードを出す車、交差点の安全確保が足りない車、ながらスマホの車が多く、小学生の登下校が心配です。取り締まり強化や安全運転の啓蒙活動をしてほしい。(※車はバイクや自転車も含む。) 幼稚園や小学校が誰でも入れて危ない。カギ→だれでもかんたんにあけられる や保ゴ者カード→忘れても入れる の意味がない。
- ・住居に関する費用の補助、質の良い公的住宅の提供・矢川プラスのような安心安全な場を複数！・親、子それぞれ障害があっても安心して学べる学級、学校、学童保育の保障
- ・幼稚園フェア、療育の事業所フェアに参加しました。一堂に集まって質問する機会があるのはとても良いと思いました。
- ・幼稚園を増やす、あるいは延長時間を伸ばして欲しい 児童館を利用しやすくしてほしい(回数や時間)
- ・仕事をしていると、幼稚園や習い事の利用が中々難しく、子どもの教育の充実と両立させるのが難しく感じます。保育施設での教育の充実があるとうれしいです。 矢川プラスができて助かります！ただ、国立北からの交通手段がないので、直通でも良いのでバスが欲しいです。 小さい子連れ(~1 歳)での移動は自転車だとおんぶになります、怖いです。下の子が産まれた時の上の子の送迎支援があると助かりました。(うちは保育園が遠いので、下の子が産まれてすぐは1時間歩いて上の子の送迎をしていました)
- ・上の子供が来年度小学校入学なので、授業風景を見学できると嬉しい。給食の内容があまりに質素なのでそれはとても心配している。保育園の方が美味しい給食を提供していたと思う。下の子供は食物アレルギーがあるので、給食で対応しきれぬのかも気になる。
- ・小学校での PC 利用、持ち帰りなど、疑問に思うことが多いです。子どもたちの中でもルールを守れず、遊ぶ子もいて、周りに困っている子もいます。 遊び場、公園整備など、金銭面の問題があるようなら、寄付もつっていただきたいです。みんな困っています。何とかしてもらいたいことですし、できることは手伝います。地域をまきこんで、子育て中の親も使ってください。できること。
- ・小学校の先生の人手不足が気になります。先生方も何かあったときに安心して休めるよう、ゆとりのある人数を置いてもらうのが、子供たちの安心にも繋がるかと思えます。
- ・小学校以降についてはインクルーシブ教育に力を入れていることが感じられるが、それ以前の幼稚園や保育園のしょうがい児支援にもっと力を入れてほしい。入園拒否、面接すらしてくれない幼稚園もあるのでは。保護者の意識もしょうがい児=輪を乱す存在と思われかねない。色んな子がいて当たり前という感覚を大人も子どもも育める環境にしてほしい。
- ・公立小学校の先生が不足している点が今後不安です。
- ・公立の小学校の老朽化が心配。老朽化が進んでいるところはリノベーションをして欲しいし給食の充実化などにもお金を使って欲しい。 ニュースを見る限り教員不足で小学校の先生達の負担が多いのではないかと不安。 健全な教育のためにも余裕のある教員配置をして欲しい。
- ・矢川プラスや南口の子育て支援施設などとてもありがたいです。1つ困っているのはこういった環境を実現するためにどの議員の方が賛成して実際に動いてくださっているのがよく分からず、選挙の時にその方に投票したいのにできないことです。子育てに力を入れている議員の方の情報をもっと分かりやすくネットに落ちているとうれしいです。
- ・公園トイレのクリーン化をすべての公園でしてほしい。うす暗い照明はやめる、防犯ブザーを付ける(中で何かあった時に押すと外に大きな音で知らせる事が出来るとか)夕方まで出入口にシルバー人材の方を配置して見守っていただく、など。地域の商店にご協力いただいて職業体験を低年齢のうちからやらせてほしい。キッズマネースクールも開講してほしい。
- ・清潔なトイレ環境の充実 トイレが不潔なために我慢していると、膀胱にも良くないですし、不潔なトイレ自体が病気の感染源にもなり得ます。 ・害虫の定期的な駆除 ・生徒以外の大人が定期的に行う清掃 健康にも影響しますし、片付けができていないことは集中力の強化にも繋がります。 ・空調の充実 WHO は 2018 年に冬の室内最低温度を 18 度以上に保つことを推奨しています。健康寿命にも関連しますし、学習中の集中力にも影響します。学力への影響もあると考えています。多くの建物は RC 造だと思えますので、窓を樹脂サッシに変える事ができれば効果が見込めませんか？
- ・①親子で楽しめるレストラン・カフェガイド②子供トイレ増設③子供給付金(継続的に)④公園はいつもキレイに。⑤学費無償化ないしは、支援。
- ・公園のゴミ拾いなどを子供がする事業など。トイレもきれいに新築してほしい。

- ・ 公園へ行くためには大通りを通らなければならない、大通りの横ガードレールがない所は不安に感じます
- ・ アクセスしやすい公園 道の整備(城山公園の近くの道がこわい) ・この調査は上の子と下の子で2部きたのですが、同じ内容なら家庭に1部でいいと思います。書くの大変です。 ・平日 14:30 頃になる見守りをお願いしますのアナウンスのせいで昼寝中の子供が起きる、泣く、のでやめて欲しい。
- ・ きしゃぼっぽ公園のかいだんがこわれていて小さい子にはのぼりづらい。 ・七小のうら門の前におうだんほどうがほしい。
- ・ 図書館や公園の充実国立市は全体的に建物が古い印象なので、リフォームや再建築をお願いしたいです。
- ・ 図書館を新しく、大きくしてほしい。勉強する場所、知的好奇心を育てる場所を作ってほしい。
- ・ 図書館を大きくしてほしい。給食の無償化。地域防災のとりのくみ。国立市は自治体主催の防災訓練はないのですか？
- ・ 様々な施設内に学習スペースを設けてはどうか？ 図書館等も近隣にない為、子どもの学び場が少ないと感じるため。
- ・ 教諭(保・幼・小・中)の待遇改善(業務量削減)・教育に携わる人材の増加
- ・ 子育て世帯で集まれるカフェがあるとうれしい。・ビジョンの巨大化
- ・ 登下校の道が狭いところがあり心配。時々勢いよく車が通るため。・ほうか後キッズがよく中止になる。天候に左右されられないよう環境整備してほしい 回数も立川市のように増やしてほしい
- ・ 駅周辺での開催が望ましい。
- ・ 駅周辺は駐輪場が少なく自転車で行きづらい
- ・ 駅前にそのような場所がなく、小さな子どもを連日バスなどの公共機関を利用しなければならないということがとてもハードルが高いです。なので駅前にももっとそういう場所があったらな、と思っていました。
- ・ 道路がせまく、子どもと一緒に歩く時に危ないと感じる。小児科が少ないので困っています。
- ・ 道路が危険で、子連れで歩行するのがいつも怖い。 1 白線の外側の角度(曲がり角の横断歩道前の歩道の角度たまに急角度のところがある(ベビーカーが倒れる) 2 民家の植栽:敷地からはみ出しているので、子供と車道を通らないといけない 3 民家の段差に置いてある Steps? 水はけが悪くなったり、衛生的に良くなかったり、子供がつまづいたり、ベビーカーがひっかかったりする 2と3は、自分の敷地外に置いていいのか?はみだしていいの?公認なの?多すぎる 推奨されているの?本当にやめてほしい。
- ・ 道路の拡幅、信号機設置 正しい栄養知識、無農薬野菜、きれいな水
- ・ 北口駅前にあるロータリーを一般車両の侵入を禁止してほしい。 ※タクシーやコミュニティバスがロータリーを通過する際に、駐停車している一般車両が進路を邪魔して、クラクション等で移動を促す様なシーンをよく見る。タクシーやコミュニティバスの利用者する側としても、そのたびに時間がかかるし、当事者(運転手同士)も気分は良くないと思われる。また、周りから見てもあまり良い気分にならない。
- ・ 細い道での車のすれ違いに巻きこまれないような環境
- ・ 歩道が守られていない少ない道がまだ多く、子供だけだと危ないと感じるのでそういった整備を速やかにしてほしい。 ・子供が時間外に病気になった時の相談ができる病院を市内に当番制でもいいから作ってほしい
- ・ ・現在、国立市内で大型道路の建設が予定されていると聞いています。道路開通に伴う交通量の増加は、子どもたちの安全を脅かし、住環境の悪化にもつながります。国立市子ども総合計画の基本方針でもうたわれている、「安心して子育てができるまち」にするためにも、関連部署と連携して道路計画の見直しを行っていただくよう、お願いいたします。 ・子ども誰でも通園制度に反対です。慣れない不定期利用の子に保育士がかかりつきりになれば、その分在園児を見守る目が減り、重大な事故にもつながりかねないと考えます。(計2件)
- ・ 買いものとき、あるいは自転車で乗せた子どもが寝ているとき、「一人で行動したいけれど少しの間こどもをみてほしい」ができるようになれば嬉しい。 ・自転車でこどもをのせてお買い物できる場所を増やしてほしい(ドライブスルーのイメージ)
- ・ 親の通院時、病院内に保育サポートがあると助かる(ファミサポは手続きが煩雑・予定を合わせるのが大変)
- ・ 発熱があった際にかかりつけにかかれるようはたらきかけてほしい。(トリアージなど)
- ・ 小児科が混雑している。発熱外来は、かかりつけ医だと予約がとれない。小児科医の高齢化も気になる。
- ・ 下の子の 3.4ヶ月検診でコロナ以降の初めて集団検診に足を運んだのですが、大変混んでいたのもありますが寝不足の中時間をつくって書いた問診票の質問を読んでくださらなかった(回答頂けなかった)ことが今でも気になっており、もう少し小児科医師を増やすか、一方的に話す先生ばかりでなく年代の幅を広げていただけたら話しかけやすかったと思います。

- ・発達に、気になる姿のある親子を、親主体ではなく、施設主体で配慮が必要な子どもを守るための人員確保がスムーズにできるように(医療現場や、保健所の心理士などの見解をふまえた上で)してほしい。・幼児教育、福祉施設現場と、学校現場での対応のちがいにまよう子どもが多いと感じる事から、他施設同士の情報交流の場をもうけ、つながりある育ちの場をつくってほしい。切れ目がありすぎると感じます。
- ・医療ケア児への支援を取りまとめてくれるコーディネーター、医療ケア児の在宅レスパイト制度の整備
- ・夜間に対応してもらえる病院を国立市内で作って欲しい
- ・アンケートありがとうございます。分量はそれなりにあるので大変ではあるものの、自分たちの意見が少しでも反映されるチャンスがあることはとてもありがたいことです。ぜひ引き続きでよろしくをお願いします。
- ・いつも、市の皆様や支援センターの皆様へ優しくご対応いただき感謝しています。私は東京出身ではなく、市内に家族や親せきがないため、子育てに不安がありましたが、出産後、市の支援を受け、“こんなに手厚くよくしていただけるんだ！”とおどろきました。市全体が子育てや教育に熱心で、“子育てをするなら国立市が良いな”と思い住まいを選択して本当によかったですと思っています。(都内でありながら田んぼや畑などの環境もあります。) これからも様々なお取り組みに期待しております。
- ・インクルーシブ教育を目指すなら、支援者を学校、学童に配置することが必要です。(保育園のような加配が必要です)。療育費用(1割負担)の無償化を、3~5才だけでなく、18才まで延長してほしい。毎月37,200円の負担は大きい。学童と、放デイの両方に通えるよう、放デイの受け皿も充実させてほしい。府中療育センターは身体不自由児優先だが、知的障害を伴うASDの子も支援を受けられるよう幅広い受け入れ体制を整えてほしい。
- ・インクルーシブ公園どんな風になるのか楽しみです。誰でも楽しめる・利用できるを公共施設の中でふえていくことを期待してます。自分を大切にといのちの話が、年齢に応じてくりかえし伝えていけるようになると子どもの権利にもつながる大人や子どもがふえるのかもしれないと思います
- ・しょう患者の分離が無いフルインクルーシブを保育園やようち園から受け入れ可能にすることで一緒に育ちを喜び合い(保護者同士が！)小学校や中学校では、共も解り合い補い合える関係作りができて、社会人になった時に偏見や差別を“したり”“されたり”しない大人になるためルールを“今”“私たちが作るべき”だと思います。
- ・おそらく、母親、女性に子育てが片寄るので、週4や週3の準フルタイムの勤務形態(パートではなく正社員で)を普及させることが、少子化改善の打開策になると思う。
- ・国立市の「保育施設等入所のしおり」p.25よくある質問20に関連して、下の子を出産し、育児休業を取得する場合、上の子は在席できる(園に継続して)という説明ですが、フルタイム勤務でなく育児休業を取得できない場合は、産後2ヶ月末までに翌年4/1~の復職証明書が必要で提出できない場合は退園と聞きました。1年更新の職で契約更新は年度末にあり、復職証明書を早い時期にうけとれるかわからない、妊娠前に仮定の話として書類の取得が可能かを確認するのは難しく、第2子を妊娠できなかった。上の子が退園になったらかわいそうなので。「復職証明書」を必要とするのはやめてほしい。フルタイムを念頭においた制度、かんたんには取得できない人もいることを理解してもらいたい。
- ・こどもの基本的人権が親子ともに学べるよう、学校の授業(道徳の時間?)や、親向けの講座をお願いしたい。性教育を世界水準並みに充実させてほしい。低学年から学んでほしい。学童保育所が小学校に隣接されていると遠いので、国立駅付近にも開設してほしい。送迎付きで。(冬になると、16:00でも暗くなるので。)
- ・23P問42で申し上げた通りです。他、問52の○をつけた設問が充実することを希望します。
- ・ご担当者の方、聞くだけでなく、市内を歩いて観察してみてください。実際に困っていることは、このようなアンケートの時にはうっかり打ち忘れるものです。
- ・しょうがいのある子供と家族が安心して生活できる環境づくりに力を入れていただけたら嬉しいです。
- ・そもそもこんな長いアンケートを記入するのも子育て中は大変だと思います。私はパートだけれどフルで共働きの方はなおさら…。産後間もない方も…。意見を聞きたい時は、必要なことだけ記入して送れるネットの回答フォーム(意見箱のような)を利用した方が集まるのではないかな、と思います。子育て世帯はひまではないです！
- ・チャイルドシート付き電動自転車の貸出を増やしてほしい
- ・ドキュメンタリー映画「みんなの学校」等、良質な作品の上映会を企画してほしい。親や地域住民が教育や学校について考えるきっかけになればと思います。(計2件)
- ・ひとり親家庭への支援には、目がいけますが、共働き家庭への支援も考えてほしい。とにかく時間がないので、平日子どものことで何かあると困ることがあり助けが必要。
- ・ベビーカーをおして歩いていると、自転車が歩行者の道を早いスピードで走ってきたり、せまい道路でスピード出す車がいったり、喫煙者がいたりして、不安なことが多々あります。自転車おき場はあっても、ベビーカー置き場がない

のであったらいいなあと思うことがあります。

- ・まずは市役所職員の教育
- ・もっと双子などの多胎児向けのイベントを開催してほしい。
- ・幼児向けに様々な施設ができ、ありがたい。国内的に不足している小学校低学年胸のサービスを広げてほしい。国立市を周りの人に保育環境という点では今まで紹介できず、小1～小3に支店を向けた自治体自体が少なく感じる。
- ・育児してる側は毎日のように悩むし、困ったことがあっても相談できる場所がない。行政に、ラインや、メール(匿名)でこんなのがあったらいいなとかを送れるようにしてほしい。第1子妊娠時に思ったことですが、つわりの時に母子手帳もらいに行くのが、本当にしんどいので、自宅にきてくれるサービスが欲しい。後2人目を考えているが、産めないと思っている。ワンオペ(新生児期)があり、子供(兄弟)をみってくれる産後ケア、1週間くらい連続できる産後ケアがあると安心する、あと、ファミサポ(ママサポ)も1日中みってくれると助かる
- ・何歳から何をどれだけ勉強すべきか教えてほしい。
- ・各教育支援で定期的にあつまりや勉強会があること。意見が言えて、うけとめてくれる場所があることが大切だと思います。
- ・学区を柔軟にして欲しい。幼保連携してると聞きました。すごい良い取り組みだと思います。しかし、保育園だといろいろな学区の子供が集まっています。そのため、子供か親が望めば、学区の選択ができるようにしてほしい。
- ・教育者、保育者の手当や知識の向上、風通しの良さがあると、子供への還元があるのかなと思います。
- ・教育従事者の待遇改善が、質の高いサービス提供のための最優先事項だと思います。また、ICTの整備も必要だと思います。
- ・国立市谷保(西府より)にも保育施設が増えるといいなと思います。どこ行くにも遠く、不便さを感じています。アプリの情報があまりないので、もっと増えるといいなと思います。
- ・国立北に住んでいますが、この地域に公立の中学校が無いことが非常に気になっています。学区の中学校まで2km・徒歩30分かかり、しかも大部分が歩道やガードレールが無く、通学の時間帯に並んで歩く生徒の脇を車が追い越しており、いつ事故が起きてもおかしくないといつも思っております。中央線から南はせまい道路が多すぎるので、安心して通学できるよう、北地域に中学校の新設を強く望みます。
- ・今後、就学する子どもについて、青柳地区は学校や児童館などが遠く、国立市から外れているように感じる。充実していくのは一部の地域ばかり。子供が安全に通学できるか、居場所があるか不安です。
- ・最近世の中には変質者が多く子どもの性犯罪も頻発していると聞くので「犯罪や交通事故から子どもを守るための取り組みの充実」には特に興味がある。変質者の通報等があった場合には市のSNSですぐ拡散して欲しい。振り込め詐欺の事案はよく発信してくれているので、変質者の出没情報も同様に発信して欲しい。
- ・子が関わる教育、保育の場などでアンケートを実施したり、意見交換のしやすい環境の充実や防犯や防災についても定期的に意思統一していく等連携体制を整え、助け合いながら子どもたちの成長に関わっていけたらと思います。
- ・子どもが小学校六年間で、中学校の三年間、高校の三年間。どのような教育機会が、国の制度として整備されているのかをがあるのかを、科目別に簡単に説明している資料が欲しい。文科省の資料等、何の専門性もない保護者には難解。
- ・子どもに関する施設の職員の数の充実 大人にゆとりがないと子どもを育てるのは大変です。子どもに関わっている大人がゆとりを持てるよう、大人支援をしてほしいです。
- ・子育てしながら働く親を労働力として必要とする企業を市内に多く誘致できると、安心して子育てに前向きになれる方が増えると思います。
- ・子育てに家庭で孤立感を感じてしまう。より地域・公共と協力関係を築きたい。
- ・子供がおとなしくまじめなタイプなので、一年生から、現在(4年)、席がえて問題児が隣、前後にくることがとても多い。先生たちの思うことは理解できますが、あまりにも毎回そうなので子供もストレスを感じている。問題のある子だけでなく、おとなしい子の立場も考えてほしい。先生が足りなくて、校長、副校長が代理やっていると不安を感じる。
- ・子供は保育してもらい、同年代の子を持つ親の交流会や、しつけに関する講義などができるとよいと思う。
- ・子供達が安心して学校へ通える、あそびばへ通えるような、道路のせいびをお願いします。甲州街道の歩道の改善(せまい)、子供が道にまよわないためのかんばん。矢川プラス、児童館、としょかん、駅など、子どもがみやすいもの、直通バス。街灯。自転車(子供が)で通りやすい道。道路がせまく、歩道もせまいのでは、自転車事故がおきてもおかしくないです。自転車はあぶないから、歩いて出かける場所(道)も多いです。行動に制限がかかる。
- ・市内で季節ごとに植物を植え替えていることに驚きました。ボランティアの方なのでしょうか。花が咲くと子供が嬉し

そうにしています。情操教育に役立っていると思います。一時保育に関してですが、利用したことはありませんが周りに話を聞くと人気の場所に偏りがあると思います。時間や料金に差があるのでしょうか。一時保育の情報があまり入手できないので各施設に問い合わせなくても分かりやすい一覧が欲しいです。

- ・ 出産後、訪問して下さる方に子供の体重が平均より少なかったときにその方から傷つく言葉、その方の価値観をおしつけられ 1 人目でもあったので自分自身の子供育児に自信をなくしたことがあります より添ってくれるだけで良かったです。
- ・ 上の子が小学生になったばかりなのでまだ詳しいことはわかってないのですが、塾、というよりは授業の内容を補うような場所があるとありがたいと思います。ただ先生の労働環境も気になるので、地域の大人しかり、市内には、一橋大学や国立高校などレベルの高い学校があるのでうまく協力できないか…と思います。
- ・ 上の子のときに保育時間の都合上、週 5 回 1~2h ファミリーサポートを利用しました。のべ 10 人ほどにお世話になりましたが、どなたもとても温かく、親身になってサポートして下さり、最高の制度だと感じています。今でも連絡をとっている方もいます。ママ友たちは意外とこの制度を知らなかったり、ハードルが高いという方が多いです。もっといろんな方に知って、利用してもらいたいと思います。ゆくゆく自分もサポート側になりたいです。
- ・ 親の仕事の調整がむずかしい中での子どもに対する後ろめたさのようなものを軽減できるようにする取り組みやカウンセリングなどがあると良い。時々自分を客観的に評価できる環境は改善していくために必要だと思う。
- ・ 前ページ、その他に書きました。切に望みます。不平等なく、子ども達が平等に育っていける環境を、国立市から始めてほしいです。
- ・ 相談窓口で「現状では難しい」「こちらではどうですか」などとその場しのぎの対応になってしまい、問題自体が見えてこないのではないのでしょうか。それぞれのケースで家庭ははっきりとした問題を認識しています。窓口で解消したことにはせず、きちんと問題として認識すべきです。問題を受け付ける目安箱・投書箱のようなものが必要です。障がい児を育てながら、これまで保健センターや教育委員会、保育園など公的機関から差別的な指導を受け続けました。行政が意識を変えていかなければ、街の人から差別意識はなくなりません。
- ・ 聴覚障がいを持つ親として、取組の課題は多いかもしれません。保活のときにパンフレットには電話番号しかかかれていなく連絡をとるのに苦労したので、改善して欲しい。(ノーマライゼーション保育) 母子手帳のデジタル化と共有化(行政、市内の病院、保育しせつ)も良さそうです。保育園フェアの内容をもっと盛りたてる。(おもちゃづくりWS、工作WSなど) 離乳食デリバリー、オムツデリバリー制度(ギャクタイ・DV 対策として)など
- ・ 登校時の見守りボランティアの方々がいるように、下校後子どもたちが公園などで遊ぶ時間帯(特に 16 時~17 時)に子どもが集まりやすい場所の見守りボランティアさんがいるといいのになと思う。
- ・ 土、日、祝日の病院の利用について不安にならないような支援があるとありがたい。発熱外来などはいつも混んでいて利用できないことがあるので、不安になってしまう。病院の先生は一生懸命やってくれているのは分かっているので、もっと病院や医師が増えてほしい。
- ・ 同じ市内でも PTA のあり方、土曜授業、ふりかえの有無などがう。もっと文教都市なのであれば、学力を高めても良いと思う
- ・ 乳幼児保育についてはどんどん支援が手厚くなっていると感じますが、就学以降、保育から教育への移行のハードルが高いです。幼保から小学校への連続的な支援、従来型の学校教育の改革に期待します(愛知県山吹小の例など)。
- ・ 兵庫県明石市や、神奈川県厚木市で実行されている子育て施策を行ってほしいです。
- ・ 保護者として自分で自分の子どもの保育が行えないのは、残念なことだと思います。どこかに誰かに預ければ仕事に行ける環境も必要ですが、預けなくとも余裕をもって生活できる仕組みも必要と感じます。親子で楽しい思い出がたくさん作れる子ども時代を過ごせるように お願いします。
- ・ 様々な選択に合った保育環境があれば理想だと思う。(パート勤務でも預けられるなど) (もう少し長く育休をとりたいなど) 小規模で質の良い施設が増えて欲しい。
- ・ 先に記載のとおりです。
- ・ 問 45、47 に記入しました。
- ・ りやく。
- ・ 上記特に希望しない。
- ・ 特になし (計 4 件)

〔低学年小学生保護者・問 44〕

○学校について

- ・ 小学校では学級崩壊しやすい傾向の学年については、副担任をつけたり、クラスの人数調整を学校に任せるなどしてほしいです。子どもたちの発達特性を問題に捉えるのではなく強みとして活かす教育方法を取り入れ、戦後からあまり変わらぬ集団でよくできるとをよしとするところから、個を大切にしたい競争を減らすことを望みます。
- ・ 小学校の教育体制が以前よりも低下していると感じる
- ・ 小学校の先生方について。学校だけではなくこの業界もそうなのかもしれないが、マンパワーが落ちているように感じる。先生方の働く環境を良くすることも大切だが、それだけでなく、先生方のあるべき姿を示してほしい。
- ・ 小学生になったばかりなのでまだ詳しいことはわかってないのですが、塾というよりは、授業の内容を補うような場所があるとありがたいなと思います。ただ先生の労働環境も気になるので、地域の大人しかり、市内には一橋大学や国立高校などレベルの高い学校があるのでうまく協力できないか…と思います。
- ・ タブレット端末の導入については、慎重に検討して頂きたいと切に思う。低学年(小2)で、毎日持ち帰らせ、漢字練習までもが画面上、ゲーム攻略のように問題を解かせてゆく、など、今の時期の子どもたちに本当に必要であるのか。教員の方だけでなく小児科医、精神科医の方たちの意見も聞いてほしい。
- ・ パソコンの毎日のもち帰りは必要ないです！！重たい。勉強以外のことで時間を忙殺している。親が管理しきれない。Wi-Fi 環境がないので学童で宿題ができません。
- ・ フルインクルーシブ教育には反対する。すべて子供がともに学ぶより、環境にあった様々なところで学ぶ方が本人のためになると考えるから。
- ・ 学級崩壊の状況になったときに学校の対応に納得できず教育委員会に相談したけれど、対応してもらえなかったと聞きました。学校、教育委員会、地域とみんなで協力して学校生活を支えていけるようになっていきたいと思います。
- ・ 学校、もしくは学校外でもどちらでも構いませんがもっと包括的性教育に力を入れて欲しいです。子供が知ることが一番大事ですが、親が子供に教える方法等、親が学ぶ講座でも良いです。
- ・ 学校での教育の仕方が、いまいち方針にのっとってやっているのか、ハッキリしない部分が多々ある。もっと色々なことをオープンにしてほしい。支援はキリがない
- ・ 学校の先生方がとても良いと思います。(国立市は市民のみなが良いと思います。やさしい人が多いと思います。)なので、良い環境を作る努力をされている方達に支援としてお給料が増えると、よりよくなると思います。
- ・ 学校の様子などをプリントでなくデータ配信してほしい。
- ・ 学校教師の負担が大きいと思います。スマイリーさんとは別に複数担任で運営してもらえると、良いのではと思います。
- ・ 教育におけるマンパワーの充実を願っています。また、学校給食の給食センター変更前の方が良かった、と子どもが言っていました(不登校気味の子の学校へ行く意欲・動機において「美味しい給食」という魅力は大変大きなもので、給食センター変更前は、学校へ行ってみるタイミングとして「給食の時間からなら行きたい」という日が多く、変更後は皆無になってしまっている状況があります。)
- ・ 教育について、ここに書くべきかわからないのですが小学校で使用するノートパソコンはタブレットで代用できないのか。ただでさえ重いランドセルを背負っているのに、ノートパソコンを持って行き来する子供達の身体への負担が大きすぎると心配です。タイピングするわけでもないのに、ノートパソコンである必要はあるのでしょうか？
- ・ 教育機関における先生の質の向上。
- ・ 現在子どもが3人とも小学生ですが担任によって当たり外れがあると周りのママ友も思っています。先生たちも余裕がなくいつも忙しい印象です。先生たちの働く環境を良くして子どもたちへの対応にも余裕をもてるようにしてほしいです。
- ・ 個人情報保護の元、親同士の連絡手段も限られており、結果先生に頼ることも多いので先生の負担軽減や気軽な交流が促進されると孤育ての不安が軽くなるのではと感じます
- ・ 校外学習が市内の小学校と比べて差があり、うらやましいと思うことがある。ぜひ立川のグリーンスプリングスにある英語教育の施設に行かせてほしい。
- ・ 三中の立地の悪さ、通学しづらさは嫌です。立地的には荒れてもおかしくないところにあると思います。(地域の目が行き届かないところにある、悪いことでも気付かれにくい所にある)一中や二中を選べるようにしてほしいです。
- ・ 塾に通う子どもが増え、通う通わないで学力の差がついてしまうのは残念です。経済差の影響もあるでしょうし、公立学校の勉強で十分な環境になることを願います。

- ・文教地区と言われている割に、学級崩壊が起こっている学年がある。昨年学級崩壊したクラスに在籍していたが、タブレット学習ばかりで、ただ学校に行ってるだけで補習してるようなものであった。視力も低下が見られ、学習面の遅れ等心配がつきなかった
- ・勉強のレベルが低めに感じる。もっと底上げできるように力を入れてほしい。「できる子はやって。やれないならやらなくてもよい」という発言を先生からされることがあるようで、今はそういう時代なのかもしれないが、教育の場では、難しいことにもチャレンジして努力する事や、失敗する事も大切だと思うので、義務にしてほしい。(例えば、学芸会で歌を歌うこと。)←うたえる子だけ歌うという指導らしく、見ていてもバラバラで中途半端でした。
- ・問 37-1 と同様 保育園卒園までの未就学児までは、かなり充実してきたので、特に不満がない。しかし、小学生になってから、子どもの目がいき届きにくく、学校行事(平日午後多い、保護者会、面談など)や日々の宿題など、子どものためにつかう時間が増え、忙しい。その上、1 番上、本人とも小学校でクラスが落ち着かず、日々色々な問題をクラスでかかえて生活している。落ち着いて学校生活を送れることが基本！学校環境設備、教員の質と人数の確保を最優先にしてほしい。学校の先生に相談できる環境にはない！(1 番上は今年中学生だが、ようやく落ち着いた。)来年一番下が就学でかなり不安。
- ・不登校(=学校に行かない選択)が増えてきています。学校の学びの在り方が問われているのではと思います。子供たちが考えて楽しい学びになっていくよう考えて頂きたいです。地域の方々の手を借りて何かできないでしょうか。公立の中学校の内申点制度を透明性のあるものにして頂きたいです。

○学童保育所等について

- ・学童保育のあり方。もはや学童保育なしに、共働きは不可能であるが、保護者の互助会等で成り立たせるのは時代合わない。行政からこの辺りともっとサポートするべきかと思います。
- ・学習の時間が足りない。学童に入れている時間に、学習したりする環境がほしい。学童に、講師をやとうなど。
- ・子供が学習する習慣を小学生から身に付けられるように、民間学童に預けているが、市の学童で学習の時間を毎日つくられるなら、市の学童に預けたかった。学校の宿題など簡単で持続できるもので良いので、(陰山メソッドなど)、取組むと良いと思う。(プリント 1 枚(100 マス計算など))学習時間は、1 時間までで良いです。
- ・長期休暇時のみの学童利用を認めて欲しい。 早朝から利用させて欲しい。
- ・学童長期休みにおいしい給食だして下さい。弁当配達の見直し時、「子どもは親の弁当を楽しみにしている」「どうしてもおきに配達弁当を」などという紙が配られた。不快です。学童で他に楽しみがないからじゃないですか？ すごくおいしい給食なら嬉しいと思いますけど？ オススメしない試行って何ですか？ 配る側がそれだから受けとる側(子)もそういう気配を感じるのでは？ 教育、学童に予算と人をもっとつけて下さい。学童・保育園の育休退{園所}見直してほしい。
- ・学童保育の施設、保育の質の向上を充実させて欲しい。
- ・学童保育は全受け入れで素晴らしいですが、実情は、注意や決まり事が必要以上に多く管理しすぎています。学校も規律重視で自由はないので、放課後くらいはのびのびと過ごさせてあげないと子供のこころが育ちません。
- ・現在、子どもが 2 小の 1 年生にいますが、学校から西学童までひとりで移動していることにとっても不安を感じています。 遠いうえ、歩道と車道も分かれていないので、見守りをしてほしいです。
- ・放課後キッズに毎回参加しています。友だちと存分にまた安全に遊べる場として、もっと回数が増えると助かります。
- ・放課後キッズの頻度を増やしてほしい。 放課後キッズと同じくらいの時間帯で、学校の図書室を開放してほしい。夏休みの図書室開放日を増やしてほしい。
- ・放課後きッズや学童の充実。
- ・ほかごキッズを増やしてほしい。週 2 日まで無料 それ以上は有料など府中市を参考にしてみたいかでしょうか。
- ・ファミリーサポートなどもっと利用しやすいと良いと思います・子どもが安心して安全に過ごせる場所があると良いです・国立北の施設の拡充を求めます。矢川プラス、城山、遠いです・雨の日の放課後キッズの中止をやめてほしいです
- ・一時保育の充実 ファミリーサポート、育サポの充実。昨年育サポを利用したが、とても不満があった。もっと有料の支援を利用することになった。サポーターを見つけることは、今後も困難をきわめると思うため、制度の改革が必要であると思う。また、ファミサポ、育サポの研修が 1 つになることには反対。産後の母、妊娠中の母のメンタルについて、もっと学習をして欲しいと思いました。
- ・一時保育の申し込みがキャンセルまちが多くできない。イヤイヤ期の子どもに対応してつらいときがあるので、一時保育を利用しやすい環境を整えて頂きたい。国立駅周辺の小学生の居場所をふやしてほしい。ネオおばあ

ちゃんちのような。

- ・ 病児保育サービスの充実(当日の発熱への対応は不可能ことが多い) ベビーシッターや家事支援サービスの充実
- ・ 現在、ファミリーサポーターとして活動し始めたのですが、スクールサポーターというのもあったらいいなと感じます。学校がお手伝いが必要な時、人数があつまらず、先生方に迷惑がかかっている現状があります。小学生の子をもつ親限定で、登録制にして、市内の小学校にお手伝いに行く、¥500～¥1000 くらいの謝礼金を払う etc もうすであつたらすみません
- ・ 短い時間、イレギュラーな時間帯での子供の預かりサービスがあると、助かります。(場所や人員確保など、障壁は多いですが…)
- ・ 保育園が自由に選べる程度に、保育所の数をもっと増やしてほしい。

○児童館等について

- ・ 児童館施設の充実。
- ・ 近くの西児童館を利用させて頂くがせまくて、利用人数に対して、遊び場が少ない。体育館も 10 分しか利用できず、まとまった運動ができず…
- ・ 港区立赤坂子ども中高生プラザのように、学童機能もありながら児童館も利用出来る施設が近くにあれば、とても便利だと思います。
- ・ 矢川プラスは大変良い施設ですので、市の北側にも同じような施設ができるとありがたいです。
- ・ 矢川プラスや公民館等の公共施設で、シルバー人材センターの方が、そろばんや囲碁将棋、卓球、化学実験などの教室をしてくれると、参加しやすくありがたいです。

○遊びや活動の場について

- ・ ワークショップやりたいです。クリスマスリースを作るとか
- ・ 安全に外遊びさせたい 木登り、ドロンコ遊び
- ・ 外国人の子供たちと自由に交流できる場所があつたらいいなあとと思います。放課後にすぐせる場所(安全で、近場の)遊んだり学んだり、体を動かせて、雨風など天候を気にしなくてすむ場所がほしい。安価な習い事、学べる場所があるのであれば、情報開示してほしい。無料のイベントを増やしたり、動植物に触れたりできる場所がほしい。
- ・ 子育ての環境に関して:夏のシーズンは暑すぎて外で遊ばせられないので、屋内で走りまわられるような施設や機会の拡充をして欲しい。例 多摩六都科学館、はまぎんこども宇宙科学館、ギャラクシティなど プール施設について: 幼児や小学校低学年の子が遊泳できるようにして欲しい。多摩アクアブルーは、深さ 50cm プールや深さ 80cm の流れるプールなどがある。
- ・ 放課後時間に自由に校庭で遊べるようにして欲しい

○経済的なことについて

- ・ (自分には必要ないが) 子育て世代に向けた経済支援がとにかく大事だと思います。無理なら、例えば税金を安くする←低所得層のみで OK だけでも有難いです。
- ・ 金銭面で不安にならないような将来。塾等、今後必要になるであろうものに関する補助や代替の場所。自転車でも子どもが安心して使える道路。基本的な運動能力が向上する機会の提供。だれも取り残されない多層的な学校環境。
- ・ 子供への子育て給付金の増額!! 10 万円→年間
- ・ 教育予算の充実。子どもへの投資は日本の未来への投資だと思います。
- ・ 教育支援金、子育て世代に優しいとくみみを本当に願います。あとは、お熱があると、本当に病院にかかりたいときなのに、発熱外来ができてから、病院にかかれません!! でんわもつながらず。
- ・ 子育てには思っていた以上にお金が掛かるので、今も頑張っています。より一層のサポートがあると大変助かります。
- ・ 子育てをしていく過程で、経済的な不安が大いにあるので、子ども手当など自治会独自の経済的支援をして欲しい。実現している自治体もあるので、国立市も続いて欲しい。
- ・ 第 1 子は杉並区で子育てをしていたが、子育て応援券なインフルエンザを無償化または学校で実施してほしいです。今年は 2 回かかりました。学級閉鎖もあり、本当に働く親にとっては辛いです。我が家がワクチンを打っていても、かかってしまうとうどうしても、ワクチンみんなも打ってほしい..とってしまいます。打てない体質の方もいると思いますが、また、ワクチン接種までの道のりが遠いです。本人の体調管理、予約の争奪戦、2 回打たなければなら

い、兄弟枠が取れなければ、また別の日にこれを繰り返さなくてはいけない等本当に苦勞が絶えません。

- ・どがとも充実していた。主に乳幼児のための制度だったが、何かと出費が多い中高生に向けての支援があってもよいと思う。

○その他、全般について

- ・学童保育は、建て物に子どもをとじこめるのではなく、もっとのびのびと主体的な遊びができるようにしてほしい。プレイパークのように。公園の見守りをしてほしい。公園に明るいトイレを設置してほしい。
- ・行きたい小児科が2カ所あるのですが両方とも予約制で利用しにくい。今はどうかかわからないが、コロナ禍では発熱しても診療時間に制限があって行きにくいクリニックが多かった。そのため、最近では発熱すると立川にあるクリニックに行っていて、熱があってもすぐ診てくれるので助かっている。そういうクリニックが多いと嬉しい。あと、性教育にはとても興味があり。正しい知識を幼少期から身につけてほしい。スカートでパンツ丸見えで遊んでいる女の子を公園で見かけるが、変態が周りにいないかと心配になる。せめてオーバーパンツをはいて、安全にという心を今のうちからもってほしいと思う。
- ・最近では発熱時に小児科を受診できない(予約でいっぱい)ことが多く困ります。小児科ごとに予約のルールや枠がバラバラなので、例えばそれを横並びで確認できたり、市内の病院の情報を一覧できるような仕組みがあると大変助かります。
- ・問 37-1 と同様。矢川プラス等子供の過ごす場所の提供がある事に加え、学童の受入を6年生までしている点ありがたい。知人では小学2〜3年生までしか学童に在籍できず、困っている家庭もある。利用するしないは別として、受け入れる体制がある事に安心感がある。学校の登下校の集団登下校の取組がほしい。子供の1人時間を無くしたい。現状は、下校から学童への移動で1人時間が心配。
- ・p.15 に記入の通りです。
- ・先生を増やしてほしい。こども食堂は条件を明記してほしい。
- ・スクール・ゾーンについて、登校時のみではなく、特に「低学年の下校時」においても車両通行禁止(近隣住民除く)を実施してほしい。三小通りスクール・ゾーンは道幅も狭く、車両のすれ違い、大型車の通行、軽自動車の速度が早い等、物理的な危険が多く、ヒューマンエラーによる事故の発生確率が高いと考えるため。早急に対応してほしい。
- ・核家族が多い中で、それぞれの家庭だけで回る子育て支援サービスも助かる部分はあるが、それよりも、家族と家族がつながる仕組み、地域のつながりを大事にする仕組みこそ、良い環境だと感じる。
- ・公園であそべない遊具があるのを時々見かける。古い。家でひとり一台タブレットを使う時の授業内容を改善してほしい。先生の声や友だちの声がきこえない。黒板が見えにくいなど。
- ・公園の遊具のレパトリーを増やして欲しい。学童保育所の冷暖房設備を点検してほしい。学童保育所の職員の教育を充実させ、質を高めてほしい。
- ・国立の保育園や小学校はとにかく古く、耐震年数など大丈夫なのかと心配になるほどです。可能な限り、補修してあげてください。設備面も十分とは思えないので、市民から寄附を募ってみてもいいのではないかと思います。最近出来た矢川プラスは、施設・職員ともに素晴らしく、イベントも充実していて、子どもたちにも人気です。こういう場を作って下さり、本当にありがとうございます。こういう場ができて、本当に嬉しかったです。
- ・国立駅周辺における子育て環境や支援が、他の地域よりも不足していると思われまますので、重点的に対策してもらいたい。
- ・国立駅前施設のパンフを読んで…一時保育預かりスペース「国立のまちなかを楽しんだり、ゆっくり用事を済ませて…」そんな悠長な理由で使う事より、「歯医者に行きたい」「国立駅前では買物が足りないから急いで立川まで行きたい」「30分、1時間でいいから子供を預けて用事を済ませたい」という思いのほうが、私は強かったです。
- ・国立市の広さ、人口では今でもサービスは充実していると思う。しかし、矢川プラス・児童館へ子供を1人に行かせる時に道が狭い、交通量が多く、不安になる。防犯的にも安心してはいられない。子供が安心して、公共の遊べる施設への歩道の確保をお願いしたいです。(うちの子の場合は矢川通りを使います。)公共の遊べる施設近辺の防犯カメラの設置など…。
- ・子どもがいると親が医療機関を受診するのが難しい。
- ・子どもが静かに自習できるスペースを市の既存の施設の中にふやしてほしい。
- ・子ども食堂の市のHPの情報が間違っていたり、古い事が多々ある。TEL番号が違っていたり、やっている様に案内があり行ってみるとやっていなかったり、悲しい気持ちになります。
- ・子供を連れて行きやすい安全な道路、公園、交通の整備は深く同意しました。狭いの一方通行ではない道路も

あり、子どもが歩くには危ない

- ・ 子供達のがびのがび、生き生き生活するためには、大人の余裕が必要。親も、学校の先生方なども。そのために、教育・保育に関わる人の賃金アップや、人員の増員、子供達を見守る目の増員、街灯や防犯カメラの設置。「子は宝」「未来の財産」だと思う。大人達がもっと積極的に見守る、声をかけるなど、子育て世代(親子)がきょうくつでない環境作りをしてほしい。
- ・ 子供用自習室をたくさん作って欲しいです
- ・ 市のイベント等は基本平日日中のため、共働きだと参加できません。(期待してないです)
- ・ 習い事の場所まで一人で行けないためサポートが欲しいです
- ・ 住んでいる所からすぐの交差点が工事をしている大きな道ができます。子どももそこを通り学校に通っています。今後道ができた時にその交差点がどうなるのか気になります。かなり大きな交差点になりますが、横断歩道や歩道橋はどうなるのでしょうか…説明を聞いたり意見が言える所があれば教えて頂きたいです。
- ・ 図書館の本が少ない。土曜登校日が多い。その度に振替休日となるので、平日に登校して給食を食べてほしい。家族で過ごす時間もへる。先生方も同様だと思う。
- ・ 図書館の本が貸し出し制限をを 30 冊まであげて欲しい。購入本のリクエストの方法がわからない。ネットで簡単にリクエストできるようにしてほしい
- ・ 前述のとおりです。公園図書館の充実。特に図書館は自習室も備えた充実した環境を望みます。
- ・ 大学との連携による学習支援
- ・ 地域の方の得意なこと(例えば、絵画やそろばん、書道など)を活かして、地域の子どもに指導してくれる機会が増えたらいいのになと思います。
- ・ 通学路に危険な箇所が多くて、朝は大人数での登校になるので安心ですが、帰りは一人になる可能性が高く危険なので学童に迎えに行っています。難しいかとは思いますが、何か対策があればと思います。例えばですが、今は小学生ですが、中学生になった時、自転車通学が出来れば安心です。(人気の少ない道が通学路で、歩くと 30 分はかかります。)
- ・ 発達心配な子どもへの対応について、一人に対して一人手が必要な場面も多く、とにかく人手をいれ保育現場の先生方の心のゆとりがもてるようにしてほしい 集団に入って学べる部分とそうでない部分もあることを分かってほしい その子どもをとりまく周りの子どもの保障もしっかり行っていくためにはとにかく人手が必要、学校も同様、手に負えない子どもを放置している感があり、安心して学校に送り出せない フルインクルーシブを言うなら人的環境をしっかり整えた上で行ってほしい
- ・ 発達支援をお子さん(仮称 A さん)が受けられた親御さんが他のお友だち(仮称 B さん)も発達支援と一緒に受けていると軽い会話の中で伝えられた事があります。B さんの親御さんはお子さんの発達障害をクローズにされたかったようで、療育仲間の A さんではなく、アウトティングされた私に対してネガティブな感情を抱くようになってしまい、人間関係が崩れてしまいました。国立市の発達支援の場において、プライバシーの扱いについてお話される機会があってもいいのではないかと、思いました。他市の親御さんが他のお子さんの発達障害をアウトティングされる場面にも立会った事もあり、障害に対する意識(隠したい方がいる一方で、隠す事が偏見を助長すると考える方もいらっしゃる)が多様であるゆえに周囲の対応も難しいと感じられました。障害をオープンにして理解を深めて貰いたい方がいる一方で、障害者だと思われたくないと怒られる方もいらっしゃる、インクルージョンとは何なのか、分からなくなりました。障害のある方やその周りの方に内在する差別意識にも触れ、複雑な感情を抱きました。
- ・ 負担にならない制度で親同士がつながりやすいといいなと思います
- ・ 歩道の整備を学校周辺で進めてほしい。
- ・ 未就学児だけでなく、小中学生などの支援もして欲しい。
- ・ 問 32 の回答と同じ 共働き家庭には優しくない環境だと感じる。①小学校の中に学童保育を設置してほしい。②朝 7 時～20 時まで学童を開けてほしい。(出社時) ③夏期、冬期休暇も給食を提供してほしい。親が働いている家庭は夏休み 1 カ月もいない。④ランドセルを廃止してほしい。(重すぎる)リュックで登校可にしてほしい。⑤学童はただ遊ぶのではなく、学びも提供してほしい。(希望者に有料でピアノや英会話などレッスンできる等)保育園はありました。
- ・ 矢川、青柳地域の外灯の暗さ、白線が消えかかっている
- ・ 矢川駅付近に交番があってほしい。
- ・ 幼児のうちだけでなく、小学生から高校生(18歳)までの子どもを持つ親が悩みや疑問を匿名や個別で相談出来る場所があり、気軽に利用出来ればと思います。

- ・ 我が家にとっては、この施策が、遅かったな、と感じているが、小中高生も使うことのできる施設となることを願っています。
- ・ 前述の通り
- ・ このアンケート調査の量が多すぎる。
- ・ 路上喫煙を禁止してほしい
- ・ 現時点では特にありません。 / 特になし (計 4 件)

第14章 新型コロナウイルス感染症流行による子育てへの影響

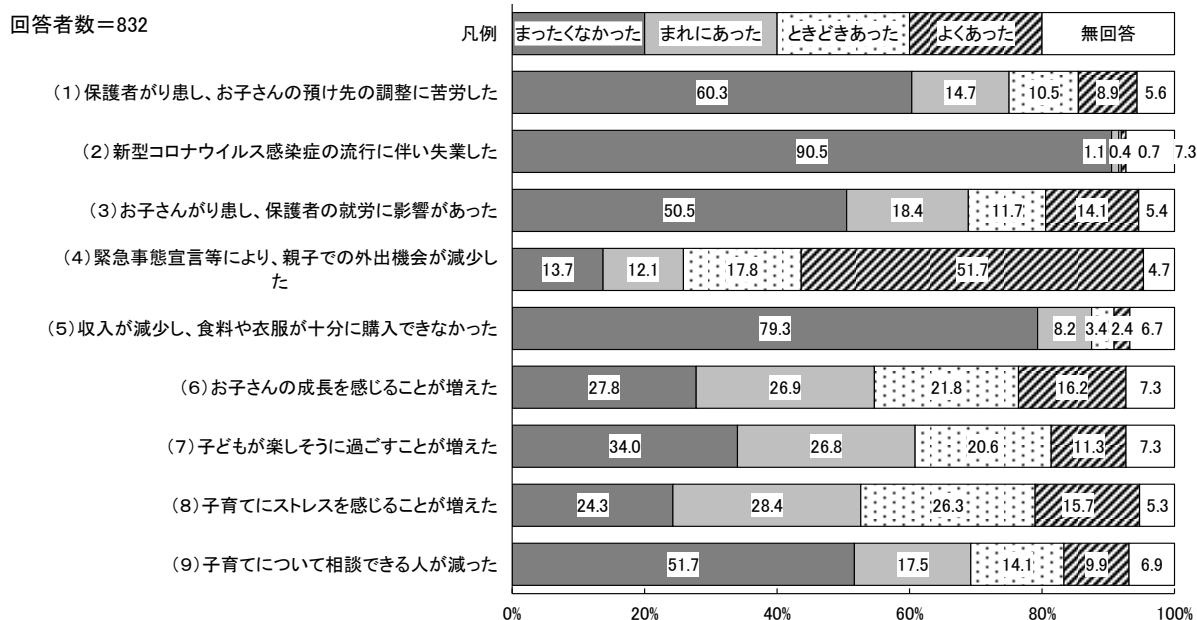
1 新型コロナウイルス感染症流行による子育てへの影響

新型コロナウイルス感染症流行による子育てへの影響はについて、「まれにあった」、「ときどきあった」、「よくあった」を合わせた『あった』の割合は、就学前児童保護者では、「(4)緊急事態宣言等により、親子での外出機会が減少した」の割合が81.6%と最も高く、次いで「(8)子育てにストレスを感じるが増えた」が70.4%、「(6)お子さんの成長を感じるが増えた」が64.9%、「(7)子どもが楽しそうに過ごすが増えた」が58.7%となっています。

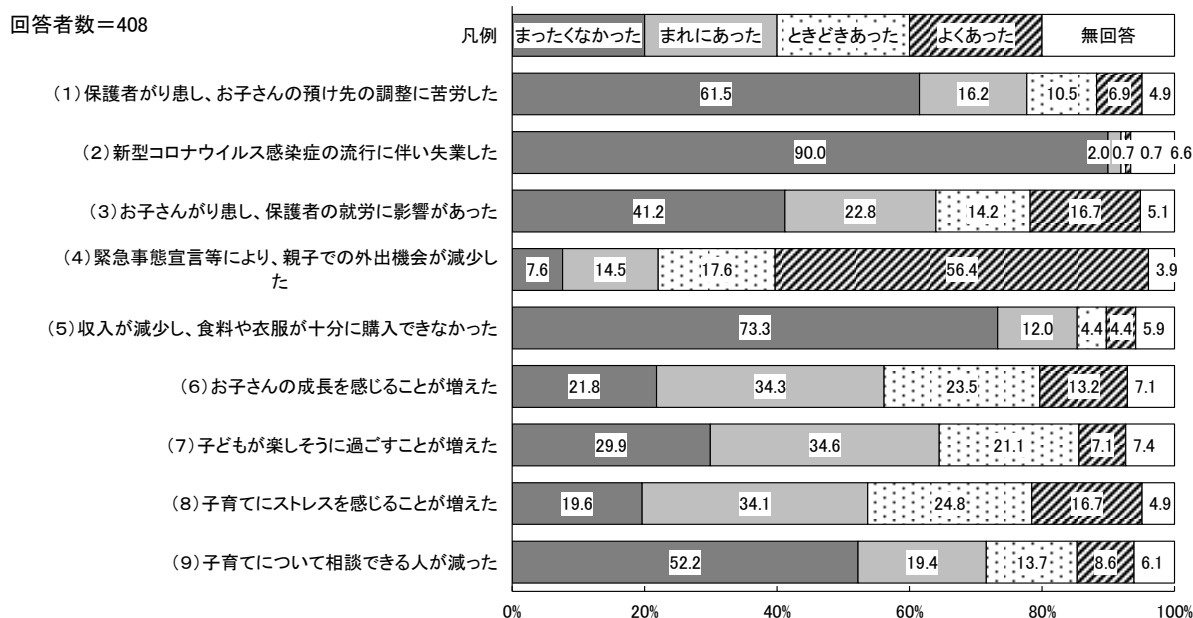
低学年保護者では、「(4)緊急事態宣言等により、親子での外出機会が減少した」の割合が88.5%と最も高く、次いで「(8)子育てにストレスを感じるが増えた」が75.6%、「(6)お子さんの成長を感じるが増えた」が71.0%、「(7)子どもが楽しそうに過ごすが増えた」が62.8%となっています。

【問 新型コロナウイルス感染症流行による子育てへの影響】

〔就学前児童保護者・問55〕



〔低学年保護者・問45〕



2 新型コロナウイルス感染症の流行による影響

【問 新型コロナウイルス感染症の流行による影響】

〔就学前児童保護者・問 56〕

○子どもの遊びや成長の機会等について

- ・ コロナが落ち着いた時期の出産だったこともあり、影響を大きく感じることはなかったものの、現在も保育士の方々はマスクを着用されているため、子どもへの影響が気になっています。
- ・ コロナが流行した時ちょうど生後 2 ヶ月だったため、最初の 1 年は、おじいちゃんおばあちゃん達とも会えなかったり会ってもマスク姿、ふれる事もあまりしてこなかったため、成長に不安がありました。元々の性格かもしれませんが人見知りが強いのもコロナの影響かと思いました。
- ・ コロナで保護者同士が会えなくなったことで、情報共有は出来てもリアルに交流できる場がなくなって、孤立感は、多少感じるが増えた。振り返って見て、休校した 2 ヶ月間(4 月、5 月)は、あれは正解だったのか？とギモンです。せめて、小 1 だけでも登校させて学校生活のスタートする大切なリズムをつかむための 4 月、5 月は、行かせても良かったのでは？と思います。他の学年が休校なら尚更、ソーシャルディスタンスは、保てたはずなのに…。
- ・ コロナ後に生まれたので、家族以外とふれあう機会がほぼないまま 3 歳になろうとしている。祖父母も遠方にいるためほとんど会っていない。影響はわからないが不安はある。
- ・ コロナにより外出が不安で赤ちゃんの時期に外へ連れ出す機会が減り健康に対する不安があった(くる病等)・公園等もあまり連れて行けなかった為のびのび遊ばせてあげられなかった
- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行により室内の遊び場に行く機会をなくした。感染がこわかったため。
- ・ 宛名の子が第一子。首がすわって、いよいよお出掛け、という頃にコロナ禍へ。外出を控え、アルコール消毒など除菌・殺菌を心掛ける日々を送りました。結果、場所見知りや人見知りがひどく家以外の場所へ慣れるのに時間がかかります。また、除菌の徹底により、育休中は一度も具合が悪くなることはなかったですが、幼稚園入園後は今までの取り戻すかのようによく体調を崩しました。必要な自然免疫を得る機会が遅かったなと感じました。
- ・ 公園に人がいっぱいだと遊ぶのを躊躇して、コロナ禍ではほとんど公園に行かなかった。運動不足だったり身体機能の発達が悪くなってないか心配に思った。
- ・ 子どもが産まれたときには既にコロナ禍だったので、子どもはマスク姿の大人ばかり見えています。保育園の先生方の素顔(マスクを外した姿)もほぼ子どもは見ることがありません。今後どのような影響があるかは漠然と不安です。
- ・ 人のいない公園を探していたコロナ期。人のいないところへ行っていたため、お兄ちゃんの頃とくらべて、あれもやってない。これもやってない。という事が多くあります。お友達と公園であそぶ事もなく、娘の 2~4 才の成長には遅れがみられます。人と接するたびに一段と成長していった長男を失っているため、人と交わりのうすかった下の子は、ぐんとのびた！と思う機会を得られませんでした。いとこの時間も少なく、娘のお友達や交友かんけいは、うすいです。もちろんママ友と呼べる友人もみつけられず、親ぞくとオンラインで話すにとどまり、娘かんけいのつながりも、長男の小さい頃のお友達とも関係がとぎれてしまったのは残念です。
- ・ 今は大分、というかほとんど元に戻ってきたが、小さい内に旅行や遠出の経験をしてあげられなかったのが心残り。(今でも小さいかもしれないが)コロナ禍での出産だったため、産後しばらくは外部と交流ができなかった。
- ・ マスクをする機会が多く、子供が大人の表情を気にする様子が見られる。
- ・ マスクをつけているのが当たり前環境で育ってきたので、顔が見えることに不思議な表情をすることがあった。良いことなのかもしれないが、お店に入る時には必ず手指消毒をする習慣があることにやや違和感や、子どもだから自然に触れ、感染症にかかりつつも免疫力を高めていくことが普通のように思っていたが、逆に過敏になりすぎているように感じる。
- ・ マスクを着用しなければならぬ期間があり、コミュニケーションする上で表情から相手の気持ちを察する力が育ちにくかったのではないかとと思うことがときどきある
- ・ マスク社会によって他人の顔が覚えられない、表情をよみとる力の欠乏少しの咳や鼻水でも他人と関わりにくくなった
- ・ マスク生活のため、発語や表情など発達に影響があると感じる。、病気の免疫をつくり時期なのに、マスクやアルコール除菌など過度な感染対策を子供に強いてしまった。バイキンへの異常な拒否反応を示したりす。スキンシップが少ないとか… 愛情表現が乏しくなってるような 病児の子が居るが、入院して面会も制限されていた

為発達が遅れがでてる。

- ・ 5類になるまでは、マスク必須、だったのにもかかわらず、5類になったとたん、マスク off の生活に、子供は戸惑う様子が多く見られました。
- ・ 学校でのマスクで、今現在でもマスクを外せない子がいる。給食もまだだまって食べさせているクラスも。子どもがまんさせずだと感じる。
- ・ 皆マスクをしているので、初めて会う人の顔や表情がはっきりわからない。人見知りになった・幼稚園に入園(2022～)してからしょっちゅう風邪やウィルス性の病気にかかった(入園前は、全くかぜをひかなかった)・知り合いができて、おうちにあそびに行ったり遠出ができなかったので、友だちをつくりにくかった
- ・ 公園等でも他の子供たちと気をつかいあいながら遊ぶ姿がかわいそうだった。マスクをせずにのびのび遊ばせてあげたかった。
- ・ 食事の際のパーティーなど、家族で食事をしていても壁があり、楽しくできなかった。マスクをしているので表情を伝えられなかった。
- ・ 実家が群馬と福島です。高れいのため行きにくいと思うことがあった。もっと祖父母と交流させたい。子育てに影響があるか不明だが、みんなマスクしてたので表情とか分かりにくいのはどうなんだろうと思ってた。子供からしたらみんなマスクしてて当り前の社会…
- ・ 生まれてからずっと周りの大人がマスクをしていたことはコミュニケーションにおいて悪い影響があったのではないかと感じる。
- ・ 人の少ない所で遊ばせることが多くなり、他の子との交流を避けるようになってた。過剰に健康に対して敏感になり、のびのび子育てできず息苦しかった。
- ・ 外でおもいきり体を動かし、自然を感じる機会が減った。・テーマパーク等へ行く事もむずかしいが行っても制限があり心からは楽しめなかった。・他人から話しかけてもらえる機会が減った(以前は地域の方から声かけしてもらっていた)・マスク、アルコールなど、必要ではあるが、不自由さも感じた。・子育てに関する行事、イベント、祭りなどがなくなった。
- ・ 1歳代までほとんど外出が出来なかったため、息子の発達に少なからず影響があったかもしれないと感じています
- ・ 2人目妊娠中だったので自分がかかると嫌だったのであまり外出せず、上の子が親がいないと遊ばなくなった。
- ・ イベントや発表会がなくなってしまったのが残念。もう2度とやりなおしのできないことなので。
- ・ とにかく元気に外で身体を動かす時間がへってしまったのはとても残念。
- ・ 歯磨きの指導を園でしてくれなくなり、習慣の定着に困った。
- ・ 一斉休校になった際、最後の方は体を思いっきり動かせない、友達との直接的なコミュニケーションが取れないなどのストレスからメンタルの調子が著しく悪くなりました。一時的に不登校になりました。自然に触れ合ったり、ストレスを軽減させる工夫をして登校することができるようになりましたが、親としてもとても不安でした。コロナ禍における子供のストレスについて、呼びかけなどがあったのか記憶にないのですが、行政のサポートとつながることができたから良かったかなと思います。
- ・ 外出機会が減り、その時期にしかできないことをあきらめた・できなかった
- ・ 学校や幼稚園が感染対策をとることで、のびのびと学習・保育することが難しかった。
- ・ 給食が黙食になってしまい楽しくたべる機会がうばわれた いろいろな行事が縮小したり、なくなったりした
- ・ 交流が少なかった。良いけいけんする所がうばわれた。
- ・ 公園で話しかけて良いのか、一緒に遊んで良いのか、遊具を貸して良いのかとコミュニケーションのとり方に迷う場面が多々あった。
- ・ 行事の縮小・減少
- ・ 祭りやイベントが減った。遊び場でもできることが限られた。
- ・ 子が人の顔を覚えるのに時間がかかった気がする。
- ・ 子どものやりたい、行きたい、といった興味関心について感染の不安から行動に移せなかった場面が多々あった。また、感染対策に重きを置くあまり、保育園や地域のイベントがなくなってしまい、子どもが落胆することが多かった。
- ・ 子どもの育ちがゆっくりな気がして、今も不安。
- ・ 子どもの健康や対人関係への影響があります。
- ・ 子どもの発達。第3子のため、発語などが遅めに感じる。人との関わりが極端に少なくなり、親(私)のコミュニケーション能力も下がった。
- ・ 子どもをつれて、外へでかけるきかいが、少しへった。子どもがマスクをつけるのをイヤがったこと、人が多いところ

へは行けなかった。

- ・ 子供が 10 人以上の大人数での遊びの経験が足りないと感じます。 ルールがあつてこそ楽しいゲーム(ドッジボール、ハンカチ落とし等)において、その醍醐味がわからないからか、ルールが守れなかったり、ルールを変えてつまらないゲームにしてしまったりするようです。 集団遊びでは、戦略性、空間把握能力、対人スキルなど沢山のことが体得できると思うので、学校生活の外でもそのようなチャンスを増やす取り組みがあると、良いと思います。
- ・ 子供が外で体を動かす機会が減った 他の子育て中のママさんと知り合うイベントが減った。
- ・ 子供の外出機会が激減し、幼児期における各種体験機会を損じた
- ・ 子供同士や親同士が関わる交流の機会が減った。 あまり得意ではない為、良いこともあったが、やはり子供の成長として考えた時、色んな接し方の学びの場は減ってしまったと思う。
- ・ 親以外の人と接することがほとんどなかった為とても人見知りになったと思います
- ・ 人との交流が減って子供がつまらなさそうだった
- ・ 虫歯が増えて
- ・ 保育園での行事が軒並み中止となり、保育園での子どもの成長やお友達との関わり合いを見ることができなかった。 クラスの保護者との交流が難しく、コミュニケーションをとることができなかった。
- ・ 保育園での行事が減ったこと
- ・ 保育園や地域のイベントが減ったこと。
- ・ 本人が元気にも関わらず家族の罹患により、行事参加や外出が制限されることが多々あった。
- ・ 友達を作る機会が少なかったので、他者との関わり方がちゃんとできるか心配だった。
- ・ 幼稚園行事の制限等で苦労した。
- ・ 様々な場所へ行けない、多くの人と触れ合う機会がない等、子供のコミュニケーション力や新しいことへ興味をもつ、挑戦する意識が低下している気がする。

○保育について

- ・ コロナにより、病児保育の受け入れが厳しくなった為、病児保育へ入れない事が多くなった。5 類に引き下げられたので、コロナ前と同じ受け入れ基準に戻してほしいです。またコロナ疾患の場合でも受け入れできるようになってほしいです。
- ・ コロナに罹患した際にも困りましたが、それよりも、コロナの流行り始めの際に登園自粛要請があり、その期間の就労と保育の調整が最も困難でした。 我が家はコロナの春に入所だったので、慣らし保育を含む登園が 2 ヶ月ずれこみ、母親は管理職のため復職期間を後ろにできず、父親が復職のタイミングでたまたまテレワークが開始されたので 2 ヶ月ほど在宅で面倒をみてくれました。 夫婦も距離が近くなりますので、特にコロナの後半は、子供に変化があったというよりも、夫婦で互いにイライラすることが増えた期間だったように思います。
- ・ コロナの影響で保育園は発熱解熱後 24 時間たないといつれていけなくなった。仕事を最低でも 2 日は休まないといけなくなり本当に困る。
- ・ コロナ流行初期に医療関係者以外は保育園で預かってくれず、一番手がかかる時期だったため、昼間仕事はかどらない分、夜間にまわさざるをえず、睡眠時間が確保できず大変だった。
- ・ 病児保育に預けることができなくなり困った。発熱外来が予約制、曜日制になったりして困った。コロナで母親が入院し、子どもの預け先に困った。
- ・ リモートワーク中に保育園が閉園し、仕事で ZOOM 会議をしながら子供 3 才の世話・相手をしなければならない状況が何週間も続いた。本当に仕事にならなかった。(お昼ごはんを休けい中に用意したり、会議中にトイレに行かせたりテレビを見せたり)
- ・ 5 類になっても未だに発熱→解熱後 24 時間経過しないとうちの保育園は登園できず、仕事の調整が苦労します。
- ・ 出産直後に緊急事態宣言等の状況になり、上の子(当時 5 才)があまり保育園に受け入れてもらえなかった。(産休中という理由で保育園に来ないように促された)
- ・ 通っている保育施設の感染症対策が甘いと感じる事があっても、通っているので言にくい。市から指摘してほしい。
- ・ 保育園行事や親が園での生活を目にする機会が減ってしまい、残念だった。2 人目出産後に上の子の保育園が休園期間があり、育児が大変だった。

○り患や医療機関の受診等について

- ・ 家族が 1 人でもコロナにかかる、誰も外出ができなかったため、買い物等に苦労した(ネットスーパーを利用)。ま

た、家族で集団感染したため、自分も体調が悪い中で子供のお世話をするのが大変だった。

- ・ 保護者もコロナ感染した際、体調が悪い中子育てするのが大変だった。
- ・ 子どもが発熱しても診察を断られ、結局みてもらえず家で様子を見るしかなかった。薬ももらえず苦しんでいても熱があるとことわられてしまうため、今後も不安である。子供も病気はコロナだけではないのに、コロナが陰性なら家で様子を見るように言われてしまうのは不安でしかたがない。
- ・ 両親が罹患してしまい、子を預ける選択肢はなかった。
- ・ 発熱した際に、病院が見てくれにくい、受診しにくい。
- ・ 発熱していたら受診できない。小児科の TEL がつながらなすぎる。他で受診したくても予約すらできない
- ・ 発熱外来の予約がなかなか取れない、とりづらく苦労している / 病院を探すのが大変 (計 6 件)
- ・ 熱がでた時、すぐにお医者さんに診て頂けない。どこも発熱外来は予約でいっぱい。
- ・ 家庭保育だったので私の家はさほど影響はなかったが、病院の発熱外来の予約が全然とれなかったのは困った。
- ・ 子どもの病児にすぐに病院にかかることができなかった。(発熱時)
- ・ 医療機関、特に小児科に受診するハードルが上がり、とても不便。受診の予約が取れない。
- ・ 子供が罹患した時に、診てもらえる医療機関を探すのが大変だった。かかりつけでは電話が繋がらず、初めての医療機関でようやく予約できた。
- ・ 親も子どもも感染し、頼れる人もおらず、病院も電話が繋がらず、絶望した。
- ・ 病院の診察を受けるまでに時間の制約をうけたこと。

○仕事への影響について

- ・ コロナで出勤停止となり、それ以外の理由で有休をとりにくく感じた。
- ・ リモート就労のできない職種家庭へのサポートがほしかった。
- ・ テレワークの定着で、夫が送り迎えなど柔軟に対応できるようになった。最初のころは、登園自粛と必ず出勤の間で苦労した。

○良かったことについて

- ・ コロナの流行により、会社でテレワークが出来るようになり、通勤時間が短縮できて、仕事の両立にゆとりがもてた。テレワークがなかったら、日々疲れ果ててたと思う。
- ・ 家族みんなで過ごす時間が十分にとれて、一緒に遊びを考えたり勉強をしたり、コロナでなければ過ごせない貴重な時間を過ごすことができたと思う。
- ・ リモートワークが普及して子育てが楽になった。通勤の頻度が減ったため、祖父母の近くに引越す事が出来た。
- ・ 感染防止の取り組みが盛んだったため、風邪などにもうつりにくかったのはよかった。在宅勤務が可能となり、父母ともに働き方が変わり、自宅に居られる時間が増えた。
- ・ 仕事が長期間休みになった期間は、子どもと過ごす事ができて(外には行けなかったが)良かった。
- ・ 突然赤ちゃんに触られることが少なくなって良かった。(こわかったので…)

○その他、全般について

- ・ コロナ禍で出産したため、前後の違いが比較できず、「まったくなかった」にしてありますが、コロナ禍で地元で出産し、その後国立に引越してきましたが、国立に限らず、産前後のイベントがほとんどなく、自身も外出をひかえがちで、周囲とつながりがもてなかったと思います。少し孤独を感じました。
- ・ コロナ禍の外出禁止の時は、6 人家族が 1 日中ずっと家の中に(マンション)缶づめ状態で、それぞれ仕事・リモート授業・フリーな未就学児を抱えてカオスだった。この時ばかりは、郊外の戸建を本気で探した。
- ・ コロナ流行中の出産で、コロナ以前の育児を経験していない。
- ・ 新型コロナにより、本当に辛い体験をしたがテレワークというチョイスが増えたので、長い目で見ると運が良かった。
- ・ 新型コロナの流行は妊娠中に起こってしまい、その時にあったはずのイベントがすべてなくなり、妊娠者同士の交流がなく、そのとき孤独を感じた。また、それにより現在も同世代の子どもの親との交流が薄くなっている気がしている。
- ・ 小 1 でコロナ、学校もお休み。大量の宿題も出て学校生活を経験したこともないのに、宿題をやらせるのが本当につらかった。知り合いもおらず、2020 年の 4 月 5 月は思いかえしてもつらい。
- ・ 産院で立会い出産が出来なかった。面会もできなかった。入院前にコロナにかかったら受け入れてもらえないという不安があった。
- ・ あそび場での他の人との関わりに気をつけて疲れしました。今もそれはそこまで変わってません。コロナとかカゼと

かにびんかんになってしまいました。

- ・ ちょうど保育園入園時期と、コロナ流行初期が重なった。 就労しても良いか悩んだり、子どもや親が感染したら、という不安が強かった。
- ・ 宛名の子どもの姉(現在 3 才)は、コロナが流行しはじめて、出産～退院まで、私 1 人だったことが少し心細かったです。立会い出産もできず、仕方のないことですが、そんなに経験できることではないので、残念だったと思う。でも、コロナだったからこそ、夫が在宅ワークになり、2 人で子どもを育てることができたと思う。悪いことばかりではなかったです。
- ・ 子に免疫疾患がありコロナによる重症化リスクが高いため、長期で幼稚園を登園自粛しなければならず、子の発達に悪影響が出た。又、感染リスクと登園を両てんびんにかけて親が判断していかなければならず、親のストレスが高くなった。
- ・ 外出や人とのふれ合いが減った。 コロナ禍が終わったあとも、かぜや体調不良になると外出していいか悩んだり、気をつかう。
- ・ 出産の立会、産後の面会がコロナ対策で出来なかった
- ・ 子どもが風邪の熱でも毎回コロナの検査をしないとつけなかつたり、結果が分かるまで、保育園、職場へ行くこと、家族以外に頼ることができずに、孤独を感じた。
- ・ 多胎児支援といえばファミリーサポートしかないのか？というくらいファミサポをすすめられたが、コロナ禍で他人を入れようとは思えなかった。
- ・ 第一子は 2020 年でコロナが流行り始めた時に出産したので、ほぼ全てのイベントや交流の場が中止になった。引越してきたばかりということもあり、市の情報も少なく、イベントや交流の場がいつから再開したのかもわからず、出遅れたなという印象だった。公園でもこのご時世、あまり話しかけたりもできず、孤独を感じていた。
- ・ 祖父母に預けようにも、コロナだったら…と考え、誰にも頼れなかった。
- ・ 妊娠中から段々コロナが流行していき、必要物質(マスク、オムツ、ガーゼ)が不足したり、罹患して産まれそうになったら受入拒否等のニュースで不安な妊娠生活だった。そういった妊娠生活から産後も神経質になってしまった。
- ・ 病児保育が利用しづらくなった。また、利用できてもコロナ検査が必須になり、子供がそれを嫌がるので少し困っている。
- ・ 保育園でのインフルエンザや、コロナ感染が子どもを介して、新生児に移らないか心配。
- ・ 問 42 につながるが、コロナで外出できず、ピアノを少し弾いた日から通報が始まり、コロナ禍では、ただでさえ外に出れないのに、通報におびえ庭にも出れず、子供にも大声を出さない様制しつけ、本当に辛い日常だった。
- ・ 問 51 でも記入したとおり、コロナ禍での妊娠・出産だったため色々なことが通常とは異なり、人との関わりがとて減った。その生活に慣れてしまうと“コロナ前の子育て”を知らないのでは人との接し方などは悩むことが多々あった。
- ・ 保育園内の集団感染が怖い。親がコロナなら子は休ませてほしい。
- ・ 家族全員感染となった際、頼れる両親が居ない身としては自分たちで何とかしなくてはいけなくて本当にしんどかった。 インフルエンザ等でも同じことが考えられるので両親ともに疾患した時どう対策すれば良いのか分からずとほうにくれます。
- ・ マスクの影響？で表現がかたい。休園となることも多く、家で子育てをするも、外出もできず、家の中で煮つまることも多かった。
- ・ マスク着用の機会が増え表情が見えない分、お互いに感情を読み取りにくくコミュニケーションが難しかった。 一時は外出も控えていて親より子供達のストレスが感じられた。
- ・ マスク着用やワクチン接種などで、保健機関、教育機関、他の家庭との分断を感じる機会があった。公園や公共の場で、子連れの場合、対応に苦慮する時が多かった。
- ・ ・小さな子どももマスクをするようになりましたが、夏でもいまだにしている子がいて息苦しくないのかと心配になります。一方で、未だに子どもが咳や鼻水をすると周囲から冷たい目でみられている感じがして、マスクをつけさせたくなる親のきもちも分かります。6 歳以下は、基本マスクは不要！などと改めて周知してほしいです。・保育園でも先生も親もずっとマスクで、子どもにとってそれがあたり前になったのが少し残念でした(表情がわからないので)
- ・ 行事が無くなり、マスクで誰が誰だかわからない(素の顔を知らない)ままの方も多かった。集合写真を見てもわからなかった。発熱外来の予約が取れない。
- ・ 保育士さんがマスクをしていたため、 いざ外した際に顔がわからず困惑した。 どこに行くにもマスク、マスクで、小さくてマスクを嫌がる頃は 出かけにくかった。
- ・ マスク生活が長く、外せない時もあり成長に不安を感じた。 色々制限があり、コロナ前にあたり前に出来た体験が

できなかつた。

- ・ 今回の感染対策で分かったことは、マスク着用とアルコール消毒はメリットよりもデメリットが大きいことがわかった。特に乳幼児、小学生へのデメリットが大きいことがわかった。大人と同じ感覚で強制しないでほしい。いろんな考え方があるので、みんな一緒！はいい加減やめてほしい。従来通り、換気、手洗い、うがい、十分な睡眠と食事、活発な体力で十分だと思います。
- ・ 公園や遊べる施設に行っても、マスクしてたり、マスクを外してると近づかない、話さないなど、友達や近所の子と話したり触れる事がなかった。保育園のイベントや保護者会も中止になって、ママ友や友達もできなかつた。
- ・ 窓を開放していたので、小さい子供なのに花粉症になってしまった。会社がテレワークになったので、子どもと朝ギリギリまで相手できるようになった(夫)
- ・ 後述をはじめとする環境変化により子育て環境含め生活が激変した。 ・勤務体系(入社→テレワーク) ・自宅転居(品川区→国立市) ・親族・友人との交流の機会の消失
- ・ 外出・学校・保育園自粛になった時は、マンション住まい 6 人家族で 1 日中家に缶づめ状態で仕事・リモート授業・保育園児が暴れる状況で辛かつた。
- ・ 流行後の出産だったため、病院や市の対面での支援(パパママ学級や出産サポート)がなくなり、オンライン等になりました。そのため、人とのつながりが、つくりにくくなった感じがしました。
- ・ ・発熱外来が当たり前になり、病院の予約が取りづらくなった。 ・保育園に預けづらくなった(ちょっとした風邪でも) ・外出が減り、運動不足になった(親子共に) ・コロナが 5 類になり、今までウイルスにふれることが少なく、例年以上に風邪、発熱が増えた。仕事を月の 1/3 は休んでいる。両立も厳しいし、看病も大変だ。
- ・ 子供同士で遊ぶ機会が減ってしまった。 り患した際、子供の食事の用意が大変だった。
- ・ 初めての緊急事態宣言時、他の自治体よりも休園にする等の対策の発表が遅く、とても困った。 初期対応は遅かつたが、0 歳児の育休延長措置の打ち切りだけは早く不安のなか復帰しなければならず不満が残った。
- ・ 公園など公共スペースでの交流が減り、親子間での触れ合いしか出来なかつた。 →お友だち作りが出来なかつた。
- ・ 赤ちゃん広場など、歩けない時期だが室内には行けず、交流が断たれ、横のつながりがなかつた。 ・同年代の子とあまり交流できず！こどももかわいそうだな、と感じた。(公園でも気を使うこともあつた) 皆大変だったと思います。
- ・ 無意識のうちにコミュニケーションに遠慮があつた。(ヒマツがとばないように会話をさける、子どもと触れ合わない等)
- ・ ①子が体調不良の時に病院の予約が取りづらい②買い物や人が集まる所へ出かける際、時間帯をずらしたり、見守りと用事を分担して行ったり、ネットを利用したりした③子が親から離れて、園や習い事で活動している時、感染症対策や様子に敏感になったこと
- ・ イベントごとの中止や規模の縮小怯えての生活はストレスが多い
- ・ オリンピックが無観客になったように、親子で何かを見たり参加したりの機会は減っていたと思います。
- ・ 知人との交流が少なくなり、子育てについて話せる相手・機会が減った
- ・ 育休中に孤立した気持ちに何度もなつた。
- ・ 遠方の祖父母にこどもを会わせることができず、母としても祖父母に頼ることができなかつたため辛かつた。
- ・ 家の中にいることが増えてやや太つた
- ・ 家の中にももっており、誰とも話したり相談することができずにストレスをかんだ
- ・ 外で遊べなかつた為、体力がおちた。体の動ごかし方がにぶなつた。親同士のつながりがなくなつた。地域への参加の機会が減つた。
- ・ 外出、人に会う機会が少なかつたので、子供が健康に育つた。3歳だが 2 回しか体調を崩したことがない。通常、子供がかかるような流行り病には罹らず育つてきたので今後幼稚園に入り様々な病気になつたとき母親の私の対応スキルがないのが心配。子供の免疫力も実際どの程度あるのか不明。
- ・ 外出する機会や時間が減つたことにより、子どもの体力も落ちたように感じる。小児科が発熱外来制になつた為、発熱での受診がとてもしにくくなつた。朝から電話し続けてもつながらず、その日のうちに受診できない事も多かつた。常に空きのある小児科を転々とせざるを得ないため、かかりつけを作れない。(市の健診でかかりつけを作れと言われるのは納得がいかない) だったらいつでもかかれる小児科を作してほしい。市でそういう小児科を用意すればいい。
- ・ 外出する機会や時間が減つたことにより、子どもの体力も落ちたように感じる。小児科が発熱外来制度をとりはじめた為、発熱での受診がとてもしにくくなり、最悪その日に受診ができない事もあつた。常に空きがある小児科を転々とするため、かかりつけを作る事ができない。ワクチンの予約が取りづらい。
- ・ 外出できない時期は本当に大変でした。デリバリー等を活用し乗り切りましたが、子ども、親、ともに体力筋力が低

下したと感じました。

- ・ 外出の機会が減り子ども(上の子)が人見知り激しい
- ・ 外出をひかえたり、母親学級の開催がない、産後の乳幼児の遊び場も開放がなかったり、開放されても予約制で 1～2組のみ利用と制限が多かったため、産後に同じくらいの年齢の子どもをもつ方との交流が一切なかった。
- ・ 感染したとき、うちサボ、又、病院とのやりとりが、電話しかなく、特に夜間は困り大変でした。せめて、聴覚障がい者のみ、特別にラインなどでスムーズにやりとりできる体制があればと思った。
- ・ 帰省したいのにしにくい、帰省するためには絶対に感染させちゃだめだとプレッシャーが大きく、ピリピリしていた。外出先の物に不用意に触れないよう“あ！ダメ！汚いよ！”等とよく言っていた気がするため、少し臆病になってしまったかもしれない。
- ・ 義姉が亡くなり、残されたおいつ子のサポートに通っています。自分の子育てをしながらのサポート(働きながら)はけっこう大変です。おいつ子の住む自治体は、ファミリーサポート制度が名ばかりで、都内でもサポート体制の差を感じます。すべての市町村でサポートが充実するといいですね。
- ・ 休園中、母親の負担が限界を超えて、ストレスによる症状が多発。それは関係なく異常に働くしかない。(父親はストレスフリー 自由) 朝 7 時～深夜 1 時まで子供の世話(ねない子だったので)、家事、家庭内の雑務 1 時～4 時 睡眠(子供が心配なので、浅い眠りで、ときどき呼吸かくにん)←勤務中も 5 時～7 時 在宅勤務(会社が 1 日 2 時間でも成果を出せば OK と、対応してくれた) 1 日 2 時間で通常以上の成果を出すため必死
- ・ 緊急事たい宣言(1 回目)の時はスーパーに行く時以外ずっと子供と家にいたので(育休中で)本当にストレスがあった。自殺する人がいたのがよく分かる。
- ・ 市外の施設が利用できなく不便だった(立川こどもセンターetc)
- ・ 自由に出かけることができなくて、ストレスが多くなった。
- ・ 出産児の制限がつかった。
- ・ 順番に感染し、仕事休みが長くなり習い事の支払いがきつく感じた。(習い事も休んでお金を払うはめになる) 子の気持ちが行きたい時に休み、行きたくないときに行かせる、気持ちのコントロールが大変だった。
- ・ 親がストレスでダウンした
- ・ 人がたくさんいる場所へ行くことをひかえた。
- ・ 清潔・不潔にかなり過敏になった。人ごみに行く機会がへった。
- ・ 多感な時期に、できたはずの行事に参加できなかったり、親どうしのコミュニケーションがとりづらかったり、得になることがほとんどなかったと思います。
- ・ 当時保育園(産休中)だったが、保育園を 3 ヶ月休んでもフォローがなく(自由登園だから)公園も行くことができず孤立感を深めていました。閉じこもらざるを得ない状況下は孤立感を強めるため、電話など少しでも外部からの働きかけがあると救われると感じました。
- ・ 日常、子連れでの買い物、周りからの目が冷たいように感じて辛かったです。年齢が小さく、未就園児 2 人を家に置いておくことはできないので、仕方なく一緒に連れて行きました。お店でのポスターに「最小限の人数で来てください」を至るところで見たり、館内放送で聞いたりしました。心の中ではわかってるけど、子供が小さいから一緒に連れて行くのはしょうがないと思わなきゃいけないのが辛かったです。ネットニュースを見ても、子連れでの買い物は、周りからもよくは思われない風潮だったように思いました。
- ・ 入院時の面会時間が 3 時間とみじかい
- ・ 濃厚接触者になり、外出ができず食糧調達に苦戦しました。その後、自分も陽性になりましたが、無症状だったので、子育てに影響はありませんでした。
- ・ 保育園での行事や交流会がなくなり、上の子の時と比べて保護者同士のつながりが希薄になった。
- ・ 保育園や学校で保護者同士の交流が少なくなってしまった。
- ・ 保護者がり患し、症状が重い時には、おむつかえや入浴、食事也十分に準備できず、ネグレクトに近い状況におちいってしまったのが、つらかったし、子供にかわいそうなことをしました。
- ・ 立ち合い出産ができなかった。
- ・ 立会い出産ができなかった。子供の月齢会の集まりができなかった。児童館で飲食できず、お弁当を持っていけなかった。
- ・ 両親学級が行われなかったり、出産時も面会謝絶、出産後も外出制限があったりと、母親自身が初めての子育てに不安を感じたり、孤独を感じていた面は多少あった。赤ちゃん以外の人と話したい、接したいと思った時はあった。
- ・ 2022 年生まれのため影響なし

- ・ ある程度落ちついたところで子供が生まれたので、選択肢の項目やそれ以外も含めて、あまり影響は受けていない。
- ・ 子どもが散歩できるようになった月齢の頃には、ある程度感染状況はおちついていたので、特段影響は感じませんでした。
- ・ 特になし（計7件）

〔低学年小学生保護者・問46〕

○子どもの様子について

- ・ コロナ前と比べて、食事中ボーと無表情で食べるが多くなった。成長の過程なのかと見守っていたが、どうやら学校での黙食からクセがついてしまったのだそうで本人がそう言っていた。家庭ではなるべく家族そろって会話を楽しみながら食事をするようにしています。
- ・ 小学校でマスク生活を強要され、顔がかぶれた。また、コロナ後、外すのに抵抗が出てしまった。
- ・ マスクのせい、先生や友達の名前を覚えるのが遅かった。未だにマスクの人は、あまり覚えていない。
- ・ マスクの影響。高学年の子どもは顔を見せることに抵抗がうまれていた。また喘息の子どもには酸素不足になりやすい。逆に免疫力が下がり風邪を引きやすくなると感じている。
- ・ マスクをはずさないで子供がきゅうくつそうだった。顔をみれないので親子共々、お顔を覚えられなかった。
- ・ マスクを外してもよいと宣言があったが、それでもマスクを外さない子がいる。感染というよりも安心感？
- ・ マスク生活で、子供が不自由に感じていたと思います。
- ・ 一時、子どもがマスクをはずせなくなったこと。
- ・ 子供がマスクをはずすのに苦労した。
- ・ 子どもが家にいることが増えた
- ・ 子どもがストレスを感じる事が増えた。(休むと親の就労に迷惑がかかる為)
- ・ 子どもが家で過ごす時間が増えて外で遊びたがった。(今は制限をしていないため問題なし)
- ・ 体力がおちた。遠出(電車)できなくなった。家にいたい(両親いるから)と思い、学童、保育園に行きたがらなくなった。生活リズムが毎日ずれないよう頑張るのが辛かった。頑張れなくなって、ストレス(おたがい)よくたまった。
- ・ 世間の雰囲気を感じとり子供がナーバスになった。

○子どもの遊びや成長の機会等について

- ・ 親戚、友人の家に遊びに行く機会が減り、誰かの家にお邪魔して、家庭以外の家庭の雰囲気やルールなどを知る、みんなで賑やかに過ごす、などの経験ができなかった。コロナ禍での過ごし方は家庭によって考え方の違いがあり、友達を誘って出かける、遊ぶ、などをしづらかった。特定の人とはできた。人間関係に距離があり、子どもは、こういうものだと思っているかもしれないがそうではない。取り戻したい。
- ・ 中学生だった上の子のことですが、中学3年間コロナで学校生活がつまらなかつたようです。学校では行事が縮小され、学校外で参加できるイベントも少なく、友達同士で遊びに行くのも憚られ、成長の機会を奪われたと思います。
- ・ 幼稚園の登降園時に保護者間の情報交換の機会や子ども同士遊べる機会や場所が減り、また、子ども自身も幼稚園や小学校へ行く事への恐怖感からの行き渋りが生じ、親子共に他者との交流機会や精神的・身体的健康への影響にマイナスに作用している部分は多く感じました。現在新型コロナウイルス対策が世間的に解除された後、新型コロナウイルス以外の感染症(主に風邪)に頻繁に罹るようになり、それによる健康状態の不安定さや、子の学習機会の減少が起きており、まだ新型コロナウイルス登場前程度の落ち着きに戻るには時間がかかるだろうことに不安を感じています。
- ・ 通っていた幼稚園が行事ごとを次々と辞め子供に体験させてあげられなかったことがたくさんあった。コロナだけが理由だったのか…そういった判断に対してどこか園以外の第三者的機関に相談したかった。が分からなかった。
- ・ 子どもの成長・発達への悪影響 保育園、幼稚園での流行による就労への影響。子どもの濃厚接触者診断による就労への影響が大きかった。
- ・ マスクの影響で表情をよみとる力が年齢よりあまりない気がする。
- ・ マスク生活をして、上の子よりも下の子は外遊びをする機会が減ってしまったので、運動量が少なく、体力面が心配です。
- ・ イベントが減ってしまったため、経験できなかったことが多数あった。「無かった」ということしか経験していないので

比較することはできないけれど、残念そうにしている。(遠足、お泊会など)

- ・ イベントや行事の中止による不都合さ、行事を通して得られる達成感やクラスで協力する心の喪失、音楽、体育ができないことによるスキル低下、体力低下が顕著にあらわれた。
- ・ 地域の祭りやイベントの減少、縮小が残念 幼稚園や学校でも規模が縮小している。
- ・ 夏祭りなどがなくなってしまったので寂しがっていました。今年は少しずつお祭りなども開催され、良かったと思います。
- ・ 入園式や行事に様々な制限があったこと。月齢会が開催できなくなり自然に消滅。
- ・ 幼稚園や学校の行事を減らすことが正しいという風潮だったので、疑問を持ちました。今のこの年齢だからこそ、経験して感じることや学べることがあるはずなのに、子どもの学びを止めてしまうのはどうかと悩みました。子どもの学びと、感染対策のバランスをとることを、もう少し慎重に考えるべきだと思いました。
- ・ 学校行事が少なかった。保育園も卒園時の先生へのお礼をする謝恩会ができなかったり、保護者同士の関わりも減った。
- ・ 行事などがなくなり、集団活動の経験の減少。また、保護者参観等もできず、学校や保育園での子どもの様子を知る機会が減った。
- ・ 園や学校の行事が減って親子ともに楽しめなかった。
- ・ 保育圏での行事の減少。お泊り保育がなくなり、経験を1つ逃した事。
- ・ ・祖父母に会いに行けなかった。・遠くに住む友人に会いに行けなかった。
- ・ ・様々な体験をする機会が減った。・先生方がマスクをしていて口元が見えない時期が長く声の発生に少し問題を感じた。特定の言葉の発音が直らなかった。→小学校入学後徐々に直していった。大人がマスクでなければ違ったのかな？と思ったりしました。
- ・ それぞれの家庭や、親(特に母親)の考え方、感じ方、こだわりの違いにより、子どもが友だちと遊んだり、交流できる機会が減ったり、ストレスが増えた。→消毒をどれくらいの頻度するかや、使用したいトイレの違いなどで、相手に合わせていたため、子どもがストレスを感じていたことを、あとで知った。
- ・ 家にいる時間が増えたため、身体能力が低下したとは感じます。(外に出られなかったため、外で遊ぶ習慣が減ってしまった)
- ・ 外出できず運動時間がなくなり太っていった。
- ・ 外遊びの機会は増えたけども、アミューズメント共で病気をもらってもやだった。しかし、専門的にスポーツを学ぶ時を失った。室内にいれば、タブレットをして目に悪く、外で2時間日光に当たれと言ってもおもしろくなければ外に出ない子供。体を動かすためにわざわざ習うための時間と習うための費用が必要となると面倒に思いました。
- ・ 学習の遅れや運動不足
- ・ 勉強に遅れが出た。図書館も利用できず困った。こどもがテレビやネットばかり見て視力が低下した。
- ・ 感染したり、させたりを防ぐ為、室内でお友達と遊ぶ事を禁じていた。外遊びだけ可にしていたので、お友達と遊ぶ機会が減ったかもしれない
- ・ 急な学校や幼稚園の閉鎖で仕事を休まなくてはならず、とても大変でした。行事が通常通りでなく、経験できない子がいてかわいそうだったです。親も1人しか参加できないなど、制限があり、卒園式や入学式など見られなくて残念でした。子どもがあきらめていて、それもかわいそうでした。
- ・ 今後も同様のことが発生し、将来がより不確実性を増したことを実感した。これに伴い、子供が成長する未来がどのような世界であるか不安に思うことがあった。
- ・ 子どもが外で遊ぶ機会が減った。
- ・ 子ども体力低下。
- ・ 子供の運動不足が心配だった。
- ・ 子ども同士、親同士の関わりについて、良くも悪くも影響があったと思います。また先生と家庭のつながりも少なくなったと思います。小さいうちにみんなで何かをするということが心の成長に大切だと実感しました。
- ・ 子ども同士の交流の機会がへった。
- ・ 子供が外で遊ぶ機会・時間が減った。
- ・ 室内で遊ぶことが増え、それが習慣になりつつある。(計2件)
- ・ 実家への帰省を控えたりなど遠出をほとんどしなかったので子どもたちにいろいろな景色を見せてあげられなかった。
- ・ 友だちとのコミュニケーションの減少、運動不足、マスクを外して生活するようになってから体調不良が増えた。

- ・ 友だち付き合いがしにくかったので、もっと気楽に公園で遊んだり、自宅に行き来したかった。
- ・ 友人家族と集まる機会が減った

○り患や医療機関の受診等について

- ・ 子どもが少しの熱で小学生高学年以上だと留守番できるでしょという風潮があったが、コロナ禍で発熱の家族がいる場合は出勤できなくなり、寄り添って休んであげられた事は良かった 兄弟誰か発熱での受診時の対応が、ひとり親だとどうにもならない(兄弟を病院に連れていけないけど、一人置いていけない等)ことはあった
- ・ 子供も親もコロナに感染したと思い、子供の呼吸が苦しそうだったので救急車を呼び、診療可能な病院を探し、診てもらったところ、検査もしないで、風邪だと診断された。そんなことはないので、検査して下さいと懇願したが、してもらえなかった。帰りのタクシーの中で、熱性けいれんを起こし、完全に意識を息子が失ったので、半狂乱で病院に引き返し、泣き叫びながら、子供を助けて！と言ったら、医師や看護師らしき人達が 30~40 人出て来た。その後 ICU へ入り検査したらコロナ陽性で入院 その時に病院も行政も何をやっているんだと、心から憤りを感じた 安心して住めないと感じました。
- ・ 予防注射のため、コロナとインフルと毎年毎回つれて受診するのがつらい。(時間も予算も肉体的にもとにかくつらい)
- ・ 小児病院が予約制で当日診療してもらえなかった。タクシーもコロナだと乗せてもらえないので、子供を病院につれて行く際の移動手段に困った。
- ・ ぜん息の持病があり、それで園を休む度に、先生から PCR 検査を強制された。発熱外来でうつらないか心配だった。ちなみに、家族でコロナに感染した者は今現在いない。新宿の園では強制されなかったので驚いた。病院で PCR をうけたいと伝えると、検査内容は医師が判断すると言われ、PCR はうけれなかった。アレルギーや持病について連携されていないのかと不安になった。
- ・ 病院が発熱などの症状が有る時の受診枠が非常に狭まってしまい、困るようになった。1日のうちの数時間のみ発熱外来となり、朝から1時間電話を掛け続けてようやく夕方の一枠が取れたり、など。受診したくても出来ない状況がコロナ以降続いていて、ここの部分は本当に困っている
- ・ 発熱外来の予約がとりづらく、発熱外来があるために発熱時の「予約がとれるか？」という心配が常につきまとった。「発熱外来」の枠はなくしてほしい。

○学校生活について

- ・ コロナでせっかくオンラインが出来始めたのに、また通常に戻ってしまったこと、コロナで得た術を持続してほしい、欠席した時 etc ・オンラインの力量が先生によって差があったこと
- ・ コロナ禍になり学校の先生も対応が大変であったでしょうが、先生のイライラを子ども達にぶつけられることがあり、学校がたまらなく嫌になったおかげで不登校になった。その後の学校側の対応にも不信感を持ち、何か聞けば国立市ではこうしているとのことを言われたので、国立市の考え？方針？をどこに確認したら良いかわからず何かと「国立市では」ということを学校側から言われたので、なんとも不自由な市だと感じた。
- ・ 五類移行前は、小学校側もオンライン授業への取り組みが見えたと思うが、最近ほとんど聞かない。コロナやインフルで解熱したが登校できない場合は、せめてオンラインで授業を受けられればよいと思う。例えば、そのようなときに自分で進められるような学習サイトや教材などを提供してもらえるとありがたい。教育用のアカウントで接続する想定。
- ・ オンラインで授業に参加したり、学校生活のためにアプリを使うことが増えた。
- ・ 全ての風邪症状、ひいては家族の風邪だけでも登校不可となったことは就業(親)就学(子)として大変負担に感じました。(緊急事態、2類下ではありますが)オンライン学習の拡充など、土台を今後に向けて整備していければと存じます
- ・ 保育内容や授業など

○仕事への影響について

- ・ 緊急事態宣言中も仕事は変わらずあったのだが、学童で土曜保育を遠回しに遠慮するよう言われることが続き、出勤日を減らすことになった。(収入はわずかに減少した)母子で触れ合う機会は増えたが仕事への影響が出たことでのストレスは増えた。
- ・ 収入が減り大変だった。

○良かったことについて

- ・ コロナで夫がリモートワークになりましたので、それまではどうしても朝、帰宅後、週末しか参加できなかった育事に全面的に関わることができるようになりました。母である私自身も子どもと一対一でずっといるより心持ちがかなり楽になった3年でした。育事はより多くの方が助け合えると良いと感じます。
- ・ 緊急事態宣言下で、子どもと過ごす時間が増えました。子どもと接する時間の中で子どもをより深く知ることができ、大変な時期ではありましたが、振りかえれば、貴重な時間だったと感じています。
- ・ 夫の勤務について、週の半分以上が在宅勤務になり(現在も継続)、子供が病気等で学校を休む時に夫に対応してもらうようになった。それまでは、病児保育を確保するのが本当に苦労だった。
- ・ たまたま長男が不登校だった時と重なったため、学校の休業明けに合わせて、うまく復帰することができた。
- ・ まとまった休みが多くて楽しかった。
- ・ 在宅勤務の環境が定着して良かった
- ・ 在宅勤務の選択肢が増えたことが良かった。手洗いをていねいにさせる家が増えた。
- ・ 手洗い・うがいの習慣が増えた。

○その他、全般について

- ・ 休校になり、給食もなかったため、毎日の食事用意が大変だった。コロナ時以外でも、子供の夏休み等の長期休暇の昼食が負担。給食の代わりにする支援が何かあると助かる。
- ・ 新型コロナが5類に引き下がった以降も病児保育室の利用ができず、困りました。緊急事態宣言で外出出来ず食生活も乱れ子どもの虫歯が増えてしまった。
- ・ 単純にコロナでの保育園閉園の時代がただ辛かったです。妊娠中+仕事の引きつぎ(在宅勤務)+3~4才児の保育でただただしんどかったです。もうない事を願います。
- ・ 保育園後半、丸三年コロナ禍により、行事の思い出がほとんどない。みんなマスク姿で表情をよみとることが難しく、成長に悪影響がないことを祈る。お友達や、集いに気軽に参加できなくなり、家の中で過ごすことが多くなった。体力や筋力の低下、人とのコミュニケーション力の低下が不安である。親も倒れるわけにはいかず、精神をすりへらして仕事していた。
- ・ 我が家は医療機関で働いているため、祖父母や友だちと会うのをやめたり、旅行にも行きませんでした。今年度に入りようやくまた再開しました。コロナだけでなく、インフルエンザや風邪等で休むとあつという間に欠勤が続き、収入が減ってしまい余裕が持てません。こどもたちにも悪影響で申し訳なく思います。
- ・ マスクに関する制限などから、多様性の受け入れについて話をしたりした。
- ・ マスクの重要性を知りました。かからなくて良い病気にかかって後遺症を心配するより、適宜マスクを使うようにしたい。
- ・ マスク着用の程度やワクチンに関する考え方、密になることへの抵抗など、いろいろなことに気を遣い、子どもも大人も神経質になった。マスクをずっとつけている先生、保育者、友だちの中で過ごすことが子どもにとって良いわけがない、とずっと憤りを感じていた。
- ・ 公立保育園の子はみんなマスクをせず、幼稚園の子はみんなマスクをしていて、何だか変だなーと思った。保育園は小さい子がいるからだろうけど、4、5才ならマスクできるのでは。と思った。
- ・ 外出や登下校の判断基準が難しかった
- ・ 感染対策についての価値観の違い。子ども自身にマスクの着用など自己判断させることになったが、友達との価値観を教えるのが難しい。
- ・ 経済的
- ・ 国立市は親族がいる人がほとんどと感じた 何かの時には自分が休んで対応し休職するしかなかった。とくにファミリーサポートはうまく稼働しておらず、シルバー人材をたよった
- ・ 在宅ワークや子供が家で過ごす時間が増え広い間取りの必要性を感じた
- ・ 子供達が全員家にいたので、電気・ガス・水道代が高かった。食費がかかった。子供達もストレスがあった。
- ・ 児童館・公園利用が減り、電子機器の利用が極めて増えた。同じ幼稚園の子が、学校におらず、親の連絡先を知らないの、会えなかったら、次の日学校に行くまでなぜかが分からない。病院に連れていくとき、少しこわいなあとと思う。あまり、積極的に行きたくない。単なる熱でもコロナ、インフルの検査、面倒。翌日には下がるし、小さい頃は熱出たり下がったりなんてしょっちゅうだし、マスクせずに咳したら人目がきになったりする自分がある。子供はもっとそんな感じなのかと思う。
- ・ 周囲が咳に敏感になったので、ぜんそくの咳がでる時が困る。←上の子で、このアンケートの子ではないです。咳してると休んだ方がいいよと言われるコトがあり、ぜんそくはうつらないと先生に説明して頂いたり、お友達にぜんそ

く持ちだということを知らせないといけない。オンライン授業ができるようになってありがたい。子供の PC 使用が進み、利便性、知識の向上とともに、使用ルール等の指導、約束事が増えたとし、注意して見ていないといけない

- ・ 保護者会など学校へ行く事、同じクラスの親と顔を合わせる機会がなく保護者も子供の顔もよく分からなかった。親どうしのつながりがうすい。子供から友だちの名前をきいても誰かよくわからない。
- ・ 母子で感染後、子どもは原因不明の高熱・発疹(全身)で 1 週間入院しました。個室に入り、面会もできず、不安がつのりました。それまで注射や採血など全く平気でしたが、入院を経験し、注射、採血が恐怖になったようです。予防接種では大さわぎになってしまいました…入院中、採血があったようですが、発疹がひどく、なかなか血がとれなかったようです。
- ・ 幼稚園に入園した時に緊急事態宣言下だったので、保護者同士の交流が3年間ほぼなく、情報交換が出来なかった。
- ・ 幼稚園の休園や分散登園による教育時間の大幅な短縮が長期にわたり続きました。登園条件も不必要に厳しくなり、教育からは締め出され、家庭にすべてがかかっているように感じました。
- ・ 特になし (計 5 件)

第15章 子どもの権利

1 子どもの権利の認知度

子どもの権利の認知度は、就学前児童保護者では、「知っている」と「少しでも知っている」を合わせて『内容を知っている』の割合が 58.9%となっています。

低学年保護者では、『内容を知っている』の割合が 56.4%となっています。

【問 子どもの権利の認知度】

〔就学前児童保護者・問 57〕

回答者数=832	割合 (%)
知っている	39.9%
少しでも知っている	19.0%
条約の名前だけ知っている	18.0%
知らない	20.3%
無回答	2.8%

〔低学年保護者・問 47〕

回答者数=408	割合 (%)
知っている	34.6%
少しでも知っている	21.8%
条約の名前だけ知っている	16.9%
知らない	23.8%
無回答	2.9%

2 子どもの権利が守られていないと感じること

子どもの権利が守られていないと感じることは、就学前児童保護者では、「特に守られていないと感じることはない」の割合が 53.4%と最も高くなっています。守られていない内容では、「休み、遊ぶ権利」が 15.4%と最も高く、次いで「子どもにとって、もっともよいことを考えること」が 13.7%、「意見を表す権利」が 10.5%となっています。

低学年保護者では、「特に守られていないと感じることはない」の割合が 48.5%と最も高くなっています。守られていない内容では、「休み、遊ぶ権利」が 19.9%と最も高く、次いで「子どもにとって、もっともよいことを考えること」が 16.4%、「意見を表す権利」が 14.7%となっています。

【問 子どもの権利が守られていないと感じること】

〔就学前児童保護者・問 58〕

回答者数=832	割合 (%)
差別の禁止	6.5%
子どもにとって、もっともよいことを考えること	13.7%
生きる権利・育つ権利	6.4%
意見を表す権利	10.5%
暴力などからの保護	8.2%
社会保障を受ける権利	6.1%
休み、遊ぶ権利	15.4%
その他	2.0%
特に守られていないと感じることはない	53.4%
無回答	13.8%

〔低学年保護者・問 48〕

回答者数=408	割合 (%)
差別の禁止	9.3%
子どもにとって、もっともよいことを考えること	16.4%
生きる権利・育つ権利	7.4%
意見を表す権利	14.7%
暴力などからの保護	9.8%
社会保障を受ける権利	5.9%
休み、遊ぶ権利	19.9%
その他	2.0%
特に守られていないと感じることはない	48.5%
無回答	6.9%

3 子どもの権利が守られていないと感じる状況

【問 子どもの権利が守られていないと感じた状況】

〔就学前児童保護者・問 58-1〕

○差別の禁止に関すること

- ・ ごく稀にですが、SNS 等で男児と女児をへだてるような意見が見られます。仕方ないかもしれませんが、人によっては性別の差を感じるような乱暴な意見も見られます…見ているのは「大人」ですが、普段の生活の中でも子どもに出してしまうのでは…とも思ってしまう。
- ・ 以前通っていた保育園で、診断名が出たら、預かりに対して消極的になった。(現在、その園は退園している)
- ・ 外国人差別
- ・ 境界知能 IQ82 ですが、来年小学校に行く様の選びが限られて、近くの小学校が良いか検討中。普通学級ですと子供が教育についていけずに学力差別が考えられることが不安に思っています。
- ・ 今は特に感じていない(子供の年齢が低い)ため)が、小学生以上になった時に人と違うところなどで差別などが起きないか、不安を感じてはいる。
- ・ 差別の考え方で、差別をしていると問うことでより差別しているように見えた。差別をなくすというのは、どこをめざしているのか？差別だと言うことでそこに差別があると強調しているように思う。
- ・ 子ども同士で悪気のない差別発言があった
- ・ 朝鮮籍であるにもかかわらず連日テレビでは北朝鮮と報道子供への説明が困難
- ・ 発達が通常の子よりもゆっくりな子に対する、周囲の視線が、冷たいと感じることがある
- ・ 保育園、公園など公共施設などで、障害者の子供を見た事がない。分けて教育をするよりも、遅れても(授業など)いいので、小さな頃から一緒の方が偏見がなくなると思う。日本の保育は、みんな一緒、少しでも遅かったり、違う事をする、直ぐに専門家を呼ばれる。

○子どもにとって良いことを考えることや生きる、育つ、意見を表す権利に関すること

- ・ 公園で、保育園児が保育士に理不尽に怒られている姿を数回みかけました。他のお母さんも同様の状況をみたと言っていました。保育園に預けている間、親は子を守ることができず、園や先生を信じるしかありません。でも、子どもはまだ自分が理不尽な状況で苦しくても表現できません。自分の子も、実は園で権利が守られていないこともあるのではないかと不安になることがあります。(虐待や置きざりなどのニュースもありますし…)
- ・ 公園でボール遊びをしてはいけないとの注意書きを見た時でした。
- ・ コロナ禍で、家で過ごすことを国から強く強いられ、動き回りたい、遊びたい子供は、Youtube や、TV や、本、家の中のおもちゃでしか時間を潰すことに疲れていました。
- ・ 子どもにスマホで動画を見せながら両親が食事しているのを見かけると(子どもはほぼ食べていない状況)子どもにとってもっともよいことを考えているようにはどうしても思えないです。
- ・ 騒いでいる子どもに 2~3 時間ずっとタブレットを渡して大人しくさせている状況・子どもの言文を無視して、対話しない状況・乱暴な言葉使いで、基本的なコミュニケーションがとられている状況
- ・ 大人目線で都合のよい対応を求めているかもしれないと思う場面があります
- ・ そもそも、10時間近くも保育園に預けられることが子供にとっていいことなのかを問いたい。社会全体で、もっとワークシェアリングをしたり、時短で働くことがあたりまえにならないとならないと感じる。大人の長時間労働は、子供の長時間保育につながるからだ。
- ・ それぞれの子どもがもっともよいという決断は難しい。どこかでだれかに我慢はさせてしまっている。
- ・ どうしても親の都合を優先せざるをえない場合が多い。
- ・ どうしても大人都合になってしまうし、今は男女働くことも多いので子供が夜型になりがち。
- ・ 公共交通機関を利用している際にベビーカーが邪魔だと絡まれたり、子連れであることを迷惑に見られることがあった
- ・ 考える時間など作れてないから
- ・ 国立市ではないのですが、保育園の説明会に参加した時、1 番はじめに出た質問が「行事など保護者が参加しなければならぬ日はどのくらいか」だった。共働きが増えて、仕事と家庭の両立が重視されているが、大人側にとって都合のいいサービスばかりが増えて、子どもの心身の育ちが見落とされてないか心配になった。

- ・ 仕事などで親の都合に子供が合わさなければならないこと（計2件）
- ・ 子どもに習い事をさせ、色々な経験をさせたいという大人の気持ちが強いが、子どもは嫌々通っていて、こどもにとって良いことと大人は考えているが、本当に良いことなのか分からないなと感じた。
- ・ 子供が周囲の大人に遠りよしながら、成長しなくてはいけない風潮
- ・ 子供は親の所有物、母親の付属物と考えているような父親 1人の人間として尊重していない
- ・ 子供自身の意見をヒアリングし考え実行する営みは家庭でもなかなかできていない。
- ・ 私は比較的優しくしていただいているのであてはまりませんが、周囲で、電車やバスでベビーカーに嫌な顔をされたり、舌打ちをされたり、子どもを邪魔であるかのように態度で出す人が少なからずいます。
- ・ 時間が無くて急いでいる時に子どもの気持ちより、都合優先にしてしまいがちです。
- ・ 習い事に行きたくないのに無理矢理行かされてる場面を見たとき
- ・ 小さな子どもに対して迷惑そうな態度を取られたこと
- ・ 小学校の高圧的な教師に委縮した時期があった。ランドセル、その中身が重すぎる(本人達が望んでいる訳ではない)
- ・ 親が子育てと働くことを両立するために保育園選びを良い園(通わせたい園)ではなく距離で選ぶことしかできない状況
- ・ 親に時間がない時は、どうしても親の意見を通してしまう。言語がまだ不十分なので、理解してあげられない。
- ・ 親の意見や行動に左右される。いつも「もっとあそびたい」とねてくれないので。
- ・ 親の就労状況によっては、子供と過ごす時間や教育する時がとれなかったり、そもそも子育てが困難な人もいたように感じました。又、親の教育に対する考え方や、親自身の哲学(宗教やヴィーガン食、ベジタリアンなど)が強すぎて、子供の意見や、健康的な生活、子供が本当はどうありたいかが蔑ろにされていると感じる時もありました。
- ・ 親の都合で子どもの意見をないがしろにしたり、否定してること → 仕事で、自由に色々な場所に行き、経験したり、学ぶ機会が少ないこと。
- ・ 親の都合で習い事を入れられまくっている子ども。自分でやりたいと言ったなら良いが親都合だと可哀想。
- ・ 親の都合で保育園に預けられたり、早起きをしなければいけなかったり、子供意向を考えずに生活を送らなければいけないことが日常であるため。
- ・ 生活の中で、子供がしたいことでも、時間的制約やワンオペで断ることがある。
- ・ 大人の意見が強く、強要されている時を目撃しました。兄弟の世話のために自分の時間が制限されているようでした。
- ・ 大人の側にマンパワーが足りず、自由に遊べない、子どもの意見を通せない場面がしばしばある(一例として、休みの日、公園に行きたいが見守りの手が足りずテレビ鑑賞になってしまう、等)
- ・ 大人の都合で子どもに我慢させていることや、子どもだからという理由で大人主体の考え方になっていることがある気がする。スマホなどで簡単に、そして、子どもも楽しむことで時間をつぶせることからアプリや動画を見せてしまうが、もっと会話や創作的な遊びが行えるようにする必要があると感じる。
- ・ 中学受験の激化(中学受験以外の良い選択肢が無いような感じがする)
- ・ 電車等でベビーカーや子供を連れていることに文句を言われる時
- ・ 日本の学校制度。画一的な教育を受けるという点で中等教育に関しては、上記の 2、4、7 の項目がとくに蔑ろにされていると感じる。
- ・ 保育園が上の子、下の子と違う園になってしまうこと。保育園に園庭がない、もしくは小さい。
- ・ 幼稚園教育の中で集団行動の名の元に大人の都合にあわせた指導が行われていると感じることがある。「おそい」といったり、手を強くひっぱったり。その園の方針?とは言え不快感を感じました。
- ・ 市町村によって給食の質に違いがある。
- ・ コロナ重症化リスクの高い持病(難病)を持つ子に対しても、「with コロナ」「コロナ以前の普通の生活にもどろう」と経済優先の政策がとられている現状。コロナの特効薬ができるまで、病児はつねに生命を失うリスクを負っているが、社会は感染対策推奨しなくなり、生きる権利をおびやかされている。
- ・ 医療施設を利用したい時に利用できない。→発熱外来や一般外来等予約がいっぱいで利用できない事が多々あった。
- ・ マンション住まいのため、子どもが泣いたり、足音がうるさく、階下の方が管理会社に訴えたようで、心理的な負担を感じた。子どもが泣いていたら、高齢女性から、「ほかで泣かせてくれる!」と高圧的に言われてしまった。
- ・ 環境によって、格差が大きいと思う。恵まれた環境では余裕があるし、そうではないと子供にシワよせがおきてしまう。

家庭環境に左右されず、格差が少ない世の中になってほしい。

- ・好きで障害を持って生まれた訳ではないのに、療育を適切に受けられない。受け皿が少ないため(定員いっぱい)キャンセル待ちはざらです。未就学の早期療育が成長に大事と言いながら、受けられず、成長の機会を逃している。又、療育費用が上限 37,200 円/月で、平等に療育を受けられない。学童のように 6500 円/月位がだとうです。希望は社会保障を厚くし、18 才まで無償で療育を受けられるようにしてほしい。
- ・うまく自分の意見が言えない(親や先生に対して)こどもが多い
- ・家庭学習、習い事など、子どもの意見は聞きながらも親が決めてしまいがち。
- ・散歩をしている時に、1 歳くらいの小さな子が、歩きたくないと道に座りこんだことに対して、その子の親が「歩きなさい！」と怒鳴っていたこと。まだ言葉をきちんと理解できるようには思えず、また子供がなぜ歩こうとしないかを、親が理解しようとしているようには見えなかった。
- ・子どもの意見が行政の取り組みに反映されていない
- ・子の選択を尊重しない
- ・子供が大人に意見をすることが難しい環境が多い印象。家庭内では大丈夫だが、社会で大人に物申せる子供は少ない印象。
- ・私は小学校時代をドイツで過ごしましたが、5 年の時に帰国して、日本の小学校ではあまり自分オリジナルの意見を発言できる空気が守られていないと感じましたし、友人に聞いても右にならえが求められ、きょうくつだとよく聞きます。自分の子供にはそうなってほしくないのですが、まだこれから小学校なので不安です。
- ・守られていないと実際感じたことはないのですが、意見を表す場があるのかと思いました。
- ・親の意見を押しつけてしまうことがある。
- ・祖父母に預けた際、今日の様子を本人に聞いているにも関わらず、祖父母が代弁してしまうのを見て、子どもが話すタイミングを待てない大人がまだまだいると気づいた。それは祖父母だけではなく、母親もその傾向がある。子どもの権利についての周知啓発を、両親学級等親になる準備の時点で取り入れる必要があるのでは
- ・大人が子どもが…と言うわけではなく、本音を言いつらい現代なので、表現に気をつけ、言葉をえらんで…となると本当に思っていることを子供のまだ言葉数が少ない中では言わない方が…という風潮を感じます

○休み、遊ぶ権利に関すること

- ・公園が少ない(計 2 件)
- ・公園でおにごっこをしていた子供たちが、自転車とぶつかりそうになったりするのをみて、十分な遊ぶ環境がとれていないのでは、と感じた。
- ・公園でボール遊びが禁止されている所があること。
- ・公園でボール遊びが出来ないこと。コロナ禍に、外出禁止だったこと。
- ・公園でボール遊びをしていると、ご老人の方に叱られた事がありました。
- ・公園でボール遊びを禁止されたり立ち入り禁止など、遊び方の制約があったとき。
- ・公園で元気に遊べる環境が少ない！ ボールも使えないし、うるさいと怒られるのは公園としてどうなのでしょう？
- ・公園で大声を出して遊んでいるとうるさいとおこられる。
- ・公園で遊ぶときにボール等注意される
- ・公園の遊具が少なくなり、感染症の流行などの影響もある中で、子どもたちがお金をかけなくても遊ぶことのできる場所、機会がどんどん奪われていっていると感じます。
- ・公園も週末の日中は野球が行われており遊べない。
- ・公園等で思い切り身体を動かして遊べなくなっている気がします。近隣の方への配慮もあると思いますが「ボール禁止」などがその例です。
- ・公園での禁止事項があった
- ・お友だちのことですが、習いごとが多く忙しい。
- ・公園でボール禁止、自転車禁止など制限がふえてる気がする。
- ・安全に遊べる場所が少ない
- ・花火をしたくても、夜の公園でやるには許可があるので子供には我慢してもらってる。家族で花火ができる場所の提供して欲しい。
- ・学校に行かないことを選んだ際の社会からの偏見
- ・学校の休み時間、全員外に出ないといけな、先生がいないと、部屋であそべない、図書館に休み時間気軽に行けないなど、ルールがおかしい。

- ・ 教育競争が激化している為、ゆっくり自由に遊んだり、ぼーっとしたりする時間が減らざるを得ない。学校に土曜も通って、学校の時間内で、遠足を増やしたり、校庭で自由に遊ぶ時間があってもいいなと思うが、先生方の負担が増すので、地域の方々の授業の時間(専門分野を学ぶ、野原や川辺へ出掛けるなど)があってもいいなと思う。
- ・ 近所に変な人がいて子供外で遊ぶと警察に通報するので全く外で遊べなくなってしまった。
- ・ 質問の趣旨と違うかもしれませんが、公園で花火やボールの禁止など制限が多くて自分が子どもの頃楽しかった遊びを伝えることが出来ないと感じることがある。
- ・ 習い事が多くて、幼稚園後に家に帰りたいと泣いてる子を見たとき。
- ・ 第三団地の広場(丘のようになっているスペース)で遊んでいたら、「ここは第三団地で暮らしている人のスペースだから、子どもを勝手に遊ばせないで」と言われた。子どもがのびのびと外で遊ぶ場所がだんだん狭くなってきていると感じる。
- ・ 遊ぶ場所が少ない。自転車の練習をするために遠くまで外出しなくてはいけない

○暴力などからの保護に関すること

- ・ ニュースなどで観る限り。
- ・ 子どもだからと大人の男の人に言われる・親の身勝手な、言うことを聞かないからと暴力をふるわれる・自由に遊べる公園(ボール遊びができる場所)・弱い者に対して攻撃的な態度
- ・ 5 にあてはまるかわかりませんが、世の中が物騒なので、子どもだけを外に出すのがこわい。常に「つれていかれたらどうしよう」「何かあったらどうしよう」と不安になる。「社会にまもられてる」わけではなく、自分の身は自分で、小さいうちは親がみないと、という気持ち強い。
- ・ 8→問 47-1 2, 3, 4, 5, 7→集団の子供で、保護者から、一方的な支配下にある状況 (計 2 件)
- ・ しつけの言葉が強かったかもと反省することがあった。保育園での保育士の言動が高圧的であった。
- ・ ママ友が子供の頭をたたいていた。
- ・ 虐待の罪が軽いこと。ネグレクト等痛ましい事件があると、親の罪が軽いなど常に感じる。
- ・ 近所から子供を怒鳴りつけているような声が聞こえる時。(詳細の場所は不明だが、部屋の窓を閉めていても聞こえる)
- ・ 言葉の暴力(保育所などで)
- ・ 事後や定期的には助けていただいておりますが、事象が起こっているその瞬間(オンタイム)は私が守るしかないと感じる。事前に虐待の詳細等もっと情報を目にかけるが増えるだけでも認識が変わるのかとも思うが、本人は虐待の認識はないためそれをしても難しいのかとも思う。
- ・ 親から子供への暴力
- ・ 同じマンションで、子供を夜遅くに外に締め出していることがあった。
- ・ 夫婦の不仲、夫が妻に生活費、教育費をまったく渡さない。ひどい言葉で妻をしいたげる。

○社会保障を受ける権利に関すること

- ・ 所得制限で児童手当減。
- ・ 扶養控除がないこと (計 2 件)
- ・ 児童手当が所得制限により受給できなくなりました。「子供一人当たりの給付」ということは、この給付のエンドユーザとして恩恵を受けるのは子供であり、これは子供に対しての社会保障であると捉えています。保育園の保育料も、同様の理由で高額になっています。税金・社会保険料としてはすでに収めていますので、「子育てして両親ともに就業している」とさらに罰金のように取られてしまっている印象を受けております。こちらもエンドユーザとして恩恵を受けるのは子供ですので、こちらの点でも子供にかかる社会保障という点で平等には受けられていないと感じています。
- ・ 国は子育ての控除をなくすばかり、貧困が大きな課題ですし、増税しすぎて子供がふえるわけがないです。個人より国や自治体で経済的支援を！
- ・ そもそも子育てや子どもに対する社会保障が整っていない。
- ・ 病気を持っていたり、障害があったり、「普通」と少し異なるだけで一般的なサービスから除外されたり、受けることができなかつたりすることがあると感じた。
- ・ 018 サポートなどテレビもネットニュースもみない職場の人は全然知らず、自ら申請しないと受けられないサービスや助成があるのは良くないと思う。経済的に豊かではないが面倒くさくて申請しない人は私の周りにもいるので、もったいないと思う。子供が産まれたら、申請せずとも助成が受けられたら良い。

○その他、全般に関すること

- ・公園に「ボール禁止」などの看板がある。子どもはどこでボールあそびをしたらよいのかと思う。小学校でのきまりの多さ。例えば、赤白帽を忘れたら体育は見学というのは、いったいだれのためのきまりなのかと思う。子ども目線の考えが絶対的に不足している。
- ・公園に不審者などいて難癖をつけている。いい影響あるわけない
- ・所得制限による支援の打ち切り・子どもの扶養控除の廃止、縮小・幼稚園、保育園等での障害児受け入れ拒否や差別ととれる発言（計2件）
- ・ポスターでの掲示で相談先の電話番号が表示されていたり周知されているなど感じた。育児休業で収入が減った際、住民税非課税世帯に該当し無償で保育園に預けることができた。
- ・年少扶養控除がない、高校生の扶養控除縮小の検討、各種所得制限・世界情勢的に本当に今後「守られる権利」が守られるのか不安
- ・ネグレクトの家庭 経済的に困窮していても保護者が公的扶助について知らなかったりするのでもっと広めてほしい。
- ・ずっとスマホをみている親が多い。子どもは親をみているのに。放課後、校庭で児童をあそばせる小学校が少ない。子どもをあそばせる場所をふやしてほしい。そのせいで、小学生が公園に沢山いて、危なくて、未就学児があそべない、ことがある。
- ・ニュースで見る子育ての環境の違いで、子ども自身の生きる権利が守られていないこと、子育ての難しさ、未熟な保護者で育成されるお子さんなど、多々問題が発生していることに憤りを感じる
- ・ニュースを見て、性犯罪、交通事故など、正しい情報や選択など選ぶ権利は与えずに大人の責任を放棄するために、義務だけを押し付けていると感じることが多々ある。
- ・ニュース報道などで子どもの痛ましい事件を目の当たりにすることが増えたため。
- ・病気の時に病児に預ける。療養ができる場所を選べない。学びの環境が親によって格差が出てしまうところ。
- ・病気や障がいのある子をもつ親は必要な情報を受ける場があまりないこと。こちら側から色々発信していかないと色々受けられないこと。もっとわかりやすく必要なものを教えてほしい。病院等に通うのも大変なのに手続きも大変でスムーズにいかなくてつらい。
- ・3人兄弟それぞれ別園のため、ゆくゆく転園による生活の変化、ストレス、負担をあたえる。
- ・家庭内暴力を耳にする。・習い事(塾等)で子ども疲れている。
- ・差別をうけている(集団の中で)子どもがいる・学校教育の拡大により子どもに余裕がない
- ・親が、放任。団地ベランダから、物を落としたり、公園におそい時間まで、一人で遊んでいて、迎えに来ない。(未就学児)・毎日、習い事があり、自由な時間が少ない。・大人と会話する中で、態度がかわったり、子ども同士でのやりとりの中、手が出る事が多かったり、口調に暴言が目立つ子。服が小さい、ボロボロ etc.
- ・1…社会的なイメージ？男児がかわいいモノが好きということに周囲が否定的だった。2、5…親の余裕がない時
- ・2&4: 子どもが〇〇したいと話していた時に「うるせーな」と子どもを引っ張ったお母さんがいた 5: 子どもを宙吊り(足を持つし)にし、そのまま手をはなし子どもの頭を道路にうちつけたお母さんがいた→支援センターに連絡しました
- ・いっぱいあそぶことで自分らしさを保障しているか、考えさせられます
- ・階下の住民から騒音のクレームを受け、引越しをした。当時は3~4歳であそびは動き回ってするのが自然なこと、音をたてないように注意したり、行動を制限するのは遊ぶ権利を侵害していた。(日中は保育所を利用しており、家にいるのは長時間ではない、また休日の昼間などめいわくでない時間帯にもクレームがあり、ストレスがたまった。)地域の理解がもっと欲しかった。
- ・ゲームやYouTubeなど、時間を決めてやろうって説明しても全然守らないため、子供がやりたがっても中断させることが多々あります
- ・とくに祖父母世代とのかかわりでは「大人の言うことを聞きなさい」等、子どもは大人に従うもの、という前提でのコミュニケーションが基本になっていることが多いと思う 児童館の JAN・JUMP? (ジャンジャン) のようなとりくみが地域でも学校でも家庭内でも増やせたらよいのだとおもいます
- ・もっと自由に遊べたり、子ども達が考えたこと、思ったことを聞くだけではなく、叶えてあげられる様に大人もルールにしばられず、柔軟に、意見を聞き、取り入れてあげてほしい。
- ・安全に遊ぶ場所、助成の少なさ
- ・過剰な幼児教育 子供への過干渉
- ・街中で、頭をはたく親を見るにつけ、注意することもできず、複雑な気持ちになる。塾帰りなどで遅くまで、小学生が

- 歩いているが、自分の社会人生活の未熟さを思うと勉強と同時に、生活する力(遊ぶ力)も育むのが大切かなと思う。
- ・ 学校で一律の子ども像を求められること。学校の先生方は個性を大事にしてくれようとするが、制度や社会的に満足にそれができないこと。
 - ・ 学校のルール学校での先生の対応>画一的で、個々人の配慮をみとめていない
 - ・ 権利が守られていないのではなく、大人がしっかり理解できていない。→そもそも情報が発信されていない又は、発信方法が悪く、届きたい人にしっかり届いていない。まずは、様々な施策、権利等をより多くの大人に正確に伝えることが必要。
 - ・ 子どもの思うように過ごさせてあげたいが、共働きのため大人のペースでの生活を強いてしまうことがある。子どもに対して乱暴な接し方をしている人を見ることがある。
 - ・ 市内の家庭ではありませんが、ヤングケアラー的な観点が気になりました。
 - ・ 市内の賃貸探して、障がいを理由に入居申込ことわられたことがある。子育て中の家族に配慮されたお店が少ない。(etc ベビーカーOK、離乳食提供あり。保育 OK。ミルクあたためサービス。購入したものの配送サービス)
 - ・ 自宅リビングの前で毎日何回もタバコを吸われる。場所を変えてほしいと言ったら 1 回目は無視、2 回目はクレーマーと言われ、市の人には自力でなんとかしろと言われた。子どもは気管支が弱いので、2 年前から自宅の窓は全く開けられなくなった。←全て話しても市には相手にされなかった。
 - ・ 少年野球団に子どもが所属しているが、そのコーチや監督の子どもへの接し方がやや権威主義的。また、少年野球大会の運営主体は、参加するためには子どもの写真の利用を許容させており、やや違和感を覚えた。いずれも有志団体であるため、ある程度仕方がない面がある、との割り切りは必要だとは思っている。
 - ・ 障害、通常級、みんな就学前に知能検査、必須にしてほしい。
 - ・ 上の子が国立市内の学校で入学後 2 週間も経たないうちに教師から暴力を受けた。友達が教師の勘違いで怒られたため、「この子はやってません！」と庇ったところ、いきなり殴られた。怪我をしたため、常識ある養護教諭が病院へ受診するかどうか連絡をくれたが、学校側はそのまま返す予定だった。担任からは「行き過ぎた指導がありました…」と電話がきた。指導？単なる暴力行為だ。子どもには「居づらくなるから公にしないでほしい」と言われた。副校長、担任、暴力教師の3人で謝りに来たが、子どもは「大の大人が頭を下げに来る現場に胸が痛くていられない」と、謝罪を受ける前に家から飛び出してしまった。今思えば、怖くて会いたくなかったのかもかもしれない。子どもはいまだにそのトラウマに取り憑かれている。
 - ・ 親の都合(仕事など)で、子どものペースをこちらに合わせてしまう時など 金銭的な理由や時間の都合などで、習い事が増やせない。
 - ・ 長男が学校で給食の提供をされなかった。担任が忘れていた しかもその事実は学校から報告があった訳ではなく子供本人からきいて知った。その事実があっても、教師から連絡はなかった。(教室で生徒とトラブルがあり別室で自習、そのまま帰宅もさせてもらえず放置されて 15 時までいた)ほぼ監禁です。又、長男が登校拒否で自宅にいたが、親は先に仕事にいていたので自宅にいる事も知らない。しかし学校からきていないという連絡はなかった。→家には TEL したが出なかったなら、職場にかけるべき→後日子供に連絡先が自宅になっているだと怒ったらしい(担任が)がそれも違うと思う。何故子供に怒鳴る必要が？自分がわすれただけでしょ。これも本人からきかされた。本来いる場所にきていなければ確認すべき 何かあったらどうするのか？園児バスのおきざりと同じ対応と思う。次男を入れるのが心配。
 - ・ 働きながら子育てをしている友人のほとんどが、子どもと過ごす時間が十分にとれない、家事をする時間がない、自分の睡眠時間を削っている、子どもが家にいたがるが仕事のためそれが叶わないと話しています。経済的な理由、自分の(=母親の)時間を確保したい、仕事をしてやりがいを感じたいという気持ちはありますが、子どもの気持ちをおいてけぼりにはしたくないという思いも強くあります。
 - ・ 日常において。
 - ・ 年配の言葉。仕事で子供と遊ぶ時間がない 公園での禁止事項が多い
 - ・ 夫婦間の意見の相違や家庭環境が良くなかった時期があった。
 - ・ 問 56 につづき、上の子がたて笛の宿題が出ても、家ではふかせれない。うたも自由にうたわせれない。逆立ちをしても、隣人が物音で嫌がらせてくるので身体も自由に動かせない。
 - ・ 幼稚園保育園に入れてもらえない。
 - ・ 省略。
 - ・ 無し

〔低学年小学生保護者・問 48-1〕

○差別の禁止に関すること

- ・ごく稀にですが、SNS 等で男児と女児をへだてるような意見が見られます。仕方ないかもしれませんが、人によっては性別の差を感じるような乱暴な意見も見られます…見ているのは「大人」ですが、普段の生活の中でも子どもに出してしまうのでは…とも思っています。
- ・学校でも差別している(友達同士で)の話はよく聞きます。先生や親に意見してもちゃんと聞いてもらえない事もよくあります。
- ・学校の講師により、理不尽な差別にあい、子供が抗うことも出来ずに悩んでいる。
- ・差別については、子どもは見たこと聞いたことをストレートに表現してしまうので、大人がその都度、きちんと説明してあげると良いと思います。
- ・子供のことを発達障害ではと言われたり、親の育て方が悪いと言われる
- ・子供同士や、学校の先生(特に年齢が上の人)から差別的な発言を受けることがよくあります。給食を完食することを強要(食べないとにらむ等)したり classroom を使わない(年寄りであることを言い訳にする)等、教師の質(特に年寄り)が落ちていると思います。
- ・住んでいる地域を元に大人や子供達の間で他人を悪く言う行為を受けたこと
- ・障害のある子どもが分離されている

○子どもにとって良いことを考えることや生きる、育つ、意見を表す権利に関すること

- ・収入格差で、学べる子供、学べない子供がいる。
- ・コロナ禍で、子供が公園で遊ぶことすら自粛を求められた時。 そんな時でも、お年寄りが連れ立って飲食店にいるのを見かけると複雑でした。
- ・コロナ禍での園や学校でのマスク着用の事実上の強制
- ・学校でのルールの多さ。(子どもが自主的に考え動ける機会が減少。細かいルールがなくとも子ども自身が自ら考え、友達と過ごせる場作りが必要なのではと思う)・子ども社会、何かと課題が多い。良い子でいること、平等であることに視点を置きすぎる大人が多い。と感じる。
- ・2→社会のルールは大人や高齢者の視点で作られていることが多いように感じる。
3→大人の都合で、子どもをきちんと育てられていない家庭がある。
- ・2 小から西学童に通う道も、結局車優先で子どもたちが遠回りさせられているから。
- ・幼稚園に通っておりました。同級生の話ですが、偏食の子がお給食を完食させるのに残してまで食べさせていた。母親にきいたところ最大 17 時まで残って食べさせられていたそうです。迎えに行くときにも職員室で泣きながら食べておりましたので暴力に値すると思っております。公立幼稚園ではありませんが、国立市にある幼稚園です。細かいところまで第三者の目があり、改善すべき点は指導する。そのような環境になることを希望します。
- ・バスの中で子供がおしゃべりをしていたら、「うるさい」と注意を受けた
- ・泣いている子供を連れていたら、「うるさい」と注意された時
- ・バスや飲食店での赤ちゃんの泣き声へ イヤな顔をむけられて気まずそうにしているおかあさんがいた。
- ・家族を優先してしまい、それぞれの子どもにとって、もっともよいとは言いきれない。
- ・過去の担任の言動を想像して〇をつけました。
- ・学校などの場所で子供の意見が尊重されづらい場面がありました
- ・学校の学年集団が落ち着かず、日常の学習が保障されない期間がある
- ・学校や園で、子どもが「こうしたい」と思うよりも皆で一緒にやること、同じようにやること、を良いとされる雰囲気がある。それは大人の世界もその傾向が強いかからかもしれない。
- ・学校教育が画一的過ぎる。中学の制服、校則を始めとして、子どもの自由をもっと尊重すべき。理由のない校則は不要。先生がやっていることを子どもがしてはいけない理由はない。皆と同じでなど不安を感じる環境は良くない、すべての違いを許容できる社会であるべきであり、特に子どもが育つ環境はそうあるべき。障がい者との関わりも、もっと同じクラスで同いっしょに過ごせばみんなが心地よいか子どもも大人も一緒になって考えるべき。ありのまま過ごせる環境を、特に子どもの育つ環境には最も望む。自由に、自分の意見を持てるよう。右ならえの教育はしないで下さい。
- ・学校教育の視点が、集団を乱しがちな子を問題視しがちであることと、クラス全体が怒られたりする集団責任的な雰

困気であること。乱しがちな子を指導の視点から、背景理解する視点でサポートする必要があるそう。

- ・ 学校生活、教育の中で、みなと同じ、同調するべきという風潮がまだあること。公立小では、むずかしいことかもしれないが、個々のもつ意見や個性が存分に活かされているようには思えない。
- ・ 活発な子どもの陰になっている大人しい子へのフォローがない
- ・ 教育機関にて。
- ・ 現在の教育は、意見を言う子供は疎まれるシステムであると思う。
- ・ 古い価値観での指導が散見する。
- ・ 幼稚園で、寒い日も制服の下に暖かいタイツなどをはくことを禁止されたとき。大人は許されて子どもは許されないのは理不尽だと感じた。
- ・ 今年小学校に入学し、他のクラスの子の担任、クラスの様子を聞いた際子どもへの愛情を感じられない先生がいる話を耳にしました。1年生は、まず楽しく学校へ行けるようになることが1番だと思うのですが、泣いている子、怒られるから行きたくない、先生がこわいというのは子どもの成長にとってもよくないと思います。大きな声で怒っている姿を見ている子どもへの影響があると思っています。
- ・ 子どもがあいさつしてもムシする大人 公園であそんでいてもクレームする老人 子育てがしづらい街と感じる
- ・ 子どもの行動に対する苦情
- ・ 子どもの友人が自宅前の私道で遊んでいると、近隣住民の方が警察に通報したり、許可なく写真を撮ってきたということがありました。公園が近くにはないので、少しは家の前で遊べるとよいのですが、不安なので、家の中で過ごすようにいったり、親子で公園にでかけるなど配慮しています。
- ・ 子供が嫌な習い事に行かせていたこと。
- ・ 子供が発する音などが、一般的なものであっても、それを迷惑とされる
- ・ 子供の意見を都合よく聞いているだけで本心を聞き出せていないような気がする
- ・ 市外の知人の例で、子どもの障害や体調不良の訴えを理由に親が子どもの学習機会を大きくうばっているように思う事例がある。←あまりにもひんぱんに学校に行かせないなど。
- ・ 次の授業までの時間が5分間しかない為トイレに行きづらい時がある。先生の注意の仕方が気になる時があります。言い方がきつい方。子供が帰ってきて悲しんで話してきました。その事があり図工の授業がイヤになり学校へ行きたくない日があるそうです。
- ・ 社会生活を行う上では致し方ないことですが、仕事と子育ての両立はまだまだ困難であり、子供に十分な時間を割くことができないことが多いため
- ・ 授業の場や学校生活の中で子どもたちが意見を言いやすい環境が、担任の先生によって左右されてしまうのはとてもかわいそうです。また子どもファーストで考えるべき時に上司の機嫌を考えている先生がいます。
- ・ 習い事や塾で子どもが行動を制限されている
- ・ 小学校からの文部科学省教育。古い昭和の価値観のままの先生がちらほら見受けられる。子供が最優先。子どものため。ということが、昔の価値観に基づいていることが見受けられる。
- ・ 小学校で大人の都合だなど思う方針が何度かあったように感じた。
- ・ 上記の権利を守ることが大切だと思うが、例えば電車でのマナー、交通ルール、店でのルール etc…子どもが生活で学ぶべきルールを親は注意せず、野放ししている場面を見かける。子どもにとっては、親によって学ぶ機会が失われていると思う。
- ・ 親の意向を優先している家庭を見かけることがある。
- ・ 親の言うことに従う姿勢を感じた時
- ・ 親の主観がとても強く出るのが子育てだと思う。他の意見交換の場や、年配の方の子育てなど話せる場があまりないと思っています。
- ・ 世の中的に大人や高齢者のことを優先していることが多くて、子どもに対する政策は不十分であると思います。
- ・ 昔に比べ子供の「遊び(遊ぶ内容や場所等)」について社会の寛容さがなくなり自由が減っているように感じる。
- ・ 先生が意見を聞き入れてくれず勝手に決めてしまうといったグチを聞いたりすることがある。
- ・ 大人の意見を押し通してしまう時がある。
- ・ 地域住民の目。中には子どもの声を「うるさい」と感じる方もおり、こちらも気をつけてはいるが、子どもの声を嫌がる人のことを考えると、「良い共存方法はないものか…」と常々思います。
- ・ 同調圧力が強く、信念を持つことと意固地の違いを明確にすることが難しい。
- ・ お子さんが小学校に合わず、またグレーゾーンの子からの攻撃を逃げきれずケガ？したりして、今年転校した。多

様性を受け入れるには、学校の教室に保育園の加配(かはい?)のようなスタッフの導入がもっと必要だと感じた。

- ・ 保育園、小学校、学童で、子どもの訴えが抹殺されることが日常化している。ひとりの人格を持った人間として扱ってあげるべき。

○休み、遊ぶ権利に関すること

- ・ のびのびと遊べる公園が少ない
- ・ 外遊びできる場所が少ない。家の前で遊びたいが、道路族と言われるのではと心配になります。
- ・ 学校から帰って宿題→習いごと→自宅学習で疲れている子を見たことがある。
- ・ 公園でボール遊びができないなど遊びに制限がある。
- ・ 公園で遊ぶことに注意されること
- ・ 今の子どもは自由な時間が少なく、決められた範囲ですごしていることが多い
- ・ 最近の子供はならない事等をたくさんしているので、休んだり、遊んだりする時間が少ないように感じました。
- ・ 子どもにも有休があってもいいのではないかと思う。
- ・ 習い事が多い子供や、塾に通っている子供は、放課後に外であそんでいる印象が少ない
- ・ 小学生のわが子が、のびのびと安全にすきなところで遊べる場が少ない。
- ・ 小学生の子供達が伸び伸びとスポーツが出来る環境が少ない
- ・ 体調不良以外で学校を休みたい時でも、親の就労で休ませてあげられない状況があり、学校も気軽に休めない雰囲気を感じる。
- ・ 放課後、自由に遊べる場所がない。サッカーや野球したり体を大きく使って遊ぶ場所がない。公園ではボール遊び禁止だし、放課後小学校の校庭は週 2 日しか遊ばず時間も短い。子どものストレス発散の場所が足りていない。
- ・ 遊び場がより充実するとよい
- ・ 遊ぶ場所が少ない。

○暴力などからの保護に関すること

- ・ イジメのニュースなどを聞くと、そう思います。
- ・ こどもがともだちから休み時間に殴られ鼻血を出しました。幸い鼻の骨は折れてませんでしたが、喧嘩をした訳でもなく一方的だったとの事でした。ご両親が謝罪に来てくれましたが、どうしてそんな行動をとったのかわからないまま、普段も一緒に過ごすことへの不安がとれません。他の子とのトラブルを聞いたり(蹴飛ばす、石を投げる等)、また我が子にちょっかいを出されているのを聞くと、もっとその子にサポートが必要なのではと考えてしまうのですが、親御さんや先生がどう考えているのかわかりません。
- ・ しつけのハンイをこえると思う暴力的な親をたまに見かける。
- ・ スーパーなどで、子供に対する暴言がひどい親を見ることがある。
- ・ ニュースで見ていると、保護される前に亡くなっている。
- ・ 何回注意しても、説明を繰り返しても言うことをきかないと手を上げてしまいます。
- ・ 家庭内で言葉の暴力があったが、日々努力して大分改善した。また暴力は子供間でも行われます。殴る、殴られる等、日常的にあったため、学校、相手先、それぞれと話し合い改善していった。暴力は絶対に駄目という姿勢が大切だと思う
- ・ 心ない言葉で子供がお友達に傷つけられることがあった。親の・・・がない状態で、子供をやりたいようにやらせてあげられないとか。先生が見てないところで人にぶつかられてケガをしたけどあやまってもらえなかったとか。

○社会保障を受ける権利に関すること

- ・ 所得制限
- ・ 親の所得で手当に制限があった
- ・ きょうだい障がい保育園・幼稚園に入れてもらえず、入れても保育日数が週 1-2 回と限られていて、母親が仕事を諦めてつきっきりで育てる。調査対象児は十分相手をしてもらえず、ケアが行き届かない。
- ・ 子育て支援等、それなりに受けていると思うから。
- ・ 市内の家庭ではありませんが、ヤングケアラーの要素が気になることもありました。

○その他、全般に関すること

- ・ 分断と格差、戦争と暴力、気候危機の時代を生きなくてはならない。より良い明日がイメージできない。
- ・ 親の所得で子どものしえの有無があること自体、子どもの人権侵害と感じる 特にしょうがいを持つ子どもについて、

装具等国立市は頑張ってくれているが、所得で受けづらくなる支援があることがおかしい 放課後デイ利用も、大半の人が 4600 円だからと言われた事があるが、その問題ではなく、受けたい支援を減らさなくてはいけない状態があることを問題視してほしい

- ・ 親が忙しい等の理由で遊びを中断しないといけなかったり、金銭的な理由で子どもの欲しい物や行きたい場所へ連れていくことができなかったり。
- ・ 時間がない、社会保障とは何があるのかわからない
- ・ 学校教育では、学力に合った教育がされていないように思います。塾に行かなくても済むような教育が受けられれば、子どもの自由時間が増え、親の経済的負担は減ります。

安心して自分の意見を言い、受け入れてもらえるという経験が少ないと思います。そのため、自分に自信を持てず、消極的になることがあります。また、反対に他人を攻撃することもあります。学校の授業でも自分の考えを伝える、他者の考えを受け入れるという活動が活発に行われるといいと思います。

企業の商業主義に巻き込まれ、金儲けの対象にされることがあります。購買意欲を刺激するよう仕掛けられた商品が、必ずしも子どものためを考えて作られたものとは限りません。毒々しいお菓子、ゲームやスマホを与えられ、親に節制するよう言われても、中毒性があるためコントロールはむずかしいです。そのため、健全に育つ機会と時間を奪われたり、勉強する意欲がなくなることもあります。また、女の子はモデルやアイドルを見て、過剰に見た目を気にして痩せようとすることがあります。過度なルッキズムを煽るような子ども向けファッション雑誌などは、子どもの健康を害することがあります。

親が子ども本人の前で「うちの子はバカだから」などと言うのをよく聞きます。親は謙遜か愛情の裏返しのもりかもしませんが、子どもの自己肯定感を低くする行為だと思います。

- ・ 受動喫煙が容認されている国立市 子供が健康であるための権利を侵害されている 公園がない！！(東エリア) 遊ぶ権利
- ・ 先生の手が足りず、困ったことを伝えられない。先生の対応で尊厳を傷付けられてしまう子がいた。家族の仲が悪かったり、環境が悪くなくて不安を持って生活している子がいる。歩いているだけで不審者に追いかけられたり声をかけられる。給食をゆっくり食べる時間がない。遊び場がない。遊具がない、ボールが使えない。トイレがキレイな公園がない(東地区) 通学路が危険(三小通り)
- ・ 路上喫煙による受動喫煙が取り締まりされていない(高齢男性の確率が高い) 十分な遊び場がない 学校行事などで平日学校での休み時間を無くされることがある 給食の時間(10~20 分くらいだと聞く)が十分に確保できない時があり、決して食べるスピードが遅くない子でも時間がなくて食べられない(→食品ロスにもなる) 十分な栄養が摂れない
- ・ 2.4. 小学校で音楽会するとき、オーディションがある。ピアノの楽譜は難易度が高く、それが公開されたのは本番1ヶ月前を切ってから。おそらく弾ける子の目星をつけての事。案の定、前評判のとおりの子が演奏した。「出来映え最優先」が明らか。子どもたちが「学校での」「日頃の」練習成果を発表する場ではないのか？順位をつけることの意味もわかるが、音楽会で「競う」必要があるのか？ そもそも競わせる気あった？ オーディションについて様々児童からも意見があるようだが、問合せた親に対し「じゃどうやって決めたらいいと言うのか」との学校側の発言も。そもそも児童にとってどういう場なのか考えられているのか。7. 教育指導要領がつめこみすぎ。専門家からしてみれば自身の分野は「欠かせない」だろうが、{現場 子ども}の負荷は相当。子どもが自分のペースでボーッとする、遊ぶ、休む自由な時間があまりにも減り続けている。アレもコレもで大人並みに多忙。子どもに、子どもでいられる余白を与えてあげてほしい。
- ・ この問いに対する回答であるかはわかりませんが…子どもが①人の声を聞き、②自分に関することを知り、③様々な人の姿を見る機会を少しでも大切にして、子どもの視野やできることをせばめないよう、日々努めています。①「いらっしやいませ。ありがとうございます。」という言葉が減ってしまった。②電話より、メール、LINE を好む大人が多くなった。③レストランの注文、切符にハサミを入れる音、エレベーターガール、プレゼント用包装をする店員さんの姿。新幹線の車内販売。昔、こんな人がいたよ、ママはこんな人の姿が好きだったよと話すと、なぜか子どもが喜ぶます。
- ・ そもそも、大人が子どもの権利という感覚がないため、子どもに関わることを子ども抜きで決定する。子供にとって良いことを装いながら大人の都合の良いことをする。子どもが忙しすぎる。
- ・ ひとり親で就労しているため、子供を自由に遊びに行かせたりすることができていないと感じる。不審者情報なども多く、つい心配になってしまうため遊ぶ場所や時間を制限してしまうことが多い。学童の利用をやめたいと話がでて、現実的に考えてひとりでの留守番が難しいので利用せざるを得ない。(子供自身、学童自体が嫌だということで

はないです。)本当に嫌になってしまった場合どうするべきか悩んではいません。

- ・まわりで見ることはありませんが、困っている子を見たら助けてあげたいです。夜中まで幼い兄弟だけで留守番をしている家庭を知っています。事故が起きないか心配になります。そういう家庭を助けてあげてほしいと思います。
- ・家族仲良く生活出来るのが良いと思うから
- ・家庭内の状況は外から見えにくいので困っている子どもがいても分かり辛い。
- ・学校なので、先生に困ったことを伝えても有耶無耶にされることがあった。(自由研究が紛失した時に何度も相談したが、その場で「探しておくね」という程度で探してもらえず、結局、親が学校に訴えても納得できる対応がなされず、教育委員会に話をしようやくことが動いたが、それまで校長にその話は伝わっていなかったし、結局時間が経ちすぎて見つからなかった。全職員で探してますと言われても信じるができなかった)
- ・学校は教育委員会の管轄かもしれませんが、第三者が介入して学校や生徒、先生の助けができるようにした方が良いのではないかと思います。何かあっても学校の先生達は器用な方ばかりではないでしょうし、結局躰寄せは子どもに来ていると思います。子どもの考えを聞く余裕がない、聞いても完全否定するなど見受けられます。余裕がないならヘルプを出す、出せる環境やシステムがないと全部子どもに悪い影響を与えたいと思います。
- ・国や肌の色で「〇〇人だ」という大人(特に高齢の方)が居る。子どもが公園で遊んでいるとうるさいとどなられた。電車で子ども(5才)が泣いたらしつけがなっていないとおこられた。
- ・今、ほとんどの子供が高等学校へ通うところ、まだ日本は義務教育となっていない、国や都からの補助も世帯年収の上限がある。以前と比べると選択肢は増えたが、学ぶことを選択肢や国のサポート保障はもっと必要じゃないのかなと思う。
- ・子どもと大人の間にはどうしても権力の差が生じるので、なるべく指示的・操作的にならないようにしたいと思っているが、気がつくとき声を荒らげて強く言ってしまうことがある。気をつけたい。
- ・私の仕事が忙しくまた精神的にも余裕が無く、子育てに必要な時間とケアができていないと常々思う。高齢出産のため、大事な子育ての時期と、管理職としての仕事と、更年期が重なり、私も夫も子供に強く当たることがあり、子供は自分の意見を主張しにくい様子がある。
- ・写真などが勝手にインスタや、活動に参加した団体のHPにのせられたりしているのが嫌です。例えばセンシティブな情報もからめてのせられたりすることもあるので世の中の大人の認識が変わらないといけないと思う。
- ・守られていない訳ではなく(すみません)知らせる授業を多くしてほしいです。
- ・小学校のクラス内で、ある児童の暴れぶりがひどく、真面目に生活している児童たちが迷惑を被っていた。親は忙しいのか無関心なのが腹が立つし、話を聞くと、祖母と一緒にまだ幼いきょうだいの世話の手伝いをさせられているらしく、明らかに親の愛情不足と思われ、児童自身もかわいそうだった。
- ・親に甘えたいのに、甘えられない子を見るとき。兄弟が多いと、上の子はいろんなことを我慢している。親が困っていないと言えば、子どもは助けてもらえない。
- ・親の仕事が第一でそのせいで子供がぎせいになることが多いと思う。難しいかと思うが、まずは子供の事を考え、そのために親が動いたり、仕事の調整したりすべきだと思う。そうできないのは、親自身のせい。
- ・親自身(私が)子どもの成長を上手くサポートできていない。
- ・他紙ですが公園でのボール遊び禁止やお年寄りの遊具が増えたり、ゲートボールが増えたりしていた。福祉会館は近くに2カ所もあるのに児童館はない。市役所の周りは体育館やプール矢川プラスがあるのに、北地区は少ない。小学生が安心して遊べる場所を増やしてほしい。高齢者と遊べる場所があっても良いなあと思う。折り紙やあみもの、ししゅうや、将棋、囲碁など、一緒に遊べる遊びもあると思う。小学校の体育館、なぜ大人やサークルにかして、子供が使えないのはなぜなんだろうと思う。
- ・多様性の尊重不足
- ・大人の仕事を理由に、やりたいことをさせてあげられていないと感じる。同様の理由で自宅にいる時間が短く、リラックスや休息をとることができていないと感じる。近所にいる人で、近所の子と遊ばせない親がいる。あいさつなどもせず、子どもに高圧的態度をとる親がいる。
- ・大人の主観を一方的に子どもに押しつけている状況下では1~4の権利は守られていない事が多いと感じる。大人の側にある差別意識が子どもに影響していると感じるので大人の側にこそ教育が必要だと感じる。
- ・大人の都合なことは多々ある。
- ・脳の影響で、いつでも好きなセリフをたくさん発して楽しんでいる。周りの人とも共有したくてたくさん話しかけるが、『なにを言ってるのかわからない』という反応をされることが多い。
- ・発達者の特性上、もっと適切な支援を受けられるようにすれば生きやすいだろうと思う子に対して。恐らく保護者の

方の価値観や判断その他によるだろう要因で、子が課題の多い現状に置かれたままになっているケース。（これは想像に過ぎませんが、保護者の能力や時間的余裕等から、子どもが支援を受けるに必要な手続きに対して困難を抱えており、必要と思われる手続きに対する包括的支援があれば可能だが、それが無いために断念しているケースもあり得るかもしれません。）また、学習等に際して、支援をする人員が豊富であれば取りこぼされずに権利を享受できるであろうと思われるケース。

- ・ 扶養控除が廃止されたこと 子供手当で扶養控除が廃止されるのであれば、子供手当を廃止し、扶養控除を復活してほしい。

4 子どもの権利が守られるために大切なこと

子どもの権利が守られるために大切なことは、就学前児童保護者では、「大人が子どもの権利について詳しく知ること」の割合が74.9%と最も高く、次いで「子どもが困ったときに相談しやすい環境を作ること」が69.8%、「子どもが自分らしくいられる空間があること」が65.1%、「子どもが自分に関係あることについて、いつでも大人に意見を言いやすい環境を作ること」が63.8%となっています。

低学年保護者では、「大人が子どもの権利について詳しく知ること」の割合が66.2%と最も高く、次いで「子どもが困ったときに相談しやすい環境を作ること」が64.7%、「子どもが自分に関係あることについて、いつでも大人に意見を言いやすい環境を作ること」が62.3%、「子どもが自分らしくいられる空間があること」が56.9%となっています。

【問 子どもの権利が守られるために大切なこと】

〔就学前児童保護者・問 59〕

回答者数=832	割合 (%)	
大人が子どもの権利について詳しく知ること		74.9%
子どもが自分の権利について詳しく知ること		46.0%
子どもが困ったときに相談しやすい環境を作ること		69.8%
子どもが自分に関係あることについて、いつでも大人に意見を言いやすい環境を作ること		63.8%
子どもが自分の意見に反対の時は理由も説明すること		37.1%
子どもが自分らしくいられる空間があること		65.1%
その他		3.1%
無回答		6.6%

〔低学年保護者・問 49〕

回答者数=408	割合 (%)	
大人が子どもの権利について詳しく知ること		66.2%
子どもが自分の権利について詳しく知ること		48.3%
子どもが困ったときに相談しやすい環境を作ること		64.7%
子どもが自分に関係あることについて、いつでも大人に意見を言いやすい環境を作ること		62.3%
子どもが自分の意見に反対の時は理由も説明すること		36.0%
子どもが自分らしくいられる空間があること		56.9%
その他		4.4%
無回答		5.4%

5 子どもの権利を守るために、社会に求めること

【問 子どもの権利を守るために、社会に求めること】

〔就学前児童保護者・問 60〕

○子どもの権利の周知・理解について

- ・ 子どもの権利について大人も子供も周知する必要がある。
- ・ 子供に権利があることを大人がもっと知れるようなイベントとか情報があるとよい。子供も一人の人間なので大人の所有物でないことを親は認識すべき。
- ・ 子供の権利について、大人や子供が詳しく知る場をふやすこと。小学校からの手紙や市の広報などにのせるなど。
- ・ みんな赤ちゃんからスタートしてきてるわけだから全員がしっかりと子どもの権利を学ぶべきだと思う。虐待も子どもが餓死してしまうこともなくなってほしい。
- ・ 大人がまず子どもの権利について知り、子どもと共に考える機会が必要(例えば人が多く集まる所に子どもの権利条約ってなあに？と掲示をして共に目にするようにするなど)
- ・ それぞれ、ちゃんと深く考えてほしい。
- ・ まずは大人が古い考えを改ためる。
- ・ 子育てやしつけの過程で子供の権利を守れるよう、父母だけでなく、子供と接する人全て(祖父母、保育者、地域住民など)が内容について理解する必要があると感じた。
- ・ 社会全体の認知(自分も知りませんでした。)
- ・ 周知すること、知らないとどんな影響があるか
- ・ 情報を発信し、大人に理解させること。情報を全く発信できていないため。
- ・ 親になったら1回は参加とかきちんと学ぶ機会があるといいのではないか(保育つき)これだけのためには参加しづらいので、両親学級とか
- ・ 大人がまず学ぶべきだと思います。日本らしい慣習にはなじみにくいと思います。
- ・ 問 54 でも回答したが、親子ともに、もっと認知度をあげるべき。そのための授業や、説明会、講座など、親も半ば強制的に学ぶ機会を作るべき。母子手帳配布時にも、チラシ等で伝えたらどうか。市報でもよい。定期的に認識できるよう、流布してほしい。

○子どもの権利を守ることについて

- ・ 子どもの権利を守ることも大切だが、それがわがままにならないようにしていくこと。
- ・ 育つ権利のところ、学校でもしイジメにあって登校ができずに学ぶことができなくなるのはおかしいと思うので、イジメをした方を登校禁止にする(教室を分ける等)にしてほしい。学校はもっと現代に合わせてIT化してほしい。
- ・ 子どもの虐待は生きる権利、育つ権利を奪う重大な行いであるにも関わらず、これといった対策を講じていないように感じる。児童相談所の対応には限界があると分かっているが、なかなか変わらない現状に嫌気がさす。もっと法的に児童相談所の立場を強くし、一步踏み込んだ対応ができたらいいのと思う。親の責任だけでなく、社会全体で、子どもの命を軽く見ずにもっと大切にして欲しい。そのための児童相談所の機能強化と地域社会での見守り、相談支援の拡充などを求めます。
- ・ 選挙権がないから、子どもの権利は蔑ろにされていると感じる。特に政治家の方の興味は利権である。選挙に勝つ事が主眼になっているため、子どもの事は最後なのではないか。子ども食堂は子どものために、良い助けになっていると思うが、本来は国や行政が子どもを飢えさせることのないよう対策を講じる必要がある。子どもは国の宝であるのに、置き去りにされ、善意の方達の優しさを頼りにし過ぎている。もっと、自治体や国が主体的に子どもたちを守っていくべきだ。教育に投資し、先生の職場環境を整え、子ども達が飢えることがないように制度を良くしていく必要がある。
- ・ こどもを1人の人権としてみとめ、学校の先生も二人と話をきくはんきです
- ・ 大人の責任を子供に押し付けるのはやめましょう。子供は大人と比べて権利が限定的であり且つ、その少ない権利さえも知ることが出来ず奪われていると感じます。まず大人と子供の双方が我々の権利について考え、議論し、理解を深めていく活動が必要と感じます。
- ・ すべての子供に衣食住を平等に受けてほしい、給食費は国で負担してほしい。勉強の機会もうばわれないうようにしてほしい。

- ・ 学び場・遊び場への交通手段が整うこと。
- ・ 子供は親の所有物ではない ・子供は母親の付属物ではない ・子供は尊重すべき1人の人間である これらの考え方がさらに広がると嬉しい。
- ・ 多様性を認める環境、意識改革、教育
- ・ LGBT活動など、精神的に未熟な子供につけこんで性別適合手術を強要したり、周囲の大人と切り離したりするような怪しい団体を子供に近づけないでほしい。(活動家による性被害が実際にあった事件もある)そんなことよりもいじめ問題をなくすよう学校内に第三者機関を設置したり、加害者を停学、転校させられるようにしてほしい。
- ・ みんなと同じを強制しないこと
- ・ 意見を言いやすい環境はとても重要かと思う。
- ・ 皆同じが良いという考えをなくす、個性を認める、伸ばす。
- ・ 極端な理屈に基づいた権利の主張は周囲とバランスがとれなくなる。屁理屈のぶつけ合いは何も生まないので、お互いが(子どもと大人と学校など)、相手のことを思い合うことこそが大切。
- ・ 個を尊重すること
- ・ 個性を大切にあげてほしい。少しでも外と違うとこの子はおかしいと言う傾向にある気がします。
- ・ 広い視野を持ち、正しい意見よりも色んな人がいる、色んな意見があつて良い。色んな考え方をみとめあう大切さが必要なのでは？
- ・ 子どもがどんな意見を言ってもまずは受け止めて寄り添ってほしい
- ・ 子どもが安心して遊んだり学んだりできる環境
- ・ 子どもが気軽に相談できる場所があると良い。先生に相談しても、まさかの情報をもらすという信じられない対応もあるので。
- ・ 子どもが発信できる機会の充実
- ・ 子どもが犯罪や薬物の被害に巻き込まれない環境、教育が行われてほしい。
- ・ 子どもと対等に接すること。子どもの話を聞くこと 上から目線でものを言わない
- ・ 子どもの個性の尊重。挑戦・自立につながる取組を増やす。
- ・ 子どもの本音を、親が知れる仕組み(親の顔色をうかがい、がまんしている子も一定数いることが予想されるため)
- ・ 子どもは自分の所有物ではなくて1人の人間である事を考えて欲しい。
- ・ 子どもは守られるべき存在であると同時に、1人の人間であり、自己・自我を持っていることを理解する必要がある。
- ・ 子ども自身が自分の意見を表明できる機会を定期的につくる必要がある。例えば、イジメ等がおこった際にアンケートを実施するが、これを年数回、または毎月、定期的の実施することで、自分の権利が侵害された際、すみやかに回答できるようになるのではないかと。普段から、自分にどのような権利があり、つねに意見を表明できると、子ども自身が分かり、慣れていくことが、子どもの権利を守るために必要だと思います。
- ・ 子ども若者世代の声に傾聴した制度づくり。子育てに関わる人、その他地域社会にいる市民の声を聞くこと。
- ・ 子供の存在を認めること。
- ・ 子供の発言を真摯に受け取ること。子供のSOSを受け取れる場を子供に周知すること。
- ・ 自由に遊べる環境が少ない。
- ・ 実態は知らずイメージですが、小学生の放課後はみんな集団になって遊んでいるように見える。集団遊びが好きならそれでいいが、子供が様々な放課後の過ごし方ができる社会になってほしい
- ・ 助けを必要とする子供を見逃さず、サポートが行き届くような仕組み作り
- ・ 存在価値を認識してあげる 自己肯定感を育てる
- ・ 他の子どもと比べないこと。その子自身が自分自身らしくいれればいと認めることができること。周りも認めてあげること。
- ・ 多様性の教育
- ・ 対話
- ・ 大人が管理しすぎないこと 子どもを待てること。
- ・ 大人の価値観にとらわれず、その子供にとって何が1番大切で幸せなことなのか考えて、その通りに過ごせる制度や環境。
- ・ 大人の思い込みやこうであってほしいということを押し付けないこと
- ・ 大人の都合を子供に押しつけないこと (計2件)
- ・ 幼稚園や学校の先生が子供のどんな小さな意見も聞いてくださる事。

- ・ 様々な人達との出会い、関わりの中 教育
- ・ 話せる環境、変えられる環境(いじめが起きたときなど)

○子どもの権利を守るための環境について

- ・ 子どもの権利を守るために、家庭への支援や、育児制度、自営業家庭への支援を充実させていただくことが必要だと思います。子育て中の余裕のない毎日でも、子どもの権利が守られるように、学びや支援があると良いかと思っています。
- ・ 子どもの権利を守るためには、まずは保護者である親がストレスをためず、余裕のある生活を送る必要があります。そのためにはまず第一に経済的負担を減らしていただきたいです。そして子どもをもつ者、持たない者の分断を無くし、すべての大人から守られているという子どもの感覚こそが、子ども自身が自立して自分の権利についても考えるために必要だと思います。
- ・ 子どもへの権利の伝達と、相談先、逃げる先の整備。
- ・ 子供の権利を子どもがうったえ、それが実現できるようにするには何が必要か考えたことがなかったので、これを機会に少し考えてみたい。
- ・ 子供自身が権利があることを学校で教えてもらいたいです。家族に頼れない場合、他に頼れる守ってもらえることを知っておくように教えたいですし、他の場でも教えていただきたいです。
- ・ 身近なところでは給食費・公教育の授業料を無償化→保護者補助金を出すのではなく子ども本人が無料で教育を受けて、食べられる環境をつくってあげてほしい。
- ・ 戦争をしない。自然をふれやすい環境づくり。無料でおちついた雰囲気勉強がしやすい施設。(計2件)
- ・ 安全な町、子育て世代により政治、減税
- ・ 日々のニュースの中で、子どもに関する内容(虐待や犯罪など)をよく耳にします。その中で学校や施設の連携不足、人員不足が原因ともよく聞きます。家庭環境の変化もあり、学校や施設の連携もより重要となってきたので、そういった場所の問題を解決することが、子どもの権利を守るための環境の整備につながると思います。
- ・ 様々な大人と接して、学ぶ機会を増やす。親、教師以外にも、経済活動をしている専門家でも、様々な専門家から学べる機会があると良い。学校で講演したり、授業に参加する事が権利として、設置されることを望みます。(会社からクレームをうけないで、自由に参加できるように)会社勤めの人も、地域の学校に参加できる、一緒に子供を育てていく、という考えが広まるような理解をうながしたいです。
- ・ 大人が子供の権利を知る事 教える人が知らなければ、教えられる人が権利を知ることはない 大人が自分の権利を知る事 自分の権利が守られていなければ人の権利を守れることはない
- ・ 周囲の大人が、子どもの権利が守られていない時に、その状況を周囲に発信しやすい環境を作る。
- ・ 両親の長時間労働により、子どもが充分休み(早く寝る)、遊ぶ権利が侵害されていると感じます。労働者が企業や社会に対して働きかけるとともに、国や自治体が企業により強く長時間労働への規制をかけることを期待します。
- ・ 大人の気持ち、時間、経済的にも余裕がないと、子どもの権利を軽視しがちになってしまうと思う。余裕を持てるような制度の見直しをお願いしたい。
- ・ 国は子育ての控除をなくすばかり、貧困が大きな課題ですし、増税しすぎで子供がふえるわけがないです。個人より国や自治体で経済的支援を！経済に余裕がないと心にも余裕がなくなると思います。国立は地域活動をする大人が多くすばらしいです。国立がモデルケースになって日本を変えていけるといいですね。子供3人分の調査票が届きましたが、こちらでまとめます。同居なら世帯1通でいいのでは？
- ・ ひとり親家庭、低所得世帯、ヤングケアラーをフォローする制度
- ・ 物価高など値上げもすごいので、親も子どもと関わり育児をもっとしたくても仕事をしなければ教育費等を用意することはできません。共働きで育児休業が男女とれたとしてもそれ以降近くにすぐ預ってくれる人、施設がなければどちらか片方が継続することはできません。妊娠するタイミングも考えなければならない等…。子どもの権利を守ることは絶対しなければいけないことですが、それを守れるようにまず大人の環境や制度(例えば片親の方へのサポートなど)の充実をはかってほしいです。
- ・ 子どもと子育て世帯に寛容な世の中になってほしい(子育て世帯ばかりズルいとか、公共交通機関でのベビーカーゾーンを譲ってもらえないとか、冷遇されている感を子どもに味合わせないでほしい)
- ・ 社会全体でワークライフバランスについて考えること。(子育て世帯に限らずですが…)・子どもの教育や緊急時(けが、病気、あるいはいじめなどトラブル)に地域全体でとりくんでいくこと
- ・ 大人の半分のポイントでもいいので、参政権が引き下げられれば彼ら彼女らの意見が多少なりとも社会に反映されるのではと考えます。・もしくは代わりに彼ら彼女らの意見を収集し議会での議論にまであげていくことができる試

みも、アイデアとしてはあります。・「どうせ無理」と可能性をつぶすような発言する先生はいなくなっほしいです。
(親の体験ですので、今の先生たちは違うかもしれませんが・・・)

- ・ あそび心のある大人をふやす
- ・ アメリカみたいに、もっと法律を充実させた方がいいかなあと思います。例えば、子ども一人・・・せたい、やっぱり、毎・・・親からいじられて、亡くなった子どものニュースを見て、心が痛いです。
- ・ 共有共感の場が必要である。個人保護もあるが、子供も権利を早目に知る必要があり、容易相談できる環境が周知されるべきかと思う。
- ・ みんなで見守り、変なことがあれば言いやすいようにすること
- ・ 意識改革
- ・ 何も分からない子どもが何か不便を感じた時に、周りに助けを求めても良いことを知れるようにしてほしい。
- ・ 家族以外にも、相談できる、信頼できる存在が1人でも多くいてほしい。そのためには、それぞれの立場でいろんなところに居場所があるのが理想だと思う。
- ・ 家庭に、まかせきりにせず、地域ぐるみ、参加利用施設の様子は発信にも、着目して、早い段階で、手をさしのべられる体制づくりをする事が大事。我が子だけでなく、友達の友達、地域のいつも見ている他人でも、気がつく事があれば、子どもたちと会話(あいさつでも良いので)して、地域で、子育てをしていく姿勢を大切にしてほしい。親だけでは負担となり、少子化はとどまる気はしない。子は国の宝など言うならば、もっと子育てしやすい、保障の充実を感じる事ができれば未来子どもたちも親になりたいと思うでしょう。
- ・ 家庭の事情に関わらず平等に教育や様々な経験をつめる環境 犯罪から子供を守る制度の強化
- ・ 家庭中保育中について特に母親や父親のメンタル状態は育児に直けつすると思います。なのでメンタルケアなどを行うことは必要なのかと思います。
- ・ 学校についていい教員がメンタル疾患で休職が多いというニュースを良く聞きます。大人が疲れていては子供が安心して学ぶ事ができないでしょう。1教員30人近くの児童を見るという従来の学校制度は根本的に見直しが必要だと思います。
- ・ 学校になじめなくてもいられる場所づくり、たくさんの職業にふれあえる機会があつたらうれしい。どんな子供でもその子らしくいられるよう支援できる社会づくりができれば理想です。
- ・ 寛容な心を持つこと(余裕のある人になること)そのためにはみんなが満たされた生活環境にあることが望ましい
- ・ 間違った意見かも知れないものでも一度は口にしてみる事が出来る大人側の度量、教師の教え方、考え方の多様性(=面白み)、ユーモアをとり入れたコミュニケーション。など
- ・ 孤立している子供や親を作らないように配りよする取組。そのような状況に出くわしてもなかなか個人では手を差し伸べられないのが現状。親はわざとコミュニケーションをさける人もいるので子供に影響がでないか心配な時もある。
- ・ 今、世界で起きている戦争のニュースを見るたびに戦地の子ども達の事を考え、悲しい気持ちになります。子ども達は何の罪もなく、大人の事情に巻き込まれていることがとてもつらいです。子どもが安心して生活できる状況を守るためには大人や社会の影響が大きいので、大人の意識向上(次世代を社会で育成することについて)の機会や気運醸成などがあるといいなと思いました。←政治的な子育ての経済支援による世の中の分断ではなく意識的なことについてです。自分が子どもを産んで、改めて考えるようになりました。
- ・ 今の子育てしている人たちにとって何を必要としているかをもっと知ろうとして欲しい。
- ・ 子どもが自分の頭で考えて発言や行動を起こせるような教育環境を整えてもらいたい。(国立市は子育て支援が充実していてとてもありがたいです。)私自身が自己肯定感が低く、子どもの自己肯定感を高めるように接してあげるのには限度があるため、そうしたサポート(環境や施設、イベント等)があると助かります。
- ・ 子どもが自由に意見を言える場があること。こども市議会を作って、意見交換をしたり、海外姉妹都市や近隣都市の子どもと意見交換ができる仕組みを作ること。場の設定さえあれば、あとは運用しながら軌道修正をすれば良いと思います。
- ・ 子どもをちゃんと見るゆとりをもつこと。
- ・ 子どもを見守れる環境
- ・ 子どもを子ども扱いはするのではなく、一人の人間として尊重する。子どもの声を聞く、聞ける環境を作る。
- ・ 子ども自身からSOSを寄せられる場、大人がSOSをみつけだしてあげられる仕組み。
- ・ 子育てをする(母親、父親)が独立したり、孤独感を感じないようにするサポートやしきみが必要それが子供を守ることにつながる。
- ・ 寝る時間を確保して下さい。(特に大人が)「働きすぎ」だと、止めて下さい。「いつでも頼れる」は、時として制度

が崩壊すると思います。色んな職種がいると思いますが、最低限の睡眠を。大人も7~8時間

- ・ 親以外に子どもが話をしやすい大人ができるような関係づくりのサポート
- ・ 大人の余裕の確保 睡眠時間の確保
- ・ 保護者が余裕を持った働き方ができること。それでも不安のない収入が得られること。学校の先生方が子どもに寄り添う余裕のある働き方ができること。子どもの権利とは何なのか、大人が正しく理解すること。

○制度や支援について

- ・ 経済的支援 子育て支援の充実
- ・ 子ども支援にアクセスする時の手軽さ。

○その他、全般について

- ・ 「子どもの権利」というのは市は何で発信していますか？市民に周知しようとしていますか？認知度は？形だけ作っても認知されず、実行されていなければ意味がありません。そのまゝに、市にあるだれも使っていない公園を整備してください。雑草だらけの公園(小さな)が多く、ムダです。
- ・ お金を配るよりも給食費、教育費(0~2才児含め)を無料にしてほしい。そうすればみんな差が出ない。第2子を考えているが、1年同じ職場で働いていないと、育休がないので、子を作れない。(第1子の保育園が退園になってしまう為) 出産費用を無料にしてほしい。
- ・ 広くて自由に遊べる場がほしい。賃料が高いので、支援してほしい。
- ・ 子どもに関わる仕事の給料を上げて、倍率を上げて、いい人が採用できるようにする。・虐待かな？と思ったときに、どこへ連絡すればいいか知りたい。・子育てしせつでは、スマホを使えなくてもいいと思う。
- ・ 学校における画一的なあり方を、多様性にかかれたものにした。たとえば、小学校の通学カバンを「ランドセル指定」ではなく、リュック等も選択させてほしい。ランドセルは高価で重く、身体への負担も大きい。今は軽く丈夫で高機能・低価格なランドセル型リュックもある。子どもにとって使いやすく、身体に合った負担の少ない鞆を使わせてあげたい。このようなささやかな一歩から、子ども中心の制度設計を求めるまなざしを涵養したい。
- ・ 学校における画一的なあり方を、多様性にかかれたものにした。たとえば、小学校の通学カバンを「ランドセル指定」ではなく、リュック等も選択させてほしい。ランドセルは高価で重く、身体への負担も大きい。今は軽く丈夫で高機能・低価格なランドセル型リュックもある。子どもにとって使いやすく、身体に合った負担の少ない鞆を使わせてあげたい。このようなささやかな一歩から、子ども中心の制度設計を求めるまなざしを涵養したい。
- ・ 子育ては家庭が責任を持つものという考えではなく、経済的な面も含めて家庭の責任が減り、社会全体で育てていくことがあたり前になってほしい。特に母親への責任が大きすぎる。一人親家庭ですが、すごく私一人で育てている感覚です。自己責任という世の中だと感じます。
- ・ オムツ配達をすることで、ギャクタイや家庭暴力の有無をチェック。相談声かけ。駅前からの保育送迎サービス。(各エリアごと)
- ・ 子供を温かく見守る。子供の事、育児を子供のいない大人も理解する。理不尽に子供や、親のしている事を制するのをやめてもらう為、必要な条例を制定する。
- ・ いろいろな立場から見た平等な空間。おとなしめだと、先生は強い子、立場が弱い子ばかりに目がいつてるように感じる。まじめにおとなしい子まで目がまわっていない。
- ・ インクルーシブ教育
- ・ 国立市に対しては、ない
- ・ こどもに寛容になって欲しい。電車で泣いても嫌な顔をしないで欲しいし 駄々をこねて地面に寝転んでいても酷い親だなという目線で見ないで欲しい。
- ・ 地域で子どもを育てたい。近所の人に子どもの存在を知ってほしい。見守ってほしい。子育て支援を充実させてほしい。子育てにかかるお金の支援をしてほしい。親同士がかかわれる場を増やしてほしい。
- ・ 直接的に知っているわけではないが、虐待や面前 DV に関する事例が後を絶たないことは、心が痛みます。行政や地域でまずそのような環境から子どもを救い出す方策を考えてほしい。親の問題に子供は巻き込まれるべきではないと思います。
- ・ デジタル活用をしながら、子供の安全や、何かあった際の警察や市役所、各施設の連携、(子供の犯罪、虐待、いじめ等)強化してほしい。
- ・ のびのびと過ごし、子ども大人も助け合える仲間がいる環境作り。見守りや防犯対策 地域のことについて知る機会や、体験や交流

- ・ ふらっと寄れる場があることはとても大切だと思う。
- ・ まずは自分が育ってきた時代とは違うと大人全体が自覚すること。親へ育児を学ばせるだけでなく、社会全体が、子どもという生命について学ぶことが大事。子どもの言動一つ取っても、心理学・医学的な知見から冷静に判断できる社会であってほしい。たかだか数十年前に生まれた一個人の大人の経験や勘で、子ども全員を一派一絡げに扱わないでほしい。目の前のマイナス事象に固執せず、長期目線で子どもの成長のために関われる大人の存在が必要。個人の自由を尊重し、自主自律できるよう温かく、まずは守ること。守られて安心した中で育つことが、人格形成には何よりも大切。幼児期ではこれらを尊重しようと意識されているが、学童期以降になると一気に「教師は子どもよりも偉い」と押し付けられ、刷り込まれがちである。子どもと大人の間に距離がある。国立市内の公立学校は特に、その雰囲気強い。それが子どもを潰している。ちっぽけな枠の中でちんまり扱いやすく収まることに大人が安心している。出る杭に心を躍らせる余裕ある大人が少ない。 国立市には国・都・私立学校、名だたる塾もある。狭い国立市役所、教育委員会だけで「子どもの権利」について考えるのではなく、各先生方を勉強会にお招きし、子どもや保護者との関わり方、各校の取り組みを定期的に学ばせていただいてはいかがか。文教地区と言われる名前を下げさせてもらえるのも、市内の国・都・私立学校、塾のお陰であるところが大きいのではないかな。少なくとも、市外の方が国立市=文教地区と聞いて想像するのは、それらの国立市とは関係ない教育施設のことである。 まずは国立市役所と教育委員会が、新しい風や厳しい意見を受け入れ、古臭く淀んだ馴れ合いの空気を刷新していくことを求めたい。 そのための今回の調査だと思い、途中抜けているところもあるが、誠意を込めてお答えしてきた。大いに期待しています。
- ・ 安全な道路整備
- ・ 育児に興味関心がある人でさえ、虐待をしていることに気付いてない事がある。放置子等意外と通報できていないし、義務があることも認知されていない。
- ・ 押しつけず、話をよくきく、やってみさせる。など、子供が、思っている事、考えた事を大切に、自分も考える。子供の声をそのままきいてあげられる社会であってほしいです。個人面談も、親とやるだけでなく、子供ともやっただいと思えます。
- ・ 学校の環境をもっとよくして下さい。トラブルが学校側とあっても相談する窓口がわからなかった 教育委員のページをみてもどれにあたるのかまったくわからない 先生方の対応の問題こそ 子供の権利を守る事だと思う すぐに対応したり相談できる(学校に対しても)窓口を明確にして下さい 周りに教育委員にいてもかわらないよという意見が本当に多かったのが残念です。
- ・ 学校以外の居場所、選択肢
- ・ 環境整備、充実。 公園等遊び場、拡充。
- ・ 公園でボールなどが禁止で子どもは守っているのに、タバコを吸う人がいることがある。路上喫煙も同じ。大人にもルールを徹底してもらいたい。
- ・ 公園で煙草を吸わないでほしい
- ・ 公園の整備
- ・ 高齢の人が権利をふりかざさないこと。市の財源も教育にかかる予算が低いと思います。将来をみすえた制度を求めます。
- ・ 国立駅の辺、子供が遊ぶ場所はゼロです。家の近くの公園施設は古くて土だらけで、子供の服は 5 分くらい汚れる。 たまに国立でイベントが行われますが、うちの 3 歳子供は少し音をして、よく周りのじじ、ばばに文句や睨まれる。
- ・ 子ども(子育て)について寛容になること、地域全体で理解を深めること。(計3件)
- ・ 子ども(子連れ)にもう少し寛容な世の中であってほしい。外出するにも、他人の目を気にして疲れる。
- ・ 子どもたち、子育て世代の話をきき、環境をつくっていくこと。 これをかく時間があれば子どもに本3冊はよめます。その時間を大切にしたいです。時間もないので今後選ばないでいただきたい
- ・ 子どもと接する仕事につく人の選び方を、厳しくしてほしい。(前からいたのですが、最近子どもに対して教員などの性暴力などのニュースが多い為)
- ・ 子どもに対しての不寛容を変える取り組み
- ・ 子どもの見本となれる大人でいてほしいです。
- ・ 子どもはこれからの社会をつくる大切な存在としてあたたかい目で見守ることを望みます。
- ・ 子どもを 1 人の人間としてコミュニケーションとっていきたい。 興味のあることに挑戦させたい。 社会に出ていくために、現状良いことも悪いことも“見せ”“体験”して吸収して行ってほしい。

- ・ 子どもをとり巻く環境や地域、制度が温かいものでありますように。目指すところはそうゆうことであってほしいです。
- ・ 子どもを一人の人格として認め、社会全体で育てる意識をもってほしい。（計 2 件）
- ・ 子どもを大切に思う気持ち（計 2 件）
- ・ 子ども関連の部署に優秀な人を配属するような風土 保育などのケア労働の重要性の見直し（家事含め）
- ・ 子ども自身の発言を大切にすることはもちろん必要で、おとなと同じように権利が大切にされるべきです。一方で、子どもはやはり大人とは違い、狭い世界しか知らなかったり、上手に表現できないこともあるので、子ども発信を頼るのではなく、大人が先に守ることも必要だと感じます。子どもが危険にならない環境(保育園等での虐待防止、公衆トイレ等での犯罪防止)、のびのび表現できる環境(住環境、親との時間確保、活動できる場所)をつくっていかねればと思います。また小さい子に関しては、自我が確立する時期で泣いたり怒ったり、時には叫んだり大声で笑ったりしながら成長していくのだと感じます。ぜひ、あたたかい目で見守っていただきたいです。(どうしても子供に「小さい声で！近所迷惑だよ！」とおさえこませてしまいがちになります、地域の方に怒られるのが怖くて…
- ・ 子育てをしていて、自転車走行をしていると(子供をのせていたり)年配の方から注意をうけることがあり(3 人乗りは危ない etc)、こちらとしてもできる限りの努力はしている(シートベルトやヘルメットをつけたり)その上で、走行しているのに、親が他人に注意されている姿を見て、子供はこわがる。といった経験を今年になり 3 度程しました。あたたかい言葉をかけて下さる方もいますが、理解に欠け、傷つけられる言葉もかけられると、親子共に生きづらい世の中だなと感じます。大人 1 人でも多く、子育て世代にあたたかい目で見守ってほしいと思います。
- ・ 子育て世帯が見かけ上優遇されていると見られる政策は、子どもを敵視する人が増えるのでやめてほしい。みんな一律で平等と感じる社会が理想的。
- ・ 子育て世代ではない周りの人達の理解
- ・ 子育て世代として親の年齢をくぎっていること、年をとってから出来た子へのサポートうすい
- ・ 子育て世代を温かく見守る。
- ・ 子供が健康でいられる為には、温暖化対策や環境破壊に早急に対策をとって欲しい。
- ・ 子供が子供らしく遊べる場所や子供の言動について、子がいない世帯、お年寄りなど理解して見守ってほしい。(クレーム等言わずどの年代でも住みやすい環境作り)
- ・ 子供が病気になった時自宅で療養でき親が見れる制度が欲しい。有給休暇ではなく、子の看護の日程を無限にして欲しい。1 日は 24 時間しかない母親の負担を少なくする為に、フルタイムの雇用のまま小学校 3 年まで週 3 から 4 勤務にして、子育て時間を与えてあげて。仕事だけではなく家事代行などを利用したら補助金を出してサポートする。楽家事家電(食洗機や洗濯乾燥機など)の購入援助とか 3 人子供を産み育てた母親には、金銭的な援助をどんな収入の人にもあげる。子供の権利を守る為には母親の自由な時間を与える必要がある。1 日の時間は母親だけ増える訳ではない事を頭に入れて考えるべきだと思う。
- ・ 子供に優しく。うるさくても、騒いでも、寛容でいられるような環境、地域が必要。もちろん自分自身も。
- ・ 子供の世界は狭いと思います。両親、家庭、学校、地域からの影響は大きく、その範囲の中で、大人へと成長していく準備をしているかと思います。その中で子供が選択して行動をおこしたり、ふれあったりする際にはなるべく豊かで、安心で、多様な世界を知る事ができて、守られていると感じられる社会環境であってほしいと願います。そして大人になった際にはそれを軸に広い世界ではばたいてほしいです。・国立駅南口にできる子育て支援施設ができる事を、とっても楽しみにしています！！
- ・ 子供の本質を周囲の人がもう少し理解して見守ってほしい。泣くのも騒ぐのも誰もが経験する当然の権利なのでクレームいれたり、嫌な顔せずにそれが当たり前と理解してほしい。
- ・ 子供は社会の宝であるからこそ皆で育てていく意識を持つことと、温かい目で見守ることが大事だと思います。
- ・ 子供を育てやすい環境を社会が積極的に介入して作りあげて欲しい
- ・ 子供を一つの主体として対等の立場で接するように行動すること。またはけいもうすること。
- ・ 子供を一人の人間として扱う社会的な考え方の推進
- ・ 思いやりの精神 地域の協力体制
- ・ 支配しようとする環境。特に学校教育に関し、進歩、改革が必須と感じます。
- ・ 事故で亡くなる子どもが出ないよう、道路整備は徹底してほしい。車を運転している時も、危ないと感じる道は多々ある。
- ・ 児相の職員の人員確保と待遇の向上。
- ・ 児童福祉法などの子どもに関する法律の一部改正。ネグレクトの場合、親の同意を得ないと強制的に保護ができない。

- ・自分の気持ちを他者に発信することを小さいうちから身につけさせることが重要だと思う。そのような環境を保育所、小学校等で積極的につくっていくべきだと思う
- ・自分を含めた大人の側が正しくあるよう、地域や自治体が発信を強めていくこと。
- ・社会、地域全体で子どもを守っていかなくてはならないと思う。
- ・社会みんなで守りましょう。
- ・小さい子が安全に住める環境にしたい。犯罪が起きない、巻きこまれない、自衛もできるよう大人も子どもも学べるとよい。
- ・少数の意見、多様な考えを受け入れる土俵が大切だと思います。国立市民は、多様な価値感を受け入れて、それを市民活動として、実行していく人が多い気がします。国立市役所も、多様な人を受け入れる街作りをさらに進めて頂ければと思います。
- ・精神的、身体的に未発達の状態なので、道路ですれ違う地域の方には温かい目で見してほしい。(迷惑そうな顔をするのではなく)でないと、親も子も追いつめられてしまう。大人も精神的に成熟すること。(自分も含め、ですが)
- ・大人が子どもを子供だからと下にみないで、貴重な意見として捉えるよう変わるべき。かわいいと思う以外で、にやにやしながら子どもの話を聞くような姿勢はなくなってほしい。
- ・大人から子どもへの犯罪のニュースをよく目にするようになった。今の制度ではそういう時の罰則が甘すぎると思うし、それでは犯罪の抑止力が弱いと思う。早めに制度を改めるべきと思う。
- ・大人が皆、あたたかい目線で子供を見守ることができたら…と切に思います。見守れない大人への教育・勉強会があれば良いと思います。
- ・大人が見本となって教えてく、正しく。
- ・大人のルールで子どもの柔軟な思いや考えを潰さずに一緒に考え、どうすればそれが叶うか、考える。対話が出来たら良いと思います。大人が子どもの監視にならない様な地域に！
- ・大人は、もっとおおらかに子供を見守って頂けると嬉しいです。また、保護者も子供に社会のルールを教え育てて行く必要もあると思っております。
- ・地域で子どもの成長を楽しめる環境。楽しむためには大人が余力をもって過ごせる生活を送れる社会。
- ・地域の子どもたちを見守る温かい関係性
- ・地域の人と交流があり、子供を見守られてると感じるの、そういうことを促すような環境が近くにあると良い。矢川プラスのような、色んな世代が集まる場所というのは、とても良いと思う。
- ・地域一体となった子育てへの協力体制
- ・地域全体でのサポート・その意識の醸成
- ・地域全体での子ども育て。家庭内だけでは、難しい。
- ・地域全体で子どもを見守れるような雰囲気・仕組み作り
- ・通学路で、道が狭い所ある。国立三中与甲州街道をつなぐ石神道でやっと朝スクールゾーンになった。ただ、午後下校時間後は、学童の子達は、帰りあぶないなと思う。一方通行とかもっと安全な対策をしてほしいと思った。
- ・定期的な親と子、両方のカウンセリングをする場を設ける、そういったカウンセラーを育てる、カウンセリングの結果に対応する機関をつくるといいと思います。
- ・日本ユニセフの活動により策定するのでしょうか。まず日本語がおかしいので、これに基づくにしても疑問が多数あって、よくわかりません。ただ、国立市が子供を第一に考える活動としてはいいと思います。
- ・日本ユニセフ協会の廃止が肝要 「こうすれば正しい」という価値観の押し付けはやめろ！子どもと親の分断を引き起こすのをやめろ！子どもが「自分の意見」をもっているなど言えるのか？そういう馬鹿げた発想を広げるな！未熟なのに「自分の意見」などあるわけなからう。洗脳も大概にしろ！
- ・夫婦別居でひとり親で子供 2 人を育てているが、相手方が離婚に応じず、離婚調停不成立。制度の様々なところで、4 人家族とされているため、ひとり親でも児童育成手当等をもらえない、ひとり親控除がされない、ひとり親のイベントに参加できない等、ひとり親の子供として受けるべきフォローが受けられないのが不平等だなと感じます。
- ・聞いた大人が、報告する機関があること
- ・平等。
- ・保育・教育現場に余裕ある人員を配置する。子どもが自由に遊ぶための広い公園(ボールあそびやおにごっこ等も可能な)、できれば交番の隣。
- ・保育園・幼稚園での相談がしやすい場所・匿名相談ができること。
- ・歩道は自転車を走らせないで欲しい

- ・ 有権者は未来を見すえた投票をすること 政治家は未来を見すえた政策を打つこと
- ・ 有権者全体が未来を見すえて投票すること 政治家が未来を見すえた政策を打つこと
- ・ 余裕のある社会。暮らし。そのために、市政に携わる方には、もっと地域住民の声を聞いてもらいたいし、地域のことを見てほしい。
- ・ 余裕を持つ。
- ・ 路上喫煙は禁止してほしいです。子どもたちにとって危ないし副流煙の被害が心配です。他のストレス解消法で対応できるよう、大人に地域全体ですすめて、健康的にすごせるよう意識を高めてほしいです。
- ・ 子育て支援は充実していると感じています。ありがたいと日々感じております。深く感謝しています。
- ・ 特になし。(計3件)

〔低学年小学生保護者・問 50〕

○子どもの権利の周知・理解について

- ・ 条約の内容把握と、もっと噛みくだいた説明を行政で行うべき。私自身あまり分かっていないので、細かくした説明が欲しいです。
- ・ 子どもの権利と、子どものしつけの基準が人それぞれだと思います。子どもが苦手な食べ物があって、それを『一口だけ食べてみたら？』と声をかけるのを不適切と言う方もいれば、一口食べてみたら子どもが好きな味だと思ってくれるかもしれないと子どものためを思っている声かけでもあると思います。子どもの好き嫌いを全て聞いていると栄養バランスも悪くなると思いますし。どこまで、子どもの権利として保証するのか、多くの方が共通の認識になればいいと思います。
- ・ 子どもの権利を守る大切さを、しっかり大人が理解すること
- ・ 子どもの権利を大人に知らせるようにする。大人に理解させる社会をつくる。
- ・ 権利条約は聞いたことあるかもしれないが、知らなかった。あたり前のことではあるが、少しずつ知られるように広めてもらえると浸透するかもしれない
- ・ 子供の人権についてもっと周知活動を強化してもらいたいです。
- ・ 社会全体が子供の権利を理解する必要がある。、
- ・ 人権理解
- ・ 大人も子ども自身も子どもの権利について十分理解することが大事。
- ・ 間違った権利の主張をする大人が増えているように感じます。(ニュースになった、子どもたちが公園で遊んでいる声が騒音と主張する人など)我々大人は権利を正しく理解し、節度を守り、周りに優しく接する、そんな環境を地域で作っていくことが、子どもの権利を守ることにつながるのではないのかなと思いました。
- ・ 子どもが自身のもつ権利を知り、それを生かせるように学校の行事の一つに組みこむこと。(中学、高校でも)大人も知識として持っておく為に、免許取得時や家をかりるときなど子育てに関係のない人々でも知ることができる機会に子供の権利について説明をうけるようにする等。
- ・ こっちでしたね…大人も常にアップデートできるように情報が気軽にわかるとありがたいです。
- ・ 教育(子供に対しては学校で)教育(大人に対しては、広報紙などでの周知)
- ・ 子供の教育(学校教育) 大人への周知(広報紙 etc)
- ・ 子供はもちろんだが、その関係者(保護者や保育や教育にかかわる方等)についても良く考えてほしい。
- ・ 周知しやすいポスターなど。
- ・ 例えば幼稚園、保育園、学校においてしていいことと悪いことを明白にするガイドライン、具体例、それに関しての勉強会があると良いと思う。

○子どもの権利を守ることについて

- ・ 権利が守られていない子供の救済・支援 守るべき道徳・倫理観の教育
- ・ 育つ権利が大人によって支配されているような気がします。親が与えられるもの・ことの多い家庭、少ない家庭にかかわらず、子供が自分の意志でえらびとれる社会になるとよいと思います。
- ・ 誰もがその権利を持っていることを知ること 守られること、守ることを意識し、安心して過ごせることを求めます
- ・ 子どもたちの権利を学校で教え、子どもたちが自分の意見を言いやすい環境を作っていけるといいと思います。いくつもの窓口を持つことで、一人でも助けてあげられる子どもがでてくるのではないかと思います。また、権利が侵害

されているときには、速やかに子どもを守る行動にでられる大人でありたいと思います。

- ・ 子どもの意見をきちんと傾聴して話を聞き、子どもの意見を大切にすること、また、子どもが何か困ったことがあればすぐに相談しやすい環境があると良いと思います。
- ・ 子どもの意見を尊重したい。嫌がることや大人の言うことを聞かない場合でも何か必ず理由があると思うので、できる限り子供の言葉に耳を傾けたい。
- ・ 子どもの声、考えていること、を大切にすること、真剣に聞くこと。
- ・ 子どもが意見することを許せる大人が増えること。何かを決める時に子どもに意見を聞くという習慣のある大人が増えること。子どもがお年玉などでもらったお金を勝手に取り上げて管理しないこと(本人の了解があれば良い)
- ・ 「子どもだから」という発想を捨て、子どもの声に向き合うこと。
- ・ 子どもは障害を持っています。その個性や、楽しもうとする気持ちを尊重して欲しい。たとえ理解は出来なくとも、尊重することは出来るはずで。
- ・ のびのびと過ごせる環境
- ・ マイノリティーへの理解
- ・ 何事も決めつけず、柔軟な思考をもった大人が一人でも多くいることが子どもの権利を守るためには必要だと思う。子どもたち一人一人は可能性に満ちているが、それを活かそうとしていないのは大人側に新しい知識や理解が足りなかったりして子どもの権利をないがしろにしているからだと思う。
- ・ 学校の先生方が忙しそうで、給食時間が短くなったりと、忙しい感じがします。内情が分からないのですが、もう少し人員が増えたら良いのか、行事ごとを無理に行わないのがいいのか…食べることは大事なことだと思うので給食時間をちゃんととることは、子どもの権利かと思います。あと、子供がボール遊びなど常識の範囲で遊ぶことは育ちの中で権利だと思い、社会も寛容であって欲しいと思います。
- ・ 学校や家庭以外にも居場所があり、様々な考えの人と接する機会があると良いと思います。子供の世界を広げてあげること、逃げ場があること、安心できる場所は多ければ多い程良いと思うので。
- ・ 固定観念やこれまでの一般常識にとらわれない事、他者にそれをおしつけないこと、相手を尊重すること
- ・ 互いが互いを認め合える(許し合える 尊重し合える 環境で育ってもらいたい。
- ・ 子どもが親や先生、大人に言いたい事を言ってもいいと思わせること。いしゅくさせない事。自由に話したり、意見を言えるように教育したい。ネットなどでなく口、言葉で！！
- ・ 子どもたちが自分自身の力で生きていけるようにサポートすること。
- ・ 子どもの個性の尊重 挑戦、自立につながる取組を増やす。
- ・ 子どもは大人の所有物ではないと思ってほしい。子ども一人一人に個性があり、特長的なことがあってもレッテルを貼らないでほしい。
- ・ 子どもを1人の人間として扱い、目指す大人像を示すこと。
- ・ 子ども議会など、子どもたちが意見表明できる場を作る
- ・ 子ども達の選択肢を狭めず、自分達で選んで生きていけるよう、大人が協力して行動していきたい。
- ・ 子供が思い切り運動できる環境を作って欲しいです。
- ・ 思い込み等で判断せず、子供の声に素直に耳を傾けること。地域全体で子供を見守っているということが子供に伝わっている環境。
- ・ 大人の意見を押し付けない。

○子どもの権利を守るための環境について

- ・ 子どもの権利を守る体制を確保すること。志はあっても、人的資源が確保されずに理想だけを進めると、現場は疲弊し、理想と現実の乖離が起こると思う。
- ・ 権利が守られていない具体的場面を共有→改善していくこと 権利が守られている具体的な取り組みを共有→実践していくこと。
- ・ 権利を守られずに大人になった元・子どもにも認識を改める機会や反省につながるように大人へのケアも考えてくれるような環境が広まればと思います。
- ・ 大人にもゆとりのある環境。
- ・ 大人のサポート
- ・ 大人も子どもも知り行動にうつせるよう、余白のゆとりがあるとよいと思う
- ・ 両親が働けるように長時間の預かりを充実させるのは大人にとっては良いことですが、子どもは家族と過ごす時間を奪われていると思います。親は休みが少なく、子どもにゆとり向かい合うことも大変です。預け先とともに、短時

間勤務や休みやすいなど、職場環境を充実させることが必須だと思います。

○制度や支援について

- ・ 差別禁止関連法制のさらなる充実
- ・ 経済的な理由で進学先が狭まってしまう事が無いよう、低所得者に対して経済的な支援があると良いと思う。
- ・ カウンセリング(無料)が気軽に出来る場が欲しいです。

○その他、全般について

- ・ 国立市が「子ども基本条例」の策定を進めることは、素晴らしいことだと思います。まずは、大人が「子どもの権利」について理解すること。(子どもの権利条約は学校の先生でもご存知ない方がいらっしゃいます。)同時に子ども自身にも「子どもの権利」について理解を促すことが大切だと思います。また、当事者(子ども)の意見を聞くことが求められますが、どうしたら、子どもの意見を吸い上げられるでしょうか？学校に協力依頼をすることが一番早いと思いますが、(多少、大人のフィルターや学校という場面影響が出そうなので)児童館など子どもが集まる場所を複数準備して、子どもが意見を言える場を作れるといいと思います。
- ・ 生存権のための年少扶養控除を返してほしい 子どもが生きやすく、自分らしくすごせる場を増やしてほしい 親の就労の状態に左右されず、適切な支援を受けられる環境を整えてほしい
- ・ 信じられない程の少子化をこのまま放っておけばいずれ社会はたちゆかなくなります。まず、子どもへの政策を具体的にどうするか。貧困や虐待に大人がしっかり対応すれば子ども自身の権利に対する認知も変わるはずですが、政策を具体的にするためにはたくさんの意見が必要です。たくさんの意見を集めるためには関心が必要です。国の、都の、市の今後のために絶対に投票(関心)が必要です。国立市の投票率上げましょう！！みんなで参加できる国立の子ども政策施策やって下さい！！お願いします！！
- ・ 今後 20 年の人口動態を思うと、子供たちが働き始めた後の経済負担が心配です。無駄な医療費の削減、社会保障の不均衡は正に本気で取り組んでいただきたいです。
- ・ 収入格差で、子供に悲しい気持ちにさせたくない。子どもが、あの子はこうなのに、私は出来ないと思った時点で、権利は守られていない。収入格差が原因で、学ぶ権利をうばわないでほしい。
- ・ 1人1人を尊重する。給食費、バス代の無償化。体を動かして遊べる公園。(ボールなど OK)
- ・ 他人の子供にも関心を持つこと。メリハリをつけた経済的支援(本当に困っている家庭に絞ったサポート)。
- ・ 安全に配慮した上で子どもにとってより良い環境について大人が考える場。子どもだけで考えるのではなく、共に考える社会。
- ・ 子どもの相談ダイヤルなどは、子どもにとってハードルが高い。(知らない人に話せない子もいる。)先生や親がいつでも相談に乗ってくれる、関係と時間の確保が大切。ルールと主張の線引きが明確に分かるように、子どもたちに指導できる環境。社会のルールを守らない、わがままを「主張」として、意見を通す、子どもも大人もいることは、事実。“権利”や“自由”は“社会のルール”と“義務”を負った上でみとめられることをしっかり子どものうちから学べる環境を作ってほしい。
- ・ 1人1人が伸び伸び成長できるような環境 公園や、教育内容、公立中学の内申点制度など、これからの未来を考えて、子供の意見を聞いて、作って行って欲しいです。大人も学ぶ機会を持って自分ごととして考えていくべきです。
- ・ 子どもはうるさくすることもある。手をかけて育てる必要があることを周りの大人が理解すべき。
- ・ これを書く(回答)こともじゃまされるくらい、預かってくれる人がいない、環境づくりを希みます。
- ・ のびのびと子ども時代を送れる社会が理想ですが、現実には進路や受験勉強など綺麗事だけでは済まないのが残念です。
- ・ まずは大人がきちんとあいさつをすることが大切ではと思う ファミリーサポートは本当に困っている核家族によりそえる体制を考えてほしい、養育者が相談できる場がない
- ・ まず政治家の皆様自身がどのように育てられたのか振り返って頂きたいです。きっとお母様またはお手伝いさんが自宅にいて、家の環境を整えてくれた人がいて、基本的な生活ができていたのではないのでしょうか。また学歴をつけるために家庭教師や塾に行っていたのではないのでしょうか。国力をあげるためには、子どもの環境を整えて、教育の水準をあげることが不可欠です。とりえず保育園のハコを作ってあずけさせれば良いというものではありません。そこでどのようにすごすかが今後の成長に大きくかわってきます。なので子どもの権利を守るためには子どもの日常生活を責任をもってみることでできる人が必要です。お金の為にお母さんが働きにでると、子どもは安心してすごせないし困ってることをいえません。教育費を税金でだしてほしいです。
- ・ もっと子どもたちを見守って欲しい。

- ・ 夏に公園で水あそびをしていたら、明らかに家族でない男性が子供たちの水着姿を写真におさめていた。不審者のいるせいで水あそびにも、普段の公園あそびでもピリピリしながら親も見守るのがなかなかつらい時もあった。自分の子も含め、子供が安心して外で遊べるような社会になってほしい。
- ・ 家族のあり方は多様化しており、子供がいる家庭ばかりではないので、社会全体がそれぞれのライフスタイルのあり方に広く理解を示し、その上で、子供の成長を社会全体で見守っていけるようになることが理想的だと思います。
- ・ 家庭環境によっては、大変な状況を声を上げられない子どもたくさんいると思います。 苦しい時、辛い時に周りに助けてもらえる大人がいることを教えてあげられる環境を整えてほしい。
- ・ 学校・学童の先生方の人間性や判断力の調査。
- ・ 学校・保育園での不信感を相談できる窓口がわかりやすく相談しやすいこと。
- ・ 学校の制度
- ・ 学校の中でも、外でも見守る大人が増えて欲しい。
- ・ 寛容の心を大切にされた地域社会である必要があると思います。
- ・ 環境整備が安全などについて大人の視点で決めていること多いと感じる。子ども本来の「自分で認識して自分で考え、遊べる環境」を考えなおすことを地域ぐるみで行っていくことが大切ではと思う。
- ・ 経験と知識を話してくれる、体験を手伝ってくれる、地域のお年寄りが、子供とパートナーとなって、育てに関わってくれたり、子供はお年寄をサポートしたい気持ちとふれ合いが好きな子、得意な子もいるので、年寄も、生き生きと生命力あふれる子供の成長にかかわってほしいはずなので、そういった機会があるといい。
- ・ 公園や体育館や校庭で遊んでいる、スポーツしている子どもの声がうるさい、という住民の意見について、子供達に注意をし、抑制するのではなく、もう少し寛容に受け入れてもらえるように取り組むことであったり、大声出しても遊べる環境を作ってほしい。
- ・ 子どもが知ることも大事ですが、何よりもまずは大人ですね。模範になれる大人にならないと思います。
- ・ 子どもも大人も心にゆとりを持って生活できる社会。
- ・ 子どもを育てている世代と行政がいくら話してもおそらく根本的な解決に至る事は難しい。本当に必要なのは、子供を持たない選択をした大人、子供を持ちたくても叶わなかった大人、子供を持つかどうかの選択肢すら持てずにいる又は持てなかった大人たちが子供に対しての考え方、接し方、そして彼らが、地域で子供を育てるという意識を持ち、見守る、必要な時には協力するような意識が根付かなくては、本当の意味での子供の権利など守れるには程遠く、子供がいて不自由や困難に直面する親を見て育つ子が、大人になった時、子供を産みたいと思うだろうか。子供の権利が守られ、子供がそれを実感出来て、幸福感が持てなければ子育てのようなリスクの多い作業など避けたいだろう…。最終的には、現状が続けば、今の人口減少に更に拍車がかかると思う…。お金を配るだけでは決して解決しない…。
- ・ 子供が安心して学び、遊び、過ごせる環境、市や地域の歴史や伝統を伝えようといける機会、接点の充実。子供を守り育てるための親への精神的・経済的サポート。子供用品・衣服などのリサイクル事業。(どんどん成長して、着れなくなるのが早い、買い替えにとってもお金がかかる。捨てるのももったいない)
- ・ 思いやり
- ・ 指導する立場の人(市職員、教育委員会、保健センター、学校、学童、幼保など)の根底意識がまず変わることで。都合優先、責任逃れを繰り返して倫理観が感じられないことがあります。 管理が過ぎたり、大人の都合だけで決まっていたりすることを、子供中心に視点を移して考え直すことです。 大人の都合と標準的なものでつくり上げたが感じられぬ環境に適応しなかった子供を、「発達障害」などと分類してあたかも子供が原因かのようにするのは間違っています。本来多様で広がりを持つ子供に、「発達障害」の典型を当てはめ、大人が分析的に子供をみて、捉えたような錯覚に陥っています。その結果は、具体的な支援方策ではなく、トラブルを未然に防ぐための不必要な対処や、見放し、諦めであることが多いです。「発達障害」の免罪符を子供に押し付け、「特性として捉えてあげれば、子供も叱られずに済む」との発想は、すべて大人側のもので、子供の立場に立ったものでも、子供のためになるものでもありません。 事実に基づかない「虐待疑い」が親を苦しめ、そのストレスは少なからず子供に向かうことを忘れないでください。
- ・ 私個人としては、今の社会のよいところと、昔(自分自身や親の子ども時代)の社会のよいところの両方を、子どもに伝えていきたいと、強く思う日々です。
- ・ 自分の子供だけでなく、他の子にも目を向けて、皆で子供達を守って欲しい
- ・ 上述の通り。 教育環境は確実に変革が必要です。画一的な人間ばかりでなく、多様性を認め合える環境を作るべきです。校則y制服の見直しを始めとして、今まではのものにはそれなりに理由があるとしても、世界日本、取り巻く

環境は昔と違う、子どもが自分らしく、自分のありのまままで過ごせる環境、そして自分らしいとは何かを自然に考えられる環境がよい教育の場には絶対必要です。 学校が今のままではいけないと感じます。

- ・ 常にアップデート
- ・ 伸び伸びした校風の学校
- ・ 親、親戚だけでなく、なるべく多くの人の子育てに関わること。地域皆で見守っていくのが理想です。
- ・ 親だけで子育てを行うのは限界がある。地域みんなで育てる環境を作ることが大事だと思う。地域に子供にとって支えとなる、魅力的で充実した環境があれば、家庭だけでなく地域の中で子供は育つと思う。今は難しいが、将来私も地域の一員としてできることを探し、携わっていきたい。
- ・ 親も含めて、子供が安心して大人に相談できる環境があること
- ・ 親や、学校の先生など、日頃子供と関わりの深い立場の大人が、子供にとって困った時に安心して相談できる様な関係を築くこと。
- ・ 親以外の大人に相談、解決してくれる環境
- ・ 性教育を小学校で行うこと。自分の強みを知る環境。←例、キャリアデザイン、職人タイプか、組織で力を出せるタイプかなど。中学生くらいで様々な体験をすること。
- ・ 声をお互いかけやすい雰囲気をつくる
- ・ 大人が、もっと知らなくてはいけない。子供は自分達親の支配下にあるものではなく、一個人、命をあずかっているものだとすることを、そして命をあずかる大人のサポートも大切だと思う。
- ・ 大人がちゃんとしていることです。
- ・ 大人がまず、子どもにやさしい広い心で。見守っていける社会であってほしいです。
- ・ 大人がもっと子どもに寄りそう姿勢を持つこと。それも子どもの今の環境をよく知ること。
- ・ 大人から見て問題がある子に、地域の子どもとして愛情と関心を持つこと。 スクールソーシャルワーカーも増員が必要。
- ・ 大人が大人になること
- ・ 大人の子どもへの対応の姿勢は大切だと思います。決めつけたり、子どもの意見を聞かないなど。子どもは大人より自分の意志を伝えるのがうまくないため、うまく聞きだす力が必要だと思います。安心して過ごせる環境を与えたり大人の責任は大きいものです。また、大人の満足度があがると心に余裕が生まれ子どもにもよい影響があると思います。
- ・ 大人の方がえらい(優れている)?という感覚をなくしていきたい。バリアフリー化、ユニバーサルデザイン。
- ・ 大人は基本忙しい。子供が子供(友人と)楽しく遊んだり、学んだりできる場所。自分に合う友人(学内外問わず)増やせる場や機会を増やしてほしい。子供にもスポーツ好き、ゲーム好き、本好き、絵が好き色々いる。そういう子供たちが自由に交流したりできたり、学んだりできたらいいなあと思う。またそれが貧富の差なくできたらいいなあと思う。
- ・ 地域の人と普段からコミュニケーションをとれると良いですね。
- ・ 地域皆でより良い環境にしていくこと
- ・ 年寄りがあまりにモラルがなく、子供の手本として不適格であることが多くあります。特に学校の先生は子供が普段からよく触れ合う存在です。しっかり自覚を持っていただかないと困ります。
- ・ 風通しの良い学校、幼稚園を求めます。
- ・ 平等で生活出来る環境がほしい
- ・ 平等に、不足でもなく過剰でもなく、教育や社会性の力を身につけて大人になった時に、自由でいられるよう、短い子供の時代に吸収してほしい。
- ・ いつも良い環境で子育てをさせて頂き、感謝しています。これからもこの国立の良い環境で子育てをしていきたいです。プールや矢川プラスや図書館をいつもありがたく利用させていただいています。
- ・ 特になし (計3件)